

2022年 第2回

トヨタ自動車新研究開発施設に係る環境監視委員会

開催日時：2022年10月5日(水) 10時00分～12時00分

開催場所：安保ホール 3階 301号室

議 事 次 第

1. 開会
2. 報告
 - (1) 2022年第1回委員会における指摘事項及びその対応
 - (2) 猛禽類とミゾゴイ（サギ類）の営巣状況（2022年次）
3. 議事
 - (1) 環境調査報告書（2021年次版 その2）
 - (2) 環境調査計画書（2023年次版）
4. その他
5. 閉会

■資料

- ・2022年第1回環境監視委員会（2022年3月16日）における指摘事項及びその対応 [資料1]
- ・豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業における猛禽類とミゾゴイ（サギ類）の営巣状況（2022年次） [資料2]
- ・トヨタ自動車新研究開発施設に係る環境調査報告書（2021年次版 その2）（案） [資料3]
- ・トヨタ自動車新研究開発施設に係る環境調査計画書（2023年次版）（案） [資料4]

<参考資料>

- ・豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業環境影響評価書
- ・豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業環境影響評価に係る事後調査報告書
平成24年次版、平成25年次版、平成26年次版、平成27年次版、平成28年次版、平成29年次版、平成30年次版、2019年次版、2020年次版、2021年次版
- ・トヨタ自動車新研究開発施設に係る環境監視委員会運営要領
- ・トヨタ自動車新研究開発施設に係る環境監視委員会の傍聴に関する要領
- ・トヨタ自動車新研究開発施設に係る環境監視委員会<会議録等>
平成24年第1回、平成24年第2回、平成25年第1回、平成25年第2回、平成26年第1回、平成26年第2回、平成27年第1回、平成27年第2回、平成28年第1回、平成28年第2回、平成29年第1回、平成29年第2回、平成30年第1回、平成30年第2回、平成31年第1回、2019年第2回、2020年第1回、2020年第2回、2021年第1回、2021年第2回、2022年第1回
- ・トヨタ自動車新研究開発施設に係る環境調査計画書（基本方針）
- ・トヨタ自動車新研究開発施設に係る環境調査計画書（年次版）
平成24年次版、平成25年次版・平成25年次版 追加分、平成26年次版、平成27年次版・工事工程の変更（東工区の期間延長）に伴う環境影響、平成28年次版、平成29年次版・工事工程の変更（東工区施設建設工事工程変更）に伴う環境影響、平成30年次版・工事工程の変更（東工区・西工区用地造成工事及び西工区施設建設工事工程変更）に伴う環境影響、平成31年次版、2020年次版・工事工程の変更（東工区用地造成工事及び東工区施設建設工事工程変更）に伴う環境影響、2021年次版、2022年次版・工事工程の変更（施設建設工事工程変更）に伴う環境影響
- ・トヨタ自動車新研究開発施設に係る環境調査報告書（年次版）
平成24年次版、平成25年次版、平成26年次版、平成27年次版、平成28年次版（その1、その2）、平成29年次版、平成30年次版、2019年次版、2020年次版、2021年次版（その1）
- ・森林・谷津田（里山）の整備・維持管理計画書
- ・トヨタ自動車新研究開発施設に係る環境保全措置（自然系）に関する基本計画書
- ・トヨタ自動車新研究開発施設に係る環境保全措置（自然系）に関する実施計画書
- ・新たに確認された重要種への対応について
対応方針、環境影響追跡評価報告書（新たに確認された重要種 その1）、環境影響追跡評価報告書（新たに確認された重要種 その2）、環境影響追跡評価報告書（新たに確認された重要種 その3）

2022年第1回環境監視委員会（2022年3月16日）における指摘事項及びその対応

1. トヨタ自動車新研究開発施設に係る環境調査報告書（2021年次版 その1）（案）

豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業環境影響評価に係る事後調査報告書（2021年次版）（案）

指摘事項はありませんでした。

2. その他

（1）ホトケドジョウの環境保全措置について

番号	指摘事項	対 応
1	ホトケドジョウの環境保全措置として創出した水域ネットワークは、現時点ではまだ目覚ましい結果が出ているとは言い難い。また、現時点ですごく個体数が増えているという状況にはない。しかし、繁殖場所もあり、モニタリング調査では必ず複数の年級群も見られているため、何とか上手く保全できているのではないかと思う。今後については、見守りながらできることを行うというスタンスで実施して欲しい。	ホトケドジョウに関しては、思ったより個体数が増えていない場所もあるため、専門とする委員に指導及び助言をいただきながら、個体数の増加を図っていくような対策を検討し、今後も適切な措置を実施します。
2	現時点でホトケドジョウの個体数が大きく増えていないことについて、水文的な状況が問題なのか、現場的な環境が問題なのかが、まだわかっていない。水文的な問題はないということになったら、餌資源等を含めた環境改善の話に着地できると考える。また、水域ネットワークに関しては、湧水箇所についてはデリケートに見る必要があると思う。水位や湧水箇所とのアクセスをどうするかという点についても、しっかり見ていく必要がある。	

豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業における
猛禽類とミゾゴイ（サギ類）の営巣状況（2022年次）＜速報＞

（公開用資料）

1 猛禽類の営巣状況

(1) 調査期間

2022年2月から8月まで

(2) 調査範囲（図-1参照）

対象事業実施区域及びその周辺地域の約2,000ha

(3) 営巣状況（詳細は、別添1のとおり。）

確認された重要な猛禽類であるサシバ、ハチクマ及びオオタカの営巣状況は、次表のとおりです。

2022年における猛禽類の営巣状況（単位：箇所）

種名	対象事業実施区域	周辺地域	計
サシバ	1	5	6
ハチクマ	0	4	4
オオタカ	0	2	2

注：1. 周辺地域は調査範囲（約2,000ha）から対象事業実施区域（650.8ha）を除く範囲を示す。
2. 調査範囲の外側において、サシバは13箇所、ハチクマは3箇所、オオタカは1箇所の営巣を確認した。

(参考) 2008年から2022年における猛禽類の営巣状況（単位：箇所）

調査項目		工事前				工事中											
		2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	
サシバ	対象事業実施区域	2	3	3	3	2	2	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1
	周辺地域	5	8	9	5	4	6	5	5	5	4	5	6	4	5	5	
ハチクマ	対象事業実施区域	1	0	1	1	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
	周辺地域	0	3	1	2	3	1	3	2	3	3	1	2	3	4	4	
オオタカ	対象事業実施区域	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	周辺地域	2	2	1	1	1	0	1	1	2	2	2	2	2	2	2	

注：周辺地域は調査範囲（約2,000ha）から対象事業実施区域（650.8ha）を除く範囲を示す。

2 ミゾゴイの営巣状況

(1) 調査期間

2022年4月から7月まで

(2) 調査範囲（図-2参照）

営巣状況は対象事業実施区域及びその周辺地域の約2,000ha、鳴声確認状況は約77km²

(3) 営巣状況（詳細は、別添2のとおり。）

確認されたミゾゴイの営巣状況は、次表のとおりです。

2022年におけるミゾゴイの営巣状況（単位：箇所）

種名	対象事業実施区域	周辺地域	計
ミゾゴイ	1	1	2

注：1. 周辺地域は調査範囲（約2,000ha）から対象事業実施区域（650.8ha）を除く範囲を示す。
2. 調査範囲の外側において、2箇所の営巣を確認した。

(参考) 2008年から2022年におけるミゾゴイの営巣状況（単位：箇所）

調査項目		工事前				工事中										
		2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
ミゾゴイ	対象事業実施区域	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	1
	周辺地域	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1

注：周辺地域は調査範囲（約2,000ha）から対象事業実施区域（650.8ha）を除く範囲を示す。

また、ミゾゴイの鳴声確認状況は、次表のとおりです。

2022年におけるミゾゴイの鳴声確認状況（単位：メッシュ）

種名	対象事業実施区域	周辺地域	計
ミゾゴイ	6	34	40

注：対象事業実施区域及びその周辺の77メッシュ（1メッシュは約1km四方）で実施した。

(参考) 2010年から2022年におけるミゾゴイの鳴声確認状況（単位：メッシュ）

調査項目		工事前		工事中											
		2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	
ミゾゴイ	鳴声状況	13	14	22	15	20	15	22	38	28	26	29	37	40	
	内訳	対象事業実施区域	3	2	4	2	1	3	2	2	2	2	2	6	
		周辺地域	10*	12*	18	13	19	12	20	36	26	24	27	34	

注：2012年以降の77メッシュの調査地域のうち、2010年は67メッシュ、2011年は68メッシュで実施した。

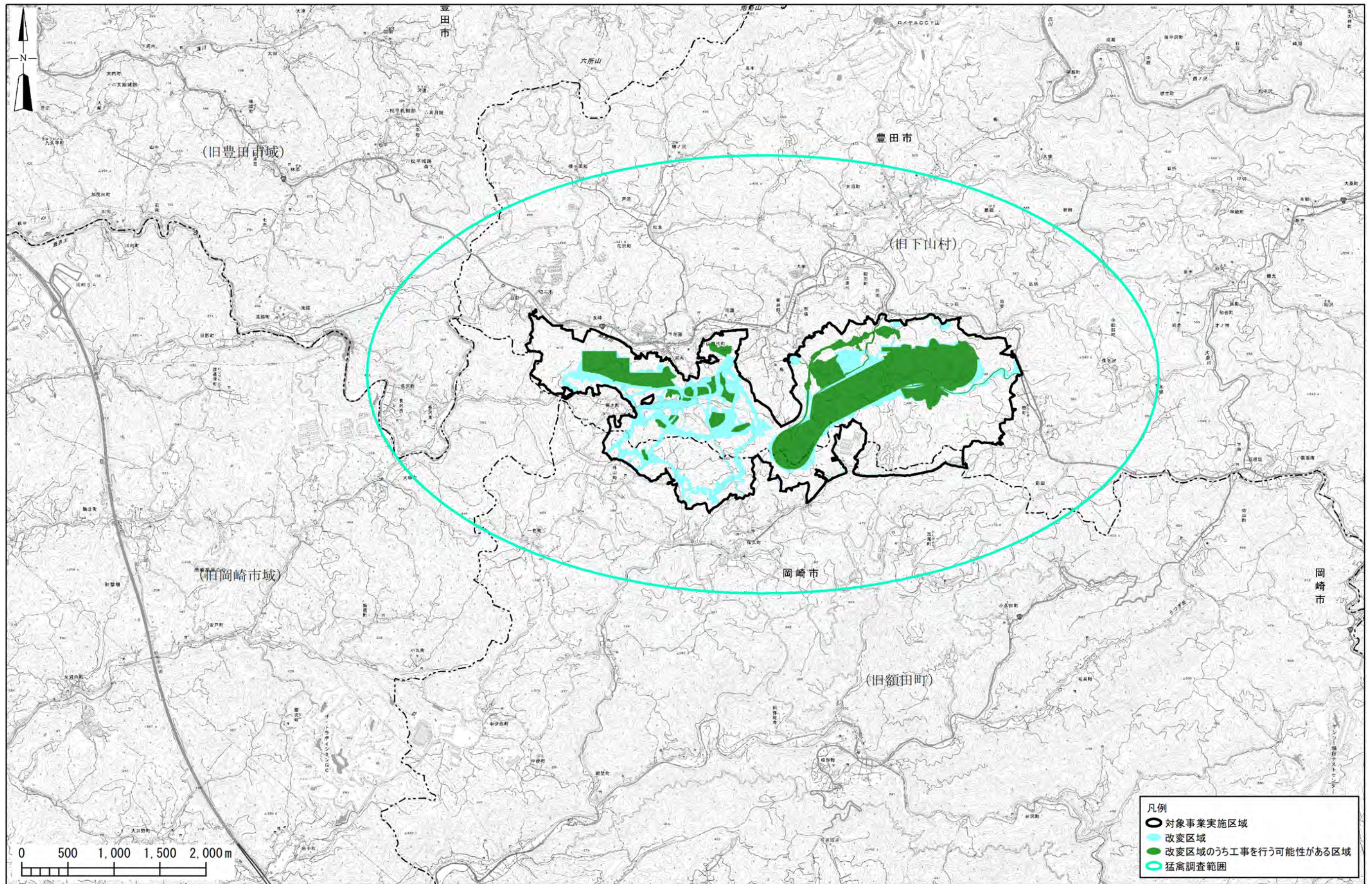


図-1 猛禽類調査範囲

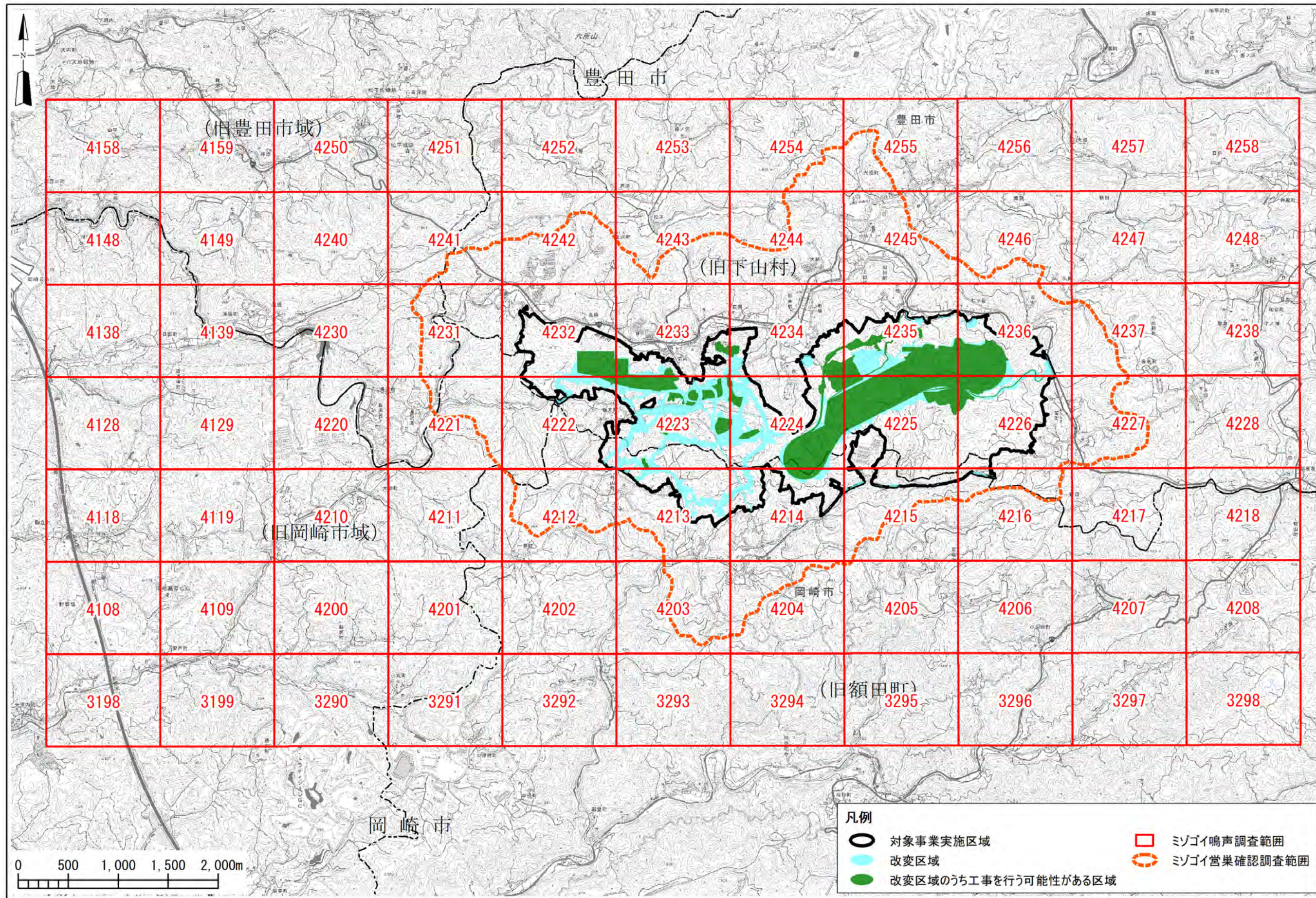


図-2 ミソゴイ調査範囲

猛禽類調査結果（生息確認・行動圏調査、営巣確認・繁殖状況調査）

非公開情報のため次頁以降は添付していません

2022年10月5日

ミゾゴイ調査結果（鳴声調査、営巣確認・繁殖状況調査）

非公開情報のため次頁以降は添付していません

2022年10月5日

トヨタ自動車新研究開発施設に係る
環境調査報告書
(2021年次版 その2)

(案)

2022年10月

トヨタ自動車株式会社

はじめに

豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業（以下「本事業」とします。）の対象事業実施区域は、森林が大半を占めるとともに谷津田が分布する里山環境を呈しており、重要な猛禽類であるサシバを始めとした多様な動植物の生息・生育場となっています。

このため、本事業の実施に伴う環境影響の回避・低減の観点から、環境影響評価手続きの中で、当初の土地利用構想を大幅に見直す等の環境配慮事項や環境保全措置を検討し、環境影響評価書（以下「評価書」とします。）に取りまとめて公表しました。

本事業の実施に当たっては、これら環境影響の回避・低減のための環境配慮の取組や環境保全措置を適切に実施していきます。

また、森林・谷津田については、多様な動植物の生息・生育場となっているものの、森林は木材価格の低迷等により、人工林の大半が不健全林となっており、谷津田は休耕・放棄され、荒廃が進みつつあります。このため、「自然環境保全技術検討会」（以下「検討会」とします。）において、土地利用構想の見直しに伴い、対象事業実施区域に約6割残る森林・谷津田（里山）の保全対策や維持管理手法等について検討しました。検討会の検討結果に基づき、森林の整備や水田の維持管理等を適切に実施していくことにより、今後も引き続き開発と環境の両立を目指していきます。

一方、本事業の実施に当たっては、前述の環境配慮の取組や環境保全措置の効果を確認するとともに、本事業が及ぼす環境への影響を把握し、その結果を適切に環境保全対策に反映し、本事業の実施に伴う環境への影響の低減を図るために、工事中から施設の供用までの間、事後調査及び環境監視（以下「環境調査」とします。）を行うこととしています。

この「トヨタ自動車新研究開発施設に係る環境調査報告書（2021年次版 その2）」は、「トヨタ自動車新研究開発施設に係る環境監視委員会」の指導・助言を得て、「トヨタ自動車新研究開発施設に係る環境調査計画書（基本方針）」（以下「調査計画書（基本方針）」とします。）を踏まえ取りまとめた「トヨタ自動車新研究開発施設に係る環境調査計画書（2021年次版）」（以下「調査計画書」とします。）に基づき、2021年次に実施した環境調査のうち、動物相及び植物相の調査結果を取りまとめたものです。

目 次

1	環境調査の目的	1
2	工事の概要（2021年次）	1
3	環境調査項目（2021年次）	6
4	環境調査の結果（2021年次）	8
	（1）動物	8
	ア 動物相	8
	（2）植物	91
	ア 植物相	91
5	総合評価（動物相及び植物相調査）	118

1 環境調査の目的

環境調査は、評価書に取りまとめた環境配慮事項及び環境保全措置等の効果を確認するとともに、本事業が及ぼす環境への影響を把握し、その結果を適切に環境保全対策に反映し、本事業の実施に伴う環境への影響の低減を図ることを目的として実施するものです。

2 工事の概要 (2021年次)

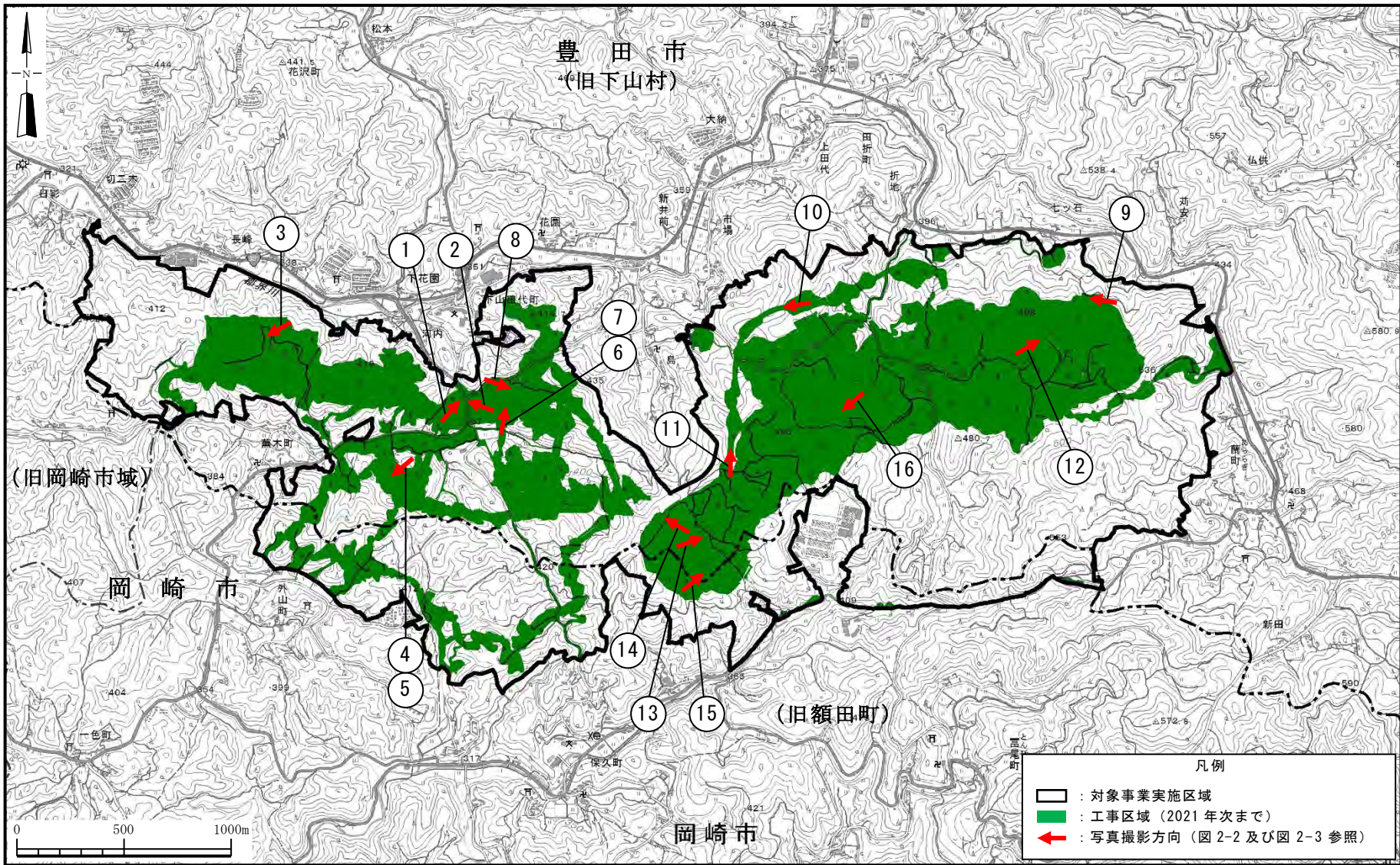
2021年次の工事工程(実績)は表2-1に、2021年次までの工事区域(実績)は図2-1に示すとおりです。

2021年次には、西工区及び東工区において用地造成工事を、西工区、中工区及び東工区において施設建設工事を実施しました。その内訳は、西工区において道路工事を、東工区において準備工事、造成工事及び道路工事を、西工区、中工区及び東工区において施設建設工事を実施しました。工事の状況は図2-2及び図2-3に示すとおりです。

また、工事前(2011年)及び工事中(2021年)の航空写真は、図2-4に示すとおりです。

表2-1 2021年次の工事工程(実績)

			2021年											
			第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
用地造成工事	西工区	道路工事												
	中工区	工事なし												
	東工区	準備工事												
		造成工事												
		道路工事												
施設建設工事	西工区	施設建設工事												
	中工区	施設建設工事												
	東工区	施設建設工事												



注：1. 写真撮影方向の番号 (①～⑯) は、図 2-2 及び図 2-3 の番号と対応する。
 2. 矢印の先端が、写真撮影対象の位置を示す。

図 2-1 2021 年次までの工事区域 (実績)



①道路工事 (2021年2月)



②道路工事 (2021年3月)



③施設建設工事 (建築工事、2021年10月)



④施設建設工事 (建築工事、2021年1月)



⑤施設建設工事 (建築工事、2021年1月)



⑥施設建設工事 (建築工事、2021年10月)



⑦施設建設工事 (建築工事、2021年10月)



⑧施設建設工事 (建築工事、2021年10月)

注：①～⑧の番号は、図2-1の写真撮影方向の番号と対応する。

図2-2 工事の状況 (2021年次) (西工区及び中工区)



⑨造成工事 (トンネル工事、2021 年 1 月)



⑩造成工事 (橋梁工事、2021 年 1 月)



⑪道路工事 (2021 年 1 月)



⑫施設建設工事 (建築工事、2021 年 3 月)



⑬施設建設工事 (建築工事、2021 年 7 月)



⑭施設建設工事 (舗装工事、2021 年 3 月)



⑮施設建設工事 (舗装工事、2021 年 4 月)



⑯施設建設工事 (舗装工事、2021 年 7 月)

注：⑨～⑯の番号は、図 2-1 の写真撮影方向の番号と対応する。

図 2-3 工事の状況 (2021 年次) (東工区)

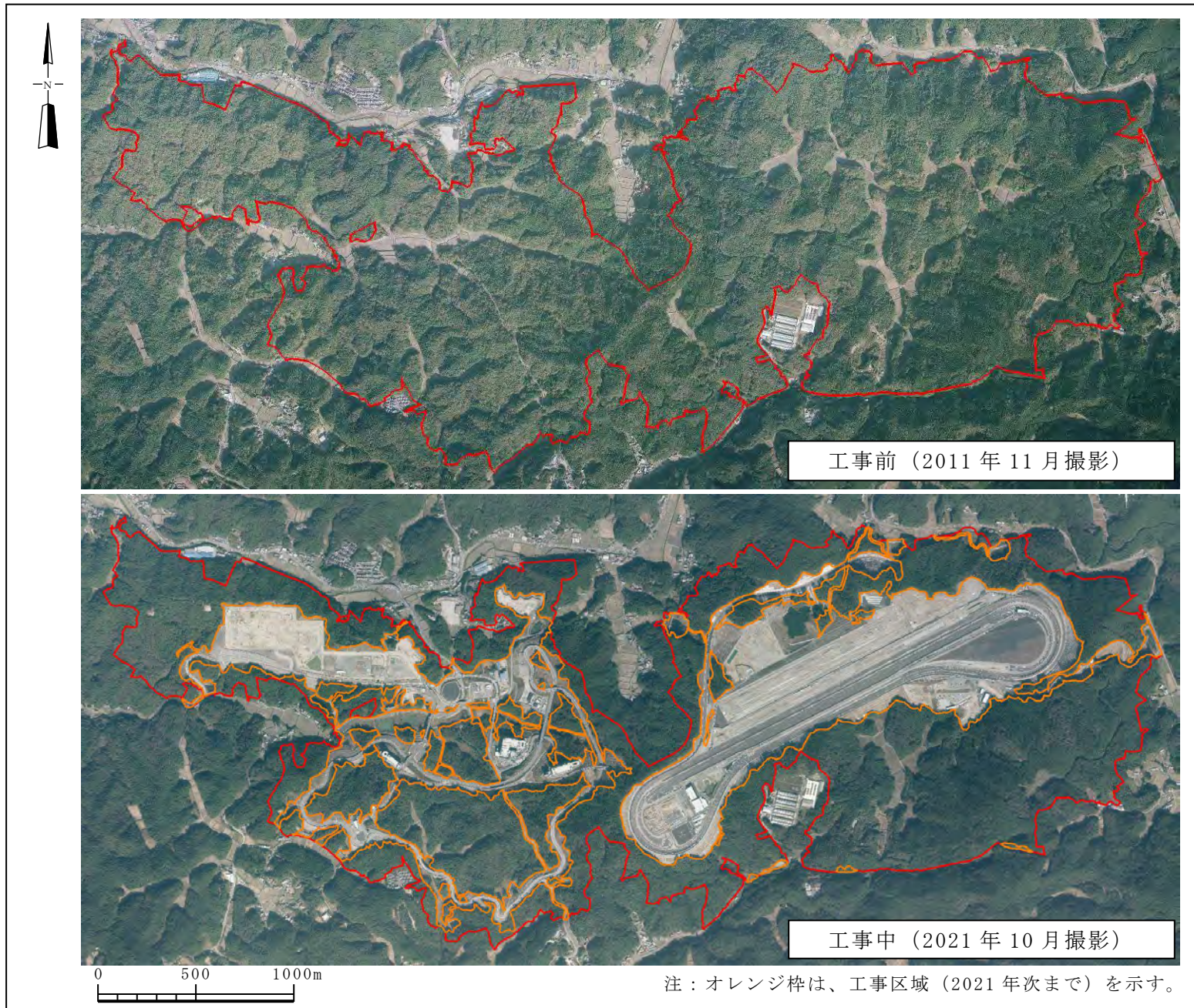


図 2-4 工事前 (2011年) 及び工事中 (2021年) の航空写真

3 環境調査項目（2021年次）

環境調査の2021年次実施状況は表3-1に、環境調査の全体計画は表3-2に示すとおりです。

2021年次（10年目）においては、調査計画書（基本方針）に基づき、大気質（一般環境）、騒音（沿道）、騒音（工事）、騒音・振動（一般環境）、動物（ミゾゴイ、ハチクマ及びサシバ）、動物（ムササビ、カヤネズミ、テン、アナグマ、サシバ、コサメビタキ、シロマダラ、アカハライモリ、ツチガエル、ホトケドジョウ、メダカ、オオアメンボ、コオイムシ、ヒメタイコウチ、オオカモドキサシガメ、クロゲンゴロウ、エゾコガムシ、イトウホソバトビケラ、クロヒカゲモドキ、オオヒカゲ、カネコトタテグモ、コガネグモ、トリノフンダマシ、シロオビトリノフンダマシ、アカイロトリノフンダマシ、ミナミコモリグモ、ヒラベッコウ及びトウカイビロウドマイマイ（以下「ムササビ等」とします。）、動物（動物相）、植物（コヒロハシケシダ、コミゾソバ、サトヤマタデ、スズサイコ、キキョウ、ミズオオバコ、ヒルムシロ、ヒメコヌカグサ、ウンヌケモドキ、ウンヌケ、ナガエミクリ及びキンラン（以下「コヒロハシケシダ等」とします。）、植物（サンショウモ、コミゾソバ、サトヤマタデ、イヌタヌキモ、アギナシ、スブタ、ミズオオバコ、ヒルムシロ、ヒメコヌカグサ及びナガエミクリ（以下「サンショウモ等」とします。）及び植物（植物相）の調査を実施しました。なお、動物（ムササビ等）及び植物（コヒロハシケシダ等）については、用地造成工事が完了した西工区（井口地区、下トヤ地区、番場地区）及び東工区北側（和倉地区）における環境保全措置対象種について調査を実施しました。なお、水質（濁水）は、計画した調査期間に対象となる降雨がなかったため、調査を実施しませんでした。

表3-1 2021年次の環境調査の実施状況（実績）

		2021年												
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
環境調査	大気質	↔			↔			↔			↔			
	騒音・振動	騒音（沿道）	↔			↔			↔			↔		
		騒音（工事）						↔					↔	
		騒音・振動（一般環境）						↔						
	水質	濁水												
	動物	ミゾゴイ、ハチクマ、サシバ		←————→										
		ムササビ等	←————→											
		動物相	←————→											
	植物	コヒロハシケシダ等						←————→						
		サンショウモ等						↔				↔		
植物相			←————→											

注：1. 水質（濁水）は、計画した調査期間に対象となる降雨がなかったため、調査を実施しなかった。
 2. サンショウモ等のうち、ヒメコヌカグサは6月に、その他の種は10月に調査を実施した。

表 3-2 環境調査の全体計画

			工事中												施設完成後 1年目						
			2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年		2024年					
工事工程	用地造成工事	西工区																			
		中工区																			
		東工区																			
	施設建設工事	西工区																			
		中工区																			
		東工区																			
環境調査	大気質	一般環境																			
		沿道(騒音)																			
		騒音・振動	工事(騒音)																		
			一般環境(騒音・振動)																		
			発破(騒音・振動)																		
			施設(騒音)																		
	水質	濁水																			
		排水処理施設からの排水																			
	動物	ミゾゴイ、ハチクマ、サシバ																			
		ムササビ等	西工区 井口、下トヤ、 番場																		
			中工区 猪屎、上弓沢																		
			東工区	上沢尻、中ツ田、 松ヶ田和、花ノ木																	
				和倉																	
		動物相																			
		植物	コヒロハシケンダ等	西工区 井口、下トヤ、 番場																	
				中工区 猪屎、上弓沢																	
				東工区	上沢尻、中ツ田、 松ヶ田和、花ノ木																
					和倉																
	サンショウモ等																				
	植物相																				

- 凡例
- ←→ (緑) : 用地造成工事
 - ←→ (紫) : 施設建設工事
 - (黒) : 調査期間
 - ←→ (黒) : 当該期間中、適宜調査実施

4 環境調査の結果（2021年次）

（1）動物

ア 動物相

（ア）影響要因及び調査項目

a 要因

掘削、盛土等の土工
建設機械の稼働等

b 調査項目

動物相

（イ）調査概要

動物相の調査概要は表 4-1 に、現地調査ルート及び地点は図 4-1 に示すとおりです。なお、工事区域を含む改変区域は調査範囲に含みません。

表 4-1(1) 動物相の調査概要

調査項目	調査地域・地点	調査期間等	調査方法
哺乳類	対象事業実施区域及びその周辺地域（図 4-1(1)に示す調査範囲）	冬季：2021年1月20日～22日、 25日～27日、2月9日～10日 春季：2021年5月10日～19日、26日 夏季：2021年6月14日～18日、 21日～25日、 8月9日～12日、16日～20日 秋季：2021年10月18日～20日、 25日～29日、11月25日	フィールドサイン調査
	図 4-1(1)に示す地点	春季：2021年5月10日～21日 夏季：2021年6月14日～18日、 21日～24日、 8月9日～13日、16日～20日 秋季：2021年10月18日～20日、 25～29日	マウストラップ調査
	図 4-1(1)に示す地点	春季：2021年5月11日～20日 夏季：2021年6月15日～17日、 22日～24日、 8月10日～12日、17日～19日 秋季：2021年10月19日～21日、 26日～28日	モールトラップ調査
	対象事業実施区域及びその周辺地域（図 4-1(1)に示す調査範囲）	夏季：2021年6月28日～30日、 7月2日	バットディテクター調査 （コウモリ類）
	図 4-1(1)に示す調査地点	夏季：2021年7月29日～31日 秋季：2021年9月28日	コウモリ捕獲調査

表 4-1(2) 動物相の調査概要

調査項目	調査地域・地点	調査期間等	調査方法
鳥類	図4-1(2)に示すラインセンサスルート及びポイントセンサス地点 任意観察については、対象事業実施区域及びその周辺地域（図4-1(2)に示す調査範囲）	冬季：2021年2月1日～4日、 12月13日～14日、20日～21日、 27日～28日 春季：2021年3月8日～11日、 17日～19日、4月1日～3日、 25日～27日、5月2日～5日、 14日～17日、23日 夏季：2021年6月1日～3日、15日、 21日～24日、7月6日～9日 秋季：2021年9月18日～19日、 10月12日～14日、24日～25日、 11月1日～2日、10日～11日、 19日、23日	ラインセンサス調査 ポイントセンサス調査 任意観察調査
	対象事業実施区域及びその周辺地域（図4-1(2)に示す調査範囲）	冬季：2021年2月2日～3日 春季：2021年4月1日、5月3日、16日 夏季：2021年6月1日、7月6日 秋季：2021年9月18日、10月12日	夜間調査
は虫類 及び 両生類	対象事業実施区域及びその周辺地域（図4-1(1)に示す調査範囲）	春季：2021年3月8日～12日、 15日～18日、4月7日～8日、 5月8日～15日、28日 夏季：2021年6月24日～25日、 7月3日～10日、12日～15日 秋季：2021年10月18日～29日	目視観察調査 採集調査
魚類	図4-1(3)に示すルート	春季：2021年5月24日～28日 夏季：2021年7月19日～23日 秋季：2021年10月4日～8日	目視観察調査 採集調査
昆虫類	対象事業実施区域及びその周辺地域（図4-1(4)に示す調査範囲）	春季：2021年2月26日、 3月29日～30日、 4月5日～9日、12日～15日、 5月18日、20日、22～26日、 28日～29日 夏季：2021年6月14日～18日、 20日～24日、 7月12日～14日、19日～21日、 8月2日～7日、9日～13日 秋季：2021年9月6日～8日、 13日～18日	採集調査 任意観察調査
		図4-1(4)に示す地点	春季：2021年5月9日～12日 夏季：2021年8月24日～27日 秋季：2021年9月21日～24日
	図4-1(4)に示す地点	春季：2021年5月8日～14日 夏季：2021年8月2日～4日、 10日～11日、19日、26日 秋季：2021年9月27日～30日	ライトトラップ調査

表 4-1(3) 動物相の調査概要

調査項目	調査地域・地点	調査期間等	調査方法
底生動物	図 4-1(5) に示すルート及び地点	冬季：2021年12月6日～10日、 22日～23日 春季：2021年3月26日～30日 夏季：2021年7月5日～9日、 13日～15日、22日～23日 秋季：2021年11月8日～9日	目視観察調査 採集調査 コドレート調査
クモ類	対象事業実施区域及びその周辺地域（図 4-1(4) に示す調査範囲）	春季：2021年4月5日～9日、 12日～15日、5月8日～14日、 18日、20日、22日～26日、 28日～29日 夏季：2021年6月14日～18日、 20日～24日、 7月12日～14日、19日～21日、 8月2日～7日、10日～13日、 19日、24日～27日 秋季：2021年9月6日～8日、 13日～18日、21日～24日、 27日～30日	採集調査
陸産及び淡水産貝類	対象事業実施区域及びその周辺地域（図 4-1(6) に示す調査範囲）	春季：2021年5月17日～28日 夏季：2021年7月5日～16日 秋季：2021年9月6日～17日	採集調査
	図 4-1(6) に示す地点		トラップ調査（陸産貝類）

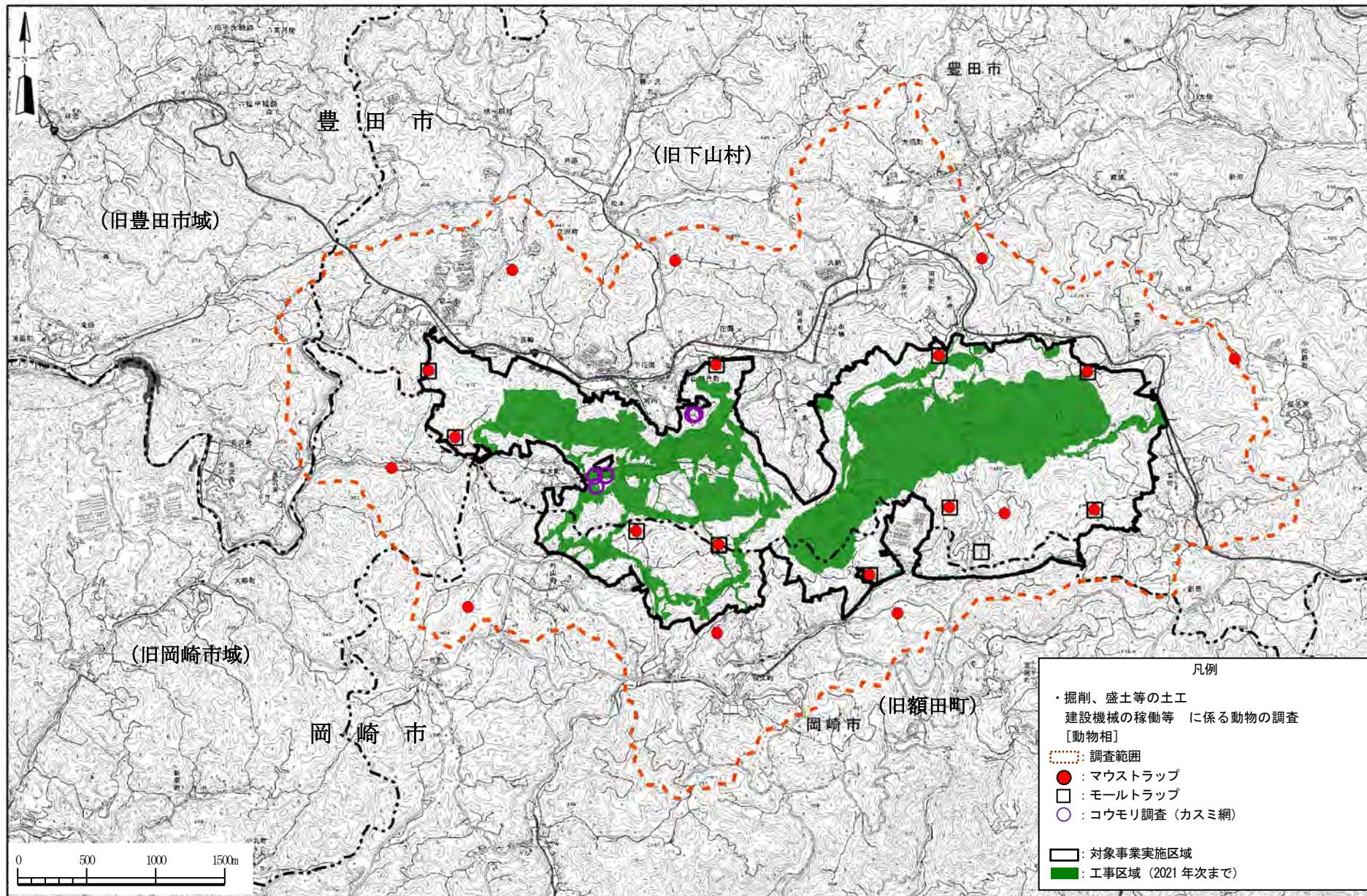


図 4-1(1) 動物相の調査範囲及び地点図 (哺乳類、は虫類及び両生類)

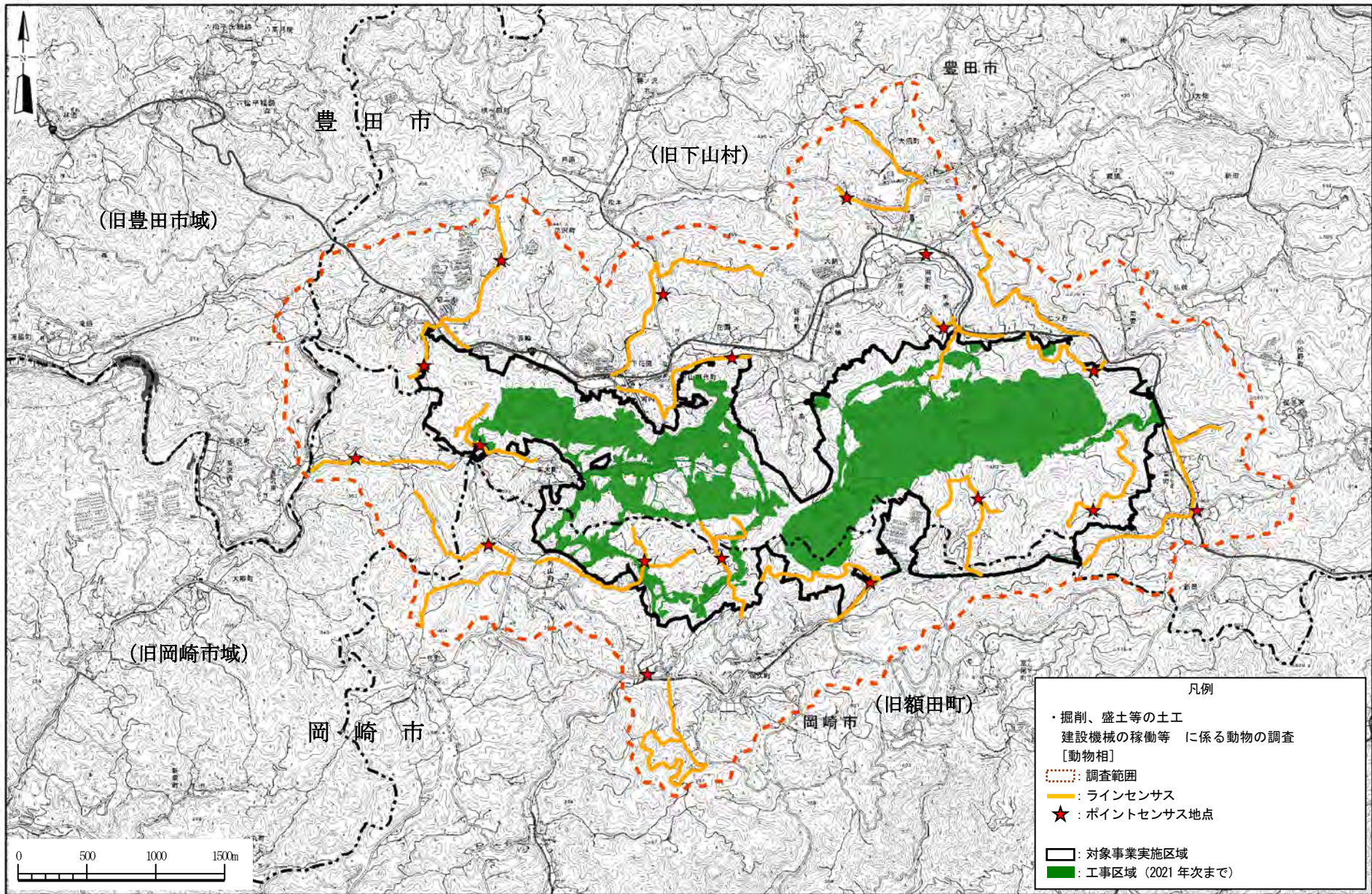


図 4-1 (2) 動物相の調査範囲、ルート及び地点図 (鳥類)

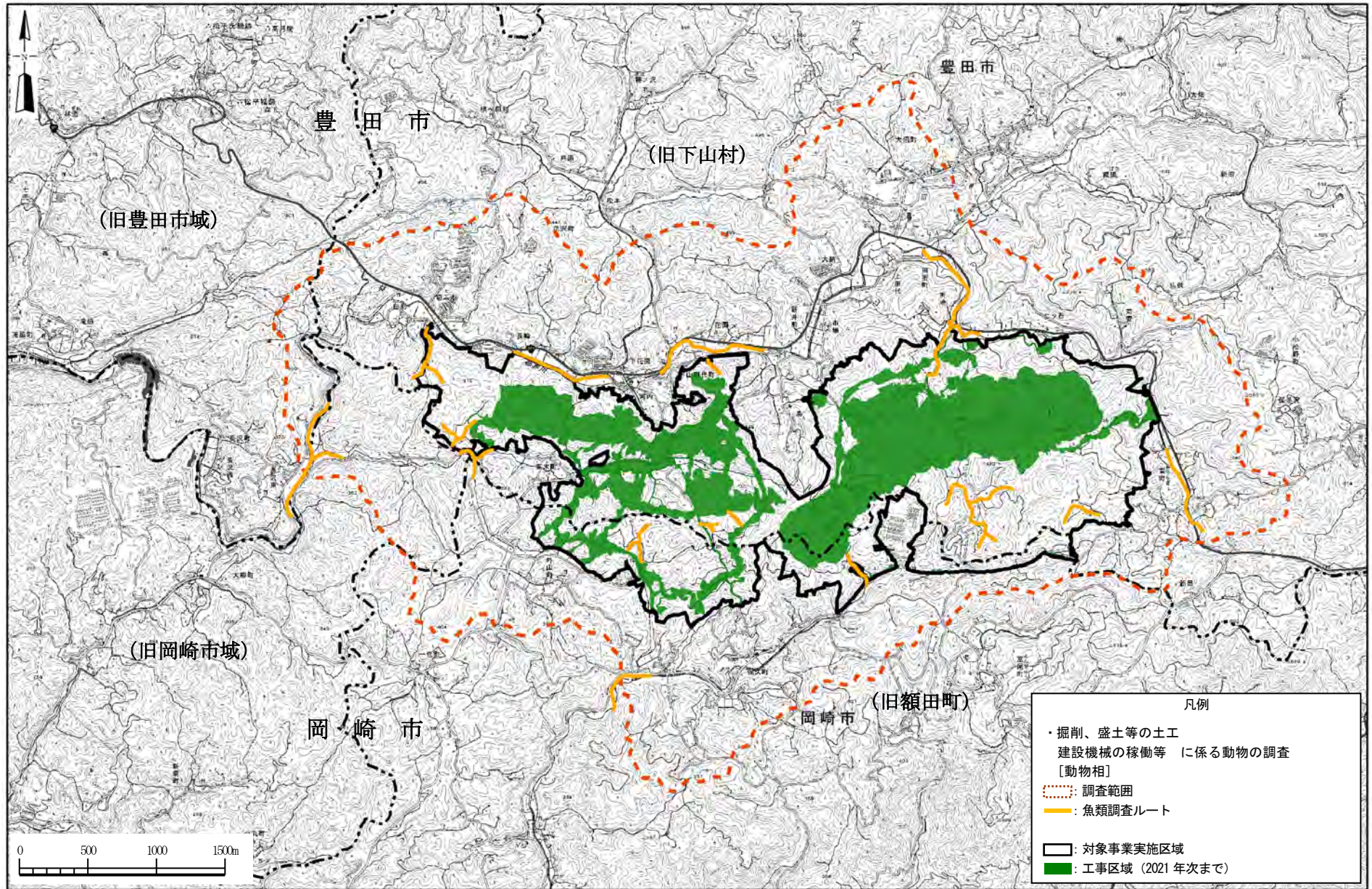


図 4-1 (3) 動物相の調査ルート (魚類)

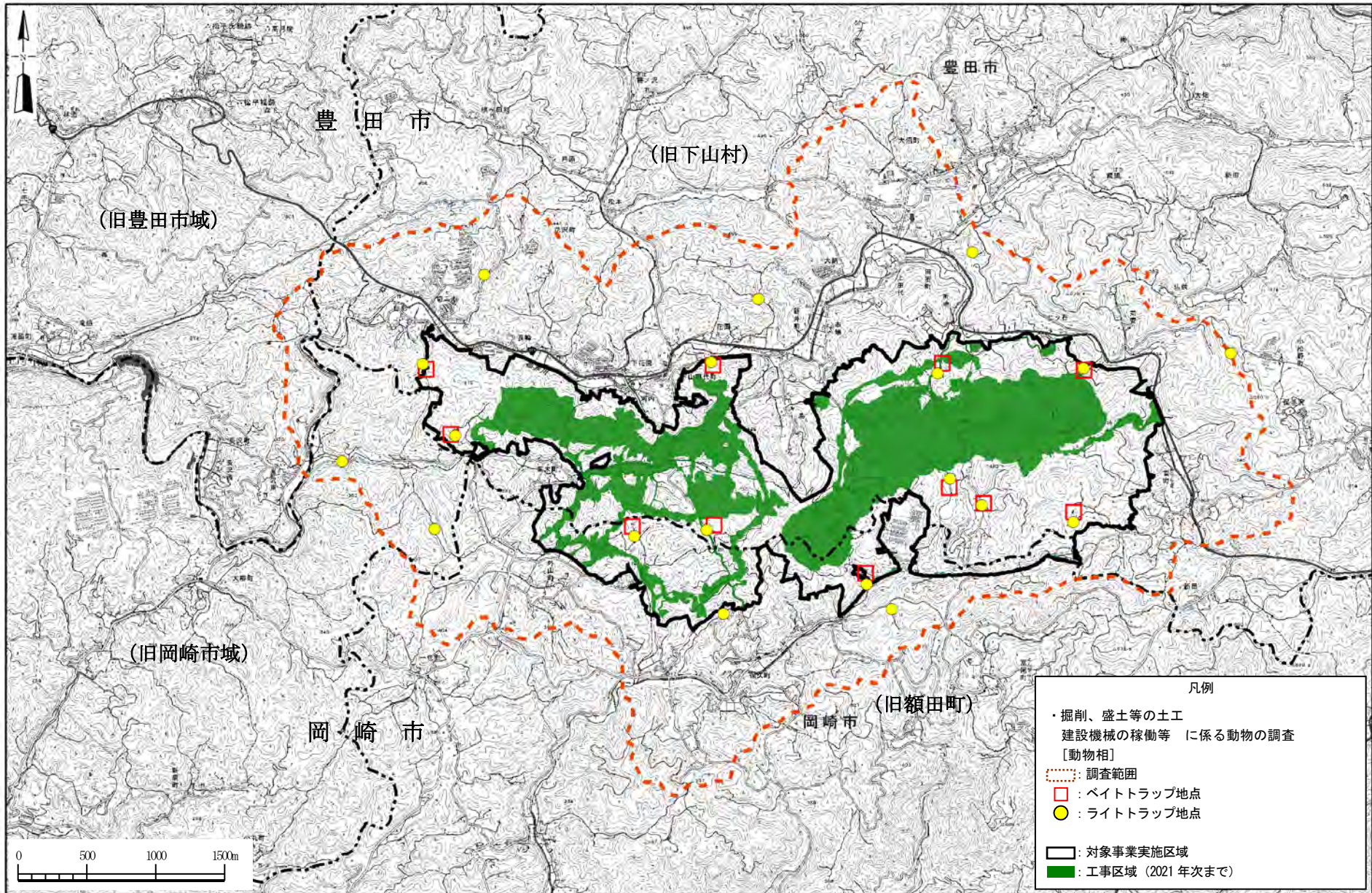


図 4-1(4) 動物相の調査範囲及び地点図 (昆虫類及びクモ類)

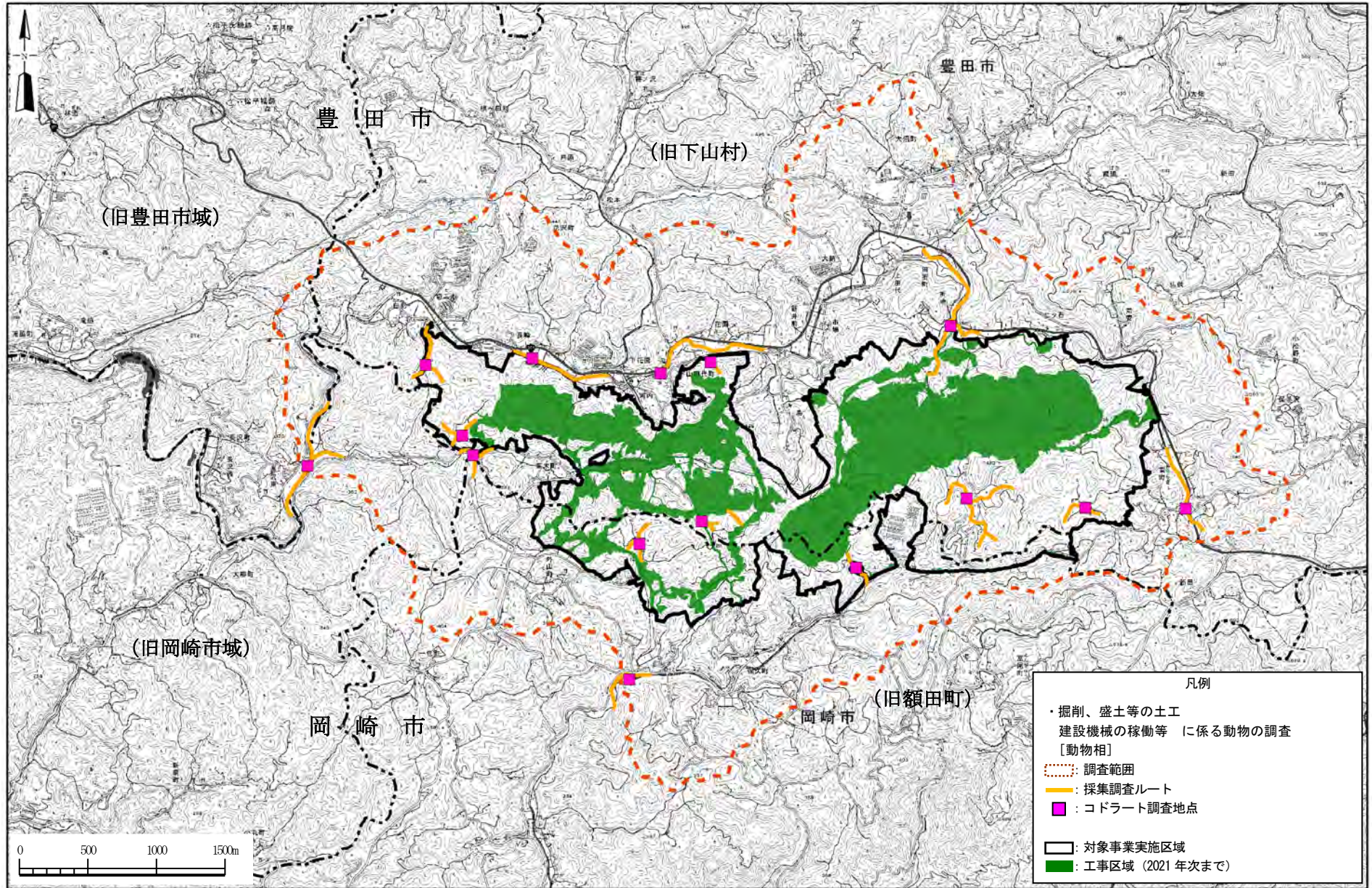


図 4-1(5) 動物相の調査ルート及び地点図 (底生動物)

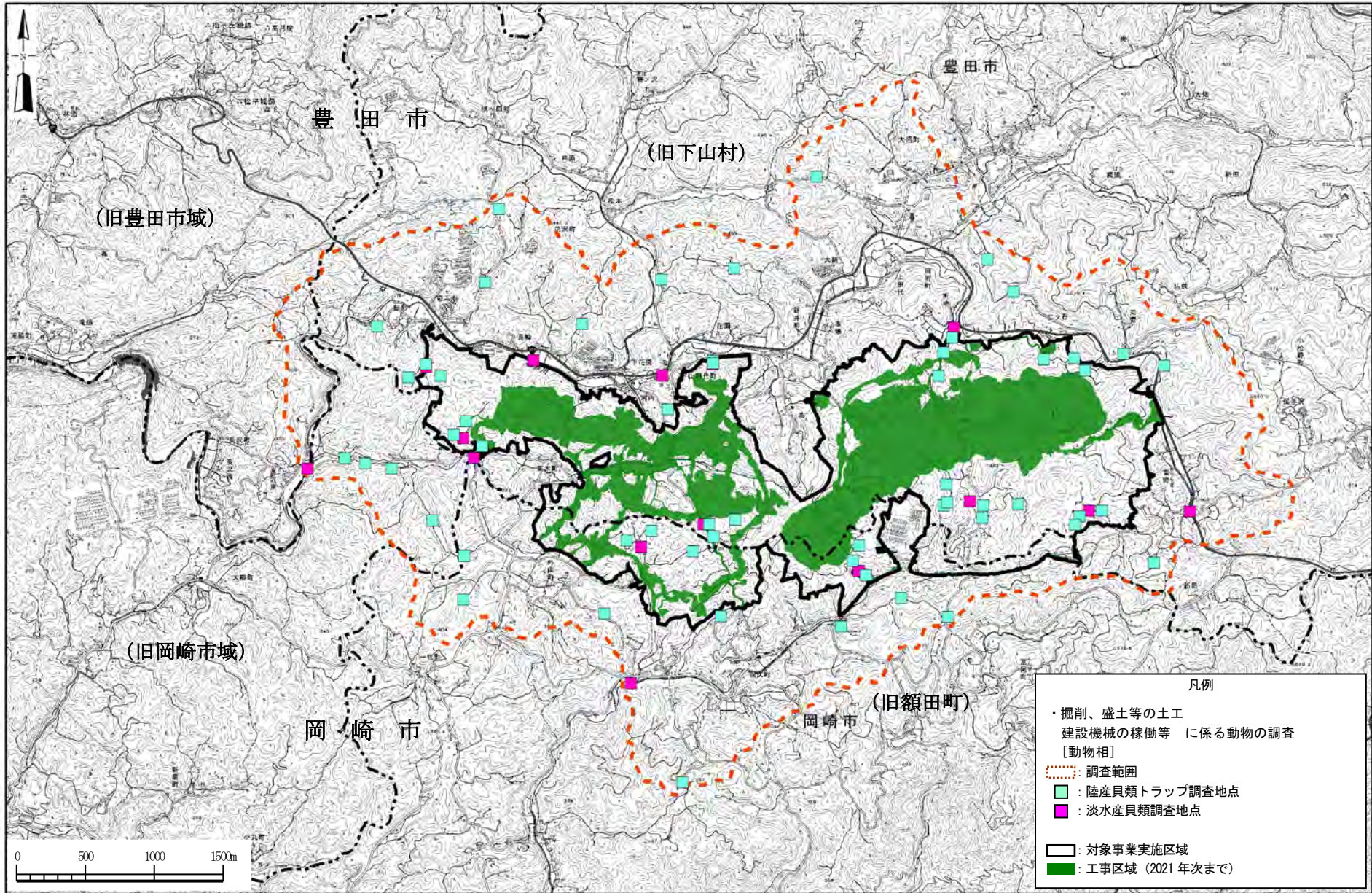


図 4-1 (6) 動物相の調査範囲及び地点図 (陸産及び淡水産貝類)

(ウ) 調査結果

a 確認状況

(a) 哺乳類

動物相 (哺乳類) の調査結果は、表 4-2 に示すとおりです。

確認された哺乳類は 7 目 15 科 25 種で、そのうち対象事業実施区域内で確認されたのは 22 種です。

表 4-2 動物相 (哺乳類) の調査結果

目名	科名	種名	学名	確認場所		確認時期				外来種等
				対象事業実施区域	周辺地域	冬	春	夏	秋	
モグラ	トガリネズミ	ニホンジネズミ	<i>Crocidura dsinezumi</i>		○			○		
	モグラ	ヒミズ	<i>Urotrichus talpoides</i>		○			○	○	
		コウベモグラ	<i>Mogera wogura</i>		○	○			○	○
		ニホンモグラ属の一種	<i>Mogera</i> sp.		○	○	○	○	○	○
コウモリ	キクガシラコウモリ	キクガシラコウモリ	<i>Rhinolophus ferrumequinum</i>	○	○		○	○	○	
	ヒナコウモリ	モモジロコウモリ	<i>Myotis macrodactylus</i>	○	○					○
		イエコウモリ	<i>Pipistrellus abramus</i>	○				○		
		ヒナコウモリ科の一種	Vespertilionidae gen. sp.	○	○				○	
		コウモリ目の一種	Chiroptera fam. gen. sp.	○					○	○
サル	オナガザル	ニホンザル	<i>Macaca fuscata</i>	○	○	○	○	○	○	
ウサギ	ウサギ	ノウサギ	<i>Lepus brachyurus</i>	○	○	○	○	○	○	
ネズミ	リス	ニホンリス	<i>Sciurus lis</i>	○	○	○	○	○	○	
		ムササビ	<i>Petaurista leucogenys</i>	○	○	○	○	○	○	
	ネズミ	ハタネズミ	<i>Microtus montebelli</i>		○			○		
		カヤネズミ	<i>Micromys minutus</i>	○	○	○	○	○	○	
		ヒメネズミ	<i>Apodemus argenteus</i>	○	○	○	○	○	○	
		アカネズミ	<i>Apodemus speciosus</i>	○	○	○	○	○	○	
		クマネズミ属の一種	<i>Rattus</i> sp.	○			○			
ネズミ科の一種	Muridae gen. sp.	○	○	○	○	○	○	○		
ネコ	アライグマ	アライグマ	<i>Procyon lotor</i>	○	○	○	○	○	○	○
	イヌ	タヌキ	<i>Nyctereutes procyonoides</i>	○	○	○	○	○	○	
		キツネ	<i>Vulpes vulpes</i>	○	○	○	○	○	○	
	イタチ	テン	<i>Martes melampus</i>	○	○	○	○	○	○	
		イタチ	<i>Mustela itatsi</i>	○	○		○			○
		イタチ属の一種	<i>Mustela</i> sp.	○	○	○	○	○	○	
		アナグマ	<i>Meles meles</i>	○	○	○	○	○	○	
ジャコウネコ	ハクビシン	<i>Paguma larvata</i>	○	○	○	○	○	○	○	
ウシ	イノシシ	イノシシ	<i>Sus scrofa</i>	○	○	○	○	○	○	
	シカ	ニホンジカ	<i>Cervus nippon</i>	○	○	○	○	○	○	
	ウシ	ニホンカモシカ	<i>Naemorhedus crispus</i>	○	○	○	○	○	○	
7 目	15 科	25 種	種数	22 種	23 種	17 種	20 種	23 種	22 種	3 種

- 注：1. 種名及び配列は「日本産哺乳類頭骨図説 (増補版)」(2007年、北海道大学図書刊行会)による。
2. コウベモグラは個体による確認であるが、「ニホンモグラ属の一種」はフィールドサインによる確認であり、アズマモグラかコウベモグラのどちらかであるため、コウベモグラが確認されている場合は種数に含まない。「ヒナコウモリ科の一種」はモモジロコウモリ、イエコウモリ及びイエコウモリ属の一種である可能性が高いため、これらの種が確認されている場合は種数に含めない。「コウモリ目の一種」はイエコウモリ及びキクガシラコウモリである可能性が高いため、これらの種が確認されている場合は種数に含めない。「ネズミ科の一種」は坑道による確認であり、確認状況及び本調査地域における分布状況から、ヒメネズミまたはアカネズミの可能性が高いため、これらの種が確認されている場合は種数に含めない。「イタチ属の一種」はイタチかチョウセンイタチのどちらかであるため、イタチを確認している場合は種数に含めない。
3. 外来種等については、「ブルーデータブックあいち2021」(2021年、愛知県)の掲載種、「特定外来生物等一覧 (最終更新：2021年8月)」に掲載されている特定外来生物及び「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」(2015年3月26日)の掲載種を「○」で示す。

4 環境調査の結果（2021年次）（1）動物

(b) 鳥類

動物相（鳥類）の調査結果は、表 4-3 に示すとおりです。

確認された鳥類は 18 目 46 科 133 種で、そのうち対象事業実施区域内で確認されたのは 106 種です。なお、月別の確認状況等については、資料編に示すとおりです。

表 4-3(1) 動物相（鳥類）の調査結果

目名	科名	種名	学名	渡り区分	確認場所		確認時期				外来種等
					対象事業実施区域	周辺地域	冬	春	夏	秋	
キジ	キジ	コジュケイ	<i>Bambusicola thoracicus</i>	留鳥	○	○	○	○	○	○	○
		ヤマドリ	<i>Syrnaticus soemmerringii</i>	留鳥	○	○	○	○	○	○	
		キジ	<i>Phasianus colchicus</i>	留鳥	○	○	○	○	○	○	
カモ	カモ	オシドリ	<i>Aix galericulata</i>	冬鳥・留鳥		○	○			○	
		オカヨシガモ	<i>Anas strepera</i>	冬鳥	○					○	
		ヨシガモ	<i>Anas falcata</i>	冬鳥	○		○				
		ヒドリガモ	<i>Anas penelope</i>	冬鳥	○		○			○	
		マガモ	<i>Anas platyrhynchos</i>	冬鳥	○	○	○			○	
		カルガモ	<i>Anas zonorhyncha</i>	留鳥	○	○	○	○	○	○	
		ハンビロガモ	<i>Anas clypeata</i>	冬鳥	○		○				
		トモエガモ	<i>Anas formosa</i>	冬鳥	○		○				
		コガモ	<i>Anas crecca</i>	冬鳥	○	○	○	○		○	
		ホシハジロ	<i>Aythya ferina</i>	冬鳥	○		○	○		○	
キンクロハジロ	<i>Aythya fuligula</i>	冬鳥	○	○	○	○		○			
カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	<i>Tachybaptus ruficollis</i>	留鳥	○	○	○	○	○		
ハト	ハト	カワラバト(トバト)	<i>Columba livia</i>	留鳥		○			○	○	○
		キジバト	<i>Streptopelia orientalis</i>	留鳥	○	○	○	○	○	○	
		アオバト	<i>Trepon sieboldii</i>	留鳥	○	○	○	○	○	○	
カツオドリ	ウ	カワウ	<i>Phalacrocorax carbo</i>	留鳥	○	○	○	○	○	○	
ペリカン	サギ	ミンゴイ	<i>Gorsachius goisagi</i>	夏鳥	○	○		○		○	
		アマサギ	<i>Bubulcus ibis</i>	夏鳥		○		○			
		アオサギ	<i>Ardea cinerea</i>	留鳥	○	○	○	○	○	○	
		ダイサギ	<i>Ardea alba</i>	夏鳥・冬鳥	○	○	○	○	○	○	
		チュウサギ	<i>Egretta intermedia</i>	夏鳥		○		○			
ツル	クイナ	クイナ	<i>Rallus aquaticus</i>	冬鳥		○	○				
		ヒクイナ	<i>Porzana fusca</i>	留鳥・夏鳥	○	○		○			
		オオバン	<i>Fulica atra</i>	冬鳥	○	○	○	○		○	
カッコウ	カッコウ	ホトギス	<i>Cuculus poliocephalus</i>	夏鳥	○	○		○	○		
		ツツドリ	<i>Cuculus optatus</i>	夏鳥	○	○		○	○		
		カッコウ	<i>Cuculus canorus</i>	夏鳥	○			○			
ヨタカ	ヨタカ	ヨタカ	<i>Caprimulgus indicus</i>	夏鳥	○	○		○	○		
アマツバメ	アマツバメ	ハリオアマツバメ	<i>Hirundapus caudacutus</i>	旅鳥	○	○		○		○	
		アマツバメ	<i>Apus pacificus</i>	旅鳥	○	○		○	○	○	
チドリ	チドリ	ケリ	<i>Vanellus cinereus</i>	留鳥		○	○	○	○		
		コチドリ	<i>Charadrius dubius</i>	夏鳥・留鳥	○	○		○	○	○	
	シギ	ヤマシギ	<i>Scolopax rusticola</i>	冬鳥	○		○	○			
		アオシギ	<i>Gallinago solitaria</i>	冬鳥	○		○	○			
		タシギ	<i>Gallinago gallinago</i>	冬鳥・旅鳥	○	○	○			○	
		クサシギ	<i>Tringa ochropus</i>	冬鳥・旅鳥	○	○	○	○		○	
		タカブシギ	<i>Tringa glareola</i>	冬鳥・旅鳥		○		○			
タカ	ミサゴ	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus</i>	冬鳥・留鳥	○	○		○	○		
	タカ	ハチクマ	<i>Fernis ptilorhynchus</i>	夏鳥	○	○		○	○	○	
		トビ	<i>Milvus migrans</i>	留鳥	○	○	○	○	○	○	
		ツミ	<i>Accipiter gularis</i>	旅鳥・夏鳥・留鳥	○	○		○	○	○	
		ハイタカ	<i>Accipiter nisus</i>	冬鳥	○	○	○	○		○	
		オオタカ	<i>Accipiter gentilis</i>	留鳥・冬鳥	○	○	○	○		○	
		サシバ	<i>Butastur indicus</i>	夏鳥	○	○		○	○	○	
		ノスリ	<i>Buteo buteo</i>	冬鳥・留鳥	○	○	○	○	○	○	
クマタカ	<i>Nisaetus nipalensis</i>	留鳥		○	○			○			

表 4-3(2) 動物相 (鳥類) の調査結果

目名	科名	種名	学名	渡り区分	確認場所		確認時期				外来種等
					対象事業実施区域	周辺地域	冬	春	夏	秋	
フクロウ	フクロウ	オオコノハズク	<i>Otus lempiji</i>	夏鳥		○		○			
		フクロウ	<i>Strix uralensis</i>	留鳥	○	○	○	○	○	○	
		アオバズク	<i>Ninox scutulata</i>	夏鳥		○		○			
ブッポウソウ	カワセミ	アカショウビン	<i>Halcyon coromanda</i>	夏鳥	○	○		○	○		
		カワセミ	<i>Alcedo atthis</i>	留鳥	○	○	○	○	○	○	
		ヤマセミ	<i>Megasceryle lugubris</i>	留鳥		○		○			
	ブッポウソウ	ブッポウソウ	<i>Eurystomus orientalis</i>	旅鳥・夏鳥	○	○		○	○		
キツツキ	キツツキ	アリスイ	<i>Jynx torquilla</i>	冬鳥		○					
		コゲラ	<i>Dendrocopos kizuki</i>	留鳥	○	○	○	○	○	○	
		オオアカゲラ	<i>Dendrocopos leucotos</i>	留鳥		○		○			
		アカゲラ	<i>Dendrocopos major</i>	留鳥	○	○	○	○	○	○	
		アオゲラ	<i>Picus awokera</i>	留鳥	○	○	○	○	○	○	
ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	<i>Falco tinnunculus</i>	冬鳥・留鳥	○		○		○	○	
		ハヤブサ	<i>Falco peregrinus</i>	冬鳥・留鳥	○	○	○		○		
スズメ	ヤイロチョウ	ヤイロチョウ	<i>Fitta nympha</i>	旅鳥		○			○		
	サンショウクイ	サンショウクイ	<i>Pericrocotus divaricatus</i>	夏鳥	○	○		○	○	○	
	カササギヒタキ	サンコウチョウ	<i>Terpsiphone atrocaudata</i>	夏鳥	○	○		○	○		
	モズ	モズ	<i>Lanius bucephalus</i>	留鳥	○	○	○	○	○	○	
	カラス	カケス	<i>Garrulus glandarius</i>	留鳥	○	○	○	○	○	○	
		ハシボソガラス	<i>Corvus corone</i>	留鳥	○	○	○	○	○	○	
		ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>	留鳥	○	○	○	○	○	○	
	クイタダキ	クイタダキ	<i>Regulus regulus</i>	留鳥・冬鳥		○	○	○	○	○	
	シジュウカラ	コガラ	<i>Poecile montanus</i>	留鳥		○		○	○		
		ヤマガラ	<i>Poecile varius</i>	留鳥	○	○	○	○	○	○	
		ヒガラ	<i>Periparus ater</i>	留鳥	○	○	○	○	○	○	
		シジュウカラ	<i>Parus minor</i>	留鳥	○	○	○	○	○	○	
	ヒバリ	ヒバリ	<i>Alauda arvensis</i>	留鳥・冬鳥	○			○	○		
	ツバメ	ショウドウツバメ	<i>Riparia riparia</i>	旅鳥		○			○		
		ツバメ	<i>Hirundo rustica</i>	夏鳥	○	○		○	○	○	
		コシアカツバメ	<i>Hirundo daurica</i>	夏鳥	○	○		○	○		
		イワツバメ	<i>Delichon dasyptus</i>	夏鳥・留鳥	○	○	○	○	○	○	
	ヒヨドリ	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i>	留鳥・旅鳥	○	○	○	○	○	○	
	ウグイス	ウグイス	<i>Cettia diphone</i>	留鳥	○	○	○	○	○	○	
		ヤブサメ	<i>Urosphena squameiceps</i>	夏鳥	○	○		○	○	○	
	エナガ	エナガ	<i>Aegithalos caudatus</i>	留鳥	○	○	○	○	○	○	
	ムシクイ	オオムシクイ	<i>Phylloscopus examinandus</i>	旅鳥	○	○		○	○	○	
		エゾムシクイ	<i>Phylloscopus borealooides</i>	旅鳥	○	○		○	○		
センダイムシクイ		<i>Phylloscopus coronatus</i>	夏鳥	○	○		○	○	○		
メジロ	メジロ	<i>Zosterops japonicus</i>	留鳥	○	○	○	○	○	○		
センニュウ	エゾセンニュウ	<i>Locustella fasciolata</i>	旅鳥		○		○				
セッカ	セッカ	<i>Cisticola juncidis</i>	留鳥		○		○				
キバシリ	キバシリ	<i>Certhia familiaris</i>	留鳥	○	○	○	○	○	○		
ミソサザイ	ミソサザイ	<i>Troglodytes troglodytes</i>	留鳥	○	○	○	○	○			
ムクドリ	ムクドリ	<i>Spodiopsar cineraceus</i>	留鳥・旅鳥		○			○			
カワガラス	カワガラス	<i>Cinclus pallasii</i>	留鳥	○	○	○	○	○	○		
ヒタキ	マミジロ	<i>Zoothera sibirica</i>	夏鳥		○		○				
	トラツグミ	<i>Zoothera dauma</i>	留鳥	○	○	○	○	○			
	クロツグミ	<i>Turdus cardis</i>	夏鳥	○	○		○	○	○		
	マミチャジナイ	<i>Turdus obscurus</i>	旅鳥・冬鳥	○	○		○		○		
	シロハラ	<i>Turdus pallidus</i>	冬鳥	○	○	○	○		○		
	アカハラ	<i>Turdus chrysolaus</i>	夏鳥	○	○	○	○				
	ツグミ	<i>Turdus naumanni</i>	冬鳥	○	○	○	○		○		
	コマドリ	<i>Luscinia akahige</i>	夏鳥	○	○		○				
	コルリ	<i>Luscinia cyane</i>	夏鳥	○	○		○				
	ルリビタキ	<i>Tarsiger cyanurus</i>	冬鳥	○	○	○	○		○		
ジョウビタキ	<i>Phoenicurus auroreus</i>	冬鳥	○	○	○	○		○			

表 4-3(3) 動物相（鳥類）の調査結果

目名	科名	種名	学名	渡り区分	確認場所		確認時期				外来種等	
					対象事業実施区域	周辺地域	冬	春	夏	秋		
スズメ	ヒタキ	ヒタキ	<i>Saxicola torquatus</i>	旅鳥		○					○	
		インヒヨドリ	<i>Monticola solitarius</i>	留鳥		○	○				○	
		エンヒタキ	<i>Muscicapa griseisticta</i>	旅鳥	○	○					○	
		コサメヒタキ	<i>Muscicapa dauurica</i>	夏鳥・旅鳥	○	○		○	○	○		
		キビタキ	<i>Ficedula narcissina</i>	夏鳥・旅鳥	○	○		○	○	○		
		オオルリ	<i>Cyanoptila cyanomelana</i>	夏鳥・旅鳥	○	○		○	○			
	スズメ	スズメ	<i>Passer montanus</i>	留鳥	○	○	○	○	○	○		
	セキレイ	キセキレイ	<i>Motacilla cinerea</i>	留鳥	○	○	○	○	○	○		
		ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i>	冬鳥・留鳥	○	○	○	○	○	○		
		セグロセキレイ	<i>Motacilla grandis</i>	留鳥	○	○	○	○	○	○		
		ピンズイ	<i>Anthus hodgsoni</i>	冬鳥・旅鳥	○	○	○	○			○	
	アトリ	アトリ	<i>Fringilla montifringilla</i>	冬鳥	○	○	○	○				
		カワラヒフ	<i>Chloris sinica</i>	留鳥・冬鳥	○	○	○	○	○	○		
		マヒフ	<i>Carduelis spinus</i>	冬鳥	○	○	○	○	○			
		ベニマシコ	<i>Uragus sibiricus</i>	冬鳥	○	○	○	○				
		ウソ	<i>Pyrrhula pyrrhula</i>	冬鳥	○	○	○	○				
		シメ	<i>Coccothraustes coccothraustes</i>	冬鳥		○	○	○				
		イカル	<i>Eophona personata</i>	留鳥	○	○	○	○	○	○		
		ホオジロ	ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i>	留鳥	○	○	○	○	○	○	
	シロハラホオジロ		<i>Emberiza tristrami</i>	旅鳥	○			○				
	カシラダカ		<i>Emberiza rustica</i>	冬鳥	○	○	○	○				
	ミヤマホオジロ		<i>Emberiza elegans</i>	冬鳥	○	○	○	○				
	バジロ		<i>Emberiza sulphurata</i>	夏鳥		○		○				
アオジ	<i>Emberiza spodocephala</i>		冬鳥	○	○	○	○			○		
クロジ	<i>Emberiza variabilis</i>		冬鳥	○	○	○	○					
チメドリ	ガビチョウ	<i>Garrulax canorus</i>	—		○		○	○			○	
	ソウシチョウ	<i>Leiothrix lutea</i>	留鳥	○	○	○	○	○	○		○	
インコ	インコ	オカメインコ	<i>Nymphicus hollandicus</i>	—		○		○			○	
18目	46科	133種		種数	106種	121種	80種	114種	77種	77種	5種	

注：1. 種名及び配列は「日本鳥類目録改訂第7版」（2012年、日本鳥学会）による。
 2. 調査結果は、動物（ミゾゴイ、ハチクマ、サシバ）の調査時に確認された種を含む。
 3. 渡り区分は、「愛知の野鳥2006」（2007年、愛知県）、「愛知の野鳥1995」（1996年、愛知県）、「愛知の野鳥」（1983年、愛知県）を参考にした。
 4. 外来種等については、「ブルーデータブックあいち2021」（2021年、愛知県）の掲載種、「特定外来生物等一覧（最終更新：2021年8月）」に掲載されている特定外来生物及び「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」（2015年3月26日）の掲載種を「○」で示す。

(c) は虫類

動物相（は虫類）の調査結果は、表 4-4 に示すとおりです。

確認されたは虫類は 2 目 8 科 13 種で、そのうち対象事業実施区域内で確認されたのは 10 種です。

表 4-4 動物相（は虫類）の調査結果

目名	科名	種名	学名	確認場所		確認時期			外来種等	
				対象事業実施区域	周辺地域	春	夏	秋		
カメ	ヌマガメ	ミシシippアカミガメ	<i>Trachemys scripta elegans</i>		○	○			○	
	スッポン	ニホンスッポン	<i>Pelodiscus sinensis</i>		○	○				
有鱗	ヤモリ	ニホンヤモリ	<i>Gekko japonicus</i>		○	○				
	トカゲ	ヒガシニホントカゲ	<i>Plestiodon finitimus</i>	○	○	○	○	○		
	カナヘビ	ニホンカナヘビ	<i>Takydromus tachydromoides</i>	○	○	○	○	○		
	タカチホヘビ	タカチホヘビ	<i>Achalinus spinalis</i>	○	○	○	○			
	ナミヘビ	ジムグリ	<i>Euprepiophis conspicillatus</i>	○	○	○	○	○		
		アオダイショウ	<i>Elaphe climacophora</i>	○	○	○	○	○		
		シマヘビ	<i>Elaphe quadrivirgata</i>	○	○	○	○	○		
		ヒバカリ	<i>Hebius vibakari vibakari</i>	○	○	○	○	○		
		シロマダラ	<i>Dinodon orientale</i>	○	○		○	○		
		ヤマカガシ	<i>Rhabdophis tigrinus</i>	○	○	○	○	○		
	クサリヘビ	ニホンナムシ	<i>Gloydius blomhoffii</i>	○	○	○	○	○		
2目	8科	13種	種数	10種	13種	12種	10種	9種	1種	

注：1. 種名及び配列は「日本産爬虫両生類標準和名」（2021年4月22日改訂、日本爬虫両棲類学会）による。

2. 外来種等については、「ブルーデータブックあいち2021」（2021年、愛知県）の掲載種、「特定外来生物等一覧（最終更新：2021年8月）」に掲載されている特定外来生物及び「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」（2015年3月26日）の掲載種を「○」で示す。

4 環境調査の結果（2021年次）（1）動物

(d) 両生類

動物相（両生類）の調査結果は、表 4-5 に示すとおりです。

確認された両生類は 2 目 7 科 12 種で、そのうち対象事業実施区域内で確認されたのは 8 種です。

表 4-5 動物相（両生類）の調査結果

目名	科名	種名	学名	確認場所		確認時期			外来種等
				対象事業実施区域	周辺地域	春	夏	秋	
有尾	サンショウウオ	ミカワサンショウウオ	<i>Hynobius mikawaensis</i>		○	○			
	イモリ	アカハライモリ	<i>Cynops pyrrhogaster</i>	○	○	○	○	○	
無尾	ヒキガエル	アズマヒキガエル	<i>Bufo japonicus formosus</i>	○	○	○	○	○	
	アマガエル	ニホンアマガエル	<i>Dryophytes japonicus</i>	○	○	○	○	○	
	アカガエル	タゴガエル類	<i>Rana tagoi complex</i>	○	○	○	○	○	
		ヤマアカガエル	<i>Rana ornativentris</i>	○	○	○	○	○	
		ツチガエル	<i>Glandirana rugosa</i>	○		○	○	○	
	ナゴヤダルマガエル	<i>Pelophylax porosus brevipodus</i>		○			○		
	トノサマガエル	<i>Pelophylax nigromaculatus</i>	○	○	○	○	○		
	ヌマガエル	ヌマガエル	<i>Fejervarya kawamurai</i>		○			○	
	アオガエル	シュレーゲルアオガエル	<i>Zhangixalus schlegelii</i>	○	○	○	○		
モリアオガエル		<i>Zhangixalus arboreus</i>		○	○				
2目	7科	12種	種数	8種	11種	10種	9種	8種	0種

- 注：1. 種名及び配列は「日本産爬虫両生類標準和名」（2021年4月22日改訂、日本爬虫両棲類学会）による。
 2. 「タゴガエル類」は、2014年に長野県で確認された新種のネバタゴガエルの可能性があるが識別に至らないため、タゴガエル類とした。
 3. 外来種等については、「ブルーデータブックあいち2021」（2021年、愛知県）の掲載種、「特定外来生物等一覧（最終更新：2021年8月）」に掲載されている特定外来生物及び「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」（2015年3月26日）の掲載種を「○」で示す。

(e) 魚類

動物相 (魚類) の調査結果は、表 4-6 に示すとおりです。

確認された魚類は 4 目 6 科 13 種で、そのうち対象事業実施区域内で確認されたのは 5 種です。

表 4-6 動物相 (魚類) の調査結果

目名	科名	種名	学名	確認場所		確認時期			外来種等
				対象事業実施区域	周辺地域	春	夏	秋	
コイ	コイ	コイ(型不明)	<i>Cyprinus carpio</i>		○		○	-	○
		オイカワ	<i>Opsariichthys platypus</i>		○	○	○	-	
		カワムツ	<i>Candidia temminckii</i>		○	○	○	-	
		アブラハヤ	<i>Rhynchocypris lagowskii steindachneri</i>	○	○	○	○	○	
		タカハヤ	<i>Rhynchocypris oxycephala</i>		○	○	○	-	
		カマツカ	<i>Pseudogobio esocinus</i>		○	○	○	-	
	ドジョウ	ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>	○	○	○	○	○	
		シマドジョウ	<i>Cobitis biwae</i>		○	○	○	-	
		ホトケドジョウ	<i>Lefua echigonia</i>	○	○	○	○	○	
サケ	サケ	アマゴ	<i>Oncorhynchus masou ishikawae</i>		○	○	-		
ダツ	メダカ	メダカ	<i>Oryzias latipes</i>	○	○	○	○	○	
スズキ	ドンコ	ドンコ	<i>Odontobutis obscura</i>		○	○	○	-	
	ハゼ	カワヨシノボリ	<i>Rhinogobius flumineus</i>	○	○	○	○	○	
4目	6科	13種	種数	5種	13種	12種	12種	5種	1種

- 注：1. 種名及び配列は基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（2020年、国土交通省）による。
 2. 中部地方の在来のシマドジョウについては「日本産シマドジョウ属魚類の標準和名の提唱」（2012年、中島ら）によりニシマドジョウの和名が提唱されている。本調査で確認された個体もニシマドジョウに該当する。
 3. アマゴ及びメダカは、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（2020年、国土交通省）によると、それぞれサツキマス（アマゴ）及びミナミメダカとなるが、評価書の記載に合わせ、「アマゴ」及び「メダカ」と表記する。
 4. 外来種等については、「ブルーデータブックあいち2021」（2021年、愛知県）の掲載種、「特定外来生物等一覧（最終更新：2021年8月）」に掲載されている特定外来生物及び「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」（2015年3月26日）の掲載種を「○」で示す。
 5. 秋季は、対象事業実施区域において、ホトケドジョウを対象とした調査を実施した。

（f）昆虫類

動物相（昆虫類）の調査結果は、表4-7に示すとおりです。

確認された昆虫類は22目345科2,415種で、そのうち対象事業実施区域内で確認されたのは1,942種です。なお、確認種の詳細は、資料編に示すとおりです。

表4-7 動物相（昆虫類）の調査結果

目名	全体	確認場所		確認時期		
		対象事業 実施区域	周辺地域	春	夏	秋
トビムシ	4	4	1	3	4	2
イシノミ	1	1	1	1	1	1
カゲロウ	17	15	11	12	7	8
トンボ	36	36	26	20	20	24
ハサミムシ	3	2	2	2	2	0
カワゲラ	10	8	6	7	4	3
ナナフシ	1	1	0	1	0	0
バッタ	50	38	43	11	34	36
カマキリ	3	3	2	0	1	3
ゴキブリ	3	2	3	2	2	2
シロアリ	1	1	1	1	1	1
チャタテムシ	8	6	7	2	5	3
アザミウマ	1	1	1	0	1	0
カメムシ	280	217	225	130	178	176
ヘビトンボ	2	2	2	2	1	0
アミメカゲロウ	18	13	11	10	11	7
コウチュウ	714	560	497	422	406	245
シリアゲムシ	4	2	3	4	0	1
ハエ	185	146	126	134	73	74
トビケラ	40	38	31	32	15	24
チョウ	899	749	680	397	601	451
ハチ	135	97	106	84	73	78
22目	2,415種	1,942種	1,785種	1,277種	1,440種	1,139種

(g) 底生動物

動物相 (底生動物) の調査結果は、表 4-8 に示すとおりです。

確認された底生動物は 25 目 112 科 301 種で、そのうち対象事業実施区域内で確認されたのは 238 種です。なお、確認種の詳細は、資料編に示すとおりです。

表 4-8 動物相 (底生動物) の調査結果

目名	全体	確認場所		確認時期			
		対象事業 実施区域	周辺地域	春	夏	秋	冬
三岐腸	1	1	1	1	1	1	1
ハリヒモムシ	1	1	1	1	1	0	1
新生腹足	2	2	2	2	2	2	1
汎有肺	9	8	9	9	8	8	3
マルスダレガイ	3	3	3	3	3	3	2
ナガミミズ	1	1	0	1	1	0	1
オヨギミズ	1	1	1	1	1	0	1
イトミミズ	10	9	6	8	5	0	7
ツリミミズ	3	3	3	3	3	3	3
吻蛭	1	1	1	1	0	0	1
吻無蛭	4	4	3	3	3	3	2
ダニ	5	1	5	4	2	0	2
ヨコエビ	1	1	0	1	0	0	0
ワラジムシ	1	1	1	1	1	1	1
エビ	3	2	2	2	2	1	3
カゲロウ	39	23	38	30	26	9	31
トンボ	34	29	20	24	21	15	25
カワゲラ	10	7	8	7	6	4	8
カメムシ	17	16	6	8	11	6	9
ヘビトンボ	2	2	0	2	1	0	2
トビケラ	42	31	34	31	28	9	36
チョウ	1	0	1	1	1	0	1
ハエ	67	57	48	49	48	3	52
コウチュウ	41	33	22	28	26	14	28
ハネコケムシ	2	1	1	0	1	0	1
25目	301種	238種	216種	221種	202種	82種	222種

注：調査結果は、淡水産貝類の調査結果を含む。

(h) クモ類

動物相（クモ類）の調査結果は、表 4-9 に示すとおりです。

確認されたクモ類は 1 目 33 科 209 種で、そのうち対象事業実施区域内で確認されたのは 177 種です。なお、確認種の詳細は、資料編に示すとおりです。

表 4-9 動物相（クモ類）の調査結果

目名	科名	全体	確認場所		確認時期		
			対象事業 実施区域	周辺地域	春	夏	秋
クモ	ジグモ	1	1	0	1	0	0
	カネコトタテグモ	1	1	1	1	0	0
	トタテグモ	1	1	1	1	1	0
	エンマグモ	1	1	0	1	0	0
	ヒメグモ	33	26	25	23	20	13
	カラカラグモ	1	1	0	1	0	0
	ヨリメグモ	2	2	0	1	0	1
	ジョロウグモ	1	1	1	1	1	1
	コガネグモ	37	32	31	21	27	20
	センショウグモ	3	2	2	3	1	0
	アシナガグモ	15	15	11	13	9	10
	ピモサラグモ	1	0	1	0	1	0
	サラグモ	20	16	12	17	5	8
	ウズグモ	3	2	3	3	2	1
	タナグモ	6	6	2	5	2	3
	ナミハグモ	1	1	0	1	0	1
	ハグモ	1	1	0	1	0	0
	アシダカグモ	1	1	1	1	1	1
	シボグモ	1	1	0	1	0	0
	ササグモ	3	3	3	1	2	3
	キシダグモ	3	3	3	3	3	2
	コモリグモ	13	13	8	13	5	5
	カニグモ	15	11	12	13	7	10
	ウエムラグモ	1	1	0	1	0	0
	フクログモ	7	5	4	5	3	1
	イヅツグモ	2	2	2	2	0	1
	ネコグモ	1	1	1	1	1	1
	ウラシマグモ	1	1	0	0	1	0
	ワシグモ	6	6	3	5	1	2
	ツチフクログモ	1	1	1	1	1	1
	コマチグモ	1	1	1	1	1	1
	エビグモ	3	1	3	2	3	2
ハエトリグモ	22	17	18	16	13	12	
1目	33科	209種	177種	150種	160種	111種	100種

(i) 陸産貝類

動物相（陸産貝類）の調査結果は、表 4-10 に示すとおりです。

確認された陸産貝類は 3 目 16 科 48 種で、そのうち対象事業実施区域内で確認されたのは 28 種です。

表 4-10 動物相（陸産貝類）の調査結果

目名	科名	種名	学名	確認場所		確認時期			外来種等	
				対象事業実施区域	周辺地域	春	夏	秋		
中腹足	ヤマタニシ	ミジンヤマタニシ	<i>Nakadaella micron</i>	○	○	○	○	○		
	ゴマガイ	ヒダリマキゴマガイ	<i>Diplommatina (Sinica) pusilla</i>	○	○	○	○	○		
		イブキゴマガイ	<i>Diplommatina (Sinica) collarifera</i>		○	○	○	○		
基眼	ケンガイ	ニホンケンガイ	<i>Carychium nipponense</i>	○	○	○	○	○		
柄眼	キバサナギガイ	ナガナタネガイ	<i>Columella edentula</i>	○	○	○	○	○		
		ナタネキバサナギガイ	<i>Vertigo eogea</i>	○		○	○	○		
	キセルガイモドキ	キセルガイモドキ	<i>Mirus reinianus</i>		○	○				
	キセルガイ	ツムガタギセル	<i>Pinguiphaedusa pinguis platydera</i>		○		○		○	
		ウスベニギセル	<i>Tyrannophaedusa aurantiaca</i>		○	○	○	○		
		ミカワギセル	<i>Mesophaedusa mikawa</i>		○	○	○	○		
		ナミコギセル	<i>Euphaedusa tau</i>		○	○	○	○		
	オカクチキレガイ	トクサオカチョウジガイ	<i>Paropeas achatinaceum</i>		○	○	○	○	○	○
		ホソオカチョウジガイ	<i>Allopeas pyrula</i>		○	○	○	○	○	
		オカチョウジガイ	<i>Allopeas clavulinum kyotoense</i>	○	○	○	○	○		
	ナタネガイ	ミジンナタネガイ	<i>Punctum atomus</i>	○	○	○	○	○		
		ハリマナタネガイ	<i>Punctum japonicum</i>	○		○	○	○		
	ホソアシヒダナメクジ	イボイボナメクジ	<i>Granulilimax fuscicornis</i>		○		○			
	ナメクジ	ナメクジ	<i>Meghimatium bilineatum</i>		○	○	○	○		
		ヤマナメクジ	<i>Meghimatium fruhstorferi</i>	○	○	○	○	○		
	オカモノアラガイ	ナガオカモノアラガイ	<i>Oxyloma hirasei</i>	○	○	○	○	○		
		ヒメオカモノアラガイ	<i>Neosuccinea horticola</i>		○	○	○	○		
		コウフオカモノアラガイ	<i>Neosuccinea kofui</i>		○			○		
	ベッコウマイマイ	カサキビ	<i>Trochochlamys crenulata</i>	○	○	○	○	○		
		ヒメカサキビ	<i>Trochochlamys subcrenulata</i>	○	○	○	○	○		
		オオウエキビ	<i>Trochochlamys fraterna</i>	○	○	○	○	○		
		ハリマキビ	<i>Parakaliella harimensis</i>	○	○	○	○	○		
		キビガイ	<i>Gastrodontella stenogyra</i>	○	○	○	○	○		
		ヒメベッコウ	<i>Discoconulus sinapidium</i>	○	○	○	○	○		
		ヤクシマヒメベッコウ	<i>Discoconulus yakuensis</i>	○	○	○	○	○		
		コンタカシタラガイ	<i>Coneuplecta (Sitalina) circumcincta</i>	○	○	○	○	○		
		ウスイロシタラガイ	<i>Parasitola pallida</i>	○	○	○	○	○		
		マルシタラガイ	<i>Parasitola reinhardti</i>		○	○	○	○		
		オオクラヒメベッコウ	<i>Yamatochlamys lampra</i>	○		○	○	○		
		ウラジロベッコウ	<i>Urazirochlamys doentzii</i>	○	○	○	○	○		
		コハクガイ	ヒメコハクガイ	<i>Hawaii minuscula</i>		○	○	○	○	○
	コハクガイ		<i>Zonitoides arboreus</i>		○	○	○	○	○	○
	コウラナメクジ	チャコウラナメクジ	<i>Lehmannia valentiana</i>		○	○	○	○	○	○
ノハラナメクジ		<i>Deroceras reticulatum</i>		○	○	○	○	○	○	
ニッポンマイマイ (ナンバンマイマイ)	コベソマイマイ	<i>Satsuma myomphala</i>	○	○	○	○	○			
	ニヨリサンエンマイマイ	<i>Satsuma sp.2</i>	○		○					
	ニッポンマイマイ	<i>Satsuma japonica</i>	○	○	○	○	○			
	トウカイピロウドマイマイ	<i>Nipponochloritis oscitans</i>	○	○	○	○	○			
	コオベソマイマイ	<i>Aegista proba minula</i>	○	○	○	○	○			
オナジマイマイ	カタマメマイマイ	<i>Lepidopisum conospira</i>		○		○	○			
	マメマイマイ	<i>Trishoplita commoda</i>	○	○	○	○	○			
	イセノナミマイマイ	<i>Euhadra eoa communisiformis</i>		○	○	○	○			
	オナジマイマイ	<i>Bradybaena similis</i>		○	○	○	○	○	○	
	ウスカワマイマイ	<i>Acusta despecta sieboldiana</i>	○	○	○	○	○			
3目	16科	48種	種数	28種	44種	44種	45種	45種	6種	

注：1. 種名及び配列は基本的に「日本陸産貝類総目録」（1989年、湊 宏著）による。「科・属の一種」は幼体であり、種の同定に至っていないが、同一の科・属に属する種が確認されていない場合は一種として種数に含む。
 2. トウカイピロウドマイマイについては、「名古屋市で発見されたピロウドマイマイ類」（2014年、川瀬ら）により分類学的な再検討の必要性が提唱されている。
 3. 外来種等については、「ブルーデータブックあいち2021」（2021年、愛知県）の掲載種、「特定外来生物等一覧（最終更新：2021年8月）」に掲載されている特定外来生物及び「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」（2015年3月26日）の掲載種を「○」で示す。

(j) 淡水産貝類

動物相（淡水産貝類）の調査結果は、表 4-11 に示すとおりです。

確認された淡水産貝類は 3 目 9 科 14 種で、そのうち対象事業実施区域内で確認されたのは 13 種です。

表 4-11 動物相（淡水産貝類）の調査結果

目名	科名	種名	学名	確認場所		確認時期				外来種等
				対象事業実施区域	周辺地域	冬	春	夏	秋	
新生腹足	タニシ	マルタニシ	<i>Cipangopaludina chinensis laeta</i>	○	○		○	○	○	
	カワニナ	カワニナ	<i>Semisulcospira libertina</i>	○	○	○	○	○	○	
		カワニナ属の一種	<i>Semisulcospira</i> sp.	○	○	○	○	○	○	
汎有肺	モノアラガイ	ヒメモノアラガイ	<i>Fossaria ollula</i>	○	○		○	○	○	○
		コシダカヒメモノアラガイ	<i>Fossaria truncatula</i>		○		○			○
		ハブタエモノアラガイ	<i>Pseudosuccinea columella</i>	○	○		○	○	○	○
		モノアラガイ科の一種	<i>Lymnaeidae</i> gen. sp.	○	○		○	○		
	サカマキガイ	サカマキガイ	<i>Physa acuta</i>	○	○	○	○	○	○	○
	ヒラマキガイ	ヒラマキミズマイマイ	<i>Gyraulus chinensis spirillus</i>	○	○		○	○	○	
		ヒメヒラマキミズマイマイ	<i>Gyraulus pulcher</i>	○	○		○	○	○	
		ミズコハクガイ	<i>Gyraulus soritai</i>	○	○		○	○	○	
		ヒラマキガイモドキ	<i>Polypylis hemisphaerula</i>	○	○	○	○	○	○	
	カワコザラガイ	<i>Ferrissia</i> 属の一種	<i>Ferrissia</i> sp.	○	○	○	○	○	○	
マルスダレガイ	シジミ	タイワンシジミ	<i>Corbicula fluminea</i>	○	○		○	○	○	○
		シジミ属の一種	<i>Corbicula</i> sp.		○	○	○	○		
	マメシジミ	マメシジミ属の一種	<i>Fisidium</i> sp.	○	○	○	○	○	○	
	ドブシジミガイ	ドブシジミ	<i>Sphaerium japonicum</i>	○	○		○	○	○	
3目	9科	14種	種数	13種	14種	6種	14種	13種	13種	5種

- 注：1. 種名及び配列は基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（2020年、国土交通省）による。「科・属の一種」は外部形態が不明瞭であり、種の同定に至っていないが、同一の科・属に属する種が確認されていない場合は一種として種数に含む。
2. 調査結果は、底生動物の調査結果を含む。
3. 外来種等については、「ブルーデータブックあいち2021」（2021年、愛知県）の掲載種、「特定外来生物等一覧（最終更新：2021年8月）」に掲載されている特定外来生物及び「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」（2015年3月26日）の掲載種を「○」で示す。

b 重要な動物種の確認状況

(a) 重要な動物種の確認状況

動物相の調査における重要な動物種の確認状況を整理しました。

重要な動物種の選定基準は、表 4-12 に示すとおり、評価書において「重要な動物種及び注目すべき生息地の選定基準」で示す図書及び評価書時点の指定種を対象としました。

これらの基準に基づく、重要な動物種の確認状況は表 4-13 に示すとおりです。重要な動物種として 93 種が確認されました。

表 4-12 重要な動物種の選定基準

1	『文化財保護法』（昭和 25 年 5 月 30 日法律第 214 号）に基づく天然記念物及び特別天然記念物に指定されている種及び生息地、繁殖地、渡来地 県、市町村の文化財保護条例で指定されている天然記念物 〔区分〕特天：特別天然記念物、天：天然記念物、県：県指定、岡、豊：岡崎市、豊田市指定
2	『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律』（平成 4 年 6 月 5 日法律第 75 号）に基づく国内希少野生動植物種、国際希少野生動植物種及び緊急指定種に指定されている種及び生息地等保護区 〔区分〕国内：国内希少野生動植物種、国際：国際希少野生動植物種、緊急：緊急指定種
3	『鳥類、両生類、爬虫類、甲殻類等のレッドリスト』（2006 年 12 月、環境省）、『哺乳類、汽水・淡水魚類、昆虫類、貝類、植物 I 及び植物 II のレッドリスト』（2007 年 8 月、環境省）の選定種 〔区分〕※EX、EW、CR、EN、VU、NT、DD、LP
4	『愛知県の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブックあいち 2009 動物編』（2009 年 3 月、愛知県）の選定種 〔区分〕※EX、EW、CR、EN、VU、NT、DD、LP
5	『自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例』（昭和 48 年 3 月 30 日愛知県条例第 3 号）に基づく指定希少野生動植物種の指定種

注：1. 評価書における「重要な動物種及び注目すべき生息地の選定基準」で示す図書及び評価書時点の指定種を対象とした。

2. ※重要種の選定基準 3 及び 4 の区分

- EX：絶滅（当該地域ではすでに絶滅したと考えられる種）
- EW：野生絶滅（飼育・栽培下でのみ存続している種）
- CR：絶滅危惧 IA 類（ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種）
- EN：絶滅危惧 IB 類（IA 類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種）
- VU：絶滅危惧 II 類（絶滅の危険が増大している種）
- NT：準絶滅危惧（現時点では絶滅危険度は小さいが、生育条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種）
- DD：情報不足（評価するだけの情報が不足している種）
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群（地域的に孤立しており、地域レベルでの絶滅のおそれが高い個体群）

表 4-13(1) 重要な動物種の確認状況

区分	科名	種名	重要種の選定基準					確認場所		確認時期			
			1	2	3	4	5	対象事業実施区域	周辺地域	冬	春	夏	秋
哺乳類 (8種)	キクガシラコウモリ	キクガシラコウモリ				NT		○	○		○	○	○
	ヒナコウモリ	モモジロコウモリ				VU		○	○				○
	リス	ムササビ				NT		○	○	○	○	○	○
	ネズミ	ハタネズミ				NT			○			○	
		カヤネズミ				VU		○	○	○	○	○	○
	イタチ	テン				NT		○	○	○	○	○	○
		アナグマ				DD		○	○	○	○	○	○
	ウシ	ニホンカモシカ	特天					○	○	○	○	○	○
鳥類 (39種)	カモ	オシドリ			DD				○	○	○		○
		トモエガモ			VU	VU		○	○	○			
	サギ	ミゾゴイ			EN	EN		○	○		○		○
		チュウサギ			NT				○		○		
	クイナ	クイナ				NT			○	○			
		ヒクイナ			VU	VU		○	○		○		
	カッコウ	ツツドリ				NT		○	○		○	○	
	ヨタカ	ヨタカ			VU	VU		○	○		○	○	
	シギ	ヤマシギ				NT		○	○	○	○		
		アオシギ				NT		○	○	○	○		
		タカブシギ				VU			○		○		
	ミサゴ	ミサゴ			NT	NT		○	○		○	○	
	タカ	ハチクマ			NT	VU		○	○		○	○	○
		ツミ				NT		○	○		○	○	○
		ハイタカ			NT			○	○	○	○		○
		オオタカ		国内	NT	NT		○	○	○	○	○	
		サシバ			VU	VU		○	○		○	○	○
		クマタカ		国内	EN	EN		○	○	○		○	
	フクロウ	オオコノハズク				NT			○		○		
		フクロウ				NT		○	○	○	○	○	○
		アオバズク				NT			○		○		
	カワセミ	アカショウビン				VU		○	○		○	○	
		ヤマセミ				EN			○		○		
	ブッポウソウ	ブッポウソウ			EN	CR		○	○		○	○	
	キツツキ	オオアカゲラ				EN		○	○		○		
	ハヤブサ	ハヤブサ		国内	VU	EN		○	○	○		○	
	ヤイロチョウ	ヤイロチョウ		国内	EN	CR			○			○	
	サンショウクイ	サンショウクイ			VU	NT		○	○		○	○	○
	カササギヒタキ	サンコウチョウ				NT		○	○		○	○	
	キバシリ	キバシリ				CR		○	○	○	○	○	○
	ミソサザイ	ミソサザイ				NT		○	○	○	○	○	
	カワガラス	カワガラス				VU		○	○	○	○	○	○
	ヒタキ	マミジロ				EN			○	○		○	
		クロツグミ				NT		○	○		○	○	○
		アカハラ				VU		○	○	○	○		
		コマドリ				VU		○	○		○		
		コルリ				NT		○	○		○		
		コサメビタキ				NT		○	○		○	○	○
	ホオジロ	バジロ			NT	VU			○		○		
は虫類 (3種)	スッポン	ニホンスッポン			DD	DD		○		-	○		
	タカチホヘビ	タカチホヘビ			NT	DD		○	○	-	○	○	
	ナミヘビ	シロマダラ				DD		○	○	-		○	○
両生類 (5種)	イモリ	アカハライモリ			NT	DD		○	○	-	○	○	○
	アカガエル	ヤマアカガエル				DD		○	○	-	○	○	○
		ツチガエル				DD		○	○	-	○	○	○
		ナゴヤダルマガエル			EN	VU		○	○	-		○	
	アオガエル	モリアオガエル				NT		○	○	-	○		

表 4-13(2) 重要な動物種の確認状況

区分	科名	種名	重要種の選定基準					確認場所		確認時期			
			1	2	3	4	5	対象事業実施区域	周辺地域	冬	春	夏	秋
魚類 (4種)	ドジョウ	ホトケドジョウ			EN	VU		○	○	-	○	○	○
	サケ	アマゴ			NT				○	-	○		-
	メダカ	メダカ			VU	NT		○	○	-	○	○	○
	ドンコ	ドンコ				NT			○	-	○	○	-
昆虫類 (13種)	イトトンボ	オオイトトンボ				VU		○		-			○
		モートンイトトンボ			NT	NT		○	○	-	○	○	
	オオゴキブリ	オオゴキブリ				DD		○	○	-	○	○	○
	タイコウチ	ヒメタイコウチ				NT		○	○	○	○	○	○
	コオイムシ	コオイムシ			NT			○	○	○	○	○	○
	アメンボ	オオアメンボ				NT		○	○	-		○	○
	コガシラミズムシ	マダラコガシラミズムシ			NT	EN		○		-			○
	ゲンゴロウ	クロゲンゴロウ				VU		○		○	○	○	○
	ガムシ	エゾコガムシ			NT			○	○	-	○	○	○
	ヒメドロムシ	ケズジドロムシ			NT				○	○	○	○	○
	ホタル	ゲンジボタル	岡					○	○	○	○	○	○
	クサアブ	ネグロクサアブ			DD				○	-	○		
	ホソバトビケラ	イトウホソバトビケラ				NT		○		○	○	○	
クモ類 (8種)	カネコタテグモ科	カネコタテグモ			NT	VU		○	○	-	○		
	トタテグモ科	キノボリトタテグモ			NT	VU		○	○	-	○	○	
	コガネグモ科	コガネグモ				NT		○	○	-	○	○	
		オオトリノフンダマシ				NT		○	○	-		○	○
		トリノフンダマシ				NT		○	○	-		○	○
		シロオビトリノフンダマシ				VU		○	○	-		○	
	アカイロトリノフンダマシ				VU		○	○	-		○	○	
カニグモ科	アシナガカニグモ				VU			○	-	○		○	
陸産貝類 (9種)	キバサナギガイ	ナガナタネガイ			LP			○	○	-	○	○	○
		ナタネキバサナギガイ			VU			○		-	○	○	○
	キセルガイ	ミカワギセル			NT	NT			○	-	○	○	○
	ホソアシヒダナメクジ	イボイボナメクジ			NT				○	-		○	
	オカモノアラガイ	ナガオカモノアラガイ			NT	NT		○	○	-	○	○	○
	ベッコウマイマイ	ヒメカサキビ			NT			○	○	-	○	○	○
		オオウエキビ			DD			○	○	-	○	○	○
	ニッポンマイマイ (ナンバンマイマイ)	トウカイヒロウドマイマイ			DD			○	○	-	○	○	○
オナジマイマイ	カタマメマイマイ			VU			○	-		○	○		
淡水産貝類 (4種)	タニシ	マルタニシ			NT	NT		○	○		○	○	○
		ヒラマキガイ	ヒラマキミズマイマイ			DD		○	○		○	○	○
			ミズコハクガイ			VU		○	○		○	○	○
			ヒラマキガイモドキ			NT		○	○	○	○	○	○

注：重要種の選定基準の区分は、表 4-12 に示すとおりである。

(b) 重要な動物種の分布、生息の状況及び生息環境の状況

表 4-13 に示した重要な動物種 93 種の生態及び環境調査等の結果における生息確認状況は、表 4-14 に示すとおりです。

表 4-14(1) 重要な動物種の生態及び生息確認状況

区分	種名	生態	生息確認状況
哺乳類	キクガシラコウモリ 	<p>昼間は海食洞、洞穴、トンネル、家屋などに数頭（時に 1 頭）から数百頭の群で休息する。冬期には冬眠洞の天井から懸垂して冬眠する。夜間に単独で飛行しながら主として昆虫を捕食する。採餌場所は、森林や森林に隣接した小丘陵、河川、草原、平地などである。採餌活動は夕暮れと夜明けになされ、真夜中に特定の休息場所で休息する。交尾は秋におこなわれるが、精子は雌の生殖道内に貯蔵され冬眠から覚めてから受精する。雌は特定の出産洞で出産集団を形成して初夏に 1 仔を産む。</p> <p>（レッドデータブックあいち 2020 動物編）</p>	<p>対象事業実施区域延べ 3 地点、周辺地域 1 地点で、樹林内の岩場や林道沿いの横穴にて休息する個体が確認された。</p>
	モモジロコウモリ 	<p>昼間は洞穴で休息し、数頭から数十頭の群をつくる。冬期には定まった冬眠洞で群を形成して冬眠する。日没後に出洞して採餌し、夜明け前に戻る。食物は小型の飛行性昆虫で、森林やその周辺、河畔などで採餌する。森林では樹幹の間や樹冠部で採餌しているらしい。仔は生後 25～35 日で飛行可能になり、生後 16 ヶ月で性成熟に達する。雌は初夏に特定の洞穴で 1 仔を産む。寿命は 6 年以上。</p> <p>（レッドデータブックあいち 2020 動物編）</p>	<p>対象事業実施区域延べ 2 地点、周辺地域 1 地点で、暗渠内で休息する個体が確認された。</p>
	ムササビ  (糞)	<p>低地から亜高山帯までの山地帯森林に生息し、夜行性。樹上性で、樹洞もよく利用するほか、樹上につくった球状の巣を利用する。樹木の葉、芽、花、果実、樹皮、種子などを食べる。生活はスギ林に依存しており、スギの樹皮は巣材としても食用にも用いられ、雄花と若枝の根元は特に好んで食べる。冬と初夏に交尾し、74 日ほどの妊娠期間をへて、1 回に 1～2 仔を産む。雄が生殖可能になるまで 2 年近く必要。</p> <p>（レッドデータブックあいち 2020 動物編）</p>	<p>対象事業実施区域延べ 28 地点、周辺地域延べ 21 地点で、樹林内や草地等においてフィールドサインが確認された。</p>

表 4-14(2) 重要な動物種の生態及び生息確認状況

区分	種名	生態	生息確認状況
哺乳類	<p>ハタネズミ</p> 	<p>低地から高山にまで分布し、広葉樹林や針葉樹林にも見られるが、低地の農耕地を含む草原的環境に最も多い。地下性が強く、地表直下にトンネルを掘って生活している。植物食に最も適応したネズミ類で草本類やその根、根茎などを食べる。繁殖期は北方や高標高地では夏を中心とした1山型であるが、南方では春と秋の2山型で、1回の妊娠で1~9仔、通常3~5仔を産む。</p> <p>(レッドデータブックあいち 2020 動物編)</p>	<p>周辺地域 1 地点で、樹林内において個体が確認された。</p>
	<p>カヤネズミ</p>  <p>(巢)</p>	<p>低地から標高 1,200m 付近までの山地に分布するが、低地の草地に多く、森林内にはみられない。春から秋にかけてイネ科草本やススキのような草本の茎の途中に植物の葉を細切したものを編み上げた球巣をつくり、産仔や育仔を球巣中で行う。1回に2~8仔を産む。冬期は地下の坑道にすむ。草本の茎葉、種子、果実、昆虫などを食べる。野外での寿命は1年あまり。</p> <p>(レッドデータブックあいち 2020 動物編)</p>	<p>対象事業実施区域延べ18地点、周辺地域延べ13地点で、高茎の草地等において球巣や個体が確認された。</p>
	<p>テン</p> 	<p>森林に生息し、木登りが得意で、通常は樹洞に営巣するが、人家の天井などを利用することもある。食物はネズミなどの小哺乳類、鳥類、両生類、爬虫類、昆虫類、果実類などである。特に秋にはサルナシやアケビなどの漿果を大量に食べる。</p> <p>(レッドデータブックあいち 2020 動物編)</p>	<p>対象事業実施区域延べ42地点、周辺地域延べ81地点で、道路脇や林道、樹林内においてフィールドサインや個体が確認された。</p>
	<p>アナグマ</p>  <p>(巢)</p>	<p>低山帯の森林や低木林に巣穴のトンネルを掘って生活している。巣穴には血縁の家族群ですみ、ミミズ類、昆虫類、両生類、果実類などを食べる。繁殖期は春で、1回に1~4仔を産む。完全な「冬眠」はしないが、厳冬期には穴の中にもってなかなか外にでないことがある。秋には越冬にそなえて採餌活動の量が増える。完全な夜行性なので、アナグマの巣穴の使用状態を知るには、巣穴の入り口に立てかけた木の枝が翌朝動いているかを見ればよい。</p> <p>(レッドデータブックあいち 2020 動物編)</p>	<p>対象事業実施区域延べ11地点、周辺地域延べ7地点で、樹林内等においてフィールドサインや個体が確認された。</p>

表 4-14(3) 重要な動物種の生態及び生息確認状況

区分	種名	生態	生息確認状況
哺乳類	ニホンカモシカ 	本州、四国、九州に分布する日本固有種。近年、東北地方、中部地方を中心に分布域が拡大している。 低山帯から亜高山帯にかけてのブナ・ミズナラなどが優占する落葉広葉樹林・針広混交林に多く生息し、各種木本類の葉、広葉草本、ササ類などを選択的に採食する。反芻胃をもつ。タメ糞をする習性がある。出産期は 5～6 月、交尾期は 10～11 月、妊娠期間は 215 日で、通常 1 仔を出産。多仔出産の率は極めて低い。 (日本の哺乳類 [改訂 2 版] 2008)	対象事業実施区域延べ 15 地点、周辺地域延べ 5 地点で、樹林内等においてフィールドサインや個体が確認された。
	オシドリ 	大木の樹洞や橋のトラスなどに営巣し、ヒナは孵化するとすぐに地上に飛び降りる。冬期は比較的広い河川や池沼で越冬し、時には海上で見られることもある。開けた水面に出ることも多いが、水面に張り出した樹木の下で生活することを好む。主に植物食で水草などを食べるが、ドングリも好んで食べる。水辺から離れた尾根で採餌することもあれば、潜水して水底の餌を採ることもある。 (レッドデータブックあいち 2020 動物編)	周辺地域延べ 5 地点で、池等において個体が確認された。
	トモエガモ 	主に大きな河川の下流部や池沼に生息するが、少数が山間部の河川でオシドリの群れに混じることもある。主に植物食でドングリや草の種子を好むが、水棲の小動物なども食べる。飛来数が多い年は大規模な群れになる傾向があるが、大規模な越冬群の渡来地は局所的である。警戒心が強く捕食者や人による攪乱の影響を受けやすいことから、同一シーズンの中でも個体数は安定していない。 (レッドデータブックあいち 2020 動物編)	対象事業実施区域 1 地点で、池において個体が確認された。
鳥類	ミゾゴイ 	主に沢のある比較的暗い広葉樹林や針広混交林に生息し、二又の枝上などに営巣する。餌場としては落ち葉が厚く堆積した沢や湿地を好み、ここに多いミミズやサワガニ、昆虫などを捕食する。警戒時には、正面を向き嘴を上に向けて体を真っすぐ伸ばす独特な擬態を行う。繁殖期の夜間、高い樹上などに止まってポォーッ、ポォーッと低く太い声で鳴く。 (レッドデータブックあいち 2020 動物編)	対象事業実施区域延べ 9 地点、周辺地域延べ 113 地点で、鳴声や個体により生息が確認され、対象事業実施区域 1 地点、周辺地域 6 地点で営巣が確認された。

表 4-14(4) 重要な動物種の生態及び生息確認状況


区分	種名	生態	生息確認状況
鳥類	<p>チュウサギ</p> 	<p>夏鳥として本州以南に渡来し、西南日本では一部が越冬。北海道では稀な夏鳥。草地、水田、湿地、湖沼、河川に生息するが、水辺よりも草地を好む傾向にある。</p> <p>(日本の野鳥 590 (平凡社) 2000)</p>	<p>周辺地域 1 地点で、水田において個体が確認された。</p>
	<p>クイナ</p>	<p>冬鳥として、秋は 8 月下旬頃から飛来して、春は 5 月中旬頃までには飛去する。生息場所は伊勢・三河湾沿岸にある干潟の河口付近、埋立地や干拓地の池沼や水路、湿地、河川下流部の河川敷、平野や標高の低い丘陵地、山麓などにある池沼のヨシ原や湿地に生息する。単独または数羽で生息し、昆虫、甲殻類、軟体動物、小魚などの他、植物の実や種子なども食べる。柔らかい湿地や水中の泥の上を、長い脚指を活かして素早く歩く。僅かな量のヨシの中でも、一旦逃げ込むと姿を見つけるのは困難である。鳴き声はヒクイナよりも鋭い声でキョッ、キョッ、キョッ、あるいはクイーッ、クイーッ、クイーッあるいはキューイー、キューイー、キューイー、などと、単調なリズムで鳴く。</p> <p>(レッドデータブックあいち 2020 動物編)</p>	<p>周辺地域 1 地点で、河川近くにおいて鳴声により生息が確認された。</p>
	<p>ヒクイナ</p>	<p>沿岸部から山地までの水田や水路、河川や池沼などで周囲にヨシ原のある湿地に生息する。繁殖期は 4 月から 10 月頃で、イネ科の株の中などに営巣する。水生昆虫や軟体動物、水生植物の若葉などを採食する。繁殖期にはキョッ、キョッ、キョッ、キョ、キョ、キョ、キョ…と次第にテンポが速くなる声で鳴く。夜明けや雨上がりに鳴くことが多いが、繁殖前期は昼夜を問わず鳴く。</p> <p>(レッドデータブックあいち 2020 動物編)</p>	<p>対象事業実施区域 1 地点、周辺地域延べ 5 地点で、湿地等において鳴声により生息が確認された。</p>

表 4-14(5) 重要な動物種の生態及び生息確認状況

区分	種名	生態	生息確認状況
鳥類	ツツドリ	4 月中下旬に飛来して 8 月から 10 月にかけて飛去する。繁殖期に生息記録があるのは、主に三河山地の頂上付近から山麓近くまでの範囲である。主にセンダイムシクイに託卵して繁殖しており、雄は竹筒を叩くような低い声でポポッ、ポポッ、ポポッと鳴き、雌は早口でピィピィピィ・・・と鳴く。カッコウの仲間でも大きさもカッコウに似るが、カッコウより少し小さく色が濃い。 (レッドデータブックあいち 2020 動物編)	対象事業実施区域延べ 13 地点、周辺地域延べ 139 地点で、樹林等において鳴声や個体により生息が確認された。
	ヨタカ	4 月に渡来し、丘陵地や山地の明るい林に生息する。夜間に、甲虫、トビケラ、ガなどの昆虫類を大きな口を開け空中を飛びながら捕獲する。繁殖期の夜間にはキョキョキョ・・・とかん高い声で鳴き、複数の場合は、ゴア、ゴア、ゴアなどと鳴くことも多い。松林を好み、昼間は松の横枝上に枝と平行に止まって休息することが多いが、県内の松林の多くは現在も松枯れによって消失し続けている。本来の営巣環境は、禿山のように見える皆伐林や薪炭林、萱場などであるが、現在の県内にこのような環境は皆無である。営巣には巣材を一切用いず、地上に直接 1～2 卵を産卵して繁殖する。 (レッドデータブックあいち 2020 動物編)	対象事業実施区域 1 地点、周辺地域延べ 27 地点で、鳴声や個体により生息が確認された。
	ヤマシギ	山地から丘陵地、平野部、沿岸部までの開けた場所にある農耕地や緑地で、周辺に繁った林などのある環境を好む。樹木や繁みの多い都市公園や河川敷、工業地帯のグリーンベルトなどにも生息するが生息密度は低い。通常単独でいることが多いが、環境の良い場所では数羽が生息することもある。夕方から夜間に餌場へ飛来し、主にミミズなどの小動物を好んで捕食する。チキッ、チキッ、あるいはブーブー、などと飛びながら鳴く。 (レッドデータブックあいち 2020 動物編)	対象事業実施区域延べ 2 地点で、湿地上空において飛翔が確認された。確認数が少なく、渡り時期や冬季の確認であり、移動途中の個体若しくは越冬個体であると考えられる。

表 4-14(6) 重要な動物種の生態及び生息確認状況

区分	種名	生態	生息確認状況
鳥類	<p>アオシギ</p> 	<p>県内では標高 1,000m に近い山地から、標高の低い里山までに飛来して越冬する。標高の高い場所では溪流の周辺や草原の水路、低い場所では里山環境の水路や水田などに生息する。警戒心が非常に強く、人の姿があるとすぐに飛び去るため、よほど注意をしていないと見逃すことが多い。コンクリートの三面張りでも、河床に土砂や枯草などが溜まった環境があれば生息する。脚を伸縮して体を上下させながら、カゲロウの幼虫などの水棲昆虫や、巻貝などを捕食する。</p> <p>(レッドデータブックあいち 2020 動物編)</p>	<p>対象事業実施区域延べ 2 地点で、水田や水路において個体が確認された。確認数が少なく、渡り時期や冬季の確認であり、移動途中の個体若しくは越冬個体であると考えられる。</p>
	<p>タカブシギ</p>	<p>主に春は 4 月中旬から 5 月中旬、秋は 7 月下旬から 10 月に、県内の平野部にある水田や水路、池沼などの淡水湿地に飛来するが、特に沿岸部の干拓地で数が多い。1～十数羽の小群で生息することが多く、生息数の多い頃はあちらこちらの水田でこうした群れが普通に見られた。</p> <p>(レッドデータブックあいち 2020 動物編)</p>	<p>周辺地域 1 地点で、水田上空において飛翔が確認された。確認数が少なく、移動途中の個体若しくは越冬個体であると考えられる。</p>
	<p>ミサゴ</p> 	<p>県内で最もよく見られるのは干潟や河川の下流から河口、沿岸部にある池沼や水路で、こうした場所の獲物は主にボラである。内陸の河川やため池、ダム湖などでよく見られるようになった時期と、移入種のブラックバス釣りが盛んになった時期とは概ね一致している。水面の上空を飛び、停空飛翔の後に急降下して水中に飛び込み魚を獲る。営巣は主に水辺近くの樹木や崖、送電線の鉄塔などで、県外では海岸や島嶼で繁殖する例も多い。</p> <p>(レッドデータブックあいち 2020 動物編)</p>	<p>対象事業実施区域 1 地点、周辺地域延べ 5 地点で樹林地上空において飛翔が確認されたが、営巣は確認されていない。確認数が少なく、移動途中の一時的な利用であると考えられる。</p>

表 4-14(7) 重要な動物種の生態及び生息確認状況

区分	種名	生態	生息確認状況
鳥類	ハチクマ 	<p>繁殖期に平地近くから標高 1,000m の山地までの環境に生息し、丘陵地や山地で繁殖する。繁殖期の行動範囲は時に巣から 30km と他のタカ類の 10 倍を大きく超え、営巣地近くへの侵入者を排除する行動も少ない。アカマツやナラ類などの樹上に営巣し、育雛期の餌のほぼ全てがハチ類の幼虫や蛹で、ハチ類の少ない繁殖前期はカエルやカナヘビ、ヘビなどを捕食する。春の内陸では 4 月中旬から、秋の伊良湖では 11 月上旬頃まで観察されることもあるが、通常は 5 月上旬から 10 月上旬まで県内に生息する夏鳥である。</p> <p>(レッドデータブックあいち 2020 動物編)</p>	<p>周辺地域 12 地点で営巣が確認された。</p>
	ツミ 	<p>丘陵地や山間部の混交林や、平野部の都市公園等に生息して繁殖する。主に小型の鳥類を捕食して、アカマツやヒノキなどで営巣することが多い。都市部での獲物は、スズメなど小鳥の巣立ちビナと思われる。県内では一年を通じて記録があるが、越冬期はその大半が南へ渡るものと思われる。</p> <p>(レッドデータブックあいち 2020 動物編)</p>	<p>対象事業実施区域延べ 4 地点、周辺地域延べ 14 地点で樹林地上空において飛翔や鳴声が確認されたが、営巣は確認されていない。確認数が少なく、移動途中の一時的な利用であると考えられる。</p>
	ハイタカ 	<p>留鳥として四国以北に分布するほか、全国に冬鳥として渡来する。繁殖は北海道と本州の一部でしか確認されておらず、本州中部ではツミよりやや標高の高い山地で繁殖する。春秋に渡りが見られる。冬は平地から山地の林、農耕地、河川敷に生息する。主に小鳥類を捕食する。</p> <p>(日本の野鳥 590 (平凡社) 2000)</p>	<p>対象事業実施区域延べ 4 地点、周辺地域延べ 12 地点で飛翔やとまりが確認されたが、営巣は確認されていない。渡り時期や冬季の確認であり、移動途中の個体若しくは越冬個体であると考えられる。</p>
	オオタカ 	<p>本来は山地のアカマツでの営巣が普通であったが、松枯れにより現在ではスギや広葉樹に営巣することも普通になっている。獲物の大半は鳥類で、水に飛び込んで水鳥を襲うことも少なくない。繁殖は耕地や林のある里山環境が理想と思われるが、近年は平地の公園や林で繁殖する例も多くなった。県内では、雄は非繁殖期もテリトリーの中に留まるようである。</p> <p>(レッドデータブックあいち 2020 動物編)</p>	<p>周辺地域 3 地点で営巣が確認された。</p>

表 4-14(8) 重要な動物種の生態及び生息確認状況

区分	種名	生態	生息確認状況
鳥類	<p>サシバ</p> 	<p>本州には3月下旬から飛来して繁殖し、主に9月下旬から10月上旬に越冬地へ渡去する。アカマツを好んで営巣する種であったが、県内のアカマツは松枯れによりそのほとんどが消滅しており、近年はスギなどで繁殖する例が増えている。水田、畑、湿地、伐採跡地などの開けた土地で狩りを行うことが多く、谷に耕地が入り込んだ里山環境を主な生息地としている。主にカエル、ヘビ、トカゲ、昆虫類を捕食し、時にはヒミズやネズミ、小型の鳥類などを捕食することもある。</p> <p>（レッドデータブックあいち 2020 動物編）</p>	<p>対象事業実施区域1地点、周辺地域19地点で営巣が確認された。</p>
	<p>クマタカ</p> 	<p>県内では標高およそ400m程度以上の山地で繁殖し、急峻な谷を中心に生活する。繁殖には営巣と育雛に必要な大径木を含む営巣林が必要であり、行動圏には餌となるヤマドリやノウサギなどが生息する多様な環境が必要である。大型のタカであるが、通常は山の尾根筋や斜面から離れた場所を飛行することが少なく、開けた上空でディスプレイを行う繁殖前期以外は目にする機会が少ない。幼鳥は巣立ち後も長期間にわたり営巣林の周辺に留まることが多く、親鳥も自分のテリトリーから積極的にこの若鳥を追い出す行動はとらないようである。</p> <p>（レッドデータブックあいち 2020 動物編）</p>	<p>周辺地域延べ2地点で、樹林でのとまりや飛翔が確認された。確認数が少なく、移動途中の一時的な利用であると考えられる。</p>
	<p>オオコノハズク</p>	<p>繁殖期に尾張および三河の山間部で鳴き声や姿が確認されており、樹洞で営巣した例も数例報告されている。以前には巣箱で営巣したという報告もあるが、確認数が少ないことから県内の繁殖数やその生態等については不明な部分が多い。小型の鳥類や哺乳類、昆虫などを捕食するとされるが、越冬期にムクドリのねぐらの周辺に生息して、これを捕獲した姿を見たこともある。また、冬期に公園の樹洞で観察されることもあり、春の渡りの季節に三河湾の島嶼でも記録がある。主に繁殖期にウォツ、ウォツ、ウォツとか、ポウ、ポウ、ポウあるいはミューウ、ミューウ、などと鳴くが、他のフクロウ類のようによく通る声ではないので、その声で存在を確認することは容易でない。</p> <p>（レッドデータブックあいち 2020 動物編）</p>	<p>周辺地域1地点で鳴声により生息が確認された。</p>

表 4-14(9) 重要な動物種の生態及び生息確認状況

区分	種 名	生 態	生息確認状況
鳥類	フクロウ 	<p>古い社寺林の周囲に農地や竹林などが広がる里山を好むが、繁殖している環境は多様である。繁殖の早いものは3月上旬に産卵を始め、4月下旬には巣立ちするが、標高や気象等の条件により巣立ちが5月中旬以降の場合も少なくない。小型哺乳類、鳥類、両生類、爬虫類、昆虫類などを捕食し、雄はホウホウ、ゴロスケホウホウ、雌はワンワンワンなどと鳴く。</p> <p>(レッドデータブックあいち 2020 動物編)</p>	<p>対象事業実施区域延べ13地点、周辺地域延べ207地点で、樹林等において鳴声や個体により生息が確認された。</p>
	アオバズク	<p>4月下旬から5月上旬に渡来して、主に社寺林などの樹洞で繁殖する。日没後から夜間に、ホッホー、ホッホー、ホッホーと繰り返して鳴く。主な餌である甲虫、セミ、ガなどの昆虫類を空中や樹上、地上などで捕食する。秋の渡りは遅めで、多くは10月中旬から11月上旬頃に南方へ渡る。</p> <p>(レッドデータブックあいち 2020 動物編)</p>	<p>周辺地域延べ3地点で、鳴声により生息が確認された。</p>
	アカショウビン	<p>4月下旬から飛来が始まり、10月中には飛去する夏鳥である。繁殖は5月下旬から7月と思われ、落葉広葉樹林から針葉樹林まで幅広い植生で繁殖するが、サワガニやカタツムリ、大型昆虫、小型の魚類や両生類、爬虫類などを捕食するので、繁殖には湿潤で薄暗くこうした生物が生息する環境が必要である。容易に巣穴を空けられる朽ち木やスズメバチの巣、放置された茅葺屋根などに穴を穿って営巣する。キョロロロロ・・・と次第に小さくなる声で鳴き、飛びながら鳴く時はキョロッ、キョロッ、キョロッと少し間を空けて鳴き、渡りの季節には鳴きながら渡ることもある。通常は姿を見ることが難しいが、繁殖期には希によく目立つ場所に止まって鳴くこともある。</p> <p>(レッドデータブックあいち 2020 動物編)</p>	<p>対象事業実施区域1地点、周辺地域延べ30地点で、樹林等において鳴声により生息が確認された。</p>

表 4-14(10) 重要な動物種の生態及び生息確認状況



区分	種名	生態	生息確認状況
鳥類	<p>ヤマセミ</p> 	<p>山間部の河川や溪流、ダム湖や池沼などを餌場とし、広いなわばりを持って生息する。山地の崖に横穴を掘って繁殖するが、餌場である水辺から遠く離れた場所に営巣することも希ではない。水中に飛び込んで主に魚類を捕食するが、魚がほとんどいない沼にも飛来することから、両生類なども捕食しているものと思われる。飛びながら、キャラッ、キャラッ、ケレレレなどと鳴く。</p> <p>（レッドデータブックあいち 2020 動物編）</p>	<p>周辺地域 1 地点で、樹林内の崖地において巣が確認された。</p>
	<p>ブッポウソウ</p> 	<p>中部地方における繁殖環境は山間部の広葉樹林や針広混交林であり、営巣は社寺林の老齢木が主であった。1990 年頃より河川やダムの橋のトラスで繁殖する例が見られるようになり、2014 年からは枯れ松での営巣が確認されている。餌は主に昆虫で、飛びながら捕食する。通常は止まっている枝から飛び出して捕食するが、夕方ツバメのように上空を飛び廻りながら捕食することもある。声に特徴があり、ゲッ、ゲッ、あるいはゲゲーゲーゲー、などと鳴く。</p> <p>（レッドデータブックあいち 2020 動物編）</p>	<p>対象事業実施区域延べ 2 地点、周辺地域延べ 6 地点で、鳴声や個体により生息が確認された。</p>
	<p>オオアカゲラ</p>	<p>県内では標高およそ 1,000m 以上の原生林や、落葉広葉樹が主で針広混交の二次林などで繁殖し、周年同じ環境に生息するものも多い。ただし、繁殖期と思われる 6 月初旬に 500m 程度の標高でも複数の確認記録があるので、繁殖環境については不明な部分がある。非繁殖期には低山に移動する個体もあるが、平地までは降りず、通常は標高 300m 程度以上の場所で越冬する。キョッ、キョッ、キョッ、ケレレなどと鳴くが、他のアカゲラやアオゲラ、イカルなどもよく似た声を出すので、声だけの識別は困難と思われる。ドラミングのリズムや音でのアカゲラやアオゲラとの識別も、実際には困難であろうと思われる。</p> <p>（レッドデータブックあいち 2020 動物編）</p>	<p>周辺地域 1 地点で、鳴声により生息が確認された。</p>

表 4-14(11) 重要な動物種の生態及び生息確認状況


区分	種名	生態	生息確認状況
鳥類	ハヤブサ 	崖や高いビル、煙突などに営巣する。県内の繁殖期は概ね4月から6月と思われるが、ほぼ周年ペアでいる例もある。通常飛びながら空中で鳥類を捕獲しており、繁殖期の獲物は小型の鳥類であることが大半であるが、非繁殖期にはカモやキジなど大型の鳥類も捕食する。 (レッドデータブックあいち 2020 動物編)	対象事業実施区域延べ2地点、周辺地域延べ3地点で、飛翔により生息が確認されたが、営巣は確認されていない。確認数が少なく、移動途中の一時的な利用であると考えられる。
	ヤイロチョウ 	県内では繁殖期、深山の急峻な地形にある落葉広葉樹林や針広混交林に生息する。ポポピー、ポポピーとか、ホッヒー、ホッヒーなどと囀り、ミミズ類、ムカデ類、クサカゲロウ類、サワガニなどを捕食する。陽が当たらず薄暗い地上をホッピングで走り廻って採餌するが、その場合も多彩で美しい体の色が全く目立たないことが多い。 (レッドデータブックあいち 2020 動物編)	周辺地域延べ2地点で、鳴声により生息が確認された。
	サンショウクイ 	本州・四国に夏鳥として渡来して繁殖する。林の上空を羽ばたいて波状飛行していることが多く、高木の高いところにとまることが多い。雄は飛行中または高木の枝先にとまって「ヒリリリリ ヒリリリリ」と繰り返して囀る。 (レッドデータブックおかげき 2014)	対象事業実施区域延べ65地点、周辺地域延べ244地点で、樹林及びその周辺において鳴声や個体により広く生息が確認された。
	サンコウチョウ 	日本では夏鳥として本州以南に渡来する。平地から低山の針広混交林、針葉樹に植林等の暗い林に生息する。「ギュッギュッ」「フィィー、ホイホイホイ」と特徴的な囀りをする。雌も同じような声で鳴くことがある。 (レッドデータブックおかげき 2014)	対象事業実施区域延べ16地点、周辺地域延べ86地点で、樹林及びその周辺において鳴声や個体により広く生息が確認された。

表 4-14(12) 重要な動物種の生態及び生息確認状況

区分	種名	生態	生息確認状況
鳥類	<p>キバシリ</p> 	<p>本州では主に亜高山帯の針葉樹林に生息し、北海道では平野部でも見られる。県内で周年生息が確認されている段戸裏谷の原生林では、1975年にリョウブの樹洞で営巣が確認された。樹の幹に垂直に止まり、幹を回りながら登る習性がある。ピーピョピョ、ツリリ・・・と轉り、地鳴きはツーツリリリッ、シリリッと聞こえる。</p> <p>（レッドデータブックあいち 2020 動物編）</p>	<p>対象事業実施区域 1 地点、周辺地域 19 地点で、樹林において鳴声や個体により生息が確認された。</p>
	<p>ミソサザイ</p> 	<p>繁殖期におよそ 600m 以上の標高にある谷や沢などに生息し、主に溪流沿いの地上にコケなどを使って営巣する。繁殖期や繁殖前期にはツイリリリチャヒヒチリリ・・・、など複雑でよく通る大きな声で轉る。地鳴きはウグイスより高く小さな声で、チョッ、チョッと聞こえる。越冬期も繁殖地の山塊で生息するものが多いとされるが、以前は尾張東部丘陵の麓や木曾川下流、知多半島や渥美半島の沿岸部など、繁殖地のある山塊から遠く離れた場所でも越冬期には普通に生息が確認されていたが、近年こうした場所での記録は希となっている。</p> <p>（レッドデータブックあいち 2020 動物編）</p>	<p>対象事業実施区域延べ 10 地点、周辺地域延べ 25 地点で、樹林等において鳴声や個体により生息が確認された。</p>
	<p>カワガラス</p> 	<p>山間部の河川や溪流に周年生息して繁殖する。なわばり性で、季節移動は少ない。水中を羽搏いて泳いだり、水底を歩いたりして水棲昆虫、甲殻類、魚類等を捕食する。溪流周辺の大きな岩の隙間や砂防ダムの穴、滝の裏側、橋脚と橋桁の間などにコケを使って球形の巣を作る。ビッ、ビッと鳴き、チーチージョイジョイなどと轉る。繁殖は他の小鳥類よりかなり早く、1 月からディスプレイや巣作りの繁殖行動を始め、4 月にはヒナが巣立ちを終える。</p> <p>（レッドデータブックあいち 2020 動物編）</p>	<p>対象事業実施区域延べ 2 地点、周辺地域延べ 22 地点で、河川や沢沿い等の水域において鳴声や個体により生息が確認された。</p>

表 4-14(13) 重要な動物種の生態及び生息確認状況

区分	種名	生態	生息確認状況
鳥類	マミジロ	<p>標高 1,000m 程度以上の広葉樹林や針広混交林に生息し、地上でミミズ、昆虫などを捕食するほか、樹上で木の実を食べる。茂みに覆われた樹枝上に、草の茎、枯れ枝でわん形の巣を作り、キョロンツリィー、キョロンツリィーと囀る。空が白々と明け始める頃から囀り始め、太陽が昇り切るとあまり囀らなくなる。春の渡りでは平野部でも囀りを聞くことがあり、特に標高 600m 程度の猿投山や 400m 程度の遠望峰山の山頂近くでは確認例が多い。秋の渡りで囀ることはほとんどなく、以前は低山で集合する群れが見られたり、平野部の河川沿いや都市公園で見られることも少なくなかったが、近年こうした姿を観察する機会も少なくなっている。</p> <p>(レッドデータブックあいち 2020 動物編)</p>	周辺地域 1 地点で、樹林において鳴声により生息が確認された。
	クログミ	 <p>日本では夏鳥として九州以北に渡来する。地上を数歩跳ね歩いては、立ち止まって胸を張る。この行動を繰り返しながら、落ち葉や土を嘴でかき分けて、ミミズ類や昆虫類の幼虫を採食する。秋には木の実を食べる。林内を飛んで移動することが多い。</p> <p>(レッドデータブックおかげき 2014)</p>	対象事業実施区域延べ 27 地点、周辺地域延べ 143 地点で、樹林及びその周辺において鳴声や個体により生息が確認された。主に春～秋に確認されており、渡り時期における移動個体の一時的な利用であると考えられるが、一部は対象事業実施区域及び周辺地域で繁殖していると考えられる。
	アカハラ	<p>亜種アカハラが、標高 1,000m 程度以上の高原にある疎林で繁殖する。地上で昆虫やミミズなどを捕食するほか、樹上で木の実を食べることもある。高木の梢でキョロン、キョロン、ツイーッと囀り、地鳴きはツリーッなどと鳴く。春の渡りでは平野部の市街地でもその囀りを聞くこともあるが、越冬していた亜種オオアカハラも囀るので、姿を確認しなければ亜種の特定は困難である。</p> <p>(レッドデータブックあいち 2020 動物編)</p>	対象事業実施区域 1 地点、周辺地域 1 地点で、鳴声や個体により生息が確認された。

表 4-14(14) 重要な動物種の生態及び生息確認状況

区分	種名	生態	生息確認状況
鳥類	コマドリ	<p>山間部の広葉樹林や針広混交林で下草にササ類が繁茂する場所に生息し、地上の物陰に広葉樹の枯葉や枯れ草でわん形の巣を作る。藪の中から出て姿を見せることは少なく、ササ藪の中から聞こえてくる囀りを聞くことが多い。ヒン、カラララ・・・と大きな声で囀る。特に春の渡りではよく囀るので、平野部や半島、島嶼、市街地の公園などでもその囀りを聞くことがある。</p> <p>(レッドデータブックあいち 2020 動物編)</p>	<p>対象事業実施区域 1 地点、周辺地域延べ 4 地点で、鳴声や個体により生息が確認された。</p>
	コルリ	<p>県内では標高 700m 程度以上にある原生林や二次林に飛来し、地上の物陰に広葉樹の枯枝や枯葉などでわん形の巣を作って繁殖する。繁殖期は藪の中や低木の樹冠の下などで、チッ、チッ、チッ・・・と次第に早くなる前奏のあとに、ヒン、カラララ・・・とか、チュカチュカチュカなどと大きな声で囀る。ヒン、カラララ・・・と鳴く部分はコマドリ Erithacusakahige に似ているが、前奏のチッ、チッ、チッ・・・を加えることや、チュカチュカチュカという囀りを混ぜることで、コマドリの囀りとの識別が容易になる。地上をホッピングしながら昆虫を捕食するが、灌木の実なども食べる。春の渡りは 4 月下旬から 5 月中旬、秋は 9 月から 10 月であるが、秋は鳴かないので記録が少ない。</p> <p>(レッドデータブックあいち 2020 動物編)</p>	<p>対象事業実施区域 1 地点、周辺地域延べ 5 地点で、樹林周辺において鳴声により生息が確認された。</p>
	<p>コサメビタキ</p> 	<p>夏期に丘陵地や山地の落葉広葉樹林に飛来して繁殖する。巣は樹木の横枝に蘚苔類や樹皮、クモの糸などを使って皿形に作り、表面にウメノキゴケを貼り付けて木のコブのようにみせる。餌は主に昆虫やクモなどで、飛翔する昆虫を捕食することも多い。ティーチリリチョピリリなど細く複雑な声で囀り、地鳴きは、ツイ、ツイと聞こえる。</p> <p>(レッドデータブックあいち 2020 動物編)</p>	<p>対象事業実施区域延べ 8 地点、周辺地域延べ 33 地点で、樹林やその周辺において鳴声や個体により広く生息が確認された。</p>

表 4-14(15) 重要な動物種の生態及び生息確認状況




区分	種名	生態	生息確認状況
鳥類	ノジコ	<p>本州の山地にある疎林で、局地的に繁殖する。林縁の低い樹枝上に、枯草などでわん形の巣を作り通常 3~5 卵を産卵する。チヨ、チヨ、チョイピーピリッピなどと囀り、地鳴きはヅッ、ヅッと聞こえる。春秋の渡りでは、平野部の林や河畔林などでも確認されるが、近年は極めて希になった。</p> <p>(レッドデータブックあいち 2020 動物編)</p>	<p>周辺地域 1 地点で、樹林において鳴声と個体により生息が確認された。</p>
	ニホンスッポン	 <p>完全な淡水性。中・下流域の底が砂泥質の河川、池、沼等に生息する。貝類、甲殻類、水生昆虫、魚類などを捕食する。6~8 月に 8 個~50 個の卵を産卵する。</p> <p>(レッドデータブックあいち 2020 動物編)</p>	<p>周辺地域 1 地点で、水辺において生息が確認された。</p>
	タカチホヘビ	 <p>生息環境は森林で、山地の溪流沿いや林道上で見つける機会が多い印象があるが、平野部の社寺林にも生息することがある。乾燥にはきわめて弱い。地中性で夜間に活動し、ミミズを食する。6~8 月頃 3~13 個の卵を産む。</p> <p>(レッドデータブックあいち 2020 動物編)</p>	<p>対象事業実施区域 1 地点、周辺地域 1 地点で、樹林内において生息が確認された。</p>
は虫類	シロマダラ	 <p>樹林地で見られることが多いが、河川敷や公園等にも見られることがあり、生息環境の幅は比較的広いと考えられる。夜行性でトカゲや小型のヘビなどの爬虫類をたべると言われているが、詳しい生態は不明である。</p> <p>(レッドデータブックあいち 2020 動物編)</p>	<p>対象事業実施区域 1 地点、周辺地域延べ 3 地点で、水田や林内、道路において生息が確認された。</p>

表 4-14(16) 重要な動物種の生態及び生息確認状況

区分	種名	生態	生息確認状況
両生類	<p>アカハライモリ</p> 	<p>水田や水田横の水路、沼、ため池など多彩な止水環境にすむ。求愛期は秋口から始まり、越冬による中断を経て初夏まで。産卵期は4～6月。卵は水中の水草などに1個ずつ産み付ける。孵化した幼生は夏から秋にかけて変態し上陸する。幼体は林床で生活し数年で性成熟に達し、再び水中生活に戻る。</p> <p>（レッドデータブックあいち 2020 動物編）</p>	<p>対象事業実施区域延べ26地点、周辺地域延べ15地点で、池や湿地、水田等において、生息が確認された。</p>
	<p>ヤマアカガエル</p> 	<p>産卵・幼生の生息する水田、湿地の水中から離れて地上部で生活する。どちらかという水田や湿地の水溜りを離れて近くの山林内の林床部や山道などでよく目にする。生きた昆虫、ミミズ、クモなど動くものをとらえて食べる。カエルでは最も早く、1月末から産卵に入る。本種は冬眠しないとも、冬眠は水底の泥中であるという説もある。</p> <p>（レッドデータブックおかげき 2014）</p>	<p>対象事業実施区域延べ52地点、周辺地域延べ23地点で、水田や湿地、樹林内等において、卵塊や個体により生息が確認された。</p>
	<p>ツチガエル</p> 	<p>人の気配に驚くと水中に飛び込み、底泥や落葉の中に隠れる習性がある。産卵期は5～8月と長く、1回に数十卵ずつ水草や水中の木の枝などに卵を産み付ける。幼生にはそのまま越冬して翌年変態するもの（越冬幼生）があり、全長8cmにもなるウシガエルの越冬幼生とよく間違えられる。</p> <p>（レッドデータブックおかげき 2014）</p>	<p>対象事業実施区域延べ7地点で、草地や湿地等において、生息が確認された。</p>
	<p>ナゴヤダルマガエル</p> 	<p>近縁種のトノサマガエルに比べ、本種は水辺から離れない傾向が強く、一生を通じて低湿地で生活する。繁殖地は主に水田で、浅い池、沼など浅い止水で産卵する。繁殖期は比較的長く、5月から7月に及ぶ。</p> <p>（レッドデータブックあいち 2020 動物編）</p>	<p>周辺地域1地点で、水田において鳴声により生息が確認された。</p>

表 4-14(17) 重要な動物種の生態及び生息確認状況

区分	種名	生態	生息確認状況
両生類	モリアオガエル 	成体は森林に生息し、繁殖は池沼、湿地、山に接する水田などで行われる。県下の繁殖期は5月から7月で、雄はカララ…コロロ…、等と聞こえる繁殖音を発する。産卵時には雌雄が抱接し、水上に突き出た樹木の枝や葉、草の上などで、2時間ほどかけてクリーム状の泡巣に包まれた卵塊を産む。 (レッドデータブックあいち 2020 動物編)	周辺地域 1 地点で、鳴声により生息が確認された。
	ホトケドジョウ 	河川、池沼、農業用水路、水田、湿地などに生息する。また、これらにつながる細流に多い。夏期でも水温 27℃以下の場所で生息し、湧水や山間部から水が浸み出す場所や、その下流に多い。泥底や砂泥底を好み、日があたり水草などの植物が多い場所を好む。産卵期は 3~6 月の間で、水草などに産卵する。雑食性で、主に水生昆虫などの小型底生動物を食べる。 (レッドデータブックあいち 2020 動物編)	対象事業実施区域延べ 146 地点、周辺地域延べ 8 地点で、河川、細流、湿地において生息が確認された。
	アマゴ 	生まれてから 1 年目の春に降海するものが多い。11 月~翌年 3 月にかけて降海し、沿岸域で生活した後、5~6 月に河川に遡上する。降海後は甲殻類や小魚などを食べ、翌年の春に河川を遡上し、その秋に河川に残留していたアマゴと混じって産卵して死ぬ。孵化した仔魚は稚魚期まで産卵床内で過ごし、3~5 月にかけて浮出する。河川生活期には陸生・水生昆虫を主な餌として利用する。 (レッドデータブックあいち 2020 動物編)	周辺地域 1 地点で、河川において生息が確認された。
魚類	メダカ 	平野部から丘陵地の河川緩流域や水田、水路、ワンド、池沼、湿地に生息し、水面付近を群れて泳ぐ。塩分に対する順応性があり、海水の影響のある水域でも生息ができる。雑食性で、動物プランクトンなどを捕食する。産卵期は 5~9 月で、産卵時に雄が背鰭と臀鰭で雌を抱く。卵は水草などに付着させるが、しばらく雌の腹部に付着させたまま泳ぐことも多い。 (レッドデータブックあいち 2020 動物編)	対象事業実施区域延べ 7 地点、周辺地域 1 地点で、湿地(止水)、溜池及び河川において生息が確認された。

表 4-14(18) 重要な動物種の生態及び生息確認状況

区分	種名	生態	生息確認状況
魚類	<p>ドンコ</p> 	<p>砂礫底のある中小規模河川の緩流部を好む。湖沼、水田周辺の用排水路にも生息する。純淡水魚であり、海との行き来はしない。大きめの礫や水草等を隠れ場所とし、強いなわばりを持つ。主に夜行性で、魚類、水生昆虫の他に、甲殻類等を捕食する。4～7月に産卵する。雄が石の下に巣を作り、誘引された雌は巣の天井に卵を産み、立ち去る。雄はその後も卵を孵化するまで保護する。孵化後の仔魚は他のハゼ類と異なり、浮遊生活期を経ずに、即座に底生生活に入る。</p> <p>（レッドデータブックあいち 2020 動物編）</p>	<p>周辺地域延べ5地点で、河川において生息が確認された。</p>
	<p>オオイトトンボ</p> 	<p>成熟成虫は、平地から山間部にかけての比較的自然度の高い池沼や水田で見られることが多い。未熟成虫は、発生地からあまり移動せず、付近の草むらで見られることが多い。幼虫は、水生植物につかまっている。6～8月を中心に成虫が多く見られ、暖地では年2回発生することもあると思われる。</p> <p>（レッドデータブックあいち 2020 動物編）</p>	<p>対象事業実施区域1地点で、湿地において生息が確認された。</p>
昆虫類	<p>モートンイトトンボ</p> 	<p>成熟成虫は、湿原や休耕田など低い植生のある浅くて開放的な水域で見られる。未熟成虫は、水域からほとんど移動しないようで、成熟成虫と入り混じって見られることが多い。幼虫は、成虫の見られる水域で植物などにつかまっているのが観察される。成虫は6月頃から羽化し、成熟成虫は7月頃まで見られる。年1化である。</p> <p>（レッドデータブックあいち 2020 動物編）</p>	<p>対象事業実施区域延べ5地点、周辺地域延べ2地点で、湿地等において生息が確認された。</p>
	<p>オオゴキブリ</p> 	<p>県内では主として海岸線に近い照葉樹林に生息しているが、環境適応性の幅も広く、落葉広葉樹林や針葉樹林にも生息している。生態については朽木内で坑道を掘って家族生活をしている以外ほとんど何も判っていない。副次的ながら、本種は他の南方系種類、特に枯朽木内など類似の環境で生活する外国産クワガタムシやカブトムシ類の「越冬可能地」推定のための「指標種」にもなり得るかと思われる。</p> <p>（レッドデータブックあいち 2020 動物編）</p>	<p>対象事業実施区域延べ5地点、周辺地域5地点で、樹林等において生息が確認された。</p>

表 4-14(19) 重要な動物種の生態及び生息確認状況

区分	種名	生態	生息確認状況
昆虫類	ヒメタイコウチ 	湿地、水田や用水路、溜め池の水辺などで常に水の流入が認められる環境に生息する。小石や植物の堆積物の下などに潜み、クモ類やゴミムシ類など徘徊性の小動物を捕食する。飛翔しないため移動性が乏しい。 (レッドデータブックあいち 2020 動物編)	対象事業実施区域延べ37地点、周辺地域延べ6地点で、湿地等において生息が確認された。
	コオイムシ 	水草の多い溜め池、水田地帯の素堀の水路、休耕田や湿地の浅い水溜まり、河川のワンドなどに生息する。県内では前述した様々な環境で見られ、比較的産地・個体数は多い。 (レッドデータブックあいち 2020 動物編)	対象事業実施区域延べ57地点、周辺地域延べ33地点で、湿地や水田、水路等において生息が確認された。
	オオアメンボ 	丘陵地から山間部にかけて、周辺を樹林に囲まれた池沼などに生息する。砂防堰堤によってせき止められた湛水域でもよく見られる。樹木の葉などによって日陰となった水面を好む。 (レッドデータブックあいち 2020 動物編)	対象事業実施区域延べ2地点、周辺地域延べ2地点で、池において生息が確認された。
	マダラコガシラミズムシ 	平野部の水草が繁茂する自然度の高い池沼に生息しているが、生態については何も判っていない。 (レッドデータブックあいち 2020 動物編)	対象事業実施区域1地点で、湿地において生息が確認された。

表 4-14(20) 重要な動物種の生態及び生息確認状況

区分	種名	生態	生息確認状況
昆虫類	<p>クロゲンゴロウ</p> 	<p>水生植物の生えた池沼、水田などかなり広い水域に適応している。幼虫は 5～8 月に見られ、成虫は 8～9 月に出現し、成虫で越冬する。</p> <p>（レッドデータブックあいち 2020 動物編）</p>	<p>対象事業実施区域延べ18地点で、湿地や水田等において生息が確認された。</p>
	<p>エゾコガムシ</p> 	<p>おもに山間部の水生植物が多い湿地やため池に生息している。コガムシとエゾコガムシは分布域が重なっているが、この2種が同時に確認されることはまず無く、両種は何らかのすみ分けを行っていると考えられる。</p> <p>（レッドデータブック 2014 -日本の絶滅のおそれのある野生生物- 5 昆虫類）</p>	<p>対象事業実施区域延べ11地点、周辺地域延べ3地点で、湿地や水田において生息が確認された。</p>
	<p>ケスジドロムシ</p> 	<p>河川の上流から下流にかけて分布する。従来では、比較的大規模な河川に生息するとされていたが、支流や細流からも確認されている。ヤナギ、タケなどの流木や岸边付近の植物の根にも見られる。</p> <p>（レッドデータブック 2014 -日本の絶滅のおそれのある野生生物- 5 昆虫類）</p>	<p>周辺地域延べ39地点で、湿地等において生息が確認された。</p>
	<p>ゲンジボタル</p> 	<p>幼虫は低山地を流れる河川の、流れが緩やかな場所に生息する。1年1化で、成虫は初夏に出現する。</p> <p>（原色 川虫図鑑 2000）</p>	<p>対象事業実施区域延べ69地点、周辺地域延べ145地点で、湿地や水田、水路、河川等において生息が確認された。</p>

表 4-14(21) 重要な動物種の生態及び生息確認状況



区分	種名	生態	生息確認状況
昆虫類	ネグロクサアブ 	<p>動きは非常に鈍く、とくにメスでは長距離の飛翔をするかどうか分からないほどであるという。近年、長野県、京都府、大阪府等からの記録が見られるが、個体数は少なく、他の地域からの記録も少ない。幼虫は樹林内の朽ち木内で育つとされ、森林伐採などによる生息環境の悪化が進んでいると思われる。</p> <p>(レッドデータブック 2014 ー日本の絶滅のおそれのある野生生物ー 5 昆虫類)</p>	<p>周辺地域 1 地点で、ササ原において生息が確認された。</p>
	イトウホソバトビケラ  <p>(巢)</p>	<p>山地および低地の細流に生息する。本州では成虫は 6 月に羽化する。</p> <p>(レッドデータブックあいち 2020 動物編)</p>	<p>対象事業実施区域延べ 19 地点で、湿地等において生息が確認された。</p>
クモ類	カネコトタテグモ 	<p>崖地に約 20cm の横穴を掘り、入り口に両開きの扉を付け、その中で生活する。扉には周りのコケや土を付けてカムフラージュしている。</p> <p>(レッドデータブックあいち 2020 動物編)</p>	<p>対象事業実施区域延べ 5 地点、周辺地域延べ 2 地点で、林縁等において生息が確認された。</p>
	キノボリトタテグモ 	<p>樹皮上、石垣、崖地などの表面に袋状の住居を作る。住居の長さは約 3cm で出入口に円形の扉を付ける。扉の近くに来た多足類や昆虫類などの獲物を捕らえて、住居内に引きずり込む。住居の表面にはコケ・樹皮・土などを付着させるので見つけにくい。</p> <p>(レッドデータブックあいち 2020 動物編)</p>	<p>対象事業実施区域 2 地点、周辺地域延べ 2 地点で、林縁等において生息が確認された。</p>

表 4-14(22) 重要な動物種の生態及び生息確認状況

区分	種名	生態	生息確認状況
クモ類	コガネグモ 	草木類の間に垂直円網を張り、X 字状の糸 (かくれ帯) を付け、その中央に止まる。一般に、日当たりのよいところに多い。網の近くに不規則に糸を引き、淡緑色の卵のうを吊す。 (レッドデータブックあいち 2020 動物編)	対象事業実施区域延べ 4 地点、周辺地域延べ 3 地点で、高茎草地等において生息が確認された。
	オオトリノフンダマシ 	山間部の道沿い、ススキや広葉樹の葉裏に脚を縮めて止まっている。夜になると、大型の同心円状垂直円網を張り、主として蛾の仲間を捕らえる。 (レッドデータブックあいち 2020 動物編)	対象事業実施区域 1 地点、周辺地域延べ 4 地点で、高茎草地等において生息が確認された。
	トリノフンダマシ 	日中は山道や林縁のススキ・広葉樹の葉の裏に静止している。その様子は「鳥の糞」のように見える。夜間に、ほぼ同心円状の垂直円網を張り、主に蛾の仲間を捕らえる。 (レッドデータブックあいち 2020 動物編)	対象事業実施区域延べ 7 地点、周辺地域延べ 6 地点で、高茎草地等において生息が確認された。
	シロオビトリノフンダマシ 	日中はイネ科植物の葉裏に脚を縮めて止まっている。夜行性で草間に同心円状の水平円網を張り活動する。 (レッドデータブックあいち 2020 動物編)	対象事業実施区域 1 地点、周辺地域 1 地点で、高茎草地において生息が確認された。

表 4-14(23) 重要な動物種の生態及び生息確認状況

区分	種名	生態	生息確認状況
クモ類	アカイロトリノフンダマシ 	林縁部の笹原やススキの草原を好み、日中はそれらの葉裏に静止している。夕方から活動を始め、同心円状の水平円網を張り、主として蛾の仲間を捕らえる。 (レッドデータブックあいち 2020 動物編)	対象事業実施区域延べ 7 地点、周辺地域延べ 24 地点で、林縁や高茎草地等において生息が確認された。
	アシナガカニグモ 	山地の草原に生息し、葉上に静止し目前に近づいた小昆虫を捕食する。 (レッドデータブックあいち 2020 動物編)	周辺地域延べ 2 地点で、高茎草地において生息が確認された。
陸産貝類	ナガナタネガイ 	愛知県下では、スギ・ヒノキ植林やコナラ(落葉広葉樹)の林に生息し、夏季には、低木や草本の葉裏で確認されている。なお、葉裏に付着した状態で確認される個体は、成長途中のため、まだ螺塔の低い幼若個体であることが多い。 (レッドデータブックあいち 2020 動物編)	対象事業実施区域延べ 3 地点、周辺地域延べ 11 地点で、樹林において生息が確認された。
	ナタネキバサナギガイ 	ヨシ・ガマ類が生える水深の浅い湿地環境の水際に生息する。これらの湿地環境に隣接する水田の畦や休耕田の草地などで繁殖し、発見される場合もある。これまでに生態的な知見は全くないが、静岡市内の休耕田の環境では、春季に確認された本種の生貝が全て幼貝であった観察事例がある。この事例より、本種は、冬季までに幼貝の加入があり、越冬し翌年成熟するものの、冬季には成貝が死滅するサイクルを繰り返す可能性が推測される。寿命が 1 年程度の種かもしれない。 (レッドデータブックあいち 2020 動物編)	対象事業実施区域延べ 9 地点で、湿地において生息が確認された。

表 4-14(24) 重要な動物種の生態及び生息確認状況

区分	種名	生態	生息確認状況
陸産貝類	<p>ミカワギセル</p> 	<p>本種は三重県中部、愛知県東部、静岡県西部に分布する中型のキセルガイで、西尾市三ヶ根山を模式産地とする。山地から平野部まで点々と分布するが、寺社林や谷沿いの自然林内の落葉、朽木や礫の下に生息していることが多い。</p> <p>(レッドデータブックあいち 2020 動物編)</p>	<p>周辺地域延べ 5 地点で、樹林や民家の石垣上において生息が確認された。</p>
	<p>イボイボナメクジ</p> 	<p>他の陸産貝類が多数生息する良好な森林環境に生息する。本種は陸産貝類のみを捕食する肉食性種である。5 月末頃から産卵が確認され、卵径 1.5mm の球状の卵を産出する。1 個体が少数の卵を産出する。産卵後、3 週間ほどで孵化し、孵化後の幼体も陸貝を捕食する。</p> <p>(レッドデータブックあいち 2020 動物編)</p>	<p>周辺地域 1 地点で、樹林において生息が確認された。</p>
	<p>ナガオカモノアラガイ</p> 	<p>愛知県内での本種の確認地の環境は、水田周辺や小河川・水路周辺の主に雑草地である。小水路の壁面に付着する個体も良く確認される。本種の生態として、静岡県中部の個体の研究結果においては、産卵は 4 月と 8 月頃に 2 回のピークがあると考えられ、春型(春季新規加入群)と夏型(夏季新規加入群)は、それぞれ寿命が約半年と 1 年で異なる生活史を送る。夏型は冬に休眠するため、殻に明瞭な休止帯を有し、春型とは殻形態が異なる。</p> <p>(レッドデータブックあいち 2020 動物編)</p>	<p>対象事業実施区域延べ 3 地点、周辺地域延べ 11 地点で、水路脇、湿地において生息が確認された。</p>
	<p>ヒメカサキビ</p> 	<p>海岸林や低山地、山麓などの環境に生息する種である。スギ植林、広葉樹林などの林床の落葉堆積下に生息する。常緑樹林の若干乾き気味の林床の落葉堆積下にも見られる。</p> <p>(レッドデータブックあいち 2020 動物編)</p>	<p>対象事業実施区域延べ 8 地点、周辺地域延べ 5 地点で、樹林において生息が確認された。</p>

表 4-14(25) 重要な動物種の生態及び生息確認状況

区分	種名	生態	生息確認状況
陸産貝類	オオウエキビ 	本種は山麓地の湿った環境下に生息する。 本種に同定される個体には複数種が含まれている可能性があるなど、分類学的に未解決な部分がある。 (レッドデータブックなごや 2015 動物編)	対象事業実施区域延べ24地点、周辺地域延べ16地点で、樹林において生息が確認された。
	トウカイビロウドマイマイ 	丘陵部から山地にかけての湿度が保たれた自然林もしくは社寺林内の、主に朽ち木や瓦などが積み重なった下面に潜んでいる。春から秋の降雨後には、陸産貝類の多くは林床上を匍匐するが、本種は日中に地表には殆ど現れない。主に分解の進んだ落葉を摂食すると考えられるが、秋にはキノコ類を食べる個体が確認される例も多い。 (レッドデータブックあいち 2020 動物編)	対象事業実施区域延べ27地点、周辺地域延べ44地点で、樹林において生息が確認された。
	カタマメマイマイ 	河川河岸の河畔林の土手などで、林床にササ類やススキ類が茂る様な場所や、クズなどの植物が繁茂する草地に生息する。山地の自然林などに生息することはなく、低地の河川上中流域などの氾濫原を主な生息場所とする種である。食性については植物食で、分解の進んだ落葉などを食べて生活していると推測される。同時に幼貝と成貝が確認されるので、成熟する(成貝)までに複数年を有すると推測される。 (レッドデータブックあいち 2020 動物編)	周辺地域延べ2地点で、河川沿いの草地において生息が確認された。
淡水産貝類	マルタニシ 	かつては水田に多産したので、水質汚濁、農薬散布、用水路の改修、水田の乾田化などの影響の少ない水田を含めた低湿地には現在も比較的多くの個体が生息する。 (レッドデータブックあいち 2020 動物編)	対象事業実施区域延べ52地点、周辺地域延べ55地点で、水田、水路、湿地等において生息が確認された。

表 4-14(26) 重要な動物種の生態及び生息確認状況

区分	種名	生態	生息確認状況
淡水産貝類	<p>ヒラマキミズマイマイ</p> 	<p>丘陵地や丘陵地近くの休耕田や里山的な環境内の湧水による水たまり、湿地などに生息する。日陰になる場所であり、湿潤ではあるが、深く水がたまっていない湿地的な環境が本種の生息には必要である。河川近くの水田地帯でも休耕田が湿地化したような草原で多数の個体が越冬していることがある。そのような生息環境下には希少な水生昆虫なども生息していることが多い。</p> <p>（レッドデータブックあいち 2020 動物編）</p>	<p>対象事業実施区域延べ40地点、周辺地域延べ11地点で、水田、水路、湿地等において生息が確認された。</p>
	<p>ミズコハクガイ</p> 	<p>愛知県内での本種の確認地の環境は、主に丘陵地の湿地環境と考えられる。挺水植物の茎や葉裏などの生きた植物体や、水底の枯れた茎・葉に付着することが多く、湧水時には湿った枯死植物体の堆積した中に浅く潜っているとされる。</p> <p>（レッドデータブックあいち 2020 動物編）</p>	<p>対象事業実施区域延べ42地点、周辺地域延べ41地点で、樹林内の湿地や池において生息が確認された。</p>
	<p>ヒラマキガイモドキ</p> 	<p>多くの場合は、水田内やその周囲の小水路の泥の上や藻類上を這う個体が確認される。他の多くの淡水棲有肺類（水棲上目の種）と同様に、夏季に産卵を繰り返して個体数を急増させる傾向が見られる。冬季は個体数が減少し、殆ど水のない側溝や水溜りなどにおいて、落葉の溜まった堆積下の湿り気のある部分などで冬眠状態の個体を目にすることもある。</p> <p>（レッドデータブックあいち 2020 動物編）</p>	<p>対象事業実施区域延べ63地点、周辺地域延べ8地点で、水田、水路、湿地等において生息が確認された。</p>

（エ）調査結果の評価

a 評価方法

環境調査結果は、工事及び環境配慮事項等の実施状況を把握した上で、整理・解析を行い、表 4-15 に示す評価指標を踏まえ、本事業の実施に伴う動物相への影響を総合的に評価しました。

表 4-15 動物相の評価指標

調査項目	評価指標
動物相	種構成 種の出現状況 ※過去の動物の種構成等の比較等

注：1. 過去の動物の種構成等の比較等は、工事前の評価書調査（2007年10月～2010年8月）及び工事中の調査（2016年次）の結果と比較する。

2. 評価書以降に準拠文献の改訂等が行われており、評価書調査結果及び2016年次の確認種数等を再整理した。

b 調査結果の整理・解析

(a) 哺乳類

i. 種構成

哺乳類の種構成として、目レベルでの確認種数について、2021年次と評価書調査時及び2016年次を比較しました。種構成の比較結果は表4-16に示すとおりです。

2021年次の確認種数の合計は、評価書調査時及び2016年次に比べて2種増加しており、その変化割合は+9%でした。

2021年次の確認種数を目レベルで比較すると、評価書調査時に比べてモグラ目及びコウモリ目で各1種増加していました。また、2016年次に比べてコウモリ目及びネズミ目で1種または2種増加していましたが、モグラ目で1種減少していました。

表4-16 哺乳類の種構成の比較

目名	確認種数			確認種数の増減	
	評価書	2016年次	2021年次	評価書	2016年次
モグラ	2種	4種	3種	1	-1
コウモリ	2種	2種	3種	1	1
サル	1種	1種	1種	0	0
ウサギ	1種	1種	1種	0	0
ネズミ	7種	5種	7種	0	2
ネコ	7種	7種	7種	0	0
ウシ	3種	3種	3種	0	0
合計	23種	23種	25種	2(9%)	2(9%)

注：（ ）内の割合は、評価書調査時または2016年次の種数に対する割合を示す。

ii. 種の出現状況

哺乳類の種の出現状況として、全ての確認種の出現状況について、2021年次と評価書調査時及び2016年次を比較しました。出現状況の比較結果は表4-17に示すとおりです。

2021年次には、評価書調査時に比べて、スミスネズミ及びハツカネズミが確認されませんでした。ヒミズ、コウベモグラ及びキクガシラコウモリ等20種が継続して確認されました。また、2016年次に比べて、カワネズミ及びアズマモグラが確認されませんでした。ニホンジネズミ、ヒミズ及びキクガシラコウモリ等19種が継続して確認されました。なお、ヒミズ、キクガシラコウモリ及びニホンザル等18種が評価書調査時、2016年次及び2021年次に継続的に確認されており、モモジロコウモリ、ハタネズミ、クマネズミ属の一種及びイタチが新たに確認されました。

表 4-17 哺乳類の出現状況の比較

目名	科名	種名	確認場所						出現状況		
			評価書		2016年次		2021年次		評価書	2016年次	2021年次
			対象事業実施区域	周辺地域	対象事業実施区域	周辺地域	対象事業実施区域	周辺地域			
モグラ	トガリネズミ	カワネズミ				○				○	
		ニホンジネズミ			○			○		○	○
	モグラ	ヒミズ	○	○		○		○	○	○	○
		アズマモグラ				○					○
		コウベモグラ	○					○	○	○	○
		ニホンモグラ属の一種	○	○	○	○	○	○	○	○	
コウモリ	キクガシラコウモリ	キクガシラコウモリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		キクガシラコウモリ属の一種				○					○
	ヒナコウモリ	モモジロコウモリ					○	○			○
		イエコウモリ	○	○			○		○		○
		イエコウモリ属の一種				○	○				○
		ヒナコウモリ科の一種					○	○		○	
		コウモリ目の一種	○	○				○		○	
サル	オナガザル	ニホンザル	○	○		○	○	○	○	○	○
ウサギ	ウサギ	ノウサギ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ネズミ	リス	ニホンリス	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ムササビ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ネズミ	スミスネズミ	○							○	
		ハタネズミ							○		○
		カヤネズミ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ヒメネズミ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		アカネズミ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		クマネズミ属の一種							○		○
		ハツカネズミ	○							○	
		ネズミ科の一種				○	○		○	○	
ネコ	アライグマ	アライグマ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	イヌ	タヌキ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		キツネ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	イタチ	テン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		イタチ							○		○
		イタチ属の一種	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			アナグマ	○	○	○	○	○	○	○	○
ジャコウネコ	ハクビシン		○	○	○	○	○	○	○	○	
ウシ	イノシシ	イノシシ	○	○	○	○	○	○	○	○	
	シカ	ニホンジカ	○	○	○	○	○	○	○	○	
	ウシ	ニホンカモシカ	○	○	○	○	○	○	○	○	
7日	15科	29種	22種	21種	20種	22種	22種	23種	23種	23種	25種

注：1. 種名及び配列は「日本産哺乳類頭骨図説（増補版）」（2007年、北海道大学図書刊行会）による。
 2. アズマモグラ及びコウベモグラは個体による確認であるが、「ニホンモグラ属の一種」はフィールドサインによる確認であり、アズマモグラかコウベモグラのどちらかであるため、アズマモグラかコウベモグラが確認されている場合は種数に含まない。「キクガシラコウモリ属の一種」はキクガシラコウモリ、「イエコウモリ属の一種」はイエコウモリ、「イエコウモリ科の一種」はモモジロコウモリ、イエコウモリ及びイエコウモリ属の一種、「コウモリ目の一種」はイエコウモリ及びキクガシラコウモリである可能性が高いため、これらの種が確認されている場合は種数に含まない。「ネズミ科の一種」は坑道による確認であり、確認状況及び本調査地域における分布状況から、ヒメネズミまたはアカネズミの可能性が高いため、これらの種が確認されている場合は種数に含めない。「イタチ属の一種」はイタチかチョウセンイタチのどちらかであるため、イタチを確認している場合は種数に含めない。

4 環境調査の結果（2021年次）（1）動物

また、重要種のみでの出現状況の比較結果は表 4-18 に示すとおりです。

2021年次には、評価書調査時に比べてスミスネズミが確認されず、2016年次に比べてカワネズミ及びアズマモグラが確認されませんでした。キクガシラコウモリ、ムササビ及びカヤネズミ等6種が評価書調査時、2016年次及び2021年次に継続的に確認されており、モモジロコウモリ及びハタネズミが新たに確認されました。

表 4-18 哺乳類の出現状況の比較（重要種のみ）

目名	科名	種名	重要種の選定基準					出現状況		
			1	2	3	4	5	評価書	2016年次	2021年次
モグラ	トガリネズミ	カワネズミ				VU		○		
	モグラ	アズマモグラ				VU		○		
コウモリ	キクガシラコウモリ	キクガシラコウモリ				NT	○	○	○	
	ヒナコウモリ	モモジロコウモリ				VU			○	
ネズミ	リス	ムササビ				NT	○	○	○	
	ネズミ	スミスネズミ				NT	○			
		ハタネズミ				NT			○	
		カヤネズミ				VU	○	○	○	
ネコ	イタチ	テン				NT	○	○	○	
		アナグマ				DD	○	○	○	
ウシ	ウシ	ニホンカモシカ	特天				○	○	○	

注：1. 種名及び配列は「日本産哺乳類頭骨図説（増補版）」（2007年、北海道大学図書刊行会）による。
 2. 重要種の選定基準の区分は、表 4-12 に示すとおりである。

(b) 鳥類

i. 種構成

鳥類の種構成として、目レベルの確認種数について、2021 年次と評価書調査時及び 2016 年次を比較しました。種構成の比較結果は表 4-19 に示すとおりです。

2021 年次の確認種数の合計は、評価書調査時に比べて 8 種減少しており、その変化の割合は-6%でした。また、2016 年次に比べて 8 種増加しており、その変化割合は+6%でした。

2021 年次の確認種数を目レベルで比較すると、評価書調査時に比べてカモ目、ツル目、フクロウ目、キツツキ目及びインコ目で 1 種から 6 種まで増加していましたが、ペリカン目、カッコウ目、アマツバメ目、チドリ目、タカ目、サイチョウ目、ハヤブサ目及びスズメ目で 1 種から 10 種まで減少していました。また、2016 年次に比べてカモ目、フクロウ目、キツツキ目、スズメ目及びインコ目で 1 種から 6 種まで増加していましたが、チドリ目及びサイチョウ目で各 1 種減少していました。

表 4-19 鳥類の種構成の比較

目名	確認種数			確認種数の増減	
	評価書	2016年次	2021年次	評価書	2016年次
キジ	3種	3種	3種	0	0
カモ	5種	5種	11種	6	6
カイツブリ	1種	1種	1種	0	0
ハト	3種	3種	3種	0	0
カツオドリ	1種	1種	1種	0	0
ペリカン	8種	5種	5種	-3	0
ツル	1種	3種	3種	2	0
カッコウ	4種	3種	3種	-1	0
ヨタカ	1種	1種	1種	0	0
アマツバメ	3種	2種	2種	-1	0
チドリ	8種	8種	7種	-1	-1
タカ	11種	9種	9種	-2	0
フクロウ	1種	2種	3種	2	1
サイチョウ	1種	1種	0種	-1	-1
ブッポウソウ	4種	4種	4種	0	0
キツツキ	4種	4種	5種	1	1
ハヤブサ	3種	2種	2種	-1	0
スズメ	79種	68種	69種	-10	1
インコ	0種	0種	1種	1	1
合計	141種	125種	133種	-8(-6%)	8(6%)

注：() 内の割合は、評価書調査時または 2016 年次の種数に対する割合を示す。

ii. 種の出現状況

鳥類の種の出現状況として、全ての確認種の出現状況について、2021年次と評価書調査時及び2016年次を比較しました。出現状況の比較結果は表4-20に示すとおりです。

2021年次には、評価書調査時に比べて、ゴイサギ、バン及びジュウイチ等29種が確認されませんでした。コジュケイ、ヤマドリ及びキジ等112種が継続して確認されました。また、2016年次に比べて、ササゴイ、コサギ及びヒメアマツバメ等11種が確認されませんでした。コガモ、キンクロハジロ及びクイナ等114種が継続して確認されました。なお、コジュケイ、ヤマドリ及びキジ等103種が評価書調査時、2016年次及び2021年次に継続的に確認されており、オカヨシガモ、ヨシガモ及びハシビロガモ等10種が新たに確認されました。

表 4-20(1) 鳥類の出現状況の比較

目名	科名	種名	渡り区分	確認場所						出現状況		
				評価書		2016年次		2021年次		評価書	2016年次	2021年次
				対象事業実施区域	周辺地域	対象事業実施区域	周辺地域	対象事業実施区域	周辺地域			
キジ	キジ	コジュケイ	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ヤマドリ	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		キジ	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カモ	カモ	オンドリ	冬鳥・留鳥		○	○	○		○	○	○	○
		ヒドリガモ	冬鳥		○			○		○		○
		オカヨシガモ	冬鳥					○				○
		ヨシガモ	冬鳥					○				○
		マガモ	冬鳥		○	○	○	○	○	○	○	○
		カルガモ	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ハンビロガモ	冬鳥					○				○
		トモエガモ	冬鳥					○				○
		コガモ	冬鳥			○		○	○		○	○
		ホシハジロ	冬鳥					○				○
キンクロハジロ	冬鳥			○		○	○		○	○		
アヒル(家禽類)	—		○					○				
カイツブリ	カイツブリ	留鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	
ハト	ハト	カワラバト(ドバト)	留鳥	○	○		○	○	○	○	○	○
		キジバト	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		アオバト	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カツオドリ	ウ	カワウ	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	
ペリカン	サギ	ミンゴイ	夏鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ゴイサギ	留鳥		○				○			○
		ササゴイ	夏鳥		○		○			○	○	
		アマサギ	夏鳥		○				○			○
		アオサギ	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ダイサギ	夏鳥・冬鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		チュウサギ	留鳥	○	○			○	○	○	○	○
		コサギ	留鳥	○	○		○			○	○	
ツル	クイナ	クイナ	冬鳥				○		○		○	○
		ヒクイナ	留鳥・夏鳥				○	○	○		○	○
		バン	夏鳥・留鳥		○					○		
		オオバン	冬鳥				○	○	○		○	○
カッコウ	カッコウ	ジュウイチ	夏鳥・旅鳥		○					○		
		ホトギス	夏鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ツツドリ	夏鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		カッコウ	夏鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ヨタカ	ヨタカ	ヨタカ	夏鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	
アマツバメ	アマツバメ	ハリオアマツバメ	旅鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		アマツバメ	旅鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ヒメアマツバメ	夏鳥	○	○	○	○			○	○	○
チドリ	チドリ	ケリ	留鳥	○	○		○		○	○	○	○
		イカルチドリ	留鳥		○	○	○		○	○	○	○
		コチドリ	夏鳥・留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	シギ	ヤマシギ	冬鳥	○	○	○	○	○		○	○	○
		アオシギ	冬鳥	○	○	○	○	○		○	○	○
		タシギ	冬鳥・旅鳥		○	○	○	○	○		○	○
		アオアシシギ	旅鳥				○				○	
		クサシギ	冬鳥・旅鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		タカブシギ	冬鳥・旅鳥				○		○		○	○
イソシギ	留鳥	○	○					○				
タカ	ミサゴ	ミサゴ	冬鳥・留鳥	○	○		○	○	○	○	○	○
	タカ	ハチクマ	夏鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		トビ	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		チュウヒ	留鳥・冬鳥		○					○		
		ハイロチュウヒ	冬鳥		○					○		
		ツミ	旅鳥・夏鳥・留鳥	○	○		○	○	○	○	○	○
		ハイタカ	冬鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		オオタカ	留鳥・冬鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
サンバ	夏鳥	○	○		○	○	○	○	○	○		

4 環境調査の結果（2021年次）（1）動物

表 4-20(2) 鳥類の出現状況の比較

目名	科名	種名	渡り区分	確認場所						出現状況		
				評価書		2016年次		2021年次		評価書	2016年次	2021年次
				対象事業実施区域	周辺地域	対象事業実施区域	周辺地域	対象事業実施区域	周辺地域			
タカ	タカ	ノスリ	冬鳥・留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		クマタカ	留鳥		○		○		○	○	○	○
フクロウ	フクロウ	オオコノハズク	夏鳥						○			○
		フクロウ	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		アオバズク	夏鳥			○	○		○		○	○
サイチョウ	ヤツガシラ	ヤツガシラ	旅鳥		○		○			○	○	
ブッポウソウ	カワセミ	アカショウビン	夏鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		カワセミ	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ヤマセミ	留鳥		○	○	○		○	○	○	○
	ブッポウソウ	ブッポウソウ	旅鳥・夏鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
キツツキ	キツツキ	アリスイ	冬鳥		○		○		○	○	○	○
		コガラ	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		オオアカガラ	留鳥						○			○
		アカガラ	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		アオガラ	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	冬鳥・留鳥	○	○			○	○	○	○	○
		チゴハヤブサ	旅鳥		○		○			○	○	
		ハヤブサ	冬鳥・留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スズメ	ヤイロチョウ	ヤイロチョウ	旅鳥	○		○		○	○	○	○	○
	サンショウクイ	サンショウクイ	夏鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	カササギヒタキ	サンコウチョウ	夏鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	モズ	モズ	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	カラス	カケス	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ハシボソガラス	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ハシブトガラス	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	キクイタダキ	キクイタダキ	留鳥・冬鳥	○	○	○	○		○	○	○	○
	シジュウカラ	コガラ	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ヤマガラ	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ヒガラ	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		シジュウカラ	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ヒバリ	ヒバリ	留鳥・冬鳥	○	○		○	○		○	○	○
	ツバメ	ショウドウツバメ	旅鳥		○		○		○	○	○	○
		ツバメ	夏鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		コシアカツバメ	夏鳥		○		○		○	○	○	○
		イワツバメ	夏鳥・留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ヒヨドリ	ヒヨドリ	留鳥・旅鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ウグイス	ウグイス	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ヤブサメ	夏鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	エナガ	エナガ	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ムシクイ	オオムシクイ	旅鳥			○	○	○	○		○	○
		メボソムシクイ	旅鳥	○	○		○		○	○	○	○
		エゾムシクイ	旅鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		センダイムシクイ	夏鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	メジロ	メジロ	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	センニュウ	エゾセンニュウ	旅鳥		○				○			○
	ヨシキリ	オオヨシキリ	夏鳥		○	○	○			○	○	
	セッカ	セッカ	留鳥				○		○		○	○
	レンジャク	ヒレンジャク	旅鳥	○						○		
	キバシリ	キバシリ	留鳥			○		○	○		○	○
	ミンサザイ	ミンサザイ	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ムクドリ	ムクドリ	留鳥・旅鳥	○	○		○		○	○	○	○
		コムクドリ	旅鳥	○					○			
	カワガラス	カワガラス	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ヒタキ	マミジロ	夏鳥			○	○	○	○		○	○
		トラツグミ	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		クロツグミ	夏鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		マミチャジナイ	旅鳥・冬鳥	○	○			○	○		○	○
		シロハラ	冬鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		アカハラ	夏鳥		○		○		○		○	○

表 4-20(3) 鳥類の出現状況の比較

目名	科名	種名	渡り区分	確認場所						出現状況		
				評価書		2016年次		2021年次		評価書	2016年次	2021年次
				対象事業実施区域	周辺地域	対象事業実施区域	周辺地域	対象事業実施区域	周辺地域			
スズメ	ヒタキ	ツグミ	冬鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		コマドリ	夏鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ノゴマ	旅鳥	○	○					○		
		コルリ	夏鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ルリビタキ	冬鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ジョウビタキ	冬鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ノビタキ	旅鳥	○	○					○		
		インビヨドリ	留鳥				○		○		○	○
		エゾビタキ	旅鳥	○	○		○		○		○	○
		サメビタキ	旅鳥		○					○		
		コサメビタキ	夏鳥・旅鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		キビタキ	夏鳥・旅鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	オオルリ	夏鳥・旅鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	イワヒバリ	カヤクグリ	冬鳥		○	○	○		○	○		
	スズメ	ニュウナイスズメ	冬鳥		○					○		
		スズメ	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	セキレイ	キセキレイ	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ハクセキレイ	冬鳥・留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		セグロセキレイ	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ピンズイ		冬鳥・旅鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ムネアカタヒバリ		冬鳥・旅鳥		○					○			
タヒバリ		冬鳥		○		○			○	○		
アトリ	アトリ	冬鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	カワラヒワ	留鳥・冬鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	マヒワ	冬鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	ハギマシコ	冬鳥		○					○			
	ベニマシコ	冬鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	イスカ	冬鳥	○	○					○			
	ウソ	冬鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	シメ	冬鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	イカル	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	ホオジロ	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ホオジロ	シロハラホオジロ	旅鳥							○		○	
	ホオアカ	冬鳥		○					○			
	コホオアカ	冬鳥		○					○			
	キマユホオジロ	旅鳥	○						○			
	カシラダカ	冬鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	ミヤマホオジロ	冬鳥	○	○		○	○	○	○	○	○	
	ノジコ	夏鳥		○		○		○	○	○	○	
	アオジ	冬鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	クロジ	冬鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	オオジュリン	冬鳥		○					○			
チメドリ	ガビチョウ	—		○					○		○	
	ソウシチョウ	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
インコ	インコ	オカメインコ	—					○		○		
19目	50科	163種	種数	107種	138種	98種	120種	106種	121種	141種	125種	133種

注：1. 種名及び配列は「日本鳥類目録改訂第7版」（2012年、日本鳥学会）による。
 2. 渡り区分は、「愛知の野鳥 2006」（2007年、愛知県）、「愛知の野鳥 1995」（1996年、愛知県）、「愛知の野鳥」（1983年、愛知県）を参考にした。

4 環境調査の結果（2021年次）（1）動物

また、重要種のみので出現状況の比較結果は表 4-21 に示すとおりです。

2021 年次には、評価書調査時に比べて、ジュウイチ、イカルチドリ、チュウヒ、ハイイロチュウヒ及びホオアカが確認されませんでした。オシドリ、ミゾゴイ及びチュウサギ等 30 種が継続して確認されました。また、2016 年次に比べて、イカルチドリが確認されませんでした。クイナ、ヒクイナ及びアオバズク等 34 種が継続して確認されました。なお、オシドリ、ミゾゴイ及びツツドリ等 29 種が評価書調査時、2016 年次及び 2021 年次に継続的に確認されており、トモエガモ、タカブシギ、オオコノハズク及びオオアカゲラが新たに確認されました。

表 4-21 鳥類の出現状況の比較 (重要種のみ)

目名	科名	種名	渡り区分	重要種の選定基準					出現状況			
				1	2	3	4	5	評価書	2016年次	2021年次	
カモ	カモ	オシドリ	冬鳥・留鳥			DD			○	○	○	
		トモエガモ	冬鳥			VU	VU				○	
ペリカン	サギ	ミゾゴイ	夏鳥			EN	EN		○	○	○	
		チュウサギ	夏鳥			NT			○		○	
ツル	クイナ	クイナ	冬鳥				NT			○	○	
		ヒクイナ	留鳥・夏鳥			VU	VU			○	○	
カッコウ	カッコウ	ジュウイチ	夏鳥・旅鳥				VU		○			
		ツツドリ	夏鳥				NT		○	○	○	
ヨタカ	ヨタカ	ヨタカ	夏鳥			VU	VU		○	○	○	
チドリ	チドリ	イカルチドリ	留鳥				VU		○	○		
	シギ	ヤマシギ	冬鳥				NT		○	○	○	
		アオシギ	冬鳥					NT		○	○	○
		タカブシギ	冬鳥・旅鳥					VU				○
タカ	ミスゴ	ミスゴ	冬鳥・留鳥			NT	NT		○	○	○	
	タカ	ハチクマ	夏鳥			NT	VU		○	○	○	
		チュウヒ	留鳥・冬鳥			EN	EN		○			
		ハイロチュウヒ	冬鳥				NT		○			
		ツミ	旅鳥・夏鳥・留鳥				NT		○	○	○	
		ハイタカ	冬鳥			NT			○	○	○	
		オオタカ	留鳥・冬鳥		国内	NT	NT		○	○	○	
		サシバ	夏鳥			VU	VU		○	○	○	
クマタカ	留鳥		国内	EN	EN		○	○	○			
フクロウ	フクロウ	オオコノハズク	夏鳥				NT				○	
		フクロウ	留鳥				NT		○	○	○	
		アオバズク	夏鳥				NT			○	○	
ブッポウソウ	カワセミ	アカショウビン	夏鳥				VU		○	○	○	
		ヤマセミ	留鳥				EN		○	○	○	
	ブッポウソウ	ブッポウソウ	旅鳥・夏鳥			EN	CR		○	○	○	
キツツキ	キツツキ	オオアカゲラ	留鳥			EN				○		
ハヤブサ	ハヤブサ	ハヤブサ	冬鳥・留鳥		国内	VU	EN		○	○	○	
スズメ	ヤイロチョウ	ヤイロチョウ	旅鳥		国内	EN	CR		○	○	○	
	サンショウクイ	サンショウクイ	夏鳥			VU	NT		○	○	○	
	カササギヒタキ	サンコウチョウ	夏鳥				NT		○	○	○	
	キバシリ	キバシリ	留鳥				CR			○	○	
	ミソサザイ	ミソサザイ	留鳥				NT		○	○	○	
	カワガラス	カワガラス	留鳥				VU		○	○	○	
	ヒタキ	マミジロ	夏鳥				EN				○	○
		クロツグミ	夏鳥					NT		○	○	○
		アカハラ	夏鳥					VU		○	○	○
		コマドリ	夏鳥					VU		○	○	○
		コルリ	夏鳥					NT		○	○	○
		コサメビタキ	夏鳥・旅鳥					NT		○	○	○
	ホオジロ	ホオアカ	冬鳥					VU		○		
		ノジコ	夏鳥			NT	VU			○	○	○

注：1. 種名及び配列は「日本鳥類目録改訂第7版」（2012年、日本鳥学会）による。

2. 渡り区分は、「愛知の野鳥 2006」（2007年、愛知県）、「愛知の野鳥 1995」（1996年、愛知県）、「愛知の野鳥」（1983年、愛知県）を参考にした。

3. 重要種の選定基準の区分は、表 4-12 に示すとおりである。

（c） は虫類

i. 種構成

は虫類の種構成として、目レベル及び科レベルでの確認種数について、2021年次と評価書調査時及び2016年次を比較しました。種構成の比較結果は表4-22に示すとおりです。

2021年次の確認種数の合計は、評価書調査時に比べて1種増加しており、その変化の割合は+8%でした。また、2016年次に比べて、種数は同数であり、変化はありませんでした。

2021年次の確認種数を目レベル及び科レベルで比較すると、評価書調査時に比べてカメ目ヌマガメ科及びスッポン科で各1種増加していましたが、カメ目イシガメ科で1種減少していました。また、2016年次に比べてカメ目ヌマガメ科で1種増加していましたが、カメ目イシガメ科で1種減少していました。

表 4-22(1) は虫類の種構成の比較（目レベル）

目名	確認種数			確認種数の増減	
	評価書	2016年次	2021年次	評価書	2016年次
カメ	1種	2種	2種	1	0
有鱗	11種	11種	11種	0	0
合計	12種	13種	13種	1(8%)	0(0%)

注：（ ）内の割合は、評価書調査時または2016年次の種数に対する割合を示す。

表 4-22(2) は虫類の種構成の比較（科レベル）

目名	科名	確認種数			確認種数の増減	
		評価書	2016年次	2021年次	評価書	2016年次
カメ	イシガメ	1種	1種	0種	-1	-1
	ヌマガメ	0種	0種	1種	1	1
	スッポン	0種	1種	1種	1	0
有鱗	ヤモリ	1種	1種	1種	0	0
	トカゲ	1種	1種	1種	0	0
	カナヘビ	1種	1種	1種	0	0
	タカチホヘビ	1種	1種	1種	0	0
	ナミヘビ	6種	6種	6種	0	0
	クサリヘビ	1種	1種	1種	0	0
合計		12種	13種	13種	1(8%)	0(0%)

注：（ ）内の割合は、評価書調査時または2016年次の種数に対する割合を示す。

ii. 種の出現状況

は虫類の種の出現状況として、全ての確認種の出現状況について、2021年次と評価書調査時及び2016年次を比較しました。出現状況の比較結果は表4-23に示すとおりです。

2021年次には、評価書調査時に比べて、ニホンイシガメが確認されませんでした。また、ニホンヤモリ等11種が継続して確認されました。また、2016年次に比べて、ニホンイシガメが確認されませんでした。なお、ニホンヤモリ、ヒガシニホントカゲ及びニホンカナヘビ等11種が評価書調査時、2016年次及び2021年次に継続的に確認されており、ミシシippアカミミガメが新たに確認されました。

表4-23 は虫類の出現状況の比較

目名	科名	種名	確認場所						出現状況			
			評価書		2016年次		2021年次		評価書	2016年次	2021年次	
			対象事業実施区域	周辺地域	対象事業実施区域	周辺地域	対象事業実施区域	周辺地域				
カメ	イシガメ	ニホンイシガメ	○	○		○			○	○		
	ヌマガメ	ミシシippアカミミガメ						○			○	
	スッポン	ニホンスッポン				○		○		○	○	
有鱗	ヤモリ	ニホンヤモリ		○		○		○	○	○	○	
	トカゲ	ヒガシニホントカゲ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	カナヘビ	ニホンカナヘビ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	タカチホヘビ	タカチホヘビ		○	○	○	○	○	○	○	○	
	ナミヘビ	ジムグリ		○	○	○	○	○	○	○	○	○
		アオダイショウ		○	○	○	○	○	○	○	○	○
		シマヘビ		○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ヒバカリ		○	○	○	○	○	○	○	○	○
		シロマダラ		○	○		○	○	○	○	○	○
		ヤマカガシ		○	○	○	○	○	○	○	○	
		クサリヘビ	ニホンマムシ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12目	9科	14種	10種	12種	9種	13種	10種	13種	12種	13種	13種	

注：種名及び配列は「日本産爬虫両生類標準和名」（2021年4月22日改訂、日本爬虫両棲類学会）による。

4 環境調査の結果（2021年次）（1）動物

また、重要種のみので出現状況の比較結果は表 4-24 に示すとおりです。

2021年次には、評価書調査時及び2016年次に比べて、ニホンイシガメが確認されませんでした。なお、タカチホヘビ及びシロマダラが評価書調査時、2016年次及び2021年次に継続的に確認されました。

表 4-24 は虫類の出現状況の比較（重要種のみ）

目名	科名	種名	重要種の選定基準					出現状況		
			1	2	3	4	5	評価書	2016年次	2021年次
カメ	イシガメ	ニホンイシガメ			DD			○	○	
カメ	スッポン	ニホンスッポン			DD	DD			○	○
有鱗	タカチホヘビ	タカチホヘビ				DD		○	○	○
有鱗	ナミヘビ	シロマダラ				DD		○	○	○

注：1. 種名及び配列は「日本産爬虫両生類標準和名」（2021年4月22日改訂、日本爬虫両棲類学会）による。

2. 重要種の選定基準の区分は、表 4-12 に示すとおりである。

(d) 両生類

i. 種構成

両生類の種構成として、目レベル及び科レベルでの確認種数について、2021年次と評価書調査時及び2016年次を比較しました。種構成の比較結果は表4-25に示すとおりです。

2021年次の確認種数の合計は、評価書調査時に比べて2種増加しており、その変化の割合は+20%でした。また、2016年次に比べて3種増加しており、その変化の割合は+33%でした。

2021年次の確認種数を目レベル及び科レベルで比較すると、評価書調査時に比べて有尾目サンショウウオ科及び無尾目アオガエル科で各1種増加していました。また、2016年次に比べて有尾目サンショウウオ科及び無尾目ヌマガエル科及びアオガエル科で各1種増加していました。

表4-25(1) 両生類の種構成の比較 (目レベル)

目名	確認種数			確認種数の増減	
	評価書	2016年次	2021年次	評価書	2016年次
有尾	1種	1種	2種	1	1
無尾	9種	8種	10種	1	2
合計	10種	9種	12種	2(20%)	3(33%)

注：()内の割合は、評価書調査時または2016年次の種数に対する割合を示す。

表4-25(2) 両生類の種構成の比較 (科レベル)

目名	科名	確認種数			確認種数の増減	
		評価書	2016年次	2021年次	評価書	2016年次
有尾	サンショウウオ	0種	0種	1種	1	1
	イモリ	1種	1種	1種	0	0
無尾	ヒキガエル	1種	1種	1種	0	0
	アマガエル	1種	1種	1種	0	0
	アカガエル	5種	5種	5種	0	0
	ヌマガエル	1種	0種	1種	0	1
	アオガエル	1種	1種	2種	1	1
合計		10種	9種	12種	2(20%)	3(33%)

注：()内の割合は、評価書調査時または2016年次の種数に対する割合を示す。

ii. 種の出現状況

両生類の種の出現状況として、全ての確認種の出現状況について、2021年次と評価書調査時及び2016年次を比較しました。出現状況の比較結果は表4-26に示すとおりです。

2021年次には、評価書調査時に比べて、アカハライモリ等10種が継続して確認されました。また、2016年次に比べて、アカハライモリ等9種が継続して確認されました。なお、アカハライモリ、アズマヒキガエル及びニホンアマガエル等9種が評価書調査時、2016年次及び2021年次に継続的に確認されており、ミカワサンショウウオ及びモリアオガエルが新たに確認されました。

表 4-26 両生類の出現状況の比較

目名	科名	種名	確認場所						出現状況		
			評価書		2016年次		2021年次		評価書	2016年次	2021年次
			対象事業実施区域	周辺地域	対象事業実施区域	周辺地域	対象事業実施区域	周辺地域			
有尾	サンショウウオ	ミカワサンショウウオ						○			○
	イモリ	アカハライモリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
無尾	ヒキガエル	アズマヒキガエル	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	アマガエル	ニホンアマガエル	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	アカガエル	タゴガエル類	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ヤマアカガエル	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ツチガエル	○	○	○	○	○		○	○	○
		ナゴヤダルマガエル		○		○		○	○	○	○
	トノサマガエル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	ヌマガエル	ヌマガエル		○				○	○		○
	アオガエル	シュレーゲルアオガエル	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		モリアオガエル							○		○
2目	7科	12種	8種	10種	8種	9種	8種	11種	10種	9種	12種

- 注：1. 種名及び配列は「日本産爬虫両生類標準和名」（2021年4月22日改訂、日本爬虫両棲類学会）による。
2. 「タゴガエル類」は、2014年に長野県で確認された新種のネバタゴガエルの可能性があるが識別に至らないため、タゴガエル類とした。

また、重要種のみでの出現状況の比較結果は表 4-27 に示すとおりです。

2021 年次には、評価書調査時及び 2016 年次に比べて、アカハライモリ等 4 種が継続して確認されました。なお、アカハライモリ等 4 種が評価書調査時、2016 年次及び 2021 年次に継続的に確認されており、モリアオガエルが新たに確認されました。

表 4-27 両生類の出現状況の比較 (重要種のみ)

目名	科名	種名	重要種の選定基準					出現状況		
			1	2	3	4	5	評価書	2016 年次	2021 年次
有尾	イモリ	アカハライモリ			NT	DD		○	○	○
無尾	アカガエル	ヤマアカガエル				DD		○	○	○
		ツチガエル				DD		○	○	○
		ナゴヤダルマガエル			EN	VU		○	○	○
	アオガエル	モリアオガエル				NT			○	

注：1. 種名及び配列は「日本産爬虫両生類標準和名」（2021 年 4 月 22 日改訂、日本爬虫両棲類学会）による。

2. 重要種の選定基準の区分は、表 4-12 に示すとおりである。

（e）魚類

i. 種構成

魚類の種構成として、目レベルでの確認種数について、2021年次と評価書調査時及び2016年次を比較しました。種構成の比較結果は表4-28に示すとおりです。

2021年次の確認種数の合計は、評価書調査時に比べて6種減少しており、その変化の割合は-32%でした。また、2016年次に比べて2種減少しており、その変化割合は-13%でした。

2021年次の確認種数を目レベルで比較すると、評価書調査時に比べてコイ目で4種、サケ目及びダツ目で各1種減少していました。また、2016年次に比べてコイ目及びサケ目で各1種減少していました。

表4-28 魚類の種構成の比較

目名	確認種数			確認種数の増減	
	評価書	2016年次	2021年次	評価書	2016年次
コイ	13種	10種	9種	-4	-1
サケ	2種	2種	1種	-1	-1
ダツ	2種	1種	1種	-1	0
スズキ	2種	2種	2種	0	0
合計	19種	15種	13種	-6(-32%)	-2(-13%)

注：（ ）内の割合は、評価書調査時または2016年次の種数に対する割合を示す。

ii. 種の出現状況

魚類の種の出現状況として、全ての確認種の出現状況について、2021年次と評価書調査時及び2016年次を比較しました。出現状況の比較結果は表4-29に示すとおりです。

2021年次には、評価書調査時に比べて、ギンブナ、タイリクバラタナゴ及びカワバタモロコ等6種が確認されず、2016年次に比べて、フナ属の一種及びアユが確認されませんでした。コイ、オイカワ及びカワムツ等13種が評価書調査時、2016年次及び2021年次に継続的に確認されました。

表4-29 魚類の出現状況の比較

目名	科名	種名	確認場所						出現状況		
			評価書		2016年次		2021年次		評価書	2016年次	2021年次
			対象事業実施区域	周辺地域	対象事業実施区域	周辺地域	対象事業実施区域	周辺地域			
コイ	コイ	コイ(型不明)		○		○		○	○	○	
		ギンブナ	○	○				○			
		フナ属の一種			○	○			○		
		タイリクバラタナゴ		○				○			
		カワバタモロコ		○				○			
		オイカワ		○		○		○	○	○	
		カワムツ	○	○	○	○		○	○	○	
		アブラハヤ	○	○	○	○	○	○	○	○	
		タカハヤ		○				○	○	○	
		モツゴ		○					○		
		カマツカ		○		○		○	○	○	
		ドジョウ	ドジョウ	○	○	○	○	○	○	○	
		シマドジョウ		○		○		○	○		
	ホトケドジョウ	○	○	○	○	○	○	○			
サケ	アユ	アユ		○		○		○	○		
	サケ	アマゴ	○	○	○	○		○	○		
ダツ	メダカ	メダカ	○	○	○	○	○	○	○		
		ヒメダカ		○				○			
スズキ	ドンコ	ドンコ		○		○		○	○		
	ハゼ	カワヨシノボリ	○	○	○	○	○	○	○		
4目	7科	19種	8種	19種	8種	15種	5種	13種	19種	15種	13種

注：1. 種名及び配列は基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（2020年、国土交通省）による。

- 「フナ属の一種」は、ギンブナかゲンゴロウブナの可能性があるが、種の同定に至らないため、フナ属の一種とし、同一の科・属に属する種が確認されていない場合は一種として種数に含む。
- 中部地方の在来種シマドジョウについては「日本産シマドジョウ属魚類の標準和名の提唱」（2012年、中島ら）によりニシシマドジョウの和名が提唱されている。本調査で確認された個体もニシシマドジョウに該当する。
- アマゴ及びメダカは、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（2020年、国土交通省）によると、それぞれサツキマス（アマゴ）及びミナミメダカとなるが、評価書の記載に合わせ、「アマゴ」及び「メダカ」と表記する。

4 環境調査の結果（2021年次）（1）動物

また、重要種のみでの出現状況の比較結果は表 4-30 に示すとおりです。

2021年次には、評価書調査時及び2016年次に比べてカワバタモロコが確認されませんでした。ホトケドジョウ、アマゴ、メダカ及びドンコが評価書調査時、2016年次及び2021年次に継続的に確認されました。

表 4-30 魚類の出現状況の比較（重要種のみ）

目名	科名	種名	重要種の選定基準					出現状況		
			1	2	3	4	5	評価書	2016年次	2021年次
コイ	コイ	カワバタモロコ	豊		EN	VU		○		
	ドジョウ	ホトケドジョウ			EN	VU		○	○	○
サケ	サケ	アマゴ			NT			○	○	○
ダツ	メダカ	メダカ			VU	NT		○	○	○
スズキ	ドンコ	ドンコ				NT		○	○	○

注：1. 種名及び配列は基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（2020年、国土交通省）による。

2. アマゴ及びメダカは、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（2020年、国土交通省）によると、それぞれサツキマス（アマゴ）及びミナミメダカとなるが、評価書の記載に合わせ、「アマゴ」及び「メダカ」と表記する。

3. 重要種の選定基準の区分は、表 4-12 に示すとおりである。

(f) 昆虫類

i. 種構成

昆虫類の種構成として、目レベルでの確認種数について、2021年次と評価書調査時及び2016年次を比較しました。種構成の比較結果は表4-31に示すとおりです。

2021年次の確認種数の合計は、評価書調査時に比べて312種減少しており、その変化の割合は-11%でした。また、2016年次に比べて454種増加しており、その変化割合は+23%でした。

2021年次の確認種数を目レベルで比較すると、評価書調査時に比べて6目で1種から88種まで増加していましたが、15目で1種から138種まで減少していました。また、2016年次に比べて12目で1種から326種まで増加していましたが、3目で1種から12種まで減少していました。

表4-31 昆虫類の種構成の比較

目名	確認種数			確認種数の増減	
	評価書	2016年次	2021年次	評価書	2016年次
コムシ	1種	0種	0種	-1	0
トビムシ	6種	4種	4種	-2	0
イシムシ	1種	1種	1種	0	0
カゲロウ	15種	10種	17種	2	7
トンボ	46種	48種	36種	-10	-12
ハサミムシ	5種	3種	3種	-2	0
カワゲラ	7種	6種	10種	3	4
ナナフシ	3種	1種	1種	-2	0
バッタ	70種	60種	50種	-20	-10
カマキリ	4種	3種	3種	-1	0
ゴキブリ	2種	2種	3種	1	1
シロアリ	1種	1種	1種	0	0
チャタテムシ	8種	5種	8種	0	3
アザミウマ	0種	1種	1種	1	0
カメムシ	321種	276種	280種	-41	4
ラクダムシ	1種	1種	0種	-1	-1
ヘビトンボ	1種	2種	2種	1	0
アミメカゲロウ	22種	14種	18種	-4	4
コウチュウ	852種	644種	714種	-138	70
シリアゲムシ	6種	3種	4種	-2	1
ハエ	307種	156種	185種	-122	29
トビケラ	43種	23種	40種	-3	17
チョウ	811種	573種	899種	88	326
ハチ	194種	124種	135種	-59	11
合計	2,727種	1,961種	2,415種	-312(-11%)	454(23%)

注：1. ()内の割合は、評価書調査時または2016年次の種数に対する割合を示す。

2. 種名及び配列等の準拠文献の変更により、過去の報告値と種数が異なる場合がある。

ii. 種の出現状況

昆虫類の種の出現状況として、重要種の出現状況について、2021年次と評価書調査時及び2016年次を比較しました。重要種の出現状況の比較結果は表4-32に示すとおりです。

2021年次には、評価書調査時に比べて、エダナナフシ、チビコバンゾウムシ及びハマダラハルカ等8種が確認されず、2016年次に比べて、フタオビマダラカモドキサシガメ（オオカモドキサシガメ）、アカマダラハナムグリ及びクロカナブン等7種が確認されませんでした。モートンイトトンボ、オオゴキブリ及びヒメタイコウチ等9種が評価書調査時、2016年次及び2021年次に継続的に確認されており、オオイトトンボが新たに確認されました。

表4-32 昆虫類の出現状況の比較（重要種のみ）

目名	科名	種名	重要種の選定基準					出現状況		
			1	2	3	4	5	評価書	2016年次	2021年次
トンボ	イトトンボ	オオイトトンボ				VU			○	
		モートンイトトンボ			NT	NT	○	○	○	
ナナフシ	ナナフシ	エダナナフシ				DD	○			
ゴキブリ	オオゴキブリ	オオゴキブリ				DD	○	○	○	
カメムシ	タイコウチ	ヒメタイコウチ				NT	○	○	○	
	コオイムシ	コオイムシ			NT		○	○	○	
	アメンボ	オオアメンボ				NT	○	○	○	
	サンガメ	フタオビマダラカモドキサシガメ（オオカモドキサシガメ）			DD		○	○		
コウチュウ	ゲンゴロウ	クロゲンゴロウ				VU	○	○	○	
	ガムシ	エゾコガムシ			NT		○	○	○	
	コガネムシ	アカマダラハナムグリ			DD			○		
		クロカナブン				NT		○		
	ホタル	ゲンジボタル	岡				○	○	○	
	ハムシ	キオビクビボソハムシ				DD		○		
	ゾウムシ	チビコバンゾウムシ				DD	○			
ハエ	ハルカ	ハマダラハルカ			DD		○			
	クサアブ	ネグロクサアブ			DD		○	○		
トビケラ	ホソバトビケラ	イトウホソバトビケラ				NT		○		
チョウ	タテハチョウ	オオムラサキ			NT	NT	○	○		
		オオヒカゲ				NT	○	○		
		クロヒカゲモドキ			VU	VU	○	○		
	ヤガ	マダラウスズミケンモン				DD	○			

注：1. 種名及び配列は基本的に「グリーンデータブックあいち2018」（2018年、愛知県）による。
 2. 重要種の選定基準の区分は、表4-12に示すとおりである。
 3. イトウホソバトビケラは、評価書調査では底生動物調査で確認されている。

(g) 底生動物

i. 種構成

底生動物の種構成として、目レベルでの確認種数について、2021 年次と評価書調査時及び 2016 年次を比較しました。種構成の比較結果は表 4-33 に示すとおりです。

2021 年次の確認種数の合計は、評価書調査時に比べて 21 種減少しており、その変化の割合は-7%でした。また、2016 年次に比べて 1 種増加しており、その変化割合は 0%でした。

2021 年次の確認種数を目レベルで比較すると、評価書調査時に比べて 9 目で 1 種から 6 種まで増加していましたが、11 目で 1 種から 18 種まで減少していました。また、2016 年次に比べて 6 目で 1 種から 4 種まで増加していましたが、7 目で 1 種から 4 種まで減少していました。

表 4-33 底生動物の種構成の比較

目名	確認種数			確認種数の増減	
	評価書	2016年次	2021年次	評価書	2016年次
ザラカイメン	0種	1種	0種	0	-1
三岐腸	1種	1種	1種	0	0
ハリヒモムシ	0種	1種	1種	1	0
(紐形動物門)	(1種)	(0種)	(0種)	-1	0
新生腹足	4種	3種	2種	-2	-1
汎有肺	7種	10種	9種	2	-1
柄眼	2種	0種	0種	-2	0
マルスダレガイ	3種	3種	3種	0	0
ナガミズ	1種	1種	1種	0	0
オヨギミズ	1種	1種	1種	0	0
イトミズ	12種	7種	10種	-2	3
ツリミズ	2種	3種	3種	1	0
吻蛭	2種	1種	1種	-1	0
吻無蛭	3種	3種	4種	1	1
ダニ	1種	5種	5種	4	0
ヨコエビ	1種	0種	1種	0	1
ワラジムシ	2種	1種	1種	-1	0
エビ	4種	4種	3種	-1	-1
カゲロウ	34種	41種	39種	5	-2
トンボ	28種	30種	34種	6	4
カワゲラ	11種	10種	10種	-1	0
カメムシ	15種	17種	17種	2	0
ヘビトンボ	2種	2種	2種	0	0
トビケラ	54種	46種	42種	-12	-4
チョウ	1種	1種	1種	0	0
ハエ	85種	68種	67種	-18	-1
コウチュウ	45種	40種	41種	-4	1
ハネコケムシ	0種	0種	2種	2	2
合計	322種	300種	301種	-21(-7%)	1(0%)

- 注：1. 確認種数の () 内の数値は、同定が門までの種数を示す。
 2. 確認種数の増減の () 内の割合は、評価書調査時または 2016 年次の種数に対する割合を示す。
 3. 種名及び配列等の準拠文献の変更により、過去の報告値と種数が異なる場合がある。

ii. 種の出現状況

底生動物の種の出現状況として、重要種の出現状況について、2021年次と評価書調査時及び2016年次を比較しました。重要種の出現状況の比較結果は表4-34に示すとおりです。

2021年次には、評価書調査時に比べて、オオタニシ、ナガオカモノアラガイ及びモートンイトトンボ等5種が確認されず、2016年次に比べて、オオアメンボが確認されませんでした。マルタニシ、ヒラマキミズマイマイ及びヒラマキガイモドキ等10種が評価書調査時、2016年次及び2021年次に継続的に確認されており、マダラコガシラミズムシが新たに確認されました。なお、2021年次調査では、ナガオカモノアラガイは陸産貝類調査で、モートンイトトンボ及びオオアメンボは昆虫類調査で確認されています。

表 4-34 底生動物の出現状況の比較（重要種のみ）

目名	科名	種名	重要種の選定基準					出現状況		
			1	2	3	4	5	評価書	2016年次	2021年次
新生腹足	タニシ	マルタニシ			NT	NT		○	○	○
		オオタニシ			NT			○		
汎有肺	ヒラマキガイ	ヒラマキミズマイマイ			DD			○	○	○
		ミズコハクガイ			VU				○	○
		ヒラマキガイモドキ			NT			○	○	○
柄眼	オカモノアラガイ	ナガオカモノアラガイ			NT	NT		○		
トンボ	イトトンボ	モートンイトトンボ			NT	NT		○		
カメムシ	アメンボ	オオアメンボ				NT		○	○	
	コオイムシ	コオイムシ			NT			○	○	○
	タイコウチ	ヒメタイコウチ				NT		○	○	○
トビケラ	ホソバトビケラ	イトウホソバトビケラ				NT		○	○	○
コウチュウ	ゲンゴロウ	クロゲンゴロウ				VU		○	○	○
	コガシラミズムシ	マダラコガシラミズムシ			NT	EN				○
	ガムシ	エゾコガムシ			NT			○	○	○
	ヒメドロムシ	ケスジドロムシ			NT			○	○	○
		ミヤモトアシナガミドロムシ				NT		○		
ホタル		ゲンジボタル	岡					○	○	○

- 注：1. 種名及び配列は基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（2020年、国土交通省）による。
2. 重要種の選定基準の区分は、表4-12に示すとおりである。
3. 2016年次調査では、ナガオカモノアラガイは陸産貝類調査で、モートンイトトンボは昆虫類調査で確認されている。
4. 2021年次調査では、ナガオカモノアラガイは陸産貝類調査で、モートンイトトンボ及びオオアメンボは昆虫類調査で確認されている。

（h）クモ類

i. 種構成

クモ類の種構成として、科レベルでの確認種数について、2021年次と評価書調査時及び2016年次を比較しました。種構成の比較結果は表4-35に示すとおりです。

2021年次の確認種数の合計は、評価書調査時に比べて12種増加しており、その変化の割合は+6%でした。また、2016年次に比べて19種増加しており、その変化割合は+10%でした。

2021年次の確認種数を科レベルで比較すると、評価書調査時に比べて13科で1種から6種まで増加していましたが、11科で1種から2種まで減少していました。また、2016年次に比べて12科で1種から9種まで増加していましたが、7科で1種から2種まで減少していました。

表 4-35 クモ類の種構成の比較

目名	科名	確認種数			確認種数の増減		
		評価書	2016年次	2021年次	評価書	2016年次	
クモ	ジグモ	1種	1種	1種	0	0	
	カネコタタテグモ	1種	1種	1種	0	0	
	トタテグモ	1種	2種	1種	0	-1	
	エンマグモ	1種	1種	1種	0	0	
	ユウレイグモ	1種	1種	0種	-1	-1	
	ヒメグモ	27種	27種	33種	6	6	
	カラカラグモ	2種	0種	1種	-1	1	
	ヨリメグモ	1種	1種	2種	1	1	
	ジョロウグモ	1種	1種	1種	0	0	
	コガネグモ	38種	36種	37種	-1	1	
	センショウグモ	2種	2種	3種	1	1	
	アシナガグモ	14種	15種	15種	1	0	
	ホラヒメグモ	2種	0種	0種	-2	0	
	ピモサラグモ	0種	1種	1種	1	0	
	サラグモ	21種	11種	20種	-1	9	
	チリグモ	1種	0種	0種	-1	0	
	ウズグモ	4種	4種	3種	-1	-1	
	タナグモ	4種	5種	6種	2	1	
	ナミハグモ	1種	1種	1種	0	0	
	ハタケグモ	1種	0種	0種	-1	0	
	ハグモ	2種	0種	1種	-1	1	
	アシダカグモ	1種	1種	1種	0	0	
	シボグモ	1種	1種	1種	0	0	
	ササグモ	2種	3種	3種	1	0	
	キシダグモ	5種	5種	3種	-2	-2	
	コモリグモ	13種	14種	13種	0	-1	
	カニグモ	14種	13種	15種	1	2	
	ウエムラグモ	0種	0種	1種	1	1	
	フクログモ	4種	9種	7種	3	-2	
	イソツグモ	1種	2種	2種	1	0	
	ネコグモ	1種	1種	1種	0	0	
	ウラシマグモ	1種	2種	1種	0	-1	
	ワシグモ	4種	4種	6種	2	2	
	ツチフクログモ	1種	1種	1種	0	0	
	コマチグモ	1種	1種	1種	0	0	
	エビグモ	4種	3種	3種	-1	0	
	ハエトリグモ	18種	20種	22種	4	2	
	合計		197種	190種	209種	12(6%)	19(10%)

注：1. () 内の割合は、評価書調査時または2016年次の種数に対する割合を示す。
 2. 種名及び配列等の準拠文献の変更により、過去の報告値と種数が異なる場合がある。

ii. 種の出現状況

クモ類の種の出現状況として、重要種の出現状況について、2021年次と評価書調査時及び2016年次を比較しました。重要種の出現状況の比較結果は表4-36に示すとおりです。

2021年次には、評価書調査時に比べて、ミナミコモリグモ及びカトウツケオグモが確認されず、2016年次に比べて、キシノウエトタテグモ、コケオニグモ、ミナミコモリグモ及びカトウツケオグモが確認されませんでした。カネコトタテグモ、キノボリトタテグモ及びコガネグモ等8種が評価書調査時、2016年次及び2021年次に継続的に確認されました。

表4-36 クモ類の出現状況の比較（重要種のみ）

目名	科名	種名	重要種の選定基準					出現状況		
			1	2	3	4	5	評価書	2016年次	2021年次
クモ	カネコトタテグモ	カネコトタテグモ			NT	VU		○	○	○
	トタテグモ	キノボリトタテグモ			NT	VU		○	○	○
		キシノウエトタテグモ			NT	EN			○	
	コガネグモ	コケオニグモ				EN			○	
		コガネグモ				NT		○	○	○
		オオトリノフンダマシ				NT		○	○	○
		トリノフンダマシ				NT		○	○	○
		シロオビトリノフンダマシ				VU		○	○	○
	アカイトトリノフンダマシ				VU		○	○	○	
	コモリグモ	ミナミコモリグモ				VU		○	○	
	カニグモ	アシナガカニグモ				VU		○	○	○
		カトウツケオグモ				EN		○	○	

注：1. 種名及び配列は基本的に「グリーンデータブックあいち2018」（2018年、愛知県）による。

2. 重要種の選定基準の区分は、表4-12に示すとおりである。

(i) 陸産貝類

i. 種構成

陸産貝類の種構成として、目レベルでの確認種数について、2021年次と評価書調査時及び2016年次を比較しました。種構成の比較結果は表4-37に示すとおりです。

2021年次の確認種数の合計は、評価書調査時及び2016年次に比べて1種増加しており、その変化の割合は+2%でした。

2021年次の確認種数を目レベルで比較すると、評価書調査時及び2016年次に比べて柄眼目で1種増加していました。

表 4-37 陸産貝類の種構成の比較

目名	確認種数			確認種数の増減	
	評価書	2016年次	2021年次	評価書	2016年次
中腹足	3種	3種	3種	0	0
基眼	1種	1種	1種	0	0
柄眼	43種	43種	44種	1	1
合計	47種	47種	48種	1(2%)	1(2%)

注：（ ）内の割合は、評価書調査時または2016年次の種数に対する割合を示す。

ii. 種の出現状況

陸産貝類の種の出現状況として、重要種の出現状況について、2021 年次と評価書調査時及び 2016 年次を比較しました。重要種の出現状況の比較結果は表 4-38 に示すとおりです。

2021 年次には、評価書調査時に比べて、ヒラドマルナタネガイ、ホソヤカギセル及びヒラベッコウが確認されませんでした。ナタネキバサナギガイ、ミカワギセル及びイボイボナメクジ等 7 種が継続して確認されました。また、2016 年次に比べて、ウメムラシタラガイ及びヒラベッコウが確認されませんでした。ナガナタネガイ、ナタネキバサナギガイ及びカタママイマイ等 9 種が継続して確認されました。なお、ナタネキバサナギガイ、ミカワギセル及びイボイボナメクジ等 7 種が評価書調査時、2016 年次及び 2021 年次に継続的に確認されました。

表 4-38 陸産貝類の出現状況の比較 (重要種のみ)

目名	科名	種名	重要種の選定基準					出現状況		
			1	2	3	4	5	評価書	2016年次	2021年次
柄眼	キバサナギガイ	ナガナタネガイ			LP				○	○
		ナタネキバサナギガイ			VU			○	○	○
	マキゾメガイ	ヒラドマルナタネガイ				DD		○		
	キセルガイ	ホソヤカギセル			NT			○		
		ミカワギセル			NT	NT		○	○	○
	ホソアシヒダナメクジ	イボイボナメクジ			NT			○	○	○
	オカモノアラガイ	ナガオカモノアラガイ			NT	NT		○	○	○
	ベッコウマイマイ	ヒメカサキビ			NT			○	○	○
		オオウエキビ			DD			○	○	○
		ウメムラシタラガイ			NT				○	
		ヒラベッコウ			DD			○	○	
	ニッポンマイマイ (ナンバンマイマイ)	トウカイピロウドマイマイ			DD			○	○	○
	オナジマイマイ	カタママイマイ			VU				○	○

注：1. 種名及び配列は基本的に「日本陸産貝類総目録」(1989年、湊 宏著)による。

2. トウカイピロウドマイマイについては、「名古屋市で発見されたピロウドマイマイ類」(2014年、川瀬ら)により分類学的な再検討の必要性が提唱されている。

3. 重要種の選定基準の区分は、表 4-12 に示すとおりである。

4. ホソヤカギセルについて、選定基準 3 においてエンシュウギセルと記載されている。

（j）淡水産貝類

i. 種構成

淡水産貝類の種構成として、目レベルでの確認種数について、2021年次と評価書調査時及び2016年次を比較しました。種構成の比較結果は表4-39に示すとおりです。

2021年次の確認種数の合計は、評価書調査時と同数でした。また、2016年次に比べて2種減少しており、その変化の割合は-13%でした。

2021年次の確認種数を目レベルで比較すると、評価書調査時に比べて汎有肺目で2種増加していましたが、新生腹足目で2種減少していました。また、2016年次に比べて新生腹足目及び汎有肺目で各1種減少していました。

表4-39 淡水産貝類の種構成の比較

目名	確認種数			確認種数の増減	
	評価書	2016年次	2021年次	評価書	2016年次
新生腹足	4種	3種	2種	-2	-1
汎有肺	7種	10種	9種	2	-1
マルスダレガイ	3種	3種	3種	0	0
合計	14種	16種	14種	0(0%)	-2(-13%)

注：（ ）内の割合は、評価書調査時または2016年次の種数に対する割合を示す。

ii. 種の出現状況

淡水産貝類の種の出現状況として、重要種の出現状況について、2021年次と評価書調査時及び2016年次を比較しました。重要種の出現状況の比較結果は表4-40に示すとおりです。

2021年次には、評価書調査時に比べて、オオタニシが確認されませんでした。マルタニシ、ヒラマキミズマイマイ及びヒラマキガイモドキが継続して確認されました。また、2016年次に比べて、マルタニシ、ヒラマキミズマイマイ、ミズコハクガイ及びヒラマキガイモドキが継続して確認されました。なお、マルタニシ、ヒラマキミズマイマイ及びヒラマキガイモドキが評価書調査時、2016年次及び2021年次に継続的に確認されました。

表 4-40 淡水産貝類の出現状況の比較（重要種のみ）

目名	科名	種名	重要種の選定基準					出現状況		
			1	2	3	4	5	評価書	2016年次	2021年次
新生腹足	タニシ	マルタニシ			NT	NT		○	○	○
		オオタニシ			NT			○		
汎有肺	ヒラマキガイ	ヒラマキミズマイマイ			DD			○	○	○
		ミズコハクガイ			VU				○	○
		ヒラマキガイモドキ			NT			○	○	○

注：1. 種名及び配列は基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（2020年、国土交通省）による。

2. 重要種の選定基準の区分は、表4-12に示すとおりである。

c 評価結果

動物（動物相）に関する種構成について、哺乳類、鳥類、は虫類、両生類、昆虫類、底生動物、クモ類、陸産貝類及び淡水産貝類については、確認された種数は、工事前と比較すると減少した分類群もありましたが、工事中と比較すると多くの分類群で増加していました。また、目または科ごとの種数については、工事前と比較すると半数以上の分類群で減少していましたが、工事中と比較すると、その多くで増加していました。工事前と比較して減少した要因の一つとして、動物は一定の場所に留まっていないため、3年間の評価書調査で確認された種が、2021年次の1年間の調査では確認されなかったことが考えられますが、他にも工事による影響や自然変動等、様々な要因が考えられます。

魚類については、確認された種数及び目ごとの種数は、工事前及び工事中と比較すると減少していました。減少した要因として、3年間の評価書調査で確認された種が、2021年次の1年間の調査では確認されなかったことや、工事に伴う生息環境の一時的な変化によって減少した可能性、また、工事以外による影響によって減少した可能性等が考えられます。

動物（動物相）に関する種の出現状況のうち、重要種については全体として大きな変化はありませんでした。なお、2021年次に確認されなかった種や新たに確認された種がありましたが、これについても、調査期間が短いことや工事による影響、自然変動等、様々な要因が考えられます。

以上のことから、2021年次の環境調査結果について、一時的に工事による影響があった可能性も否定できませんが、現時点で、工事による影響は小さいと判断します。

（2）植物

ア 植物相

（ア）影響要因及び調査項目

a 要因

掘削、盛土等の土工

b 調査項目

植物相

（イ）調査概要

植物相の調査概要は表 4-41 に、調査範囲は図 4-2 に示すとおりです。なお、工事区域を含む改変区域は調査範囲に含みません。

表 4-41 植物相の調査概要

調査項目	調査地域・地点	調査期間等	調査方法
植物相	対象事業実施区域及びその周辺地域（図 4-2 に示す調査範囲）	春季：2021年3月15日～18日、 4月7日～10日、26日～29日、 5月3日～7日、9日～10日 夏季：2021年6月3日～4日、 7月2日～3日、19日～24日、 8月5日～6日、23日～27日 秋季：2021年9月9日～10日、21日、 10月1日～2日、11日～16日、 11月8日～9日	目視観察調査

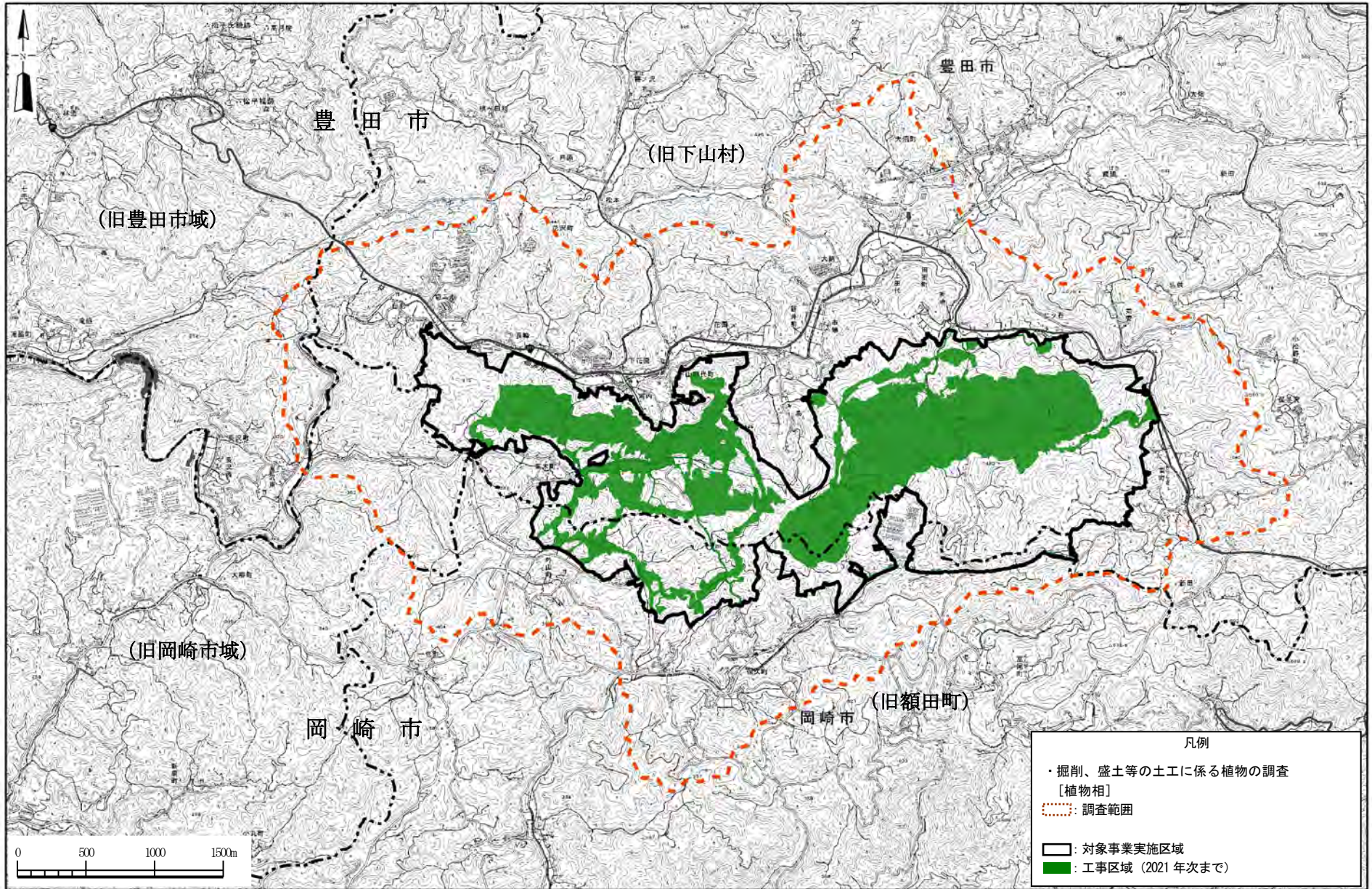


図 4-2 植物相の調査範囲

（ウ）調査結果

a 確認状況

（a）植物相

植物相の調査結果は、表 4-42 に示すとおりです。

確認された植物種は 165 科 1,200 種で、そのうち対象事業実施区域内で確認されたのは 855 種です。なお、確認種の詳細は、資料編に示すとおりです。

表 4-42 植物相の調査結果

区分				全体	対象事業 実施区域	周辺地域
シダ植物				151	108	140
種子植物	裸子植物			19	10	18
	被子植物	双子葉植物	離弁花類	432	310	421
			合弁花類	287	202	280
		単子葉植物		311	225	293
計				1,200種	855種	1,152種

b 重要な植物種の確認状況

(a) 重要な植物種の確認状況

植物相の調査における重要な植物種の確認状況を整理しました。

重要な植物種の選定基準は、表 4-43 に示すとおり、評価書において「重要な植物種及び植物群落の選定基準」で示す図書及び評価書時点の指定種を対象としました。

これらの基準に基づく、重要な植物種の確認状況は表 4-44 に示すとおりです。重要な植物種として 35 種が確認されました。

表 4-43 重要な植物種の選定基準

1	『文化財保護法』（昭和 25 年 5 月 30 日法律第 214 号）に基づく天然記念物及び特別天然記念物に指定されている種及び自生地 県、市町村の文化財保護条例で指定されている天然記念物 〔区分〕特天：特別天然記念物、天：天然記念物、県：県指定、岡、豊：岡崎市、豊田市指定
2	『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律』（平成 4 年 6 月 5 日法律第 75 号）に基づく国内希少野生動植物種、国際希少野生動植物種及び緊急指定種に指定されている種及び生息地等保護区 〔区分〕国内：国内希少野生動植物種、国際：国際希少野生動植物種、緊急：緊急指定種
3	『哺乳類、汽水・淡水魚類、昆虫類、貝類、植物 I 及び植物 II のレッドリスト』（2007 年 8 月、環境省）の選定種 〔区分〕※EX、EW、CR、EN、VU、NT、DD、LP
4	『愛知県の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブックあいち 2009 植物編』（2009 年 3 月、愛知県）の選定種 〔区分〕※EX、EW、CR、EN、VU、NT、保留
5	『自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例』（昭和 48 年 3 月 30 日愛知県条例第 3 号）に基づく指定希少野生動植物種の指定種

注：1. 評価書における「重要な植物種及び植物群落の選定基準」で示す図書及び評価書時点の指定種を対象とした。ただし、評価書において選定基準としていた『植物群落レッドデータブック』（1996 年、財団法人日本自然保護協会・財団法人世界自然保護基金日本委員会）の選定群落は、対象としていない。

2. ※重要種の選定基準 3 及び 4 の区分

- EX：絶滅（当該地域ではすでに絶滅したと考えられる種）
- EW：野生絶滅（飼育・栽培下でのみ存続している種）
- CR：絶滅危惧 IA 類（ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種）
- EN：絶滅危惧 IB 類（IA 類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種）
- VU：絶滅危惧 II 類（絶滅の危険が増大している種）
- NT：準絶滅危惧（現時点では絶滅危険度は小さいが、生育条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種）
- DD：情報不足（評価するだけの情報が不足している種）
- LP：絶滅のおそれのある地域個体群（地域的に孤立しており、地域レベルでの絶滅のおそれが高い個体群）
- 保留：評価保留種（①一般に独立種または変種とされているが、近縁種や母種との区別が微妙または軽微で、更に検討の必要があると思われる種、②一般にあまり理解されておらず、分布調査が不十分と思われる種、③最近愛知県に生育することが報告されたが、最終的に標本が確認できなかった種、『愛知県の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブックあいち 2009 植物編』より）

表 4-44 重要な植物種の確認状況

区分	科名	種名	重要種の選定基準					確認場所		確認時期			
			1	2	3	4	5	対象事業実施区域	周辺地域	春	夏	秋	
シダ植物 (6種)	オンダ	ナガサキシダ				保留		○		○	○	○	
	メシダ	コヒロハシケシダ				保留		○		○	○	○	
		ウスバシケシダ			VU	VU			○		○		
		ウスバミヤマノコギリシダ				VU			○		○		
	ヒメウラボシ	オオクボシダ				NT			○	○			
	サンショウモ	サンショウモ			NT	EN			○		○	○	
種子植物 (29種)	ヒノキ	ネズ(ネズミサシ)				NT		○	○	○			
	タデ	サトヤマタデ(ヒメボントクタデ)				NT		○	○		○	○	
		コミソバ				NT			○	○	○	○	
	ミソハギ	ミズマツバ			VU				○		○	○	
	ガガイモ	スズサイコ			NT			○	○		○	○	
	アカネ	キクムグラ				NT			○	○			
	ゴマノハグサ	マルバノサウトウガラシ			VU	NT				○			○
		オオヒキヨモギ			VU					○		○	○
	タヌキモ	イヌタヌキモ			NT				○	○		○	○
		ムラサキミミカキグサ			NT	NT				○		○	○
	マツムシソウ	マツムシソウ				NT		○	○		○	○	
	キキョウ	キキョウ			VU	NT			○	○	○	○	
	キク	ミズギク				NT			○	○		○	
	オモダカ	アギナシ			NT				○	○		○	
	トチカガミ	マルミスブタ			VU	EN			○			○	○
		スブタ			VU	VU			○			○	○
		ミズオオバコ			VU				○	○		○	○
	ヒルムシロ	ヒルムシロ				NT			○		○	○	○
		イトモ				NT	NT			○	○		○
	イバラモ	イトトリゲモ			NT				○	○		○	
	ホンゴウソウ	ホンゴウソウ			VU	VU			○	○		○	
	ヒナノシヤクジョウ	ヒナノシヤクジョウ				VU				○		○	
	ホシクサ	シラタマホシクサ			VU	VU				○			○
	イネ	ヒメコスカグサ			NT				○	○	○	○	
		ウンスケモドキ			NT	VU				○		○	○
		ウンスケ			NT	NT			○	○		○	○
	ミクリ	ナガエミクリ			NT				○	○		○	
	ラン	キンラン			VU	NT			○	○	○	○	○
		サギソウ			NT	VU				○		○	

注：1. 種名及び配列は、基本的に「植物目録」（1987年、環境庁）による。
 2. 重要種の選定基準の区分は、表 4-43 に示すとおりである。

(b) 重要な植物種の分布、生育の状況及び生育環境の状況

表 4-44 に示した重要な植物種 35 種の生態及び環境調査等の結果における生育確認状況は、表 4-45 に示すとおりです。

表 4-45(1) 重要な植物種の生態及び生育確認状況





区分	種名	生態	生育確認状況
シダ植物	ナガサキシダ 	本州（千葉県以西）、四国、九州に分布する。九州では比較的多く見られる種類。常緑性のシダ植物。九州では造林地や人里周辺のやぶ状の場所などにも生育している。愛知県の場合、新葉は秋に展開し、胞子は晩秋に成熟する。 (レッドデータブックあいち 2020 植物編)	対象事業実施区域 1 地点で、植林地において生育が確認された。
	コヒロハシケシダ 	本州（関東地方、中部地方）および九州（鹿児島県）に分布する夏緑性のシダ植物。腐植質の多い林内に生育する。 (レッドデータブックあいち 2020 植物編)	対象事業実施区域 3 地点で、植林地において生育が確認された。
	ウスバシケシダ 	本州および九州に分布する。濃尾平野とその周辺の丘陵地に点在するほか、和歌山県、宮崎県、鹿児島県にも各 1 カ所自生地がある。人里周辺であるが、自然環境が良好な場所に生育している。夏緑性の多年生草本。 (レッドデータブックあいち 2020 植物編)	周辺地域 4 地点で、林縁において生育が確認された。
	ウスバミヤマノコギリシダ 	本州（伊豆半島以西）、四国、九州の山地に分布する。夏緑性の多年生草本。一般的には、深山性の植物である。 (レッドデータブックあいち 2020 植物編)	対象事業実施区域 1 地点で、植林地において生育が確認された。

表 4-45(2) 重要な植物種の生態及び生育確認状況





区分	種名	生態	生育確認状況
シダ植物	オオクボシダ 	本州（関東地方以西）・四国・九州の暖地で山地の樹幹や岩上に生育する。常緑性。 (レッドデータブックおかざき 2014)	周辺地域 2 地点で、林縁において生育が確認された。
	サンショウモ 	本州、四国、九州の低地に生育する一年生の水生シダ植物で、近年減少傾向が著しい。平野部の水田、ハス田やその周辺の水路に生育する浮遊植物で、しばしば栄養的に繁殖して水面をおおう。 (レッドデータブックあいち 2020 植物編)	対象事業実施区域 2 地点で、湿地において生育が確認された。
種子植物	ネズ (ネズミサシ) 	本州（岩手県以南）、四国、九州に生育する常緑性の高木または亜高木。山地の岩場に生育するほか、瀬戸内地方ではやせた丘陵地にも多く見られる。ただし愛知県の場合、遺伝的に純粋な集団は山地に生育しているものだけで、丘陵地に生育しているものは多少なりともハイネズの遺伝子が入ったオキアガリネズである。葉が針状で、ネズミの通り道に置くと刺して止めるから、ネズミサシという。単に「ネズ」と呼ばれることもある。 (レッドデータブックあいち 2020 植物編)	対象事業実施区域 8 地点、周辺地域 4 地点で、林縁において生育が確認された。
	サトヤマタデ (ヒメボントクタデ) 	本州（静岡県西部以西）、九州（宮崎県）に分布する、1 年生草本。沢沿いの林道わきの湿った場所、放棄された谷戸田の跡、沢すじの土砂の堆積した場所などに生育している。 (レッドデータブックあいち 2020 植物編)	対象事業実施区域 25 地点、周辺地域 3 地点で、湿地において生育が確認された。

表 4-45(3) 重要な植物種の生態及び生育確認状況





区分	種名	生態	生育確認状況
種子植物	<p>コミゾソバ</p> 	<p>本州（福島県～兵庫県）に分布する。丘陵地～山地の、やや貧栄養の、しかし極度に貧栄養ではない湿地の、林縁や林内に生育する 1 年生草本。花期は 8～9 月、花序は小さく、少数の花をつける。</p> <p>（レッドデータブックあいち 2020 植物編）</p>	<p>対象事業実施区域 12 地点、周辺地域 4 地点で、谷筋や湿地等において生育が確認された。</p>
	<p>ミズマツバ</p> 	<p>本州、四国、九州、琉球に分布する。水田に生育する。ため池の岸などの低湿地に生育することもある。小型の 1 年生草本。</p> <p>（レッドデータブックあいち 2020 植物編）</p>	<p>周辺地域 4 地点で、林縁において生育が確認された。</p>
	<p>スズサイコ</p> 	<p>北海道、本州、四国、九州に分布する。日あたりのよい草地に生育する多年生草本。点在するが、大きな群落は作らない植物である。愛知県では、丘陵部～低山地の谷戸田周辺の里草地に点在している。平野部では、河川の堤防や水路わきの草地などに生育している。</p> <p>（レッドデータブックあいち 2020 植物編）</p>	<p>対象事業実施区域 3 地点、周辺地域 3 地点で、畦の草地等において生育が確認された。</p>
	<p>キクムグラ</p> 	<p>北海道、本州、四国、九州に分布する。山地の林縁などに生育する多年生草本。二次林や造林地の林縁、林内などに生育している。特別な環境の場所に生育しているわけではないが、それだけで生育地が少ない植物である。</p> <p>（レッドデータブックあいち 2020 植物編）</p>	<p>周辺地域 1 地点で、林縁において生育が確認された。</p>

表 4-45(4) 重要な植物種の生態及び生育確認状況

区分	種名	生態	生育確認状況
種子植物	マルバノサトウガラシ 	本州、四国、九州に分布する。水田などの湿地に生育する、小型の1年生草本。茎は直立し、軟弱で高さ10～18cmになる。 (レッドデータブックあいち 2020 植物編)	周辺地域 1 地点で、湿地において生育が確認された。
	オオヒキヨモギ 	本州(関東地方～中国地方)および四国(瀬戸内側)に生育する半寄生の1年生草本。低山地の林縁に多い。しばしば林道わきの崖状地などに生育している。 (レッドデータブックあいち 2020 植物編)	周辺地域 3 地点で、樹林において生育が確認された。
	イヌタヌキモ 	北海道、本州、四国、九州、琉球に生育する、水中に浮遊する食虫性の多年生草本。愛知県では尾張部の丘陵地のため池に比較的多く見られ、小さい池では、時に池一面に生育していることもある。 (レッドデータブックあいち 2020 植物編)	対象事業実施区域 10 地点、周辺地域 1 地点で、溜池等において生育が確認された。
	ムラサキミミカキグサ 	北海道、本州、四国、九州に分布する。湧水湿地の、裸地状の場所に生育する。ミミカキグサやホザキノミミカキグサよりも湿潤な場所に多く、しばしば浅い水中に生育している。小型の食虫性の多年生草本。 (レッドデータブックあいち 2020 植物編)	周辺地域 3 地点で、湿地において生育が確認された。

表 4-45(5) 重要な植物種の生態及び生育確認状況

区分	種名	生態	生育確認状況
種子植物	マツムシソウ 	北海道、本州、四国、九州に生育する多年性草本。山地や丘陵地の日当たりのよい草地に生育する。 （レッドデータブックあいち 2020 植物編）	対象事業実施区域 1 地点、周辺地域 3 地点で、草地において生育が確認された。
	キキョウ 	国内では北海道、本州、四国、九州、琉球（請島）に分布する多年生草本。山地や丘陵地の日あたりのよい草地に生育する。 （レッドデータブックあいち 2020 植物編）	対象事業実施区域 10 地点、周辺地域 18 地点で、林縁や草地等において生育が確認された。
	ミズギク 	本州（近畿地方以東）および九州（宮崎県）に生育する多年生草本。一般には山地の湿地に生育する。愛知県では丘陵地の湧水湿地に点在する。 （レッドデータブックあいち 2020 植物編）	対象事業実施区域 1 地点、周辺地域 2 地点で、湿地において生育が確認された。
	アギナシ 	北海道、本州、四国、九州に生育する多年生草本。林の中の湿地、ため池の周辺などに生育することが多いが、谷戸などの休耕田に群生することもある。オモダカよりやや安定した場所に多く、耕作中の水田の雑草とはならない。 （レッドデータブックあいち 2020 植物編）	対象事業実施区域 3 地点、周辺地域 4 地点で、水田、放棄水田、湿地において生育が確認された。

注：マツムシソウの 2011 年次の確認地点である周辺地域 3 地点のうち 2 地点は周辺工事により改変されたが、周辺工事実施前の 2012 年に対象事業実施区域 1 地点に移植を実施した。2021 年次の環境調査で生育が確認された対象事業実施区域 1 地点は、その移植地である。

表 4-45(6) 重要な植物種の生態及び生育確認状況

区分	種名	生態	生育確認状況
種子植物	マルミスブタ 	本州、四国、九州、琉球に生育する沈水性の1年生草本。茎は短く、多数の葉を束生する。丘陵地のため池に多いが、水田に生育することもある。 (レッドデータブックあいち 2020 植物編)	対象事業実施区域 1 地点で、湿地において生育が確認された。
	スブタ 	本州、四国、九州、琉球に生育する沈水性の1年生草本。水のきれいなため池、谷戸田、その周辺の水路などに生育する。 (レッドデータブックあいち 2020 植物編)	対象事業実施区域 1 地点で、湿地において生育が確認された。
	ミズオオバコ 	北海道(南部)、本州、四国、九州、琉球に生育する沈水性の1年生草本。山間部の水のきれいなため池や谷戸田に生育する一方で、生活排水が流入する都市近郊の過栄養化した水路にも見られる。 (レッドデータブックあいち 2020 植物編)	対象事業実施区域 1 地点、周辺地域 1 地点で、湿地において生育が確認された。
	ヒルムシロ 	北海道、本州、四国、九州、琉球に生育する沈水性の多年生草本。フトヒルムシロが山間部の池沼に多いのに対し、本種は主として人里近くの池沼に生育する。水田雑草となることもある。 (レッドデータブックあいち 2020 植物編)	対象事業実施区域 1 地点で、水田において生育が確認された。

注：ヒルムシロの既確認地点である改変区域 1 地点は造成工事により改変されたが、造成工事実施前の 2012 年に非改変区域 2 地点に移植を実施した。2021 年次の環境調査で生育が確認された対象事業実施区域 1 地点は、その移植地のうちの 1 地点である。

表 4-45(7) 重要な植物種の生態及び生育確認状況

区分	種名	生態	生育確認状況
種子植物	イトモ 	北海道、本州、九州（北部）に生育する沈水性の多年生草本。池沼や水路に生育する。愛知県の生育地は、ほとんどが丘陵地のため池である。 （レッドデータブックあいち 2020 植物編）	対象事業実施区域 3 地点、周辺地域 1 地点で、湿地において生育が確認された。
	イトトリゲモ 	北海道南部、本州、四国、九州に生育する沈水性の1年生草本。ため池や谷戸田の小水路、時には水田の中などに生育している。海岸部の養魚場跡地などに生育していることもある。 （レッドデータブックあいち 2020 植物編）	対象事業実施区域 6 地点、周辺地域 1 地点で、湿地において生育が確認された。
	ホンゴウソウ 	本州（関東地方以西）、四国、九州、琉球にややまれに生育する。多年生の腐生植物。暗い林内の落葉の間に生育する。 （レッドデータブックあいち 2020 植物編）	対象事業実施区域 7 地点、周辺地域 6 地点で、樹林において生育が確認された。
	ヒナノシヤクジョウ 	本州（関東地方以西）、四国、九州、琉球に分布する。林内の湿った場所の、落葉の間に生育する。腐生の多年生草本。 （レッドデータブックあいち 2020 植物編）	周辺地域 6 地点で、林縁や草地等において生育が確認された。

表 4-45(8) 重要な植物種の生態及び生育確認状況





区分	種名	生態	生育確認状況
種子植物	シラタマホシクサ 	本州（静岡県西部、愛知県、岐阜県東濃地方、三重県北部）に分布する。丘陵地の湧水湿地の、日当たりのよい場所に生育する。1年生草本。 (レッドデータブックあいち 2020 植物編)	周辺地域 2 地点で、湿地において生育が確認された。
	ヒメコヌカグサ 	本州（関東地方以西）、四国、九州に生育する繊細な多年生草本。丘陵地や低山地の湧水湿地周辺に生育している。沢沿いの林道わきや、谷戸田周辺の湿った里草地に生育していることもある。 (レッドデータブックあいち 2020 植物編)	対象事業実施区域 1 地点、周辺地域 10 地点で、畦の草地や路傍、林縁において生育が確認された。
	ウンヌケモドキ 	本州（東海地方以西）、四国、九州、琉球に生育する多年生草本。日当たりのよい草地や半裸地に生育する。やせ山の尾根すじなどに多いが、谷戸田周辺の里草地に見られることもある。 (レッドデータブックあいち 2020 植物編)	周辺地域 1 地点で、水田と森林の境界法面において生育が確認された。
	ウンヌケ 	本州（静岡県西部、愛知県、岐阜県南部、兵庫県）、四国北部、九州北部に生育する多年生草本。日当たりのよい草地や半裸地に生育する。やせ山の尾根筋などのほか、谷戸田周辺の里草地にもよく生育している。 (レッドデータブックあいち 2020 植物編)	対象事業実施区域 2 地点、周辺地域 2 地点で、水田と森林の境界法面等において生育が確認された。

表 4-45(9) 重要な植物種の生態及び生育確認状況

区分	種名	生態	生育確認状況
種子植物	<p>ナガエミクリ</p> 	<p>北海道南西部、本州、四国、九州に生育する多年生草本。小河川や水路などの浅い水中に生育する。流水域に多いが、止水域にもある。流れがやや強い場所にあるものは、しばしば水中葉だけが出て、セキショウモのような形になる。</p> <p>（レッドデータブックあいち 2020 植物編）</p>	<p>対象事業実施区域 5 地点、周辺地域 1 地点で、湿地や水路、溜池において生育が確認された。</p>
	<p>キンラン</p> 	<p>本州、四国、九州に生育する多年生草本。丘陵地～山地の明るい落葉広葉樹林内に生育する。</p> <p>（レッドデータブックあいち 2020 植物編）</p>	<p>対象事業実施区域 11 地点、周辺地域 1 地点で、林縁の草地において生育が確認された。</p>
	<p>サギソウ</p> 	<p>本州、四国、九州に分布する。丘陵地の日当たりのよい貧栄養の湿地に生育する。多年生草本。</p> <p>（レッドデータブックあいち 2020 植物編）</p>	<p>周辺地域 3 地点で、林縁において生育が確認された。</p>

（エ）調査結果の評価**a 評価方法**

環境調査結果は、工事及び環境配慮事項等の実施状況を把握した上で、整理・解析を行い、表 4-46 に示す評価指標を踏まえ、本事業の実施に伴う植物相への影響を総合的に評価しました。

表 4-46 植物相の評価指標

調査項目	評価指標
植物相	種構成 種の出現状況 ※過去の植物の種構成等の比較等

注：1. 過去の植物の種構成等の比較等は、工事前の評価書調査（2007年10月～2010年8月）及び工事中の調査（2016年次）の結果と比較する。
 2. 評価書以降に準拠文献の改訂等が行われており、評価書調査結果及び2016年次の確認種数等を再整理した。

b 調査結果の整理・解析**（a）植物相****i. 種構成**

植物相の種構成として、科レベルでの確認種数について、2021年次と評価書調査時及び2016年次を比較しました。種構成の比較結果は表 4-47 に示すとおりです。

2021年次の確認種数の合計は、評価書調査時に比べて99種増加しており、その変化の割合は+9%でした。また、2016年次に比べて160種増加しており、その変化割合は+15%でした。

2021年次の確認種数を科レベルで比較すると、評価書調査時に比べて67科で1種から12種まで増加していましたが、23科で1種から5種まで減少していましたが、2016年次に比べて75科で1種から22種まで増加していましたが、16科で1種から3種まで減少していましたが、

表 4-47(1) 植物相の種構成の比較

門・綱	科名	確認種数			確認種数の増減	
		評価書	2016年次	2021年次	評価書	2016年次
シダ植物門	ヒカゲノカズラ	4種	5種	5種	1	0
	イワヒバ	6種	4種	6種	0	2
	トクサ	1種	2種	2種	1	0
	ハナヤスリ	3種	2種	2種	-1	0
	ゼンマイ	4種	2種	4種	0	2
	キジノオシダ	2種	2種	2種	0	0
	ウラボシ	2種	2種	2種	0	0
	フサシダ	1種	1種	1種	0	0
	コケシノブ	4種	3種	4種	0	1
	コバノイシカグマ	7種	6種	7種	0	1
	ホングウシダ	1種	1種	1種	0	0
	シノブ	1種	1種	1種	0	0
	ミズワラビ	6種	6種	6種	0	0
	シシラン	0種	0種	1種	1	1
	イノモトソウ	4種	3種	4種	0	1
	チャセンシダ	2種	5種	6種	4	1
	シシガシラ	2種	1種	2種	0	1
	オシダ	48種	33種	46種	-2	13
	ヒメシダ	11種	10種	11種	0	1
	メシダ	24種	18種	30種	6	12
ウラボシ	4種	4種	6種	2	2	
ヒメウラボシ	1種	0種	1種	0	1	
サンショウモ	1種	1種	1種	0	0	
種子植物門	イチョウ	0種	1種	1種	1	0
裸子植物亜門	マツ	7種	4種	8種	1	4
	スギ	2種	1種	2種	0	1
	ヒノキ	5種	3種	5種	0	2
	マキ	1種	1種	1種	0	0
	イヌガヤ	1種	1種	1種	0	0
	イチイ	1種	1種	1種	0	0
種子植物門	ヤマモモ	1種	1種	1種	0	0
被子植物亜門	クルミ	1種	1種	1種	0	0
双子葉植物綱	ヤナギ	11種	8種	9種	-2	1
	カバノキ	8種	7種	8種	0	1
	ブナ	11種	12種	15種	4	3
	ニレ	4種	3種	2種	-2	-1
	クワ	5種	8種	6種	1	-2
	イラクサ	11種	10種	13種	2	3
	ビャクダン	1種	1種	1種	0	0
	ヤドリギ	2種	0種	2種	0	2
	タデ	25種	24種	27種	2	3
	ヤマゴボウ	1種	1種	1種	0	0
	オシロイバナ	0種	1種	1種	1	0
	ザクロソウ	1種	1種	2種	1	1
	スベリヒユ	2種	2種	2種	0	0
	ナデシコ	11種	11種	12種	1	1
	アカザ	2種	2種	3種	1	1
	ヒユ	4種	4種	3種	-1	-1
	モクレン	2種	3種	3種	1	0
	パンレイシ	0種	0種	1種	1	1

表 4-47(2) 植物相の種構成の比較

門・綱	科名	確認種数			確認種数の増減	
		評価書	2016年次	2021年次	評価書	2016年次
種子植物門	マツブサ	2種	2種	2種	0	0
被子植物亜門	シキミ	1種	1種	1種	0	0
双子葉植物綱	クスノキ	10種	9種	10種	0	1
離弁花類	フサザクラ	0種	0種	1種	1	1
	キンボウゲ	11種	9種	10種	-1	1
	メギ	3種	4種	4種	1	0
	アケビ	4種	4種	4種	0	0
	ツヅラフジ	1種	1種	1種	0	0
	スイレン	3種	2種	2種	-1	0
	マツモ	0種	0種	1種	1	1
	ドクダミ	1種	1種	1種	0	0
	センリョウ	2種	2種	2種	0	0
	ウマノスズクサ	2種	2種	2種	0	0
	マタタビ	3種	3種	4種	1	1
	ツバキ	5種	6種	6種	1	0
	オトギリソウ	4種	5種	5種	1	0
	モウセンゴケ	2種	2種	3種	1	1
	ゲンシ	4種	7種	6種	2	-1
	アブラナ	17種	13種	15種	-2	2
	マンサク	1種	1種	1種	0	0
	バンケイソウ	3種	4種	6種	3	2
	ユキノシタ	12種	15種	15種	3	0
	バラ	34種	37種	36種	2	-1
	マメ	41種	35種	38種	-3	3
	カタバミ	6種	7種	6種	0	-1
	フウロソウ	2種	2種	2種	0	0
	トウダイグサ	8種	9種	9種	1	0
	ユズリハ	1種	1種	1種	0	0
	ミカン	7種	7種	9種	2	2
	ニガキ	2種	2種	2種	0	0
	センダン	1種	0種	1種	0	1
	ヒメハギ	1種	1種	1種	0	0
	ウルシ	5種	5種	5種	0	0
	カエデ	4種	3種	4種	0	1
	ムクロジ	1種	0種	1種	0	1
	アワブキ	1種	1種	1種	0	0
	ツリフネソウ	2種	1種	2種	0	1
	モチノキ	7種	6種	6種	-1	0
	ニシキギ	8種	5種	7種	-1	2
	ミツバウツギ	1種	1種	1種	0	0
	ツゲ	0種	1種	2種	2	1
	クロウメモドキ	4種	3種	4種	0	1
	ブドウ	7種	7種	5種	-2	-2
	アオイ	1種	1種	0種	-1	-1
	ジンチョウゲ	3種	1種	1種	-2	0
	グミ	4種	5種	3種	-1	-2
	イイギリ	0種	0種	1種	1	1
	スマレ	14種	10種	15種	1	5
	キブシ	1種	1種	1種	0	0
	ミゾハコベ	1種	1種	1種	0	0

表 4-47(3) 植物相の種構成の比較

門・綱	科名	確認種数			確認種数の増減	
		評価書	2016年次	2021年次	評価書	2016年次
種子植物門	シユウカイドウ	1種	1種	1種	0	0
被子植物亜門	ウリ	4種	4種	4種	0	0
双子葉植物綱	ミンハギ	4種	3種	4種	0	1
離弁花類	ヒシ	1種	1種	1種	0	0
	アカバナ	10種	8種	11種	1	3
	アリノトウグサ	2種	2種	2種	0	0
	ミズキ	5種	5種	5種	0	0
	ウコギ	9種	11種	10種	1	-1
	セリ	14種	17種	14種	0	-3
種子植物門	リョウブ	1種	1種	1種	0	0
被子植物亜門	イチヤクソウ	2種	4種	5種	3	1
双子葉植物綱	ツツジ	12種	14種	14種	2	0
合弁花類	ヤブコウジ	3種	3種	3種	0	0
	サクラソウ	5種	4種	6種	1	2
	カキノキ	1種	1種	1種	0	0
	エゴノキ	1種	1種	1種	0	0
	ハイノキ	2種	2種	2種	0	0
	モクセイ	4種	7種	5種	1	-2
	マチン	0種	0種	1種	1	1
	リンドウ	4種	4種	4種	0	0
	キョウチクトウ	2種	2種	3種	1	1
	ガガイモ	5種	4種	6種	1	2
	アカネ	13種	12種	14種	1	2
	ヒルガオ	1種	2種	5種	4	3
	ムラサキ	4種	2種	4種	0	2
	クマツヅラ	6種	7種	9種	3	2
	アワゴケ	2種	1種	1種	-1	0
	シソ	24種	25種	29種	5	4
	ナス	10種	8種	10種	0	2
	ゴマノハグサ	20種	16種	24種	4	8
	ノウゼンカズラ	1種	1種	2種	1	1
	キツネノマゴ	1種	1種	2種	1	1
	イワタバコ	1種	0種	1種	0	1
	ハマウツボ	1種	1種	1種	0	0
	タヌキモ	4種	4種	4種	0	0
	ハエドクソウ	1種	1種	1種	0	0
	オオバコ	3種	3種	3種	0	0
	スイカズラ	11種	14種	15種	4	1
	オミナエシ	2種	2種	2種	0	0
	マツムシソウ	0種	1種	1種	1	0
	キキョウ	7種	9種	10種	3	1
	キク	85種	89種	97種	12	8
種子植物門	オモダカ	5種	4種	4種	-1	0
被子植物亜門	トチカガミ	4種	5種	6種	2	1
単子葉植物綱	ヒルムシロ	3種	3種	5種	2	2
	イバラモ	3種	2種	2種	-1	0
	ホンゴウソウ	0種	1種	1種	1	0
	ユリ	36種	41種	39種	3	-2
	ビヤクブ	1種	1種	1種	0	0
	ヒガンバナ	3種	3種	5種	2	2

表 4-47(4) 植物相の種構成の比較

門・綱	科名	確認種数			確認種数の増減	
		評価書	2016年次	2021年次	評価書	2016年次
種子植物門	ヤマノイモ	3種	3種	4種	1	1
被子植物亜門	ミズアオイ	2種	2種	2種	0	0
単子葉植物綱	アヤメ	7種	6種	6種	-1	0
	ヒナノシヤクジョウ	0種	1種	1種	1	0
	イグサ	6種	6種	5種	-1	-1
	ソユクサ	5種	4種	6種	1	2
	ホソクサ	5種	5種	4種	-1	-1
	イネ	113種	99種	108種	-5	9
	ヤシ	1種	1種	2種	1	1
	サトイモ	6種	7種	5種	-1	-2
	ウキクサ	2種	2種	3種	1	1
	ミクリ	1種	1種	1種	0	0
	ガマ	2種	3種	3種	1	0
	カヤツリグサ	68種	55種	77種	9	22
	ショウガ	1種	1種	1種	0	0
	ラン	18種	16種	20種	2	4
	合計	1,101種	1,040種	1,200種	99(9%)	160(15%)

注：1. () 内の割合は、評価書調査時または 2016 年次の種数に対する割合を示す。

2. 2016 年次の確認種には、2017 年次に実施した植物相の補足調査において確認した 8 種を含む。

ii. 種の出現状況

植物相の種の出現状況として、重要種の出現状況について、2021 年次と評価書調査時及び 2016 年次を比較しました。出現状況の比較結果は表 4-48 に示すとおりです。

2021 年次には、評価書調査時に比べて、サガミトリゲモ及びヤマトキソウが確認されませんでした。ナガサキシダ、コヒロハシケシダ及びウスバシケシダ等 30 種が継続して確認されました。また、2016 年次に比べて、ササバギンランが確認されませんでした。マツムシソウ、ホンゴウソウ及びヒナノシヤクジョウ等 31 種が継続して確認されました。なお、ナガサキシダ、コヒロハシケシダ及びウスバシケシダ等 28 種が評価書調査時、2016 年次及び 2021 年次に継続的に確認されており、ウスバミヤマノコギリシダ、キクムグラ及びイトモが新たに確認されました。

表 4-48 植物相の出現状況の比較（重要種のみ）

科名	種名	重要種の選定基準					出現状況		
		1	2	3	4	5	評価書	2016年次	2021年次
オシダ	ナガサキシダ				保留		○	○	○
メシダ	コヒロハシケシダ				保留		○	○	○
	ウスバシケシダ			VU	VU		○	○	○
	ウスバミヤマノコギリシダ				VU				○
ヒメウラボシ	オオクボシダ				NT		○	○	
サンショウモ	サンショウモ			NT	EN		○	○	
ヒノキ	ネズ(ネズミサシ)				NT		○	○	
タデ	サトヤマタデ(ヒメボントクタデ)				NT		○	○	
	コミソバ				NT		○	○	
ミソハギ	ミズマツバ			VU			○	○	
ガガイモ	スズサイコ			NT			○	○	
アカネ	キクムグラ				NT			○	
	イナモリソウ						○	○	
ゴマノハグサ	マルバノサワトウガラシ			VU	NT		○	○	
	オオヒキヨモギ			VU			○	○	
タヌキモ	イヌタヌキモ			NT			○	○	
	ムラサキミミカキグサ			NT	NT		○	○	
マツムシソウ	マツムシソウ				NT		○	○	
キキョウ	キキョウ			VU	NT		○	○	
キク	ミズギク				NT		○	○	
オモダカ	アギナシ			NT			○	○	
トチカガミ	マルミスブタ			VU	EN		○	○	
	スブタ			VU	VU		○	○	
	ミズオオバコ			VU			○	○	
ヒルムシロ	ヒルムシロ				NT		○	○	
	イトモ			NT	NT			○	
イバラモ	サガミトリゲモ			VU	VU		○		
	イトトリゲモ			NT			○	○	
ホンゴウソウ	ホンゴウソウ			VU	VU		○	○	
ヒナノジャクジョウ	ヒナノジャクジョウ				VU		○	○	
ホシクサ	シラタマホシクサ			VU	VU		○	○	
イネ	ヒメコヌカグサ			NT			○	○	
	ウンヌケモドキ			NT	VU		○	○	
	ウンヌケ			NT	NT		○	○	
ミクリ	ナガエミクリ			NT			○	○	
ラン	キンラン			VU	NT		○	○	
	ササバギンラン				NT			○	
	サギソウ			NT	VU		○	○	
	ヤマトキソウ				VU		○		

注：1. 種名及び配列は、基本的に「植物目録」（1987年、環境庁）による。

2. 重要種の選定基準の区分は、表 4-43 に示すとおりである。なお、イナモリソウは専門家意見対象種のため重要種として扱った。

3. 2016年次の出現状況には、2017年次に実施した植物相の補足調査における確認状況を含む。

4. 評価書でオキアガリネズとされた種は、ネズ（ネズミサシ）である可能性が高い。

5. 評価書でスブタとされた種のうち1地点については、マルミスブタであった。

また、植物相の種の出現状況として、外来種等の出現状況について、2021年次と評価書調査時及び2016年次を比較しました。外来種等の選定基準は表4-49に、出現状況の比較結果は表4-50に示すとおりです。

2021年次には231種の外来種等が確認され、評価書調査時の196種、2016年次の185種に比べて確認種数が増加していました。

表4-49 外来種等の選定基準

1	『ブルーデータブックあいち2021』（2021年3月、愛知県）の愛知県外来種リスト掲載種 〔区分〕 国外：国外移入種、国内：国内移入種
2	『特定外来生物等一覧』（最終更新：2021年8月、環境省）に掲載されている特定外来生物
3	『我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト』（2015年3月26日、環境省）の掲載種 〔区分1〕 外：国外由来の外来種、内：国内由来の外来種、国内に自然分布域を持つ 国外由来の外来種 〔区分2〕 ①：定着予防外来種（侵入予防外来種）、②：定着予防外来種（その他）、③：総合対策外来種（緊急対策外来種）、④：総合対策外来種（重点対策外来種）、⑤：総合対策外来種（その他）、⑥：産業管理外来種

表 4-50(1) 植物相の出現状況の比較（外来種等のみ）

門・綱	科名	種名	外来種等の選定基準			確認場所						出現状況		
			1	2	3	評価書		2016年次		2021年次		評価書	2016年次	2021年次
						対象事業実施区域	周辺地域	対象事業実施区域	周辺地域	対象事業実施区域	周辺地域			
シダ植物門	イワヒバ	イヌカタヒバ	国外			○	○			○	○		○	
		コンテリクラマゴケ	国外		外⑤	○	○	○	○	○	○	○	○	○
種子植物門 裸子植物亜門	イチョウ	イチョウ	国外					○	○	○	○		○	
		カラマツ	国内			○				○	○		○	
	マツ	アカクロマツ	国内			○		○		○	○		○	
		スギ	国内			○	○	○	○	○	○		○	
	ヤナギ	コウヨウザン	国外				○			○	○		○	
		ジャヤナギ	国内?			○	○			○	○		○	
被子植物門 双子葉植物綱 離弁花類	カバノキ	ヒメヤシヤブシ	国内			○	○	○	○	○	○		○	
		オオバヤシヤブシ	国内			○	○	○	○	○	○		○	
	ブナ	マデバシイ	国内			○				○	○		○	
		クスギ	国内			○	○	○	○	○	○		○	
	ニレ	ハルニレ	国内			○				○				
		クワ	国内					○					○	
	イラクサ	トウグワ	国外			○	○		○	○	○		○	
		ナンバンカラムシ	国外			○	○		○	○	○		○	
	タデ	ジャクチリソバ	国外		外⑤						○		○	
		ヒメツルソバ	国外		外⑤				○		○		○	
	タデアイ	タデアイ	国外										○	
		ヒメスイバ	国外		外⑤	○	○	○	○	○	○		○	
	アレチギシギシ	アレチギシギシ	国外				○		○		○		○	
		ナガバギシギシ	国外		外⑤	○			○		○		○	
	エゾノギシギシ	エゾノギシギシ	国外		外⑤	○	○	○	○	○	○		○	
		ヤマゴボウ	国外			○	○	○	○	○	○		○	
	オシロイバナ	オシロイバナ	国外					○	○		○		○	
		ザクロソウ	国外								○		○	
	ナデシコ	オランダミナグサ	国外			○	○	○	○	○	○		○	
		キヌイトツメクサ	国外						○		○		○	
	ムシトリナデシコ	ムシトリナデシコ	国外		外⑤		○		○		○		○	
		コハコベ	国外			○	○	○	○	○	○		○	
	アカザ	アリタソウ(ケアリタソウを含む)	国外			○	○		○	○	○		○	
		ゴウシュウアリタソウ	国外								○		○	
	ヒユ	イヌヒユ	国外			○			○	○	○		○	
		ホナガイヌヒユ	国外				○		○	○	○		○	
	モクレン	コブシ	国内					○	○	○	○		○	
		バンレイシ	国外								○		○	
	クスノキ	クスノキ	国外				○	○	○	○	○		○	
		ゲッケイジュ	国外								○		○	
	メギ	ホソバヒラギナンテン	国外							○	○		○	
		ホザキノイカリソウ	国外						○				○	
	ヒラギナンテン	ヒラギナンテン	国外		外⑤	○	○	○	○	○	○		○	
		ナンテン	国内?			○	○	○	○	○	○		○	
	スイレン	ハス	国内?								○		○	
		スイレン属の一種	国外			○	○	○			○	○		
	ツバキ	チャノキ	国外			○	○	○	○	○	○		○	
		オトギリソウ	国外								○		○	
	ケシ	シラユキゲシ	国外					○					○	
		ナガミヒナゲシ	国外			○	○		○	○	○		○	
	アツミゲシ	アツミゲシ	国外		外⑤				○		○		○	
		アブラナ	国外			○				○	○		○	
	シロイヌナズナ	シロイヌナズナ	国外			○				○	○		○	
		ハルザキヤマガラシ	国外		外⑤	○					○			
	セイヨウアブラナ	セイヨウアブラナ	国外			○	○		○		○		○	
		ミチタネツクバナ	国外			○	○	○	○	○	○		○	
	ワサビ	ワサビ	国内			○	○	○	○	○	○		○	
		マメグンバイナズナ	国外				○	○	○	○	○		○	

表 4-50(2) 植物相の出現状況の比較 (外来種等のみ)

門・綱	科名	種名	外来種等の選定基準			確認場所						出現状況		
			1	2	3	評価書		2016年次		2021年次		評価書	2016年次	2021年次
						対象事業実施区域	周辺地域	対象事業実施区域	周辺地域	対象事業実施区域	周辺地域			
種子植物門 被子植物亜門 双子葉植物綱 離弁花類	アブラナ	オランダガラシ	国外		外④	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ショカツサイ	国外			○	○				○	○		○
		ハマカキネガラシ	国外				○					○		
	ベンケイソウ	メキシコマンネングサ	国外			○			○		○	○	○	○
		オカタイトゴメ	国外								○			○
		ツルマンネングサ	国外			○	○		○		○	○	○	○
	ユキノシタ	アジサイ	国内					○		○	○		○	○
		ガクアジサイ	国内								○			○
		ユキノシタ	国外			○	○		○	○	○	○	○	○
	バラ	ビワ	国内		外⑥		○		○		○	○	○	○
		マメザクラ	国内				○				○	○		○
		ウメ	国外						○		○		○	○
		ピラカンサ	国外			○	○	○			○	○	○	○
		トキワサンザシ	国外						○				○	
		ユキヤナギ	国外?			○	○		○		○	○	○	○
	マメ	イタチハギ	国外		外④	○	○	○	○		○	○	○	○
		ゲンゲ	国外			○	○		○	○	○	○	○	○
		エビスグサ	国外							○				○
		アレチヌスビトハギ	国外		外⑤	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ニワフジ	国外			○	○				○	○		○
		コマツナギ(キダチコマツナギ)	国外			○	○		○	○	○	○	○	○
		ハイメドハギ	国外			○	○				○	○		○
		ニシキハギ	国内			○					○			
		セイヨウミヤコグサ	国外							○	○			○
		イヌエンジュ	国内			○					○	○		○
		ハネミヌエンジュ	国内				○					○		
		ハリエンジュ	国外		外⑥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		コメツブツメクサ	国外			○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ムラサキツメクサ	国外			○	○	○	○	○	○	○	○	○
	シロツメクサ	国外			○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	カタバミ	イモカタバミ	国外			○	○		○		○	○	○	○
		ムラサキカタバミ	国外			○	○	○	○		○	○	○	○
		オッタチカタバミ	国外			○	○	○	○	○	○	○	○	○
	フウロソウ	アメリカフウロ	国外			○	○			○	○	○	○	
	トウダイグサ	ハイニシキソウ	国外								○			○
		オオニシキソウ	国外			○	○	○	○	○	○	○	○	○
		コニシキソウ	国外			○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ナンキンハゼ	国外		外⑤			○	○	○	○	○	○	○
	ニガキ	シンジュ	国外		外④		○	○	○	○	○	○	○	
	センダン	センダン	国内				○			○	○		○	
ウルシ	ハゼノキ	国外			○	○	○	○	○	○	○	○		
カエデ	トウカエデ	国外			○					○				
モチノキ	タラヨウ	国外				○				○		○		
ツゲ	フッキソウ	国内						○	○	○		○		
アオイ	ゼニアオイ	国外						○				○		
	キンゴジカ	国外			○						○			
ジンチョウゲ	ミツマタ	国外				○				○				
スミレ	アメリカスミレサイシン	国外								○		○		
シュウカイドウ	シュウカイドウ	国外			○	○		○		○	○	○		
ミソハギ	ホンバヒメミソハギ	国外			○	○		○	○	○	○	○		
アカバナ	アメリカミズキンバイ	国外			○	○				○	○		○	
	メマツヨイグサ	国外					○	○	○	○		○	○	
	オオマツヨイグサ	国外			○	○		○	○	○	○	○	○	
	コマツヨイグサ	国外		外④	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	アレチマツヨイグサ	国外			○	○	○	○	○	○	○	○		

表 4-50(3) 植物相の出現状況の比較（外来種等のみ）

門・綱	科名	種名	外来種等の選定基準			確認場所						出現状況		
			1	2	3	評価書		2016年次		2021年次		評価書	2016年次	2021年次
						対象事業実施区域	周辺地域	対象事業実施区域	周辺地域	対象事業実施区域	周辺地域			
種子植物門 被子植物亜門 双子葉植物綱 離弁花類	アカバナ	ユウゲシヨウ	国外			○	○		○		○	○	○	
		ヒルザキツクミソウ	国外				○			○	○		○	
		マツヨイグサ	国外			○	○			○	○		○	
		アリノトウグサ	国外	特	外③	○	○		○		○	○	○	
	ウコギ	国外					○		○		○	○		
	セリ	国外					○		○		○	○		
種子植物門 被子植物亜門 双子葉植物綱 合弁花類	サクラソウ	サクラソウ	国内							○			○	
	カキノキ	カキノキ	国内			○	○	○	○	○	○	○	○	
	モクセイ	シナレンギョウ	国外						○				○	
		トウネズミモチ	国外		外④				○	○	○		○	
	キョウチクトウ	ソルニチニチソウ	国外		外④	○	○	○	○	○	○	○	○	
	アカネ	オオフタバムグラ	国外		外⑤			○		○		○	○	
	ヒルガオ	アメリカネナシカズラ	国外		外⑤				○				○	
		マルバルコウ	国外								○		○	
		マルバアメリカアサガオ	国外								○		○	
		ルコウソウ	国外								○		○	
	クマツヅラ	ヤナギハナガサ	国外		外⑤	○	○	○			○	○	○	
		アレチハナガサ	国外		外⑤				○		○		○	
		ダキバアレチハナガサ	国外		外⑤				○	○	○		○	
	シソ	モミジバヒメドリコソウ	国外			○	○				○	○	○	
		ヒメドリコソウ	国外			○	○	○	○	○	○	○	○	
		マルバハッカ	国外								○		○	
		オランダハッカ	国外			○	○		○		○	○	○	
		シソ	国内?			○	○	○			○	○	○	
	ナス	クコ	国外			○	○				○	○	○	
		ホオズキ	国外			○	○		○	○	○	○	○	
		テリミノイヌホオズキ	国外			○	○	○			○	○	○	
		ワルナスビ	国外			○	○		○		○	○	○	
		アメリカイヌホオズキ	国外			○	○	○	○	○	○	○	○	
	ゴマノハグサ	ツタバウンラン	国外								○		○	
		マツバウンラン	国外			○	○	○	○	○	○	○	○	
		ヒメアメリカアゼナ	国外				○				○		○	
		タケトアゼナ	国外			○				○			○	
		アメリカアゼナ	国外			○	○	○	○	○	○	○	○	
		ビロードモウズイカ	国外			○	○	○		○	○	○	○	
		タチイヌフグリ	国外			○	○	○	○	○	○	○	○	
		オオイヌフグリ	国外			○	○	○	○	○	○	○	○	
	ノウゼンカズラ	ノウゼンカズラ	国外								○		○	
		キリ	国外			○	○	○	○	○	○	○	○	
	オオバコ	ヘラオオバコ	国外			○	○	○	○	○	○	○	○	
		タチオオバコ	国外				○			○		○	○	
	スイカズラ	サンゴジュ	国内					○		○		○	○	
	キキョウ	キキョウソウ	国外			○	○	○	○	○	○	○	○	
		ヒナキキョウソウ	国外							○	○		○	
	キク	セイヨウノコギリソウ	国外			○	○	○		○		○	○	
		ブタクサ	国外			○	○		○		○	○		
キダチコンギク		国外			○	○	○	○	○	○	○	○		
ヒロハホウキギク		国外			○			○	○	○	○	○		
アメリカセンダングサ		国外		外⑤	○	○	○	○	○	○	○	○		
コセンダングサ		国外			○	○	○	○	○	○	○	○		
シロバナセンダングサ		国外			○			○	○	○	○	○		
フランスギク		国外		外⑤	○	○	○	○	○	○	○	○		
アメリカオニアザミ		国外		外⑤				○	○			○		
アレチノギク		国外							○			○		
オオアレチノギク		国外			○	○	○	○	○	○	○	○		

表 4-50(4) 植物相の出現状況の比較（外来種等のみ）

門・綱	科名	種名	外来種等の選定基準			確認場所						出現状況		
			1	2	3	評価書		2016年次		2021年次		評価書	2016年次	2021年次
						対象事業実施区域	周辺地域	対象事業実施区域	周辺地域	対象事業実施区域	周辺地域			
種子植物門 被子植物亜門 双子葉植物綱 合弁花類	キク	オオキンケイギク	国外	特	外③	○	○		○		○	○	○	
		ハルシヤギク	国外		外⑤	○			○		○	○		
		コスモス	国外			○			○		○	○	○	
		キバナコスモス	国外				○	○		○	○	○	○	
		ベニバナボロギク	国外			○	○	○	○	○	○	○	○	
		アメリカタカサブロウ	国外			○	○		○	○	○	○	○	
		ダンドボロギク	国外			○	○	○	○	○	○	○	○	
		ヒメムカシヨモギ	国外			○	○	○	○	○	○	○	○	
		ペラペラヨメナ	国外		外⑤					○			○	
		ハルジオン	国外			○	○	○	○	○	○	○	○	
		ケナシヒメムカシヨモギ	国外		外⑤	○	○			○	○	○	○	
		ハキダメギク	国外			○	○	○	○	○	○	○	○	
		タチチコグサ	国外			○	○			○	○	○	○	
		セイタカハハコグサ	国外							○	○		○	
		チチコグサモドキ	国外			○	○	○	○	○	○	○	○	
		ウスベニチチコグサ	国外			○	○			○	○	○	○	
		ウラジロチチコグサ	国外			○	○	○	○	○	○	○	○	
		シロタエヒマワリ	国外							○			○	
		キクイモ	国外			○	○	○		○	○	○	○	
		ヒメブタナ	国外							○	○		○	
		ブタナ	国外			○	○	○	○	○	○	○	○	
		トゲチシャ	国外							○	○		○	
		オオハンゴンソウ	国外	特	外③	○	○			○	○	○	○	
		ノボロギク	国外			○	○			○	○	○	○	
		セイタカアワダチソウ	国外		外④	○	○	○	○	○	○	○	○	
		オオアワダチソウ	国外		外④		○					○		
		オニノゲシ	国外			○	○	○	○	○	○	○	○	
		ヒメジョオン	国外		外⑤	○	○	○	○	○	○	○	○	
		ヘラバヒメジョオン	国外					○	○		○		○	
		アカミタンポポ	国外							○	○		○	
		セイヨウタンポポ	国外			○	○	○	○	○	○	○	○	
		オオオナモミ	国外		外⑤					○	○		○	
種子植物門 被子植物亜門 単子葉植物綱	オモダカ	クワイ	国内?			○	○				○			
		トチカガミ	国外		外④			○		○		○		
	ユリ	アマゾントチカガミ	国外		外④						○		○	
		ラッキョウ	国外						○			○		
		ニラ	国外			○	○		○		○	○	○	
		ハラシ	国内			○	○		○		○	○	○	
		ハナニラ	国外		外⑤	○	○	○	○	○	○	○	○	
		タカサゴユリ	国外		外⑤	○	○	○	○	○	○	○	○	
		オニユリ	国内?			○	○		○		○	○	○	
		オオアマナ	国外								○		○	
		ヒガンバナ	スノーフレック	国外								○		○
			ヒガンバナ	国外			○	○	○	○	○	○	○	○
	ナツズイセン		国外				○				○		○	
	スイセン		国外			○			○		○	○	○	
	タマスダレ	国外								○		○		
	ヤマノイモ	ナガイモ	国外			○	○			○	○	○		
	ミズアオイ	ホテイアオイ	国外		外④	○	○	○	○	○	○	○		
	アヤメ	シャガ	国内			○	○	○	○	○	○	○	○	
		キシヨウブ	国外		外④	○	○	○	○	○	○	○	○	
		ニワゼキショウ	国外			○	○	○	○	○	○	○	○	
		オオニワゼキショウ	国外			○	○	○	○	○	○	○	○	
		ヒメヒオウギズイセン	国外		外⑤	○	○	○	○	○	○	○	○	
ツユクサ	マルバツユクサ	国内				○			○	○	○			

表 4-50(5) 植物相の出現状況の比較（外来種等のみ）

門・綱	科名	種名	外来種等の選定基準			確認場所						出現状況		
			1	2	3	評価書		2016年次		2021年次		評価書	2016年次	2021年次
						対象事業実施区域	周辺地域	対象事業実施区域	周辺地域	対象事業実施区域	周辺地域			
種子植物門	ツユクサ	ノハカタカラクサ	国外		外④			○	○		○	○	○	
		ムラサキツユクサ	国外			○			○		○	○	○	
被子植物亜門	イネ	コスカグサ	国外		外⑥	○	○	○	○	○	○	○	○	
単子葉植物綱		ヌカススキ	国外					○	○		○	○	○	
		ハナスカススキ	国外			○	○		○		○	○	○	
		メリケンカルカヤ	国外		外⑤	○	○	○	○	○	○	○	○	
		ハルガヤ	国外		外⑤	○	○	○	○	○	○	○	○	
		コバンソウ	国外					○		○		○	○	
		ヒメコバンソウ	国外			○	○	○	○	○	○	○	○	
		イヌムギ	国外					○	○		○	○	○	
		ハマチャヒキ	国外			○	○					○		
		シロガネヨシ	国外		外⑤					○			○	
		ジュズダマ	国外					○		○		○	○	
		カモガヤ	国外		外⑥	○	○	○	○		○	○	○	
		シナダレスズメガヤ	国外		外④	○	○	○	○	○	○	○	○	
		コスズメガヤ	国外					○	○		○	○	○	
		チャボウシノシッペイ	国外					○			○	○	○	
		オニウシノケグサ	国外		外⑥	○	○	○	○	○	○	○	○	
		ウシノケグサ	国外			○	○		○	○	○	○	○	
		ヒロハノウシノケグサ	国外			○	○				○			
		オオウシノケグサ	国外							○	○		○	
		シラゲガヤ	国外			○	○					○		
		ネズミホソムギ	国外		外⑥			○				○		
		ネズミムギ	国外		外⑥			○		○		○		
		ホソムギ	国外		外⑥			○				○		
		オオクサキビ	国外		外⑤	○	○	○	○	○	○	○	○	
		シマスズメノヒエ	国外		外⑤	○	○	○	○		○	○	○	
		キシウスズメノヒエ	国外		外⑤			○		○	○		○	
		アメリカスズメノヒエ	国外		外⑥					○	○		○	
		タチスズメノヒエ	国外		外⑤	○	○		○	○	○	○	○	
		ホテイチク	国外		外⑥	○	○	○			○	○	○	
		マダケ	国外		外⑥	○	○	○	○	○	○	○	○	
		クロチク	国外		外⑥	○	○				○	○	○	
		ハチク	国内			○	○	○	○	○	○	○	○	
		モウソウチク	国外		外⑥	○	○	○	○	○	○	○	○	
		ナガハグサ	国外			○	○			○	○		○	
		オオスズメノカタビラ	国外					○					○	
		ヤダケ	国外			○	○	○	○		○	○	○	
		クマザサ	国外					○			○	○	○	
		ナリヒラダケ	国内					○			○	○	○	
		オカメザサ	国外					○		○	○	○	○	
		セイバンモロコシ	国外		外⑤				○				○	
		シホウチク	国外			○					○			
		ナギナタガヤ	国外		外⑥	○	○	○	○	○	○	○	○	
		ヤシ	国内		内⑤	○	○	○	○	○	○	○	○	
		トウジュロ	国外								○		○	
		サトイモ	国内			○	○		○	○	○	○	○	
		カヤツリグサ	国外						○				○	
			国外		外④				○	○	○	○	○	
		国外			○					○				
計	75科	270種	270種	3種	69種	162種	174種	111種	169種	119種	225種	196種	231種	

注：1. 種名及び配列は、基本的に「植物目録」（1987年、環境庁）による。
 2. 外来種等の選定基準の区分は、表 4-49 に示すとおりである。

c 評価結果

植物（植物相）に関する種構成について、工事前及び工事中と比較すると、確認された種数は増加していました。また、科ごとの種数については、一部の科において減少していましたが、多くの科において増加していました。一部の科で減少した主な要因については、自然変動により個体数の増減が生じるため、3年間の評価書調査で確認された種が、2021年次の1年間の調査では確認されなかったことが考えられます。

植物（植物相）に関する種の出現状況のうち、重要種については全体として大きな変化はありませんでした。また、外来種等については、工事前及び工事中と比較すると確認種数が増加しており、工事に伴って外来種等が侵入した可能性も考えられます。

以上のことから、2021年次の環境調査結果について、少なくとも在来種に関しては、現時点では工事による影響は小さいと判断します。

5 総合評価（動物相及び植物相調査）

2021年次の環境調査結果において、動物（動物相）については、確認された種数を工事前と比較すると減少傾向でしたが、工事中と比較すると増加傾向であり、重要種の出現状況は大きな変化がありませんでした。確認された種数が工事前に比べて減少した要因については、調査期間が短いことや自然変動等、様々な要因が考えられ、一時的に工事による影響があった可能性も否定できませんが、現時点で、工事による影響は小さいと判断します。

一方、植物（植物相）については、確認された種数は増加しており、また、重要種の出現状況は大きな変化が無く、少なくとも在来種に関しては、現時点では工事による影響は小さいと判断します。

動物（動物相）及び植物（植物相）については、今後も引き続き環境調査を行い、本事業が及ぼす環境への影響の把握に努めます。

トヨタ自動車新研究開発施設に係る
環境調査報告書
(2021年次版 その2)

【資料編】

目 次

1	鳥類の月別確認状況.....	1
2	鳥類のセンサス結果.....	5
3	昆虫類確認種リスト.....	34
4	底生動物確認種リスト.....	81
5	クモ類確認種リスト.....	88
6	植物確認種リスト	93

1 鳥類の月別確認状況

表 1-1(1) 鳥類の月別確認状況

目名	科名	種名	学名	渡り区分	確認月												
					1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
キジ	キジ	コジュケイ	<i>Bambusicola thoracicus</i>	留鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		ヤマドリ	<i>Syrnaticus soemmerringii</i>	留鳥		○	○	○	○	○	○			○	○		
		キジ	<i>Phasianus colchicus</i>	留鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	
カモ	カモ	オシドリ	<i>Aix galericulata</i>	冬鳥・留鳥		○							○	○	○		
		オカヨシガモ	<i>Anas strepera</i>	冬鳥												○	
		ヨシガモ	<i>Anas falcata</i>	冬鳥													○
		ヒドリガモ	<i>Anas penelope</i>	冬鳥											○	○	○
		マガモ	<i>Anas platyrhynchos</i>	冬鳥		○									○	○	○
		カルガモ	<i>Anas zonorhyncha</i>	留鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ハシビロガモ	<i>Anas clypeata</i>	冬鳥													○
		トモエガモ	<i>Anas formosa</i>	冬鳥													○
		コガモ	<i>Anas crecca</i>	冬鳥		○	○	○	○					○	○	○	○
		ホシハジロ	<i>Aythya ferina</i>	冬鳥			○									○	○
キンクロハジロ	<i>Aythya fuligula</i>	冬鳥		○	○	○	○						○	○	○		
カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	<i>Tachybaptus ruficollis</i>	留鳥			○	○	○				○	○	○	○	
ハト	ハト	カワラバト(ドバト)	<i>Columba livia</i>	留鳥			○				○	○					
		キジバト	<i>Streptopelia orientalis</i>	留鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		アオバト	<i>Treron sieboldii</i>	留鳥		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カソオドリ	ウ	カワウ	<i>Phalacrocorax carbo</i>	留鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ペリカン	サギ	ミゾゴイ	<i>Gorsachius goisagi</i>	夏鳥				○	○						○		
		アマサギ	<i>Bubulcus ibis</i>	夏鳥					○								
		アオサギ	<i>Ardea cinerea</i>	留鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ダイサギ	<i>Ardea alba</i>	夏鳥・冬鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ソル	クイナ	クイナ	<i>Rallus aquaticus</i>	冬鳥		○											
		ヒクイナ	<i>Porzana fusca</i>	留鳥・夏鳥				○	○								
		オオバン	<i>Fulica atra</i>	冬鳥		○	○									○	○
カッコウ	カッコウ	ホトトギス	<i>Cuculus poliocephalus</i>	夏鳥				○	○	○	○	○					
		ツツドリ	<i>Cuculus optatus</i>	夏鳥					○	○	○						
		カッコウ	<i>Cuculus canorus</i>	夏鳥					○								
ヨタカ	ヨタカ	ヨタカ	<i>Caprimulgus indicus</i>	夏鳥				○	○	○							
アマツバメ	アマツバメ	ハリオアマツバメ	<i>Hirundapus caudacutus</i>	旅鳥					○						○		
		アマツバメ	<i>Apus pacificus</i>	旅鳥				○		○					○		
チドリ	チドリ	ケリ	<i>Vanellus cinereus</i>	留鳥		○	○	○	○	○		○					
		コチドリ	<i>Charadrius dubius</i>	夏鳥・留鳥			○	○	○	○	○			○			
	シギ	ヤマシギ	<i>Scolopax rusticola</i>	冬鳥		○		○									
		アオシギ	<i>Gallinago solitaria</i>	冬鳥		○		○									
		タシギ	<i>Gallinago gallinago</i>	冬鳥・旅鳥		○											○
		クサシギ	<i>Tringa ochropus</i>	冬鳥・旅鳥		○		○	○	○					○	○	○
		タカブシギ	<i>Tringa glareola</i>	冬鳥・旅鳥				○									
タカ	ミサゴ	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus</i>	冬鳥・留鳥			○	○	○	○							
	タカ	ハチクマ	<i>Pernis ptilorhynchus</i>	夏鳥					○	○	○	○	○				
		トビ	<i>Milvus migrans</i>	留鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ツミ	<i>Accipiter gularis</i>	旅鳥・夏鳥・留鳥			○	○	○	○	○	○	○	○			
		ハイタカ	<i>Accipiter nisus</i>	冬鳥		○	○	○								○	
		オオタカ	<i>Accipiter gentilis</i>	留鳥・冬鳥		○	○	○	○	○	○	○					
		サシバ	<i>Buteo indicus</i>	夏鳥			○	○	○	○	○	○	○				
		ノスリ	<i>Buteo buteo</i>	冬鳥・留鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
クマタカ	<i>Nisaetus nipalensis</i>	留鳥		○							○						
フクロウ	フクロウ	オオコノハズク	<i>Otus lempiji</i>	夏鳥					○								
		フクロウ	<i>Strix uralensis</i>	留鳥		○	○	○	○	○					○		
		アオバズク	<i>Ninox scutulata</i>	夏鳥				○	○								
ブッポウソウ	カワセミ	アカショウビン	<i>Halcyon coromanda</i>	夏鳥					○	○	○						
		カワセミ	<i>Alcedo atthis</i>	留鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		ヤマセミ	<i>Megaceryle lugubris</i>	留鳥				○									
	ブッポウソウ	ブッポウソウ	<i>Eurystomus orientalis</i>	旅鳥・夏鳥					○	○	○						
キツツキ	キツツキ	アリスイ	<i>Jynx torquilla</i>	冬鳥		○											

1 鳥類の月別確認状況

表 1-1(2) 鳥類の月別確認状況

目名	科名	種名	学名	渡り区分	確認月												
					1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
キツツキ	キツツキ	コゲラ	<i>Dendrocopos kizuki</i>	留鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		オホアカゲラ	<i>Dendrocopos leucotos</i>	留鳥				○									
		アカゲラ	<i>Dendrocopos major</i>	留鳥			○	○						○			
		アオゲラ	<i>Picus awokera</i>	留鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	<i>Falco tinnunculus</i>	冬鳥・留鳥								○			○	○	
		ハヤブサ	<i>Falco peregrinus</i>	冬鳥・留鳥		○						○	○				○
スズメ	ヤイロチョウ	ヤイロチョウ	<i>Pitta nympha</i>	旅鳥						○							
	サンショウクイ	サンショウクイ	<i>Pericrocotus divaricatus</i>	夏鳥				○	○	○	○	○	○				
	カササギヒタキ	サンコウチョウ	<i>Terpsiphone atrocaudata</i>	夏鳥					○	○	○						
	モズ	モズ	<i>Lanius bucephalus</i>	留鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	カラス	カケス	<i>Garrulus glandarius</i>	留鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ハシボソガラス	<i>Corvus corone</i>	留鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ハシトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>	留鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	キクイタダキ	キクイタダキ	<i>Regulus regulus</i>	留鳥・冬鳥		○	○	○	○	○					○		
	シジュウカラ	コガラ	<i>Poecile montanus</i>	留鳥			○	○			○						
		ヤマガラ	<i>Poecile varius</i>	留鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ヒガラ	<i>Periparus ater</i>	留鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		シジュウカラ	<i>Parus minor</i>	留鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ヒバリ	ヒバリ	<i>Alauda arvensis</i>	留鳥・冬鳥					○	○							
	ツバメ	ショウドウツバメ	<i>Riparia riparia</i>	旅鳥									○				
		ツバメ	<i>Hirundo rustica</i>	夏鳥			○	○	○	○	○	○	○				
		コシアカツバメ	<i>Hirundo daurica</i>	夏鳥					○	○	○	○					
		イワツバメ	<i>Delichon dasypus</i>	夏鳥・留鳥		○	○	○	○	○	○	○			○		
	ヒヨドリ	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i>	留鳥・旅鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	ウグイス	ウグイス	<i>Cettia diphone</i>	留鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		ヤブサメ	<i>Urosphena squameiceps</i>	夏鳥			○	○	○	○	○	○	○				
	エナガ	エナガ	<i>Aegithalos caudatus</i>	留鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	ムシクイ	オオムシクイ	<i>Phylloscopus examinandus</i>	旅鳥					○	○				○	○		
		エゾムシクイ	<i>Phylloscopus borealoides</i>	旅鳥				○			○						
センダイムシクイ		<i>Phylloscopus coronatus</i>	夏鳥			○	○	○	○	○			○				
メジロ	メジロ	<i>Zosterops japonicus</i>	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
センニュウ	エゾセンニュウ	<i>Locustella fasciolata</i>	旅鳥				○										
セッカ	セッカ	<i>Cisticola juncidis</i>	留鳥				○										
キバシリ	キバシリ	<i>Certhia familiaris</i>	留鳥		○		○	○	○	○				○			
ミソサザイ	ミソサザイ	<i>Troglodytes troglodytes</i>	留鳥		○	○	○	○	○	○					○		
ムクドリ	ムクドリ	<i>Spodiopsar cineraceus</i>	留鳥・旅鳥							○							
カワガラス	カワガラス	<i>Cinclus pallasii</i>	留鳥		○	○	○	○	○	○				○	○		
ヒタキ	マミジロ	<i>Zoothera sibirica</i>	夏鳥				○										
	トラツグミ	<i>Zoothera dauma</i>	留鳥		○		○	○	○		○						
	クロツグミ	<i>Turdus cardis</i>	夏鳥			○	○	○	○	○	○	○	○				
	マミチャジナイ	<i>Turdus obscurus</i>	旅鳥・冬鳥					○						○			
	シロハラ	<i>Turdus pallidus</i>	冬鳥		○	○	○							○	○		
	アカハラ	<i>Turdus chrysolaus</i>	夏鳥		○	○											
	ツグミ	<i>Turdus naumanni</i>	冬鳥		○	○	○	○							○	○	
	コマドリ	<i>Luscinia akahige</i>	夏鳥				○	○									
	コルリ	<i>Luscinia cyane</i>	夏鳥				○	○									
	ルリビタキ	<i>Tarsiger cyanurus</i>	冬鳥		○	○	○								○		
	ジョウビタキ	<i>Phoenicurus auroreus</i>	冬鳥		○	○	○	○						○	○		
	ノビタキ	<i>Saxicola torquatus</i>	旅鳥											○	○		
	イソヒヨドリ	<i>Monticola solitarius</i>	留鳥		○									○			
	エゾビタキ	<i>Muscicapa griseisticta</i>	旅鳥											○	○		
	コサメビタキ	<i>Muscicapa dauurica</i>	夏鳥・旅鳥					○	○	○	○			○			
	キビタキ	<i>Ficedula narcissina</i>	夏鳥・旅鳥					○	○	○	○	○	○	○	○		
オオルリ	<i>Cyanoptila cyanomelana</i>	夏鳥・旅鳥					○	○	○	○	○						
スズメ	スズメ	<i>Passer montanus</i>	留鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
セキレイ	キセキレイ	<i>Motacilla cinerea</i>	留鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i>	冬鳥・留鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	セグロセキレイ	<i>Motacilla grandis</i>	留鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	ビンズイ	<i>Anthus hodgsoni</i>	冬鳥・旅鳥		○		○	○						○	○		

表 1-1(3) 鳥類の月別確認状況

目名	科名	種名	学名	渡り区分	確認月													
					1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
スズメ	アトリ	アトリ	<i>Fringilla montifringilla</i>	冬鳥		○	○	○									○	
		カララヒワ	<i>Chloris sinica</i>	留鳥・冬鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		マヒワ	<i>Carduelis spinus</i>	冬鳥		○	○	○	○	○								
		ベニマシコ	<i>Uragus sibiricus</i>	冬鳥			○	○										○
		ウソ	<i>Pyrrhula pyrrhula</i>	冬鳥		○	○	○										
		シメ	<i>Coccothraustes coccothraustes</i>	冬鳥		○		○	○									
		イカル	<i>Eophona personata</i>	留鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	ホオジロ	ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i>	留鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		シロハラホオジロ	<i>Emberiza tristrami</i>	旅鳥					○									
		カシラダカ	<i>Emberiza rustica</i>	冬鳥		○	○	○										○
		ミヤマホオジロ	<i>Emberiza elegans</i>	冬鳥		○	○											
		バジロ	<i>Emberiza sulphurata</i>	夏鳥					○									
		アオジ	<i>Emberiza spodocephala</i>	冬鳥		○	○	○	○							○	○	○
		クロジ	<i>Emberiza variabilis</i>	冬鳥		○	○	○	○									
	チメドリ	ガビチョウ	<i>Garrulax canorus</i>	—			○	○	○	○	○							
ソウシチョウ		<i>Leiothrix lutea</i>	留鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
インコ	インコ	オカメインコ	<i>Nymphicus hollandicus</i>	—			○											

- 注：1. 種名及び配列は「日本鳥類目録改訂第7版」（2012年、日本鳥学会）による。
2. 調査結果は、動物（ミソゴイ、ハチクマ、サンバ）の調査時に確認された種を含む。
3. 渡り区分は、「愛知の野鳥2006」（2007年、愛知県）、「愛知の野鳥1995」（1996年、愛知県）、「愛知の野鳥」（1983年、愛知県）を参考にした。

1 鳥類の月別確認状況

表 1-2 鳥類の月別確認状況（重要種のみ）

目名	科名	種名	渡り区分	確認場所		確認月													
				実 対 施 象 区 事 域 業	周 辺 地 域	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
カモ	カモ	オシドリ	冬鳥・留鳥		○		○							○	○	○			
		トモエガモ	冬鳥	○														○	
ペリカン	サギ	ミゾゴイ	夏鳥	○	○				○	○						○			
		チュウサギ	夏鳥		○				○										
ツル	クイナ	クイナ	冬鳥		○		○												
		ヒクイナ	留鳥・夏鳥	○	○			○	○										
カッコウ	カッコウ	ツツドリ	夏鳥	○	○			○	○	○									
ヨタカ	ヨタカ	ヨタカ	夏鳥	○	○			○	○	○									
チドリ	シギ	ヤマシギ	冬鳥	○			○	○											
		アオシギ	冬鳥	○			○	○											
		タカブシギ	冬鳥・旅鳥		○			○											
タカ	ミサゴ	ミサゴ	冬鳥・留鳥	○	○			○	○	○									
	タカ	ハチクマ	夏鳥	○	○				○	○	○	○	○						
		ツミ	旅鳥・夏鳥・留鳥	○	○			○	○	○	○	○	○	○					
		ハイタカ	冬鳥	○	○			○	○	○								○	
		オオタカ	留鳥・冬鳥	○	○			○	○	○	○	○	○						
		サンバ	夏鳥	○	○			○	○	○	○	○	○	○					
		クマタカ	留鳥		○			○						○					
フクロウ	フクロウ	オオコノハズク	夏鳥		○				○										
		フクロウ	留鳥	○	○			○	○	○	○					○			
		アオバズク	夏鳥		○			○	○										
ブッポウソウ	カワセミ	アカショウビン	夏鳥	○	○				○	○	○								
		ヤマセミ	留鳥		○			○											
	ブッポウソウ	ブッポウソウ	旅鳥・夏鳥	○	○				○	○	○								
キツツキ	キツツキ	オオアカゲラ	留鳥		○			○											
ハヤブサ	ハヤブサ	ハヤブサ	冬鳥・留鳥	○	○			○				○	○				○		
スズメ	キイロチョウ	キイロチョウ	旅鳥		○					○									
		サンショウクイ	夏鳥	○	○				○	○	○	○	○	○					
		カササギヒタキ	サンコウチョウ	夏鳥	○	○				○	○	○							
		キバシリ	キバシリ	留鳥	○	○			○	○	○	○				○			
		ミソサザイ	ミソサザイ	留鳥	○	○			○	○	○		○					○	
		カワガラス	カワガラス	留鳥	○	○			○	○	○	○	○				○	○	○
		ヒタキ	マミジロ	夏鳥		○				○									
			クロツグミ	夏鳥	○	○			○	○	○	○	○	○	○				
			アカハラ	夏鳥	○	○			○	○									
			コマドリ	夏鳥	○	○				○	○								
			コルリ	夏鳥	○	○				○	○								
	コサメビタキ	夏鳥・旅鳥	○	○				○	○	○	○			○					
ホオジロ	ノジコ	夏鳥		○				○											

注：1. 種名及び配列は「日本鳥類目録改訂第7版」（2012年、日本鳥学会）による。
 2. 調査結果は、動物（ミゾゴイ、ハチクマ、サンバ）の調査時に確認された種を含む。
 3. 渡り区分は、「愛知の野鳥2006」（2007年、愛知県）、「愛知の野鳥1995」（1996年、愛知県）、「愛知の野鳥」（1983年、愛知県）を参考にした。
 4. 重要種の選定基準の区分は、本編の表4-12に示すとおりである。

2 鳥類のセンサス結果

(1) センサス実施状況

鳥類センサス（ラインセンサス及びポイントセンサス）については、評価書時は 2007 年 10 月～2010 年 7 月の 3 年間（計 19 回）、2016 年次は 1 年間（計 6 回）、2021 年次は 1 年間（計 6 回）で実施している。

評価書、2016 年次及び 2021 年次のセンサス実施状況を表 2-1 に、調査地点位置図を図 2-1 に示す。

表 2-1 鳥類のセンサス実施状況

実施年	評価書				2016 年	2021 年
	2007 年	2008 年	2009 年	2010 年		
越冬期		・ 2 月 4 日 ～ 8 日	・ 1 月 26 日 ～ 29 日	・ 1 月 26 日 ～ 29 日	・ 1 月 19 日 ～ 30 日	・ 2 月 1 日 ～ 3 日
(春季)		・ 4 月 21 日 ～ 25 日	・ 4 月 20 日 ～ 23 日 ・ 4 月 27 日 ～ 30 日	・ 4 月 19 日 ～ 29 日	・ 4 月 14 日 ～ 18 日	・ 4 月 1 日 ～ 3 日
繁殖期		・ 5 月 26 日 ～ 30 日 ・ 6 月 23 日 ～ 25 日、 27 日～ 28 日	・ 5 月 6 日 ～ 9 日 ・ 5 月 20 日 ～ 27 日 ・ 6 月 23 日 ～ 25 日	・ 5 月 16 日 ～ 26 日 ・ 6 月 1 日 ～ 10 日 ・ 7 月 2 日 ～ 14 日	・ 5 月 9 日 ～ 16 日 ・ 7 月 3 日 ～ 6 日	・ 5 月 3 日 ～ 5 日 ・ 7 月 6 日 ～ 9 日
(秋季)	・ 10 月 23 日～ 26 日、 29 日 ～ 30 日	・ 10 月 8 日 ～ 11 日	・ 9 月 27 日 ～ 29 日 ・ 10 月 14 日～ 16 日		・ 9 月 20 日 ～ 10 月 2 日 ・ 10 月 27 日～ 30 日	・ 9 月 18 日 ～ 19 日 ・ 10 月 12 日～ 14 日
合計回数	1	5	8	5	6	6

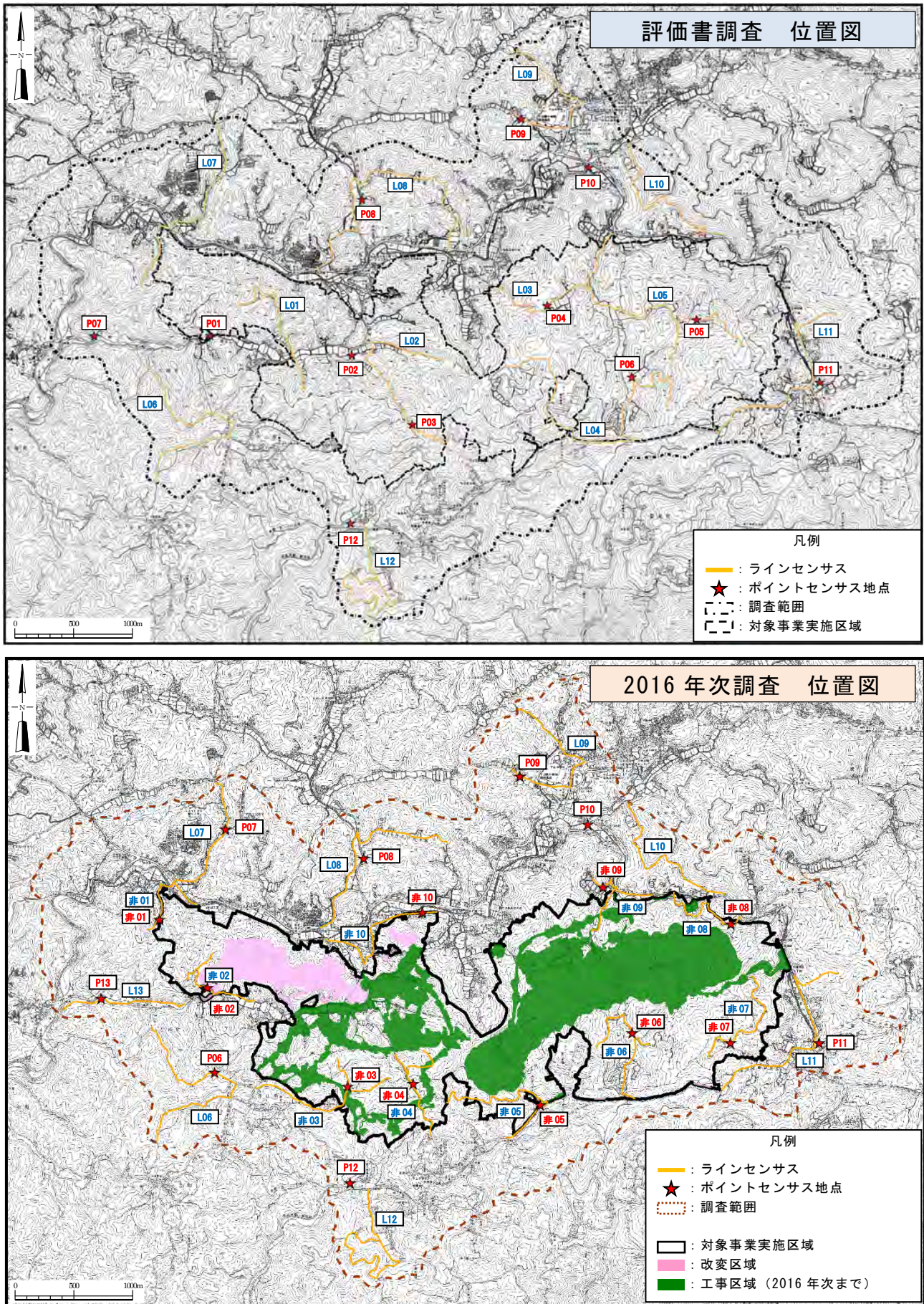


図 2-1(1) 鳥類のセンサス調査地点位置図

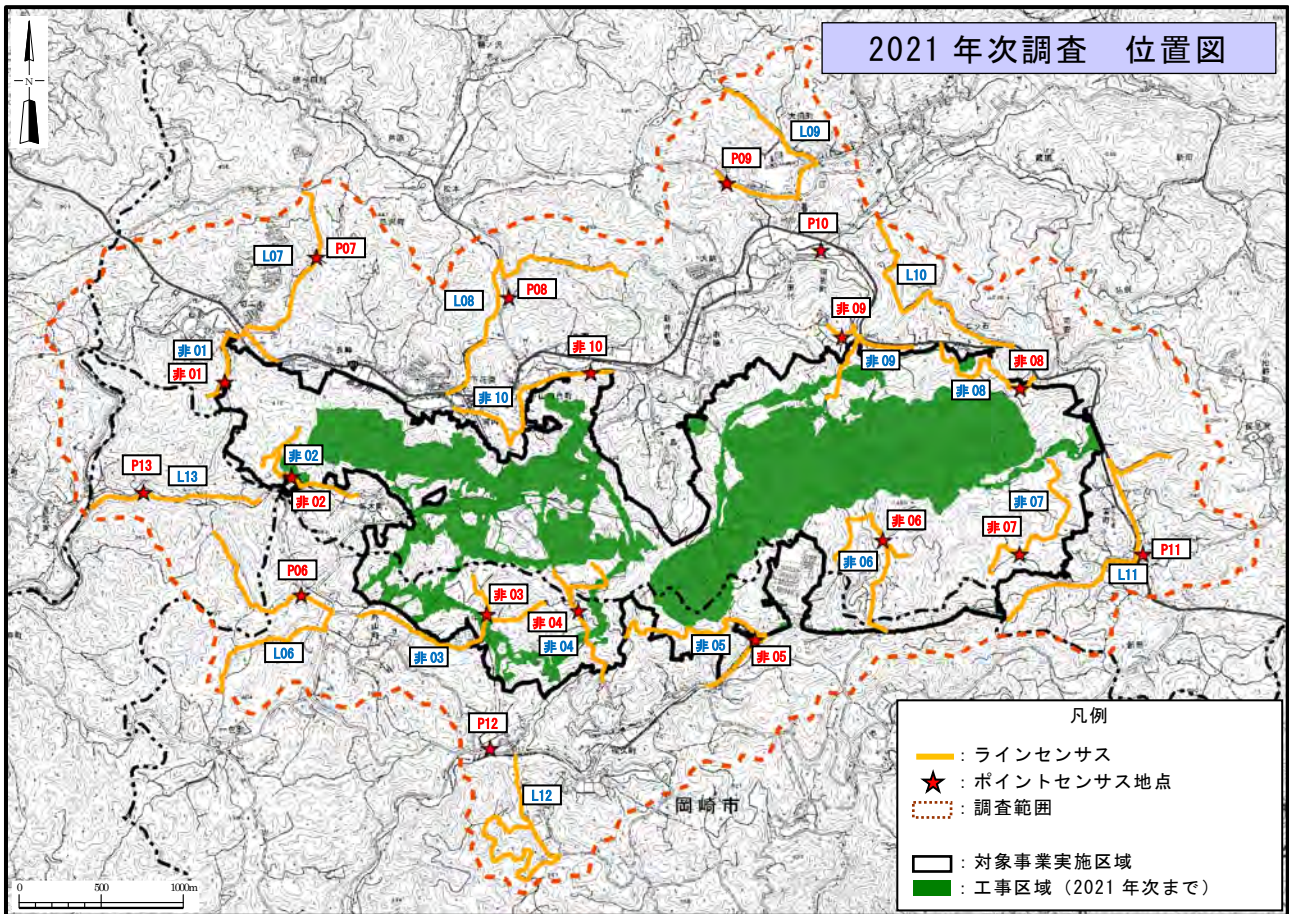


図 2-1(2) 鳥類のセンサス調査地点位置図

(2) 比較方法

2021年次における鳥類センサスの結果について、評価書調査及び2016年次との比較にあたり、地域の生態系を指標すると考えられる「留鳥」、「繁殖期に確認された種」、「越冬期に確認された種」に絞り込んで経年変化を整理することとした。

留鳥：渡り区分から留鳥の可能性のある種を抽出し、1年間の平均生息密度を比較した。
(2007.10～2008.6、2008.10～2009.6、2009.9～2010.7、2016.1～12、2021.1～12で整理。)

繁殖期に確認された種：各年5月～7月に確認された種を1年毎に比較した。

越冬期に確認された種：各年1月～2月に確認された種を1年毎に比較した。

評価書調査及び2016年次との比較は、ラインセンサスについては、評価書調査と2016年次及び2021年次の調査でセンサスラインが完全に一致したL06、L09、L10、L11及びL12の5ラインについて比較を行った。なお、ポイントセンサスについては、観察範囲が広く、範囲内の見え方が一定ではないため、比較は行わないものとした。

(3) センサス調査結果の比較
ア ラインセンサス (L06)

表 2-2(1) 鳥類の生息密度の比較 (L06、留鳥)

評価書時						2016年次			2021年次		
2007-2008		2008-2009		2009-2010		2016			2021		
種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比
ヒヨドリ	1.34	15.4%	エナガ	1.46	14.2%	スズメ	1.09	16.3%	スズメ	1.43	20.1%
メジロ	1.13	13.0%	ヒヨドリ	1.26	12.3%	ヒヨドリ	0.85	12.7%	ヒヨドリ	1.19	16.7%
スズメ	0.89	10.2%	ウグイス	1.20	11.7%	ウグイス	0.70	10.5%	メジロ	0.93	13.1%
エナガ	0.82	9.4%	ホオジロ	1.10	10.7%	エナガ	0.56	8.4%	ホオジロ	0.85	12.0%
ホオジロ	0.76	8.7%	メジロ	0.88	8.6%	メジロ	0.49	7.3%	ウグイス	0.69	9.7%
ウグイス	0.58	6.7%	ヤマガラ	0.82	8.0%	ホオジロ	0.45	6.7%	エナガ	0.40	5.6%
ヤマガラ	0.54	6.2%	カワラヒワ	0.47	4.6%	ヤマガラ	0.43	6.4%	キジバト	0.22	3.1%
カワラヒワ	0.48	5.5%	スズメ	0.43	4.2%	カワラヒワ	0.33	4.9%	ヤマガラ	0.17	2.4%
ハシブトガラス	0.45	5.2%	ハシブトガラス	0.43	4.2%	キジバト	0.33	4.9%	コゲラ	0.17	2.4%
シジュウカラ	0.37	4.2%	キジバト	0.32	3.1%	ハシブトガラス	0.27	4.0%	シジュウカラ	0.15	2.1%
コゲラ	0.32	3.7%	コゲラ	0.31	3.0%	セグロセキレイ	0.24	3.6%	ハシブトガラス	0.14	2.0%
キジバト	0.22	2.5%	シジュウカラ	0.27	2.6%	シジュウカラ	0.23	3.4%	カケス	0.12	1.7%
セグロセキレイ	0.15	1.7%	セグロセキレイ	0.23	2.2%	コゲラ	0.19	2.8%	モズ	0.09	1.3%
イカル	0.13	1.5%	カケス	0.19	1.9%	モズ	0.08	1.2%	イカル	0.09	1.3%
ミンサザイ	0.09	1.0%	イカル	0.15	1.5%	アオサギ	0.08	1.2%	カワラヒワ	0.08	1.1%
ヒガラ	0.07	0.8%	ハシブトガラス	0.12	1.2%	カケス	0.08	1.2%	キセキレイ	0.06	0.8%
カルガモ	0.07	0.8%	ソウシチョウ	0.09	0.9%	キセキレイ	0.08	1.2%	カルガモ	0.06	0.8%
アカゲラ	0.04	0.5%	アオゲラ	0.07	0.7%	ハシブトガラス	0.04	0.6%	ハシブトガラス	0.05	0.7%
カケス	0.04	0.5%	キセキレイ	0.05	0.5%	カワセミ	0.04	0.6%	ソウシチョウ	0.05	0.7%
キセキレイ	0.04	0.5%	オソドリ	0.05	0.5%	キジ	0.03	0.4%	トビ	0.03	0.4%
トビ	0.02	0.2%	モズ	0.04	0.4%	アカゲラ	0.03	0.4%	コジュケイ	0.03	0.4%
ハシブトガラス	0.02	0.2%	コジュケイ	0.04	0.4%	カルガモ	0.03	0.4%	セグロセキレイ	0.03	0.4%
モズ	0.02	0.2%	アカゲラ	0.04	0.4%	アオゲラ	0.01	0.1%	アオゲラ	0.02	0.3%
アオサギ	0.02	0.2%	ヒガラ	0.04	0.4%	ヒガラ	0.01	0.1%	アオサギ	0.02	0.3%
アオハト	0.02	0.2%	カルガモ	0.04	0.4%				トラツグミ	0.02	0.3%
トラツグミ	0.02	0.2%	アオサギ	0.03	0.3%				ヤマドリ	0.02	0.3%
ツミ	0.02	0.2%	フクロウ	0.03	0.3%						
フクロウ	0.02	0.2%	キタイタダキ	0.03	0.3%						
カワセミ	0.02	0.2%	ミンサザイ	0.03	0.3%						
			トビ	0.01	0.1%						
			アオハト	0.01	0.1%						
			カワウ	0.01	0.1%						
生息密度	8.71	100%	生息密度	10.25	100%	生息密度	6.67	100%	生息密度	7.11	100%
種数合計	29 種		種数合計	32 種		種数合計	24 種		種数合計	26 種	
									種数合計	25 種	

表 2-2(2) 鳥類の生息密度の比較 (L06、繁殖期に確認された種)

評価書時						2016年次			2021年次		
2008		2009		2010		2016			2021		
種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比
ヒヨドリ	1.53	14.6%	ウグイス	1.55	15.0%	スズメ	0.99	16.2%	スズメ	1.48	18.8%
メジロ	1.12	10.7%	ヒヨドリ	1.33	12.9%	ウグイス	0.62	10.2%	ヒヨドリ	1.30	16.5%
スズメ	1.07	10.2%	ホオジロ	1.02	9.9%	キビタキ	0.47	7.7%	ウグイス	0.79	10.0%
ホオジロ	1.07	10.2%	メジロ	0.96	9.3%	ヒヨドリ	0.47	7.7%	ホオジロ	0.69	8.8%
ウグイス	0.84	8.0%	エナガ	0.62	6.0%	メジロ	0.37	6.1%	キビタキ	0.46	5.8%
エナガ	0.79	7.5%	キビタキ	0.53	5.1%	ヤマガラ	0.31	5.1%	センダイムシクイ	0.42	5.3%
キビタキ	0.70	6.7%	センダイムシクイ	0.50	4.9%	シジュウカラ	0.31	5.1%	メジロ	0.37	4.7%
ヤマガラ	0.56	5.3%	ヤマガラ	0.47	4.6%	センダイムシクイ	0.31	5.1%	サンショウクイ	0.32	4.1%
シジュウカラ	0.47	4.5%	スズメ	0.40	3.9%	カワラヒワ	0.28	4.6%	ヤブサメ	0.28	3.6%
センダイムシクイ	0.42	4.0%	ハシブトガラス	0.37	3.6%	ハシブトガラス	0.28	4.6%	ヤマガラ	0.28	3.6%
コゲラ	0.37	3.5%	ツバメ	0.34	3.3%	コゲラ	0.22	3.6%	コゲラ	0.23	2.9%
ハシブトガラス	0.28	2.7%	キジバト	0.34	3.3%	オオルリ	0.19	3.1%	ハシブトガラス	0.19	2.4%
カワラヒワ	0.23	2.2%	コゲラ	0.25	2.4%	ホオジロ	0.16	2.6%	イカル	0.19	2.4%
ホトギス	0.23	2.2%	カワラヒワ	0.22	2.1%	キジバト	0.16	2.6%	オオルリ	0.19	2.4%
キジバト	0.19	1.8%	オオルリ	0.16	1.6%	ツバメ	0.12	2.0%	キジバト	0.14	1.8%
カルガモ	0.19	1.8%	シジュウカラ	0.16	1.6%	アオサギ	0.12	2.0%	カルガモ	0.14	1.7%
ツバメ	0.14	1.3%	ハシブトガラス	0.12	1.2%	エナガ	0.12	2.0%	カワラヒワ	0.05	0.6%
サンショウクイ	0.09	0.9%	サンコウチョウ	0.12	1.2%	セグロセキレイ	0.12	2.0%	トビ	0.05	0.6%
アオサギ	0.05	0.5%	ヤブサメ	0.12	1.2%	サンショウクイ	0.06	1.0%	モズ	0.05	0.6%
オオルリ	0.05	0.5%	ホトギス	0.12	1.2%	カケス	0.06	1.0%	サンコウチョウ	0.05	0.6%
カワセミ	0.05	0.5%	セグロセキレイ	0.12	1.2%	ヤブサメ	0.06	1.0%	シジュウカラ	0.05	0.6%
キセキレイ	0.05	0.5%	カケス	0.09	0.9%	ホトギス	0.06	1.0%	ツツドリ	0.05	0.6%
			アオサギ	0.06	0.6%	カワセミ	0.06	1.0%	ヒンズイ	0.05	0.6%
			コジュケイ	0.06	0.6%	カルガモ	0.06	1.0%	セグロセキレイ	0.05	0.6%
			サンショウクイ	0.06	0.6%	ハシブトガラス	0.03	0.5%			
			オソドリ	0.06	0.6%	アオゲラ	0.03	0.5%			
			アオゲラ	0.03	0.3%	ヤブサメ	0.03	0.5%			
			サンバ	0.03	0.3%	キセキレイ	0.03	0.5%			
			ツツドリ	0.03	0.3%						
			キセキレイ	0.03	0.3%						
			カルガモ	0.03	0.3%						
生息密度	10.49	100%	生息密度	10.30	100%	生息密度	6.10	100%	生息密度	7.87	100%
種数合計	22 種		種数合計	31 種		種数合計	28 種		種数合計	24 種	
									種数合計	30 種	

2 鳥類のセンサス結果

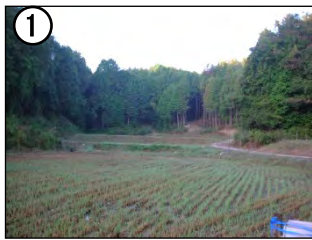
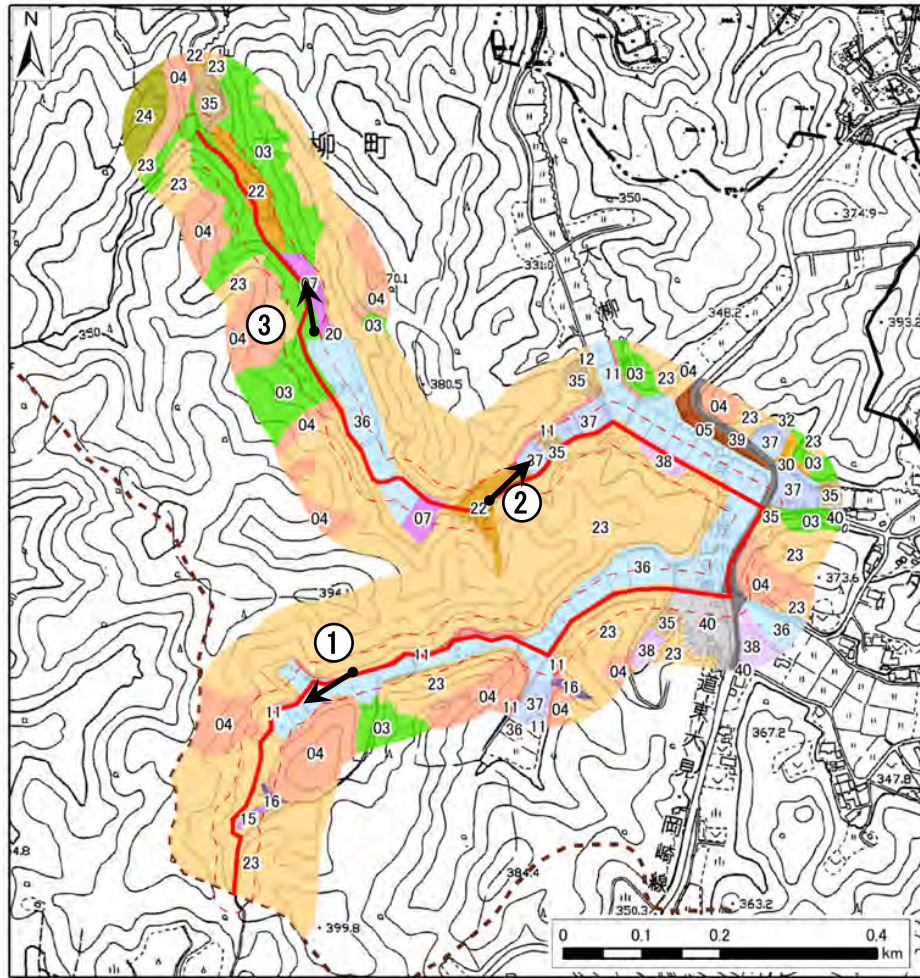
表 2-2(3) 鳥類の生息密度の比較 (L06、越冬期に確認された種)

評価書時														
2008			2009			2010			2016			2021		
種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比
ミヤマホオジロ	0.56	9.6%	エナガ	5.86	30.0%	エナガ	1.12	11.3%	カシラダカ	1.76	17.9%	カシラダカ	1.40	18.8%
クロジ	0.56	9.6%	ヤマガラ	2.42	12.4%	ホオジロ	0.93	9.4%	ヒヨドリ	1.39	14.2%	カワラヒワ	1.31	17.5%
エナガ	0.47	8.0%	ホオジロ	1.12	5.7%	カワラヒワ	0.84	8.5%	メジロ	1.39	14.2%	ホオジロ	1.03	13.8%
ヤマガラ	0.37	6.3%	カワラヒワ	0.93	4.8%	カシラダカ	0.84	8.5%	エナガ	1.20	12.2%	シロハラ	0.75	10.0%
コゲラ	0.28	4.8%	ハンパトガラス	0.84	4.3%	アオジ	0.84	8.5%	ホオジロ	0.93	9.5%	ツグミ	0.65	8.8%
マヒワ	0.28	4.8%	コゲラ	0.84	4.3%	スズメ	0.74	7.5%	アオジ	0.46	4.7%	アオジ	0.56	7.5%
スズメ	0.19	3.2%	マヒワ	0.74	3.8%	ヒヨドリ	0.74	7.5%	コゲラ	0.46	4.7%	シジュウカラ	0.47	6.3%
カワラヒワ	0.19	3.2%	カシラダカ	0.65	3.3%	キジバト	0.65	6.6%	キジバト	0.37	3.8%	ジョウビタキ	0.37	5.0%
カシラダカ	0.19	3.2%	ヒヨドリ	0.65	3.3%	メジロ	0.47	4.8%	ハンパトガラス	0.28	2.9%	ハンボンガラス	0.19	2.5%
ハンパトガラス	0.19	3.2%	メジロ	0.65	3.3%	ヤマガラ	0.47	4.8%	シロハラ	0.19	1.9%	トビ	0.19	2.5%
ホオジロ	0.19	3.2%	シジュウカラ	0.65	3.3%	シジュウカラ	0.47	4.8%	ヤマガラ	0.19	1.9%	セグロセキレイ	0.09	1.3%
メジロ	0.19	3.2%	スズメ	0.56	2.9%	セグロセキレイ	0.47	4.8%	ウグイス	0.19	1.9%	スズメ	0.09	1.3%
アオジ	0.19	3.2%	アオジ	0.47	2.4%	ハンパトガラス	0.37	3.7%	ジョウビタキ	0.19	1.9%	ルリビタキ	0.09	1.3%
シジュウカラ	0.19	3.2%	ソウシチョウ	0.47	2.4%	ウグイス	0.28	2.8%	ビンズイ	0.19	1.9%	ヒヨドリ	0.09	1.3%
ヒガラ	0.19	3.2%	セグロセキレイ	0.47	2.4%	ハンボンガラス	0.19	1.9%	トビ	0.09	0.9%	コゲラ	0.09	1.3%
トビ	0.09	1.5%	ウグイス	0.37	1.9%	ツグミ	0.19	1.9%	モズ	0.09	0.9%	キジバト	0.09	1.3%
ハンボンガラス	0.09	1.5%	ハンボンガラス	0.28	1.4%	カケス	0.09	0.9%	アオゲラ	0.09	0.9%			
キジバト	0.09	1.5%	シロハラ	0.28	1.4%	コゲラ	0.09	0.9%	カケス	0.09	0.9%			
シロハラ	0.09	1.5%	ヒガラ	0.28	1.4%	ジョウビタキ	0.09	0.9%	シジュウカラ	0.09	0.9%			
トラツグミ	0.09	1.5%	ツグミ	0.19	1.0%				ルリビタキ	0.09	0.9%			
ヒヨドリ	0.09	1.5%	キクイタダキ	0.19	1.0%				キセキレイ	0.09	0.9%			
アカゲラ	0.09	1.5%	アオゲラ	0.09	0.5%									
イカル	0.09	1.5%	キジバト	0.09	0.5%									
ウグイス	0.09	1.5%	アカゲラ	0.09	0.5%									
カケス	0.09	1.5%	カケス	0.09	0.5%									
ジョウビタキ	0.09	1.5%	ジョウビタキ	0.09	0.5%									
ツグミ	0.09	1.5%	ルリビタキ	0.09	0.5%									
ツミ	0.09	1.5%	カワウ	0.09	0.5%									
ハイタカ	0.09	1.5%												
フクロウ	0.09	1.5%												
ミソサザイ	0.09	1.5%												
カヤクグリ	0.09	1.5%												
キセキレイ	0.09	1.5%												
生息密度	5.85	100%	生息密度	19.54	100%	生息密度	9.88	100%	生息密度	9.82	100%	生息密度	7.47	100%
種数合計	33 種		種数合計	28 種		種数合計	19 種		種数合計	21 種		種数合計	16 種	

表 2-3 植生別面積 (片側 25m、計 50m 幅) の比較 (L06)

植生番号	植生図凡例	面積 (ha)		
		評価書	2016年次	2021年次
03	クリーコナラ群集	1.16	1.29	1.29
04	ヤマツツジーアカマツ群集	0.34	0.03	0.03
06	伐跡群落	0.00	0.00	0.13
07	ノリウツギ群落	0.30	0.30	0.30
11	メガルカヤーススキ群集	0.18	0.18	0.18
15	ヌマガヤオーダー	0.04	0.06	0.06
16	アギナシーヤナギスプタ群落	0.02	0.00	0.00
22	スギ植林	0.74	0.74	0.61
23	ヒノキ植林	4.03	4.21	4.21
35	畑地雑草群落	0.14	0.14	0.08
36	水田雑草群落	2.81	2.59	2.68
37	水田雑草群落 (休耕地)	0.28	0.26	0.23
38	放棄水田群落	0.19	0.43	0.43
39	市街地等	0.22	0.22	0.22
40	緑の多い住宅地	0.25	0.25	0.25
合計		10.70	10.70	10.70

評価書調査



凡 例

— センサスライン

--- 調査範囲 (観察幅:片側25m,計50m)

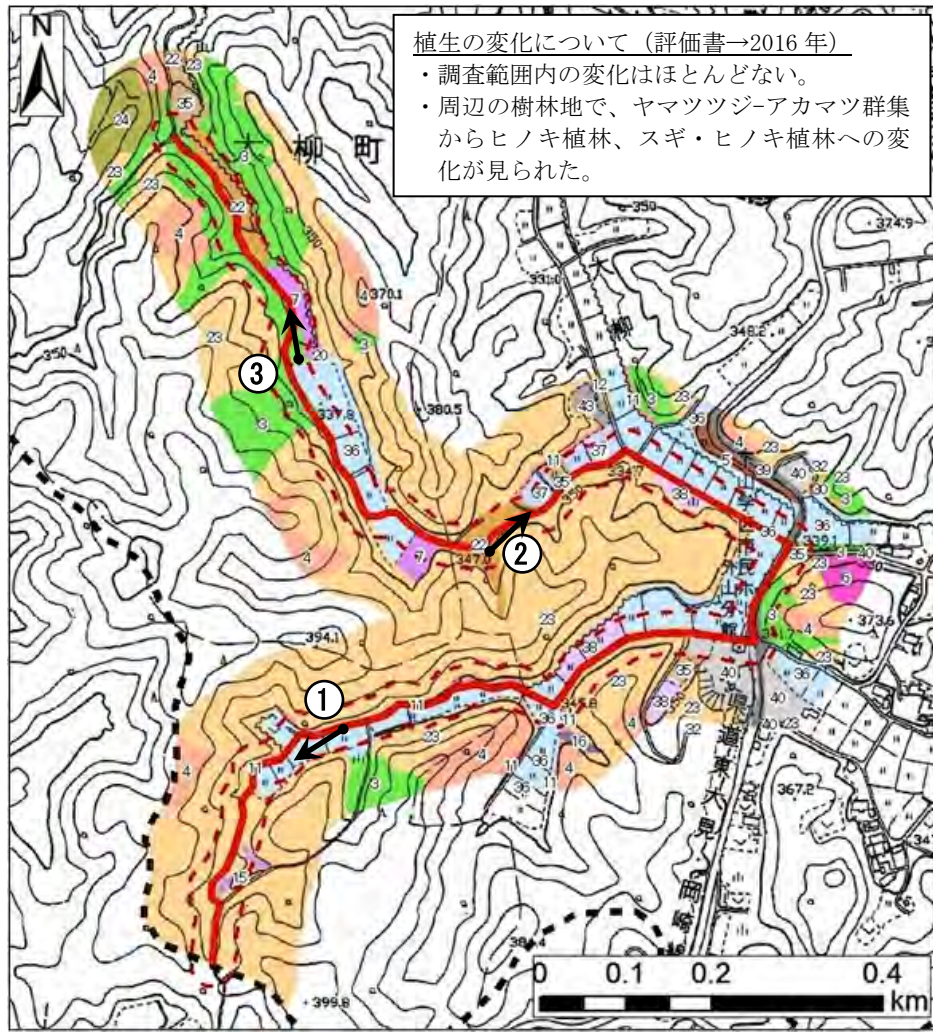
→ 写真撮影位置・方向

- | | |
|-----------------|------------------|
| 03 クリーコナラ群集 | 23 ヒノキ植林 |
| 04 ヤマツツジーアカマツ群集 | 24 スギ・ヒノキ植林(若齢林) |
| 05 アカメガシワ群落 | 30 竹林 |
| 06 伐跡群落 | 32 路傍空地雑草群落 |
| 07 ノリウツギ群落 | 35 畑地雑草群落 |
| 11 メガルカヤースキ群集 | 36 水田雑草群落 |
| 12 セイタカアワダチソウ群落 | 37 水田雑草群落(休耕地) |
| 15 ヌマガヤオーダー | 38 放棄水田群落 |
| 16 アギナシヤナギスプタ群落 | 39 市街地等 |
| 20 ヒルムシロウラス | 40 緑の多い住宅地 |
| 22 スギ植林 | 43 造成地 |

ルート L06
総延長 2.123km

図 2-2(1) 植生図の比較 (L06、評価書調査)

2016 年次調査



植生の変化について（評価書→2016年）

- ・調査範囲内の変化はほとんどない。
- ・周辺の樹林地で、ヤマツツジ・アカマツ群集からヒノキ植林、スギ・ヒノキ植林への変化が見られた。



凡 例

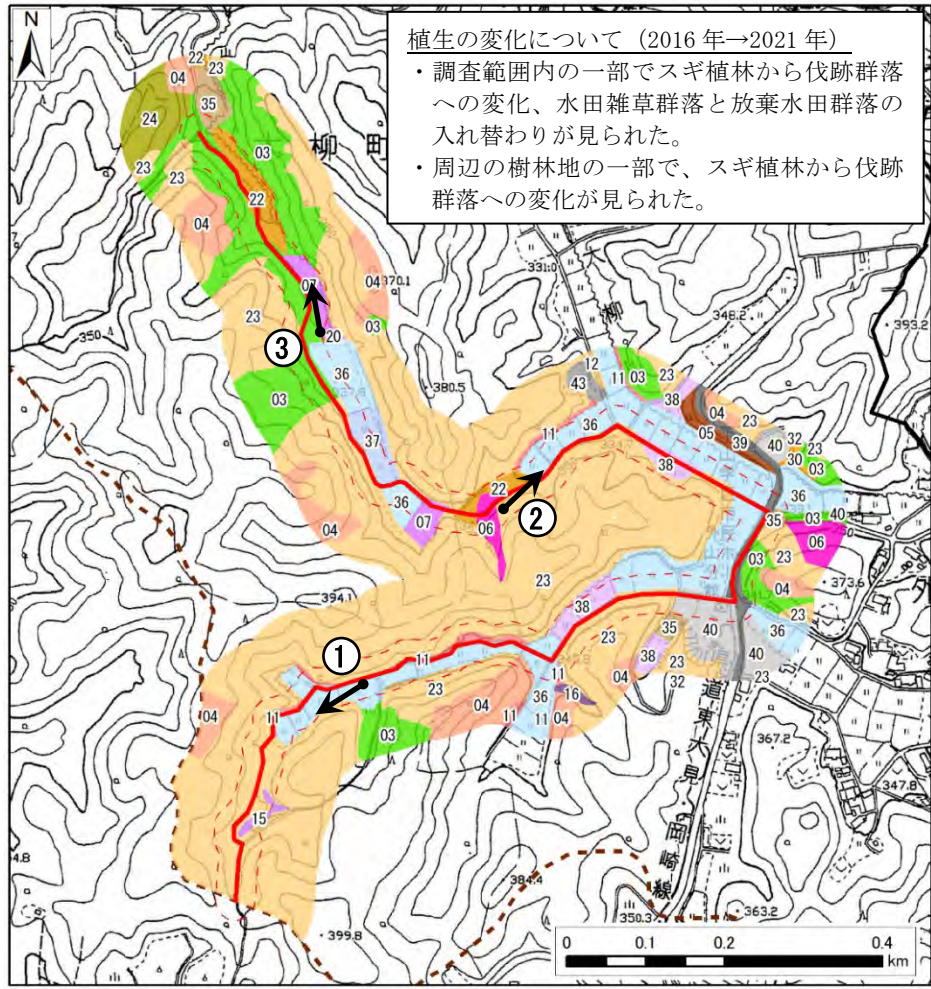
- センサスライン
- 調査範囲（観察幅：片側25m、計50m）
- 写真撮影位置・方向

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 03クレーコナラ群集 ■ 04ヤマツツジ・アカマツ群集 ■ 05アカメガシワ群落 ■ 06伐跡群落 ■ 07ノリウツギ群落 ■ 11メガルカヤーススキ群集 ■ 12セイタカアワダチソウ群落 ■ 15ヌマガヤオーダー ■ 16アギナシ・ヤナギスズタ群落 ■ 20ヒルムシロクラス ■ 22スギ植林 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 23ヒノキ植林 ■ 24スギ・ヒノキ植林（若齢林） ■ 30竹林 ■ 32路傍空地雑草群落 ■ 35畑地雑草群落 ■ 36水田雑草群落 ■ 37水田雑草群落（休耕田） ■ 38放棄水田群落 ■ 39市街地等 ■ 40緑の多い住宅地 ■ 43造成地 |
|--|---|

ルート L06
 総延長 2.123km

図 2-2(2) 植生図の比較（L06、2016 年次調査）

2021 年次調査



凡 例

- センサスライン
- - - 調査範囲 (観察幅: 片側25m, 計50m)
- 写真撮影位置・方向

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 03クレーコナラ群集 ■ 04ヤマツツジーアカマツ群集 ■ 05アカメガシワ群落 ■ 06伐跡群落 ■ 07ノリウツギ群落 ■ 11メガルカヤースキ群集 ■ 12セイトカアワダチソウ群落 ■ 15ヌマガヤオーダー ■ 16アギナシーヤナギスプタ群落 ■ 20ヒルムシロウラス ■ 22スギ植林 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 23ヒノキ植林 ■ 24スギ・ヒノキ植林(若齢林) ■ 30竹林 ■ 32路傍空地雑草群落 ■ 35畑地雑草群落 ■ 36水田雑草群落 ■ 37水田雑草群落(休耕田) ■ 38放棄水田群落 ■ 39市街地等 ■ 40緑の多い住宅地 ■ 43造成地 |
|---|---|

ルート L06
 総延長 2.123km

図 2-2(3) 植生図の比較 (L06、2021 年次調査)

2 鳥類のセンサス結果

イ ラインセンサス (L09)

表 2-4(1) 鳥類の生息密度の比較 (L09、留鳥)

評価書時						2016年次			2021年次		
2007-2008		2008-2009		2009-2010		2016			2021		
種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比
ヒヨドリ	2.12	19.4%	スズメ	1.27	13.9%	ヒヨドリ	1.24	19.4%	メジロ	0.85	17.9%
スズメ	1.40	12.8%	カワラヒワ	0.98	10.7%	スズメ	0.71	11.1%	ホオジロ	0.69	14.4%
カワラヒワ	1.30	11.9%	ヒヨドリ	0.98	10.7%	ウグイス	0.67	10.5%	メジロ	0.70	10.2%
メジロ	1.02	9.4%	メジロ	0.89	9.7%	ホオジロ	0.58	9.1%	ウグイス	0.70	10.2%
ウグイス	0.82	7.5%	エナガ	0.84	9.2%	メジロ	0.47	7.4%	スズメ	0.48	7.0%
ハシブトガラス	0.61	5.6%	ウグイス	0.62	6.8%	エナガ	0.44	6.9%	エナガ	0.48	7.0%
シジュウカラ	0.54	5.0%	ヤマガラ	0.55	6.0%	カワラヒワ	0.33	5.2%	キジバト	0.37	5.4%
エナガ	0.51	4.7%	ホオジロ	0.51	5.6%	キジバト	0.27	4.2%	カワラヒワ	0.27	4.0%
キジバト	0.46	4.2%	キジバト	0.42	4.6%	ヤマガラ	0.27	4.2%	モズ	0.27	4.0%
ヤマガラ	0.41	3.8%	コガラ	0.31	3.4%	ハシブトガラス	0.25	3.9%	ハシブトガラス	0.21	3.1%
ホオジロ	0.38	3.5%	ハシブトガラス	0.29	3.2%	セグロセキレイ	0.25	3.9%	コガラ	0.17	2.5%
イカル	0.23	2.1%	モズ	0.24	2.6%	コガラ	0.20	3.1%	ヤマガラ	0.15	2.2%
コガラ	0.20	1.8%	セグロセキレイ	0.24	2.6%	モズ	0.16	2.5%	シジュウカラ	0.12	1.8%
セグロセキレイ	0.13	1.2%	シジュウカラ	0.22	2.4%	シジュウカラ	0.09	1.4%	カケス	0.08	1.2%
ハシブトガラス	0.10	0.9%	キセキレイ	0.15	1.6%	キセキレイ	0.09	1.4%	キセキレイ	0.08	1.2%
アオガラ	0.08	0.7%	カケス	0.13	1.4%	ハシブトガラス	0.07	1.1%	アオガラ	0.04	0.6%
ハクセキレイ	0.08	0.7%	コジュケイ	0.11	1.2%	カケス	0.07	1.1%	キジ	0.04	0.6%
モズ	0.05	0.5%	ハシブトガラス	0.05	0.5%	アオサギ	0.05	0.8%	イカル	0.04	0.6%
キジ	0.05	0.5%	キジ	0.05	0.5%	ハクセキレイ	0.05	0.8%	ヒガラ	0.04	0.6%
コジュケイ	0.05	0.5%	イカル	0.05	0.5%	アオガラ	0.04	0.6%	カルガモ	0.04	0.6%
ヒガラ	0.05	0.5%	ヒガラ	0.05	0.5%	アオバト	0.02	0.3%	ハシブトガラス	0.02	0.3%
キセキレイ	0.05	0.5%	コチドリ	0.05	0.5%	キジ	0.02	0.3%	コジュケイ	0.02	0.3%
カルガモ	0.05	0.5%	ノスリ	0.04	0.4%	アカガラ	0.02	0.3%	セグロセキレイ	0.02	0.3%
トビ	0.03	0.3%	ハクセキレイ	0.04	0.4%	イカル	0.02	0.3%	アオサギ	0.02	0.4%
ノスリ	0.03	0.3%	アオガラ	0.02	0.2%				アオバト	0.02	0.4%
トラツグミ	0.03	0.3%	ミンサザイ	0.02	0.2%						
ヤマドリ	0.03	0.3%	カワウ	0.02	0.2%						
アカガラ	0.03	0.3%									
カケス	0.03	0.3%									
フクロウ	0.03	0.3%									
生息密度	10.90	100%	生息密度	9.14	100%	生息密度	6.38	100%	生息密度	6.83	100%
種数合計	30 種		種数合計	27 種		種数合計	24 種		種数合計	23 種	
									種数合計	25 種	

表 2-4(2) 鳥類の生息密度の比較 (L09、繁殖期に確認された種)

評価書時						2016年次			2021年次		
2008		2009		2010		2016			2021		
種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比
ヒヨドリ	1.98	19.1%	スズメ	1.23	11.3%	ヒヨドリ	1.27	18.5%	ヒヨドリ	1.19	19.0%
スズメ	1.08	10.4%	ヒヨドリ	1.19	10.9%	ウグイス	1.02	14.8%	ツバメ	1.31	17.3%
カワラヒワ	0.89	8.6%	カワラヒワ	1.06	9.8%	ホオジロ	0.81	11.8%	スズメ	0.75	9.9%
ウグイス	0.83	8.0%	ウグイス	0.81	7.5%	キビタキ	0.55	8.0%	メジロ	0.56	7.4%
キビタキ	0.64	6.2%	メジロ	0.76	7.0%	カワラヒワ	0.47	6.8%	ウグイス	0.50	6.6%
シジュウカラ	0.64	6.2%	キビタキ	0.64	5.9%	スズメ	0.42	6.1%	サンショウクイ	0.37	4.9%
エナガ	0.57	5.5%	エナガ	0.51	4.7%	ツバメ	0.30	4.4%	ヤマガラ	0.31	4.1%
メジロ	0.45	4.3%	ホオジロ	0.47	4.3%	キジバト	0.25	3.6%	センダイムシクイ	0.31	4.1%
ツバメ	0.38	3.7%	キジバト	0.42	3.9%	センダイムシクイ	0.25	3.6%	カワラヒワ	0.25	3.3%
キジバト	0.38	3.7%	ヤマガラ	0.42	3.9%	メジロ	0.21	3.1%	コガラ	0.25	3.3%
ホオジロ	0.32	3.1%	セグロセキレイ	0.38	3.5%	オオルリ	0.17	2.5%	ハシブトガラス	0.19	2.5%
ヤマガラ	0.32	3.1%	コガラ	0.34	3.1%	コガラ	0.17	2.5%	ホオジロ	0.19	2.5%
ハシブトガラス	0.25	2.4%	シジュウカラ	0.34	3.1%	セグロセキレイ	0.17	2.5%	キジバト	0.19	2.5%
ホトギス	0.25	2.4%	センダイムシクイ	0.30	2.8%	ヤマガラ	0.13	1.9%	キビタキ	0.19	2.5%
セグロセキレイ	0.25	2.4%	ツバメ	0.21	1.9%	ホトギス	0.13	1.9%	キジ	0.12	1.6%
イカル	0.19	1.8%	サンショウクイ	0.21	1.9%	ハシブトガラス	0.08	1.2%	クロツグミ	0.12	1.6%
コガラ	0.19	1.8%	ヤブサメ	0.21	1.9%	アオサギ	0.08	1.2%	イカル	0.12	1.6%
アオガラ	0.13	1.3%	キセキレイ	0.21	1.9%	シジュウカラ	0.08	1.2%	シジュウカラ	0.12	1.6%
オオルリ	0.13	1.3%	オオルリ	0.17	1.6%	アオガラ	0.04	0.6%	ホトギス	0.12	1.6%
センダイムシクイ	0.13	1.3%	モズ	0.13	1.2%	アオバト	0.04	0.6%	コジュケイ	0.06	0.8%
カルガモ	0.13	1.3%	カケス	0.13	1.2%	アカショウビン	0.04	0.6%	オオルリ	0.06	0.8%
キジ	0.06	0.6%	コチドリ	0.13	1.2%	サンショウクイ	0.04	0.6%	キセキレイ	0.06	0.8%
コジュケイ	0.06	0.6%	ノスリ	0.08	0.7%	サンショウクイ	0.04	0.6%	セグロセキレイ	0.06	0.8%
サンショウクイ	0.06	0.6%	ハシブトガラス	0.08	0.7%	ヤブサメ	0.04	0.6%			
フクロウ	0.06	0.6%	ハシブトガラス	0.08	0.7%	イカル	0.04	0.6%			
			キジ	0.08	0.7%	カケス	0.04	0.6%			
			イカル	0.08	0.7%						
			ホトギス	0.08	0.7%						
			コサメビタキ	0.04	0.4%						
			ヒガラ	0.04	0.4%						
			カワウ	0.04	0.4%						
生息密度	10.37	100%	生息密度	10.87	100%	生息密度	6.88	100%	生息密度	7.58	100%
種数合計	25 種		種数合計	31 種		種数合計	26 種		種数合計	23 種	
									種数合計	22 種	

表 2-4(3) 鳥類の生息密度の比較 (L09、越冬期に確認された種)

評価書時						2016年次		2021年次			
2008		2009		2010		2016		2021			
種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比
カワラヒワ	4.33	19.1%	スズメ	2.42	13.0%	ヒヨドリ	1.78	43.7%	カケス	0.87	28.0%
ヒヨドリ	2.17	9.6%	カシラダカ	2.04	11.0%	ハシブトガラス	0.51	12.5%	ホオジロ	2.49	20.2%
スズメ	2.04	9.0%	エナガ	1.91	10.3%	アオジ	0.38	9.3%	エナガ	2.24	18.2%
ハシブトガラス	1.78	7.8%	カワラヒワ	1.40	7.5%	カワラヒワ	0.25	6.1%	カワラヒワ	0.87	7.1%
メジロ	1.53	6.7%	ホオジロ	1.27	6.8%	ホオジロ	0.25	6.1%	ハシブトガラス	0.87	7.1%
エナガ	1.15	5.1%	ヒヨドリ	1.27	6.8%	コゲラ	0.25	6.1%	シロハラ	0.87	7.1%
ツグミ	1.02	4.5%	アオジ	1.15	6.2%	ヤマガラ	0.13	3.2%	メジロ	0.50	4.1%
カシラダカ	0.89	3.9%	ハシブトガラス	1.02	5.5%	エナガ	0.13	3.2%	モズ	0.37	3.0%
シロハラ	0.64	2.8%	メジロ	1.02	5.5%	カケス	0.13	3.2%	ジョウビタキ	0.25	2.0%
ハシブトガラス	0.51	2.2%	ヤマガラ	1.02	5.5%	ジョウビタキ	0.13	3.2%	アオジ	0.12	1.0%
ホオジロ	0.51	2.2%	コゲラ	0.89	4.8%	キセキレイ	0.13	3.2%	ウグイス	0.12	1.0%
キジバト	0.51	2.2%	マヒワ	0.64	3.4%				カケス	0.12	1.0%
アオジ	0.51	2.2%	シジュウカラ	0.38	2.0%				キセキレイ	0.12	1.0%
クロジ	0.51	2.2%	ツグミ	0.38	2.0%						
マヒワ	0.51	2.2%	モズ	0.25	1.3%						
ミヤマホオジロ	0.38	1.7%	キジバト	0.25	1.3%						
ウグイス	0.38	1.7%	ジョウビタキ	0.25	1.3%						
シジュウカラ	0.38	1.7%	ヒガラ	0.25	1.3%						
ウソ	0.38	1.7%	アオゲラ	0.13	0.7%						
ヤマガラ	0.25	1.1%	コジュケイ	0.13	0.7%						
アトリ	0.25	1.1%	シロハラ	0.13	0.7%						
ヒガラ	0.25	1.1%	カケス	0.13	0.7%						
ルリビタキ	0.25	1.1%	ミンサザイ	0.13	0.7%						
トビ	0.13	0.6%	セグロセキレイ	0.13	0.7%						
ノスリ	0.13	0.6%									
モズ	0.13	0.6%									
コジュケイ	0.13	0.6%									
トラツグミ	0.13	0.6%									
ヤマドリ	0.13	0.6%									
アカゲラ	0.13	0.6%									
イカル	0.13	0.6%									
カケス	0.13	0.6%									
コゲラ	0.13	0.6%									
ジョウビタキ	0.13	0.6%									
キセキレイ	0.13	0.6%									
生息密度	22.69	100%	生息密度	18.59	100%	生息密度	4.07	100%	生息密度	12.30	100%
種数合計	35種		種数合計	24種		種数合計	11種		種数合計	11種	

表 2-5 植生別面積 (片側 25m、計 50m 幅) の比較 (L09)

植生番号	植生図凡例	面積 (ha)		
		評価書	2016年次	2021年次
03	クリーコナラ群集	1.45	1.46	1.46
06	伐跡群落	0.00	0.00	0.10
07	ノリウツギ群落	0.29	0.29	0.29
09	クズ群落	0.12	0.09	0.09
10	ネザサーススキ群集	0.00	0.00	0.21
23	ヒノキ植林	0.74	0.74	0.64
24	スギ・ヒノキ植林 (若齢林)	0.05	0.05	0.06
25	アカマツ植林	0.17	0.17	0.17
27	ケヤマハンノキ植林	0.11	0.11	0.11
30	竹林	0.31	0.27	0.28
32	路傍空地雑草群落	0.02	0.02	0.02
35	畑地雑草群落	0.01	0.00	0.00
36	水田雑草群落	0.40	0.54	0.00
37	水田雑草群落 (休耕地)	0.16	0.01	0.00
38	放棄水田群落	0.42	0.56	0.91
39	市街地等	2.69	2.70	2.70
40	緑の多い住宅地	0.39	0.39	0.38
41	公園・墓地等	0.19	0.23	0.23
43	造成地	0.41	0.30	0.28
44	開放水域	0.07	0.07	0.07
合計		8.00	8.00	8.00

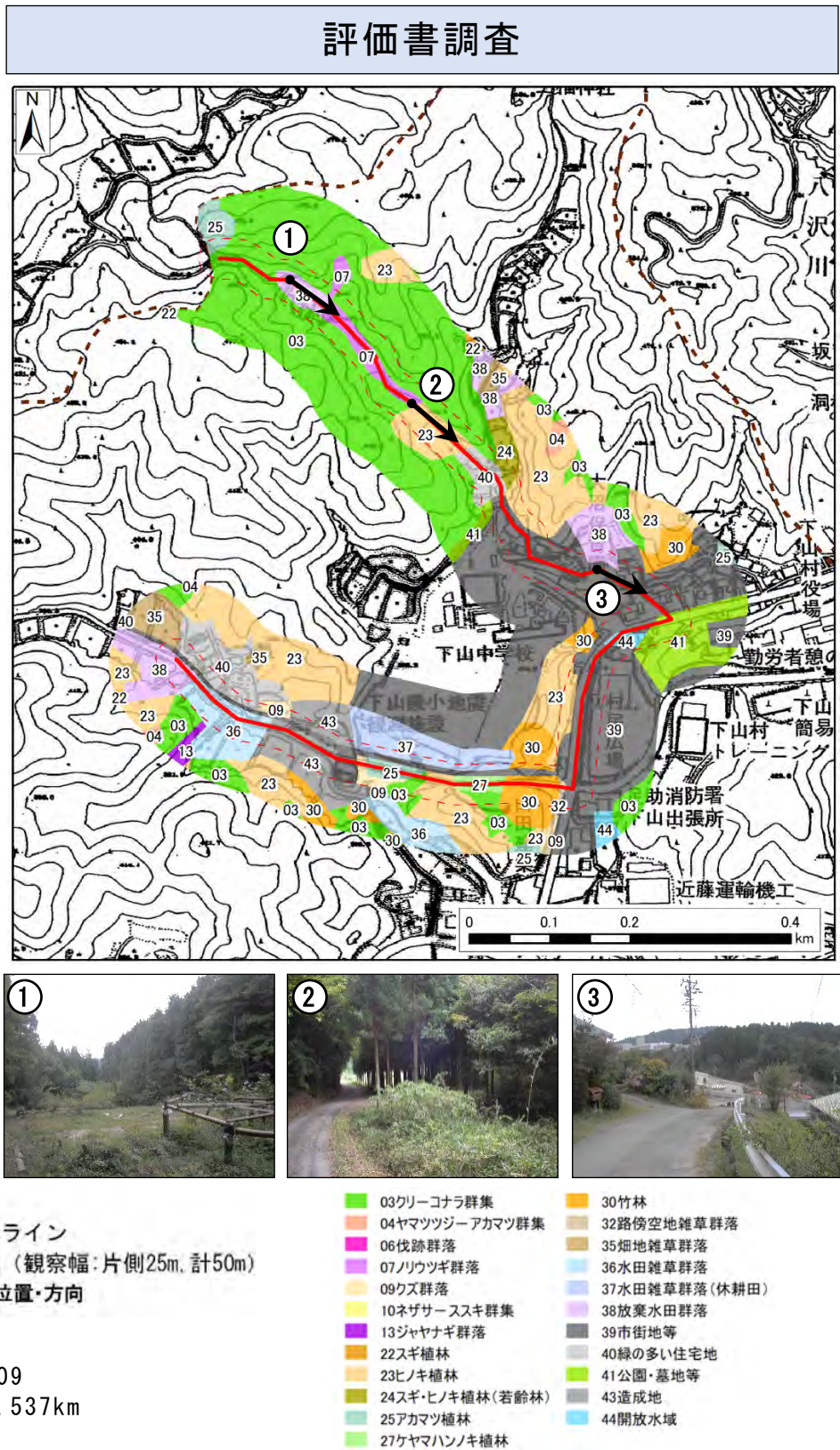


図 2-3(1) 植生図の比較 (L09、評価書調査)

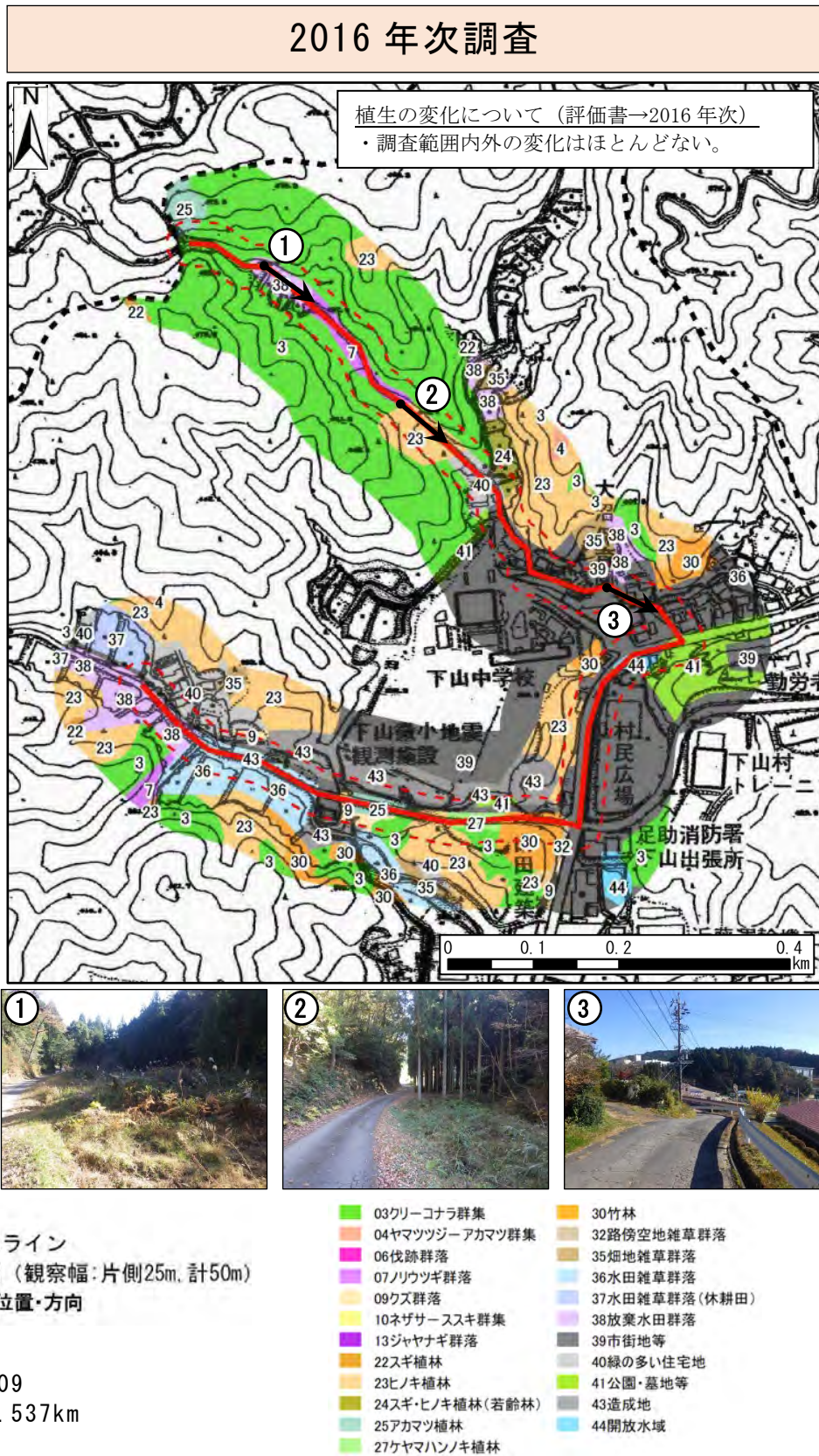


図 2-3(2) 植生図の比較 (L09、2016 年次調査)



図 2-3(3) 植生図の比較 (L09、2021 年次調査)

ウ ラインセンサス (L10)

表 2-6(1) 鳥類の生息密度の比較 (L10、留鳥)

評価書時						2016年次			2021年次		
2007-2008		2008-2009		2009-2010		2016			2021		
種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比
メジロ	1.33	17.5%	ウグイス	1.38	19.8%	ヒヨドリ	1.00	17.7%	エナガ	1.43	25.9%
ヒヨドリ	1.31	17.3%	ヒヨドリ	1.00	14.3%	メジロ	0.88	15.6%	メジロ	0.84	15.2%
ウグイス	1.10	14.5%	メジロ	0.83	11.9%	ウグイス	0.74	13.1%	ヒヨドリ	0.80	14.5%
エナガ	0.50	6.6%	エナガ	0.65	9.3%	エナガ	0.57	10.1%	ヤマガラ	0.31	5.6%
ホオジロ	0.48	6.3%	ヤマガラ	0.50	7.2%	カワラヒワ	0.38	6.7%	ウグイス	0.31	5.6%
ヤマガラ	0.48	6.3%	ホオジロ	0.48	6.9%	ヤマガラ	0.38	6.7%	カワラヒワ	0.23	4.2%
カワラヒワ	0.45	5.9%	カワラヒワ	0.36	5.2%	ハシブトガラス	0.32	5.7%	ソウシチョウ	0.21	3.8%
アオハト	0.28	3.7%	ハシブトガラス	0.29	4.2%	ホオジロ	0.22	3.9%	キジバト	0.19	3.4%
シジュウカラ	0.25	3.3%	シジュウカラ	0.25	3.6%	シジュウカラ	0.18	3.2%	シジュウカラ	0.19	3.4%
ハシブトガラス	0.20	2.6%	キジバト	0.20	2.9%	ソウシチョウ	0.18	3.2%	ヒガラ	0.19	3.4%
キジバト	0.20	2.6%	スズメ	0.14	2.0%	キジバト	0.16	2.8%	ハシブトガラス	0.17	3.1%
イカル	0.20	2.6%	カケス	0.14	2.0%	セグロセキレイ	0.11	1.9%	ホオジロ	0.13	2.4%
カケス	0.20	2.6%	コガラ	0.14	2.0%	カケス	0.09	1.6%	ミノサザイ	0.13	2.4%
スズメ	0.10	1.3%	イカル	0.13	1.9%	スズメ	0.05	0.9%	カケス	0.10	1.8%
ヒガラ	0.08	1.1%	ハシボソガラス	0.09	1.3%	モズ	0.05	0.9%	コガラ	0.08	1.4%
ミノサザイ	0.08	1.1%	モズ	0.09	1.3%	コガラ	0.05	0.9%	モズ	0.06	1.1%
キセキレイ	0.08	1.1%	ヒガラ	0.07	1.0%	ヒガラ	0.05	0.9%	アオケラ	0.04	0.7%
ハシボソガラス	0.05	0.7%	キセキレイ	0.05	0.7%	ハシボソガラス	0.04	0.7%	アオサギ	0.04	0.7%
モズ	0.05	0.7%	セグロセキレイ	0.05	0.7%	コジュケイ	0.04	0.7%	ハシボソガラス	0.02	0.4%
コガラ	0.05	0.7%	アオケラ	0.04	0.6%	イカル	0.04	0.7%	キジ	0.02	0.4%
トビ	0.03	0.4%	コジュケイ	0.04	0.6%	クイタダキ	0.04	0.7%	フクロウ	0.02	0.4%
コジュケイ	0.03	0.4%	アオハト	0.02	0.3%	アオケラ	0.02	0.4%	キセキレイ	0.02	0.4%
フクロウ	0.03	0.4%	キジ	0.02	0.3%	アオサギ	0.02	0.4%			
セグロセキレイ	0.03	0.4%	カワセミ	0.02	0.3%	アオハト	0.02	0.4%			
						カワウ	0.02	0.4%			
生息密度	7.59	100%	生息密度	6.98	100%	生息密度	5.65	100%	生息密度	5.53	100%
種数合計	24		種数合計	24		種数合計	25		種数合計	22	
									種数合計	20	

表 2-6(2) 鳥類の生息密度の比較 (L10、繁殖期に確認された種)

評価書時						2016年次			2021年次		
2008		2009		2010		2016			2021		
種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比
ヒヨドリ	1.57	21.2%	ウグイス	1.88	20.2%	ヒヨドリ	1.09	17.6%	エナガ	1.51	22.0%
ウグイス	1.13	15.2%	ヒヨドリ	1.17	12.6%	ウグイス	0.96	15.5%	ヒヨドリ	0.82	12.0%
メジロ	0.82	11.1%	メジロ	0.96	10.3%	メジロ	0.54	8.7%	キビタキ	0.76	11.1%
キビタキ	0.75	10.1%	キビタキ	0.84	9.0%	ハシブトガラス	0.46	7.4%	メジロ	0.69	10.1%
ヤマガラ	0.44	5.9%	ヤマガラ	0.71	7.6%	カワラヒワ	0.42	6.8%	ヤブサメ	0.38	5.5%
ホオジロ	0.38	5.1%	エナガ	0.50	5.4%	キビタキ	0.33	5.3%	ヤマガラ	0.38	5.5%
カワラヒワ	0.31	4.2%	センダイムシクイ	0.42	4.5%	ヤマガラ	0.33	5.3%	キジバト	0.31	4.5%
シジュウカラ	0.31	4.2%	カワラヒワ	0.38	4.1%	ホオジロ	0.29	4.7%	ウグイス	0.25	3.6%
エナガ	0.25	3.4%	ハシブトガラス	0.38	4.1%	エナガ	0.25	4.0%	ホオジロ	0.19	2.8%
サンショウクイ	0.19	2.6%	オオルリ	0.38	4.1%	ホトトギス	0.17	2.8%	オオルリ	0.19	2.8%
ホトトギス	0.19	2.6%	ホオジロ	0.29	3.1%	ツバメ	0.13	2.1%	シジュウカラ	0.19	2.8%
キジバト	0.13	1.8%	スズメ	0.25	2.7%	キジバト	0.13	2.1%	センダイムシクイ	0.19	2.8%
ヤブサメ	0.13	1.8%	キジバト	0.25	2.7%	サンショウクイ	0.13	2.1%	ハシブトガラス	0.13	1.9%
オオルリ	0.13	1.8%	サンショウクイ	0.13	1.4%	ヤブサメ	0.13	2.1%	アオサギ	0.13	1.9%
コガラ	0.13	1.8%	シジュウカラ	0.13	1.4%	オオルリ	0.13	2.1%	アカショウビン	0.13	1.9%
キセキレイ	0.13	1.8%	モズ	0.08	0.9%	シジュウカラ	0.13	2.1%	サンショウクイ	0.13	1.9%
スズメ	0.06	0.8%	イカル	0.08	0.9%	ハシボソガラス	0.08	1.3%	ハシボソガラス	0.06	0.9%
ツバメ	0.06	0.8%	コガラ	0.08	0.9%	コジュケイ	0.08	1.3%	クロツグミ	0.06	0.9%
トビ	0.06	0.8%	ホトトギス	0.08	0.9%	サンショウクイ	0.08	1.3%	サンショウクイ	0.06	0.9%
ハシボソガラス	0.06	0.8%	ツバメ	0.04	0.4%	セグロセキレイ	0.08	1.3%	コガラ	0.06	0.9%
イカル	0.06	0.8%	ハシボソガラス	0.04	0.4%	アオサギ	0.04	0.6%	コガラ	0.06	0.9%
センダイムシクイ	0.06	0.8%	キジ	0.04	0.4%	コガラ	0.04	0.6%	フクロウ	0.06	0.9%
セグロセキレイ	0.06	0.8%	コジュケイ	0.04	0.4%	コサメビタキ	0.04	0.6%	ホトトギス	0.06	0.9%
			ヤブサメ	0.04	0.4%	サシバ	0.04	0.6%	マミジロ	0.06	0.9%
			カケス	0.04	0.4%	ヒガラ	0.04	0.6%			
			カワセミ	0.04	0.4%	カワウ	0.04	0.6%			
			セグロセキレイ	0.04	0.4%						
生息密度	7.41	100%	生息密度	9.31	100%	生息密度	6.18	100%	生息密度	6.86	100%
種数合計	23		種数合計	27		種数合計	26		種数合計	24	
									種数合計	17	

2 鳥類のセンサス結果

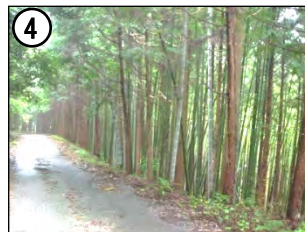
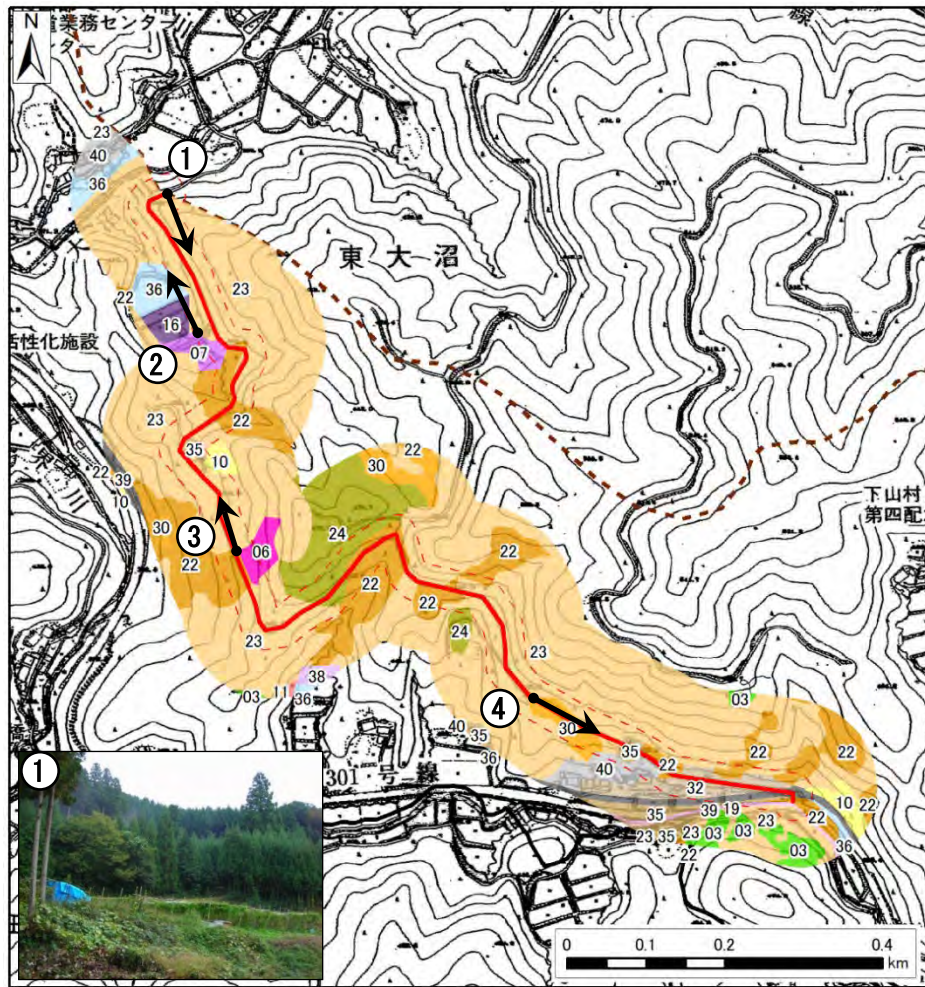
表 2-6(3) 鳥類の生息密度の比較 (L10、越冬期に確認された種)

評価書時						2016年次			2021年次					
2008			2009			2010			2016			2021		
種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比
アオバト	1.13	13.4%	カワラヒワ	0.88	9.7%	カシラダカ	1.76	13.8%	エナガ	2.02	23.8%	カケス	0.89	25.9%
ウグイス	0.75	8.9%	ヒヨドリ	0.75	8.3%	アトリ	1.38	10.9%	アオジ	1.13	13.3%	ヒヨドリ	0.38	11.1%
カワラヒワ	0.63	7.5%	ウグイス	0.75	8.3%	ソウシチョウ	1.26	9.9%	ヒガラ	1.13	13.3%	ヒガラ	0.38	11.1%
ホオジロ	0.63	7.5%	エナガ	0.75	8.3%	エナガ	1.13	8.9%	カワラヒワ	1.01	11.9%	ルリビタキ	0.25	7.4%
カシラダカ	0.50	5.9%	ホオジロ	0.63	6.9%	カワラヒワ	1.00	7.9%	ヤマガラ	0.76	9.0%	シロハラ	0.25	7.4%
キジバト	0.50	5.9%	アオジ	0.63	6.9%	メジロ	1.00	7.9%	ミソサザイ	0.63	7.4%	ヤマガラ	0.25	7.4%
メジロ	0.50	5.9%	シロハラ	0.50	5.5%	アオジ	0.88	6.9%	ヒヨドリ	0.38	4.5%	コゲラ	0.25	7.4%
カケス	0.50	5.9%	カケス	0.50	5.5%	ヒヨドリ	0.75	5.9%	カケス	0.38	4.5%	アオジ	0.13	3.7%
ハシブトガラス	0.38	4.5%	ヒガラ	0.50	5.5%	ハシブトガラス	0.38	3.0%	ツグミ	0.25	3.0%	ホオジロ	0.13	3.7%
ヒヨドリ	0.38	4.5%	ハシブトガラス	0.38	4.2%	キジバト	0.38	3.0%	ハシブトガラス	0.13	1.5%	ミソサザイ	0.13	3.7%
ヤマガラ	0.38	4.5%	ハシボソガラス	0.38	4.2%	ヤマガラ	0.38	3.0%	キジバト	0.13	1.5%	メジロ	0.13	3.7%
アオジ	0.38	4.5%	メジロ	0.38	4.2%	ウグイス	0.38	3.0%	メジロ	0.13	1.5%	ハシブトガラス	0.13	3.7%
ルリビタキ	0.38	4.5%	コゲラ	0.38	4.2%	シジュウカラ	0.38	3.0%	コゲラ	0.13	1.5%	トビ	0.13	3.7%
スズメ	0.25	3.0%	シジュウカラ	0.38	4.2%	ホオジロ	0.25	2.0%	シジュウカラ	0.13	1.5%			
アトリ	0.25	3.0%	ヤマガラ	0.25	2.8%	コゲラ	0.25	2.0%	キセキレイ	0.13	1.5%			
クロジ	0.25	3.0%	モズ	0.13	1.4%	キクイタダキ	0.25	2.0%						
ミソサザイ	0.25	3.0%	アオグラ	0.13	1.4%	ヒガラ	0.25	2.0%						
モズ	0.13	1.5%	アオバト	0.13	1.4%	アオバト	0.13	1.0%						
シロハラ	0.13	1.5%	キジバト	0.13	1.4%	シロハラ	0.13	1.0%						
ジョウビタキ	0.13	1.5%	コジュケイ	0.13	1.4%	カケス	0.13	1.0%						
			ルリビタキ	0.13	1.4%	ジョウビタキ	0.13	1.0%						
			キセキレイ	0.13	1.4%	ルリビタキ	0.13	1.0%						
			セグロセキレイ	0.13	1.4%									
生息密度	8.43	100%	生息密度	9.08	100%	生息密度	12.71	100%	生息密度	8.47	100%	生息密度	3.44	100%
種数合計	20 種		種数合計	23 種		種数合計	22 種		種数合計	15 種		種数合計	13 種	

表 2-7 植生別面積 (片側 25m、計 50m 幅) の比較 (L10)

植生番号	植生図凡例	面積 (ha)		
		評価書	2016年次	2021年次
06	伐跡群落	0.09	0.09	0.09
07	ノリウツギ群落	0.09	0.09	0.08
10	ネザサーススキ群集	0.04	0.04	0.04
11	メガルカヤーススキ群集	0.00	0.01	0.01
16	アギナシヤナギスプタ群落	0.02	0.00	0.00
19	ソルヨシ群集	0.04	0.04	0.04
22	スギ植林	1.38	1.38	1.38
23	ヒノキ植林	4.69	4.69	4.71
24	スギ・ヒノキ植林 (若齢林)	0.38	0.38	0.38
30	竹林	0.27	0.27	0.27
32	路傍空地雑草群落	0.43	0.00	0.00
35	畑地雑草群落	0.15	0.13	0.13
36	水田雑草群落	0.03	0.49	0.46
38	放棄水田群落	0.00	0.00	0.03
39	市街地等	0.13	0.13	0.13
40	緑の多い住宅地	0.12	0.12	0.12
	合計	7.86	7.86	7.86

評価書調査



凡 例

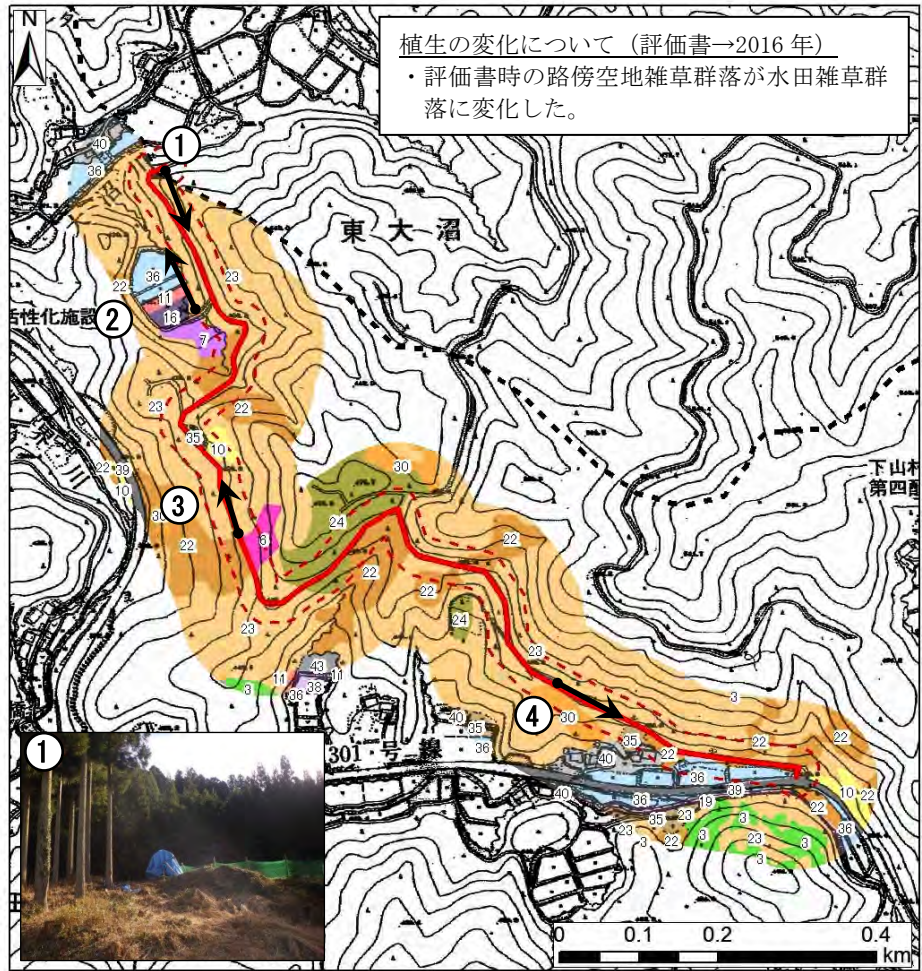
- センサスライン
- ⋯ 調査範囲 (観察幅: 片側25m, 計50m)
- 写真撮影位置・方向

ルート L10
 総延長 1.565km

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 03クレーコナラ群集 ■ 06伐跡群落 ■ 07ノリウツギ群落 ■ 10ネザサラススキ群集 ■ 11メガルカヤーススキ群集 ■ 16アギナシーヤナギスプタ群落 ■ 19ツルヨシ群落 ■ 22スギ植林 ■ 23ヒノキ植林 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 24スギ・ヒノキ植林(若齢林) ■ 30竹林 ■ 32路傍空地雑草群落 ■ 35畑地雑草群落 ■ 36水田雑草群落 ■ 38放棄水田群落 ■ 39市街地等 ■ 40緑の多い住宅地 ■ 43造成地 |
|---|--|

図 2-4(1) 植生図の比較 (L10、評価書調査)

2016 年次調査



凡 例

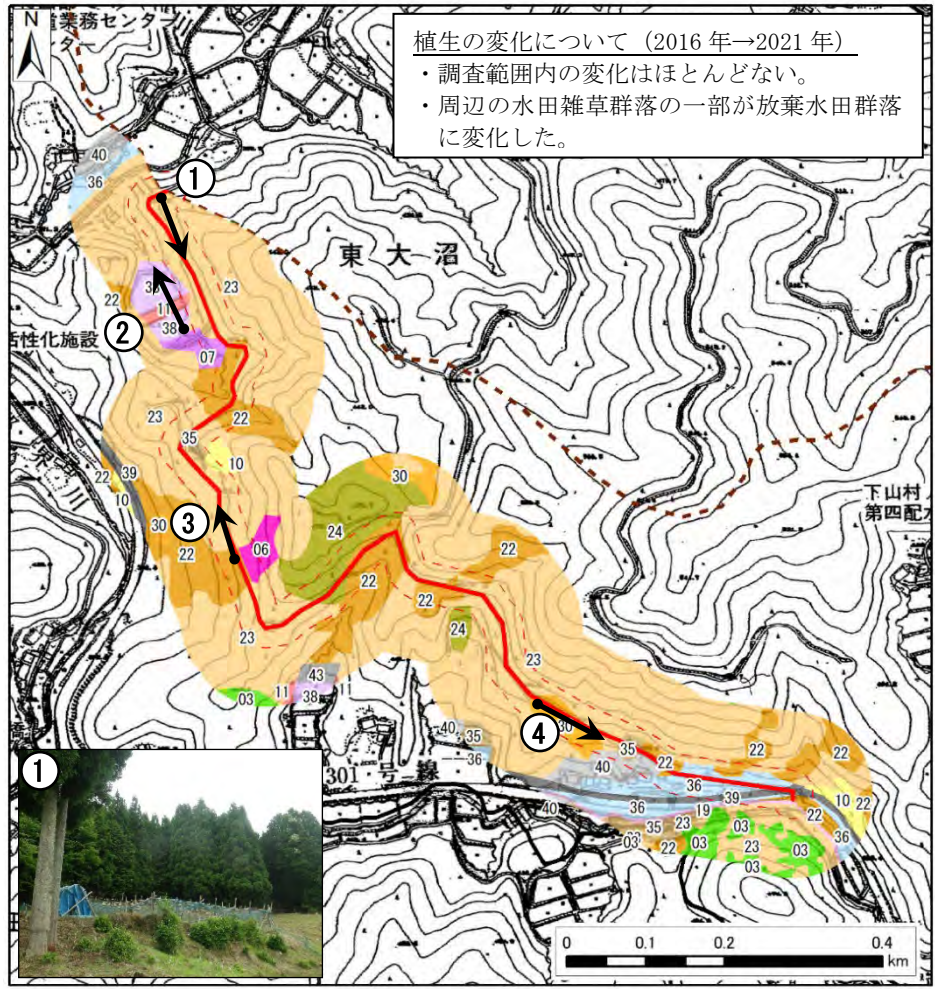
- センサスライン
- 調査範囲 (観察幅: 片側25m, 計50m)
- 写真撮影位置・方向

ルート L10
総延長 1.565km

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 03クレーコナラ群集 ■ 06伐跡群落 ■ 07ノリウツギ群落 ■ 10ネザサラススキ群集 ■ 11メガルカヤラススキ群集 ■ 16アギナシーヤナギスプタ群落 ■ 19ツルヨシ群集 ■ 22スギ植林 ■ 23ヒノキ植林 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 24スギ・ヒノキ植林(若齢林) ■ 30竹林 ■ 32路傍空地雑草群落 ■ 35畑地雑草群落 ■ 36水田雑草群落 ■ 38放棄水田群落 ■ 39市街地等 ■ 40緑の多い住宅地 ■ 43造成地 |
|---|---|

図 2-4(2) 植生図の比較 (L10、2016 年次調査)

2021 年次調査



凡 例

- センサスライン
- 調査範囲 (観察幅: 片側25m, 計50m)
- 写真撮影位置・方向

ルート L10
 総延長 1.565km

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 03クレーコナラ群落 ■ 06伐跡群落 ■ 07ノリウツギ群落 ■ 10ネザサスキ群落 ■ 11メガルカヤスキ群落 ■ 16アギナシーヤナギスプタ群落 ■ 19ツルヨシ群落 ■ 22スギ植林 ■ 23ヒノキ植林 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 24スギ・ヒノキ植林(若齢林) ■ 30竹林 ■ 32路傍空地雑草群落 ■ 35畑地雑草群落 ■ 36水田雑草群落 ■ 38放棄水田群落 ■ 39市街地等 ■ 40緑の多い住宅地 ■ 43造成地 |
|---|--|

図 2-4(3) 植生図の比較 (L10、2021 年次調査)

2 鳥類のセンサス結果

エ ラインセンサス (L11)

表 2-8(1) 鳥類の生息密度の比較 (L11、留鳥)

評価書時						2016年次			2021年次		
2007-2008		2008-2009		2009-2010		2016			2021		
種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比
ヒヨドリ	2.22	19.6%	スズメ	1.45	13.9%	ヒヨドリ	1.05	15.9%	スズメ	0.98	16.3%
スズメ	1.27	11.2%	ヒヨドリ	1.32	12.7%	スズメ	0.92	14.0%	ヒヨドリ	0.80	13.3%
ホオジロ	0.87	7.7%	ウグイス	1.01	9.7%	ウグイス	0.62	9.4%	ホオジロ	0.72	12.0%
キジバト	0.87	7.7%	カワラヒワ	0.88	8.4%	ホオジロ	0.56	8.5%	カワラヒワ	0.52	8.7%
エナガ	0.81	7.1%	ホオジロ	0.86	8.2%	ヤマガラ	0.49	7.4%	キジバト	0.44	7.3%
メジロ	0.79	7.0%	キジバト	0.63	6.0%	キジバト	0.43	6.5%	メジロ	0.34	5.7%
ハシボソガラス	0.77	6.8%	ヤマガラ	0.62	5.9%	カワラヒワ	0.37	5.6%	ヤマガラ	0.31	5.2%
ヤマガラ	0.64	5.6%	ハシボソガラス	0.55	5.3%	メジロ	0.37	5.6%	ウグイス	0.30	5.0%
カワラヒワ	0.58	5.1%	エナガ	0.55	5.3%	ハシボソガラス	0.36	5.5%	カケス	0.26	4.3%
ウグイス	0.56	4.9%	メジロ	0.39	3.7%	キセキレイ	0.24	3.6%	ハシボソガラス	0.16	2.7%
シジュウカラ	0.32	2.8%	セグロセキレイ	0.33	3.2%	セグロセキレイ	0.22	3.3%	シジュウカラ	0.16	2.7%
キセキレイ	0.28	2.5%	キセキレイ	0.32	3.1%	カケス	0.20	3.0%	キセキレイ	0.16	2.7%
セグロセキレイ	0.28	2.5%	コガラ	0.27	2.6%	シジュウカラ	0.13	2.0%	セグロセキレイ	0.11	1.8%
コガラ	0.18	1.6%	シジュウカラ	0.22	2.1%	ハシボソガラス	0.12	1.8%	イカル	0.10	1.7%
モズ	0.12	1.1%	ハシボソガラス	0.19	1.8%	モズ	0.10	1.5%	コガラ	0.10	1.7%
イカル	0.12	1.1%	ヒガラ	0.16	1.5%	エナガ	0.10	1.5%	モズ	0.08	1.3%
ハシボソガラス	0.10	0.9%	モズ	0.14	1.3%	アオサギ	0.06	0.9%	カルガモ	0.08	1.3%
トビ	0.08	0.7%	カケス	0.10	1.0%	ヒガラ	0.06	0.9%	エナガ	0.07	1.2%
コジュケイ	0.08	0.7%	アオサギ	0.09	0.9%	カルガモ	0.06	0.9%	キジ	0.05	0.8%
ミンサザイ	0.08	0.7%	イカル	0.07	0.7%	イカル	0.04	0.6%	カワセミ	0.05	0.8%
アオサギ	0.06	0.5%	アオサギ	0.04	0.4%	アオサギ	0.03	0.5%	ハクセキレイ	0.05	0.8%
アオガラ	0.04	0.4%	キジ	0.04	0.4%	コガラ	0.03	0.5%	ハシボソガラス	0.03	0.5%
ヤマドリ	0.04	0.4%	コジュケイ	0.04	0.4%	トビ	0.01	0.2%	カワガラス	0.03	0.5%
カケス	0.04	0.4%	カルガモ	0.04	0.4%	コジュケイ	0.01	0.2%	イワツバメ	0.02	0.3%
アオハト	0.02	0.2%	アオガラ	0.03	0.3%	カワセミ	0.01	0.2%	トビ	0.02	0.3%
トラツグミ	0.02	0.2%	ミンサザイ	0.03	0.3%				アオサギ	0.02	0.3%
アオガラ	0.02	0.2%	カワセミ	0.03	0.3%				ヒガラ	0.02	0.3%
オオタカ	0.02	0.2%	ノスリ	0.01	0.1%				カワウ	0.02	0.3%
ヒガラ	0.02	0.2%	オオタカ	0.01	0.1%						
カルガモ	0.02	0.2%	コチドリ	0.01	0.1%						
カワウ	0.02	0.2%									
生息密度	11.34	100%	生息密度	10.43	100%	生息密度	6.59	100%	生息密度	6.00	100%
種数合計	31種		種数合計	30種		種数合計	25種		種数合計	28種	

表 2-8(2) 鳥類の生息密度の比較 (L11、繁殖期に確認された種)

評価書時						2016年次			2021年次		
2008		2009		2010		2016			2021		
種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比
ヒヨドリ	2.77	18.8%	ヒヨドリ	1.65	12.0%	ヒヨドリ	1.04	12.5%	スズメ	1.08	15.1%
スズメ	1.56	10.6%	ウグイス	1.48	10.8%	スズメ	0.97	11.7%	ツバメ	0.79	11.0%
エナガ	1.21	8.2%	スズメ	1.41	10.3%	ウグイス	0.94	11.3%	ホオジロ	0.64	9.0%
メジロ	0.91	6.2%	キビタキ	1.04	7.6%	ホオジロ	0.64	7.7%	サンショウクイ	0.39	5.5%
ヤマガラ	0.86	5.8%	カワラヒワ	0.81	5.9%	カワラヒワ	0.60	7.2%	メジロ	0.39	5.5%
ツバメ	0.81	5.5%	ホオジロ	0.77	5.6%	キビタキ	0.60	7.2%	ウグイス	0.39	5.5%
ホオジロ	0.76	5.1%	ヤマガラ	0.74	5.4%	ツバメ	0.40	4.8%	センダイムシクイ	0.39	5.5%
キジバト	0.76	5.1%	ハシボソガラス	0.64	4.7%	キジバト	0.40	4.8%	ヒヨドリ	0.34	4.8%
キビタキ	0.76	5.1%	メジロ	0.54	3.9%	ヤマガラ	0.40	4.8%	ヤマガラ	0.34	4.8%
ウグイス	0.71	4.8%	センダイムシクイ	0.54	3.9%	ハシボソガラス	0.30	3.6%	キビタキ	0.25	3.5%
ハシボソガラス	0.55	3.7%	キジバト	0.50	3.6%	センダイムシクイ	0.30	3.6%	カルガモ	0.25	3.5%
シジュウカラ	0.35	2.4%	ツバメ	0.47	3.4%	ハシボソガラス	0.24	2.9%	キジバト	0.20	2.8%
カワラヒワ	0.30	2.0%	サンショウクイ	0.37	2.7%	キセキレイ	0.24	2.9%	クロツグミ	0.20	2.8%
ヤブサメ	0.30	2.0%	コガラ	0.37	2.7%	メジロ	0.17	2.0%	キセキレイ	0.20	2.8%
キセキレイ	0.30	2.0%	キセキレイ	0.37	2.7%	カルガモ	0.13	1.6%	カワラヒワ	0.15	2.1%
コガラ	0.25	1.7%	エナガ	0.34	2.5%	アオサギ	0.10	1.2%	シジュウカラ	0.15	2.1%
センダイムシクイ	0.25	1.7%	セグロセキレイ	0.27	2.0%	イカル	0.10	1.2%	ハシボソガラス	0.10	1.4%
サンショウクイ	0.20	1.4%	ハシボソガラス	0.24	1.7%	コサメビタキ	0.10	1.2%	ヤブサメ	0.10	1.4%
ホトギス	0.20	1.4%	オオルリ	0.17	1.2%	シジュウカラ	0.10	1.2%	イカル	0.10	1.4%
セグロセキレイ	0.20	1.4%	シジュウカラ	0.17	1.2%	ホトギス	0.10	1.2%	セグロセキレイ	0.10	1.4%
オオルリ	0.15	1.0%	イカル	0.13	0.9%	セグロセキレイ	0.10	1.2%	イワツバメ	0.05	0.7%
トビ	0.10	0.7%	ホトギス	0.13	0.9%	サンショウクイ	0.07	0.8%	オオルリ	0.05	0.9%
ハシボソガラス	0.10	0.7%	ヤブサメ	0.10	0.7%	ヒガラ	0.07	0.8%	ハシボソガラス	0.05	0.7%
コジュケイ	0.10	0.7%	カルガモ	0.10	0.7%	トビ	0.03	0.4%	モズ	0.05	0.7%
イカル	0.10	0.7%	アオサギ	0.07	0.5%	クロツグミ	0.03	0.4%	キジ	0.05	0.7%
アオサギ	0.05	0.3%	コジュケイ	0.07	0.5%	ヤブサメ	0.03	0.4%	サンコウチョウ	0.05	0.7%
ヤマドリ	0.05	0.3%	サンコウチョウ	0.07	0.5%	オオルリ	0.03	0.4%	コガラ	0.05	0.7%
ホソソムシクイ	0.05	0.3%	モズ	0.03	0.2%	カケス	0.03	0.4%	コサメビタキ	0.05	0.7%
カワウ	0.05	0.3%	キジ	0.03	0.2%	コガラ	0.03	0.4%	ホトギス	0.05	0.7%
			オオタカ	0.03	0.2%	カワセミ	0.03	0.4%	ヒガラ	0.05	0.7%
			ヒガラ	0.03	0.2%				カワセミ	0.05	0.7%
			エソセンニュー	0.03	0.2%				カワウ	0.05	0.7%
			カワセミ	0.03	0.2%						
生息密度	14.76	100%	生息密度	13.74	100%	生息密度	8.32	100%	生息密度	7.15	100%
種数合計	29種		種数合計	33種		種数合計	30種		種数合計	28種	

表 2-8(3) 鳥類の生息密度の比較 (L11、越冬期に確認された種)

評価書時									2016年次			2021年次		
2008			2009			2010			2016			2021		
種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比
カシラダカ	8.26	38.5%	エナガ	2.22	17.8%	ヒヨドリ	1.21	15.9%	ヒヨドリ	1.67	23.2%	カワラヒワ	0.69	25.9%
ヒヨドリ	1.51	7.0%	ホオジロ	1.21	9.7%	キジバト	0.81	10.6%	ツグミ	1.08	15.0%	カケス	0.39	14.8%
エナガ	1.21	5.6%	スズメ	1.11	8.9%	アトリ	0.71	9.3%	ホオジロ	0.89	12.4%	シジュウカラ	0.29	11.1%
ハシブトガラス	1.11	5.2%	カワラヒワ	1.11	8.9%	カケス	0.60	7.9%	ハシブトガラス	0.69	9.6%	ハクセキレイ	0.20	7.4%
ホオジロ	1.11	5.2%	キジバト	0.81	6.5%	ツグミ	0.60	7.9%	メジロ	0.39	5.4%	ヤマガラ	0.20	7.4%
カワラヒワ	0.81	3.8%	カシラダカ	0.60	4.8%	メジロ	0.50	6.6%	エナガ	0.39	5.4%	コゲラ	0.20	7.4%
キジバト	0.81	3.8%	セグロセキレイ	0.60	4.8%	ヤマガラ	0.40	5.2%	カケス	0.39	5.4%	ホオジロ	0.10	3.7%
メジロ	0.81	3.8%	ハシブトガラス	0.50	4.0%	アオジ	0.40	5.2%	ヤマガラ	0.30	4.2%	キセキレイ	0.10	3.7%
ヤマガラ	0.71	3.3%	ヒヨドリ	0.50	4.0%	エナガ	0.40	5.2%	シジュウカラ	0.30	4.2%	ウグイス	0.10	3.7%
スズメ	0.50	2.3%	アオジ	0.50	4.0%	カシラダカ	0.30	3.9%	カワラヒワ	0.20	2.8%	ヒヨドリ	0.10	3.7%
アトリ	0.40	1.9%	ヒガラ	0.50	4.0%	ハシブトガラス	0.30	3.9%	コゲラ	0.20	2.8%	アオゲラ	0.10	3.7%
シジュウカラ	0.40	1.9%	モズ	0.40	3.2%	カワラヒワ	0.20	2.6%	モズ	0.10	1.4%	カワウ	0.10	3.7%
マヒワ	0.40	1.9%	ヤマガラ	0.40	3.2%	クロジ	0.20	2.6%	シロハラ	0.10	1.4%	キジバト	0.10	3.7%
ミソサザイ	0.40	1.9%	ハシブトガラス	0.30	2.4%	シジュウカラ	0.20	2.6%	アオジ	0.10	1.4%			
セグロセキレイ	0.40	1.9%	ウグイス	0.30	2.4%	ジョウビタキ	0.20	2.6%	ウグイス	0.10	1.4%			
ウグイス	0.30	1.4%	カケス	0.30	2.4%	ホオジロ	0.10	1.3%	クロジ	0.10	1.4%			
クロジ	0.30	1.4%	コゲラ	0.30	2.4%	アオゲラ	0.10	1.3%	ジョウビタキ	0.10	1.4%			
ハシブトガラス	0.20	0.9%	シジュウカラ	0.30	2.4%	アオサギ	0.10	1.3%	ハクセキレイ	0.10	1.4%			
ベニマシコ	0.20	0.9%	ミソサザイ	0.20	1.6%	シロハラ	0.10	1.3%						
ミヤマホオジロ	0.20	0.9%	キセキレイ	0.20	1.6%	ウグイス	0.10	1.3%						
アオジ	0.20	0.9%	ルリビタキ	0.10	0.8%	セグロセキレイ	0.10	1.3%						
モズ	0.10	0.5%												
コジュケイ	0.10	0.5%												
シロハラ	0.10	0.5%												
トラツグミ	0.10	0.5%												
ヤマドリ	0.10	0.5%												
アカゲラ	0.10	0.5%												
コゲラ	0.10	0.5%												
ツグミ	0.10	0.5%												
ヒガラ	0.10	0.5%												
ルリビタキ	0.10	0.5%												
キセキレイ	0.10	0.5%												
アオシギ	0.10	0.5%												
生息密度	21.44	100%	生息密度	12.46	100%	生息密度	7.63	100%	生息密度	7.20	100%	生息密度	2.65	100%
種数合計	33 種		種数合計	21 種		種数合計	21 種		種数合計	18 種		種数合計	13 種	

表 2-9 植生別面積 (片側 25m、計 50m 幅) の比較 (L11)

植生番号	植生図凡例	面積 (ha)		
		評価書	2016年次	2021年次
03	クリーコナラ群集	0.62	0.62	0.55
04	ヤマツツジーアカマツ群集	0.08	0.08	0.02
19	ツルヨシ群集	0.12	0.15	0.10
22	スギ植林	1.37	1.37	1.53
23	ヒノキ植林	1.90	1.90	1.79
24	スギ・ヒノキ植林 (若齢林)	0.01	0.01	0.00
25	アカマツ植林	0.23	0.23	0.47
30	竹林	0.23	0.23	0.17
35	畑地雑草群落	0.68	0.75	0.61
36	水田雑草群落	2.20	2.49	2.27
37	水田雑草群落 (休耕地)	0.73	0.13	0.10
38	放棄水田群落	0.00	0.11	0.09
39	市街地等	1.35	1.36	1.35
40	緑の多い住宅地	0.60	0.65	0.72
42	工場地帯	0.05	0.05	0.27
43	造成地	0.00	0.04	0.14
合計		10.17	10.17	10.17

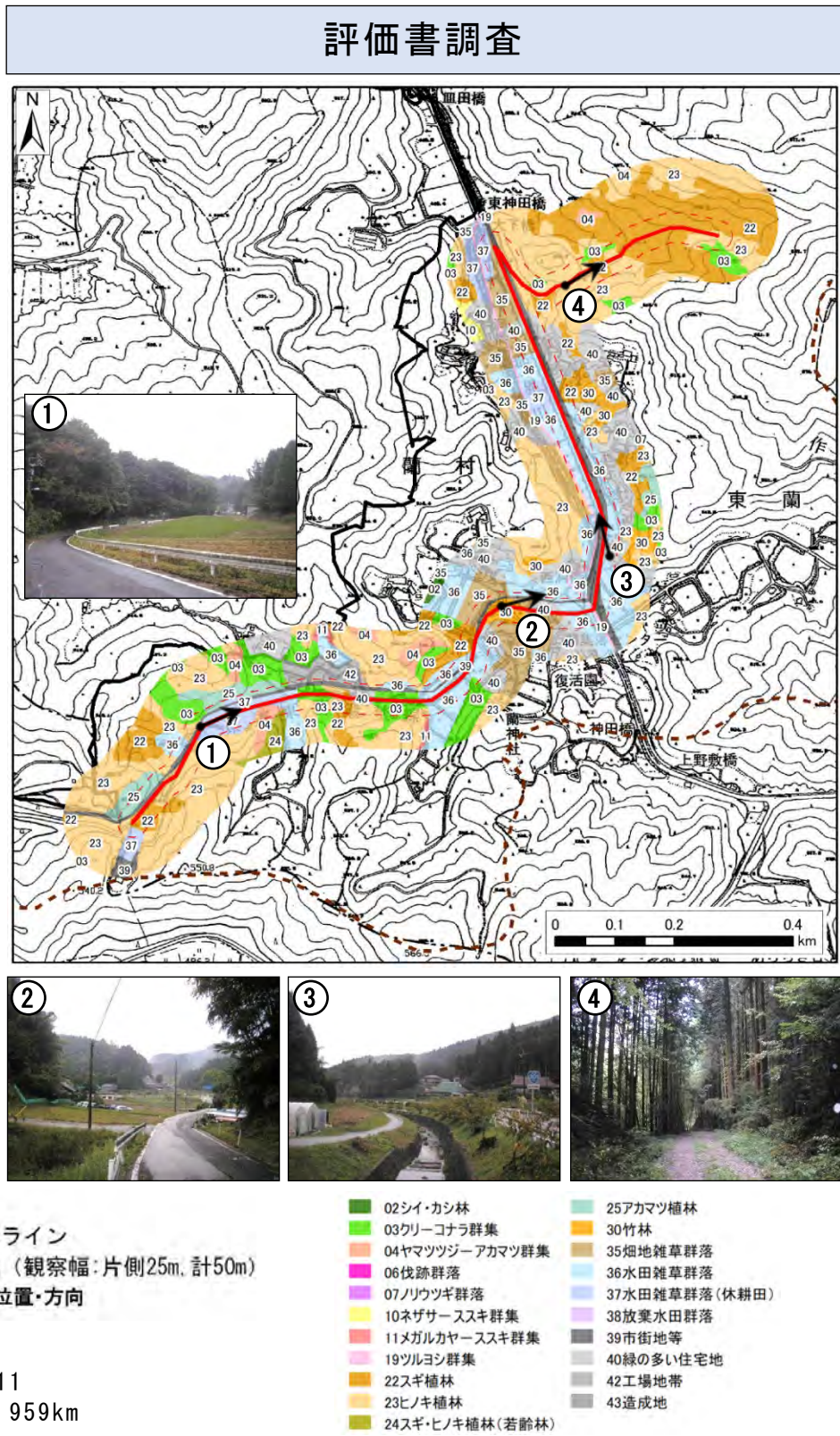
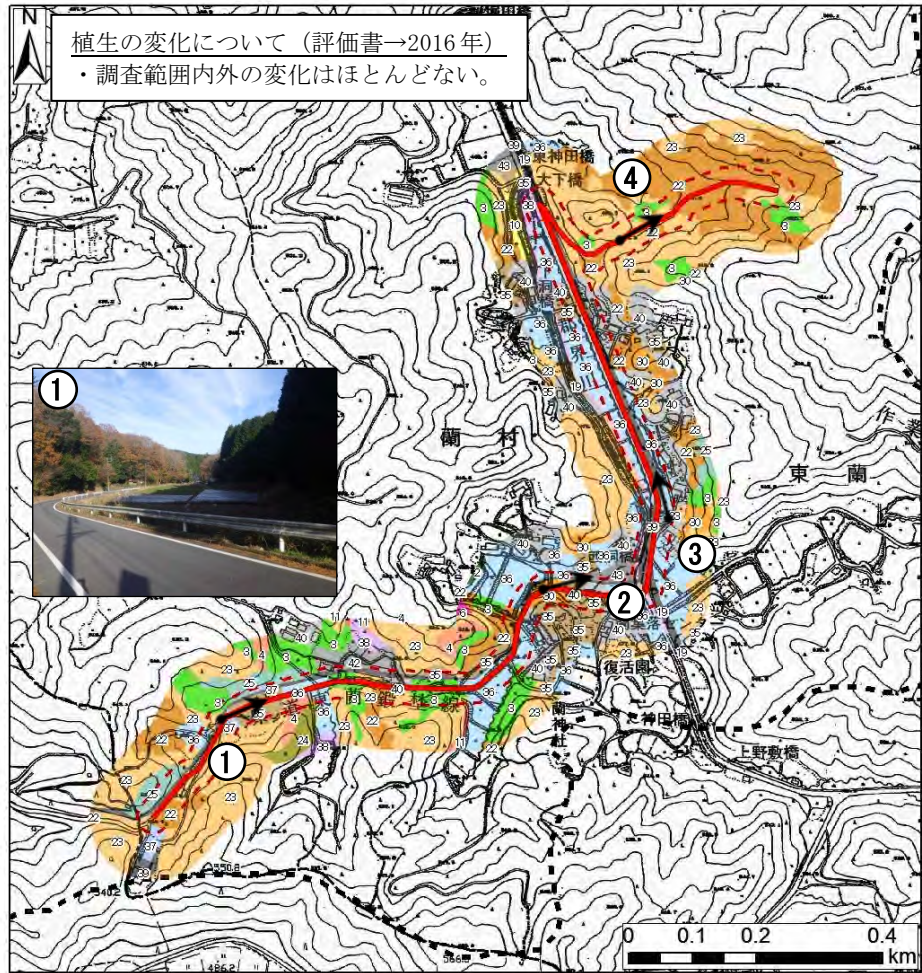


図 2-5(1) 植生図の比較 (L11、評価書調査)

2016 年次調査



凡 例

- センサスライン
- 調査範囲（観察幅：片側25m、計50m）
- 写真撮影位置・方向

ルート L11
 総延長 1.959km

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 02シイ・カシ林 ■ 03クリーコナラ群集 ■ 04ヤマツツジ-アカマツ群集 ■ 06伐跡群落 ■ 07ノリウツギ群落 ■ 10ネザサ-ススキ群集 ■ 11メガルカヤ-ススキ群集 ■ 19ツルヨシ群集 ■ 22スギ植林 ■ 23ヒノキ植林 ■ 24スギ・ヒノキ植林(若齢林) | <ul style="list-style-type: none"> ■ 25アカマツ植林 ■ 30竹林 ■ 35畑地雑草群落 ■ 36水田雑草群落 ■ 37水田雑草群落(休耕田) ■ 38放棄水田群落 ■ 39市街地等 ■ 40緑の多い住宅地 ■ 42工場地帯 ■ 43造成地 |
|--|--|

図 2-5(2) 植生図の比較 (L11、2016 年次調査)

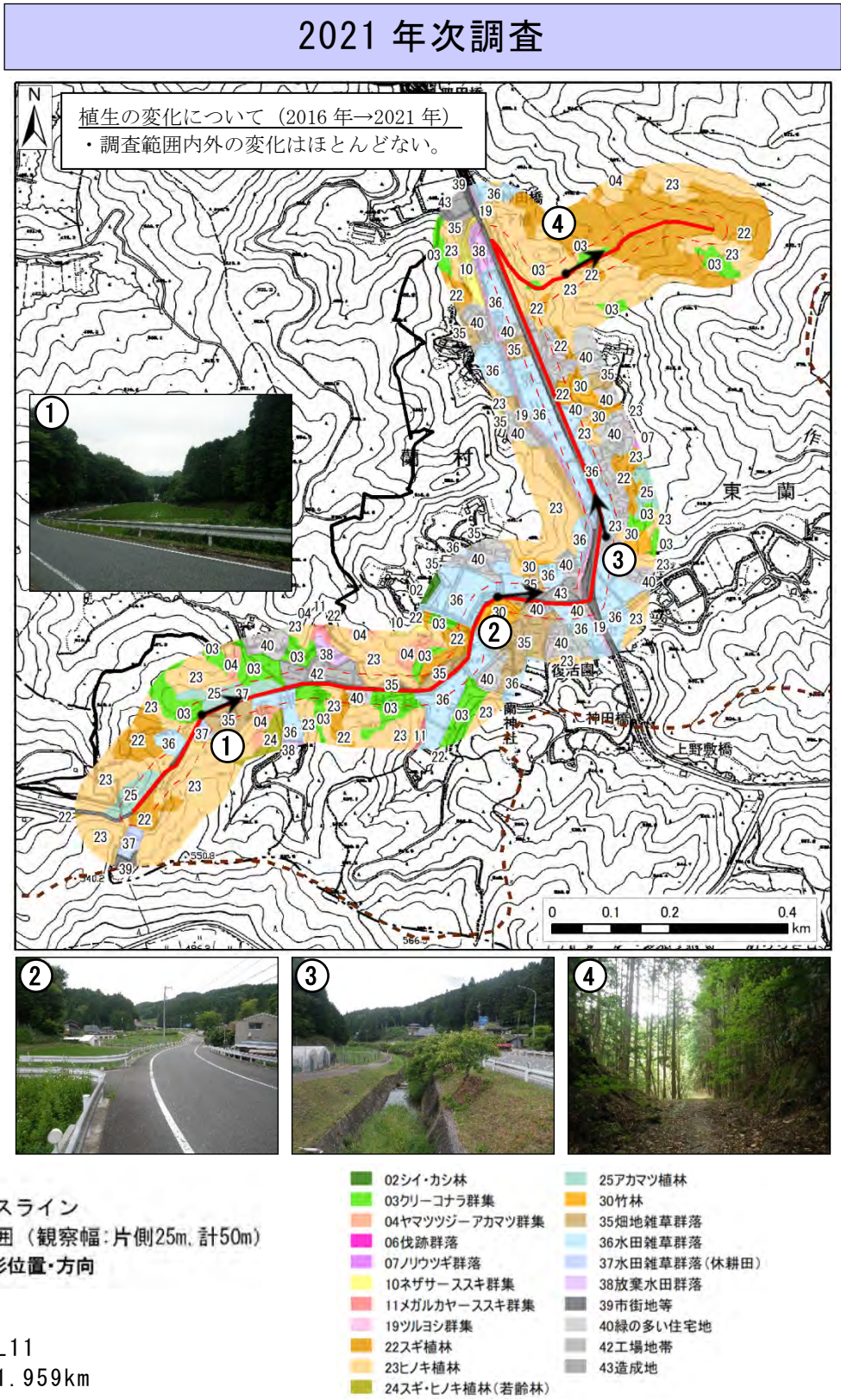


図 2-5 (3) 植生図の比較 (L11、2021 年次調査)

オ ラインセンサス (L12)

表 2-10(1) 鳥類の生息密度の比較 (L12、留鳥)

2007-2008			2008-2009			2009-2010			2016年次			2021年次		
種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比
ヒヨドリ	1.14	14.4%	ヒヨドリ	0.78	13.8%	ヒヨドリ	0.80	17.7%	ヒヨドリ	0.85	23.9%	メジロ	0.54	16.8%
メジロ	1.00	12.7%	スズメ	0.73	12.9%	ウグイス	0.49	10.8%	ホオジロ	0.40	11.3%	ヒヨドリ	0.45	13.9%
カワラヒワ	0.78	9.9%	ウグイス	0.69	12.2%	ホオジロ	0.47	10.4%	キジバト	0.31	8.7%	カワラヒワ	0.39	12.0%
エナガ	0.72	9.1%	ホオジロ	0.64	11.3%	スズメ	0.45	9.9%	メジロ	0.26	7.3%	ホオジロ	0.25	7.7%
ホオジロ	0.68	8.6%	エナガ	0.51	9.0%	メジロ	0.34	7.5%	エナガ	0.25	7.0%	ウグイス	0.19	5.8%
ウグイス	0.59	7.5%	メジロ	0.38	6.7%	カルガモ	0.26	5.7%	ウグイス	0.22	6.2%	エナガ	0.16	4.8%
スズメ	0.55	7.0%	カワラヒワ	0.34	6.0%	ハシブトガラス	0.22	4.9%	イカル	0.17	4.8%	ハシブトガラス	0.16	4.8%
ヤマガラ	0.55	7.0%	ハシブトガラス	0.28	5.0%	カワラヒワ	0.19	4.2%	カケス	0.12	3.4%	ヤマガラ	0.12	3.8%
シジュウカラ	0.34	4.3%	ヤマガラ	0.18	3.2%	キジバト	0.18	4.0%	ハシブトガラス	0.11	3.1%	キクイタダキ	0.12	3.8%
ハシブトガラス	0.19	2.4%	キジバト	0.15	2.7%	モズ	0.16	3.5%	コガラ	0.09	2.5%	セグロセキレイ	0.11	3.4%
キジバト	0.19	2.4%	コガラ	0.15	2.7%	ヤマガラ	0.16	3.5%	キクイタダキ	0.09	2.5%	ソウシチョウ	0.09	2.9%
ハシブトガラス	0.13	1.6%	カケス	0.14	2.5%	シジュウカラ	0.16	3.5%	モズ	0.08	2.3%	ヒガラ	0.09	2.9%
カケス	0.13	1.6%	カルガモ	0.12	2.1%	セグロセキレイ	0.16	3.5%	セグロセキレイ	0.08	2.3%	コジュケイ	0.09	2.9%
キセキレイ	0.11	1.4%	シジュウカラ	0.09	1.6%	エナガ	0.08	1.8%	カワラヒワ	0.06	1.7%	カケス	0.08	2.4%
モズ	0.09	1.1%	セグロセキレイ	0.08	1.4%	カケス	0.08	1.8%	キジ	0.06	1.7%	ハシブトガラス	0.06	1.9%
イカル	0.09	1.1%	イワツバメ	0.05	0.9%	コガラ	0.08	1.8%	ヤマガラ	0.06	1.7%	モズ	0.06	1.9%
ヒガラ	0.09	1.1%	モズ	0.05	0.9%	アオガラ	0.07	1.5%	ハシブトガラス	0.05	1.4%	コガラ	0.05	1.4%
セグロセキレイ	0.08	1.0%	キジ	0.05	0.9%	トビ	0.04	0.9%	アオガラ	0.05	1.4%	キジバト	0.05	1.4%
トビ	0.06	0.8%	イカル	0.05	0.9%	ハシブトガラス	0.04	0.9%	アオサギ	0.03	0.8%	イカル	0.03	1.0%
コジュケイ	0.06	0.8%	キセキレイ	0.05	0.9%	ノスリ	0.03	0.7%	シジュウカラ	0.03	0.8%	キセキレイ	0.03	1.0%
コガラ	0.06	0.8%	アオガラ	0.04	0.7%	コジュケイ	0.03	0.7%	ヒガラ	0.03	0.8%	シジュウカラ	0.03	1.0%
キクイタダキ	0.06	0.8%	アオサギ	0.03	0.5%	キジ	0.01	0.2%	カルガモ	0.03	0.8%	スズメ	0.02	0.5%
カワセミ	0.06	0.8%	アオガラ	0.03	0.5%	アオガラ	0.01	0.2%	アオガラ	0.02	0.6%	イワツバメ	0.02	0.5%
アオサギ	0.04	0.5%	トビ	0.01	0.2%	イカル	0.01	0.2%	コジュケイ	0.02	0.6%	ノスリ	0.02	0.5%
アオガラ	0.02	0.3%	ノスリ	0.01	0.2%	キセキレイ	0.01	0.2%	ソウシチョウ	0.02	0.6%	トビ	0.02	0.5%
アオハト	0.02	0.3%	ハシブトガラス	0.01	0.2%				カワガラス	0.02	0.6%	アオハト	0.02	0.5%
トラツグミ	0.02	0.3%							カワセミ	0.02	0.6%			
フクロウ	0.02	0.3%							カワウ	0.02	0.6%			
ハクセキレイ	0.02	0.3%												
生息密度	7.89	100%	生息密度	5.64	100%	生息密度	4.53	100%	生息密度	3.55	100%	生息密度	3.23	100%
種数合計	29 種		種数合計	26 種		種数合計	25 種		種数合計	28 種		種数合計	26 種	

表 2-10(2) 鳥類の生息密度の比較 (L12、繁殖期に確認された種)

2008			2009			2010			2016年次			2021年次		
種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比
ヒヨドリ	1.37	19.7%	スズメ	1.04	16.3%	ヒヨドリ	0.66	12.7%	ヒヨドリ	0.79	18.7%	ヒヨドリ	0.70	18.5%
メジロ	0.90	13.0%	ウグイス	1.01	15.8%	ウグイス	0.66	12.7%	ホオジロ	0.37	8.8%	カワラヒワ	0.56	14.8%
ホオジロ	0.66	9.5%	ヒヨドリ	0.76	11.9%	カルガモ	0.50	9.6%	キジバト	0.33	7.8%	メジロ	0.33	8.6%
ウグイス	0.66	9.5%	ホオジロ	0.50	7.8%	カワラヒワ	0.44	8.5%	キビタキ	0.33	7.8%	ウグイス	0.28	7.4%
キビタキ	0.57	8.2%	メジロ	0.32	5.0%	スズメ	0.35	6.7%	ウグイス	0.33	7.8%	キビタキ	0.23	6.2%
ヤマガラ	0.47	6.8%	カワラヒワ	0.28	4.4%	ホオジロ	0.28	5.4%	ヤブサメ	0.28	6.6%	ヤマガラ	0.19	4.9%
カワラヒワ	0.38	5.5%	オオルリ	0.22	3.4%	シジュウカラ	0.28	5.4%	ツバメ	0.14	3.3%	ホオジロ	0.14	3.7%
スズメ	0.28	4.0%	キビタキ	0.19	3.0%	ツバメ	0.25	4.8%	ハシブトガラス	0.14	3.3%	セグロセキレイ	0.14	3.7%
エナガ	0.28	4.0%	エナガ	0.19	3.0%	キビタキ	0.22	4.2%	サンショウクイ	0.14	3.3%	センダイムシクイ	0.14	3.7%
ホトギス	0.19	2.7%	コガラ	0.19	3.0%	ハシブトガラス	0.19	3.7%	メジロ	0.14	3.3%	ツバメ	0.14	3.7%
ハシブトガラス	0.14	2.0%	センダイムシクイ	0.19	3.0%	メジロ	0.19	3.7%	イカル	0.14	3.3%	ハシブトガラス	0.14	3.7%
シジュウカラ	0.14	2.0%	ツバメ	0.16	2.5%	ヤマガラ	0.19	3.7%	アオガラ	0.09	2.1%	オオルリ	0.09	2.5%
ハシブトガラス	0.09	1.3%	サンショウクイ	0.16	2.5%	セグロセキレイ	0.19	3.7%	アオサギ	0.09	2.1%	コガラ	0.09	2.5%
キジバト	0.09	1.3%	ヤマガラ	0.16	2.5%	オオルリ	0.13	2.5%	サンショウクイ	0.09	2.1%	キジバト	0.09	2.5%
ヤブサメ	0.09	1.3%	カルガモ	0.16	2.5%	アオガラ	0.09	1.7%	エナガ	0.09	2.1%	コジュケイ	0.09	2.5%
コガラ	0.09	1.3%	キジバト	0.09	1.4%	サンショウクイ	0.09	1.7%	センダイムシクイ	0.09	2.1%	イカル	0.05	1.2%
センダイムシクイ	0.09	1.3%	ヤブサメ	0.09	1.4%	コガラ	0.09	1.7%	カルガモ	0.09	2.1%	コサメビタキ	0.05	1.2%
アオサギ	0.05	0.7%	コサメビタキ	0.09	1.4%	センダイムシクイ	0.09	1.7%	ハシブトガラス	0.05	1.2%	ヤブサメ	0.05	1.2%
コジュケイ	0.05	0.7%	ホトギス	0.09	1.4%	ホトギス	0.09	1.7%	モズ	0.05	1.2%	イワツバメ	0.05	1.2%
サンショウクイ	0.05	0.7%	セグロセキレイ	0.09	1.4%	モズ	0.06	1.2%	キジ	0.05	1.2%	ヒガラ	0.05	1.2%
サンショウクイ	0.05	0.7%	イワツバメ	0.06	0.9%	キジバト	0.06	1.2%	コジュケイ	0.05	1.2%	カケス	0.05	1.2%
イカル	0.05	0.7%	ハシブトガラス	0.06	0.9%	トビ	0.03	0.6%	ヤマガラ	0.05	1.2%	サンショウクイ	0.05	1.2%
オオルリ	0.05	0.7%	アオサギ	0.06	0.9%	コジュケイ	0.03	0.6%	コガラ	0.05	1.2%	ノスリ	0.05	1.2%
キクイタダキ	0.05	0.7%	イカル	0.06	0.9%	イカル	0.03	0.6%	ホトギス	0.05	1.2%	ホトギス	0.05	1.2%
カワセミ	0.05	0.7%	シジュウカラ	0.06	0.9%				コマドリ	0.05	1.2%			
キセキレイ	0.05	0.7%	キセキレイ	0.06	0.9%				カワガラス	0.05	1.2%			
			アオガラ	0.03	0.5%				アオサギ	0.05	1.2%			
			ピンズイ	0.03	0.5%				カワウ	0.05	1.2%			
生息密度	6.94	100%	生息密度	6.40	100%	生息密度	5.19	100%	生息密度	4.22	100%	生息密度	3.78	100%
種数合計	26 種		種数合計	28 種		種数合計	24 種		種数合計	28 種		種数合計	24 種	

2 鳥類のセンサス結果

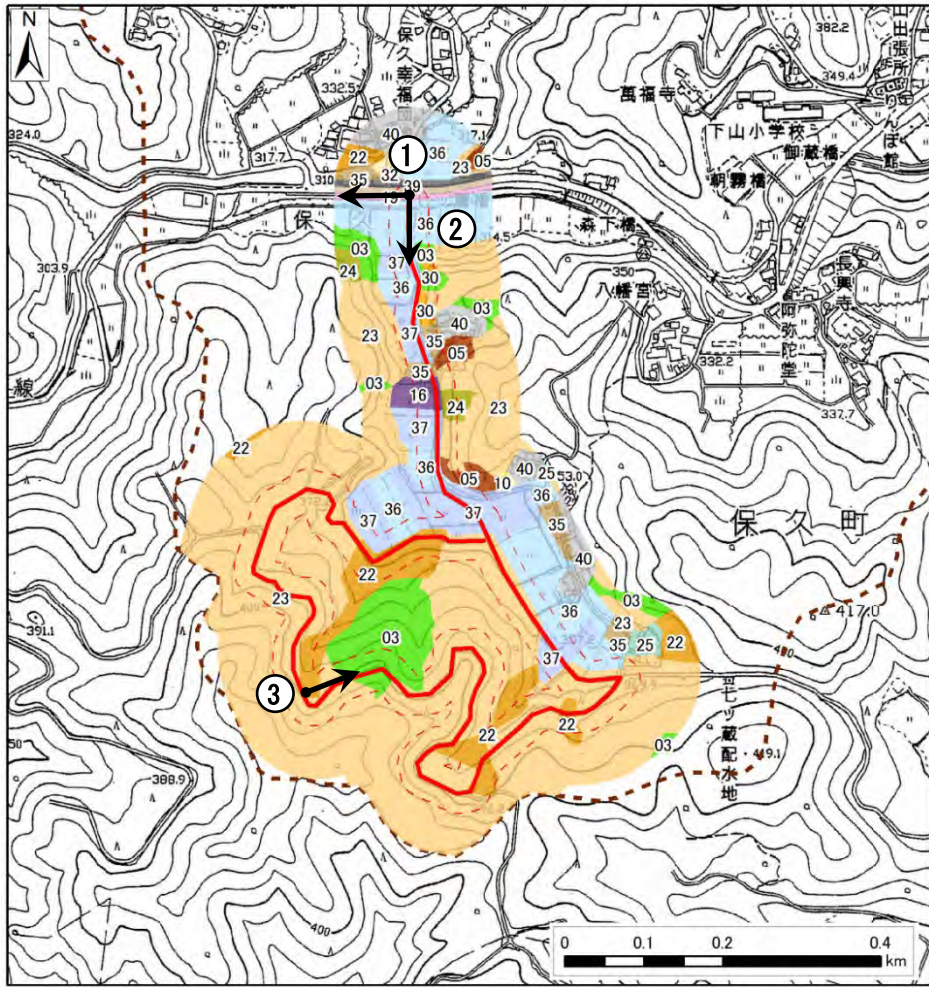
表 2-10(3) 鳥類の生息密度の比較 (L12、越冬期に確認された種)

評価書時						2016年次			2021年次		
2008		2009		2010		2016			2021		
種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比	種名	生息密度 (個体数/ha)	構成比
カワラヒワ	1.70	21.3%	ホオジロ	1.61	24.4%	ヒヨドリ	0.66	28.3%	ホオジロ	0.84	16.7%
ヒヨドリ	1.23	15.4%	エナガ	0.76	11.5%	ホオジロ	0.28	12.0%	ヒヨドリ	0.84	16.7%
スズメ	1.04	13.0%	スズメ	0.47	7.1%	ハシブトガラス	0.19	8.2%	アオジ	0.56	11.1%
ホオジロ	0.57	7.1%	ハシブトガラス	0.47	7.1%	ハシブトガラス	0.19	8.2%	キクイタダキ	0.56	11.1%
エナガ	0.57	7.1%	ヒヨドリ	0.47	7.1%	メジロ	0.19	8.2%	メジロ	0.47	9.3%
ヤマガラ	0.47	5.9%	キジ	0.38	5.8%	カケス	0.19	8.2%	シロハラ	0.37	7.4%
ハシブトガラス	0.38	4.8%	メジロ	0.38	5.8%	ノスリ	0.09	3.9%	カワラヒワ	0.19	3.8%
シジュウカラ	0.28	3.5%	アオジ	0.28	4.2%	キジバト	0.09	3.9%	ウグイス	0.19	3.8%
ウソ	0.28	3.5%	カワラヒワ	0.19	2.9%	アオジ	0.09	3.9%	エナガ	0.19	3.8%
キジバト	0.19	2.4%	シロハラ	0.19	2.9%	ウグイス	0.09	3.9%	ヒガラ	0.19	3.8%
シロハラ	0.19	2.4%	カケス	0.19	2.9%	コゲラ	0.09	3.9%	モズ	0.09	1.8%
ウグイス	0.19	2.4%	コゲラ	0.19	2.9%	ルリビタキ	0.09	3.9%	カケス	0.09	1.8%
ハシブトガラス	0.09	1.1%	シジュウカラ	0.19	2.9%	セグロセキレイ	0.09	3.9%	コゲラ	0.09	1.8%
モズ	0.09	1.1%	セグロセキレイ	0.19	2.9%				シジュウカラ	0.09	1.8%
アオガラ	0.09	1.1%	トビ	0.09	1.4%				ツグミ	0.09	1.8%
イカル	0.09	1.1%	モズ	0.09	1.4%				ルリビタキ	0.09	1.8%
カケス	0.09	1.1%	キジバト	0.09	1.4%				セグロセキレイ	0.09	1.8%
コゲラ	0.09	1.1%	アオガラ	0.09	1.4%						
ハイタカ	0.09	1.1%	ウグイス	0.09	1.4%						
ヒガラ	0.09	1.1%	ツグミ	0.09	1.4%						
ルリビタキ	0.09	1.1%	ルリビタキ	0.09	1.4%						
セグロセキレイ	0.09	1.1%									
生息密度	7.99	100%	生息密度	6.59	100%	生息密度	2.33	100%	生息密度	5.03	100%
種数合計	22 種		種数合計	21 種		種数合計	13 種		種数合計	17 種	
						種数合計	13 種		種数合計	13 種	

表 2-11 植生別面積 (片側 25m、計 50m 幅) の比較 (L12)

植生番号	植生図凡例	面積 (ha)		
		評価書	2016年次	2021年次
03	クリーコナラ群集	0.47	0.47	0.47
05	アカメガシワ群落	0.08	0.08	0.08
16	アギナシヤナギスプタ群落	0.13	0.00	0.00
19	ツルヨシ群集	0.04	0.04	0.04
22	スギ植林	1.04	1.04	1.04
23	ヒノキ植林	6.34	5.73	5.73
24	スギ・ヒノキ植林 (若齢林)	0.07	0.68	0.68
30	竹林	0.09	0.09	0.09
32	路傍空地雑草群落	0.02	0.02	0.02
35	畑地雑草群落	0.13	0.13	0.13
36	水田雑草群落	0.93	1.52	1.53
37	水田雑草群落 (休耕田)	1.36	0.56	0.11
38	放棄水田群落	0.00	0.34	0.78
39	市街地等	0.01	0.01	0.01
	合計	10.71	10.71	10.71

評価書調査



凡 例

- センサスライン
- 調査範囲 (観察幅:片側25m, 計50m)
- 写真撮影位置・方向

ルート L12
 総延長 2.158km

- | | |
|-----------------|---------------|
| 03クレーコナラ群集 | 30竹林 |
| 05アカメガシワ群落 | 32路傍空地雑草群落 |
| 09クス群落 | 35畑地雑草群落 |
| 10ネザサーススキ群集 | 36水田雑草群落 |
| 16アギナシーヤナギスプタ群落 | 37水田雑草群落(休耕田) |
| 19ツルヨシ群集 | 38放棄水田群落 |
| 22スギ植林 | 39市街地等 |
| 23ヒノキ植林 | 40緑の多い住宅地 |
| 24スギ・ヒノキ植林(若齢林) | 43造成地 |
| 25アカマツ植林 | |

図 2-6(1) 植生図の比較 (L12、評価書調査)

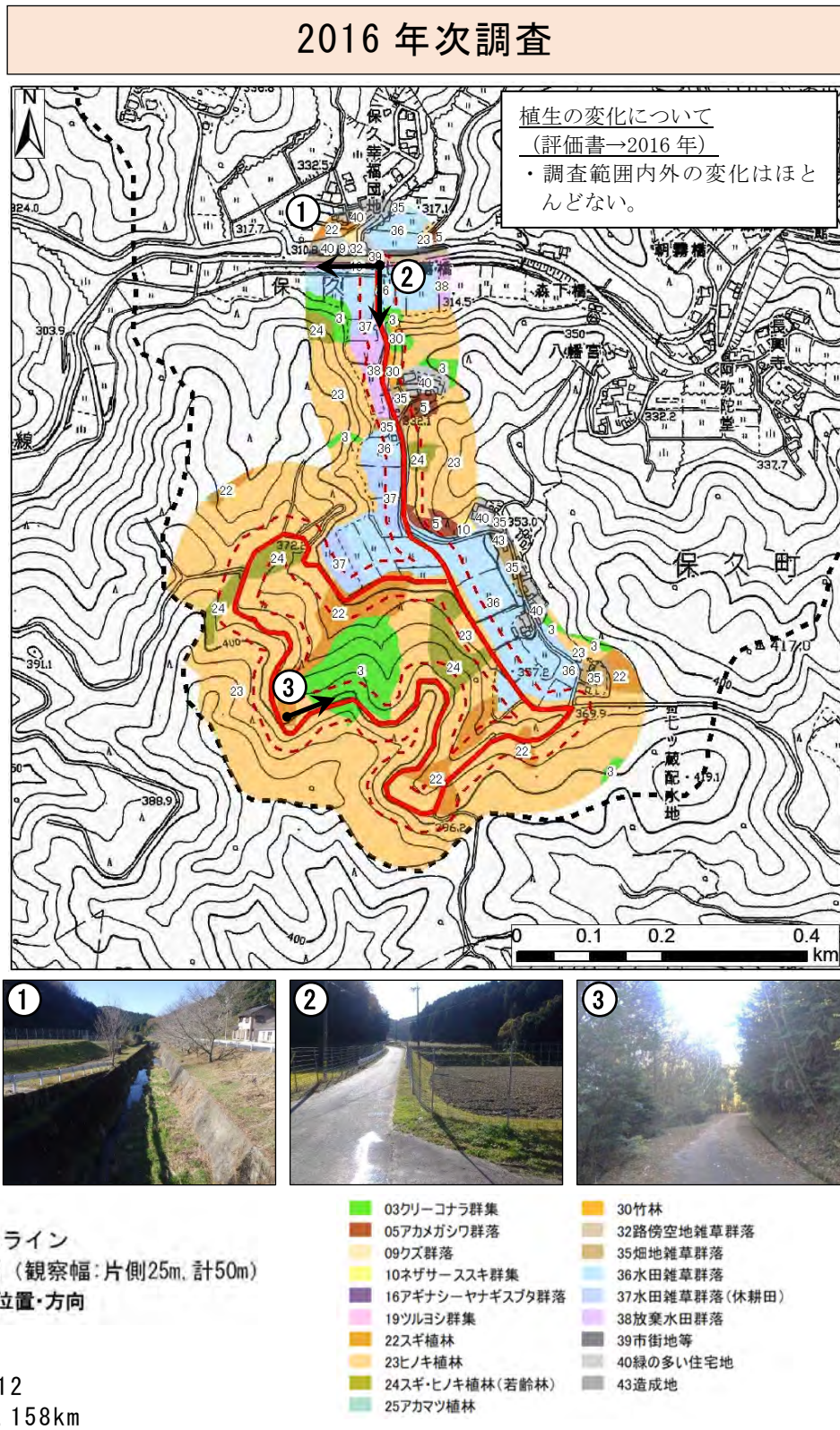
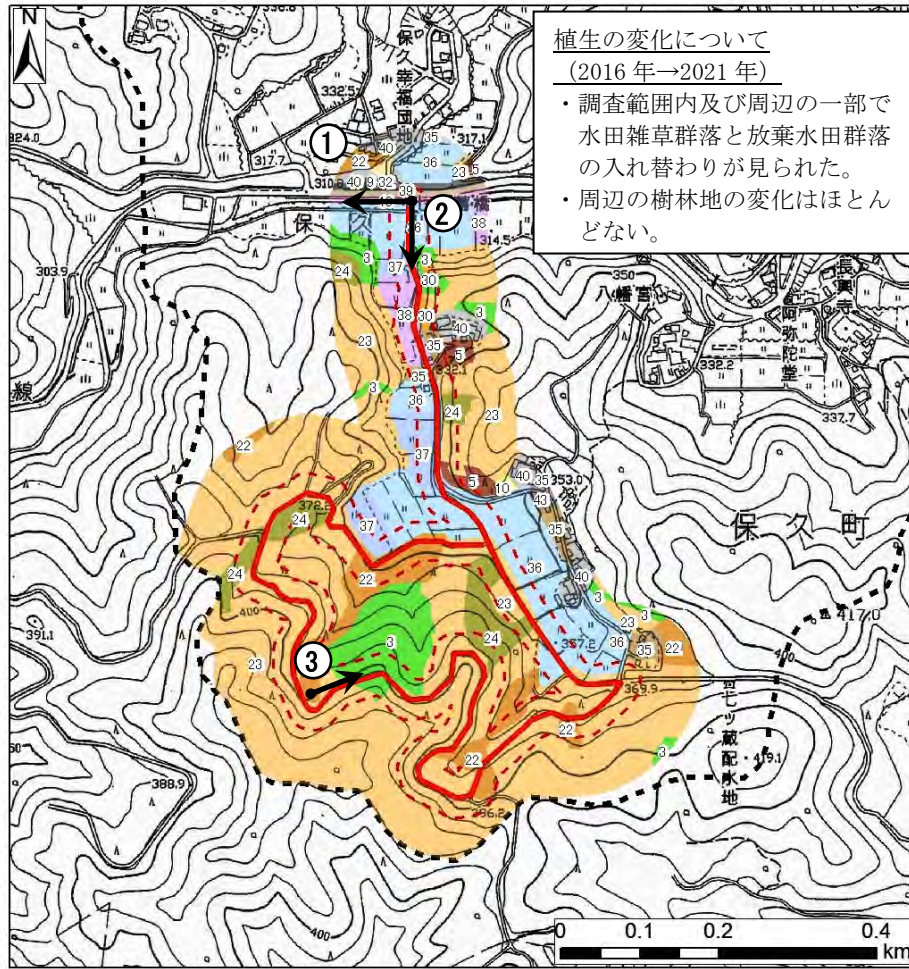


図 2-6(2) 植生図の比較 (L12、2016 年次調査)

2021 年次調査



植生の変化について
(2016年→2021年)

- ・調査範囲内及び周辺の一部で水田雑草群落と放棄水田群落の入れ替わりが見られた。
- ・周辺の樹林地の変化はほとんどない。



凡 例

- センサスライン
- 調査範囲 (観察幅: 片側25m, 計50m)
- 写真撮影位置・方向

ルート L12
総延長 2.158km

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 03クリーコナラ群集 ■ 05アカメガシワ群落 ■ 09クス群落 ■ 10ネザサーススキ群集 ■ 16アギナシーヤナギスプタ群落 ■ 19ツルヨシ群集 ■ 22スギ植林 ■ 23ヒノキ植林 ■ 24スギ・ヒノキ植林(若齢林) ■ 25アカマツ植林 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 30竹林 ■ 32路傍空地雑草群落 ■ 35畑地雑草群落 ■ 36水田雑草群落 ■ 37水田雑草群落(休耕田) ■ 38放棄水田群落 ■ 39市街地等 ■ 40緑の多い住宅地 ■ 43造成地 |
|---|--|

図 2-6(3) 植生図の比較 (L12、2021 年次調査)

3 昆虫類確認種リスト

表 3-1(1) 昆虫類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等	
				実施対象区域	事業地域		
トビムシ	アヤトビムシ	アヤトビムシ科の一種	Entomobryidae gen. sp.	○	○		
	マルトビムシ	マルトビムシ科の一種	Sminthuridae gen. sp.	○			
	ヒメトビムシ	ヒメトビムシ科の一種	Hypogastruridae gen. sp.	○			
	イボトビムシ	イボトビムシ科の一種	Neanuridae gen. sp.	○			
イシノミ	イシノミ	イシノミ科の一種	Machilidae gen. sp.	○	○		
カゲロウ	トビイロカゲロウ	<i>Paraleptophlebia</i> 属の一種	<i>Paraleptophlebia</i> sp.	○			
	カワカゲロウ	キイロカワカゲロウ	<i>Potamanthus formosus</i>	○	○		
	モンカゲロウ	フタスジモンカゲロウ	<i>Ephemera japonica</i>	○	○		
		モンカゲロウ	<i>Ephemera strigata</i>	○			
		<i>Ephemera</i> 属の一種	<i>Ephemera</i> sp.		○		
	マダラカゲロウ	マダラカゲロウ科の一種	Ephemerellidae gen. sp.		○		
	ヒメフタオカゲロウ	<i>Ameletus</i> 属の一種	<i>Ameletus</i> sp.	○			
	コカゲロウ	<i>Acentrella</i> 属の一種	<i>Acentrella</i> sp.			○	
		フタバコカゲロウ	<i>Baetiella japonica</i>	○	○		
		フタモンコカゲロウ	<i>Baetis taiwanensis</i>	○			
		シロハラコカゲロウ	<i>Baetis thermicus</i>	○			
		<i>Baetis</i> 属の一種	<i>Baetis</i> sp.	○	○		
		フタバカゲロウ	<i>Cloeon dipterum</i>	○	○		
		コカゲロウ科の一種	Baetidae gen. sp.	○	○		
		フタオカゲロウ	フタオカゲロウ科の一種	Siphonuridae gen. sp.	○	○	
	チラカゲロウ	チラカゲロウ	<i>Isonychia japonica</i>	○	○		
	ヒラタカゲロウ	シロタニガワカゲロウ	<i>Ecdyonurus goshidae</i>	○	○		
		<i>Ecdyonurus</i> 属の一種	<i>Ecdyonurus</i> sp.		○		
		エルモンヒラタカゲロウ	<i>Epeorus latifolium</i>		○		
		<i>Epeorus</i> 属の一種	<i>Epeorus</i> sp.	○	○		
		キハダヒラタカゲロウ	<i>Kageronia kihada</i>	○			
		キョウトキハダヒラタカゲロウ	<i>Heptagenia kyotoensis</i>	○			
	-	カゲロウ目の一種	EPHEMEROPTERA fam. gen. sp.	○			
トンボ	アオイトトンボ	オツネイトンボ	<i>Sympecma paedisca</i>	○	○		
		ホソオツネイトンボ	<i>Indolestes peregrinus</i>	○			
		アオイトトンボ	<i>Lestes sponsa</i>	○	○		
		オオアオイトトンボ	<i>Lestes temporalis</i>	○	○		
	カワトンボ	ニホンカワトンボ	<i>Mnais costalis</i>	○			
		アサヒナカワトンボ	<i>Mnais pruinosa</i>	○	○		
		<i>Mnais</i> 属の一種	<i>Mnais</i> sp.	○			
		ハグロトンボ	<i>Calopteryx atrata</i>	○	○		
	モノサシトンボ	モノサシトンボ	<i>Coperia annulata</i>	○	○		
	イトトンボ	キイトトンボ	<i>Ceriatrion melanurum</i>	○	○		
		オオイトトンボ	<i>Paracercion sieboldii</i>	○			
		モートンイトトンボ	<i>Mortonagrion selenion</i>	○	○		
		ホソミイトトンボ	<i>Aciagrion migratum</i>	○	○		
		アオモンイトトンボ	<i>Ischnura senegalensis</i>	○			
		アジアイトトンボ	<i>Ischnura asiatica</i>	○	○		
					○		
	ヤンマ	コシボツヤンマ	<i>Boyeria maclachlani</i>	○			
		ミルンヤンマ	<i>Planaeschna milnei</i>	○	○		
		オオルリボシヤンマ	<i>Aeshna crenata</i>	○	○		
		ギンヤンマ	<i>Anax parthenope</i>	○	○		
	サナエトンボ	ダビドサナエ	<i>Davidius nanus</i>	○	○		
		タバサナエ	<i>Trigomphus citimus</i>	○	○		
		ヤマサナエ	<i>Asiagomphus melaenops</i>	○	○		
		サナエトンボ科の一種	Gomphidae gen. sp.		○		
	ムカシヤンマ	ムカシヤンマ	<i>Tanypteryx pryeri</i>	○			
	オニヤンマ	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>	○	○		
	トンボ	シメトンボ	<i>Sympetrum infuscatum</i>	○			
アキアカネ		<i>Sympetrum frequens</i>	○				

表 3-1(2) 昆虫類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等	
				実施地区	周辺地域		
トンボ	トンボ	コシメトンボ	<i>Sympetrum baccha</i>	○	○		
		ヒメアカネ	<i>Sympetrum parvulum</i>	○	○		
		マユタテアカネ	<i>Sympetrum eroticum</i>	○	○		
		ネキトンボ	<i>Sympetrum speciosum</i>	○			
		コシアキトンボ	<i>Pseudothemis zonata</i>	○	○		
		ショウジョウトンボ	<i>Crocothemis servilia</i>	○			
		ウスバキトンボ	<i>Pantala flavescens</i>	○	○		
		ハラビロトンボ	<i>Lyriothemis pachygastra</i>	○	○		
		シオカラトンボ	<i>Orthetrum albistylum</i>	○	○		
		シオヤトンボ	<i>Orthetrum japonicum</i>	○	○		
		オオシオカラトンボ	<i>Orthetrum melania</i>	○	○		
ハサミムシ	ハサミムシ	ヒゲジロハサミムシ	<i>Anisobella marginalis</i>	○	○		
	オオハサミムシ	オオハサミムシ	<i>Labidura riparia japonica</i>	○			
	クギヌキハサミムシ	コブハサミムシ	<i>Anechura harmandi</i>		○		
カワゲラ	アミメカワゲラ	Isoperla属の一種	<i>Isoperla</i> sp.	○			
		アミメカワゲラ科の一種	Perlodidae gen. sp.	○			
	カワゲラ	ヤマトカワゲラ	ヤマトカワゲラ	<i>Niponiella limbatella</i>	○		
		Paragnetina属の一種	<i>Paragnetina</i> sp.	○	○		
		カミムラカワゲラ	<i>Kamimuria tibialis</i>		○		
		Neoperla属の一種	<i>Neoperla</i> sp.	○	○		
		Togoperla属の一種	<i>Togoperla</i> sp.		○		
		カワゲラ科の一種	Perlidae gen. sp.	○			
	ミドリカワゲラ	ミドリカワゲラ科の一種	Chloroperlidae gen. sp.	○			
	オナシカワゲラ	Amphinemura属の一種	<i>Amphinemura</i> sp.	○	○		
		Nemoura属の一種	<i>Nemoura</i> sp.	○	○		
		オナシカワゲラ科の一種	Nemouridae gen. sp.	○	○		
	クロカワゲラ	クロカワゲラ科の一種	Capniidae gen. sp.	○			
-	カワゲラ目の一種	PLECOPTERA fam. gen. sp.	○				
ナナフシ	ナナフシモドキ	ナナフシモドキ	<i>Ramulus mikado</i>	○			
バッタ	コオロギ	エンマコオロギ	<i>Teleogryllus emma</i>	○	○		
		モリオカメコオロギ	<i>Loxoblemmus sylvestris</i>	○	○		
		ハラオカメコオロギ	<i>Loxoblemmus campestris</i>	○	○		
		Loxoblemmus属の一種	<i>Loxoblemmus</i> sp.	○	○		
		ツツレサセコオロギ	<i>Velarifictorus micado</i>	○	○		
		クマスズムシ	<i>Sclerogryllus punctatus</i>	○			
		アオマツムシ	<i>Trujalia hibinonis</i>	○	○	○	
	マツムシ	マツムシモドキ	<i>Aphonoides japonicus</i>		○		
		クサヒバリ	<i>Svistella bifasciata</i>	○	○		
	ヒバリモドキ	キアシヒバリモドキ	<i>Trigonidium japonicum</i>		○		
		ヤチスズ	<i>Pteronemobius ohmachi</i>		○		
		マダラスズ	<i>Dianemobius nigrofasciatus</i>	○	○		
		シバズ	<i>Polionemobius mikado</i>	○	○		
		ケラ	ケラ	<i>Grylotalpa orientalis</i>	○	○	
	カマドウマ	マダラカマドウマ	<i>Diestrammena japonica</i>	○	○		
		ハヤシウマ	<i>Diestrammena itodo</i>		○		
		コノシタウマ	<i>Diestrammena elegantissima</i>	○			
		Diestrammena属の一種	<i>Diestrammena</i> sp.	○			
		Tachycines属の一種	<i>Tachycines</i> sp.	○	○		
	コロギス	ハネナシコロギス	<i>Nippancistroger testaceus</i>	○	○		
	キリギリス	クサキリ	<i>Ruspolia lineosa</i>	○	○		
		クビキリギリス	<i>Euconocephalus varius</i>	○	○		
		ホシササキリ	<i>Conocephalus maculatus</i>	○	○		
		ウスイロササキリ	<i>Conocephalus chinensis</i>		○		
		オナガササキリ	<i>Conocephalus exemptus</i>	○	○		
		コバネササキリ	<i>Conocephalus japonicus</i>		○		
		ササキリ	<i>Conocephalus melaenus</i>	○			

表 3-1(3) 昆虫類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等	
				実施 対象 区域 事業	周辺 地域		
バッタ	キリギリス	ハタケノウマオイ	<i>Hexacentrus japonicus</i>	○	○		
		キリギリス科の一種	Tettigoniidae gen. sp.	○			
	ササキリモドキ	ヒメツユムシ(コガタササキリモドキ)	<i>Leptotetura albicornis</i>	○	○		
	ツユムシ	ツユムシ	<i>Phaneroptera falcata</i>	○			
		アシグロツユムシ	<i>Phaneroptera nigroantennata</i>	○	○		
		セスジツユムシ	<i>Ducetia japonica</i>	○	○		
		サトクダマキモドキ	<i>Holochlora japonica</i>	○			
		ヘリグロツユムシ	<i>Psyrana japonica</i>	○			
	ノミバッタ	ノミバッタ	<i>Xya japonica</i>	○	○		
	ヒシバッタ	トゲヒシバッタ	<i>Crietettix japonicus</i>	○	○		
		ハネナガヒシバッタ	<i>Euparatettix insularis</i>	○	○		
		ニセハネナガヒシバッタ	<i>Ergatettix dorsifer</i>	○			
		コバネヒシバッタ	<i>Formosatettix larvatus</i>	○	○		
		ハラヒシバッタ	<i>Tetrix japonica</i>	○	○		
		Tetrix属の一種	<i>Tetrix</i> sp.	○	○		
		ヒシバッタ科の一種	Tetrigidae gen. sp.			○	
	オンブバッタ	オンブバッタ	<i>Atractomorpha lata</i>	○	○		
	バッタ	ヤマトフキバッタ	<i>Parapodisma setouchiensis</i>		○		
		ツチイナゴ	<i>Patanga japonica</i>	○	○		
		コバネイナゴ	<i>Oxya yezoensis</i>	○	○		
		ショウリョウバッタ	<i>Acrida cinerea</i>	○	○		
		ショウリョウバッタモドキ	<i>Gonista bicolor</i>	○	○		
		ヒロバネヒナバッタ	<i>Stenobothrus fumatus</i>		○		
		ヒナバッタ	<i>Glyptobothrus maritimus maritimus</i>		○		
		ツマグロバッタ	<i>Stethophyma magister</i>		○		
		トノサマバッタ	<i>Locusta migratoria</i>		○		
		クルマバッタモドキ	<i>Oedaleus infernalis</i>		○		
		イボバッタ	<i>Trilophidia japonica</i>	○	○		
		カマキリ	ハナカマキリ	ヒメカマキリ	<i>Acromantis japonica</i>	○	○
	カマキリ		オオカマキリ	<i>Tenodera sinensis</i>	○	○	
			ハラヒロカマキリ	<i>Hierodula patellifera</i>	○		
	ゴキブリ	ゴキブリ	クロゴキブリ	<i>Periplaneta fuliginosa</i>		○	○
		チャバネゴキブリ	モリチャバネゴキブリ	<i>Blattella nipponica</i>	○	○	
オオゴキブリ		オオゴキブリ	<i>Panesthia angustipennis spadica</i>	○	○		
シロアリ	ミノガシラシロアリ	ヤマトシロアリ	<i>Reticulitermes speratus</i>	○	○		
チャタテムシ	チャタテ	オオチャタテ	<i>Longivalvus nubilus</i>		○		
		オオスジチャタテ	<i>Psococerastis kurokiana</i>	○			
		スジチャタテ	<i>Psococerastis tokyoensis</i>	○	○		
		チャタテ科の一種	Psocidae gen. sp.			○	
		ウスイロチャタテ	ウスイロチャタテ科の一種	Ectopsocidae gen. sp.			○
	マドチャタテ	マドチャタテ科の一種	Peripsocidae gen. sp.	○	○		
	ケチャタテ	Caecilius属の一種	<i>Caecilius</i> sp.	○	○		
	ホソチャタテ	ホソチャタテ	<i>Stenopsocus aphidiformis</i>	○	○		
		ホソチャタテ科の一種	Stenopsocidae gen. sp.			○	
	ケブカチャタテ	ウスベニチャタテ	<i>Amphipsocus rubrostigma</i>	○	○		
アザミウマ	クダアザミウマ	クダアザミウマ科の一種	Phlaeothripidae gen. sp.	○	○		
カメムシ	アブラムシ	クリオオアブラムシ	<i>Lachnus tropicalis</i>		○		
		タデキジラミ	Aphalara属の一種	<i>Aphalara</i> sp.		○	
	キジラミ	クワキジラミ	<i>Anomoneura mori</i>	○	○		
		ハコネキジラミ	<i>Cacopsylla hakonensis</i>	○	○		
		キツタキジラミ	<i>Cacopsylla hederarum</i>	○			
	トガリキジラミ	クロトガリキジラミ	<i>Trioza nigra</i>	○			
		Trioza属の一種	<i>Trioza</i> sp.	○			
	ゼミ	ニイニイゼミ	<i>Platypleura kaempferi</i>	○	○		
		エゾゼミ	<i>Auritibicen japonicus</i>	○	○		
		クマゼミ	<i>Cryptotympana facialis</i>	○	○		

表 3-1(4) 昆虫類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等	
				実 施 区 事 業	周 辺 地 域		
カメムシ	セミ	アブラゼミ	<i>Graptopsaltria nigrofuscata</i>	○	○		
		ツクツクボウシ	<i>Meimuna opalifera</i>	○	○		
		ヒグラシ	<i>Tanna japonensis</i>	○	○		
		ハルゼミ	<i>Terpnosia vacua</i>	○	○		
		ミンミンゼミ	<i>Hyalessa maculaticollis</i>	○			
		チッチゼミ	<i>Kosemia radiator</i>	○			
	コガシラアワフキ	コガシラアワフキ	<i>Eoscarta assimilis</i>	○	○		
	アワフキムシ	クロスジホソアワフキ	<i>Aphilaenus nigripectus</i>		○		
		シロオビアワフキ	<i>Aphrophora intermedia</i>	○	○		
		イシダアワフキ	<i>Aphrophora ishidae</i>	○	○		
		モンキアワフキ	<i>Aphrophora major</i>	○	○		
		ハマベアワフキ	<i>Aphrophora maritima</i>	○			
		ヒメシロオビアワフキ	<i>Aphrophora obliqua</i>	○			
		ヒメモンキアワフキ	<i>Aphrophora rugosa</i>	○	○		
		ホシアワフキ	<i>Aphrophora stictica</i>	○	○		
		オオアワフキ	<i>Aphropsis galloisi</i>		○		
		マダラアワフキ	<i>Awafukia nawae</i>	○	○		
		マルアワフキ	<i>Lepyronia coleoptrata</i>	○			
		オカダアワフキ	<i>Lepyronia okadae</i>	○	○		
		アワフキムシ科の一種	Aphrophoridae gen. sp.	○			
		トゲアワフキムシ	ムネアカアワフキ	<i>Hindoloides bipunctatus</i>	○	○	
	ツノゼミ	オビマルツノゼミ	<i>Gargara katoi</i>	○	○		
		トビイロツノゼミ	<i>Machaerotypus sibiricus</i>	○	○		
	ヨコバイ	シダヨコバイ	<i>Japanagallia pteridis</i>	○	○		
		オズキンダヨコバイ	<i>Onukigallia onukii</i>		○		
		ゴマフハトムネヨコバイ	<i>Macropsis irrorata</i>	○	○		
		フタオビハトムネヨコバイ	<i>Macropsis matsumurana</i>	○	○		
		Macropsis属の一種	<i>Macropsis</i> sp.	○			
		モンキズキンヨコバイ	<i>Balcanocerus mali</i>		○		
		ヤノズキンヨコバイ	<i>Idiocerus yanonis</i>		○		
		オサヨコバイ	<i>Tartessus ferrugineus</i>	○	○		
		ミミズク	<i>Ledra auditura</i>	○	○		
		コミミズク	<i>Ledropsis discolor</i>	○	○		
		ツマグロオオヨコバイ	<i>Bothrogonia ferruginea</i>	○	○		
		オオヨコバイ	<i>Cicadella viridis</i>	○	○		
		マエジロオオヨコバイ	<i>Kolla atramentaria</i>	○	○		
		フタテンオオヨコバイ	<i>Epiacanthus stramineus</i>		○		
		Pagaronia属の一種	<i>Pagaronia</i> sp.	○	○		
		ヒメアオズキンヨコバイ	<i>Batracomorphus diminutus</i>		○		
		アオズキンヨコバイ	<i>Batracomorphus mundus</i>	○	○		
		ホシアオズキンヨコバイ	<i>Batracomorphus stigmaticus</i>	○	○		
		Batracomorphus属の一種	<i>Batracomorphus</i> sp.	○	○		
		セグロアオズキンヨコバイ	<i>Iassus dorsalis</i>	○	○		
		イネヒラタヨコバイ	<i>Stroggylocephalus agrestis</i>		○		
		クロミヤクイチモンジヨコバイ	<i>Exitianus indicus</i>	○	○		
		ツマグロヨコバイ	<i>Nephotettix cincticeps</i>	○			
		トバヨコバイ	<i>Alobaldia tobae</i>		○		
		イナズマヨコバイ	<i>Maiestas dorsalis</i>		○		
		イネマダラヨコバイ	<i>Maiestas oryzae</i>	○			
		シロミヤクイチモンジヨコバイ	<i>Paramesodes albinervosus</i>	○	○		
		ヨツテンヨコバイ	<i>Macrosteles quadrimaculatus</i>	○	○		
		ヒメフタテンウスバヨコバイ	<i>Macrosteles striifrons</i>	○	○		
		Macrosteles属の一種	<i>Macrosteles</i> sp.	○			
		ヒシモンヨコバイ	<i>Hishimonus sellatus</i>	○	○		
		クロヒラタヨコバイ	<i>Penthimia nitida</i>	○	○		
		<i>Bhatia satsumensis</i> (サツマヒロズクサビヨコバイ)	<i>Bhatia satsumensis</i>	○			

表 3-1(5) 昆虫類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等	
				実施 対象 区域 事業	周辺 地域		
カメムシ	ヨコバイ	ブチミヤクヨコバイ	<i>Drabescus nigrifemoratus</i>	○	○		
		ニトベブチミヤクヨコバイ	<i>Drabescus nitobei</i>	○	○		
		クスホシサジヨコバイ	<i>Favintiga camphorae</i>	○	○		
		マエジロヨコバイ	<i>Albicostella albicosta</i>	○	○		
		タケナガヨコバイ	<i>Bambusana bambusae</i>	○	○		
		オオイナズマヨコバイ	<i>Metalimnus formosus</i>		○		
		リンゴマダラヨコバイ	<i>Orientus ishidae</i>	○	○		
		ヒツメヨコバイ	<i>Phlogotettix cyclops</i>	○			
		シロセスジヨコバイ	<i>Scaphoideus albovittatus</i>		○		
		シラホシスカシヨコバイ	<i>Scaphoideus festivus</i>	○			
		<i>Scaphoideus pristophorus</i>	<i>Scaphoideus pristophorus</i>	○	○		
		ウスイロスカシヨコバイ	<i>Scaphoideus rubroguttatus</i>		○		
		モモグロヨコバイ	<i>Paralaeviccephalus nigrifemoratus</i>	○	○		
		マダラヨコバイ	<i>Psammotettix striatus</i>	○	○		
		ミスジトガリヨコバイ	<i>Japananus hyalinus</i>		○		
		オオオナガトガリヨコバイ	<i>Doratulina grandis</i>		○		
		サジヨコバイ	<i>Hecalus prasinus</i>	○	○		
		ホシヨコバイ	<i>Xestocephalus japonicus</i>	○	○		
		<i>Xestocephalus</i> 属の一種	<i>Xestocephalus</i> sp.	○			
		オビヒメヨコバイ	<i>Naratettix zonatus</i>	○			
		フタテヒメヨコバイ	<i>Arboridia apicalis</i>	○	○		
		スズキフタテヒメヨコバイ	<i>Arboridia suzukii</i>	○	○		
		マダラヒメヨコバイ	<i>Diomma pulchra</i>	○	○		
		ヨツモンコヒメヨコバイ	<i>Empoascanara limbata</i>	○	○		
		カンギツヒメヨコバイ	<i>Apheliona ferruginea</i>	○			
		ベニヒメヨコバイ	<i>Dayus takagii</i>	○			
		<i>Empoasca</i> 属の一種	<i>Empoasca</i> sp.	○	○		
		ヒツメヒメヨコバイ	<i>Ishiharella polyphemus</i>	○			
		カシヒメヨコバイ	<i>Aguriahana quercus</i>	○	○		
		<i>Edwardsiana</i> 属の一種	<i>Edwardsiana</i> sp.	○	○		
		シロヒメヨコバイ	<i>Eurhadina pulchella</i>	○	○		
		ホシヒメヨコバイ	<i>Limassolla multipunctata</i>	○	○		
		<i>Warodia hoso</i> (ホソヒメヨコバイ)	<i>Warodia hoso</i>	○			
		ヨコバイ科の一種	Deltocephalidae gen. sp.	○	○		
		ヒシウンカ	ヤナギカワウンカ	<i>Andes marmoratus</i>	○		
			ハスオビヒシウンカ	<i>Betacixius obliquus</i>	○	○	
			キガシラヒシウンカ	<i>Kuvera flaviceps</i>	○	○	
			イボタヒシウンカ	<i>Kuvera ligustri</i>	○		
			<i>Kuvera</i> 属の一種	<i>Kuvera</i> sp.	○	○	
			ヒシウンカ	<i>Pentastiridius apicalis</i>	○	○	
			ヨスジヒシウンカ	<i>Reptalus quadricinctus</i>	○	○	
			<i>Trirhacus</i> 属の一種	<i>Trirhacus</i> sp.	○		
	ウンカ	ハリマナガウンカ	<i>Stenocranus harimensis</i>	○	○		
		エゾナガウンカ	<i>Stenocranus matsumurai</i>	○	○		
		タマガワナガウンカ	<i>Stenocranus tamagawanus</i>		○		
		テラウチウンカ	<i>Terauchiana singularis</i>		○		
		タケウンカ	<i>Epeurysa nawaii</i>		○		
		コブウンカ	<i>Tropidocephala brunneipennis</i>		○		
		ヒメコブウンカ	<i>Tropidocephala festiva</i>		○		
		ゴマフウンカ	<i>Cemus nigroclypeatus</i>		○		
		<i>Garaga</i> 属の一種	<i>Garaga</i> sp.	○			
		ヒメビウンカ	<i>Laodelphax striatella</i>	○	○		
		トビイロウンカ	<i>Nilaparvata lugens</i>	○	○		
		ニセトビイロウンカ	<i>Nilaparvata muii</i>	○			
		セジロウンカ	<i>Sogatella furcifera</i>	○	○		
		セスジウンカ	<i>Terthron albovittatum</i>	○			

表 3-1(6) 昆虫類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等
				実施 対象 区域 事業	周辺 地域	
カメムシ	ウンカ	サッポロトビウンカ	<i>Unkanodes sapporonus</i>		○	
		ウンカ科の一種	Delphacidae gen. sp.	○	○	
	シマウンカ	シマウンカ	<i>Nisia nervosa</i>	○		
	ハネナガウンカ	アカハネナガウンカ	<i>Diotrombus politus</i>	○	○	
		アヤハリハネナガウンカ	<i>Losbanosia hibarensis</i>	○	○	
		クロフハネビロウンカ	<i>Mysidioides sapporoensis</i>		○	
		キスジハネビロウンカ	<i>Rhotana satsumana</i>	○	○	
		アカメガシワハネビロウンカ	<i>Vekunta malloiti</i>	○	○	
	コガシラウンカ	ナワコガシラウンカ	<i>Errada nawae</i>		○	
	テングスケバ	ツマグロスケバ	<i>Orthopagus lunulifer</i>	○	○	
	ゲンバイウンカ	タテスジゲンバイウンカ	<i>Catullia vittata</i>	○	○	
		ミドリゲンバイウンカ	<i>Kallitaxila sinica</i>	○	○	
		ヒラタゲンバイウンカ	<i>Ossoides lineatus</i>	○	○	
	マルウンカ	カタビロクサビウンカ	<i>Issus harimensis</i>	○		
		キボシマルウンカ	<i>Gergithus iguchii</i>		○	
		マルウンカ	<i>Gergithus variabilis</i>		○	
	アオバハゴロモ	アオバハゴロモ	<i>Geisha distinctissima</i>	○	○	
		トビイロハゴロモ	<i>Mimophantia maritima</i>	○	○	
	ハゴロモ	ベッコウハゴロモ	<i>Orosanga japonicus</i>	○	○	
		アミガサハゴロモ	<i>Pochazia albomaculata</i>	○	○	
	タイコウチ	タイコウチ	<i>Laccotrephes japonensis</i>	○		
		ヒメタイコウチ	<i>Nepa hoffmanni</i>	○	○	
	コオイムシ	コオイムシ	<i>Appasus japonicus</i>	○	○	
	ミズムシ	エサキミズムシ	<i>Sigara septemlineata</i>	○		
		Sigara 属の一種	<i>Sigara</i> sp.	○	○	
		ミヤケミズムシ	<i>Xenocorixa vittipennis</i>	○		
	メズムシ	メズムシ	<i>Ochterus marginatus</i>	○	○	
	マツモムシ	マツモムシ	<i>Notonecta triguttata</i>	○	○	
		コマツモムシ	<i>Anisops ogasawarensis</i>	○		
	イトアメンボ	ヒメイトアメンボ	<i>Hydrometra procera</i>	○		
	カタビロアメンボ	ケンカタビロアメンボ	<i>Microvelia douglasi</i>	○		
	アメンボ	シマアメンボ	<i>Metrocoris histrio</i>	○	○	
		オオアメンボ	<i>Aquarius elongatus</i>	○	○	
		アメンボ	<i>Aquarius paludum paludum</i>	○	○	
		ヒメアメンボ	<i>Gerris latiaabdominis</i>	○	○	
		コセアカアメンボ	<i>Gerris gracilicornis</i>	○	○	
		ヤスマツアメンボ	<i>Gerris insularis</i>	○	○	
	ミズギワカメムシ	ミズギワカメムシ	<i>Saldula saltatoria</i>	○	○	
	フタガタカメムシ	Loricula 属の一種	<i>Loricula</i> sp.	○		
	カスミカメムシ	オオクロトビカスミカメ	<i>Ectmetopterus micantulus</i>	○	○	
		クロトビカスミカメ	<i>Halticellus insularis</i>		○	
		クロマルカスミカメ	<i>Orthocephalus funestus</i>	○	○	
		ツヤクロマルカスミカメ	<i>Strongylocoris leucocephalus</i>		○	
		キアシクロホソカスミカメ	<i>Phylus miyamotoi</i>		○	
		ヒメヨモギカスミカメ	<i>Plagiognathus yomogi</i>	○	○	
		ヨモギヒョウタンカスミカメ	<i>Pilophorus okamotoi</i>		○	
		クロヒョウタンカスミカメ	<i>Pilophorus typicus</i>	○		
		クビワシダカスミカメ	<i>Bryocoris gracilis</i>	○		
		ズアカシダカスミカメ	<i>Monalocoris filicis</i>	○	○	
		マツヒゲボソカスミカメ	<i>Alloeotomus simplus</i>		○	
		Deraeocoris 属の一種	<i>Deraeocoris</i> sp.		○	
		アカアシカスミカメ	<i>Onomaus lautus</i>	○	○	
		ウスモンカスミカメ	<i>Adelphocoris demissus</i>	○	○	
ナカグロカスミカメ		<i>Adelphocoris suturalis</i>		○		
ツマグロハギカスミカメ		<i>Apolygus subpulchellus</i>	○	○		
Apolygus 属の一種		<i>Apolygus</i> sp.	○	○		

表 3-1(7) 昆虫類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等
				実施 対象 区域 事業	周辺 地域	
カメムシ	カスミカメムシ	ヒメセダカカスミカメ	<i>Charagochilus angusticollis</i>	○	○	
		マドラカスミカメ	<i>Cyphodemia saundersi</i>	○	○	
		メンガタカスミカメ	<i>Eurystylus coelestialium</i>	○	○	
		ハギメンガタカスミカメ	<i>Eurystylus luteus</i>	○		
		Lygocoris 属の一種	<i>Lygocoris</i> sp.	○	○	
		オオクロセダカカスミカメ	<i>Probosciodocoris varicornis</i>	○	○	
		フタスジカスミカメ	<i>Stenotus binotatus</i>		○	
		アカスジカスミカメ	<i>Stenotus rubrovittatus</i>	○	○	
		ウスモンミドリカスミカメ	<i>Taylorilygus apicalis</i>	○		
		ケブカカスミカメ	<i>Tingitotum perlatum</i>	○	○	
		フタゲムギカスミカメ	<i>Stenodema calcarata</i>		○	
		ベニナガムギカスミカメ	<i>Stenodema longicolle</i>		○	
		アカミヤクカスミカメ	<i>Stenodema rubrinerve</i>	○		
		ナガムギカスミカメ	<i>Stenodema sibirica</i>	○		
		カスミカメムシ科の一種	Miridae gen. sp.	○		
ハナカメムシ	ヤサハナカメムシ	<i>Amphiareus obscuriceps</i>	○	○		
ゲンバウムシ	ウチワゲンバイ	<i>Cantacader lethierryi</i>	○			
	アワダチソウゲンバイ	<i>Corythucha marmorata</i>	○	○	○	
	キクゲンバイ	<i>Galeatus affinis</i>		○		
	ツツジゲンバイ	<i>Stephanitis pyrioides</i>		○		
	トサカゲンバイ	<i>Stephanitis takeyai</i>	○	○		
	ヒメゲンバイ	<i>Uhlrites debilis</i>		○		
マキバサシガメ	コバネマキバサシガメ	<i>Nabis apicalis</i>	○			
	ハネナガマキバサシガメ	<i>Nabis stenoferus</i>	○	○		
サシガメ	ビロウドサシガメ	<i>Ectrychotes andreae</i>	○			
	コブマドラカモドキサシガメ	<i>Empicoris ussuriensis</i>		○		
	アカサシガメ	<i>Cydnocoris russatus</i>		○		
	ヒゲナガサシガメ	<i>Serendiba staliana</i>	○	○		
	シマサシガメ	<i>Sphedanolestes impressicollis</i>	○	○		
	ヤニサシガメ	<i>Velinus nodipes</i>		○		
	クロサシガメ	<i>Peirates cinctiventris</i>	○			
	クロモンサシガメ	<i>Peirates turpis</i>	○	○		
	キイロサシガメ	<i>Sirthena flavipes</i>	○	○		
	トビイロサシガメ	<i>Oncocephalus assimilis</i>	○			
	モモブトビイロサシガメ	<i>Oncocephalus femoratus</i>	○	○		
	ホソサシガメ	<i>Pygolampis bidentata</i>		○		
ヒラタカメムシ	トビイロオヒラタカメムシ	<i>Neuroctenus castaneus</i>		○		
ヒゲナガカメムシ	ヒゲナガカメムシ	<i>Pachygrontha antennata</i>	○	○		
	クロスジヒゲナガカメムシ	<i>Pachygrontha similis</i>		○		
ヒョウタンナガカメムシ	クロナガカメムシ	<i>Drymus marginatus</i>	○			
	チャイロナガカメムシ	<i>Neolethaeus dallasi</i>	○	○		
	ヨツボシヒョウタンナガカメムシ	<i>Gyndes pallicornis</i>	○			
	サビヒョウタンナガカメムシ	<i>Horridipamera inconspicua</i>	○			
	キベリヒョウタンナガカメムシ	<i>Horridipamera lateralis</i>		○		
	ヒラタヒョウタンナガカメムシ	<i>Pachybrachius luridus</i>	○	○		
	クロアシホソナガカメムシ	<i>Paromius jejunos</i>		○		
	イチゴチビナガカメムシ	<i>Stigmatonotum geniculatum</i>		○		
	チビナガカメムシ	<i>Stigmatonotum rufipes</i>	○	○		
	コバネヒョウタンナガカメムシ	<i>Togo hemipterus</i>	○	○		
	ヒョウタンナガカメムシ	<i>Caridops albomarginatus</i>		○		
	オオモンシロナガカメムシ	<i>Metochus abbreviatus</i>	○	○		
	オオメナガカメムシ	ヒメオオメナガカメムシ	<i>Geocoris proteus</i>	○		
		オオメナガカメムシ	<i>Geocoris varius</i>	○	○	
コバネナガカメムシ	ニッポンコバネナガカメムシ	<i>Dimorphopterus japonicus</i>		○		
	コバネナガカメムシ	<i>Dimorphopterus pallipes</i>	○	○		
	ホソコバネナガカメムシ	<i>Macropes obnubilus</i>	○	○		

表 3-1(8) 昆虫類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等
				実施対象区域	事業地域	
カメムシ	マダラナガカメムシ	ウスイロヒラタナガカメムシ	<i>Kleidocerys resedae</i>	○		
		ムラサキナガカメムシ	<i>Pyrgogaster colon</i>	○	○	
		イシハラナガカメムシ	<i>Pyrgogaster ishiharai</i>		○	
		ヤスマツナガカメムシ	<i>Pyrgogaster yasumatsui</i>		○	
		Nysius属の一種	<i>Nysius</i> sp.	○	○	
	ヒメヒラタナガカメムシ	Cymus属の一種	<i>Cymus</i> sp.	○	○	
	ホノメダカナガカメムシ	ホノメダカナガカメムシ	<i>Ninonimus flavipes</i>	○	○	
	-	旧ナガカメムシ科の一種	Lygaeidae gen. sp.		○	
	メダカナガカメムシ	メダカナガカメムシ	<i>Chauliops fallax</i>	○	○	
	イトカメムシ	ヒメイトカメムシ	<i>Metacanthus pulchellus</i>		○	
		イトカメムシ	<i>Yemma exilis</i>	○	○	
	オオホシカメムシ	オオホシカメムシ	<i>Physopelta gutta</i>	○	○	
		ヒメホシカメムシ	<i>Physopelta parviceps</i>	○	○	
	ホシカメムシ	クロホシカメムシ	<i>Pyrrhocoris sinuaticollis</i>		○	
	ホソヘリカメムシ	クモヘリカメムシ	<i>Leptocoris chinensis</i>	○	○	
		ヒメクモヘリカメムシ	<i>Paraplesius unicolor</i>	○		
		ニセヒメクモヘリカメムシ	<i>Paraplesius vulgaris</i>	○	○	
		ホソヘリカメムシ	<i>Riptortus pedestris</i>	○	○	
	ヒメヘリカメムシ	スカシヒメヘリカメムシ	<i>Liorhyssus hyalinus</i>		○	
		アカヒメヘリカメムシ	<i>Rhopalus maculatus</i>	○	○	
		ブチヒメヘリカメムシ	<i>Stictopleurus punctatonervosus</i>	○	○	
	ヘリカメムシ	ホオズキカメムシ	<i>Acanthocoris sordidus</i>		○	
		オオツマキヘリカメムシ	<i>Hygia lativentris</i>	○	○	
		ツマキヘリカメムシ	<i>Hygia opaca</i>	○	○	
		ホソハリカメムシ	<i>Cletus punctiger</i>	○	○	
		ハリカメムシ	<i>Cletus schmidti</i>	○	○	
		ハラビロヘリカメムシ	<i>Homoeocerus dilatatus</i>	○	○	
		ホソハラビロヘリカメムシ	<i>Homoeocerus unipunctatus</i>	○	○	
		ヘリカメムシ科の一種	Coreidae gen. sp.	○		
	クヌギカメムシ	ナシカメムシ	<i>Urochela luteovaria</i>		○	
		ヘラクヌギカメムシ	<i>Urostylis annulicornis</i>	○	○	
		サジクヌギカメムシ	<i>Urostylis striicornis</i>	○	○	
		クヌギカメムシ	<i>Urostylis westwoodi</i>	○		
	マルカメムシ	タデマルカメムシ	<i>Coptosoma parvictum</i>	○	○	
		マルカメムシ	<i>Megacopta punctatissima</i>	○	○	
	ツチカメムシ	ヒメツツチカメムシ	<i>Chilocoris nigricans</i>	○		
		ヒメツチカメムシ	<i>Formundus pygmaeus</i>	○		
		ツチカメムシ	<i>Macroscytus japonensis</i>	○	○	
	キンカメムシ	チャイロカメムシ	<i>Eurygaster testudinaria</i>		○	
	カメムシ	ウスラカメムシ	<i>Aelia fieberi</i>	○		
		チャバネアオカメムシ	<i>Plautia stali</i>	○	○	
		クサギカメムシ	<i>Halyomorpha halys</i>	○	○	
		トゲカメムシ	<i>Carbula abbreviata</i>		○	
		トゲシラホシカメムシ	<i>Eysarcoris aeneus</i>	○	○	
		ムラサキシラホシカメムシ	<i>Eysarcoris annamita</i>	○	○	
		オオトゲシラホシカメムシ	<i>Eysarcoris lewisi</i>	○	○	
		シラホシカメムシ	<i>Eysarcoris ventralis</i>		○	
		ツヤアオカメムシ	<i>Glaucias subpunctatus</i>	○	○	
		アオクサカメムシ	<i>Nezara antennata</i>		○	
		シロヘリカメムシ	<i>Aenaria lewisi</i>	○	○	
		ナガメ	<i>Eurydema rugosa</i>	○	○	
		エビイロカメムシ	<i>Gonopsis affinis</i>	○	○	
		アカスジカメムシ	<i>Graphosoma rubrolineatum</i>	○		
		イネクロカメムシ	<i>Scotinophara lurida</i>	○		
ヒメクロカメムシ		<i>Scotinophara scottii</i>	○	○		
ツノカメムシ		フトハサミツノカメムシ	<i>Acanthosoma crassicaudum</i>	○	○	

表 3-1 (9) 昆虫類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等
				実施 対象 区域 事業	周辺 地域	
カメムシ	ツノカメムシ	セアカツノカメムシ	<i>Acanthosoma denticaudum</i>	○	○	
		アオモンツノカメムシ	<i>Elasmotethus nubilus</i>	○		
		ヒメツノカメムシ	<i>Elasmucha putoni</i>	○	○	
		エサキモンキツノカメムシ	<i>Sastragala esakii</i>	○	○	
ヘビトンボ	センブリ	ネグロセンブリ	<i>Sialis japonicar</i>		○	
		<i>Sialis</i> 属の一種	<i>Sialis</i> sp.	○		
ヘビトンボ	ヤマトクロスジヘビトンボ	<i>Parachauliodes japonicus</i>		○	○	
アミメカゲロウ	コナカゲロウ	キバラコナカゲロウ	<i>Coniopteryx abdominalis</i>	○		
	ヒメカゲロウ	ミヤマヒメカゲロウ	<i>Hemerobius humulinus</i>	○		
		ヤマトヒメカゲロウ	<i>Hemerobius japonicus</i>		○	
		<i>Hemerobius</i> 属の一種	<i>Hemerobius</i> sp.	○	○	
		アシマダラヒメカゲロウ	<i>Micromus calidus</i>		○	
		シロタエヒメカゲロウ	<i>Micromus dissimilis</i>		○	
		ホンバヒメカゲロウ	<i>Micromus linearis</i>	○	○	
		チャバネヒメカゲロウ	<i>Micromus numerosus</i>	○	○	
		<i>Micromus</i> 属の一種	<i>Micromus</i> sp.	○		
		ミドリヒメカゲロウ	<i>Notiobiella subolivacea</i>	○		
		<i>Symphorobius domesticus</i>	<i>Symphorobius domesticus</i>	○	○	
		ヒメカゲロウ科の一種	Hemerobiidae gen. sp.		○	
	クサカゲロウ	クサカゲロウ	<i>Chrysopa intima</i>	○		
		<i>Chrysopa</i> 属の一種	<i>Chrysopa</i> sp.	○		
		ニッポンクサカゲロウ	<i>Chrysoperla carnea</i>	○	○	
		スズキクサカゲロウ	<i>Chrysoperla suzukii</i>		○	
		クサカゲロウ科の一種	Chrysopidae gen. sp.	○		
	ケカゲロウ	ケカゲロウ	<i>Isoscelipteron okamotois</i>	○	○	
	カマキリモドキ	キカマキリモドキ	<i>Eumantispia harmandi</i>	○		
		ヒメカマキリモドキ	<i>Mantispia japonica</i>	○	○	
	ウスバカゲロウ	ウスバカゲロウ	<i>Baliga micans</i>	○		
		ヨウスバカゲロウ	<i>Myrmeleon formicarius</i>	○		
	ツトトンボ	ツトトンボ	<i>Ascalohybris subjacens</i>		○	
コウチュウ	ナガヒラタムシ	ナガヒラタムシ	<i>Tenomerga mucida</i>	○		
	オサムシ	ミヤマメダカゴミムシ	<i>Notiophilus impressifrons</i>	○	○	
		ニワハンミョウ	<i>Cicindela japana japana</i>	○	○	
		コニワハンミョウ	<i>Cicindela transbaicalica japonensis</i>		○	
		ナミハンミョウ	<i>Cicindela japonica</i>		○	
		クロナガオサムシ	<i>Carabus procerulus procerulus</i>	○	○	
		ミカワオサムシ	<i>Carabus arrowianus arrowianus</i>	○	○	
		ヤコンオサムシ	<i>Carabus yaconinus yaconinus</i>	○	○	
		ナガヒョウタンゴミムシ	<i>Scarites terricola pacificus</i>	○		
		フタモンミズギワゴミムシ	<i>Bembidion semilunium semilunium</i>		○	
		アトモンミズギワゴミムシ	<i>Bembidion niloticum batesi</i>	○		
		キモンナガミズギワゴミムシ	<i>Bembidion scopulinum</i>	○		
		セダカコミズギワゴミムシ	<i>Elaphropus nipponicus</i>		○	
		アトオビコミズギワゴミムシ	<i>Porotachys recurvicollis</i>	○		
		クロオビコミズギワゴミムシ	<i>Tachys fasciatus uenoi</i>		○	
		ウスイロコミズギワゴミムシ	<i>Tachys pallescens</i>		○	
		ヒラタコミズギワゴミムシ	<i>Tachyura exarata</i>	○		
		ヨツモンコミズギワゴミムシ	<i>Tachyura laetifica</i>	○	○	
		カワチゴミムシ	<i>Diplous sibiricus caligatus</i>		○	
		ミイデラゴミムシ	<i>Pheropsophus jessoensis</i>	○		
		アトボシアオゴミムシ	<i>Chlaenius naeviger</i>	○	○	
		ムナビロアトボシアオゴミムシ	<i>Chlaenius tetragonoderus</i>	○	○	
		アカガネアオゴミムシ	<i>Chlaenius abstersus</i>	○	○	
		トゲアトキリゴミムシ	<i>Aephnidius adelioides</i>	○		
		クビボソゴミムシ	<i>Galerita orientalis</i>	○		
		ヒメゴミムシ	<i>Anisodactylus tricuspидatus tricuspидatus</i>		○	

表 3-1(10) 昆虫類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等
				実施区域	周辺地域	
コウチュウ	オサムシ	ホシボシゴミムシ	<i>Anisodactylus punctatipennis</i>		○	
		ゴミムシ	<i>Anisodactylus signatus</i>	○		
		オオゴモクムシ	<i>Harpalus capito</i>	○		
		オオズケゴモクムシ	<i>Harpalus eous</i>	○	○	
		ケウスゴモクムシ	<i>Harpalus griseus</i>	○	○	
		ヒメケゴモクムシ	<i>Harpalus jureceki</i>	○		
		クロゴモクムシ	<i>Harpalus pastor niigatanus</i>	○		
		ウスアカクロゴモクムシ	<i>Harpalus sinicus</i>	○	○	
		コゴモクムシ	<i>Harpalus tridens</i>	○	○	
		ケゴモクムシ	<i>Harpalus ussuriensis vicarius</i>	○		
		ヒメツヤゴモクムシ	<i>Trichotichnus congruus</i>	○		
		クビアカツヤゴモクムシ	<i>Trichotichnus longitarsis longitarsis</i>	○		
		イクビツヤゴモクムシ	<i>Trichotichnus orientalis</i>		○	
		キューウシュウツヤゴモクムシ	<i>Trichotichnus vespertinus</i>	○		
		キイロチビゴモクムシ	<i>Acupalpus inornatus</i>	○	○	
		キベリゴモクムシ	<i>Loxoncus circumcinctus</i>	○	○	
		マメゴモクムシ	<i>Stenolophus fulvicornis</i>	○		
		ナガマメゴモクムシ	<i>Stenolophus agonoides</i>	○		
		ムネアカマメゴモクムシ	<i>Stenolophus propinquus</i>	○		
		アオアトキリゴミムシ	<i>Calleida onoha</i>	○	○	
		フトヒゲホソアトキリゴミムシ	<i>Dromius crassipalpis</i>		○	
		イクビホソアトキリゴミムシ	<i>Dromius quadraticollis</i>	○		
		ベーツホソアトキリゴミムシ	<i>Dromius batesi</i>	○	○	
		コルリアトキリゴミムシ	<i>Lebia viridis</i>		○	○
		ハネビロアトキリゴミムシ	<i>Lebia duplex</i>	○	○	
		フタホシアトキリゴミムシ	<i>Lebia bifenestrata</i>	○	○	
		ジュウジアトキリゴミムシ	<i>Lebia retrofasciata</i>	○		
		ヒラタアトキリゴミムシ	<i>Parena cavipennis</i>		○	
		ヒトツメアトキリゴミムシ	<i>Parena monostigma</i>	○	○	
		コキノコゴミムシ	<i>Coptodera japonica</i>	○	○	
		ハギキノコゴミムシ	<i>Coptodera subapicalis</i>		○	
		コヨツボシアトキリゴミムシ	<i>Dolichoctis striatus striatus</i>	○	○	
		キノロゴミムシ	<i>Lioptera erotyloides</i>	○	○	
		ヤセアトキリゴミムシ	<i>Mochtherus luctuosus</i>	○		
		フタモンクビナガゴミムシ	<i>Archicolluris bimaculata nipponica</i>		○	
		トックリゴミムシ	<i>Lachnocrepis prolixa</i>	○	○	
		カドツブゴミムシ	<i>Pentagonica angulosa</i>	○	○	
		ダイミョウツブゴミムシ	<i>Pentagonica daimiella</i>	○		
		クロズホナシゴミムシ	<i>Perigona nigriceps</i>	○	○	
		チャイロホソヒラタゴミムシ	<i>Agonum kyushuensis hondorum</i>	○		
		クロモリヒラタゴミムシ	<i>Agonum atricomes</i>	○	○	
		コハラアカモリヒラタゴミムシ	<i>Agonum lampros</i>	○	○	
		イクビモリヒラタゴミムシ	<i>Agonum modestior</i>		○	
		アオグロヒラタゴミムシ	<i>Agonum chalcomum</i>	○		
		ルリヒラタゴミムシ	<i>Dicranoncus femoralis</i>	○	○	
		クビアカモリヒラタゴミムシ	<i>Loxocrepis rubriola</i>	○		
		オオアオモリヒラタゴミムシ	<i>Metacalpodes buchannani</i>	○	○	
		サドモリヒラタゴミムシ	<i>Metacalpodes limodromoides</i>	○		
		オオヒラタゴミムシ	<i>Platynus magnus</i>	○	○	
		ムラサキオオゴミムシ	<i>Myas coreanus</i>		○	
		アカガネオオゴミムシ	<i>Myas cuprescens cuprescens</i>	○		
		アシミゾナガゴミムシ	<i>Pterostichus sulcitaris</i>	○	○	
		ヨリトモナガゴミムシ	<i>Pterostichus yoritomus</i>	○		
		コガシラナガゴミムシ	<i>Pterostichus microcephalus</i>	○		
		マルムネヒメナガゴミムシ	<i>Pterostichus straneoi</i>	○		
		セアカヒラタゴミムシ	<i>Dolichus halensis</i>	○	○	

表 3-1(11) 昆虫類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等	
				実施区 事業	周辺地 域		
コウチュウ	オサムシ	マルガタツヤヒラゴミムシ	<i>Synuchus arcuaticollis</i>	○	○		
		ホソツヤヒラゴミムシ	<i>Synuchus atricolor</i>	○			
		クロツヤヒラゴミムシ	<i>Synuchus cycloderus</i>	○	○		
		コクロツヤヒラゴミムシ	<i>Synuchus melantho</i>	○			
		オオクロツヤヒラゴミムシ	<i>Synuchus nitidus nitidus</i>	○	○		
		ニセマルガタゴミムシ	<i>Amara congrua</i>	○	○		
		ナガマルガタゴミムシ	<i>Amara macronota</i>	○	○		
		オサムシ科の一種	Carabidae gen. sp.	○			
	コガシラミズムシ	コガシラミズムシ	<i>Peltodytes intermedius</i>	○	○		
	ゲンゴロウ	コクロマメゲンゴロウ	<i>Platambus insolitus</i>		○		
		ホソクロマメゲンゴロウ	<i>Platambus optatus</i>	○			
		クロマメゲンゴロウ	<i>Platambus stygius</i>		○		
		ヒメゲンゴロウ	<i>Rhantus suturalis</i>	○	○		
		ホソセスジゲンゴロウ	<i>Copelatus weymarni</i>	○	○		
		クロゲンゴロウ	<i>Cybister brevis</i>	○			
		ハイイロゲンゴロウ	<i>Eretes sticticus</i>	○			
		コシマゲンゴロウ	<i>Hydaticus grammicus</i>	○	○		
		チビゲンゴロウ	<i>Hydroglyphus japonicus</i>	○	○		
	ガムシ	ゴマフガムシ	<i>Berosus punctipennis</i>	○	○		
		<i>Berosus</i> 属の一種	<i>Berosus</i> sp.	○	○		
		キイロヒラタガムシ	<i>Enochrus simulans</i>	○	○		
		キベリヒラタガムシ	<i>Enochrus japonicus</i>	○	○		
		スジヒラタガムシ	<i>Helochares nipponicus</i>	○	○		
		コガムシ	<i>Hydrochara affinis</i>	○	○		
		エソコガムシ	<i>Hydrochara libera</i>	○	○		
		ヒメガムシ	<i>Sternolophus rufipes</i>	○	○		
		ミュキシジミガムシ	<i>Laccobius inopinus</i>	○			
		ヒメシジミガムシ	<i>Laccobius fragilis</i>	○			
		コモンシジミガムシ	<i>Laccobius oscillans</i>	○			
		<i>Laccobius</i> 属の一種	<i>Laccobius</i> sp.	○			
		マルガムシ	<i>Hydrocassis lacustris</i>	○	○		
		セマルガムシ	<i>Coelostoma stultum</i>	○	○		
		アカケンガムシ	<i>Cercyon olibrus</i>	○	○		
		キバネケンガムシ	<i>Cercyon quisquilius</i>	○			
		<i>Cercyon</i> 属の一種	<i>Cercyon</i> sp.	○	○		
		セマルケンガムシ	<i>Cryptopleurum subtile</i>	○			
		ホソケンガムシ	<i>Paroosternum sorex</i>	○	○		
		ガムシ科の一種	Hydrophilidae gen. sp.		○		
		エンマムシ	ヒメホソエンマムシ	<i>Niponius osorioceps</i>	○		
			ツヤマルエンマムシ	<i>Atholus pirithous</i>	○		
	コエンマムシ		<i>Margarinotus nipponicus</i>	○			
	オオヒラタエンマムシ		<i>Hololepta amurensis</i>	○			
	タマキノコムシ	ハバヒロクシヒゲタマキノコムシ	<i>Anisotoma curta</i>		○		
		<i>Leiodes</i> 属の一種	<i>Leiodes</i> sp.	○			
		チャイロヒメタマキノコムシ	<i>Pseudoliodes strigosulus</i>	○			
		<i>Colon</i> 属の一種	<i>Colon</i> sp.	○			
		<i>Catops</i> 属の一種	<i>Catops</i> sp.	○			
	シデムシ	オオモモトシデムシ	<i>Necrodes littoralis</i>	○	○		
		オオヒラタシデムシ	<i>Necrophila japonica</i>		○		
		クロボシヒラタシデムシ	<i>Oiceoptoma nigropunctatum</i>	○			
		ピロウドヒラタシデムシ	<i>Oiceoptoma thoracicum</i>	○			
		クロシデムシ	<i>Nicrophorus concolor</i>	○	○		
		ヨツボシモンシデムシ	<i>Nicrophorus quadripunctatus</i>	○	○		
	ハネカクシ	ムネボソヨツメハネカクシ	<i>Boreaphilus japonicus</i>	○			
		<i>Eusphalerum</i> 属の一種	<i>Eusphalerum</i> sp.	○	○		
		<i>Diar tiger</i> 属の一種	<i>Diar tiger</i> sp.	○			

表 3-1(12) 昆虫類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等	
				実施 対象 区域 事業	周辺 地域		
コウチュウ	ハネカクシ	フタスジイクビハネカクシ	<i>Ischnosoma duplicatum</i>	○			
		Sepedophilus属の一種	<i>Sepedophilus</i> sp.	○	○		
		Tachyporus属の一種	<i>Tachyporus</i> sp.	○	○		
		コクロヒゲトハネカクシ	<i>Aleochara parens</i>	○			
		Aleochara属の一種	<i>Aleochara</i> sp.	○	○		
		キバナセミノハネカクシ	<i>Myrmecocephalus sapidus</i>	○	○		
		Myrmecocephalus属の一種	<i>Myrmecocephalus</i> sp.	○			
		モンクローアリスハネカクシ	<i>Zyras haworthi</i>		○		
		シロヒゲアリスハネカクシ	<i>Zyras particornis</i>		○		
		Phymatura属の一種	<i>Phymatura</i> sp.	○			
		ヒゲトハネカクシ亜科の一種	Aleocharinae gen. sp.	○			
		Scaphisoma属の一種	<i>Scaphisoma</i> sp.	○			
		セスジハネカクシ	<i>Anotylus cognatus</i>	○			
		チビクロセスジハネカクシ	<i>Anotylus latiusculus</i>	○			
		Anotylus属の一種	<i>Anotylus</i> sp.	○	○		
		ニセユミセミノハネカクシ	<i>Carpelimus vagus</i>		○		
		Carpelimus属の一種	<i>Carpelimus</i> sp.	○	○		
		キバナセスジハネカクシ	<i>Oxytelus piceus</i>	○			
		ユミセミノハネカクシ	<i>Thinodromus sericatus</i>	○	○		
		アシマダラカワバメダカハネカクシ	<i>Stenus cicindeloides</i>	○	○		
		Stenus属の一種	<i>Stenus</i> sp.	○	○		
		コマルズハネカクシ	<i>Domene curtipennis</i>	○			
		ツマアカカワバナガエハネカクシ	<i>Ochthephilum kurosai</i>		○		
		Lathrobium属の一種	<i>Lathrobium</i> sp.		○		
		クロストガリハネカクシ	<i>Lithocharis nigriceps</i>	○			
		アオバアリガタハネカクシ	<i>Paederus fuscipes</i>	○	○		
		アカバハネカクシ	<i>Platydacus brevicornis</i>	○			
		ヒメアカバトガリオオズハネカクシ	<i>Platydacus vicarius</i>		○		
		クロオオコガシラハネカクシ	<i>Philonthus japonicus</i>	○			
		ニセクロオオコガシラハネカクシ	<i>Philonthus oberti</i>		○		
		Philonthus属の一種	<i>Philonthus</i> sp.	○	○		
		ハイイロハネカクシ	<i>Eucibdelus japonicus</i>	○			
		サビハネカクシ	<i>Ontholestes gracilis</i>	○	○		
		ムネビロハネカクシ	<i>Algon grandicollis</i>	○			
		キンバナハネカクシ	<i>Ocypus gloriosus</i>	○			
		ハネカクシ科の一種	Staphylinidae gen. sp.	○	○		
		センチコガネ	ムネアカセンチコガネ	<i>Bolbocerodema nigroplagiatum</i>		○	
			オオセンチコガネ	<i>Phelotrupes auratus auratus</i>	○	○	
			センチコガネ	<i>Phelotrupes laevistriatus</i>	○	○	
		コブスジコガネ	ヒメコブスジコガネ	<i>Glyptotrox opacotuberculatus</i>	○		
		クワガタムシ	クワガタ	<i>Dorcus rectus rectus</i>	○	○	
			スジクワガタ	<i>Dorcus striatipennis striatipennis</i>		○	
			ミヤマクワガタ	<i>Lucanus maculifemoratus maculifemoratus</i>	○	○	
		ノギリクワガタ	<i>Prosopocoilus inclinatus inclinatus</i>	○	○		
	コガネムシ	トゲクワツヤマグソコガネ	<i>Aphodius superatratus</i>	○			
		ヒメスジマグソコガネ	<i>Aphodius (Carinaulus) hasegawai</i>		○		
		コスジマグソコガネ	<i>Aphodius lewisi</i>	○			
		セマルケンマグソコガネ	<i>Psammodytes convexus</i>	○			
		ゴホンダイコクコガネ	<i>Copris acutidens</i>	○	○		
		マメダルマコガネ	<i>Panelus parvulus</i>	○			
		ツノコガネ	<i>Liatongus minutus</i>	○			
		コブマルエンマコガネ	<i>Onthophagus atripennis</i>	○			
		クロマルエンマコガネ	<i>Onthophagus ater</i>	○			
		フトカドエンマコガネ	<i>Onthophagus fodiens</i>		○		
		カドマルエンマコガネ	<i>Onthophagus lenzii</i>	○	○		
		ツヤエンマコガネ	<i>Parascatonomus nitidus</i>	○			

表 3-1(13) 昆虫類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等	
				実施 対象 区域 事業	周辺 地域		
コウチュウ	コガネムシ	ヒメアシナゴガネ	<i>Ectinohoplia obducta</i>	○	○		
		アシナゴガネ	<i>Hoplia communis</i>	○			
		ナガチャコガネ	<i>Heptophylla picea picea</i>	○	○		
		オオコフキコガネ	<i>Melolontha frater</i>	○	○		
		コフキコガネ	<i>Melolontha japonica</i>	○	○		
		クロコガネ	<i>Nigrotrichia kiotoensis</i>	○	○		
		オオクロコガネ	<i>Pedinotrichia parallela</i>	○	○		
		コクロコガネ	<i>Pedinotrichia picea</i>	○	○		
		コヒゲシマビロウドコガネ	<i>Gastroserica brevicornis</i>	○			
		マルガタビロウドコガネ	<i>Maladera secreta secreta</i>	○	○		
		アカビロウドコガネ	<i>Maladera castanea castanea</i>		○		
		オオビロウドコガネ	<i>Maladera renardi</i>	○	○		
		ヒメビロウドコガネ	<i>Maladera orientalis</i>	○	○		
		カミヤビロウドコガネ	<i>Maladera kamiyai</i>	○	○		
		ハラゲビロウドコガネ	<i>Nipponoserica pubiventris</i>	○	○		
		カバイロビロウドコガネ	<i>Nipponoserica similis</i>		○		
		Nipponoserica 属の一種	<i>Nipponoserica</i> sp.	○	○		
		Serica 属の一種	<i>Serica</i> sp.	○	○		
		ナエドコチャイロコガネ	<i>Sericania mimica</i>	○	○		
		Sericania 属の一種	<i>Sericania</i> sp.	○			
		コイチャコガネ	<i>Adoretus tenuimaculatus</i>	○	○		
		アオドウガネ	<i>Anomala albopilosa albopilosa</i>	○	○		
		ドウガネブイブイ	<i>Anomala cuprea</i>	○	○		
		サクラコガネ	<i>Anomala daimiana</i>	○	○		
		ヒメサクラコガネ	<i>Anomala geniculata</i>	○			
		ツヤコガネ	<i>Anomala lucens</i>	○	○		
		ヒラタアオコガネ	<i>Anomala octiescostata</i>	○	○		
		ヒメコガネ	<i>Anomala rufocuprea</i>	○	○		
		セマダラコガネ	<i>Exomala orientalis</i>	○	○		
		カタモンコガネ	<i>Exomala conspurcata</i>		○		
		オオスジコガネ	<i>Mimela costata</i>	○	○		
		ヒメスジコガネ	<i>Mimela flavilabris</i>		○		
		スジコガネ	<i>Mimela testaceipes</i>	○	○		
		ウスチャコガネ	<i>Phyllopertha diversa</i>	○	○		
		マメコガネ	<i>Popillia japonica</i>		○		
		カブトムシ	<i>Trypoxylus dichotomus septentrionalis</i>	○	○		
		ナミハナムグリ	<i>Cetonia piliifera piliifera</i>	○	○		
		アオハナムグリ	<i>Cetonia roelofsi roelofsi</i>	○	○		
		コアオハナムグリ	<i>Gametis jucunda</i>	○	○		
		クロハナムグリ	<i>Glycyphana fulvitemma</i>	○			
		シロテンハナムグリ	<i>Protaetia orientalis submarmorea</i>		○		
		カナブン	<i>Pseudotorynorrhina japonica</i>	○	○		
		トゲヒラタハナムグリ	<i>Dasyvalgus tuberculatus</i>	○			
		ヒラタハナムグリ	<i>Nipponovalgus angusticollis angusticollis</i>	○			
		マルハナミ	ヒメチビマルハナミ	<i>Contacyphon puncticeps</i>	○	○	
			アカチャチビマルハナミ	<i>Herthania japonicola</i>	○	○	
			ウスチャチビマルハナミ	<i>Herthania sasagawai</i>	○	○	
			Cyphon 属の一種	<i>Cyphon</i> sp.	○	○	
			ヒメキムネマルハナミ	<i>Sacodes minima</i>		○	
			コキムネマルハナミ	<i>Sacodes nakanei</i>		○	
			トビイロマルハナミ	<i>Scirtes japonicus</i>	○	○	
		ヒメマルハナミ	<i>Scirtes sobrinus</i>	○	○		
		タマムシ	ヤマトタマムシ	<i>Chrysochroa fulgidissima fulgidissima</i>	○		
			クロナガタマムシ	<i>Agrilus cyaneoniger</i>		○	
			ミツボシナガタマムシ	<i>Agrilus trinotatus</i>		○	
			Agrilus 属の一種	<i>Agrilus</i> sp.		○	

表 3-1(14) 昆虫類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等
				実施対象区域	周辺地域	
コウチュウ	タマムシ	クロケンタマムシ	<i>Aphanisticus congener</i>		○	
		クズノチビタマムシ	<i>Trachys auricollis</i>		○	
		コウゾチビタマムシ	<i>Trachys broussonetiae</i>	○	○	
		ヤナギチビタマムシ	<i>Trachys minuta salicis</i>		○	
		マメチビタマムシ	<i>Trachys reitteri</i>	○	○	
		サシゲチビタマムシ	<i>Trachys robusta</i>		○	
		ズミチビタマムシ	<i>Trachys toringoi</i>	○		
		アカガネチビタマムシ	<i>Trachys tsushimae</i>	○	○	
	マルトゲムシ	シラフチビマルトゲムシ	<i>Simplocaria hispidula</i>	○	○	
	ヒメドロムシ	ヒメハバビドロムシ	<i>Dryopomorphus nakanei</i>	○		
		ツヤナガアンドロムシ	<i>Grouvellinus nitidus</i>	○	○	
		キスジミゾドロムシ	<i>Ordobrevia foveicollis</i>	○	○	
		イブシアシナガドロムシ	<i>Stenelmis nipponica</i>	○	○	
		アシナガミゾドロムシ	<i>Stenelmis vulgaris</i>	○		
		アワツヤドロムシ	<i>Zaitzevia awana</i>		○	
		Zaitzevia 属の一種	<i>Zaitzevia</i> sp.	○	○	
		マルヒメツヤドロムシ	<i>Zaitzeviaria ovata</i>	○		
		ヒメドロムシ科の一種	Elmidae gen. sp.	○		
		ドロムシ	ムナビロツヤドロムシ	<i>Elmomorphus brevicornis brevicornis</i>	○	○
	チビドロムシ	チビドロムシ	<i>Limnichus lewisi</i>		○	
	ヒラタドロムシ	チビヒゲナガハナノミ	<i>Ectopria opaca opaca</i>	○	○	
		チビマルヒゲナガハナノミ	<i>Macroebria lewisi</i>	○	○	
		マサダチヒラタドロムシ	<i>Malacopsephenoides japonicus</i>	○		
		ヒラタドロムシ	<i>Mataeopsephus japonicus</i>	○	○	
	ナガハナノミ	エダヒゲナガハナノミ	<i>Epilichas flavellatus</i>	○	○	
		ヒゲナガハナノミ	<i>Paralichas pectinatus</i>	○	○	
		オオメコヒゲナガハナノミ	<i>Ptilodactyla japonensis</i>	○	○	
	コメツキダマシ	マメフチトリコメツキダマシ	<i>Rhagomicrus marginatus</i>		○	
		Dromaeolus 属の一種	<i>Dromaeolus</i> sp.	○	○	
		ヒメチャイロコメツキダマシ	<i>Fornax consobrinus</i>		○	
		オオチャイロコメツキダマシ	<i>Fornax victor</i>	○		
	ヒゲトコメツキ	Aulonothroscus 属の一種	<i>Aulonothroscus</i> sp.	○		
	コメツキムシ	サビキコリ	<i>Agrypnus binodulus</i>	○	○	
		ムナビロサビキコリ	<i>Agrypnus cordicollis</i>	○		
		ホソサビキコリ	<i>Agrypnus fuliginosus</i>		○	
		ヒメサビキコリ	<i>Agrypnus scrofa</i>	○		
		オオサビコメツキ	<i>Lacon maeklinii maeklinii</i>	○		
		コガタノサビコメツキ	<i>Lacon parallelus parallelus</i>	○	○	
		ウバタマコメツキ	<i>Cryptalaus berus</i>		○	
		オオフタモンウバタマコメツキ	<i>Cryptalaus larvatus pini</i>	○	○	
		マダラチビコメツキ	<i>Drasterius agnatus</i>	○	○	
		オオクシヒゲコメツキ	<i>Tetrigus lewisi</i>	○	○	
		ヒゲコメツキ	<i>Pectocera hige hige</i>	○	○	
		ムラサキヒメカネコメツキ	<i>Limoniis eximia</i>	○	○	
		ミヤマベニコメツキ	<i>Denticollis miniatus</i>	○	○	
		クロツヤハダコメツキ	<i>Hemicrepidius secessus secessus</i>	○		
		メダカツヤハダコメツキ	<i>Medakathous jactatus jactatus</i>		○	
		オオツヤハダコメツキ	<i>Stenagostus umbratilis</i>	○	○	
		コガタシモフリコメツキ	<i>Actenicerus aerosus aerosus</i>	○	○	
		オオシモフリコメツキ	<i>Actenicerus orientalis</i>	○	○	
		Actenicerus 属の一種	<i>Actenicerus</i> sp.	○		
オオヒラタコメツキ		<i>Aphotistus notabilis notabilis</i>	○			
アカヒゲヒラタコメツキ		<i>Neopristilophus serrifer</i>	○	○		
ヨツキボシコメツキ		<i>Ectinoides insignitus insignitus</i>	○			
カバイロコメツキ		<i>Ectinus sericeus sericeus</i>	○	○		
アカハラクロコメツキ		<i>Ampedus hypogastricus hypogastricus</i>	○	○		

表 3-1(15) 昆虫類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等	
				実施 対象 区域 事業	周辺 地域		
コウチュウ	コムシムシ	アカアシクロコムシ	<i>Ampedus japonicus japonicus</i>		○		
		<i>Ampedus</i> 属の一種	<i>Ampedus</i> sp.	○	○		
		キバネホソコムシ	<i>Dolerosomus gracilis</i>	○	○		
		ヒゲナガコムシ	<i>Mulsanteus junior junior</i>	○	○		
		ヒメオオナガコムシ	<i>Orthostethus kometsuki</i>		○		
		オオナガコムシ	<i>Orthostethus sieboldi sieboldi</i>	○	○		
		ヒメホソコムシ	<i>Agaripenthes helvolus</i>	○	○		
		ホソツヤケシコムシ	<i>Hayekpenthes pallidus pallidus</i>	○	○		
		ルイスクシコムシ	<i>Melanotus lewisi lewisi</i>	○			
		アカアシオオクシコムシ	<i>Melanotus cete cete</i>	○	○		
		<i>Melanotus</i> 属の一種	<i>Melanotus</i> sp.	○	○		
		クチブトコムシ	<i>Silesis musculus musculus</i>	○			
		クロハナコムシ	<i>Cardiophorus pinguis</i>	○			
		<i>Paracardiophorus</i> 属の一種	<i>Paracardiophorus</i> sp.	○	○		
		アカアシハナコムシ	<i>Platynychus adjutor adjutor</i>	○	○		
		ベニボタル	ミスジヒシベニボタル	<i>Benibotarus spinicoxis</i>	○	○	
	メダカヒシベニボタル		<i>Punicealis medvedevi</i>	○			
	ホソベニボタル		<i>Mesolycus atrorufus</i>	○			
	テングベニボタル		<i>Erotides nasutus</i>	○			
	ムネアカテングベニボタル		<i>Konoplatycis otome</i>	○	○		
	カタアカハナボタル		<i>Pseudoaplatopterus nothus</i>		○		
	ヒメベニボタル		<i>Lyponia delicatula</i>	○			
	カクムネベニボタル		<i>Ponyalis quadricollis</i>	○	○		
	クシヒゲベニボタル		<i>Macrolycus flabellatus</i>	○	○		
	マエアカクロベニボタル		<i>Cautires zahradniki zahradniki</i>	○			
	クロハナボタル		<i>Plateros coracinus coracinus</i>	○			
	<i>Plateros</i> 属の一種		<i>Plateros</i> sp.		○		
	ホタル		ムネクリイロボタル	<i>Cyphonocerus ruficollis</i>	○	○	
			オオオハボタル	<i>Lucidina accensa</i>	○	○	
		オハボタル	<i>Lucidina biplagiata</i>	○	○		
		ゲンジボタル	<i>Luciola cruciata cruciata</i>	○	○	○	
		ヘイケボタル	<i>Luciola lateralis</i>	○	○	○	
	ジョウカイボン	クロヒゲナガジョウカイ	<i>Habronychus providus</i>	○	○		
		ウスチャジョウカイ	<i>Lycocerus insulsus lewisi</i>	○	○		
		ヒメジョウカイ	<i>Lycocerus japonicus</i>	○			
		ジョウカイボン	<i>Lycocerus suturellus suturellus</i>	○	○		
		セボシジョウカイ	<i>Lycocerus vitellinus</i>	○	○		
		ヒガシマルムネジョウカイ	<i>Prothemus reinii</i>	○	○		
		カタキンイロジョウカイ	<i>Themus ohkawai</i>	○	○		
		ムネアカジョウカイ	<i>Wittmercantharis curtata</i>	○			
		<i>Hatchiana</i> 属の一種	<i>Hatchiana</i> sp.	○	○		
		<i>Malthodes</i> 属の一種	<i>Malthodes</i> sp.	○	○		
		カタモンミナミボタル	<i>Drilaster axillaris</i>	○	○		
		<i>Athemus</i> 属の一種	<i>Athemus</i> sp.	○	○		
		カツオブシムシ	<i>Anthrenus verbasci</i>		○		
		ナガシクイムシ	<i>Lichenophanes carinipennis</i>	○			
	ヒョウボンムシ	<i>Xyletinus tomentosus</i>	○				
	カッコウムシ	イガラシカッコウムシ	<i>Tillus igarashii</i>		○		
		クロダングラカッコウムシ	<i>Stigmatium nakanei</i>	○			
	ジョウカイモドキ	ケンジョウカイモドキ	<i>Dasytes vulgaris</i>	○	○		
		ヒロオビジョウカイモドキ	<i>Intybia historio</i>	○	○		
		ツマキアオジョウカイモドキ	<i>Malachius prolongatus</i>	○	○		
	ムクゲクスイ	ケマダラムクゲクスイ	<i>Biphyllus flexuosus</i>		○		
		ハスモンムクゲクスイ	<i>Biphyllus rufopictus</i>	○			
	オオクスイムシ	ヨツボシオオクスイ	<i>Helota gemmata</i>	○			
	ヒメキノコムシ	<i>Aspidophorus</i> 属の一種	<i>Aspidophorus</i> sp.		○		

表 3-1(16) 昆虫類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等
				実施区 事業	周辺 地域	
コウチュウ	オオキノコムシ	キムネヒメコムシモドキ	<i>Anadastus atriceps</i>	○		
		ツマグロヒメコムシモドキ	<i>Anadastus praeustus</i>	○		
		ルイスコムシモドキ	<i>Languriomorpha lewisi</i>	○	○	
		ベニモンムネビロオオキノコ	<i>Microsternus perforatus</i>	○		
		カタモンオオキノコ	<i>Aulacochilus japonicus</i>	○		
		ヒメオビオオキノコ	<i>Episcapha fortunei fortunei</i>	○	○	
		ミヤマオビオオキノコ	<i>Episcapha gorhami</i>	○	○	
		タイショウオオキノコ	<i>Episcapha morawitzi</i>	○		
		クロハバビロオオキノコ	<i>Neotriplax atrata</i>	○		
		ムモンシリグロオオキノコ	<i>Pselaphandra inornata</i>		○	
ホソチビオオキノコ	<i>Triplax japonica</i>	○	○			
シベリアチビオオキノコ	<i>Triplax sibirica connectens</i>		○			
クシムシ	クシムシ	Cryptophagus属の一種	<i>Cryptophagus</i> sp.	○	○	
		ケナガセマルクシイ	<i>Atomaria horridula</i>	○		
		ナガマルクシイ	<i>Atomaria punctatissima</i>	○	○	
		Atomaria属の一種	<i>Atomaria</i> sp.	○		
		マルガタクシイ	<i>Curelius japonicus</i>	○	○	
クシムシ科の一種	Cryptophagidae gen. sp.	○				
ホソヒラタムシ	ホソヒラタムシ	クロオビセマルヒラタムシ	<i>Psammoecus fasciatus</i>	○	○	
		Psammoecus属の一種	<i>Psammoecus</i> sp.	○	○	
		マルムネホソヒラタムシ	<i>Silvanolomus inermis</i>	○		
		ブナホソヒラタムシ	<i>Silvanoprus fagi</i>	○	○	
フタゲホソヒラタムシ	<i>Silvanus bidentatus</i>	○	○	○		
ヒラタムシ	クロムネキカワヒラタムシ	<i>Pediacus japonicus</i>	○			
ヒメハナムシ	ヒメハナムシ	ベニモンアシナガヒメハナムシ	<i>Augasmus coronatus</i>		○	
		フタホシヒメハナムシ	<i>Litochrus bimaculatus</i>	○		
		アカボシチビヒメハナムシ	<i>Stilbus bipustulatus</i>	○		
チビヒラタムシ	チビヒラタムシ	オオキバチビヒラタムシ	<i>Nipponophloeus dorcoides</i>	○		
		ヒレルチビヒラタムシ	<i>Placonotus hilleri</i>	○		
		カドムネチビヒラタムシ	<i>Placonotus testaceus</i>	○		
ケンクシイ	ケンクシイ	ムナクボヒラタケンクシイ	<i>Epuraea foveicollis</i>	○		
		ホソキヒラタケンクシイ	<i>Epuraea oblonga</i>	○		
		マメヒラタケンクシイ	<i>Epuraea paulula</i>	○	○	
		モンチビヒラタケンクシイ	<i>Epuraea ocularis</i>	○	○	
		Epuraea属の一種	<i>Epuraea</i> sp.	○	○	
		クロハナケンクシイ	<i>Carpophilus chalybeus</i>		○	
		ハラグロデオクシイ	<i>Carpophilus sibiricus</i>	○		
		Carpophilus属の一種	<i>Carpophilus</i> sp.		○	
		キベリチビケンクシイ	<i>Meligethes violaceus</i>	○		
		ムネアカチビケンクシイ	<i>Meligethes flavicollis</i>	○	○	
		トゲナシチビケンクシイ	<i>Meligethes placidus</i>	○		
		クロマルケンクシイ	<i>Cyllodes ater</i>		○	
		ニセクロマルケンクシイ	<i>Cyllodes dubius</i>		○	
		ネアカマルケンクシイ	<i>Neopallodes inermis</i>	○		
		コクロムクゲケンクシイ	<i>Aethina inconspicua</i>		○	
		キボシヒラタケンクシイ	<i>Omosita colon</i>	○		
		アカマダラケンクシイ	<i>Phenolia picta</i>	○		
		オオキマダラケンクシイ	<i>Soronia fracta</i>	○	○	
		クロキマダラケンクシイ	<i>Soronia lewisi</i>	○	○	
		マルキマダラケンクシイ	<i>Stelidota multiguttata</i>	○		
		ナミモンコケンクシイ	<i>Cryptarcha strigata</i>	○		
		コヨツボシケンクシイ	<i>Glischrochilus ipsoides</i>	○	○	
		ヨツボシケンクシイ	<i>Glischrochilus japonius</i>	○	○	
アカハラケンクシイ	<i>Glischrochilus rufiventris</i>		○			
ミジンムシダマシ	クロミジンムシダマシ	<i>Aphanocephalus hemisphericus</i>	○	○		
テントウムシダマシ	クロモンクバテントウダマシ	<i>Ectomychus musculus</i>	○			

表 3-1 (17) 昆虫類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等	
				実施 対象 区域 事業	周辺 地域		
コウチュウ	テントウムシダマシ	ヨツボシテントウダマシ	<i>Ancylopus pictus asiaticus</i>	○	○		
		イカリモンテントウダマシ	<i>Mycetina ancoriger</i>	○			
	テントウムシ	クロツヤテントウ	<i>Serangium japonicum</i>	○			
		フタモンクロテントウ	<i>Cryptogonus orbiculus</i>	○	○		
		ミスジキイロテントウ	<i>Brumoides ohtai</i>	○		○	
		ヒメアカホシテントウ	<i>Chilocorus kuwanae</i>	○	○		
		シロジュウシホシテントウ	<i>Calvia quatuordecimguttata</i>	○	○		
		ナナホシテントウ	<i>Coccinella septempunctata</i>	○	○		
		ナミテントウ	<i>Harmonia axyridis</i>	○	○		
		クリサキテントウ	<i>Harmonia yedoensis</i>	○	○		
		キイロテントウ	<i>Kiuro koebelei koebelei</i>	○			
		ウスキホシテントウ	<i>Oenopia hiramamai</i>	○	○		
		ヒメカメノコテントウ	<i>Propylea japonica</i>	○	○		
		シロホシテントウ	<i>Vibidia duodecimguttata</i>		○		
		トホシテントウ	<i>Diekeana admirabilis</i>	○			
		オオニジュウヤホシテントウ	<i>Henosepilachna vigintioctomaculata</i>		○		
		フタホシテントウ	<i>Hyperaspis sinensis</i>	○	○		
		ベニヘリテントウ	<i>Rodolia limbata</i>		○		
		モンクチビルテントウ	<i>Phymatosternus maculosus</i>	○	○	○	
		シコクフタホシヒメテントウ	<i>Nephus shikokensis</i>		○		
		ハレヤヒメテントウ	<i>Pseudoscymnus hareja</i>	○			
		クビアカヒメテントウ	<i>Pseudoscymnus sylvaticus</i>	○			
		ババヒメテントウ	<i>Scymnus babai</i>		○		
		クロヘリヒメテントウ	<i>Scymnus hoffmanni</i>	○	○		
		ツマアカヒメテントウ	<i>Scymnus dorcatomoides</i>		○		
		コクロヒメテントウ	<i>Scymnus posticalis</i>	○	○		
		ニセツマアカヒメテントウ	<i>Scymnus rectoides</i>		○		
		オオタツマアカヒメテントウ	<i>Scymnus rectus</i>		○		
		Scymnus 属の一種	<i>Scymnus sp.</i>	○	○		
		Stethorus 属の一種	<i>Stethorus sp.</i>	○	○		
		ヒメマキムシ	ヒメマキムシ	<i>Stephostethus chinensis</i>	○		
			ウスチャケシマキムシ	<i>Corticara gibbosa</i>	○	○	
			ヤマトケシマキムシ	<i>Melanophthalma japonica</i>	○		
		コキノコムシ	キュウシュウヒメコムシ	<i>Litargus kyushuensis</i>		○	
			ヒゲブトコキノコムシ	<i>Mycetophagus antennatus</i>		○	
		ツツキノコムシ	Cis 属の一種	<i>Cis sp.</i>	○		
		キノコムシダマシ	アヤモンヒメナガクチキ	<i>Holostrophus orientalis</i>	○		
		ナガクチキムシ	フタモンヒメナガクチキ	<i>Microtonus dimidiatus</i>	○		
			フタオビホソナガクチキ	<i>Dircaea erotyloides</i>	○	○	
			カバイロニセハナノミ	<i>Orchesia ocularis</i>	○		
			キイロホソナガクチキ	<i>Serropalpus barbatus</i>	○	○	
			ヒメホソナガクチキ	<i>Serropalpus marseuli</i>	○	○	
		ハナノミ	Falsomordellistena 属の一種	<i>Falsomordellistena sp.</i>	○		
		アトコブゴミムシダマシ	マダラホソカタムシ	<i>Trachypholis variegata</i>		○	
			ツヤナガヒラタホソカタムシ	<i>Pycnomerus vilis</i>		○	
		ゴミムシダマシ	オオメキバネハムシダマシ	<i>Lagria rufipennis</i>	○	○	
			アカガネアオハムシダマシ	<i>Arthromacra decora</i>	○	○	
			フジナガハムシダマシ	<i>Macrolagria rufobrunnea</i>	○	○	
			ヒゲブトゴミムシダマシ	<i>Luprops orientalis</i>	○	○	
			コマルキマワリ	<i>Amarygmus curvus</i>	○	○	
			ニホンキマワリ	<i>Plesiophthalmus nigrocyaneus nigrocyaneus</i>	○	○	
			スジコガシラゴミムシダマシ	<i>Heterotarsus carinula</i>		○	
			コスナゴミムシダマシ	<i>Gonocephalum coriaceum</i>		○	
			オオヒメツノゴミムシダマシ	<i>Cryphaeus duellicus</i>	○		
			モトヨツコブエグリゴミムシダマシ	<i>Uloma bonzica</i>	○		
			ヤマトエグリゴミムシダマシ	<i>Uloma lewisi</i>	○	○	

表 3-1(18) 昆虫類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等
				実 施 区 事 業	周 辺 地 域	
コウチュウ	ゴミシダマシ	マルセルエグリゴミシダマシ	<i>Uloma marseuli marseuli</i>	○	○	
		ホソクロクチキムシ	<i>Alleculella noctivaga</i>		○	
		ウスイロクチキムシ	<i>Alleculella simiola</i>	○	○	
		ホドホソアカクチキムシ	<i>Alleculella tenuis</i>	○	○	
		クロツヤバナクチキムシ	<i>Hymenalia unicolor</i>		○	
		ホドクロオオクチキムシ	<i>Upinella fuliginosa</i>	○	○	
		ナミクチキムシ	<i>Upinella melanaria</i>	○	○	
		フナガタクチキムシ	<i>Isomira oculata</i>	○	○	
		ホドカタモンヒメクチキムシ	<i>Mycetochara mimica</i>	○	○	
		フナガニジゴミシダマシ	<i>Ceropria laticollis</i>	○		
		モンキゴミシダマシ	<i>Diaperis lewisi lewisi</i>		○	
		オオモンキゴミシダマシ	<i>Diaperis niponensis</i>	○		
		ヒゴキノゴミシダマシ	<i>Platydema higonium</i>	○		
		マルツヤキノゴミシダマシ	<i>Platydema kurama</i>	○		
		オオメキノゴミシダマシ	<i>Platydema lynceum</i>	○		
		クロツヤキノゴミシダマシ	<i>Platydema nigroaeneum</i>	○	○	
		ツノボソキノゴミシダマシ	<i>Platydema recticornis</i>	○	○	
		ベニモンキノゴミシダマシ	<i>Platydema subfascia subfascia</i>	○		
		タケイキノゴミシダマシ	<i>Platydema takeii</i>		○	
		クロホソゴミシダマシ	<i>Corticeus colydioides</i>		○	
		キイロテントウゴミシダマシ	<i>Ades masidai</i>	○		
		ホソクロホシテントウゴミシダマシ	<i>Derispia maculipennis</i>	○	○	
		ルリゴミシダマシ	<i>Derosphaerus subviolaceus</i>		○	
		コツヤホソゴミシダマシ	<i>Menephilus lucens</i>	○	○	
	ヒラタナガクチキムシ	ヒメコメツキガタナガクチキ	<i>Synchroa melanotoides</i>	○		
	クビナガムシ	クビナガムシ	<i>Cephaloon pallens</i>	○	○	
	カミキリモドキ	キイロカミキリモドキ	<i>Nacerdes hilleri hilleri</i>	○	○	
		カトウカミキリモドキ	<i>Nacerdes katoi</i>	○	○	
		アオカミキリモドキ	<i>Nacerdes waterhousei</i>	○	○	
		モモブトカミキリモドキ	<i>Oedemera lucidicollis lucidicollis</i>	○	○	
	ツチハンミョウ	キイロゲンセイ	<i>Zonitoscema japonica</i>	○		
	アカハネムシ	アオグロアカハネムシ	<i>Tydesa lewisi</i>		○	
		ミゾアカハネムシ	<i>Pseudopyrochroa brevitarsis</i>		○	
		オニアカハネムシ	<i>Pseudopyrochroa japonica</i>		○	
		ムナビロアカハネムシ	<i>Pseudopyrochroa laticollis</i>	○		
		アカハネムシ	<i>Pseudopyrochroa vestiflua</i>	○	○	
	アリモドキ	コクビボソムシ	<i>Macratrìa fluvialtilis</i>	○	○	
		ホソクビアリモドキ	<i>Anthelephila bramina coiffaiti</i>		○	
		クロチビアリモドキ	<i>Anthicomorphus niponicus niponicus</i>	○	○	
		アカホソアリモドキ	<i>Clavicollis fugiens</i>	○	○	
	ニセクビボソムシ	セグロニセクビボソムシ	<i>Syzeton brunnidorsis</i>	○		
		クシヒゲニセクビボソムシ	<i>Picemelinus flabellicornis</i>	○		
		マダラニセクビボソムシ	<i>Phytobaenus amabilis scapularis</i>	○	○	
	ハナノミダマシ	キイロハナノミダマシ	<i>Scraptià livens</i>		○	
		コフナガタハナノミ	<i>Anaspis funagata</i>		○	
		クロフナガタハナノミ	<i>Anaspis marseuli</i>	○	○	
		Anaspis 属の一種	<i>Anaspis sp.</i>	○		
	ホソカミキリムシ	ホソカミキリ	<i>Distenia gracilis gracilis</i>	○	○	
	カミキリムシ	ノギリカミキリ	<i>Prionus insularis insularis</i>	○	○	
		ニセノギリカミキリ	<i>Prionus sejunctus</i>	○	○	
ミヤマルリハナカミキリ		<i>Kanekoia azumensis</i>	○	○		
ツマグロハナカミキリ		<i>Leptura modicenotata</i>	○			
オオヨツスジハナカミキリ		<i>Macroleptura regalis</i>	○	○		
ニンフハナカミキリ		<i>Parastrangalis nymphula</i>	○			
アカハナカミキリ		<i>Stictoleptura succedanea</i>		○		
コウヤホソハナカミキリ		<i>Strangalia koyaensis</i>	○	○		

表 3-1 (19) 昆虫類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等	
				実施 対象 区域 事業	周辺 地域		
コウチュウ	カミキリムシ	ヒナハリハナカミキリ	<i>Dinoptera minuta</i>	○			
		モモグロハナカミキリ	<i>Toxotinus reinii</i>	○			
		ツシマムナクボカミキリ	<i>Cephalallus unicolor</i>	○		○	
		クロカミキリ	<i>Spondylis buprestooides</i>	○	○		
		ヒメスギカミキリ	<i>Callidiellum rufipenne</i>	○			
		キマダラカミキリ	<i>Aeolesthes chrysothrix chrysothrix</i>		○		
		ミヤマカミキリ	<i>Neocerambyx raddei</i>		○		
		ホタルカミキリ	<i>Dere thoracica</i>	○			
		エグリトラカミキリ	<i>Chlorophorus japonicus</i>		○		
		トゲヒゲトラカミキリ	<i>Demonax transilis</i>	○	○		
		ヒメクロトラカミキリ	<i>Rhaphuma diminuta</i>	○	○		
		ウスイロトラカミキリ	<i>Xylotrechus cuneipennis</i>	○			
		アオスジカミキリ	<i>Xystrocera globosa</i>		○		
		セミスジロブヒゲカミキリ	<i>Rhodopina lewisii lewisii</i>		○		
		シロスジカミキリ	<i>Batocera lineolata</i>	○			
		カタシロゴマフカミキリ	<i>Mesosa hirsuta hirsuta</i>	○	○		
		センノカミキリ	<i>Acalolepta luxuriosa luxuriosa</i>	○			
		ニセピロウドカミキリ	<i>Acalolepta sejuncta sejuncta</i>		○		
		ゴマダラカミキリ	<i>Anoplophora malasiaca</i>	○			
		ヒメヒゲナガカミキリ	<i>Monochamus subfasciatus subfasciatus</i>		○		
		ヨツキボシカミキリ	<i>Epiglenea comes comes</i>	○	○		
		ヘリグロリンゴカミキリ	<i>Nupserha marginella marginella</i>	○			
		キクスイカミキリ	<i>Phytoecia rufiventris</i>		○		
		クモガタケンカミキリ	<i>Exocentrus fasciolatus</i>	○			
		ハイイロヤハズカミキリ	<i>Niphona furcata</i>		○		
		ワモンサビカミキリ	<i>Pterolophia annulata</i>	○			
		トガリシロオビサビカミキリ	<i>Pterolophia caudata caudata</i>	○	○		
		アトモンサビカミキリ	<i>Pterolophia granulata</i>	○	○		
		ニセシラホシカミキリ	<i>Pareutetrappa simulans</i>		○		
		ハムシ	チャバラマメゾウムシ	<i>Borowiecius ademptus</i>	○	○	
			サムライマメゾウムシ	<i>Bruchidius japonicus</i>		○	
			ネムノキマメゾウムシ	<i>Bruchidius terreus</i>		○	
			ホソクビナガハムシ	<i>Lilioceris parvicollis</i>	○	○	
	ルリクビボソハムシ		<i>Lema cirsicola</i>		○		
	トゲアシクビボソハムシ		<i>Lema coronata</i>	○	○		
	スゲクビボソハムシ		<i>Lema dilecta</i>	○	○		
	アカクビボソハムシ		<i>Lema diversa</i>	○	○		
	キベリクビボソハムシ		<i>Lema adamsii</i>	○	○		
	ヤマイモハムシ		<i>Lema honorata</i>	○	○		
	イネクビボソハムシ		<i>Oulema oryzae</i>	○	○		
	ヨツモンカメノコハムシ		<i>Lacoptera nepalensis</i>	○		○	
	イノコズチカメノコハムシ		<i>Cassida japana</i>		○		
	セモンジンガサハムシ		<i>Cassida versicolor</i>		○		
	イチモンジカメノコハムシ		<i>Thlaspida cribrata</i>	○			
	ヨモギハムシ		<i>Chrysolina aurichalcea</i>	○	○		
	ヤナギハムシ		<i>Chrysolina vigintipunctata vigintipunctata</i>	○	○		
	コガタリハムシ		<i>Gastrophysa atrocyanea</i>		○		
	フジハムシ		<i>Gonioctena rubripennis</i>	○	○		
	ヤナギルリハムシ		<i>Plagioderia versicolora</i>	○			
	ズグロキハムシ		<i>Plagiosterna japonica</i>	○			
	カミナリハムシ		<i>Altica cyanea</i>	○			
	キタカミナリハムシ		<i>Altica japonica</i>	○			
	アカバナトビハムシ		<i>Altica oleracea</i>	○	○		
	Altica 属の一種		<i>Altica sp.</i>	○	○		
	ツブノミハムシ		<i>Aphthona perminuta</i>	○	○		
	サメハダツブノミハムシ		<i>Aphthona strigosa</i>	○	○		

表 3-1(20) 昆虫類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等	
				実施区事業	周辺地域		
コウチュウ	ハムシ	ホソリトビハムシ	<i>Aphthonaltica angustata</i>	○	○		
		オオアカマルノミハムシ	<i>Argopus clypeatus</i>		○		
		アカイロマルノミハムシ	<i>Argopus punctipennis punctipennis</i>			○	
		Asiorestia 属の一種	<i>Asiorestia</i> sp.	○			
		ヒメドウガネトビハムシ	<i>Chaetocnema concinnicollis</i>	○	○		
		ムギヒサゴトビハムシ	<i>Chaetocnema cylindrica</i>	○			
		Chaetocnema 属の一種	<i>Chaetocnema</i> sp.	○	○		
		ヒゲナガリマルノミハムシ	<i>Hemipyxis plagioderoides</i>	○	○		
		ホオノキセダカトビハムシ	<i>Lanka magnoliae</i>	○			
		サシゲトビハムシ	<i>Lipromima minuta</i>	○	○		
		クロボシトビハムシ	<i>Longitarsus bimaculatus</i>	○			
		イヌノフグリトビハムシ	<i>Longitarsus holsaticus</i>			○	
		オオバコトビハムシ	<i>Longitarsus scutellaris</i>				○
		Longitarsus 属の一種	<i>Longitarsus</i> sp.	○			
		キアシノミハムシ	<i>Luperomorpha tenebrosa</i>	○	○		
		ルリマルノミハムシ	<i>Nonarthra cyanea</i>	○	○		
		コマルノミハムシ	<i>Nonarthra tibialis</i>	○	○		
		チュウジョウキスジノミハムシ	<i>Phyllotreta chujoe</i>			○	
		キスジノミハムシ	<i>Phyllotreta striolata</i>	○	○		
		ダイコンナガスネトビハムシ	<i>Psylliodes subrugosa</i>	○	○		
		アケビタマノミハムシ	<i>Sphaeroderma akebia</i>	○	○		
		ツマキタマノミハムシ	<i>Sphaeroderma apicale</i>	○	○		
		キイロタマノミハムシ	<i>Sphaeroderma unicolor</i>	○	○		
		ルリウスバハムシ	<i>Stenoluperus cyaneus</i>	○	○		
		ヒゲナガウスバハムシ	<i>Stenoluperus nipponensis</i>	○	○		
		ガマズミトビハムシ	<i>Trachytetra obscura</i>	○			
		ヒゲナガアラハダトビハムシ	<i>Trachytetra sordida</i>	○			
		イチゴハムシ	<i>Galerucella grisescens</i>	○	○		
		ジュンサイハムシ	<i>Galerucella nipponensis</i>			○	
		サンゴジュハムシ	<i>Pyrrhalta humeralis</i>	○	○		
		アカタデハムシ	<i>Tricholochmaea semifulva</i>	○	○		
		ハンノキハムシ	<i>Agelastica coerulea</i>	○			
		ムナグロツヤハムシ	<i>Arthrotus niger</i>	○	○		
		イタドリハムシ	<i>Gallerucida bifasciata</i>			○	
		ウリハムシモドキ	<i>Atrachya menetriesi</i>	○	○		
		ウリハムシ	<i>Aulacophora indica</i>	○	○		
		クロウリハムシ	<i>Aulacophora nigripennis nigripennis</i>	○	○		
		クワハムシ	<i>Fleutiauxia armata</i>	○	○		
		ケバククロナガハムシ	<i>Hesperomorpha hirsuta</i>			○	
		フタスジヒメハムシ	<i>Medythia nigrobilineata</i>	○			
		ホタルハムシ	<i>Monolepta dichroa</i>	○	○		
		キイロクワハムシ	<i>Monolepta pallidula</i>	○	○		
		アトボシハムシ	<i>Paridea angulicollis</i>			○	
		ヨツボシハムシ	<i>Paridea oculata</i>	○	○		
		ハラグロヒメハムシ	<i>Taphinellina cyanea</i>			○	
		キバラヒメハムシ	<i>Taphinellina flaviventris</i>			○	
		ドウガネツヤハムシ	<i>Oomorphoides cupreatus</i>	○	○		
		アオグロツヤハムシ	<i>Oomorphoides nigrocaeruleus</i>	○	○		
		キボシルリハムシ	<i>Smaragdina aurita nigrocyanea</i>			○	
		キイロナガツツハムシ	<i>Smaragdina nipponensis</i>	○	○		
		ムナキルリハムシ	<i>Smaragdina semiaurantiaca</i>	○	○		
		キアシルリツツハムシ	<i>Cryptocephalus hyacinthinus</i>	○	○		
		キスジツツハムシ	<i>Cryptocephalus limbipennis</i>	○			
クロボシツツハムシ	<i>Cryptocephalus luridipennis pallescens</i>	○	○				
タマツツハムシ	<i>Adiscus lewisii</i>	○					
ムネミノヒメツツハムシ	<i>Coenobius sulcicollis</i>	○					

表 3-1(21) 昆虫類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等
				実施 対象 区域 事業	周辺 地域	
コウチュウ	ハムシ	ツツジコブハムシ	<i>Chlamisus laticollis</i>	○	○	
		ムシクソハムシ	<i>Chlamisus spilotus</i>	○	○	
		チビカサハラハムシ	<i>Demotina decorata</i>	○	○	
		クロオビカサハラハムシ	<i>Demotina fasciata</i>	○	○	
		マダラアラゲサルハムシ	<i>Demotina fasciculata</i>	○	○	
		カサハラハムシ	<i>Demotina modesta</i>	○	○	
		ドウガネサルハムシ	<i>Heteraspis lewisii</i>	○	○	
		ムナゲクロサルハムシ	<i>Basilepta hirticollis</i>	○	○	
		アオガネヒメサルハムシ	<i>Nodina chalcosoma</i>		○	
		ムネアカキバネサルハムシ	<i>Pagria consimilis</i>		○	
	マルキバネサルハムシ	<i>Pagria ussuriensis</i>		○		
	ヒゲナガゾウムシ	キノコヒゲナガゾウムシ	<i>Euparius oculatus oculatus</i>	○		
		スネアカヒゲナガゾウムシ	<i>Autotropis distinguenda</i>		○	
		ウスモンツツヒゲナガゾウムシ	<i>Ozotomerus japonicus japonicus</i>	○	○	
		セマルヒゲナガゾウムシ	<i>Phloeobius gibbosus</i>	○		
		シロヒゲナガゾウムシ	<i>Platystomos sellatus sellatus</i>	○	○	
		キアシチビヒゲナガゾウムシ	<i>Uncifer pectoralis</i>		○	
	オトシブミ	ハギルリオトシブミ	<i>Euops lespedezae lespedezae</i>		○	
		カシルリオトシブミ	<i>Euops splendidus</i>	○	○	
		ルリオトシブミ	<i>Euops punctatostriatus</i>	○	○	
		オトシブミ	<i>Apoderus jekelii</i>		○	
		ヒメクロオトシブミ	<i>Compsapoderus erythrogaster</i>	○	○	
		エゴツルクビオトシブミ	<i>Cycnotrachelodus roelofsi</i>	○	○	
		ヒゲナガオトシブミ	<i>Paratrachelophorus longicornis</i>		○	
		ブドウハマキチョッキリ	<i>Aspidobyctiscus lacunipennis</i>	○	○	
		イタヤハマキチョッキリ	<i>Byctiscus venustus</i>		○	
		マルムネチョッキリ	<i>Chonostropheus chujoi</i>		○	
		シリプトチョッキリ	<i>Chokkirius truncatus</i>		○	
		コナライクビチョッキリ	<i>Deporaus unicolor</i>	○	○	
		チャイロチョッキリ	<i>Aderorrhinus crioceroides</i>		○	
		ヒメケブカチョッキリ	<i>Involvulus pilosus</i>	○	○	
	カシルリチョッキリ	<i>Neocoenorrhinus assimilis</i>	○			
	ミツギリゾウムシ	ヒメケブカホソクチゾウムシ	<i>Sergiola praecaria</i>	○	○	
		コゲチャホソクチゾウムシ	<i>Holotrichapion semisericeum</i>	○	○	
		アカクチホソクチゾウムシ	<i>Microconapion pallidirostre</i>	○		
		ヒゲナガホソクチゾウムシ	<i>Pseudopiezotrachelus placidus</i>	○	○	
		モンチピンゾウムシ	<i>Nanophyes pallipes</i>	○		
	オサゾウムシ	スギキクイサビゾウムシ	<i>Dryophthorus japonicus</i>	○		
		アトボソクイサビゾウムシ	<i>Dryophthorus konishii</i>		○	
		オオゾウムシ	<i>Sipalinus gigas gigas</i>	○	○	
		ササコクゾウムシ	<i>Diocalandra sasa</i>		○	
	イボゾウムシ	イネミズゾウムシ	<i>Lissorhoptrus oryzophilus</i>	○	○	○
		オオミズゾウムシ	<i>Tanysphyrus major</i>	○	○	
	ゾウムシ	イチゴハナゾウムシ	<i>Anthonomus bisignifer</i>	○	○	
		アカタマゾウムシ	<i>Stereonychus thoracicus</i>		○	
		ツバキシギゾウムシ	<i>Curculio camelliae</i>		○	
		セダカシギゾウムシ	<i>Curculio convexus</i>		○	
		クロシギゾウムシ	<i>Curculio distinguendus</i>		○	
		シイシギゾウムシ	<i>Curculio hilgendorff</i>	○		
		クリシギゾウムシ	<i>Curculio sikkimensis</i>	○	○	
		エゴシギゾウムシ	<i>Curculio styracis</i>	○		
		アカイネゾウモドキ	<i>Dorytomus roelofsi</i>		○	
		ガロア/ミゾウムシ	<i>Orchestes galloisi</i>	○	○	
		キンケ/ミゾウムシ	<i>Orchestes jozanus</i>	○		
		カシワ/ミゾウムシ	<i>Orchestes koltzei</i>	○	○	
		ムネスジ/ミゾウムシ	<i>Orchestes amurensis</i>	○	○	

表 3-1(22) 昆虫類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等		
				実 対 象 区 事 業	周 辺 地 域			
コウチュウ	ゾウムシ	ウスモンノミゾウムシ	<i>Orchestes variegatus</i>		○			
		リンゴノミゾウムシ	<i>Rhamphus pulicarius</i>		○			
		Wagnerinus 属の一種	<i>Wagnerinus</i> sp.	○				
		エンヒメゾウムシ	<i>Baris ezoana</i>		○			
		カナムグラサルゾウムシ	<i>Cardipennis shaowuensis</i>		○			
		ダイコンサルゾウムシ	<i>Ceutorhynchus albosuturalis</i>		○			
		アオバナサルゾウムシ	<i>Ceutorhynchus ibukianus</i>	○	○			
		Coeliodes 属の一種	<i>Coeliodes</i> sp.	○				
		ツツジトゲムネサルゾウムシ	<i>Coelioderes fulvus</i>	○	○			
		ヨブナシクチプトサルゾウムシ	<i>Rhinoncus nigrotibialis</i>	○	○			
		Rhinoncus 属の一種	<i>Rhinoncus</i> sp.	○				
		タデトゲサルゾウムシ	<i>Homorosoma asperum</i>		○			
		キイチゴトゲサルゾウムシ	<i>Scleropteroides hypocrita</i>	○	○			
		Cossonus 属の一種	<i>Cossonus</i> sp.		○			
		チャバネクイゾウムシ	<i>Kojimazo lewisii</i>	○				
		アカナガクチカクシゾウムシ	<i>Rhadinomerus annulipes</i>	○	○			
		ニセマツノシラホシゾウムシ	<i>Shirahoshizo rufescens</i>	○	○			
		Shirahoshizo 属の一種	<i>Shirahoshizo</i> sp.	○				
		ヤサイゾウムシ	<i>Listroderes costirostris</i>		○	○		
		トゲアシクチプトゾウムシ	<i>Anosimus decoratus</i>	○	○			
		チビヒョウタンゾウムシ	<i>Myosides seriehispidus</i>	○				
		ケブカクチプトゾウムシ	<i>Lepidepistomodes fumosus</i>	○	○			
		ヨカシワクチプトゾウムシ	<i>Lepidepistomodes griseoides</i>		○			
		カシワクチプトゾウムシ	<i>Nothomylocerus griseus</i>	○	○			
		Asphalmus 属の一種	<i>Asphalmus</i> sp.	○				
		リンゴヒゲボソゾウムシ	<i>Phyllobius prolongatus</i>	○	○			
		ヒラズネヒゲボソゾウムシ	<i>Phyllobius intrusus</i>	○	○			
		Phyllobius 属の一種	<i>Phyllobius</i> sp.	○	○			
		マツトビゾウムシ	<i>Pachyrhinus scutellaris</i>		○			
		コフキノゾウムシ	<i>Eugnathus distinctus</i>	○	○			
		サビヒョウタンゾウムシ	<i>Scepticus insularis</i>	○				
		ホソゲチビツチゾウムシ	<i>Trachyphloeosoma advena</i>	○				
		Trachyrhinus 属の一種	<i>Trachyrhinus</i> sp.	○				
		ハコベタコゾウムシ	<i>Hypera basalis</i>	○	○			
		シラクモゴボウゾウムシ	<i>Larinus griseopilosus</i>		○			
		ハスジカツオゾウムシ	<i>Lixus acutipennis</i>	○	○			
		コゲチャツツゾウムシ	<i>Carcilia tenuistriata</i>	○	○			
		クロクチカクシゾウムシ	<i>Catagnatus japonicus</i>	○				
		ホソアナアキノゾウムシ	<i>Pimelocerus elongatus</i>	○	○			
		カシアシナガゾウムシ	<i>Merus piceus</i>		○			
		オジロアシナガゾウムシ	<i>Sternuchopsis trifidus</i>		○			
		ウスモンカレキノゾウムシ	<i>Acicnemis palliata</i>	○	○			
		ナカスジカレキノゾウムシ	<i>Acicnemis suturalis</i>		○			
		ワモンヒョウタンゾウムシ	<i>Sympiezomias lewisii</i>	○				
		ミカドクイムシ	<i>Scolytoplatypus mikado</i>	○	○			
		ルイスザイノクイムシ	<i>Ambrosiodmus lewisi</i>	○	○			
		Xyleborus 属の一種	<i>Xyleborus</i> sp.	○	○			
		ツツミクイムシ	<i>Xylosandrus amputatus</i>	○				
		サククイムシ	<i>Xylosandrus crassiusculus</i>	○	○			
		ハンノクイムシ	<i>Xylosandrus germanus</i>	○				
		Indocryphalus 属の一種	<i>Indocryphalus</i> sp.	○				
		シリアゲムシ	シリアゲムシ	キシタトゲシリアゲ	<i>Panorpa fulvicaudaria</i>		○	
				ヤマトシリアゲ	<i>Panorpa japonica</i>	○	○	
ブライヤシリアゲ	<i>Panorpa pryeri</i>				○			
	ガガンボモドキ	Bittacus 属の一種	<i>Bittacus</i> sp.	○				
ハエ	オビヒメガガンボ	Dicranota 属の一種	<i>Dicranota</i> sp.	○				

表 3-1 (23) 昆虫類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等	
				実施区 事業	周辺 地域		
ハエ	ヒメガガンボ	セダカガガンボ	<i>Conosia irrorata irrorata</i>	○	○		
		Epiphragma属の一種	<i>Epiphragma</i> sp.	○	○		
		Heliuss属の一種	<i>Heliuss</i> sp.	○			
		Hexatoma属の一種	<i>Hexatoma</i> sp.	○			
		キバラガガンボ	<i>Limnophila satsuma</i>	○	○		
		カスリヒメガガンボ	<i>Limnophila japonica</i>		○		
		Limnophila属の一種	<i>Limnophila</i> sp.	○	○		
		ウスバガガンボ	<i>Antocha spinifera</i>		○		
		Antocha属の一種	<i>Antocha</i> sp.	○	○		
		Elephantomyia属の一種	<i>Elephantomyia</i> sp.	○			
		ウスナミガタガガンボ	<i>Libnotes (Libnotes) nohirai</i>		○		
		Limonia属の一種	<i>Limonia</i> sp.		○		
		Styringomyia属の一種	<i>Styringomyia</i> sp.	○	○		
		ヒメガガンボ亜科の一種	Limoniinae gen. sp.	○	○		
	ガガンボ	ベッコウガガンボ	<i>Dictenidia pictipennis</i>	○	○		
		ユウレイガガンボ	<i>Dolichocheza albitibia</i>	○			
		オオユウレイガガンボ	<i>Dolichocheza candidipes</i>		○		
		ミカドガガンボ	<i>Ctenacroscelis mikado</i>		○		
		マエキガガンボ	<i>Indotipula yamata</i>	○	○		
		キゴシガガンボ	<i>Leptotarsus pulverosus</i>		○		
		キイロホソガガンボ	<i>Nephrotoma virgata</i>	○			
		Nephrotoma属の一種	<i>Nephrotoma</i> sp.	○	○		
		カスリガガンボ	<i>Tipula bubo</i>	○	○		
		マダラガガンボ	<i>Tipula coquilleti</i>	○			
		キリウジガガンボ	<i>Tipula aino</i>	○	○		
		ニッポンガガンボ	<i>Tipula nipponensis</i>	○	○		
		マドガガンボ	<i>Tipula nova</i>	○	○		
		クロキリウジガガンボ	<i>Tipula patagiata</i>	○	○		
		Tipula属の一種	<i>Tipula</i> sp.	○	○		
		ガガンボ科の一種	Tipulidae gen. sp.	○	○		
		ケバエ	ハグロケバエ	<i>Bibio tenebrosus</i>	○	○	
			Bibio属の一種	<i>Bibio</i> sp.	○	○	
			ケバエ科の一種	Bibionidae gen. sp.	○	○	
		トゲナシケバエ	ヒメセアカケバエ	<i>Penthetria japonica</i>		○	
	Plecia属の一種		<i>Plecia</i> sp.	○			
	ツノキノコバエ	ツノキノコバエ科の一種	Keroplastidae gen. sp.	○			
	ナミキノコバエ	Epicypta属の一種	<i>Epicypta</i> sp.		○		
		ナミキノコバエ科の一種	Mycetophilidae gen. sp.	○	○		
	クロバネキノコバエ	クロバネキノコバエ科の一種	Sciaridae gen. sp.	○	○		
	タマバエ	タマバエ科の一種	Cecidomyiidae gen. sp.	○	○		
	チョウバエ	チョウバエ科の一種	Psychodidae gen. sp.	○	○		
	ガガンボダマシ	ガガンボダマシ科の一種	Trichoceridae gen. sp.	○	○		
	コシボソガガンボ	オビコシボソガガンボ	<i>Ptychoptera japonica</i>		○		
	ホソカ	コガタホソカ	<i>Dixina subobscura</i>	○			
	ケヨソイカ	チスイケヨソイカ属の一種	<i>Corethella</i> sp.	○			
	カ	トウゴウヤブカ	<i>Tanakaius togoi</i>	○			
		カ科の一種	Culicidae gen. sp.	○	○		
	ブユ	Prosimulium属の一種	<i>Prosimulium</i> sp.	○			
		Simulium属の一種	<i>Simulium</i> sp.	○	○		
		Eusimulium属の一種	<i>Eusimulium</i> sp.	○			
		ブユ科の一種	Simuliidae gen. sp.	○	○		
	ヌカカ	ヌカカ科の一種	Ceratopogonidae gen. sp.	○	○		
	ユスリカ	Macropelopia属の一種	<i>Macropelopia</i> sp.	○			
		Psectrotanypus属の一種	<i>Psectrotanypus</i> sp.	○			
		Natarsia属の一種	<i>Natarsia</i> sp.	○			
		ヤマトヒメユスリカ族の一種	Pentaneurini gen. sp.	○			

表 3-1(24) 昆虫類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等	
				実施 対象 区事 域業	周辺 地域		
ハエ	ユスリカ	Brillia属の一種	<i>Brillia</i> sp.	○			
		<i>Corynoneura</i> 属の一種	<i>Corynoneura</i> sp.	○			
		<i>Diplocladius</i> 属の一種	<i>Diplocladius</i> sp.	○			
		<i>Epoicocladus</i> 属の一種	<i>Epoicocladus</i> sp.	○			
		<i>Eukiefferiella</i> 属の一種	<i>Eukiefferiella</i> sp.	○			
		<i>Heterotrissocladius</i> 属の一種	<i>Heterotrissocladius</i> sp.	○			
		<i>Krenosmittia</i> 属の一種	<i>Krenosmittia</i> sp.	○			
		キイロケバネエリユスリカ	<i>Parametrioctenus stylatus</i>	○			
		<i>Parametrioctenus</i> 属の一種	<i>Parametrioctenus</i> sp.	○			
		<i>Rheocricotopus</i> 属の一種	<i>Rheocricotopus</i> sp.	○			
		<i>Thienemanniella</i> 属の一種	<i>Thienemanniella</i> sp.	○			
		<i>Tvetenia</i> 属の一種	<i>Tvetenia</i> sp.	○			
		エリユスリカ亜科の一種	Orthoclaadiinae gen. sp.	○			
		<i>Demicroptochironomus</i> 属の一種	<i>Demicroptochironomus</i> sp.	○			
		<i>Microtendipes</i> 属の一種	<i>Microtendipes</i> sp.	○			
		<i>Polypedilum</i> 属の一種	<i>Polypedilum</i> sp.	○			
		<i>Saetheria</i> 属の一種	<i>Saetheria</i> sp.	○			
		<i>Stenochironomus</i> 属の一種	<i>Stenochironomus</i> sp.	○			
		<i>Cladotanytarsus</i> 属の一種	<i>Cladotanytarsus</i> sp.	○			
		<i>Micropsectra</i> 属の一種	<i>Micropsectra</i> sp.	○			
		<i>Rheotanytarsus</i> 属の一種	<i>Rheotanytarsus</i> sp.	○			
		ユスリカ亜科の一種	Chironominae gen. sp.	○			
		<i>Compteromesa</i> 属の一種	<i>Compteromesa</i> sp.	○			
		ユスリカ科の一種	Chironomidae gen. sp.	○	○		
		クサアブ	ネグロクサアブ	<i>Coenomyia basalis</i>		○	
		ミズアブ	エゾホソリミズアブ	<i>Actina jezoensis</i>			○
			<i>Actina</i> 属の一種	<i>Actina</i> sp.	○		
キバトゲナシミズアブ	<i>Allognosta japonica</i>				○		
<i>Allognosta</i> 属の一種	<i>Allognosta</i> sp.		○	○			
<i>Beris</i> 属の一種	<i>Beris</i> sp.		○	○			
ネグロミズアブ	<i>Craspedometopon frontale</i>		○	○			
<i>Microchrysa</i> 属の一種	<i>Microchrysa</i> sp.				○		
<i>Wallacea</i> 属の一種	<i>Wallacea</i> sp.		○	○			
コガタミズアブ	<i>Odontomyia garatas</i>		○	○			
ヒラヤマミズアブ	<i>Odontomyia hirayamae</i>				○		
ミズアブ	<i>Stratiomys japonica</i>				○		
ミズアブ科の一種	Stratiomyidae gen. sp.				○		
シギアブ	キアシキンシギアブ		<i>Chrysopilus ditissimis</i>	○			
	<i>Chrysopilus</i> 属の一種	<i>Chrysopilus</i> sp.			○		
	シギアブ科の一種	Rhagionidae gen. sp.			○		
ナガレアブ	コモンナガレアブ	<i>Atrichops morimotoi</i>	○				
アブ	<i>Chrysops</i> 属の一種	<i>Chrysops</i> sp.			○		
	ホルバートアブ	<i>Atylotus horvathi</i>			○		
	アカウシアブ	<i>Tabanus chrysurus</i>	○				
	シロフアブ	<i>Tabanus mandarinus</i>			○		
	ヤマトアブ	<i>Tabanus rufidens</i>	○	○			
	ウシアブ	<i>Tabanus trigonus</i>	○	○			
	<i>Tabanus</i> 属の一種	<i>Tabanus</i> sp.	○	○			
	コガシラアブ	コガシラアブ科の一種	Acroceridae gen. sp.	○	○		
ツリアブ	ビロウドツリアブ	<i>Bombylius major</i>	○	○			
	スキバツリアブ	<i>Villa limbata</i>	○	○			
ムシヒキアブ	イッシキイシアブ	<i>Choerades isshikii</i>	○	○			
	ヒメキンイシアブ	<i>Choerades japonicus</i>	○	○			
	クロスジイシアブ	<i>Choerades nigrovittata</i>	○				
	オオイシアブ	<i>Laphria mitsukurii</i>	○	○			
	ハラボソムシヒキ	<i>Dioctria nakanensis</i>	○	○			

表 3-1 (25) 昆虫類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等		
				実 施 区 事 業	周 辺 地 域			
ハエ	ムシヒキアブ	Leptogaster属の一種	<i>Leptogaster</i> sp.	○	○			
		アオメアブ	<i>Cophinopoda chinensis</i>		○			
		シオヤアブ	<i>Promachus yesonicus</i>	○	○			
		<i>Eutolmus rufibarbis</i> (ウスグロムシヒキ)	<i>Eutolmus rufibarbis</i>	○	○			
		<i>Eutolmus</i> 属の一種	<i>Eutolmus</i> sp.	○				
		サキグロムシヒキ	<i>Machimus scutellaris</i>		○			
		ナミマガリケムシヒキ	<i>Neoitamus angusticornis</i>	○	○			
		<i>Neoitamus</i> 属の一種	<i>Neoitamus</i> sp.	○	○			
		ヒサマツムシヒキ	<i>Tolmerus hisamatsui</i>	○	○			
		オドリバエ		<i>Hilara</i> 属の一種	<i>Hilara</i> sp.		○	
<i>Empis</i> 属の一種	<i>Empis</i> sp.			○	○			
<i>Rhamphomyia</i> 属の一種	<i>Rhamphomyia</i> sp.			○	○			
<i>Platypalpus</i> 属の一種	<i>Platypalpus</i> sp.			○				
オドリバエ科の一種	Empididae gen. sp.			○	○			
セダカバエ		<i>Syneches</i> 属の一種	<i>Syneches</i> sp.	○				
		<i>Hybos</i> 属の一種	<i>Hybos</i> sp.	○	○			
アシナガバエ		<i>Dolichopus</i> 属の一種	<i>Dolichopus</i> sp.	○	○			
		マダラアシナガバエ	<i>Mesorhaga nebulosus</i>	○	○			
		アシナガバエ科の一種	Dolichopodidae gen. sp.	○	○			
ヤリバエ		ヤリバエ科の一種	Lonchopteridae gen. sp.	○				
ノミバエ		ノミバエ科の一種	Phoridae gen. sp.	○	○			
ハナアブ		オオヒメヒラタアブ	<i>Allograpta iavana</i>	○				
		クロヒラタアブ	<i>Betasyrphus serarius</i>	○	○			
		ヨコジマオオヒラタアブ	<i>Dideoides latus</i>		○			
		<i>Epistrophe</i> 属の一種	<i>Epistrophe</i> sp.	○				
		ホソヒラタアブ	<i>Episyrphus balteatus</i>	○	○			
		ナミホソヒラタアブ	<i>Eupeodes bucculatus</i>	○				
		ホソヒメヒラタアブ	<i>Sphaerophoria macrogaster</i>	○	○			
		<i>Sphaerophoria</i> 属の一種	<i>Sphaerophoria</i> sp.	○	○			
		オオフタホソヒラタアブ	<i>Syrphus ribesii</i>		○			
		<i>Syrphus</i> 属の一種	<i>Syrphus</i> sp.		○			
		マダラコシボソハナアブ	<i>Baccha maculata</i>	○				
		ツヤヒラタアブ	<i>Melanostoma orientale</i>	○	○			
		ホシツヤヒラタアブ	<i>Melanostoma scalare</i>	○	○			
		<i>Melanostoma</i> 属の一種	<i>Melanostoma</i> sp.	○	○			
		ヨツボシヒラタアブ	<i>Xanthandrus comtus</i>		○			
		キアシマヒラタアブ	<i>Paragus haemorrhous</i>	○	○			
		<i>Cheilosia</i> 属の一種	<i>Cheilosia</i> sp.		○			
		スズキフタモンハナアブ	<i>Ferdinandea cuprea</i>		○			
		キゴシハナアブ	<i>Eristalinus quinquestriatus</i>	○	○			
		シマハナアブ	<i>Eristalis cerealis</i>	○	○			
		ナミハナアブ	<i>Eristalis tenax</i>		○			
		<i>Eristalis</i> 属の一種	<i>Eristalis</i> sp.	○				
		オオハナアブ	<i>Phytomia zonata</i>	○	○			
		アシトハナアブ	<i>Helophilus eristaloideus</i>		○			
		ジョウザンナガハナアブ	<i>Temnostoma jozankeanum</i>	○				
		<i>Chalcosyrphus</i> 属の一種	<i>Chalcosyrphus</i> sp.	○				
		ナミルイロハラナガハナアブ	<i>Xylota danieli</i>	○	○			
		ミヤマルイロハラナガハナアブ	<i>Xylota coquilletti</i>	○				
		キンアリスアブ	<i>Microdon auricomus</i>	○	○			
		アリスアブ	<i>Microdon japonicus</i>	○				
		ハナアブ科の一種	Syrphidae gen. sp.		○			
		アタマアブ	アタマアブ科の一種	Pipunculidae gen. sp.	○	○		
		ハネオレバエ	ハネオレバエ科の一種	Psilidae gen. sp.	○			
		メバエ		マダラメバエ	<i>Myopa buccata</i>		○	
				メバエ科の一種	Conopidae gen. sp.		○	

表 3-1(26) 昆虫類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等	
				実施 地区 事業	周辺 地域		
ハエ	クロツヤバエ	クロツヤバエ科の一種	Lonchaeidae gen. sp.	○			
	ハネフリバエ	ハネフリバエ科の一種	Otitidae gen. sp.		○		
	ヒロクチバエ	オオマダラヒロクチバエ		<i>Euprosopia grahami</i>	○		
		マツダマダラヒロクチバエ		<i>Euprosopia matsudai</i>	○	○	
		ダイズコンリュウバエ		<i>Rivellia apicalis</i>	○	○	
		ムネアカヒメヒロクチバエ		<i>Rivellia basilaris</i>	○		
		ヒロクチバエ科の一種		Platystomatidae gen. sp.	○		
	ミバエ	アザミオナガミバエ		<i>Urophora sachalinensis</i>		○	
		ヨモギマルフシミバエ		<i>Oedaspis japonica</i>	○		
		ヒラヤマアミメケブカミバエ		<i>Campiglossa hirayamae</i>		○	
		ハルササハマダラミバエ		<i>Paragastrozona japonica</i>	○		
		クロハスジハマダラミバエ		<i>Anomoia purmunda purmunda</i>		○	
		タンポポハマダラミバエ		<i>Hemilea infuscata</i>		○	
		ヨモギハマダラミバエ		<i>Trypeta artemisiae</i>	○		
		<i>Trypeta</i> 属の一種		<i>Trypeta</i> sp.	○	○	
		ネジロクロミバエ		<i>Sphaeniscus atilius</i>	○	○	
		ミバエ科の一種		Tephritidae gen. sp.		○	
	デガシラバエ	コマダラハチモドキバエ		<i>Campylocera thoracalis</i>	○	○	
		デガシラバエ科の一種		Pyrgotidae gen. sp.	○		
	シマバエ	シモフリシマバエ		<i>Homoneura euaresta</i>	○	○	
		ヒラヤマシマバエ		<i>Homoneura hirayamae</i>	○	○	
		<i>Homoneura</i> 属の一種		<i>Homoneura</i> sp.	○	○	
		<i>Minettia</i> 属の一種		<i>Minettia</i> sp.		○	
		<i>Protrigonometopus</i> 属の一種		<i>Protrigonometopus</i> sp.	○	○	
		<i>Steganopsis</i> 属の一種		<i>Steganopsis</i> sp.		○	
	シマバエ科の一種		Lauxaniidae gen. sp.	○	○		
	ベッコウバエ	<i>Dryomyza</i> 属の一種		<i>Dryomyza</i> sp.		○	
	ヤチバエ	ヤマトヤチバエ		<i>Limnia japonica</i>	○		
		ヒゲナガヤチバエ		<i>Sepedon aenescens</i>	○	○	
		ヒガシヒゲナガヤチバエ		<i>Sepedon noteoi</i>	○	○	
		<i>Tetanocera</i> 属の一種		<i>Tetanocera</i> sp.	○		
		ヤチバエ科の一種		Sciomyzidae gen. sp.	○		
	ツヤホソバエ	ヒトテンツヤホソバエ		<i>Sepsis monostigma</i>	○	○	
		<i>Sepsis</i> 属の一種		<i>Sepsis</i> sp.	○	○	
	ハモグリバエ	ハモグリバエ科の一種		Agromyzidae gen. sp.	○	○	
	キモグリバエ	<i>Steleocerellus</i> 属の一種		<i>Steleocerellus</i> sp.	○		
		キモグリバエ科の一種		Chloropidae gen. sp.	○	○	
	トゲハネバエ	トゲハネバエ科の一種		Heleomyzidae gen. sp.	○	○	
	ショウジョウバエ	ダンドラショウジョウバエ		<i>Drosophila annulipes</i>	○	○	
		<i>Drosophila</i> 属の一種		<i>Drosophila</i> sp.	○	○	
		<i>Stegana</i> 属の一種		<i>Stegana</i> sp.	○	○	
		ショウジョウバエ科の一種		Drosophilidae gen. sp.	○	○	
	ミギワバエ	ミギワバエ科の一種		Ephydriidae gen. sp.	○	○	
	フンコバエ	フンコバエ科の一種		Sphaeroceridae gen. sp.	○	○	
	シラミバエ	<i>Lipoptena</i> 属の一種		<i>Lipoptena</i> sp.	○		
		<i>Ornithomya</i> 属の一種		<i>Ornithomya</i> sp.		○	
	フンバエ	ヒメフンバエ		<i>Scathophaga stercoraria</i>	○	○	
		フンバエ科の一種		Scathophagidae gen. sp.	○	○	
	ハナバエ	ハナバエ科の一種		Anthomyiidae gen. sp.	○	○	
	ヒメイエバエ	ヒメイエバエ科の一種		Fanniidae gen. sp.		○	
	イエバエ	<i>Atherigona</i> 属の一種		<i>Atherigona</i> sp.	○		
イエバエ科の一種			Muscidae gen. sp.	○	○		
クロバエ	オオクロバエ		<i>Calliphora nigrivarvis</i>	○	○		
	キンバエ		<i>Lucilia caesar</i>		○		
	<i>Lucilia</i> 属の一種		<i>Lucilia</i> sp.		○		
	ミドリバエ		<i>Isomyia senomera</i>		○		

表 3-1 (27) 昆虫類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等
				実施対象区域	周辺地域	
ハエ	クロバエ	ツマグロキンバエ	<i>Stomorhina obsoleta</i>	○	○	
		クロバエ科の一種	Calliphoridae gen. sp.	○	○	
	ニクバエ	ニクバエ科の一種	Sarcophagidae gen. sp.	○		
	ヤドリバエ	Gonia属の一種	<i>Gonia</i> sp.		○	
		マルボンヒラタハナバエ	<i>Gymnosoma rotundatum</i>	○		
		Gymnosoma属の一種	<i>Gymnosoma</i> sp.		○	
		セスジハリバエ	<i>Tachina micado</i>		○	
		Tachina属の一種	<i>Tachina</i> sp.	○	○	
		ヤドリバエ科の一種	Tachinidae gen. sp.	○	○	
	-	ハエ目の一種	DIPTERA fam. gen. sp.	○	○	
トビケラ	ナガレトビケラ	ムナグロナガレトビケラ	<i>Rhyacophila nigrocephala</i>	○	○	
		ヤマナカナガレトビケラ	<i>Rhyacophila yamanakensis</i>	○	○	
		Rhyacophila属の一種	<i>Rhyacophila</i> sp.	○		
		ナガレトビケラ科の一種	Rhyacophilidae gen. sp.	○	○	
	ヒメトビケラ	<i>Hydroptila matsuii</i>	<i>Hydroptila matsuii</i>	○		
		Hydroptila属の一種	<i>Hydroptila</i> sp.	○	○	
		ヒメトビケラ科の一種	Hydroptilidae gen. sp.	○	○	
	ヤマトビケラ	アルタイヤマトビケラ	<i>Glossosoma altaicum</i>	○	○	
		イノブスヤマトビケラ	<i>Glossosoma ussuricum</i>	○	○	
		Glossosoma属の一種	<i>Glossosoma</i> sp.	○	○	
		ヤマトビケラ科の一種	Glossomatidae gen. sp.	○	○	
	ヒゲナガカワトビケラ	ヒゲナガカワトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>	○	○	
		チャバネヒゲナガカワトビケラ	<i>Stenopsyche sauteri</i>	○	○	
	カワトビケラ	ツダコタニガワトビケラ	<i>Chimarra tsudai</i>	○		
		Wormaldia属の一種	<i>Wormaldia</i> sp.	○		
		カワトビケラ科の一種	Philopotamidae gen. sp.	○	○	
	クダトビケラ	Eoneureclipsis属の一種	<i>Eoneureclipsis</i> sp.	○		
		Psychomyia属の一種	<i>Psychomyia</i> sp.	○		
		クダトビケラ科の一種	Psychomyiidae gen. sp.		○	
	イワトビケラ	イワトビケラ科の一種	Polycentropodidae gen. sp.	○	○	
	シマトビケラ	ミヤマシマトビケラ亜科の一種	Dipletroninae gen. sp.	○		
		コガタシマトビケラ	<i>Cheumatopsyche brevilineata</i>	○	○	
		ナミコガタシマトビケラ	<i>Cheumatopsyche infascia</i>	○	○	
		Cheumatopsyche属の一種	<i>Cheumatopsyche</i> sp.	○	○	
		ギフシマトビケラ	<i>Hydropsyche gifuana</i>	○	○	
		ウルマーシマトビケラ	<i>Hydropsyche orientalis</i>	○	○	
		Hydropsyche属の一種	<i>Hydropsyche</i> sp.	○	○	
		Parapsyche属の一種	<i>Parapsyche</i> sp.	○	○	
	シマトビケラ科の一種	Hydropsychidae gen. sp.	○	○		
	マルバネトビケラ	マルバネトビケラ	<i>Phryganopsyche latipennis</i>	○	○	
	トビケラ	ムラサキトビケラ	<i>Eubasilissa regina</i>	○	○	
		アミトビケラ	<i>Oligotricha fluvipes</i>	○	○	
		トビケラ科の一種	Phryganeidae gen. sp.		○	
	カクスイトビケラ	Eobrachycentrus属の一種	<i>Eobrachycentrus</i> sp.	○		
	カクツツトビケラ	オオカクツツトビケラ	<i>Lepidostoma crassicorne</i>	○	○	
		コカクツツトビケラ	<i>Lepidostoma japonicum</i>	○	○	
		Lepidostoma属の一種	<i>Lepidostoma</i> sp.	○	○	
	エグリトビケラ	トウヨウウスバキトビケラ	<i>Limnephilus orientalis</i>	○		
		エグリトビケラ	<i>Nemotaulius admorsus</i>		○	
	ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ	<i>Goera japonica</i>	○	○	
		キョウトニンギョウトビケラ	<i>Goera kyotonis</i>	○	○	
		Goera属の一種	<i>Goera</i> sp.	○	○	
	ヒゲナガトビケラ	Ceraclea属の一種	<i>Ceraclea</i> sp.	○	○	
		アオヒゲナガトビケラ	<i>Mystacides azurea</i>	○	○	
		ハモチクサツミトビケラ	<i>Oecetis hamochiensis</i>		○	
		ゴマダラヒゲナガトビケラ	<i>Oecetis nigropunctata</i>	○	○	

表 3-1(28) 昆虫類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等
				実施区事業	周辺地域	
トビケラ	ヒゲナガトビケラ	トウヨウクサツミトビケラ	<i>Oecetis tsudai</i>	○	○	
		<i>Oecetis</i> 属の一種	<i>Oecetis</i> sp.	○	○	
		<i>Setodes shirasensis</i>	<i>Setodes shirasensis</i>	○	○	
		<i>Triaenodes</i> 属の一種	<i>Triaenodes</i> sp.	○	○	
		ヒゲナガトビケラ科の一種	Leptoceridae gen. sp.	○	○	
	ホソバトビケラ	ホソバトビケラ	<i>Molanna moesta</i>	○	○	
		イトホソバトビケラ	<i>Molannodes itoae</i>	○		
		ホソバトビケラ科の一種	Molannidae gen. sp.	○		
	フトヒゲトビケラ	ヨツメトビケラ	<i>Perissoneura paradoxa</i>	○		
	ケトビケラ	グマガトビケラ	<i>Gumaga orientalis</i>	○		
		<i>Gumaga</i> 属の一種	<i>Gumaga</i> sp.	○		
カタツムリトビケラ	カタツムリトビケラ	<i>Helicopsyche yamadai</i>	○			
チョウ	アゲハチョウ	モンキアゲハ	<i>Papilio helenus nicconicolens</i>	○	○	
		クロアゲハ	<i>Papilio protenor demetrius</i>	○	○	
		カラスアゲハ	<i>Papilio dehaanii dehaanii</i>	○		
	シロチョウ	ツマキチョウ	<i>Anthocharis scolymus scolymus</i>	○	○	
		モンシロチョウ	<i>Pieris rapae crucivora</i>	○	○	○
		スジグロシロチョウ	<i>Pieris melete melete</i>	○	○	
		キタキチョウ	<i>Eurema mandarina</i>	○	○	
		モンキチョウ	<i>Colias erate poliographus</i>	○	○	
	シジミチョウ	ウラギンシジミ	<i>Curetis acuta paracuta</i>	○	○	
		ムラサキシジミ	<i>Narathura japonica japonica</i>	○	○	
		コツバメ	<i>Callophrys ferrea ferrea</i>	○	○	
		ベニシジミ	<i>Lycaena phlaeas daimio</i>	○	○	
		ヤマトシジミ	<i>Pseudozeeria maha argia</i>	○	○	
		ツバメシジミ	<i>Everes argiades argiades</i>	○	○	
		ウラナミシジミ	<i>Lampides boeticus</i>	○		
		タテハチョウ	テングチョウ	<i>Libythea lepita celtoides</i>		○
	アカタテハ	<i>Vanessa indica ndica</i>		○		
	キタテハ	<i>Polygonia c-aureum c-aureum</i>	○			
	ルリタテハ	<i>Kaniska canace nojaponicum</i>	○	○		
	クモガタヒョウモン	<i>Nephargynnis anadyomene midas</i>		○		
	メスグロヒョウモン	<i>Damora sagana liane</i>	○			
	ミドリヒョウモン	<i>Argynnis paphia tsushimaana</i>	○	○		
	ツマグロヒョウモン	<i>Argyreus hyperbius hyperbius</i>	○	○		
	コムシジ	<i>Neptis sappho intermedia</i>	○	○		
	イチモンジチョウ	<i>Limenitis camilla japonica</i>	○			
	ヒメウラナミジャノメ	<i>Ypthima argus argus</i>	○	○		
	コジャノメ	<i>Mycalasis francisca perdiccas</i>	○	○		
	ヒメジャノメ	<i>Micalasis gotama fulginia</i>	○	○		
	ジャノメチョウ	<i>Minois dryas bipunctata</i>		○		
	クロコノマチョウ	<i>Melanitis phedima oitensis</i>	○	○		
	クロヒカゲ	<i>Lethe diana diana</i>	○	○		
	ヒカゲチョウ	<i>Lethe sicelis sicelis</i>	○	○		
	サトキマダラヒカゲ	<i>Neope goschkevitschii goschkevitschii</i>	○	○		
	ヤマキマダラヒカゲ	<i>Neope nipponica nipponica</i>		○		
	アサギマダラ	<i>Parantica sita nipponica</i>	○	○		
	セセリチョウ	ダイミョウセセリ	<i>Daimio tethys tethys</i>	○	○	
		ホソバセセリ	<i>Isoetion lamprospilus lamprospilus</i>		○	
		コチャバナセセリ	<i>Thoressa varia varia</i>	○	○	
		ヒメキマダラセセリ	<i>Ochlodes ochraceus</i>	○	○	
		キマダラセセリ	<i>Potanthus flavus</i>		○	
		オオチャバナセセリ	<i>Polytremis pellucida pellucida</i>	○	○	
		チャバナセセリ	<i>Pelopidas mathias oberthuri</i>		○	
		イチモンジセセリ	<i>Parnara guttata guttata</i>	○	○	
コウモリガ	コウモリガ	<i>Endoclitia excrescens</i>	○			

表 3-1 (29) 昆虫類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等
				実施 対象 区域 事業	周辺 地域	
チョウ	ヒゲナガガ	ケブカヒゲナガ	<i>Adela praepilosa</i>	○		
		ホソオビヒゲナガ	<i>Nemophora aurifera</i>		○	
	ヒロズコガ	アトモンヒロズコガ	<i>Morophaga bucephala</i>	○	○	
		マエモンヒロズコガ	<i>Dinica endochrysa</i>	○		
		マダラマルハヒロズコガ	<i>Ippa conspersa</i>	○		
		クロエリメンコガ	<i>Opogona nipponica</i>		○	
		モトキメンコガ	<i>Opogona thiadelphia</i>		○	
		クシヒゲキヒロズコガ	<i>Pelecystola strigosa</i>	○		
	ミノガ	チャミノガ	<i>Eumeta minuscula</i>	○	○	
	スガ	マルギンバナエスガ	<i>Thecobathra anas</i>	○	○	
		ツヤギンバナエスガ	<i>Niphonympha vera</i>	○	○	
		オオボシオオスガ	<i>Yponomeuta polystictus</i>		○	
		オオボシハイスガ	<i>Yponomeuta anatolicus</i>		○	
	ヒラタマルハキバガ	クロカギヒラタマルハキバガ	<i>Agonopterix l-nigrum</i>	○		
	マルハキバガ	カノコマルハキバガ	<i>Schiffermuelleria zelleri</i>	○	○	
		ホソオビキマルハキバガ	<i>Acrytolechia malacobyrsa</i>	○	○	
		ヤシヤブシキホリマルハキバガ	<i>Casmara agronoma</i>	○	○	
		カレハチビマルハキバガ	<i>Tyrolimnas anthraconesa</i>	○	○	
	ヒゲナガキバガ	ゴマフシロハビロキバガ	<i>Scythropiodes leucostola</i>		○	
		オビカクバネヒゲナガキバガ	<i>Deltoplastis apostatis</i>	○	○	
		カクバネヒゲナガキバガ	<i>Lecitholaxa thiodora</i>	○	○	
	ミツボシキバガ	ミツボシキバガ	<i>Autosticha modicella</i>	○	○	
	キバガ	シロモンクロキバガ	<i>Aroga mesostrepta</i>	○	○	
		カバオオフサキバガ	<i>Dichomeris ustalella</i>	○		
	セミヤドリガ	セミヤドリガ	<i>Epipomponia nawai</i>	○		
	イラガ	マダライラガ	<i>Kitanola uncula</i>	○	○	
		ナシイラガ	<i>Narosoideus flavidorsalis</i>	○	○	
		イラガ	<i>Monema flavescens</i>	○	○	
		カギバイラガ	<i>Heterogenea asella</i>	○	○	
		テングイラガ	<i>Microleon longipalpis</i>	○	○	
		ウスイロテングイラガ	<i>Microleon yoshimotoi</i>	○	○	
		アカイラガ	<i>Phrixolepia sericea</i>	○	○	
		ムラサキイラガ	<i>Austrapoda dentata</i>	○	○	
		クロシタアオイラガ	<i>Parasa hilarula</i>	○	○	
		ウストビイラガ	<i>Ceratonema sericeum</i>	○		
		タイワンイラガ	<i>Phlossa conjuncta</i>		○	
			ヒロズイラガ	<i>Naryciodes posticalis</i>	○	○
	マダラガ	キスジホソマダラ	<i>Balataea gracilis</i>		○	
		ホタルガ	<i>Pidorus atratus</i>	○	○	
	ボクトウガ	ボクトウガ	<i>Cossus jezoensis</i>		○	
		ゴマフボクトウ	<i>Zeuzera multistrigata leuconota</i>	○	○	
	ハマキガ	マエキハマキ	<i>Acleris pulchella</i>		○	
		コウスアオハマキ	<i>Acleris filipjevi</i>	○		
		ニセウスギンスジキハマキ	<i>Acleris razowskii</i>	○		
		ヨモギオオホソハマキ	<i>Phtheochroides clandestina</i>		○	
		ブドウホソハマキ	<i>Eupoecilia ambiguella</i>	○	○	
		トビモンハマキ	<i>Gnorismoneura mesotoma</i>	○	○	
		ホシノハマキ	<i>Gnorismoneura hoshinoi</i>		○	
		ホシオビハマキ	<i>Geogepa stenochorda</i>	○	○	
		クシヒゲムラサキハマキ	<i>Terricula violetana</i>		○	
		ツツリモンハマキ	<i>Homonopsis foederatana</i>	○		
		オオハイジロハマキ	<i>Pseudeulia asinana</i>	○	○	
		アトキハマキ	<i>Archips audax</i>	○	○	
オオアトキハマキ		<i>Archips ingentana</i>	○	○		
マツアトキハマキ		<i>Archips oporana</i>	○	○		
タテスジハマキ		<i>Archips pulchra</i>		○		

表 3-1 (30) 昆虫類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等	
				実施 対象 区域 事業	周辺 地域		
チョウ	ハマキガ	ムラサキカクモンハマキ	<i>Archips viola</i>		○		
		ミダレカクモンハマキ	<i>Archips fuscocupreana</i>		○		
		アトボシハマキ	<i>Choristoneura longicellana</i>	○	○		
		チャハマキ	<i>Homona magnanima</i>	○	○		
		ウストビハマキ	<i>Pandemis chlorograptata</i>	○	○		
		トビハマキ	<i>Pandemis heparana</i>	○			
		スジトビハマキ	<i>Pandemis dumetana</i>	○			
		ウストビモンハマキ	<i>Neocalyptis lacernata</i>	○			
		コホソスジハマキ	<i>Neocalyptis angustilineata</i>	○	○		
		トビモンコハマキ	<i>Diplocalyptis congruentana</i>	○	○		
		リンゴコカクモンハマキ	<i>Adoxophyes orana fasciata</i>	○			
		チャノコカクモンハマキ	<i>Adoxophyes honmai</i>		○		
		ヘリオビヒメハマキ	<i>Cryptasasma marginifasciata</i>		○		
		ツマジロクロヒメハマキ	<i>Endothenia gentianaeana</i>		○		
		サッポロヒメハマキ	<i>Ukamenia sapporensis</i>	○	○		
		ツマバニヒメハマキ	<i>Phaecasiophora roseana</i>	○	○		
		ヤナギサザナミヒメハマキ	<i>Saliciphaga acharis</i>	○			
		コシロアシヒメハマキ	<i>Hystrichoscelus spathantum</i>	○	○		
		グミオオウスツマヒメハマキ	<i>Hedya auricristana</i>	○			
		モンギンスジヒメハマキ	<i>Olethreutes captiosana</i>	○			
		コモンギンスジヒメハマキ	<i>Olethreutes subtilana</i>	○			
		クリオビキヒメハマキ	<i>Olethreutes obovata</i>	○			
		コクリオビクロヒメハマキ	<i>Olethreutes orthocosma</i>		○		
		ウスクリモンヒメハマキ	<i>Olethreutes dolosana</i>	○			
		クローバヒメハマキ	<i>Olethreutes doubledayana</i>	○	○		
		ウツギヒメハマキ	<i>Olethreutes electana</i>	○			
		コケキオビヒメハマキ	<i>Olethreutes aurofasciana</i>	○	○		
		ウスクリイロヒメハマキ	<i>Celypha cespitana</i>		○		
		ニセコシロヒメハマキ	<i>Neonathamna nipponica</i>	○	○		
		マエモンマダラカギバヒメハマキ	<i>Ancylis amplimacula</i>		○		
		カバカギバヒメハマキ	<i>Ancylis partitana</i>	○	○		
		ヒノキカワモグリガ	<i>Coenobiodes granitalis</i>	○	○		
		イチゴツツヒメハマキ	<i>Pseudacroclita hapalaspis</i>	○			
		キカギヒメハマキ	<i>Rhopalovalva pulchra</i>	○	○		
		モッコクヒメハマキ	<i>Eucoenogenes ancycrota</i>	○			
		クリミドリシンクイガ	<i>Fibuloides aestuosa</i>	○			
		シロヒメシンクイ	<i>Spilonota</i> sp.3	○			
		ヨモギネムシガ	<i>Epiblema foenella</i>	○	○		
		スギヒメハマキ	<i>Epiblema sugii</i>		○		
		ソジロトガリヒメハマキ	<i>Eucosma catharaspis</i>	○			
		トビモンシロヒメハマキ	<i>Eucosma metzneriana</i>	○			
		チャオビマダラヒメハマキ	<i>Rhopobota shikokuensis</i>	○			
		アシプトヒメハマキ	<i>Cryptophlebia ombrodelta</i>	○	○		
		トリバガ	トキンソウトリバ	<i>Stenoptilodes taprobanes</i>	○	○	
			Nippoptilia 属の一種	<i>Nippoptilia</i> sp.		○	
			ヒルガオトリバ	<i>Emmelina argoteles</i>	○		
			トリバガ科の一種	Pterophoridae gen. sp.	○	○	
		メイガ	キイロツツリガ	<i>Tirathaba irrufatella</i>	○		
			フタテンツツリガ	<i>Aphomia sapozhnikovi</i>	○		
			アカフツツリガ	<i>Lamoria glaucalis</i>	○		
			フタスジツツリガ	<i>Eulophopalpia pauperalis</i>		○	
			トビイロシマメイガ	<i>Hypsopygia regina</i>	○	○	
			アカシマメイガ	<i>Herculia pelagalis</i>		○	
アカヘリシマメイガ	<i>Herculia drabicialis</i>		○	○			
フタスジシマメイガ	<i>Orthopygia glaucinalis</i>		○				
ツマキンマメイガ	<i>Orthopygia placens</i>			○			

表 3-1 (31) 昆虫類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等	
				実施 対象 区 域 業	周辺 地 域		
チョウ	メイガ	シロモンシマメイガ	<i>Pyralis albipunctata</i>	○			
		トビイロフタスジシマメイガ	<i>Stemmatophora valida</i>	○			
		ツマグロシマメイガ	<i>Arippara indicator</i>	○	○		
		マエモンシマメイガ	<i>Tegulifera bicoloralis</i>	○	○		
		ヒメアカシマメイガ	<i>Bostra nanalis</i>	○	○		
		キガシラシマメイガ	<i>Trebania flavifrontalis</i>		○		
		ウスオビトガリメイガ	<i>Endotricha consocia</i>	○			
		キベリトガリメイガ	<i>Endotricha minialis</i>	○	○		
		ウスベニトガリメイガ	<i>Endotricha olivacealis</i>	○	○		
		オオウスベニトガリメイガ	<i>Endotricha icelusalis</i>	○	○		
		キモントガリメイガ	<i>Endotricha kuznetzovi</i>	○	○		
		ナカムラサキフトメイガ	<i>Lista ficki</i>	○			
		キイフトメイガ	<i>Lepidogma kiiensis</i>		○		
		クロフトメイガ	<i>Termioptycha nigrescens</i>	○			
		オオフトメイガ	<i>Salma amica</i>		○		
		クロモンフトメイガ	<i>Orthaga euadrusalis</i>	○	○		
		ナカトビフトメイガ	<i>Orthaga achatina</i>	○	○		
		ネアオフトメイガ	<i>Orthaga onerata</i>	○	○		
		トサカフトメイガ	<i>Locastra muscosalis</i>	○			
		ツツマダラメイガ	<i>Acrobasis squalidella</i>	○			
		アカフマダラメイガ	<i>Acrobasis ferruginella</i>		○		
		ナシモンクロマダラメイガ	<i>Acrobasis bellulella</i>	○	○		
		ギンマダラメイガ	<i>Acrobasis rubrizonella</i>		○		
		フタグロマダラメイガ	<i>Furcata dichromella</i>		○		
		ウスアカネマダラメイガ	<i>Ceroprepes patriciella</i>		○		
		ウスアカモンクロマダラメイガ	<i>Ceroprepes ophthalmicella</i>		○		
		ウスアカムラサキマダラメイガ	<i>Addyme confusalis</i>	○	○		
		ネアカマダラメイガ	<i>Etielloides bipartitellus</i>	○			
		シロイチモンジマダラメイガ	<i>Etiella zinckenella</i>	○	○		
		ミカドマダラメイガ	<i>Sciota mikadella</i>	○	○		
		マツノマダラメイガ	<i>Dioryctria abietella</i>	○	○		
		アカマダラメイガ	<i>Oncocera semirubella</i>	○	○		
		ヒゲアトマダラメイガ	<i>Spatulipalpia albistrialis</i>	○			
		マエジロクロマダラメイガ	<i>Assara funerella</i>		○		
		フタシロテンホソマダラメイガ	<i>Assara korbi</i>	○			
		オオマエジロホソメイガ	<i>Paraemmalocera gensanalis</i>	○	○		
		ツトガ	シロエグリツトガ	<i>Glaucocharis exsectella</i>	○	○	
			チビツトガ	<i>Microchilo inouei</i>	○	○	
			ホソスジツトガ	<i>Pseudargyria interruptella</i>	○	○	
			ヨシツトガ	<i>Chilo luteellus</i>	○	○	
			スジツトガ	<i>Chilo sacchariphagus stramineellus</i>		○	
			チャバネツトガ	<i>Japonichilo bleszynskii</i>	○		
			シロツトガ	<i>Calamotropha paludella purella</i>		○	
	イトツトガ		<i>Calamotropha shichito</i>	○	○		
	サツマツトガ		<i>Calamotropha okanoi</i>	○			
	ウスクロスジツトガ		<i>Chrysoteuchia diplogramma</i>	○	○		
	テンスジツトガ		<i>Chrysoteuchia distinctella</i>	○	○		
	ナカモンツトガ		<i>Chrysoteuchia porcelanella</i>	○	○		
	シロスジツトガ		<i>Crambus argyrophorus</i>	○	○		
	ナカグロツトガ		<i>Crambus virgatellus</i>		○		
	クロスジツトガ		<i>Flavocrambus striatellus</i>	○	○		
	シバツトガ		<i>Parapediasia teterella</i>	○	○	○	
	ナガハマツトガ		<i>Platytes ornatella</i>	○	○		
	ツトガ		<i>Ancylolomia japonica</i>	○	○		
	ホソバヤマメイガ		<i>Scoparia congestalis</i>	○	○		
	スジボソヤマメイガ		<i>Eudonia microdentalis</i>	○			

表 3-1(32) 昆虫類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等
				実施区事業	周辺地域	
チョウ	ツトガ	キボシオオメイガ	<i>Patissa fulvosparsa</i>		○	
		ヒトスジオオメイガ	<i>Scirpophaga lineata</i>	○	○	
		マダラミズメイガ	<i>Elophila interruptalis interruptalis</i>	○		
		クロスジマダラミズメイガ	<i>Elophila miurai</i>	○	○	
		ヒメマダラミズメイガ	<i>Elophila turbata</i>	○	○	
		ギンモンミズメイガ	<i>Nymphula corculina</i>		○	
		ゼニガサミズメイガ	<i>Paracymoriza prodigalis</i>	○	○	
		キオビミズメイガ	<i>Potamomusa midas</i>	○	○	
		アトモンミズメイガ	<i>Nymphicula saigusai</i>	○	○	
		トビマダラモンメイガ	<i>Trichophysetis rufoterminalis</i>	○	○	
		ウスムラサキクルマメイガ	<i>Clupeosoma cinerea</i>	○		
		セスジノメイガ	<i>Toruliquama evenoralis</i>	○	○	
		キモンホソバノメイガ	<i>Sinibotys butleri</i>	○		
		キムジノメイガ	<i>Prodasynemis inornata</i>	○	○	
		ホシオビホソノメイガ	<i>Nomis albopedalis</i>	○	○	
		マエベニノメイガ	<i>Paliga minnehaha</i>	○	○	
		ヘリジロキンノメイガ	<i>Paliga auratalis</i>	○	○	
		マエウスモンキノメイガ	<i>Paliga ochrealis</i>		○	
		ウスオビキノメイガ	<i>Paratalanta pandalis</i>	○	○	
		トモンノメイガ	<i>Pyrausta limbata</i>	○	○	
		ウスオビクロチビノメイガ	<i>Pyrausta fuliginata</i>	○		
		ヒメガリノメイガ	<i>Anania verbascalis</i>			○
		アズキノメイガ	<i>Ostrinia scapularis subpacifica</i>	○		
		クロスジキノメイガ	<i>Acropentias aurea</i>	○		
		モンキノメイガ	<i>Pelena sericea</i>			○
		シロテンノメイガ	<i>Diathrausta brevifascialis</i>	○		
		マエシロモンノメイガ	<i>Diathraustodes amoenialis</i>			○
		クビシロノメイガ	<i>Piletocera aegimiusalis</i>	○	○	
		コガタシロモンノメイガ	<i>Piletocera sodalis</i>	○	○	
		ハナダカノメイガ	<i>Camptomastix hisbonalis</i>	○		
		エグリノメイガ	<i>Diplopestis perieresalis</i>	○	○	
		ミツテンノメイガ	<i>Mabra charonialis</i>	○	○	
		クロオビノメイガ	<i>Pycnarmon pantherata</i>			○
		シロオビノメイガ	<i>Spoladea recurvalis</i>	○	○	
		アヤナミノメイガ	<i>Eurrhyarodes accessalis</i>	○	○	
		ウスムラサキノメイガ	<i>Agrotera nemoralis</i>	○		
		クロウスムラサキノメイガ	<i>Agrotera posticalis</i>	○	○	
		フタマタノメイガ	<i>Pagyda arbiter</i>			○
		マタスジノメイガ	<i>Pagyda quinquelineata</i>	○	○	
		ヨスジノメイガ	<i>Pagyda quadrilineata</i>			○
		コブノメイガ	<i>Cnaphalocrocis medinalis</i>	○	○	
		シロモンノメイガ	<i>Bocchoris inpersalis</i>	○	○	
		オオシロモンノメイガ	<i>Chabula telphusalis</i>	○		
		シロヒトモンノメイガ	<i>Analthes semitritalis orbicularis</i>	○	○	
		クロスジノメイガ	<i>Tyspanodes striatus striatus</i>	○	○	
		シロテンキノメイガ	<i>Nacoleia commixta</i>	○	○	
		サツマキノメイガ	<i>Nacoleia satsumalis</i>	○	○	
		ヒメクロミスジノメイガ	<i>Omiodes miserus</i>			○
		マエウスキノメイガ	<i>Omiodes indicatus</i>	○	○	
		クロミスジノメイガ	<i>Omiodes similis</i>			○
		キバラノメイガ	<i>Omiodes noctescens</i>			○
クロズノメイガ	<i>Goniorhynchus exemplaris</i>			○		
クロヘリキノメイガ	<i>Goniorhynchus butyrosus</i>	○	○			
オオキノメイガ	<i>Botyodes principalis</i>	○	○			
クロスジキンノメイガ	<i>Pleuroptya balteata</i>	○	○			
コヨツメノメイガ	<i>Pleuroptya inferior</i>	○	○			

表 3-1 (33) 昆虫類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等
				実施 対象 区域 事業	周辺 地域	
チョウ	ツトガ	ヨツメノメイガ	<i>Pleuroptya quadrimaculalis</i>	○		
		ホソミスジノメイガ	<i>Pleuroptya chlorophanta</i>	○	○	
		モモノゴマダラノメイガ	<i>Conogethes punctiferalis</i>	○	○	
		モンシロクロノメイガ	<i>Syllepte segnalis</i>	○	○	
		オオツチイロノメイガ	<i>Syllepte fuscoinvalidalis</i>	○		
		マエアカスカシノメイガ	<i>Palpita nigropunctalis</i>	○	○	
		ヒメシロノメイガ	<i>Palpita inusitata</i>	○	○	
		ワタヘリクロノメイガ	<i>Diaphania indica</i>	○		
		ツゲノメイガ	<i>Cydalima perspectalis</i>	○	○	
		スカシノメイガ	<i>Glyphodes pryeri</i>		○	
		ヨツボシノメイガ	<i>Talanga quadrimaculalis</i>	○		
		シロフクロノメイガ	<i>Pygospila tyres</i>		○	
		ツマグロシロノメイガ	<i>Polythlipta liquidalis</i>	○	○	
		マメノメイガ	<i>Maruca vitrata</i>	○	○	
		ワモンノメイガ	<i>Nomophila noctuella</i>	○	○	
		シロテシウスグロノメイガ	<i>Bradina atopalis erectalis</i>	○	○	
		ヒメアカウスグロノメイガ	<i>Bradina trigonalis</i>		○	
		アカウスグロノメイガ	<i>Bradina angustalis pryeri</i>	○		
		マエキノメイガ	<i>Herpetogramma rude</i>	○	○	
		ウスオビクロノメイガ	<i>Herpetogramma fuscescens</i>	○	○	
		コキモンウスグロノメイガ	<i>Herpetogramma pseudomagnum</i>	○		
		モンキクロノメイガ	<i>Herpetogramma luctuosale zelleri</i>	○	○	
		シロアヤヒメノメイガ	<i>Diasemia reticularis</i>	○	○	
		キアヤヒメノメイガ	<i>Diasemia accalis</i>	○	○	
		モンシロルリノメイガ	<i>Mecyna tricolor</i>	○	○	
		ウラジロキノメイガ	<i>Mecyna gracilis</i>		○	
		オオモンシロルリノメイガ	<i>Uresiphita dissipatalis</i>		○	
		ウスグロマルモンノメイガ	<i>Udea exiguialis</i>	○	○	
		シナチクノメイガ	<i>Eumorphotys eumorphalis</i>		○	
		マドガ	アカジママドガ	<i>Striglina cancellata</i>	○	○
	アミメマドガ		<i>Striglina suzukii</i>	○	○	
	マドガ		<i>Thyris usitata</i>		○	
	ウスマダラマドガ		<i>Rhodoneura pallida</i>		○	
	マダラマドガ		<i>Rhodoneura vittula</i>	○	○	
	ヒメマダラマドガ		<i>Rhodoneura hyphaema</i>		○	
	スギタニマドガ		<i>Rhodoneura sugitanii</i>	○	○	
	カギバガ	マエキカギバ	<i>Agnidra scabiosa scabiosa</i>	○	○	
		ヤマトカギバ	<i>Nordstromia japonica</i>	○	○	
		ウスオビカギバ	<i>Sabra harpagula olivacea</i>		○	
		ウコンカギバ	<i>Tridrepana crocea</i>	○	○	
		フタテンシロカギバ	<i>Ditrigona virgo</i>	○		
		ヒツメカギバ	<i>Auzata superba superba</i>	○	○	
		ウスギヌカギバ	<i>Macrocilix mysticata watsoni</i>	○	○	
		モンウスギヌカギバ	<i>Macrocilix maia</i>	○		
		アシベニカギバ	<i>Oreta pulchripes</i>	○	○	
		アカウラカギバ	<i>Hypsomadius insignis</i>	○		
		モントガリバ	<i>Thyatira batis japonica</i>	○	○	
		アヤトガリバ	<i>Habrosyne pyritooides derasoides</i>		○	
		オオアヤトガリバ	<i>Habrosyne fraterna japonica</i>	○		
		オオハトガリバ	<i>Tethea ampliata ampliata</i>	○		
		ホソトガリバ	<i>Tethea octogesima octogesima</i>	○		
		オオマエベニトガリバ	<i>Tethea consimilis consimilis</i>	○	○	
	アゲハモドキガ	アゲハモドキ	<i>Epicopeia hainesii hainesii</i>	○		
		キンモンガ	<i>Psychostrophia melanargia</i>	○	○	
	ツバメガ	ハガタフタオ	<i>Dysaethria flavistriga</i>	○	○	
		クロホシフタオ	<i>Dysaethria moza</i>	○	○	

表 3-1 (34) 昆虫類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等
				実施 対象 区域 事業	周辺 地域	
チョウ	ツバメガ	ギンツバメ	<i>Acropteris iphiata</i>	○	○	
	シャクガ	スギタニシロエダシャク	<i>Abraxas flavisinuata</i>	○		
		ヒメマダラエダシャク	<i>Abraxas niponibia</i>	○	○	
		クロマダラエダシャク	<i>Abraxas fulvobasalis</i>	○		
		ヒトスジマダラエダシャク	<i>Abraxas latifasciata</i>	○	○	
		ユウマダラエダシャク	<i>Abraxas miranda miranda</i>	○	○	
		シロスジヒメエダシャク	<i>Ligdia japonaria</i>	○		
		クロフヒメエダシャク	<i>Peratophyga grata grata</i>			○
		ヤマトエダシャク	<i>Peratostega deletaria hypotaenia</i>	○	○	
		ウチムラサキヒメエダシャク	<i>Ninodes splendens</i>			○
		ナミスジシロエダシャク	<i>Orthocavera tinamaria tinamaria</i>	○	○	
		クロズウスキエダシャク	<i>Lomographa simplicior simplicior</i>	○	○	
		フタバシロエダシャク	<i>Lomographa bimaculata subnotata</i>	○	○	
		バラシロエダシャク	<i>Lomographa temerata</i>			○
		ウスフタスジシロエダシャク	<i>Lomographa subsersata</i>	○		
		コスジシロエダシャク	<i>Cabera purus</i>	○	○	
		ウスアオエダシャク	<i>Parabapta clarissa</i>	○	○	
		フタスジオエダシャク	<i>Rhynchobapta cervinaria bilineata</i>	○	○	
		マエキオエダシャク	<i>Plesiomorpha flaviceps</i>	○		
		モンオビオエダシャク	<i>Plesiomorpha punctilinearis</i>			○
		ウスオビヒメエダシャク	<i>Euchristophia cumulata cumulata</i>	○	○	
		ハグルマエダシャク	<i>Synegia hadassa hadassa</i>	○	○	
		スジハグルマエダシャク	<i>Synegia limitatoides</i>			○
		クロハグルマエダシャク	<i>Synegia esther</i>	○	○	
		シロズエダシャク	<i>Ecpetelia albifrontaria</i>	○		
		オオヨスジアカエダシャク	<i>Astygisa chlororhodes</i>	○		
		ウラキトガリエダシャク	<i>Hypephyra terrosa pryeraria</i>	○	○	
		ツマキエダシャク	<i>Platycerota incertaria</i>	○	○	
		フタテンオエダシャク	<i>Chiasmia defixaria</i>	○	○	
		ウスオエダシャク	<i>Chiasmia hebesata</i>	○	○	
		ウスキオエダシャク	<i>Oxymacaria normata proximaria</i>	○		
		トビカギバエダシャク	<i>Luxiaria amasa amasa</i>	○		
		クロフキエダシャク	<i>Monocerotesa lutearia</i>	○	○	
		スカシエダシャク	<i>Krananda semihyalina</i>	○	○	
		ツマジロエダシャク	<i>Krananda latimarginaria</i>	○	○	
		ゴマダラシロエダシャク	<i>Antipercnia albinigrata albinigrata</i>	○	○	
		オオゴマダラエダシャク	<i>Parapercnia giraffata</i>	○	○	
		クロフオオシロエダシャク	<i>Pogonopygia nigralbata nigralbata</i>	○		
		クロフシロエダシャク	<i>Dilophodes elegans elegans</i>	○	○	
		キシタエダシャク	<i>Arichanna melanaria fraterna</i>	○	○	
		ヒョウモンエダシャク	<i>Arichanna gaschkevitchii gaschkevitchii</i>	○	○	
		ナカウスエダシャク	<i>Alcis angulifera</i>	○	○	
		ウスバキエダシャク	<i>Pseuderannis lomozeria</i>	○		
		フタヤマエダシャク	<i>Rikiosatoa grisea</i>	○		
		クロクモエダシャク	<i>Apocleora rimosa</i>	○	○	
		マツオオエダシャク	<i>Deileptenia ribeata</i>	○	○	
		ヨモギエダシャク	<i>Ascotis selenaria cretacea</i>			○
		セフトエダシャク	<i>Cusiala stipitaria kariuzawensis</i>			○
		オオトビスジエダシャク	<i>Ectropis excellens</i>	○		
		フトフタオビエダシャク	<i>Ectropis crepuscularia</i>	○	○	
		スギノキエダシャク	<i>Ectropis sp.</i>	○	○	
		ウスジロエダシャク	<i>Ectropis obliqua</i>	○	○	
		ハミスジエダシャク	<i>Hypomecis roboraria displicens</i>	○	○	
		オオバナミガタエダシャク	<i>Hypomecis lunifera</i>	○	○	
		ナカシロオビエダシャク	<i>Hypomecis definita</i>			○
		ウスバミスジエダシャク	<i>Hypomecis punctinalis conferenda</i>	○	○	

表 3-1(35) 昆虫類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等
				実施区 事業	周辺地 域	
チョウ	シヤクガ	シタクモエダシヤク	<i>Microcalicha sordida</i>	○		
		ヒロバウスアオエダシヤク	<i>Paradarisa chloauges kurosawai</i>	○	○	
		ホシミスジエダシヤク	<i>Racotis boarmiaria</i>	○	○	
		ナミガタエダシヤク	<i>Heterarmia charon charon</i>	○		
		オレクギエダシヤク	<i>Protoboarmia simpliciaris</i>	○	○	
		ニセオレクギエダシヤク	<i>Protoboarmia faustinata</i>	○	○	
		ハラゲチビエダシヤク	<i>Satoblephara parvularia</i>	○		
		キバネトビスジエダシヤク	<i>Myrioblephara cilicornaria</i>	○	○	
		チビトビスジエダシヤク	<i>Myrioblephara nanaria</i>	○	○	
		ハンノトビスジエダシヤク	<i>Aethalura ignobilis</i>	○	○	
		ヨツメエダシヤク	<i>Ophthalmitis irrorataria</i>	○	○	
		クロスジハイロエダシヤク	<i>Hirasa paupera</i>	○		
		チャウンモンエダシヤク	<i>Jankowskia fuscaria fuscaria</i>	○	○	
		リンゴツノエダシヤク	<i>Phthonosema tendinosaria</i>	○	○	
		ヒロオビエダシヤク	<i>Duliophyle agitata agitata</i>	○	○	
		オオトビエダシヤク	<i>Duliophyle majuscularia</i>	○		
		ソクキエダシヤク	<i>Scionomia mendica</i>	○	○	
		ミヤマツバメエダシヤク	<i>Thinopteryx delectans</i>	○		
		キオビゴマドラエダシヤク	<i>Biston panterinaria sychnospilas</i>	○		
		ハスオビエダシヤク	<i>Descoreba simplex</i>			○
		ゴマフキエダシヤク	<i>Angerona nigrisparsa</i>			○
		ツマトビキエダシヤク	<i>Bizia aexaria</i>	○		
		オイワケキエダシヤク	<i>Exangerona prattiaris</i>			○
		ウスクモエダシヤク	<i>Menophra senilis</i>	○	○	
		ギンスジエダシヤク	<i>Chariaspilates formosaria</i>	○		
		マエキトビエダシヤク	<i>Nothomiza formosa</i>	○	○	
		オオマエキトビエダシヤク	<i>Nothomiza oxygoniodes</i>	○	○	
		エグリツマエダシヤク	<i>Odontopera arida arida</i>	○	○	
		モンシロツマキエダシヤク	<i>Xerodes albonotaria albonotaria</i>	○		
		ミスジツマキエダシヤク	<i>Xerodes rufescentaria</i>	○	○	
		エグリエダシヤク	<i>Fascellina chromataria</i>	○	○	
		テンモンチビエダシヤク	<i>Ocoelophora lentiginosaria lentiginosaria</i>	○	○	
		ツマキリウスエダシヤク	<i>Pareclipsis gracilis</i>	○	○	
		ウスムラサキエダシヤク	<i>Selenia adustaria</i>	○		
		トガリエダシヤク	<i>Xyloscia subspersata</i>	○		
		ツマキエダシヤク	<i>Endropiodes abjecta abjecta</i>	○		
		モミジツマキエダシヤク	<i>Endropiodes indictinaria</i>			○
		ナカキエダシヤク	<i>Plagodis dolabraria</i>	○	○	
		コナフキエダシヤク	<i>Plagodis pulveraria japonica</i>	○		
		ウラモンアカエダシヤク	<i>Parepione grata</i>	○		
		フタマエホシエダシヤク	<i>Achrosis paupera</i>	○		
		アトボシエダシヤク	<i>Cepphis advenaria</i>	○	○	
		ウラベニエダシヤク	<i>Heterolocha aristonaria</i>	○	○	
		シダエダシヤク	<i>Petrophora chlorosata</i>	○		
		ウコンエダシヤク	<i>Corymica pryeri</i>			○
		ウスキツバメエダシヤク	<i>Ourapteryx nivea</i>	○	○	
		オオアヤシヤク	<i>Pachista superans</i>	○	○	
		ウスアオシヤク	<i>Dindica virescens</i>	○	○	
		アシプトチズモンアオシヤク	<i>Agathia visenda curvifiniens</i>			○
		カギシロスジアオシヤク	<i>Geometra dieckmanni</i>	○	○	
コシロオビアオシヤク	<i>Geometra glaucaria</i>	○				
キマエアオシヤク	<i>Neohipparchus vallata</i>			○		
ヒメシロフアオシヤク	<i>Eucyclodes infracta</i>	○	○			
ナミガタウスキアオシヤク	<i>Jodis lactearia</i>	○	○			
ヒメウスアオシヤク	<i>Jodis putata</i>	○	○			
マルモンヒメアオシヤク	<i>Jodis praerupta</i>	○	○			

表 3-1(36) 昆虫類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等
				実 対 象 区 事 業	周 辺 地 域	
チョウ	シャクガ	スジモンツバメアオシヤク	<i>Maxates albistrigata</i>	○	○	
		ツバメアオシヤク	<i>Maxates ambigua</i>	○		
		ヒメツバメアオシヤク	<i>Maxates protrusa</i>	○	○	
		キバラヒメアオシヤク	<i>Hemithea aestivaria</i>	○	○	
		コウスアオシヤク	<i>Chlorissa obliterata</i>	○		
		ウスハラアカアオシヤク	<i>Chlorissa inornata</i>	○		
		ホノバハラアカアオシヤク	<i>Chlorissa anadema</i>	○	○	
		ナミスジアオシヤク	<i>Idiochlora ussuriaria ussuriaria</i>	○	○	
		ヘリアカトガリアオシヤク	<i>Pamphlebia rubrolimbraria rubrolimbraria</i>		○	
		アカアシアオシヤク	<i>Culpinia diffusa</i>	○	○	
		ヘリジロヨツメアオシヤク	<i>Comibaena amoenaria</i>	○	○	
		ギンスジアオシヤク	<i>Comibaena argentataria</i>	○	○	
		クロモンアオシヤク	<i>Comibaena nigromacularia</i>	○	○	
		コシロスジアオシヤク	<i>Hemistola veneta</i>		○	
		ヘリクロテンアオシヤク	<i>Hemistola dijuncta</i>	○		
		コヨツメアオシヤク	<i>Comostola subtiliaria nympha</i>	○	○	
		フタナミトビヒメシヤク	<i>Pylargosceles steganioides steganioides</i>	○	○	
		コベニスジヒメシヤク	<i>Timandra comptaria</i>	○		
		フトベニスジヒメシヤク	<i>Timandra apicirosea</i>	○	○	
		ウスベニスジヒメシヤク	<i>Timandra dichela</i>		○	
		クロスジオシロヒメシヤク	<i>Problepsis diazoma</i>	○		
		マエキヒメシヤク	<i>Scopula nigropunctata imbella</i>	○		
		モントビヒメシヤク	<i>Scopula modicaria</i>	○	○	
		クロテンシロヒメシヤク	<i>Scopula apicipunctata</i>	○	○	
		タカオシロヒメシヤク	<i>Scopula takao</i>	○	○	
		ウスキトガリヒメシヤク	<i>Scopula confusa</i>	○	○	
		キナミシロヒメシヤク	<i>Scopula superior</i>	○	○	
		クロスジシロヒメシヤク	<i>Scopula pudicaria</i>		○	
		ヤスジマルバヒメシヤク	<i>Scopula flosactata claudata</i>	○	○	
		アメイロヒメシヤク	<i>Scopula tenuisocius</i>	○	○	
		サザナミシロヒメシヤク	<i>Scopula nupta</i>	○	○	
		ヨツボシウスキヒメシヤク	<i>Scopula superciliata</i>		○	
		ウスキクロテンヒメシヤク	<i>Scopula ignobilis</i>	○	○	
		ナガサキヒメシヤク	<i>Scopula plumbearia</i>	○	○	
		Scopula 属の一種	<i>Scopula sp.</i>		○	
		キオビベニヒメシヤク	<i>Idaea impexa</i>		○	
		クロテントビヒメシヤク	<i>Idaea foedata</i>	○		
		ホソジキヒメシヤク	<i>Idaea remissa</i>	○	○	
		ウスモンキヒメシヤク	<i>Idaea denudaria</i>	○	○	
		オオウスモンキヒメシヤク	<i>Idaea imbecilla</i>	○	○	
		ウスキヒメシヤク	<i>Idaea biselata</i>	○		
		ミジンキヒメシヤク	<i>Idaea trisetata</i>		○	
		サクライキヒメシヤク	<i>Idaea sakuraii</i>	○	○	
		ウスクロテンヒメシヤク	<i>Idaea salutaria</i>	○		
		シタコバナナミシヤク	<i>Trichopteryx hemana</i>		○	
		アトスジグロナミシヤク	<i>Epilobophora obscuraria</i>	○	○	
		ホソバトガリナミシヤク	<i>Carige scutimbata</i>	○	○	
		コウスグモナミシヤク	<i>Heterophleps confusa confusa</i>		○	
		ホソバナミシヤク	<i>Tyloptera bella bella</i>	○	○	
		キリバナホソナミシヤク	<i>Brabira artemidora artemidora</i>	○	○	
		フタトビスジナミシヤク	<i>Xanthorhoe hortensiaria</i>	○	○	
		トビスジヒメナミシヤク	<i>Orthonama obstipata</i>	○	○	
ハコベナミシヤク	<i>Euphyia cineraria</i>	○				
キンオビナミシヤク	<i>Electrophaes corylata granitalis</i>	○				
モンキキナミシヤク	<i>Idiotephria amelia</i>	○	○			
オオネグロウスベニナミシヤク	<i>Photoscototia lucicolens</i>	○	○			

表 3-1 (37) 昆虫類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等
				実施区域	周辺地域	
チョウ	シャクガ	テンゾマナミシャク	<i>Telenomeuta punctimarginaria punctimarginaria</i>	○	○	
		ウストビモンナミシャク	<i>Eulithis ledereri</i>	○		
		アトクロナミシャク	<i>Lampropteryx minna</i>	○	○	
		セスジナミシャク	<i>Evecliptopera illitata illitata</i>	○	○	
		オオハガタナミシャク	<i>Ecliptopera umbrosaria umbrosaria</i>	○	○	
		ハガタナミシャク	<i>Eustroma melancholica melancholica</i>	○	○	
		ピロードナミシャク	<i>Sibatania mactata</i>	○		
		ツマキナカジロナミシャク	<i>Dysstroma citrata nyiwonis</i>	○	○	
		フタクロテンナミシャク	<i>Xenortholita propinguata nipponica</i>	○	○	
		テンスジヒメナミシャク	<i>Hydrelia nisaria</i>	○	○	
		フタマダシロナミシャク	<i>Asthena ochrifasciaria</i>	○		
		セグロナミシャク	<i>Laciniodes unistirpis</i>	○	○	
		マエナミカバナミシャク	<i>Eupithecia nipponaria</i>		○	
		ソトカバナミシャク	<i>Eupithecia signigera</i>	○	○	
		ヤスジカバナミシャク	<i>Eupithecia mandschurica japonica</i>	○		
		セアカカバナミシャク	<i>Eupithecia quadripunctata</i>	○	○	
		ハラキカバナミシャク	<i>Eupithecia subtincta</i>		○	
		クロテンカバナミシャク	<i>Eupithecia emanata</i>	○	○	
		マダラカバスジナミシャク	<i>Eupithecia tantilloides</i>	○		
		ケブカチビナミシャク	<i>Gymnoscelis esakii</i>	○		
		クロスジアオナミシャク	<i>Chloroclystis v-ata</i>	○	○	
	ハラアカウスアオナミシャク	<i>Pasiphila obscura</i>	○			
	ウラモンアオナミシャク	<i>Pasiphila subcinctata</i>		○		
	ソトシロオビナミシャク	<i>Pasiphila excisa</i>	○	○		
	ナカジロナミシャク	<i>Melanthia procellata inquinata</i>	○	○		
	カレハガ	タケカレハ	<i>Euthrix albomaculata directa</i>	○	○	
		ギンモンカレハ	<i>Somadasys brevivenis brevivenis</i>	○		
		マツカレハ	<i>Dendrolimus spectabilis</i>		○	
		ツガカレハ	<i>Dendrolimus superans</i>	○		
	オビガ	オビガ	<i>Apha aequalis</i>	○	○	
	カイコガ	クワコ	<i>Bombyx mandarina mandarina</i>		○	
		オオクワゴモドキ	<i>Oberthueria falcigera</i>	○		
	ヤママユガ	ヤママユ	<i>Antheraea yamamai yamamai</i>	○	○	
		ウスタビガ	<i>Rhodinia fugax fugax</i>	○		
		オオミズアオ	<i>Actias aliena aliena</i>	○	○	
	スズメガ	エビガラスズメ	<i>Agrius convolvuli</i>		○	
		シモフリスズメ	<i>Psilogramma increta</i>	○		
		サザナミスズメ	<i>Dolbina tancrei</i>		○	
		モモスズメ	<i>Marumba gaschkewitschii ecephron</i>	○	○	
		ヒサゴスズメ	<i>Mimas christophi</i>	○		
		ホシホウジャク	<i>Macroglossum pyrrhosticta</i>	○	○	
		クロホウジャク	<i>Macroglossum saga</i>		○	
		ベニスズメ	<i>Deilephila elpenor lewisii</i>		○	○
		コスズメ	<i>Theretra japonica</i>		○	
		ミスジピロードスズメ	<i>Rhagastis trilineata</i>	○	○	
		シャチホコガ	スジエグリシャチホコ	<i>Ptilodon hoegei</i>	○	
	クロエグリシャチホコ		<i>Ptilodon okanoi</i>		○	
	ブライヤエグリシャチホコ		<i>Lophontesia pryeri</i>	○		
	クロスジシャチホコ		<i>Lophocosma sarantuja</i>	○		
	ウスイロギンモンシャチホコ		<i>Spatalia doerriesi</i>	○	○	
	ハガタエグリシャチホコ		<i>Hagapteryx admirabilis</i>	○	○	
	ナカスジシャチホコ		<i>Nerice bipartita</i>	○	○	
パイバラシロシャチホコ	<i>Cnethodonta grisea grisea</i>		○	○		
ヒメシャチホコ	<i>Stauropus basalis basalis</i>		○			
ツマキシャチホコ	<i>Phalera assimilis assimilis</i>		○	○		
モンクロシャチホコ	<i>Phalera flavescens</i>		○			

表 3-1 (38) 昆虫類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等	
				実施 対象 区域 事業	周辺 地域		
チョウ	シャチホコガ	フタジマネグロシャチホコ	<i>Neodrymonia delia</i>		○		
		ホソバネグロシャチホコ	<i>Disparia diluta variegata</i>	○	○		
		クロシタシャチホコ	<i>Mesophalera sigmata</i>	○			
		ホソバシャチホコ	<i>Fentonia ocypete ocypete</i>	○	○		
		ヘリスジシャチホコ	<i>Neopheosia fasciata</i>		○		
		ウスキシヤチホコ	<i>Mimopydna pallida</i>	○	○		
		キシヤチホコ	<i>Cutuza straminea</i>	○	○		
		コトビモンシャチホコ	<i>Drymonia japonica</i>	○	○		
		ツマジロシャチホコ	<i>Hexafrenum leucodera leucodera</i>	○	○		
		タカオシャチホコ	<i>Hiradonta takaonis</i>		○		
		スズキシヤチホコ	<i>Pheosipsis cinerea cinerea</i>	○	○		
		クビワシャチホコ	<i>Shaka atrovittatus atrovittatus</i>	○	○		
		オオエグリシャチホコ	<i>Pterostoma gigantinum</i>	○	○		
		ナカキシヤチホコ	<i>Peridea gigantea</i>	○			
		ルリモンシャチホコ	<i>Peridea oberthueri oberthueri</i>		○		
		セダカシャチホコ	<i>Euhampsonia cristata</i>	○	○		
		アオシャチホコ	<i>Syntypistis japonica</i>	○	○		
		ドクガ	スギドクガ	<i>Calliteara argentata</i>	○	○	
			リンゴドクガ	<i>Calliteara pseudabietis pseudabietis</i>	○	○	
			アカヒゲドクガ	<i>Calliteara lunulata lunulata</i>	○		
	シタキドクガ		<i>Calliteara taiwana aurifera</i>	○			
	ブドウドクガ		<i>Ilema eurydice</i>		○		
	マメドクガ		<i>Cifuna locuples confusa</i>	○	○		
	ヒメシロモンドクガ		<i>Orgyia thyellina</i>	○	○		
	ヤクシマドクガ		<i>Orgyia triangularis</i>		○		
	スゲドクガ		<i>Laelia coenosa sangaica</i>		○		
	スゲオオドクガ		<i>Laelia gigantea</i>	○	○		
	スカシドクガ		<i>Arctornis kumatai</i>		○		
	ヒメシロドクガ		<i>Arctornis chichibense</i>		○		
	ニワトドクガ		<i>Topomesoides jonasii</i>	○	○		
	ブチヒゲヤナギドクガ		<i>Leucoma candida</i>	○			
	シロオビドクガ		<i>Numenes albofascia albofascia</i>	○	○		
	クロモンドクガ		<i>Kuromondokuga nipponis</i>	○	○		
	マイマイガ		<i>Lymantria dispar japonica</i>	○	○		
	ミノオマイマイ		<i>Lymantria minomonis minomonis</i>	○	○		
	カシワマイマイ		<i>Lymantria mathura aurora</i>		○		
	ドクガ		<i>Artaxa subflava</i>		○		
	キドクガ		<i>Kidokuga piperita</i>	○	○		
	モンシロドクガ		<i>Sphrageidus similis</i>	○	○		
	ゴマフリドクガ		<i>Somena pulvereae pulvereae</i>	○	○		
	ヒトリガ		クロミヤクホソバ	<i>Pelosia ramosula jezoensis</i>	○		
クロスジホソバ			<i>Pelosia noctis</i>	○	○		
キシタホソバ			<i>Eilema vetusta aegrota</i>	○	○		
ムジホソバ			<i>Eilema deplana pavescens</i>	○	○		
ツマキホソバ			<i>Eilema laevis</i>	○	○		
キマエホソバ		<i>Eilema japonica japonica</i>	○	○			
ニセキマエホソバ		<i>Eilema nankingica</i>	○	○			
ヒメキホソバ		<i>Dolgoma cribrata</i>	○	○			
キマエクロホソバ		<i>Ghoria collitoides</i>	○	○			
ヨツボシホソバ		<i>Lithosia quadra</i>	○	○			
ウンナンヨツボシホソバ		<i>Lithosia yuennenensis</i>	○				
マエグロホソバ		<i>Conilepia nigricosta nigricosta</i>	○				
アカスジシロコケガ		<i>Cyana hamata hamata</i>	○	○			
クロスジチビコケガ		<i>Stictane rectilinea chinesica</i>	○	○			
ウスグロコケガ		<i>Siccia obscura</i>	○	○			
クロテンシロコケガ		<i>Aemene fukudai</i>	○				

表 3-1 (39) 昆虫類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等	
				実施 対象 区域 事業	周辺 地域		
チョウ	ヒトリガ	オオベニヘリコケガ	<i>Melanaema venata</i>	○	○		
		チャオビチビコケガ	<i>Philenora latifasciata</i>	○	○		
		クロテンハイロコケガ	<i>Eugoa grisea grisea</i>	○	○		
		スカシコケガ	<i>Nudaria ranruna</i>	○	○		
		ウスバフタホシコケガ	<i>Schistophleps bipuncta</i>	○			
		ゴマダラキコケガ	<i>Stigmatophora leacrita</i>		○		
		ゴマダラベニコケガ	<i>Barsine pulchra leacrita</i>	○	○		
		スジベニコケガ	<i>Barsine striata striata</i>	○	○		
		ハガタベニコケガ	<i>Barsine aberrans aberrans</i>	○			
		ハガタキコケガ	<i>Mitochrista calamina</i>	○	○		
		ベニヘリコケガ	<i>Mitochrista miniata rosaria</i>	○	○		
		ヒメホシキコケガ	<i>Lyclene dharma butleri</i>		○		
		モンシロモドキ	<i>Nyctemera adversata</i>		○		
		シロヒトリ	<i>Chionarctia nivea</i>	○	○		
		アカハラゴマダラヒトリ	<i>Spilosoma punctarium</i>	○	○		
		キハラゴマダラヒトリ	<i>Spilosoma lubricipedum</i>	○	○		
		スジモンヒトリ	<i>Spilarctia seriatopunctata seriatopunctata</i>	○	○		
		オビヒトリ	<i>Spilarctia subcarnea</i>	○			
		クロフシロヒトリ	<i>Eospilarctia lewisii</i>		○		
		カクモンヒトリ	<i>Lemyra inaequalis inaequalis</i>	○	○		
		アカヒトリ	<i>Lemyra flammeola flammeola</i>		○		
		アツバモドキガ	ウスオビアツバモドキ	<i>Mimachrostia fasciata</i>	○	○	
		コブガ	クロスジシロコブガ	<i>Nola taeniata</i>	○	○	
	マエモンコブガ		<i>Nola japonibia</i>	○			
	カバイロコブガ		<i>Nola aerugula atomosa</i>	○	○		
	ウスカバスジコブガ		<i>Nola ebatoii</i>	○	○		
	ヨシノコブガ		<i>Manoba melancholica</i>	○	○		
	エチゴチビコブガ		<i>Meganola strigulosa</i>	○	○		
	モトグロコブガ		<i>Meganola bryophilalis hondoensis</i>		○		
	クロスジコブガ		<i>Meganola fumosa</i>	○	○		
	アオスジアオリンガ		<i>Pseudoips prasinanus</i>	○	○		
	アカオビリンガ		<i>Gelastocera exusta</i>	○	○		
	トビイロリンガ		<i>Siglophora ferreilutea</i>	○	○		
	ギンボシリンガ		<i>Ariolica argentea</i>	○	○		
	マエキリンガ		<i>Iragoodes nobilis</i>	○	○		
	ベニモンアオリンガ		<i>Earias roseifera</i>	○	○		
	キノカワガ		<i>Blenina senex</i>	○			
	ヤガ		テンクロアツバ	<i>Rivula sericealis</i>	○	○	
			タケアツバ	<i>Rivula aequalis</i>	○	○	
		マエシロモンアツバ	<i>Rivula curvifera</i>	○	○		
		フタテンアツバ	<i>Rivula inconspicua</i>	○	○		
		トビイロフタテンアツバ	<i>Rivula errabunda</i>	○			
		クワイロアツバ	<i>Rivula plumipes</i>	○	○		
		ヒメナミグルマアツバ	<i>Anatatha misae</i>		○		
		ムラサキアツバ	<i>Diomea cremata</i>	○			
		ヨツモンムラサキアツバ	<i>Diomea discisigna</i>	○	○		
		マエヘリモンアツバ	<i>Diomea jankowskii</i>	○	○		
		オオトウアツバ	<i>Panilla petrina</i>	○			
		オビマダラアツバ	<i>Raparna roseata</i>	○	○		
		ソトキイロアツバ	<i>Oglasa bifidalis</i>		○		
		アトヘリヒトホシアツバ	<i>Gesonia fallax</i>	○	○		
		チビクロアツバ	<i>Chibidokuga hypenodes</i>	○			
ヒロバチヒトガリアツバ		<i>Hypenomorpha calamina</i>	○	○			
マエフタモンアツバ		<i>Prolophota trigonifera</i>	○				
ウラモンチビアツバ		<i>Micreremites pyraloides</i>	○	○			
クロテンカバアツバ		<i>Anachrostitis nigripunctalis</i>	○	○			

表 3-1(40) 昆虫類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等
				実施区事業	周辺地域	
チョウ	ヤガ	フタテンチビアツバ	<i>Neachrostita bipuncta</i>	○	○	
		フタキボシアツバ	<i>Gynaephila maculifera</i>	○	○	
		クロスジヒメアツバ	<i>Schrankia costaeatrigalis</i>	○	○	
		ハスオビヒメアツバ	<i>Schrankia separatalis</i>	○	○	
		ウスオビヒメアツバ	<i>Schrankia masuii</i>	○	○	
		ミジンアツバ	<i>Hypenodes rectifascia</i>	○	○	
		チビアツバ	<i>Luceria fletcheri</i>	○	○	
		アヤホソコヤガ	<i>Araeopteron amoenum</i>	○	○	
		ハイロコヤガ	<i>Mataeomera yoshimotoi</i>	○	○	
		クロハナコヤガ	<i>Aventiola pusilla</i>	○		
		シマフコヤガ	<i>Corgatha nitens</i>	○	○	
		カバイロシマコヤガ	<i>Corgatha argillacea</i>	○	○	
		シロスジシマコヤガ	<i>Corgatha dictaria</i>	○		
		フタスジシマコヤガ	<i>Corgatha marumoi</i>	○	○	
		ベニシマコヤガ	<i>Corgatha pygmaea</i>	○	○	
		ツマベニシマコヤガ	<i>Corgatha obsoleta</i>	○	○	
		ベニエグリコヤガ	<i>Holocryptis nymphula</i>	○	○	
		ツマトビコヤガ	<i>Autoba tristalis</i>	○		
		ヒメクルマコヤガ	<i>Oruza divisa</i>	○		
		モンシロクルマコヤガ	<i>Oruza glaucotorna</i>	○	○	
		アトキスジクルマコヤガ	<i>Oruza mira</i>	○	○	
		アトテンクルマコヤガ	<i>Oruza submira</i>		○	
		ウスキコヤガ	<i>Oruza brunnea</i>	○	○	
		トガリアツバ	<i>Rhynchina cramboidea</i>	○		
		ナカジロアツバ	<i>Harita belinda tetrasticta</i>	○	○	
		クロキシタアツバ	<i>Hypena amica</i>	○	○	
		タイワンキシタアツバ	<i>Hypena trigonalis</i>	○	○	
		ソムラサキアツバ	<i>Hypena ella</i>	○		
		ウスチャモンアツバ	<i>Hypena innocuoides</i>	○		
		トビモンアツバ	<i>Hypena indicatalis</i>	○		
		コテングアツバ	<i>Hypena pulverulenta</i>	○		
		ヤマガタアツバ	<i>Bomolocha stygiana</i>	○	○	
		ハンダアツバ	<i>Bomolocha squalida</i>	○	○	
		シラクモアツバ	<i>Bomolocha zilla</i>	○	○	
		アイモンアツバ	<i>Bomolocha rivuligera</i>	○		
		ホシムラサキアツバ	<i>Bomolocha nigrobasalis</i>	○	○	
		キンスジアツバ	<i>Colobochyla salicalis</i>	○	○	
		ウスベニコヤガ	<i>Sophta subrosea</i>	○	○	
		デンモンシマコヤガ	<i>Sophta ruficeps</i>	○	○	
		カザリツマキリアツバ	<i>Tamba igniflua</i>	○	○	
		チョウセンツマキリアツバ	<i>Tamba corealis</i>	○	○	
		ウスモモイロアツバ	<i>Olulis ayumiae</i>	○	○	
		ソトウスベニアツバ	<i>Sarcopteron fasciatum</i>	○	○	
		キボシアツバ	<i>Paragabara flavomaculata</i>	○	○	
		ウスグロセニジモンアツバ	<i>Paragona inchoata</i>	○	○	
		ニセミカドアツバ	<i>Lophomilia takao</i>	○	○	
		キヅマアツバ	<i>Scedopla regalis</i>	○		
		トビフタスジアツバ	<i>Leiostola mollis</i>	○	○	
		ウンモンツマキリアツバ	<i>Pangrapta perturbans</i>	○	○	
		ムラサキツマキリアツバ	<i>Pangrapta curtalis</i>	○		
		ツマジロツマキリアツバ	<i>Pangrapta lunulata</i>		○	
		リングツマキリアツバ	<i>Pangrapta obscurata</i>	○		
		フジロアツバ	<i>Adrapsa notigera</i>	○	○	
ニセフジロアツバ	<i>Adrapsa subnotigera</i>	○				
シラナミクアツバ	<i>Adrapsa simplex</i>	○	○			
マルシラホシアツバ	<i>Edessena gentiusalis</i>		○			

表 3-1(41) 昆虫類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等
				実施 対象 区域 事業	周辺 地域	
チョウ	ヤガ	オオシラホシアツバ	<i>Edessena hamada</i>	○	○	
		ハナマガリアツバ	<i>Hadennia incongruens</i>	○	○	
		ソトウスアツバ	<i>Hadennia obliqua</i>	○	○	
		フサキバアツバ	<i>Mosopia sordidum</i>	○	○	
		ハナオイアツバ	<i>Cidariplura gladiata</i>	○		
		カギモンハナオイアツバ	<i>Cidariplura signata</i>	○		
		シロモンアツバ	<i>Paracolax albinotata</i>	○		
		ウスキモンアツバ	<i>Paracolax sugii</i>	○		
		ミスジアツバ	<i>Paracolax trilinealis</i>		○	
		シロテムムラサキアツバ	<i>Paracolax pryeri</i>		○	
		ホソミアツバ	<i>Paracolax fentoni</i>	○	○	
		ヒロオビウスグロアツバ	<i>Hydrillodes morosa</i>	○	○	
		ソトウスグロアツバ	<i>Hydrillodes lentalis</i>	○	○	
		フタスジアツバ	<i>Bertula bistrigata</i>	○		
		シロスジアツバ	<i>Bertula spacoalis</i>	○	○	
		ヒゲブクロアツバ	<i>Nodaria tristis</i>	○	○	
		オオアカマエアツバ	<i>Simplicia nippona</i>	○	○	
		ニセアカマエアツバ	<i>Simplicia xanthoma</i>	○	○	
		ツマオビアツバ	<i>Mesoplectra griselda</i>	○	○	
		コブヒゲアツバ	<i>Zanclognatha lunalis</i>	○		
		ヒメコブヒゲアツバ	<i>Treitschkendia tarsipennalis</i>	○	○	
		ヒメツマオビアツバ	<i>Treitschkendia subgriselda</i>	○	○	
		キイロアツバ	<i>Treitschkendia helva</i>	○	○	
		チョウセンコウスグロアツバ	<i>Hypetrocon umbrosalis</i>	○	○	
		コウスグロアツバ	<i>Hypetrocon southi</i>		○	
		ウラジロアツバ	<i>Hypetrocon violacealis</i>		○	
		クロスジアツバ	<i>Herminia grisealis</i>	○	○	
		トビスジアツバ	<i>Herminia tarsicrinalis</i>	○	○	
		ウスキミスジアツバ	<i>Herminia arenosa</i>	○	○	
		フシキアツバ	<i>Herminia dolosa</i>	○	○	
		シラナミアツバ	<i>Herminia innocens</i>	○	○	
		ムモンキイロアツバ	<i>Stenhypena nigripuncta</i>	○	○	
		オオシラナミアツバ	<i>Hipoepa fractalis</i>	○	○	
		ネグロアツバ	<i>Sinarella punctalis</i>	○	○	
		ヒメクロアツバ	<i>Sinarella rotundipennis</i>	○	○	
		ハグルマトモエ	<i>Spirama helicina</i>		○	
		オオトモエ	<i>Erebus ephesperis</i>	○	○	
		シロスジトモエ	<i>Metopta rectifasciata</i>	○	○	
		カキバトモエ	<i>Hypopyra vespertilio</i>	○	○	
		アカテンクチバ	<i>Erygia apicalis</i>	○	○	
		アカエグリバ	<i>Oraesia excavata</i>	○	○	
		マダラエグリバ	<i>Plusiodonta casta</i>	○	○	
		アケビコノハ	<i>Eudocima tyrannus</i>		○	
		オオアカキリバ	<i>Rusicada privata</i>		○	
		ウスツマクチバ	<i>Dinumma deponens</i>	○		
		キシタバ	<i>Catocala patala</i>	○	○	
		ジョナスキシタバ	<i>Catocala jonasii</i>	○		
		クビグロクチバ	<i>Lygephila maxima</i>	○	○	
		ヒメクビグロクチバ	<i>Lygephila recta</i>	○	○	
		ナニワクビグロクチバ	<i>Lygephila lilacina</i>	○		
		モンムラサキクチバ	<i>Ercheia umbrosa</i>	○	○	
		ヒメアシブトクチバ	<i>Parallelia dulcis</i>	○		
		オオウンモンクチバ	<i>Mocis undata</i>	○		
		ウンモンクチバ	<i>Mocis annetta</i>	○	○	
		ニセウンモンクチバ	<i>Mocis ancilla</i>	○	○	
		ムクゲコノハ	<i>Thyas junio</i>	○		

表 3-1(42) 昆虫類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等
				実施 対象 区域 事業	周辺 地域	
チョウ	ヤガ	コウンモンクチバ	<i>Blasticorhinus ussuriensis</i>	○	○	
		ムラサキヒメクチバ	<i>Mecodina subviolacea</i>	○	○	
		カバフヒメクチバ	<i>Mecodina cineracea</i>	○		
		シャクドウクチバ	<i>Mecodina nubiferalis</i>	○	○	
		シラフクチバ	<i>Synoides picta</i>		○	
		クロシラフクチバ	<i>Synoides fumosus</i>	○		
		ハガタクチバ	<i>Daddala lucilla</i>	○	○	
		オオトウスグロクチバ	<i>Avitta fasciosa fasciosa</i>	○	○	
		ルリモンクチバ	<i>Lacera procellosa</i>	○		
		ヤマトホソヤガ	<i>Lophoptera hayesi</i>	○	○	
		キクキンウワバ	<i>Thysanoplusia intermixta</i>	○	○	
		エゾギクキンウワバ	<i>Ctenoplusia albostrata</i>	○	○	
		ミツモンキンウワバ	<i>Ctenoplusia agnata</i>	○	○	
		イチジクキンウワバ	<i>Chrysodeixis eriosoma</i>	○	○	
		ギンスジキンウワバ	<i>Erythroplusia rutilifrons</i>	○	○	
		セアカキンウワバ	<i>Erythroplusia pyropia</i>		○	
		ギンボンキンウワバ	<i>Antoculeora locuples</i>	○		
		タマナギンウワバ	<i>Autographa nigrisigna</i>		○	
		ヒメオビコヤガ	<i>Maliattha arefacta</i>	○		
		ヒメネジロコヤガ	<i>Maliattha signifera</i>	○	○	
		ネジロコヤガ	<i>Maliattha chalcogramma</i>	○	○	
		フタホシコヤガ	<i>Micardia pulchra</i>	○		
		シロフコヤガ	<i>Protodeltote pygarga</i>	○	○	
		シロマダラコヤガ	<i>Protodeltote distinguenda</i>		○	
		ニセシロマダラコヤガ	<i>Protodeltote inexpectata</i>	○		
		トビモンコヤガ	<i>Protodeltote brunnea</i>	○	○	
		Protodeltote属の一種	<i>Protodeltote sp.</i>	○	○	
		キモンコヤガ	<i>Koyaga numisma</i>	○	○	
		ウスシロフコヤガ	<i>Sugia stygia</i>	○	○	
		ニセシロフコヤガ	<i>Sugia erastroides</i>	○	○	
		ネモンシロフコヤガ	<i>Sugia idiostrygia</i>	○	○	
		マエモンコヤガ	<i>Chorsia japonica</i>	○	○	
		エゾコヤガ	<i>Chorsia noloides</i>		○	
		スジモンコヤガ	<i>Microxyla confusa</i>	○		
		ウスアオモンコヤガ	<i>Bryophilina mollicula</i>	○	○	
		モンキコヤガ	<i>Hyperstrotia flavipuncta</i>	○	○	
		ホシコヤガ	<i>Ozarba punctigera</i>	○	○	
		フタオビコヤガ	<i>Naranga aenescens</i>	○	○	
		ネグロヨトウ	<i>Chytonix albonotata</i>		○	
		フクラスズメ	<i>Arcte coerula</i>	○		
		ウスベリケンモン	<i>Anacronicta nitida</i>	○	○	
		ヨウスベリケンモン	<i>Anacronicta caliginea</i>	○		
		キバラケンモン	<i>Trichosea champa</i>	○	○	
		ゴマケンモン	<i>Moma alpium</i>	○	○	
		キクビゴマケンモン	<i>Moma koltthoffi</i>	○		
		アサケンモン	<i>Acronicta pruinosa</i>	○		
		シロシタケンモン	<i>Acronicta hercules</i>		○	
		ナシケンモン	<i>Acronicta rumicis</i>	○	○	
		クロフケンモン	<i>Cranionycta jankowskii</i>	○		
		シロフクロケンモン	<i>Narcotica niveosparsa</i>		○	
		アミケンモン	<i>Lophonycta confusa</i>	○	○	
		ヒメトラガ	<i>Asteropetes noctuina</i>		○	
		オオシマカラスヨトウ	<i>Amphipyra monolitha surnia</i>	○	○	
		シロスジカラスヨトウ	<i>Amphipyra tripartita</i>	○		
		オオウスヅマカラスヨトウ	<i>Amphipyra erebina</i>	○		
		オオタバコガ	<i>Helicoverpa armigera armigera</i>	○	○	○

表 3-1(43) 昆虫類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等
				実施区事業	周辺地域	
チョウ	ヤガ	ベニモンヨトウ	<i>Oligonyx vulnerata</i>	○	○	
		マエホシヨトウ	<i>Pyrrhivalva sordida</i>	○	○	
		ウスムラサキヨトウ	<i>Eucarta virgo</i>	○		
		モンオビヒメヨトウ	<i>Dysmilichia gemella</i>	○	○	
		フタテンヒメヨトウ	<i>Acosmetia biguttula</i>	○	○	
		シロマダラヒメヨトウ	<i>Iambia japonica</i>		○	
		キクビヒメヨトウ	<i>Prometopus flavicollis</i>	○	○	
		ムラサキツマキリヨトウ	<i>Callopietria juvenina</i>	○	○	
		ヒメツマキリヨトウ	<i>Callopietria duplicans</i>		○	
		ギンツマキリヨトウ	<i>Callopietria argyrosticta</i>	○	○	
		イチモジキノコヨトウ	<i>Bryophila granitalis</i>	○	○	
		キノコヨトウ	<i>Cryphia mitsuhashi</i>	○	○	
		マダラキノコヨトウ	<i>Cryphia sugitanii</i>	○	○	
		ウスアオキノコヨトウ	<i>Stenoloba clara</i>	○		
		ウンモンキノコヨトウ	<i>Stenoloba manleyi manleyi</i>	○	○	
		シロスジキノコヨトウ	<i>Stenoloba jankowskii</i>	○	○	
		ハスモンヨトウ	<i>Spodoptera litura</i>	○	○	
		スジキリヨトウ	<i>Spodoptera depravata</i>	○	○	
		ウスグロヨトウ	<i>Athetis funesta</i>		○	
		エゾウスイロヨトウ	<i>Athetis correpta</i>	○	○	
		テンウスイロヨトウ	<i>Athetis dissimilis</i>		○	
		シロテンウスグロヨトウ	<i>Athetis albispinata</i>	○	○	
		ヒメサビスジヨトウ	<i>Athetis stellata</i>	○	○	
		シロモンオビヨトウ	<i>Athetis lineosa</i>	○	○	
		シロスジアオヨトウ	<i>Trachea atriplicis</i>	○		
		オオシロテンアオヨトウ	<i>Trachea punkikonis lucilla</i>	○		
		ウスクロモクメヨトウ	<i>Dipterygina cupreotincta</i>	○	○	
		コクロモクメヨトウ	<i>Dipterygina japonica</i>	○		
		ノメセダカヨトウ	<i>Orthogonia sera</i>	○	○	
		コモクメヨトウ	<i>Actinotia intermedia</i>	○	○	
		アカガネヨトウ	<i>Euplexia lucipara</i>	○	○	
		シラオビアカガネヨトウ	<i>Phlogophora illustrata</i>	○		
		コゴマヨトウ	<i>Chandata bella</i>	○		
		アオアカガネヨトウ	<i>Karana laetevirens</i>	○	○	
		チャイロカドモンヨトウ	<i>Apamea sodalis</i>	○		
		アカモクメヨトウ	<i>Apamea aquila discrepans</i>	○	○	
		ネスジシラクモヨトウ	<i>Apamea hamptoni</i>	○		
		ホシミミヨトウ	<i>Mesapamea concinnata</i>	○		
		サッポロチャイロヨトウ	<i>Sapporia repetita</i>	○	○	
		マダラヨトウ	<i>Xenapamea pacifica</i>	○	○	
		カバマダラヨトウ	<i>Anapamea cuneatoides</i>	○		
		ハジマヨトウ	<i>Bambusiphila vulgaris</i>	○	○	
		ギンギシヨトウ	<i>Atrachea nitens</i>	○		
		ゴボウトガリヨトウ	<i>Gortyna fortis</i>	○		
		テンスジウスキヨトウ	<i>Coenobia orientalis</i>	○	○	
		テンオビヨトウ	<i>Sesamia turpis</i>	○	○	
		イネヨトウ	<i>Sesamia inferens</i>	○	○	
		ケンモンキリガ	<i>Egira saxeae</i>	○	○	
		キンイロキリガ	<i>Clavipalpula aurariae aurariae</i>	○	○	
		キミヤクヨトウ	<i>Dictyestra dissecta</i>	○		
フタスジヨトウ	<i>Protomiselia bilinea</i>	○	○			
シロシタヨトウ	<i>Sarcopolia illoba</i>	○				
フタオビキヨトウ	<i>Mythimna turca</i>	○	○			
クロシタキヨトウ	<i>Mythimna placida</i>	○	○			
カバフクロテンキヨトウ	<i>Mythimna salebrosa</i>	○				
クロテンキヨトウ	<i>Mythimna chosonicola</i>	○				

表 3-1(44) 昆虫類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等
				実施対象区域	周辺地域	
チョウ	ヤガ	マダラキョトウ	<i>Mythimna flavostigma</i>	○	○	
		ニセタマナヤガ	<i>Peridroma saucia</i>	○		
		タマナヤガ	<i>Agrotis ipsilon</i>	○	○	
		カブラヤガ	<i>Agrotis segetum</i>	○		
		モクメヤガ	<i>Axylia putris</i>	○	○	
		マエジロヤガ	<i>Ochropleura plecta glaucimacula</i>	○	○	
		ホシボシヤガ	<i>Hermonassa arenosa</i>	○		
		クロクモヤガ	<i>Hermonassa cecilia</i>	○	○	
		オオカバスジヤガ	<i>Sineugraphe oceanica</i>	○		
		コウスチャヤガ	<i>Diarsia deparca</i>	○	○	
		オオハコヤガ	<i>Diarsia canescens</i>	○	○	
		アカフヤガ	<i>Diarsia pacifica</i>	○	○	
		ウスイロアカフヤガ	<i>Diarsia ruficauda</i>	○	○	
		シロモンヤガ	<i>Xestia c-nigrum c-nigrum</i>		○	
		マエキヤガ	<i>Xestia stupenda</i>		○	
		キシタミドリヤガ	<i>Xestia efflorescens</i>	○	○	
		ハイロキシタヤガ	<i>Xestia semiherbida decorata</i>	○	○	
カギモンヤガ	<i>Cerastis pallescens</i>	○				
ハチ	ヒラタハバチ	ツヤヒラタハバチ	<i>Onycholyda lucida</i>	○		
	ミフシハバチ	ニレチュウレンジ	<i>Arge captiva</i>		○	
		ニホンチュウレンジ	<i>Arge nipponensis</i>		○	
		チュウレンジバチ	<i>Arge pagana</i>	○		
		ルリチュウレンジ	<i>Arge similis</i>	○	○	
		Arge 属の一種	<i>Arge sp.</i>		○	
		ミフシハバチ科の一種	Argidae gen. sp.	○		
	コンボウハバチ	アカガネコンボウハバチ	<i>Abia iridescens</i>	○		
	ハバチ	ハグロハバチ	<i>Allantus luctifer</i>			○
		ウツギハバチ	<i>Asiemphtus deutziae</i>	○		
		セグロカブラハバチ	<i>Athalia infumata</i>	○	○	
		ニホンカブラハバチ	<i>Athalia japonica</i>	○	○	
		イヌノフグリハバチ	<i>Athalia kashmirensis</i>		○	
		カブラハバチ	<i>Athalia rosae ruficornis</i>		○	
		クシヒゲハバチ	<i>Cladius pectinicornis</i>	○	○	
		オスグロハバチ	<i>Dolerus similis japonicus</i>	○	○	
		Dolerus 属の一種	<i>Dolerus sp.</i>			○
		ヒゲナガハバチ	<i>Lagidina platycerus</i>	○	○	
		カタアカスギナハバチ	<i>Loderus genucinctus insulicola</i>			○
		クロハバチ	<i>Macrophya ignava</i>			○
		Macrophya 属の一種	<i>Macrophya sp.</i>	○		
		Paracharactus 属の一種	<i>Paracharactus sp.</i>			○
		Tenthredo 属の一種	<i>Tenthredo sp.</i>	○	○	
		ハグロハバチ亜科の一種	Allantinae gen. sp.			○
		シダハバチ亜科の一種	Selandriinae gen. sp.	○	○	
	ハバチ科の一種	Tenthredinidae gen. sp.	○	○		
	キバチ	ニホンキバチ	<i>Urocerus japonicus</i>	○		
	クキバチ	クロバクキバチ	<i>Calameuta nigripennis</i>		○	
	アシプトコバチ	キアシプトコバチ	<i>Brachymeria lasus</i>		○	
		Brachymeria 属の一種	<i>Brachymeria sp.</i>	○	○	
	オナゴコバチ	オナゴコバチ科の一種	Torymidae gen. sp.		○	
	カタビロコバチ	カタビロコバチ科の一種	Eurytomidae gen. sp.	○	○	
	コガネコバチ	コガネコバチ科の一種	Pteromalidae gen. sp.	○	○	
	ハエヤドリコバチ	ハエヤドリコバチ科の一種	Diapriidae gen. sp.	○	○	
	タマゴクロバチ	タマゴクロバチ科の一種	Scelionidae gen. sp.	○	○	
	ホソハネコバチ	ホソハネコバチ科の一種	Mymaridae gen. sp.	○		
	タマバチ	タマバチ科の一種	Cynipidae gen. sp.	○		
ツヤヤドリタマバチ	ツヤヤドリタマバチ科の一種	Eucoilidae gen. sp.	○	○		

表 3-1(45) 昆虫類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等	
				実施対象区域	周辺地域		
ハチ	トビコバチ	トビコバチ科の一種	Encyrtidae gen. sp.	○	○		
		ヒメコバチ	ヒメコバチ科の一種	Eulophidae gen. sp.	○	○	
		-	コバチ上科の一種	Chalcidoidea fam. gen. sp.	○	○	
	コマユバチ	ヨコハママダラコマユバチ	<i>Pseudoshirakia yokohamensis</i>			○	
		Ascogaster 属の一種	<i>Ascogaster</i> sp.	○	○		
		コマユバチ科の一種	Braconidae gen. sp.	○	○		
	ヒメバチ	イヨヒメバチ	<i>Amblyjoppa protens</i>			○	
		マダラヒメバチ	<i>Ichneumon yumyum</i>			○	
		オオホシオナガバチ	<i>Megarhyssa praezellens</i>	○			
		アメバチ亜科の一種	Ophioninae gen. sp.	○	○		
	アリガタバチ	ムカシアリガタバチ	<i>Acrepyris japonicus</i>	○			
		アリガタバチ科の一種	Bethylidae gen. sp.	○			
	アリバチ	トゲムネアリバチ	<i>Bischoffitilla ardescens</i>	○			
		ムネアカアリバチ	<i>Bischoffitilla pungens</i>			○	
	コツチバチ	マメコガネコツチバチ	<i>Tiphia phyllophagae</i>	○	○		
		Tiphia 属の一種	<i>Tiphia</i> sp.	○	○		
		ヒメハラナガツチバチ	<i>Campsomeriella annulata annulata</i>	○	○		
		キンケハラナガツチバチ	<i>Megacampsomeris prismatica</i>	○	○		
		シロオビハラナガツチバチ	<i>Megacampsomeris schulthessi</i>	○			
		Megacampsomeris 属の一種	<i>Megacampsomeris</i> sp.	○			
	クモバチ	オオモンクモバチ	<i>Anoplius samariensis</i>			○	
		Anoplius 属の一種	<i>Anoplius</i> sp.	○	○		
		ベレヒゲクモバチ	<i>Dipogon conspersus</i>	○			
		<i>Pompilus cinereus</i>	<i>Pompilus cinereus</i>	○			
		Priocnemis 属の一種	<i>Priocnemis</i> sp.	○	○		
		クモバチ科の一種	Pompilidae gen. sp.			○	
	アリ	アシナガアリ	<i>Aphaenogaster famelica</i>	○	○		
		ヤマトアシナガアリ	<i>Aphaenogaster japonica</i>	○	○		
		ケブカツヤオオアリ	<i>Camponotus nipponensis</i>	○			
		ヨツボシオオアリ	<i>Camponotus quadrinotatus</i>	○			
		クロオオアリ	<i>Camponotus japonicus</i>	○	○		
		ミカドオオアリ	<i>Camponotus kiusiuensis</i>	○	○		
		ムネアカオオアリ	<i>Camponotus obscuripes</i>	○	○		
		ウメマツオオアリ	<i>Camponotus vitiosus</i>	○	○		
		Camponotus 属の一種	<i>Camponotus</i> sp.			○	
		ハリプトシリアゲアリ	<i>Crematogaster matsumurai</i>	○	○		
		キイロシリアゲアリ	<i>Crematogaster osakensis</i>	○	○		
		テラニシシリアゲアリ	<i>Crematogaster teranishii</i>	○	○		
		Crematogaster 属の一種	<i>Crematogaster</i> sp.	○			
		トゲズネハリアリ	<i>Cryptopone sauteri</i>	○			
		シベリアカタアリ	<i>Dolichoderus sibiricus</i>			○	
		クロヤマアリ	<i>Formica japonica</i>	○	○		
		キイロケアリ	<i>Lasius flavus</i>	○	○		
		クロクサアリ	<i>Lasius fuji</i>			○	
		トビイロケアリ	<i>Lasius japonicus</i>	○	○		
		ヒラアシクサアリ	<i>Lasius spathepus</i>	○	○		
		Lasius 属の一種	<i>Lasius</i> sp.			○	
		クロナガアリ	<i>Messor aciculatus</i>	○			
		ヒメアリ	<i>Monomorium intrudens</i>	○	○		
		キイロヒメアリ	<i>Monomorium triviale</i>	○			
		カドフシアリ	<i>Myrmecina nipponica</i>	○			
		シワクシケアリ	<i>Myrmica kotokui</i>			○	
ルリアリ		<i>Ochetellus glaber</i>	○				
オオハリアリ		<i>Pachycondyla chinensis</i>	○	○			

表 3-1(46) 昆虫類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等
				実施 対象 区事 域業	周辺 地域	
ハチ	アリ	アメイロアリ	<i>Paratrechina flavipes</i>	○	○	
		サクラアリ	<i>Paratrechina sakurae</i>	○		
		アズマオオズアリ	<i>Pheidole fervida</i>	○	○	
		トゲアリ	<i>Polyrhachis lamellidens</i>	○	○	
		チクシトゲアリ	<i>Polyrhachis moesta</i>	○	○	
		ヒメハリアリ	<i>Ponera japonica</i>		○	
		アミメアリ	<i>Pristomyrmex punctatus</i>	○	○	
		イトウカギバラアリ	<i>Proceratium itoi</i>	○		
		ウロコアリ	<i>Strumigenys lewisi</i>	○		
		ヒメムネボソアリ	<i>Temnothorax arimensis</i>	○		
		ムネボソアリ	<i>Temnothorax congruus</i>	○	○	
		ハリナガムネボソアリ	<i>Temnothorax spinosior</i>	○	○	
		トビイロシワアリ	<i>Tetramorium tsushimae</i>	○	○	
		ウメマツアリ	<i>Vollenhovia emeryi</i>		○	
		カタアリ亜科の一種	Dolichoderinae gen. sp.	○	○	
		ハリアリ亜科の一種	Ponerinae gen. sp.	○		
		ヤマアリ亜科の一種	Formicinae gen. sp.	○	○	
	アリ科の一種	Formicidae gen. sp.	○	○		
	スズメバチ	ムモンホソアシナガバチ	<i>Parapolybia crocea</i>	○	○	
		ヒメホソアシナガバチ	<i>Parapolybia varia</i>	○		
		ヤマトアシナガバチ	<i>Polistes japonicus japonicus</i>	○	○	
		キボシアシナガバチ	<i>Polistes nipponensis</i>	○	○	
		キアシナガバチ	<i>Polistes rothneyi iwatai</i>	○	○	
		コガタスズメバチ	<i>Vespa analis insularis</i>		○	
		モンズズメバチ	<i>Vespa crabro flavofasciata</i>	○	○	
		ヒメズズメバチ	<i>Vespa ducalis pulchra</i>		○	
		オオズズメバチ	<i>Vespa mandarina japonica</i>	○	○	
		キイロスズメバチ	<i>Vespa simillima xanthoptera</i>	○	○	
		クロスズメバチ	<i>Vespula flaviceps lewisii</i>	○	○	
		ドロバチ	ミカドツクリバチ	<i>Eumenes micado</i>	○	○
	エントツドロバチ		<i>Orancistrocerus drewseni</i>	○	○	
	スズバチ		<i>Oreumenes decoratus</i>	○	○	
	カタグロチビドロバチ		<i>Stenodynerus chinensis kalinowskii</i>		○	
	<i>Symmorphus</i> 属の一種		<i>Symmorphus</i> sp.		○	
	アナバチ	サトジガバチ	<i>Ammophila vagabunda</i>		○	
	ギングチバチ	シロスジギングチ	<i>Ectemnius iridifrons</i>		○	
		カオキンヨコバイバチ	<i>Psen aurifrons</i>		○	
		ジئمヨコバイバチ	<i>Psen dzimm</i>	○		
		ヒメハヤバチ	<i>Tachytes fruticis</i>		○	
		オオハヤバチ	<i>Tachytes sinensis sinensis</i>		○	
	ムカシハナバチ	スミスメンハナバチ	<i>Hylaeus floralis</i>		○	
	ヒメハナバチ	ミカドヒメハナバチ	<i>Andrena mikado</i>		○	
<i>Andrena</i> 属の一種		<i>Andrena</i> sp.	○	○		
コハナバチ	アカガネコハナバチ	<i>Halictus aerarius</i>		○		
	サビイロカタコハナバチ	<i>Lasioglossum mutillum</i>		○		
	ニッポンカタコハナバチ	<i>Lasioglossum nipponicola</i>	○			
	シロスジカタコハナバチ	<i>Lasioglossum occidens</i>	○			
	フタモンカタコハナバチ	<i>Lasioglossum scitulum</i>		○		
	<i>Lasioglossum</i> 属の一種	<i>Lasioglossum</i> sp.	○	○		
	ヤスマツコンボウハナバチ	<i>Lipotrichus yasumatsui</i>	○	○		
ハキリバチ	ヤトガリハナバチ	<i>Coelioxys yanonis</i>	○	○		
	ハラアカヤドリハキリバチ	<i>Euaspis basalis</i>	○	○		
	スミスハキリバチ	<i>Megachile humilis</i>		○		
	バラハキリバチ	<i>Megachile nipponica</i>		○		
	クズハキリバチ	<i>Megachile pseudomonticola</i>		○		
	ツルガハキリバチ	<i>Megachile tsurugensis</i>	○	○		

表 3-1(47) 昆虫類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等
				実対象区事業	周辺地域	
ハチ	ハキリバチ	ムナカタハキリバチ	<i>Megachile willughbiella munakatai</i>	○	○	
		Megachile属の一種	<i>Megachile</i> sp.		○	
	ミツバチ	ヤマトツヤハナバチ	<i>Ceratina japonica</i>	○	○	
		Ceratina属の一種	<i>Ceratina</i> sp.		○	
		キムネクマバチ	<i>Xylocopa appendiculata circumvolans</i>	○	○	
		タケクマバチ	<i>Xylocopa tranquebarorum</i>	○	○	
		ニッポンヒゲナガハナバチ	<i>Eucera nipponensis</i>	○	○	
		ヒゲナガキマダラハナバチ	<i>Nomada hakonensis</i>	○		
		ダイミョウキマダラハナバチ	<i>Nomada japonica</i>		○	
		カグヤキマダラハナバチ	<i>Nomada kaguya</i>		○	
		Nomada属の一種	<i>Nomada</i> sp.	○	○	
		ヨマルハナバチ	<i>Bombus ardens ardens</i>	○	○	
		ニホンミツバチ	<i>Apis cerana japonica</i>		○	
		22目	345科		2,415種	1,942

- 注：1. 種名及び配列は基本的に「グリーンデータブックあいち 2018」（2018年、愛知県）による。「科・属の一種」は、種の同定に至っていないが、同一の科・属に属する種が確認されていない場合は一種として種数に含む。
2. 種の同定に当たっては、外部形態や斑紋による識別を基本としており、内部生殖器の確認は行っていない。
3. 外来種等については、「ブルーデータブックあいち 2021」（2021年、愛知県）の掲載種、「特定外来生物等一覧（最終更新：2021年8月）」に掲載されている特定外来生物及び「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」（2015年3月26日）の掲載種を「○」で示す。

4 底生動物確認種リスト

表 4-1(1) 底生動物確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等
				対象 区 事業	周辺 地 域	
三岐腸	サンカクアタマウズムシ	ナミウズムシ	<i>Dugesia japonica</i>	○	○	
—	—	有棒状体綱の一種	<i>Rhabditophora</i> gen. sp.	○	○	
ハリヒモムシ	マミズヒモムシ	ミズヒモムシ属の一種	<i>Prostoma</i> sp.	○	○	
新生腹足	タニシ	マルタニシ	<i>Cipangopaludina chinensis laeta</i>	○	○	
	カワニナ	カワニナ	<i>Semisulcospira libertina</i>	○	○	
	カワニナ属の一種		<i>Semisulcospira</i> sp.	○	○	
汎有肺	モノアラガイ	ヒメモノアラガイ	<i>Fossaria ollula</i>	○	○	○
		コシダカヒメモノアラガイ	<i>Fossaria truncatula</i>		○	○
		ハブタエモノアラガイ	<i>Pseudosuccinea columella</i>	○	○	○
		モノアラガイ科の一種	Lymnaeidae gen. sp.	○	○	
	サカマキガイ	サカマキガイ	<i>Physa acuta</i>	○	○	○
	ヒラマキガイ	ヒラマキミズマイマイ	<i>Gyraulus chinensis spirillus</i>	○	○	
		ヒメヒラマキミズマイマイ	<i>Gyraulus pulcher</i>	○	○	
		ミズコハクガイ	<i>Gyraulus soritai</i>	○	○	
		ヒラマキガイモドキ	<i>Polypylis hemisphaerula</i>	○	○	
	カワコザラガイ	<i>Ferrissia</i> 属の一種	<i>Ferrissia</i> sp.	○	○	
マルスダレガイ	シジミ	タイワンシジミ	<i>Corbicula fluminea</i>	○	○	○
		シジミ属の一種	<i>Corbicula</i> sp.		○	
	マメシジミ	マメシジミ属の一種	<i>Pisidium</i> sp.	○	○	
	ドブシジミ	ドブシジミ	<i>Sphaerium japonicum</i>	○	○	
ナガミズ	ナガミズ	ナガミズ科の一種	Haplotaxidae gen. sp.	○		
オヨギミズ	オヨギミズ	オヨギミズ科の一種	Lumbriculidae gen. sp.	○	○	
イトミズ	ヒメミズ	ヒメミズ科の一種	Enchytraeidae gen. sp.	○	○	
		ミズミズ	エラミズ	<i>Branchiura sowerbyi</i>	○	
	ミズミズ	ヤドリミズミズ属の一種	<i>Chaetogaster</i> sp.	○		
		ピワゴレイトミズ	<i>Embolecephalus yamaguchii</i>	○	○	
		フトゲユリミズ	<i>Limnodrilus grandisetosus</i>	○		
		ユリミズ	<i>Limnodrilus hoffmeisteri</i>	○		
		ミツゲミズミズ	<i>Nais bretscheri</i>			○
		ミズミズ属の一種	<i>Nais</i> sp.	○	○	
		クロオビミズミズ	<i>Ophidonais serpentina</i>			○
		ヨゴレミズミズ	<i>Slavina appendiculata</i>	○	○	
		テングミズミズ	<i>Stylaria fossularis</i>	○	○	
		ミズミズ亜科の一種	Naidinae gen. sp.	○	○	
		ミズミズ科の一種	Naididae gen. sp.	○	○	
		ヤマトヒモミズ	<i>Biwadrilus bathybates</i>	○	○	
ツリミズ	ヒモミズ	ヤマトヒモミズ	<i>Biwadrilus bathybates</i>	○	○	
	ツリミズ	ツリミズ科の一種	Lumbricidae gen. sp.	○	○	
	フトミズ	フトミズ属の一種	<i>Pheretima</i> sp.	○	○	
	—	ツリミズ目の一種	Lumbricida gen. sp.	○	○	
物蛭	ヒラタビル	ヌマビル	<i>Helobdella stagnalis</i>	○	○	
		ヒラタビル科の一種	Glossiphoniidae gen. sp.	○		
物無蛭	チスイビル	チスイビル	<i>Hirudo nipponica</i>	○	○	
	ヘモビ	セスジビル	<i>Whitmania edentula</i>	○		
	イシビル	シマイシビル	<i>Dina lineata</i>	○	○	
	ナガレビル	ナガレビル科の一種	Salifidae gen. sp.	○	○	
ダニ	ナガレダニ	ナガレダニ属の一種	<i>Sperchon</i> sp.	○	○	
		オニナガレダニ属の一種	<i>Sperchonopsis</i> sp.		○	
	アオイダニ	アオイダニ属の一種	<i>Lebertia</i> sp.		○	
	マリアシダニ	マリアシダニ属の一種	<i>Attractides</i> sp.		○	
	—	オヨギダニ属の一種	<i>Hygrobates</i> sp.		○	
—	ダニ目の一種	Acarina gen. sp.		○		
ヨコエビ	メクラヨコエビ	メクラヨコエビ属の一種	<i>Pseudocrangonyx</i> sp.	○		
ワラジムシ	ミズムシ	ミズムシ	<i>Asellus hilgendorfi hilgendorfi</i>	○	○	
エビ	ヌマエビ	カワリヌマエビ属の一種	<i>Neocaridina</i> sp.		○	○
		ヌカエビ	<i>Paratya improvisa</i>	○		

表 4-1(2) 底生動物確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等
				実施区事業	周辺地域	
エビ	サワガニ	サワガニ	<i>Geothelphusa dehaani</i>	○	○	
カゲロウ	トビイロカゲロウ	ヒメトビイロカゲロウ	<i>Choroterpes alticulus</i>	○	○	
		ウエストントビイロカゲロウ	<i>Paraleptophlebia westoni</i>	○		
		トビイロカゲロウ属の一種	<i>Paraleptophlebia</i> sp.	○	○	
		カワカゲロウ	キイロカワカゲロウ	<i>Potamanthus formosus</i>		○
	モンカゲロウ	フタスジモンカゲロウ	<i>Ephemera japonica</i>	○	○	
		モンカゲロウ	<i>Ephemera strigata</i>	○	○	
		モンカゲロウ属の一種	<i>Ephemera</i> sp.	○	○	
	ヒメシロカゲロウ	ヒメシロカゲロウ属の一種	<i>Caenis</i> sp.		○	
	マダラカゲロウ	オオクママダラカゲロウ	<i>Cincticostella elongatula</i>	○	○	
		クロマダラカゲロウ	<i>Cincticostella nigra</i>	○	○	
		トウヨウマダラカゲロウ属の一種	<i>Cincticostella</i> sp.		○	
		オオマダラカゲロウ	<i>Drunella basalis</i>	○	○	
		ヨシノマダラカゲロウ	<i>Drunella ishiyamana</i>		○	
		トゲマダラカゲロウ属の一種	<i>Drunella</i> sp.		○	
		シリナガマダラカゲロウ	<i>Ephacereella longicaudata</i>		○	
		ホンバマダラカゲロウ	<i>Ephemerella atagosana</i>		○	
		イマニシマダラカゲロウ	<i>Ephemerella occiprens</i>		○	
		クシゲマダラカゲロウ	<i>Ephemerella setigera</i>		○	
		マダラカゲロウ属の一種	<i>Ephemerella</i> sp.		○	
		アカマダラカゲロウ	<i>Teleganopsis punctisetae</i>	○	○	
		エラブタマダラカゲロウ	<i>Torleya japonica</i>	○	○	
	ヒメフタオカゲロウ	ヒメフタオカゲロウ属の一種	<i>Ameletus</i> sp.	○	○	
	コカゲロウ	ミツオミジカオフタバコカゲロウ	<i>Acentrella gnom</i>		○	
		ヨシノコカゲロウ	<i>Alainites yoshinensis</i>	○	○	
		フタバコカゲロウ	<i>Baetiella japonica</i>	○	○	
		サホコカゲロウ	<i>Baetis sahoensis</i>	○	○	
		フタモンコカゲロウ	<i>Baetis taiwanensis</i>	○	○	
		シロハラコカゲロウ	<i>Baetis thermicus</i>	○	○	
		フタバカゲロウ属の一種	<i>Cloeon</i> sp.	○	○	
		ウスイロフトヒゲコカゲロウ	<i>Labiobaetis atrebatinus orientalis</i>	○	○	
		トゲエラトビイロコカゲロウ	<i>Nigrobaetis acinaciger</i>		○	
		ヒメウスバコカゲロウ属の一種	<i>Proclaeon</i> sp.	○		
		ウデマガリコカゲロウ	<i>Tenuibaetis flexifemora</i>	○	○	
		コバネヒゲトガリコカゲロウ	<i>Tenuibaetis parvipterus</i>		○	
		チラカゲロウ	チラカゲロウ	<i>Isonychia valida</i>	○	○
	ヒラタカゲロウ	クロタニガワカゲロウ	<i>Ecdyonurus tobiironis</i>		○	
		シロタニガワカゲロウ	<i>Ecdyonurus yoshidae</i>	○	○	
タニガワカゲロウ属の一種		<i>Ecdyonurus</i> sp.	○	○		
ウエ/ヒラタカゲロウ		<i>Epeorus curvatus</i>		○		
ナミヒラタカゲロウ		<i>Epeorus ikanonis</i>		○		
エルモンヒラタカゲロウ		<i>Epeorus latifolium</i>		○		
ユミモンヒラタカゲロウ		<i>Epeorus nipponicus</i>	○	○		
ヒラタカゲロウ属の一種		<i>Epeorus</i> sp.		○		
キョウトキハダヒラタカゲロウ		<i>Heptagenia kyotoensis</i>		○		
キハダヒラタカゲロウ		<i>Kageronia kihada</i>	○	○		
ヒメヒラタカゲロウ属の一種		<i>Rhithrogena</i> sp.		○		
ヒラタカゲロウ科の一種	Heptageniidae gen. sp.	○				
トンボ	アオイトトンボ	オオアオイトトンボ	<i>Lestes temporalis</i>	○		
		アオイトトンボ属の一種	<i>Lestes</i> sp.	○		
		オツネイトトンボ	<i>Sympecma paedisca</i>	○		
	イトトンボ	キイトトンボ	<i>Ceragrion melanurum</i>	○		
		アオモンイトトンボ属の一種	<i>Ischnura</i> sp.	○		
		クロイトトンボ属の一種	<i>Paracercion</i> sp.	○	○	
		イトトンボ科の一種	Coenagrionidae gen. sp.	○	○	
カワトンボ	ハグロトンボ	<i>Atrocalopteryx atrata</i>		○		

表 4-1(3) 底生動物確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等	
				実 施 区 事 業	周 辺 地 域		
トンボ	カワトンボ	ミヤマカワトンボ	<i>Calopteryx cornelia</i>		○		
		アオハダトンボ	<i>Calopteryx japonica</i>		○		
		ニホンカワトンボ	<i>Mnais costalis</i>	○	○		
		アサヒナカワトンボ	<i>Mnais pruinosa</i>	○	○		
		カワトンボ属の一種	<i>Mnais</i> sp.	○	○		
		アオハダトンボ族の一種	Calopterygini gen. sp.		○		
	ヤンマ	オオルリボシヤンマ	<i>Aeshna crenata</i>	○			
		マルタンヤンマ	<i>Anaciaeschna martini</i>	○			
		クロスジギンヤンマ	<i>Anax nigrofasciatus nigrofasciatus</i>	○	○		
		ギンヤンマ	<i>Anax parthenope julius</i>	○			
		コシボシヤンマ	<i>Boyeria maclachlani</i>	○	○		
		ミルンヤンマ	<i>Planaeschna milnei milnei</i>	○	○		
		ヤブヤンマ	<i>Polycanthagyna melanictera</i>	○			
		ヤンマ科の一種	Aeschnidae gen. sp.	○			
	サナエトンボ	ヤマサナエ	<i>Asiagomphus melaenops</i>	○	○		
		ダビドサナエ	<i>Davidius nanus</i>	○	○		
		ダビドサナエ属の一種	<i>Davidius</i> sp.	○	○		
		ヒメクロサナエ	<i>Lanthus fujiacus</i>		○		
		オナガサナエ	<i>Melligomphus viridicostus</i>	○	○		
		コオニヤンマ	<i>Sieboldius albardae</i>	○	○		
		オジロサナエ	<i>Stylogomphus suzukii</i>	○	○		
		タバサナエ	<i>Trigomphus citimus tabei</i>	○			
	サナエトンボ科の一種	Gomphidae gen. sp.	○				
	オニヤンマ	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>	○	○		
	エプトンボ	コヤマトンボ	<i>Macromia amphigena amphigena</i>		○		
		タカネトンボ	<i>Somatochlora uchidai</i>	○			
	トンボ	ショウジョウトンボ	<i>Crocothemis servilia mariannae</i>	○			
		ヨツボシトンボ	<i>Libellula quadrimaculata asahinai</i>	○			
		シオカラトンボ	<i>Orthetrum albistylum speciosum</i>	○	○		
		シオヤトンボ	<i>Orthetrum japonicum</i>	○			
		オオシオカラトンボ	<i>Orthetrum melania</i>	○	○		
		アキアカネ	<i>Sympetrum frequens</i>	○			
		コノシメトンボ	<i>Sympetrum baccha matutinum</i>	○			
		アカネ属の一種	<i>Sympetrum</i> sp.	○	○		
	カワゲラ	ホソカワゲラ	ホソカワゲラ科の一種	Leuctridae gen. sp.	○		
		オナシカワゲラ	フサオナシカワゲラ属の一種	<i>Amphinemura</i> sp.	○	○	
			オナシカワゲラ属の一種	<i>Nemoura</i> sp.	○	○	
		カワゲラ	カミムラカワゲラ	<i>Kamimuria tibialis</i>	○	○	
			カミムラカワゲラ属の一種	<i>Kamimuria</i> sp.		○	
			フタツメカワゲラ属の一種	<i>Neoperla</i> sp.	○	○	
			ヤマトカワゲラ	<i>Niponiella limbatella</i>	○	○	
スズキクラカケカワゲラ			<i>Paragnetina suzukii</i>		○		
オオクラカケカワゲラ			<i>Paragnetina tinctipennis</i>		○		
クラカケカワゲラ属の一種			<i>Paragnetina</i> sp.		○		
カワゲラ科の一種			Perlidae gen. sp.	○	○		
アミメカワゲラ		クサカワゲラ属の一種	<i>Isoperla</i> sp.	○			
		ヒメカワゲラ属の一種	<i>Stavsolus</i> sp.		○		
		アミメカワゲラ科の一種	Perlodidae gen. sp.		○		
カメムシ		アメンボ	アメンボ	<i>Aquarius paludum paludum</i>	○	○	
	ヒメアメンボ		<i>Gerris latiauratus</i>	○	○		
	コセアカアメンボ		<i>Gerris gracilicornis</i>	○			
	ヤスマツアメンボ		<i>Gerris insularis</i>	○			
	ヒメアメンボ属の一種		<i>Gerris</i> sp.	○			
	シマアメンボ		<i>Metrocoris histrio</i>	○	○		
	イトアメンボ	<i>Hydrometra procera</i>	○				
ミズムシ	アサヒナコミズムシ	<i>Sigara maikoensis</i>		○			

表 4-1(4) 底生動物確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等
				実施区 事業	周辺 地域	
カメムシ	ミズムシ	ヒメコミズムシ	<i>Sigara matsumurai</i>	○		
		エサキコミズムシ	<i>Sigara septemlineata</i>	○		
		コミズムシ属の一種	<i>Sigara</i> sp.	○	○	
	メズムシ	メズムシ	<i>Ochterus marginatus</i>	○		
	コオイムシ	コオイムシ	<i>Appasus japonicus</i>	○	○	
	タイコウチ	タイコウチ	<i>Laccotrephes japonensis</i>	○		
		ヒメタイコウチ	<i>Nepa hoffmanni</i>	○		
	マツモムシ	コマツモムシ	<i>Anisops ogasawarensis</i>	○		
		マツモムシ	<i>Notonecta triguttata</i>	○	○	
	マルミズムシ	ヒメマルミズムシ	<i>Paraplea indistinguenda</i>	○		
マルミズムシ		<i>Paraplea japonica</i>	○			
ヘビトンボ	ヘビトンボ	ヤマトクロスジヘビトンボ	<i>Parachauliodes japonicus</i>	○		
		クロスジヘビトンボ属の一種	<i>Parachauliodes</i> sp.	○		
	センブリ	センブリ属の一種	<i>Sialis</i> sp.	○		
トビケラ	シマトビケラ	コガタシマトビケラ	<i>Cheumatopsyche brevilineata</i>	○	○	
		ナミコガタシマトビケラ	<i>Cheumatopsyche infascia</i>	○	○	
		コガタシマトビケラ属の一種	<i>Cheumatopsyche</i> sp.	○	○	
		ウルマーシマトビケラ	<i>Hydropsyche orientalis</i>	○	○	
		シマトビケラ属の一種	<i>Hydropsyche</i> sp.	○	○	
		シロフツヤトビケラ属の一種	<i>Parapsyche</i> sp.	○	○	
		ミヤマシマトビケラ亜科の一種	Diplectroninae gen. sp.	○	○	
	カワトビケラ	ツダコタニガワトビケラ	<i>Chimarra tsudai</i>	○	○	
		ヒメタニガワトビケラ属の一種	<i>Wormaldia</i> sp.	○		
	イワトビケラ	イワトビケラ科の一種	Polycentropodidae gen. sp.	○	○	
	クダトビケラ	オオクダトビケラ属の一種	<i>Eoneureclipsis</i> sp.	○		
		クダトビケラ属の一種	<i>Psychomyia</i> sp.	○	○	
		クダトビケラ科の一種	Psychomyiidae gen. sp.	○		
	ヒゲナガカワトビケラ	ヒゲナガカワトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>	○	○	
	ヤマトビケラ	コヤマトビケラ属の一種	<i>Agapetus</i> sp.		○	
		ヤマトビケラ属の一種	<i>Glossosoma</i> sp.	○	○	
	カワリナガレトビケラ	ツメナガナガレトビケラ	<i>Apsilochorema sutshanum</i>	○		
	ヒメトビケラ	ヒメトビケラ属の一種	<i>Hydroptila</i> sp.		○	
		ハゴイタヒメトビケラ属の一種	<i>Oxyethira</i> sp.	○		
	ナガレトビケラ	ヒロアタマナガレトビケラ	<i>Rhyacophila brevicephala</i>		○	
		クレメンスナガレトビケラ	<i>Rhyacophila clemens</i>		○	
		カワムラナガレトビケラ	<i>Rhyacophila kawamurae</i>		○	
		ムナグロナガレトビケラ	<i>Rhyacophila nigrocephala</i>		○	
		ヤマナカナガレトビケラ	<i>Rhyacophila yamanakensis</i>		○	
		ヨシイナガレトビケラ	<i>Rhyacophila yosiana</i>	○		
		<i>Rhyacophila</i> sp. (Anatina group)	<i>Rhyacophila</i> sp. (Anatina group)	○	○	
		<i>Rhyacophila</i> sp. (Nigrocephala group)	<i>Rhyacophila</i> sp. (Nigrocephala group)	○	○	
	ナガレトビケラ属の一種	<i>Rhyacophila</i> sp.	○	○		
	コエグリトビケラ	コエグリトビケラ属の一種	<i>Apatania</i> sp.	○	○	
	カクスイトビケラ	ハナセマルツツトビケラ	<i>Micrasema hanasense</i>	○	○	
		マルツツトビケラ	<i>Micrasema quadriloba</i>		○	
		ウエノマルツツトビケラ	<i>Micrasema uenoi</i>		○	
		マルツツトビケラ属の一種	<i>Micrasema</i> sp.	○	○	
	ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ	<i>Goera japonica</i>	○	○	
		ニンギョウトビケラ属の一種	<i>Goera</i> sp.	○	○	
	カタツムリトビケラ	カタツムリトビケラ	<i>Helicopsyche yamadai</i>	○		
	カクツツトビケラ	オオカクツツトビケラ	<i>Lepidostoma crassicorne</i>	○	○	
		カクツツトビケラ属の一種	<i>Lepidostoma</i> sp.	○	○	
	ヒゲナガトビケラ	タテヒゲナガトビケラ属の一種	<i>Ceraclea</i> sp.		○	
		ヒゲナガトビケラ属の一種	<i>Leptocerus</i> sp.		○	
		クサツミトビケラ属の一種	<i>Oecetis</i> sp.	○	○	
		セトトビケラ属の一種	<i>Setodes</i> sp.		○	

表 4-1(5) 底生動物確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等
				実施区事業	周辺地域	
トビケラ	ヒゲナガトビケラ	ヒゲナガトビケラ科の一種	Leptoceridae gen. sp.		○	
	エグリトビケラ	トビイロトビケラ	<i>Nothopsyche pallipes</i>	○	○	
		ホタルトビケラ	<i>Nothopsyche ruficollis</i>	○	○	
		エグリトビケラ科の一種	Limnephilidae gen. sp.	○	○	
	ホソバトビケラ	ホソバトビケラ	<i>Molanna moesta</i>	○	○	
		イトウホソバトビケラ	<i>Molannodes itoae</i>	○		
	フトヒゲトビケラ	ヨツメトビケラ	<i>Perissoneura paradoxa</i>	○	○	
	トビケラ	ムラサキトビケラ	<i>Eubasilissa regina</i>	○		
	マルバネトビケラ	マルバネトビケラ属の一種	<i>Phryganopsyche</i> sp.	○	○	
	ケトビケラ	トウヨウグマガトビケラ	<i>Gumaga orientalis</i>	○	○	
チョウ	ツトガ	キオビミスメイガ	<i>Potamomusa midas</i>		○	
ハエ	オビヒメガガンボ	ホソオビヒメガガンボ属の一種	<i>Dicranota</i> sp.	○	○	
		オビヒメガガンボ科の一種	Pediciidae gen. sp.	○		
	ヒメガガンボ	ウスバガガンボ属の一種	<i>Antocha</i> sp.	○	○	
		ヒゲナガガガンボ属の一種	<i>Hexatoma</i> sp.	○	○	
		カスリヒメガガンボ属の一種	<i>Limnophila</i> sp.	○	○	
		スクレロプロクタ属の一種	<i>Scleroprocta</i> sp.	○		
		ヒメガガンボ科の一種	Limoniidae gen. sp.	○		
	ガガンボ	ガガンボ属の一種	<i>Tipula</i> sp.	○	○	
	チョウバエ	ハマダラチョウバエ属の一種	<i>Pericoma</i> sp.	○	○	
		チョウバエ科の一種	Psychodidae gen. sp.	○	○	
	コシボソガガンボ	ヒメコシボソガガンボ属の一種	<i>Bittacomorphella</i> sp.	○		
		コシボソガガンボ属の一種	<i>Ptychoptera</i> sp.	○		
	ヌカカ	ヌカカ科の一種	Ceratopogonidae gen. sp.	○	○	
	ユスリカ	ケバカエリユスリカ属の一種	<i>Brillia</i> sp.	○	○	
		ユスリカ属の一種	<i>Chironomus</i> sp.	○	○	
		エダゲヒゲユスリカ属の一種	<i>Cladotanytarsus</i> sp.		○	
		ヒラアシユスリカ属の一種	<i>Clinotanytus</i> sp.	○	○	
		ケバネオオヤマユスリカ属の一種	<i>Compteromesa</i> sp.	○		
		コナユスリカ属の一種	<i>Corynoneura</i> sp.	○		
		カマガタユスリカ属の一種	<i>Cryptochironomus</i> sp.	○	○	
		スジカマガタユスリカ属の一種	<i>Demicryptochironomus</i> sp.	○	○	
		ホソミユスリカ属の一種	<i>Dicrotendipes</i> sp.	○		
		フタエユスリカ属の一種	<i>Diplocladius</i> sp.	○	○	
		エラリユスリカ属の一種	<i>Epoicocladus</i> sp.	○	○	
		テンマクエリユスリカ属の一種	<i>Eukiefferiella</i> sp.	○	○	
		シミズビロウドエリユスリカ属の一種	<i>Krenosmittia</i> sp.	○		
		ボカシヌマユスリカ属の一種	<i>Macropelopia</i> sp.	○	○	
		ナガスネユスリカ属の一種	<i>Micropsectra</i> sp.	○	○	
		ツヤムネユスリカ属の一種	<i>Microtendipes</i> sp.	○	○	
		トゲヤマユスリカ属の一種	<i>Monodiamesa</i> sp.	○		
		モンヌマユスリカ属の一種	<i>Natarsia</i> sp.	○		
		ホソケバカエリユスリカ属の一種	<i>Neobrillia</i> sp.		○	
		エリユスリカ属の一種	<i>Orthocladus</i> sp.	○	○	
		オオユキユスリカ属の一種	<i>Pagastia</i> sp.		○	
		ニセトゲアシエリユスリカ属の一種	<i>Parachaetocladus</i> sp.	○	○	
		ニセケバネエリユスリカ属の一種	<i>Parametriocnemus</i> sp.	○	○	
		ニセサンカクエリユスリカ属の一種	<i>Paratrissocladius</i> sp.	○		
		ハモンユスリカ属の一種	<i>Polypedilum</i> sp.	○	○	
		サワユスリカ属の一種	<i>Potthastia</i> sp.		○	
		カユスリカ属の一種	<i>Procladius</i> sp.	○	○	
		クロバヌマユスリカ属の一種	<i>Psectrotanytus</i> sp.	○	○	
		ニセエリユスリカ属の一種	<i>Pseudorthocladus</i> sp.		○	
		ナガレツヤユスリカ属の一種	<i>Rheocricotopus</i> sp.	○		
		ウスギヌヒメユスリカ属の一種	<i>Rheopelopia</i> sp.		○	
		ナガレビロウドエリユスリカ属の一種	<i>Rheosmittia</i> sp.		○	

表 4-1(6) 底生動物確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等	
				実施 対象 区域 事業	周辺 地域		
ハエ	ユスリカ	ナガレユスリカ属の一種	<i>Rheotanytarsus</i> sp.	○	○		
		ヒメケバコユスリカ属の一種	<i>Saetheria</i> sp.	○	○		
		ハムグリユスリカ属の一種	<i>Stenochironomus</i> sp.	○	○		
		アシマダラユスリカ属の一種	<i>Stictochironomus</i> sp.	○	○		
		ムナクボエリユスリカ属の一種	<i>Synorthocladius</i> sp.		○		
		ヒゲユスリカ属の一種	<i>Tanytarsus</i> sp.	○	○		
		スカユスリカ属の一種	<i>Thienemanniella</i> sp.	○	○		
		ニセテンマクエリユスリカ属の一種	<i>Tvetenia</i> sp.	○	○		
		ヤマトヒメユスリカ族の一種	Pentaneurini gen. sp.	○	○		
		ユスリカ亜科の一種	Chironominae gen. sp.	○	○		
	ユスリカ亜科の一種	Orthoclaadiinae gen. sp.	○	○			
	カ	ハマダラカ属の一種	<i>Anopheles</i> sp.	○			
	ホソカ	マダラホソカ	<i>Dixa longistyla</i>	○	○		
		ヒメクロホソカ	<i>Dixa minutiformis</i>	○			
		ニッポンホソカ	<i>Dixa nipponica</i>	○			
		キスジクロホソカ	<i>Dixa obtusa</i>	○			
		ホソカ属の一種	<i>Dixa</i> sp.	○	○		
		コガタホソカ	<i>Dixella subobscura</i>	○			
	ブユ	ツノマユブユ属の一種	<i>Eusimulium</i> sp.	○	○		
		アシマダラブユ属の一種	<i>Simulium</i> sp.	○	○		
	ケバエ	<i>Bibio</i> 属の一種	<i>Bibio</i> sp.	○			
	クロバネキノコバエ	クロバネキノコバエ科の一種	Sciaridae gen. sp.	○	○		
	ナガレアブ	コモンナガレアブ	<i>Atrichops morimotoi</i>	○	○		
		サツマモンナガレアブ	<i>Suragina satsumana</i>	○			
	ミズアブ	<i>Allognosta</i> 属の一種	<i>Allognosta</i> sp.		○		
		<i>Odontomyia</i> 属の一種	<i>Odontomyia</i> sp.		○		
	アシナガバエ	アシナガバエ科の一種	Dolichopodidae gen. sp.		○		
	オドリバエ	ヒメカマオドリバエ属の一種	<i>Hemerodoromia</i> sp.	○			
		オドリバエ科の一種	Empididae gen. sp.	○	○		
	ハナアブ	ナミハナアブ族の一種	Eristalini gen. sp.	○			
	コウチュウ	ゲンゴロウ	クロゲンゴロウ	<i>Cybister brevis</i>	○		
			ハイイロゲンゴロウ	<i>Eretes griseus</i>	○		
コシマゲンゴロウ			<i>Hydaticus grammicus</i>	○			
ツブゲンゴロウ			<i>Laccophilus difficilis</i>	○			
ホソクロマメゲンゴロウ			<i>Platambus optatus</i>	○			
ヒメゲンゴロウ			<i>Rhantus suturalis</i>	○	○		
ヒメゲンゴロウ属の一種			<i>Rhantus</i> sp.	○			
コガシラミズムシ		マダラコガシラミズムシ	<i>Haliphus sharpi</i>	○			
		コガシラミズムシ	<i>Pelodytes intermedius</i>	○			
コツブゲンゴロウ		コツブゲンゴロウ	<i>Noterus japonicus</i>	○			
ガムシ		ゴマフガムシ	<i>Berosus punctipennis</i>	○			
		セマルガムシ属の一種	<i>Coelostoma</i> sp.	○			
		キベリヒラタガムシ	<i>Enochrus japonicus</i>	○			
		キイロヒラタガムシ	<i>Enochrus simulans</i>		○		
		スジヒラタガムシ	<i>Helochares nipponicus</i>	○			
		マルガムシ	<i>Hydrocassis lacustris</i>	○	○		
		エゾコガムシ	<i>Hydrochara libera</i>	○			
		ミュキシジミガムシ	<i>Laccobius inopinus</i>	○			
		シジミガムシ属の一種	<i>Laccobius</i> sp.	○	○		
		ヒメガムシ	<i>Sternolophus rufipes</i>	○			
マルハナミ		ケシマルハナミ属の一種	<i>Hydrocyphon</i> sp.	○			
ドロムシ		ムナビロツヤドロムシ	<i>Elmomorphus brevicornis</i>	○	○		
ヒメドロムシ		ヒメハバビドロムシ	<i>Dryopomorphus nakanei</i>	○	○		
		ツヤナガアシドロムシ	<i>Grouvellinus nitidus</i>	○	○		
		ナガアシドロムシ属の一種	<i>Grouvellinus</i> sp.		○		
		ツヤヒメドロムシ	<i>Optioservus nitidus</i>		○		

表 4-1(7) 底生動物確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等	
				実施対象 区事業	周辺 地域		
コウチュウ	ヒメドロムシ	マルヒメドロムシ属の一種	<i>Optioservus</i> sp.	○	○		
		アカモンミゾドロムシ	<i>Ordobrevia maculata</i>		○		
		ツブスジドロムシ	<i>Paramacronychus granulatus</i>			○	
		ケスジドロムシ	<i>Pseudamophilus japonicus</i>			○	
		イブシアシナガドロムシ	<i>Stenelmis nipponica</i>			○	
		アシナガミドロムシ	<i>Stenelmis vulgaris</i>	○	○		
		ミゾツヤドロムシ	<i>Zaitzevia rivalis</i>			○	
		ツヤドロムシ属の一種	<i>Zaitzevia</i> sp.			○	
		ヒメツヤドロムシ	<i>Zaitzeviaria brevis</i>	○	○		
		ホンヒメツヤドロムシ	<i>Zaitzeviaria gotoi</i>			○	
		マルヒメツヤドロムシ	<i>Zaitzeviaria ovata</i>	○	○		
		ヒメドロムシ亜科の一種	Elminae gen. sp.	○	○		
		ヒラタドロムシ	チビヒゲナガハナミ	<i>Ectopria opaca opaca</i>	○	○	
	チビマルヒゲナガハナミ		<i>Macroebubria lewisi</i>	○	○		
	ホンシュウチビマルヒゲナガハナミ		<i>Macroebubria similis</i>	○			
	ヒラタドロムシ		<i>Mataeopsephus japonicus</i>			○	
	ナガハナミ	タテスジヒメヒゲナガハナミ	<i>Drupeus vittipennis</i>	○			
		エダヒゲナガハナミ属の一種	<i>Epilichas</i> sp.	○	○		
		ヒゲナガハナミ属の一種	<i>Paralichas</i> sp.	○			
	ホタル	ゲンジボタル	<i>Luciola cruciata</i>	○	○		
ヘイケボタル		<i>Luciola lateralis</i>	○				
ハネコケムシ	ヒメテンコケムシ	<i>Lophopodella carteri</i>			○		
	ハネコケムシ	ハネコケムシ科の一種	Plumatellidae gen. sp.	○			
25目	112科		301種	238	216	6	

注：1. 種名及び配列は基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（2020年、国土交通省）による。「科・属の一種」は、種の同定に至っていないが、同一の科・属に属する種が確認されていない場合は一種として種数に含む。

2. 調査結果は、淡水産貝類の調査結果を含む。

3. 外来種等については、「ブルーデータブックあいち2021」（2021年、愛知県）の掲載種、「特定外来生物等一覧（最終更新：2021年8月）」に掲載されている特定外来生物及び「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」（2015年3月26日）の掲載種を「○」で示す。

5 クモ類確認種リスト

表 5-1(1) クモ類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等	
				実施 対象 区 域	事業 周 辺 地 域		
クモ	ジグモ	ジグモ	<i>Atypus karschi</i>	○			
	カネコトタテグモ	カネコトタテグモ	<i>Antrodiaetus roretzi</i>	○	○		
	トタテグモ	キノボリトタテグモ	<i>Conothele fragaria</i>	○	○		
	エンマグモ	ミヤグモ	<i>Ariadna lateralis</i>	○			
	ヒメグモ	イワクシアシブトヒメグモ	<i>Anelosimus iwawakiensis</i>		○	○	
		<i>Anelosimus</i> 属の一種	<i>Anelosimus</i> sp.		○	○	
		シロカネインウロウグモ	<i>Argyrodes bonadea</i>		○	○	
		トビジロインウロウグモ	<i>Argyrodes cylindratus</i>			○	
		オナガグモ	<i>Ariamnes cylindrogaster</i>		○	○	
		ギボシヒメグモ	<i>Chikunia albipes</i>		○	○	
		ホシミドリヒメグモ	<i>Chryso foliata</i>		○	○	
		コガネヒメグモ	<i>Chryso scintillans</i>			○	
		ヤボシヒメグモ	<i>Chryso octomaculatum</i>		○		
		サヤヒメグモ	<i>Coleosoma blandum</i>			○	
		シモフリミジグモ	<i>Dipoena punctisparsa</i>		○		
		ヒシガタグモ	<i>Episinus affinis</i>		○	○	
		ムラクモヒシガタグモ	<i>Episinus nubilus</i>		○		
		ヨシダミジグモ	<i>Lasaeola yoshidai</i>			○	
		オダカグモ	<i>Meotipa argyrodiformis</i>		○	○	
		ハラナガヒシガタグモ	<i>Moneta caudifer</i>		○	○	
		フタオイソウロウグモ	<i>Neospintharus fur</i>		○		
		ニホンヒメグモ	<i>Nipponimea japonica</i>		○	○	
		ハイイロヒメグモ	<i>Paidiscura subpallens</i>		○		
		リュウキュウヒメグモ	<i>Parasteatoda ryukyu</i>		○		
		オオヒメグモ	<i>Parasteatoda tepidariorum</i>			○	
		<i>Parasteatoda</i> 属の一種	<i>Parasteatoda</i> sp.		○	○	
		ハラダカツクネグモ	<i>Phoroncidia altiventris</i>			○	
		ツクネグモ	<i>Phoroncidia pilula</i>		○	○	
		キベリミジグモ	<i>Phycosoma flavomarginata</i>			○	
		ヤマトミジグモ	<i>Phycosoma japonica</i>		○		
		カニミジグモ	<i>Phycosoma mustelina</i>		○	○	
		ムナボンヒメグモ	<i>Platnickina sterninotata</i>		○	○	
		<i>Platnickina</i> 属の一種	<i>Platnickina</i> sp.		○	○	
		ヤリグモ	<i>Rhomphaea sagana</i>		○	○	
		クロマルインウロウグモ	<i>Spheropistha melanosoma</i>		○		
		スネグロオチバヒメグモ	<i>Stemmops nipponicus</i>		○	○	
		バラギヒメグモ	<i>Takayus chikunii</i>		○	○	
	ボカシミジグモ	<i>Yaginumena castrata</i>		○	○		
	コアカクロミジグモ	<i>Yaginumena mutilata</i>		○	○		
	コケヒメグモ	<i>Yunohamella subadultus</i>		○	○		
	<i>Yunohamella</i> 属の一種	<i>Yunohamella</i> sp.			○		
	ヒメグモ科の一種	Theridiidae gen. sp.		○			
	カラカラグモ	<i>Theridiosoma</i> 属の一種	<i>Theridiosoma</i> sp.		○		
	ヨリメグモ	ヨロイヒメグモ	<i>Comaroma maculosa</i>		○		
		ヨリメグモ	<i>Conoculus lyugadinus</i>		○		
	ジョロウグモ	ジョロウグモ	<i>Nephila clavata</i>		○	○	
	コガネグモ	オオクマヤミロオニグモ	<i>Araneus acuisetus</i>			○	
		ヌサオニグモ	<i>Araneus ejusmodi</i>		○	○	
		ビジョオニグモ	<i>Araneus mitificus</i>		○		
		オガタオニグモ	<i>Araneus ogatai</i>		○	○	
		アオオニグモ	<i>Araneus pentagrammicus</i>		○	○	
		カラオニグモ	<i>Araneus tsurusakii</i>		○	○	
		ハラビロミドリオニグモ	<i>Araneus viridiventrus</i>			○	
		<i>Araneus</i> 属の一種	<i>Araneus</i> sp.		○	○	
	ムツボンシオニグモ	<i>Araniella yaginumai</i>		○	○		

表 5-1(2) クモ類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等	
				実施区域	周辺地域		
クモ	コガネグモ	コガネグモ	<i>Argiope amoena</i>	○	○		
		チュウガタコガネグモ	<i>Argiope boesenbergi</i>	○	○		
		ナガコガネグモ	<i>Argiope bruennichii</i>	○	○		
		コガタコガネグモ	<i>Argiope minuta</i>	○	○		
		<i>Argiope</i> 属の一種	<i>Argiope</i> sp.	○	○		
		ヤマトカナエグモ	<i>Chorizopes nipponicus</i>	○	○		
		ギンメッキゴミグモ	<i>Cyclosa argenteoalba</i>	○	○		
		カラスゴミグモ	<i>Cyclosa atrata</i>	○	○		
		ギンナガゴミグモ	<i>Cyclosa ginnaga</i>	○			
		ヤマトゴミグモ	<i>Cyclosa japonica</i>	○			
		ゴミグモ	<i>Cyclosa octotuberculata</i>	○	○		
		シマゴミグモ	<i>Cyclosa omonnaga</i>		○		
		ヨツデゴミグモ	<i>Cyclosa sedeculata</i>	○	○		
		<i>Cyclosa</i> 属の一種	<i>Cyclosa</i> sp.	○	○		
		オオトリノフンダマシ	<i>Cyrtarachne akirai</i>	○	○		
		トリノフンダマシ	<i>Cyrtarachne bufo</i>	○	○		
		シロオビトリノフンダマシ	<i>Cyrtarachne nagasakiensis</i>	○	○		
		アカイトリノフンダマシ	<i>Cyrtarachne yunoharuensis</i>	○	○		
		<i>Cyrtarachne</i> 属の一種	<i>Cyrtarachne</i> sp.	○	○		
		トガリオニグモ	<i>Eriovixia pseudocentrodus</i>	○	○		
		ヨツボシショウジョウグモ	<i>Hypsosinga pygmaea</i>	○			
		シロスジショウジョウグモ	<i>Hypsosinga sanguinea</i>	○			
		コガネグモダマシ	<i>Larinia argiopiformis</i>	○	○		
		<i>Larinia</i> 属の一種	<i>Larinia</i> sp.	○	○		
		ドヨウオニグモ	<i>Neoscona adianta</i>	○	○		
		ワキグロサツマノミダマシ	<i>Neoscona mellottei</i>	○	○		
		コゲチャオニグモ	<i>Neoscona punctigera</i>		○		
		サツマノミダマシ	<i>Neoscona scylloides</i>		○		
		マルヅメオニグモ	<i>Neoscona semilunaris</i>	○	○		
		<i>Neoscona</i> 属の一種	<i>Neoscona</i> sp.	○	○		
		ムツゲイセキグモ	<i>Ordgarius sexspinosus</i>	○			
		サガオニグモ	<i>Plebs astridae</i>	○	○		
		カラフトオニグモ	<i>Plebs sachalinensis</i>	○	○		
		<i>Plebs</i> 属の一種	<i>Plebs</i> sp.	○			
		ゲホウグモ	<i>Polys illepidus</i>	○	○		
		<i>Polys</i> 属の一種	<i>Polys</i> sp.		○		
		コガネグモ科の一種	Araneidae gen. sp.	○	○		
		センショウグモ	ハラビロセンショウグモ	<i>Austrolomimetes japonicus</i>	○	○	
			センショウグモ	<i>Ero japonica</i>		○	
			オオセンショウグモ	<i>Mimetes testaceus</i>	○		
		アシナガグモ	チュウガタシロカネグモ	<i>Leucauge blanda</i>	○	○	
			オオシロカネグモ	<i>Leucauge celebesiana</i>	○	○	
			コシロカネグモ	<i>Leucauge subblanda</i>	○	○	
			キララシロカネグモ	<i>Leucauge subgenmea</i>	○	○	
			<i>Leucauge</i> 属の一種	<i>Leucauge</i> sp.	○	○	
			キンヨウグモ	<i>Menosira ornata</i>	○	○	
			メガネドヨウグモ	<i>Metleucauge yunohamensis</i>	○	○	
	<i>Metleucauge</i> 属の一種		<i>Metleucauge</i> sp.		○		
	ヨツボシヒメアシナガグモ		<i>Dyschiriognatha quadrimaculata</i>	○			
	ヒメアシナガグモ		<i>Dyschiriognatha tenera</i>	○	○		
	トガリアシナガグモ		<i>Tetragnatha caudicula</i>	○			
	ヤサガタアシナガグモ		<i>Tetragnatha maxillosa</i>	○	○		
	ヒカリアシナガグモ		<i>Tetragnatha nitens</i>	○			
	アシナガグモ		<i>Tetragnatha praedonia</i>	○	○		
	シノアシナガグモ		<i>Tetragnatha shinanoensis</i>	○	○		
	ウロコアシナガグモ		<i>Tetragnatha squamata</i>	○			

表 5-1(3) クモ類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等
				実施区事業	周辺地域	
クモ	アシナガグモ	エゾアシナガグモ	<i>Tetragnatha yesoensis</i>	○	○	
		Tetragnatha属の一種	<i>Tetragnatha</i> sp.	○	○	
	ピモサラグモ	Weintrauboa属の一種	<i>Weintrauboa</i> sp.		○	
	サラグモ	サイトウヌカグモ	<i>Anerigone saitoi</i>	○	○	
		コサラグモ	<i>Aprifrontalia mascula</i>		○	
		ザラアカムネグモ	<i>Asperthorax communis</i>	○		
		ハラジロムナキグモ	<i>Diplocephaloides saganus</i>		○	
		コデーニツツサラグモ	<i>Doenitzius pruvus</i>	○		
		クロナンキングモ	<i>Hylyphantes graminicola</i>	○	○	
		タテヤマテナガグモ	<i>Microbathyphantes tateyamaensis</i>	○	○	
		コアカサナダグモ	<i>Nematogmus rutilus</i>	○		
		チビサラグモ	<i>Neriere brongersmai</i>	○	○	
		アシナガサラグモ	<i>Neriere longipedella</i>		○	
		ムネグロサラグモ	<i>Neriere nigripectoides</i>	○	○	
		ヘリジロサラグモ	<i>Neriere oidedicata</i>	○	○	
		Neriere属の一種	<i>Neriere</i> sp.	○	○	
		マダラナンキングモ	<i>Neserigone torquipalpis</i>	○	○	
		ツノケシグモ	<i>Nippononeta ungulata</i>	○		
		スソグロサラグモ	<i>Ostearius melanopygius</i>		○	
		フタエツノヌカグモ	<i>Paikiniana keikoe</i>	○		
		ナラヌカグモ	<i>Parhyomma naraensis</i>	○		
		ヒメヨツボシサラグモ	<i>Strandella yaginumai</i>	○		
		Strandella属の一種	<i>Strandella</i> sp.	○		
	ユノハマサラグモ	<i>Turinyphia yunohamensis</i>	○	○		
	カントウヒゲヌカグモ	<i>Walckenaeria orientalis</i>	○			
	サラグモ科の一種	Linyphiidae gen. sp.	○	○		
	ウズグモ	マネキグモ	<i>Miagrammopes orientalis</i>	○	○	
		カタハリウズグモ	<i>Octonoba sybotides</i>		○	
		ヤマウズグモ	<i>Octonoba varians</i>	○	○	
		Octonoba属の一種	<i>Octonoba</i> sp.		○	
	タナグモ	クサグモ	<i>Agelena silvatica</i>	○	○	
		コクサグモ	<i>Allagelena opulenta</i>	○	○	
		ホラズミヤチグモ	<i>Coelotes antri</i>	○		
		ギフヤチグモ	<i>Coelotes gifuensis</i>	○		
		ヤハギヤチグモ	<i>Coelotes yahagiensis</i>	○		
		Coelotes属の一種	<i>Coelotes</i> sp.	○		
		Tegecoelotes属の一種	<i>Tegecoelotes</i> sp.	○		
	タナグモ科の一種	Agelenidae gen. sp.	○	○		
	ナミハグモ	カチドキナミハグモ	<i>Cybaeus nipponicus</i>	○		
		Cybaeus属の一種	<i>Cybaeus</i> sp.	○		
	ハグモ	カレハグモ	<i>Dictyna uncinata</i>	○		
	アシダカグモ	コアシダカグモ	<i>Sinopoda forcipata</i>	○	○	
		Sinopoda属の一種	<i>Sinopoda</i> sp.	○		
	シボグモ	シボグモ	<i>Anahita fauna</i>	○		
	ササグモ	コウライササグモ	<i>Oxyopes koreanus</i>	○	○	
		クリチャササグモ	<i>Oxyopes licenti</i>	○	○	
		ササグモ	<i>Oxyopes sertatus</i>	○	○	
		Oxyopes属の一種	<i>Oxyopes</i> sp.	○	○	
	キシダグモ	アオクロハシリグモ	<i>Dolomedes raptor</i>	○	○	
		スジアカハシリグモ	<i>Dolomedes silvicola</i>	○	○	
		イノウイロハシリグモ	<i>Dolomedes sulfureus</i>	○	○	
		Dolomedes属の一種	<i>Dolomedes</i> sp.	○	○	
コモリグモ	ハタチコモリグモ	<i>Alopecosa moriutii</i>	○			
	フジイコモリグモ	<i>Arctosa fujii</i>	○			
	ヒノマルコモリグモ	<i>Arctosa ipsa</i>	○	○		
	Arctosa属の一種	<i>Arctosa</i> sp.	○	○		

表 5-1(4) クモ類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等	
				実施 対象 区事 域業	周辺 地域		
クモ	コモリグモ	ハラクロコモリグモ	<i>Lycosa coelestis</i>	○	○		
		<i>Lycosa</i> 属の一種	<i>Lycosa</i> sp.		○		
		イナダハリゲコモリグモ	<i>Pardosa agraria</i>	○	○		
		ウヅキコモリグモ	<i>Pardosa astrigera</i>	○			
		ヤマハリゲコモリグモ	<i>Pardosa brevivulva</i>	○			
		ハリゲコモリグモ	<i>Pardosa laura</i>	○	○		
		キクゾキコモリグモ	<i>Pardosa pseudoannulata</i>	○	○		
		<i>Pardosa</i> 属の一種	<i>Pardosa</i> sp.	○	○		
		キバラコモリグモ	<i>Pirata subpiraticus</i>	○	○		
		クラークコモリグモ	<i>Piratula clercki</i>	○	○		
		イモコモリグモ	<i>Piratula piratoides</i>	○	○		
		チビコモリグモ	<i>Piratula procurvus</i>	○			
		<i>Piratula</i> 属の一種	<i>Piratula</i> sp.	○	○		
		コモリグモ科の一種	Lycosidae gen. sp.			○	
		カニグモ	コハナグモ	<i>Diaea subdola</i>	○	○	
	クマダハナグモ		<i>Ebelingia kumadai</i>	○	○		
	ハナグモ		<i>Ebrechtella tricuspudata</i>	○	○		
	アシナガカニグモ		<i>Heriaeus mellottei</i>		○		
	アマギエビスグモ		<i>Lysiteles coronatus</i>	○	○		
	ワカバグモ		<i>Oxytate striatipes</i>	○	○		
	ガザミグモ		<i>Pistius undulatus</i>	○			
	チクニエビスグモ		<i>Synema chikunii</i>	○	○		
	フジグモ		<i>Synema globosum</i>		○		
	アズチグモ		<i>Thomisus labefactus</i>		○		
	トラフカニグモ		<i>Tmarus piger</i>	○			
	セマルトラフカニグモ		<i>Tmarus rimosus</i>	○	○		
	<i>Tmarus</i> 属の一種		<i>Tmarus</i> sp.	○	○		
	ヤミイロカニグモ		<i>Xysticus croceus</i>	○	○		
	チュウカカニグモ		<i>Xysticus ephippiatus</i>		○		
	クロボシカニグモ		<i>Xysticus hedinii</i>	○			
	<i>Xysticus</i> 属の一種		<i>Xysticus</i> sp.	○	○		
	ウエムラグモ		カムラタンボグモ	<i>Agroeca kamurai</i>	○		
	フクログモ		イナフクログモ	<i>Clubiona inaensis</i>	○	○	
			ヤハズフクログモ	<i>Clubiona jucunda</i>		○	
		ヒメフクログモ	<i>Clubiona kurilensis</i>	○			
		クロサワフクログモ	<i>Clubiona kurosawai</i>	○			
		トビイロフクログモ	<i>Clubiona lena</i>	○	○		
		マイコフクログモ	<i>Clubiona rostrata</i>	○			
		ヤギヌマフクログモ	<i>Clubiona yaginumai</i>		○		
		<i>Clubiona</i> 属の一種	<i>Clubiona</i> sp.	○	○		
	イゾツグモ	ナガイゾツグモ	<i>Anyphaena ayshides</i>	○	○		
		イゾツグモ	<i>Anyphaena pugil</i>	○	○		
	ネコグモ	ネコグモ	<i>Trachelas japonicus</i>	○	○		
	ウラシマグモ	<i>Otacilia</i> 属の一種	<i>Otacilia</i> sp.	○			
	ワシグモ	エビチャヨリメケムリグモ	<i>Drassyllus sanmenensis</i>	○			
		<i>Drassyllus</i> 属の一種	<i>Drassyllus</i> sp.	○	○		
		メキリグモ	<i>Gnaphosa kompirensis</i>	○	○		
		<i>Gnaphosa</i> 属の一種	<i>Gnaphosa</i> sp.	○			
		シノトモンビグモ	<i>Hitobia asiatica</i>	○			
		ヤマトフトバワシグモ	<i>Odontodrassus hondoensis</i>	○			
		ナミトンビグモ	<i>Sanitubius anaticus</i>	○			
		<i>Zelotes</i> 属の一種	<i>Zelotes</i> sp.	○	○		
		ワシグモ科の一種	Gnaphosidae gen. sp.	○			
	ツチフクログモ	イタチグモ	<i>Itatsina praticola</i>	○	○		
	コマチグモ	<i>Cheiracanthium</i> 属の一種	<i>Cheiracanthium</i> sp.	○	○		
	エビグモ	アサヒエビグモ	<i>Philodromus subaureolus</i>	○	○		

表 5-1(5) クモ類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	確認場所		外来種等		
				実施対象区事業	周辺地域			
クモ	エビグモ	Philodromus属の一種	<i>Philodromus</i> sp.	○	○			
		ヤマトヤドカリグモ	<i>Thanatus nipponicus</i>		○			
		シャコグモ	<i>Tibellus tenellus</i>			○		
	ハエトリグモ	シラホシコゲチャハエトリ	<i>Attulus penicillatus</i>		○			
		ネコハエトリ	<i>Carrhotus xanthogramma</i>		○	○		
		マミジロハエトリ	<i>Evarcha albaria</i>		○	○		
		マミクロハエトリ	<i>Evarcha fasciata</i>			○		
		<i>Evarcha</i> 属の一種	<i>Evarcha</i> sp.		○	○		
		ウデプトハエトリ	<i>Harmochirus insulanus</i>		○	○		
		<i>Helicium</i> 属の一種	<i>Helicium</i> sp.		○			
		エキスハエトリ	<i>Laufeia aenea</i>		○	○		
		ヨダンハエトリ	<i>Marpissa pulla</i>		○	○		
		オスクロハエトリ	<i>Mendoza canestrinii</i>		○	○		
		ヤハズハエトリ	<i>Mendoza elongata</i>		○	○		
		<i>Mendoza</i> 属の一種	<i>Mendoza</i> sp.		○	○		
		ヤガタアリグモ	<i>Myrmarachne elongata</i>			○		
		タイクアリグモ	<i>Myrmarachne formicaria</i>			○		
		ヤサアリグモ	<i>Myrmarachne inermichelis</i>			○		
		アリグモ	<i>Myrmarachne japonica</i>		○	○		
		<i>Myrmarachne</i> 属の一種	<i>Myrmarachne</i> sp.		○	○		
		チャイロアサヒハエトリ	<i>Phintella abnormis</i>		○			
		メガネアサヒハエトリ	<i>Phintella linea</i>		○	○		
		デーニツハエトリ	<i>Plexippoides doenitzi</i>		○	○		
		ヒメカラスハエトリ	<i>Rhene albigera</i>		○	○		
		カラスハエトリ	<i>Rhene atrata</i>			○		
		<i>Rhene</i> 属の一種	<i>Rhene</i> sp.		○	○		
		キレワハエトリ	<i>Sibianor pullus</i>		○	○		
		<i>Sibianor</i> 属の一種	<i>Sibianor</i> sp.		○			
		アオオビハエトリ	<i>Siler cupreus</i>		○	○		
		ウススジハエトリ	<i>Yaginumaella striatipes</i>		○			
		1目	33科		209種	177	150	0

- 注：1. 種名及び配列は基本的に「グリーンデータブックあいち 2018」（2018年、愛知県）による。「科・属の一種」は幼体であり、種の同定に至っていないが、同一の科・属に属する種が確認されていない場合は一種として種数に含む。
2. 外来種等については、「ブルーデータブックあいち 2021」（2021年、愛知県）の掲載種、「特定外来生物等一覧（最終更新：2021年8月）」に掲載されている特定外来生物及び「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」（2015年3月26日）の掲載種を「○」で示す。

6 植物確認種リスト

表 6-1(1) 植物確認種リスト

分類	科名	種名	学名	確認場所		外来種等	植栽等
				実対 施象 区事 域業	周 辺 地 域		
シダ植物門	ヒカゲノカズラ	ミズスギ	<i>Lycopodium cernuum</i>	○	○		
		ヒカゲノカズラ	<i>Lycopodium clavatum</i>	○	○		
		マンネンスギ	<i>Lycopodium obscurum</i>	○	○		
		オノトウゲシバ	<i>Lycopodium serratum</i> var. <i>longipetiolatum</i>	○	○		
		ホソバトウゲシバ(トウゲシバ)	<i>Lycopodium serratum</i> var. <i>serratum</i>	○	○		
	イワヒバ	カタヒバ	<i>Selaginella involvens</i>		○		
		イヌカタヒバ	<i>Selaginella moellendorffii</i>		○	○	逸出
		タチクラマゴケ	<i>Selaginella nipponica</i>		○		
		クラマゴケ	<i>Selaginella remotifolia</i>	○	○		移入
		イワヒバ	<i>Selaginella tamariscina</i>		○		植栽
		コンテリクラマゴケ	<i>Selaginella uncinata</i>	○	○	○	逸出
	トクサ	スギナ	<i>Equisetum arvense</i>	○	○		
		イヌトクサ	<i>Equisetum ramosissimum</i>	○	○		
	ハナヤスリ	フユノハナワラビ	<i>Botrychium ternatum</i>		○		
		コヒロハハナヤスリ	<i>Ophioglossum petiolatum</i>	○	○		
	ゼンマイ	ヤマドリゼンマイ	<i>Osmunda cinnamomea</i> var. <i>fokiensis</i>	○	○		
		オクタマゼンマイ	<i>Osmunda</i> x <i>intermedia</i>	○	○		
		ゼンマイ	<i>Osmunda japonica</i>	○	○		
		ヤシヤゼンマイ	<i>Osmunda lancea</i>		○		
	キジノオンダ	オオキジノオ	<i>Plagiogyria euphlebica</i>	○	○		
		キジノオンダ	<i>Plagiogyria japonica</i>	○	○		
	ウラジロ	コシダ	<i>Dicranopteris linearis</i>	○	○		
		ウラジロ	<i>Gleichenia japonica</i>	○	○		
	フサシダ	カニクサ	<i>Lygodium japonicum</i>	○	○		
	コケシノブ	アオホラゴケ	<i>Crepidomanes latealatum</i>	○			
		ウチワゴケ	<i>Crepidomanes minutum</i>	○	○		
		コウヤコケシノブ	<i>Hymenophyllum barbatum</i>	○	○		
		コケシノブ	<i>Hymenophyllum wrightii</i>		○		
	コバノイシカグマ	イヌシダ	<i>Dennstaedtia hirsuta</i>	○	○		
		コバノイシカグマ	<i>Dennstaedtia scabra</i>	○	○		
		ウスガコバノイシカグマ	<i>Dennstaedtia scabra</i> f. <i>glabrescens</i>	○	○		
		オウレンシダ	<i>Dennstaedtia wilfordii</i>		○		
		イワヒメワラビ	<i>Hypolepis punctata</i>	○	○		
		フモトシダ	<i>Microlepia marginata</i>	○	○		
		ワラビ	<i>Pteridium aquilinum</i> var. <i>latiusculum</i>	○	○		
		ホングウシダ	ホラシノブ	<i>Sphenomeris chinensis</i>	○	○	
	シノブ	シノブ	<i>Davallia mariesii</i>		○		逸出
	ミズワラビ	クジャクシダ	<i>Adiantum pedatum</i>		○		
		ミズワラビ	<i>Ceratopteris thalictroides</i>		○		
		イワガネゼンマイ	<i>Coniogramme intermedia</i>	○	○		
		イワガネソウ	<i>Coniogramme japonica</i>	○	○		
		ミカワイワガネ	<i>Coniogramme</i> sp.	○	○		
		タチシノブ	<i>Onychium japonicum</i>	○	○		移入
	シシラン	シシラン	<i>Vittaria flexuosa</i>		○		
	イノモトソウ	オオバノイノモトソウ	<i>Pteris cretica</i>	○	○		
		オオバノハチジョウシダ	<i>Pteris excelsa</i>	○			
		オオバノアマクサシダ	<i>Pteris excelsa</i> var. <i>simplicior</i>	○			
イノモトソウ		<i>Pteris multifida</i>	○	○			
チャセンシダ	トラノオシダ	<i>Asplenium incisum</i>	○	○			
	ヌリトラノオ	<i>Asplenium normale</i>	○	○			
	トキワトラノオ	<i>Asplenium pekinense</i>	○	○			
	コバノヒノキシダ	<i>Asplenium sarelii</i>		○			
	チャセンシダ	<i>Asplenium trichomanes</i>		○			
	クルマシダ	<i>Asplenium wrightii</i>		○			
シシガシラ	シシガシラ	<i>Struthiopteris niponica</i>	○	○			

表 6-1(2) 植物確認種リスト

分類	科名	種名	学名	確認場所		外来種等	植栽等
				実 施 区 事 業	周 辺 地 域		
シダ植物門	シシガシラ	コモチシダ	<i>Woodwardia orientalis</i>		○		
	オシダ	オオカナワラビ	<i>Arachniodes amabilis</i>	○	○		
		ホソバナライシダ	<i>Arachniodes borealis</i>	○	○		
		ナンゴクナライシダ	<i>Arachniodes miqueliana</i>	○	○		
		シノブカグマ	<i>Arachniodes mutica</i>	○			
		ハカタシダ	<i>Arachniodes simplicior</i>		○		
		オニカナワラビ	<i>Arachniodes simplicior</i> var. <i>major</i>	○	○		
		リョウメンシダ	<i>Arachniodes standishii</i>	○	○		
		キヨスミヒメワラビ	<i>Ctenitis maximowicziana</i>	○	○		
		メヤブソテツ	<i>Cyrtomium caryotideum</i>		○		
		ナガバヤブソテツ	<i>Cyrtomium devexiscapulae</i>		○		移入
		オニヤブソテツ	<i>Cyrtomium falcatum</i>		○		移入
		ヤブソテツ	<i>Cyrtomium fortunei</i>	○	○		
		テリハヤブソテツ	<i>Cyrtomium fortunei</i> f. <i>laetevirens</i>	○	○		
		ヤマヤブソテツ	<i>Cyrtomium fortunei</i> var. <i>clivicola</i>		○		
		イワヘゴ	<i>Dryopteris atrata</i>	○	○		
		サイゴクベニシダ	<i>Dryopteris championii</i>	○	○		
		ミサキカグマ	<i>Dryopteris chinensis</i>	○	○		
		オシダ	<i>Dryopteris crassirhizoma</i>	○	○		
		ナチクジャク	<i>Dryopteris decipiens</i>		○		
		オオクジャクシダ	<i>Dryopteris dickinsii</i>	○	○		
		ベニシダ	<i>Dryopteris erythrosora</i>	○	○		
		ミドリベニシダ	<i>Dryopteris erythrosora</i> f. <i>viridisora</i>		○		
		マルバベニシダ	<i>Dryopteris fuscipes</i>	○	○		
		オオベニシダ	<i>Dryopteris hondoensis</i>	○	○		
		ギフベニシダ	<i>Dryopteris kinkiensis</i>		○		
		クマワラビ	<i>Dryopteris lacera</i>	○	○		
		エンシュウベニシダ	<i>Dryopteris medioxima</i>		○		
		トウゴクシダ	<i>Dryopteris nipponensis</i>	○	○		
		ミヤマイトチシダ	<i>Dryopteris sabaiei</i>		○		
		ナガサキシダ	<i>Dryopteris sieboldii</i>	○			
		ナガバノイトチシダ	<i>Dryopteris sparsa</i>		○		
		タニヘゴ	<i>Dryopteris tokyoensis</i>	○	○		
		オクマワラビ	<i>Dryopteris uniformis</i>	○	○		
		オオイタチシダ	<i>Dryopteris varia</i> var. <i>hikonensis</i>	○	○		
		ヒメイトチシダ	<i>Dryopteris varia</i> var. <i>sacrosancta</i>		○		
		ヤマイトチシダ	<i>Dryopteris varia</i> var. <i>setosa</i>	○	○		
		ドウリョウイノデ	<i>Polystichum x anceps</i>		○		
		チャボイノデ	<i>Polystichum igaense</i>	○			
		アイアスカイノデ	<i>Polystichum longifrons</i>	○	○		
		カタイノデ	<i>Polystichum makinoi</i>		○		
		ツヤナシイノデ	<i>Polystichum ovato-paleaceum</i>	○	○		
		イノデ	<i>Polystichum polyblepharum</i>	○	○		
		サイゴクイノデ	<i>Polystichum pseudo-makinoi</i>	○	○		
		サカゲイノデ	<i>Polystichum retroso-paleaceum</i>	○	○		
		イノデモドキ	<i>Polystichum tagawanum</i>	○	○		
		ジュウモンジシダ	<i>Polystichum tripterum</i>	○	○		
		ヒメシダ	ゲジゲジシダ	<i>Phegopteris decursive-pinnata</i>	○	○	
	ミゾシダ		<i>Stegogramma pozoi</i> ssp. <i>mollissima</i>	○	○		
	ホシダ		<i>Thelypteris acuminata</i>		○		
	イヌクホシダ		<i>Thelypteris dentata</i>		○		
	ハシゴシダ		<i>Thelypteris glanduligera</i>	○	○		
	コハシゴシダ		<i>Thelypteris glanduligera</i> var. <i>elatior</i>	○	○		
	ハリガネワラビ		<i>Thelypteris japonica</i>	○	○		
	ヤワラシダ		<i>Thelypteris laxa</i>	○	○		
	ヒメシダ	<i>Thelypteris palustris</i>	○	○			

表 6-1(3) 植物確認種リスト

分類	科名	種名	学名	確認場所		外来種等	植栽等	
				対象区域事業	周辺地域			
シダ植物門	ヒメシダ	ヒメワラビ	<i>Thelypteris torresiana</i> var. <i>calvata</i>	○	○			
		ミドリヒメワラビ	<i>Thelypteris viridifrons</i>	○	○			
	メシダ	ウスヒメワラビ	<i>Acystopteris japonica</i>	○	○			
		カラクサイヌワラビ	<i>Athyrium clivicola</i>		○			
		サトメシダ	<i>Athyrium deltoideofrons</i>	○	○			
		ホソバイヌワラビ	<i>Athyrium iseanum</i>	○	○			
		トガリバイヌワラビ	<i>Athyrium iseanum</i> f. <i>angustisectum</i>	○	○			
		オオサトメシダ	<i>Athyrium</i> x <i>multifidum</i>		○			
		イヌワラビ	<i>Athyrium niponicum</i>	○	○			
		タニヌワラビ	<i>Athyrium otophorum</i>	○	○			
		ヤマイヌワラビ	<i>Athyrium vidalii</i>	○	○			
		ヒロハイヌワラビ	<i>Athyrium wardii</i>	○	○			
		ヘビノネゴザ	<i>Athyrium yokoscense</i>	○	○			
		シケチシダ	<i>Cornopteris decurrenti-alata</i>	○	○			
		ホソバシケシダ	<i>Deparia conilii</i>	○	○			
		セイタカシケシダ	<i>Deparia dimorphophylla</i>		○			
		シケシダ	<i>Deparia japonica</i>	○	○			
		オオヒメワラビ	<i>Deparia okuboana</i>		○			
		フモトシケシダ	<i>Deparia pseudoconilii</i>	○	○			
		コヒロバシケシダ	<i>Deparia pseudo-conilii</i> (Seriz.) Seriz. var. <i>subdeltoideofrons</i>	○				
		ハクモウイノデ	<i>Deparia pycnosora</i> var. <i>albosquamata</i>	○	○			
		ウスバシケシダ	<i>Deparia</i> sp.		○			
		ヒカゲワラビ	<i>Diplazium chinense</i>		○			
		シロヤマシダ	<i>Diplazium hachijoense</i>		○			
		ミヤマノコギリシダ	<i>Diplazium mettenianum</i>		○			
		ウスバミヤマノコギリシダ	<i>Diplazium mettenianum</i> var. <i>tenuifolium</i>	○				
		オニヒカゲワラビ	<i>Diplazium nipponicum</i>	○	○			
		キヨタキシダ	<i>Diplazium squamigerum</i>	○	○			
		ヘラシダ	<i>Diplazium subsinuatum</i>		○			
		イスガンソク	<i>Matteuccia orientalis</i>	○	○			
		クサソテツ	<i>Matteuccia struthiopteris</i>	○	○		植栽	
		コウヤワラビ	<i>Onoclea sensibilis</i> var. <i>interrupta</i>	○	○			
		ウラボシ	ミツデウラボシ	<i>Crypsinus hastatus</i>	○	○		
			マメヅタ	<i>Lemmaphyllum microphyllum</i>	○	○		
			ヒメノキシノブ	<i>Lepisorus onoei</i>	○			
	ノキシノブ(広義)		<i>Lepisorus thunbergianus</i>	○	○			
	オシヤグジデンド		<i>Polypodium fauriei</i>	○				
	ヒトツバ		<i>Pyrrosia lingua</i>		○			
	ヒメウラボシ	オオクボシダ	<i>Xiphopteris okuboi</i>		○			
	サンショウモ	サンショウモ	<i>Salvinia natans</i>	○				
	種子植物門 裸子植物亜門	イチヨウ	イチヨウ	<i>Ginkgo biloba</i>	○	○	○	植栽・逸出
		マツ	モミ	<i>Abies firma</i>	○	○		
			ヒマラヤスギ	<i>Cedrus deodara</i>		○		植栽
			カラマツ	<i>Larix kaempferi</i>	○		○	植栽
			アカマツ	<i>Pinus densiflora</i>	○	○		
			アカクロマツ	<i>Pinus x densi-thunbergii</i>	○	○	○	植栽
			スラッシュマツ	<i>Pinus elliotii</i>		○		植栽
クロマツ			<i>Pinus thunbergii</i>	○	○		植栽	
ツガ			<i>Tsuga sieboldii</i>		○		植栽・逸出	
スギ		スギ	<i>Cryptomeria japonica</i>	○	○	○	植栽	
		コウヨウザン	<i>Cunninghamia lanceolata</i>		○	○	植栽	
ヒノキ		ヒノキ	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	○	○		植栽	
		サワラ	<i>Chamaecyparis pisifera</i>		○		植栽	
		ヒヨクヒバ	<i>Chamaecyparis pisifera</i> var. <i>filifera</i>		○		植栽	
		ネズ(ネズミサシ)	<i>Juniperus rigida</i>	○	○			
		アスナロ	<i>Thuopsis dolabrata</i>		○		植栽	

表 6-1(4) 植物確認種リスト

分類	科名	種名	学名	確認場所		外来種等	植栽等
				実 施 区 域 業	周 辺 地 域		
種子植物門	マキ	イヌマキ	<i>Podocarpus macrophyllus</i>		○		逸出
裸子植物亜門	イヌガヤ	イヌガヤ	<i>Cephalotaxus harringtonia</i>	○	○		
	イチイ	カヤ	<i>Torreya nucifera</i>		○		
種子植物門	ヤマモモ	ヤマモモ	<i>Myrica rubra</i>	○	○		植栽・逸出
被子植物亜門	クルミ	オニグルミ	<i>Juglans ailanthifolia</i>	○	○		
双子葉植物綱	ヤナギ	ヤマナラシ	<i>Populus sieboldii</i>		○		
離弁花類		サイコクキツネヤナギ	<i>Salix alopochroa</i>	○	○		
		バッコヤナギ	<i>Salix bakko</i>		○		
		アカメヤナギ	<i>Salix chaenomeloides</i>	○	○		
		ジャヤナギ	<i>Salix eriocarpa</i>	○	○	○	
		カワヤナギ	<i>Salix gilgiana</i>	○	○		
		ネコヤナギ	<i>Salix gracilistyla</i>	○	○		
		イヌコリヤナギ	<i>Salix integra</i>		○		
		タチヤナギ	<i>Salix subfragilis</i>	○	○		
		カバノキ	ケヤマハンノキ	<i>Alnus hirsuta</i>	○	○	
	ヤマハンノキ		<i>Alnus hirsuta</i> var. <i>sibirica</i>		○		
	ヒメヤシャブシ		<i>Alnus pendula</i>	○	○	○	
	カワラハンノキ		<i>Alnus serrulatoidea</i>		○		
	オオバヤシャブシ		<i>Alnus sieboldiana</i>	○	○	○	植栽
	クマンデ		<i>Carpinus japonica</i>		○		
	アカシデ		<i>Carpinus laxiflora</i>	○	○		
	イヌシデ		<i>Carpinus tschonoskii</i>	○	○		
	ブナ	クリ	<i>Castanea crenata</i>	○	○		
		ツブラジイ	<i>Castanopsis cuspidata</i>	○	○		
		スダジイ	<i>Castanopsis cuspidata</i> var. <i>sieboldii</i>	○	○		
		マテバシイ	<i>Lithocarpus edulis</i>		○	○	植栽
		アカガシ	<i>Quercus acuta</i>	○	○		
		クヌギ	<i>Quercus acutissima</i>		○	○	植栽
		アラカシ	<i>Quercus glauca</i>	○	○		
		ミズナラ	<i>Quercus mongolica</i> ssp. <i>crispula</i>	○	○		
		シラカシ	<i>Quercus myrsinaefolia</i>	○	○		
		ウバメガシ	<i>Quercus phillyraeoides</i>		○		植栽
		ウラジロガシ	<i>Quercus salicina</i>	○	○		
		コナラ	<i>Quercus serrata</i>	○	○		
		ツクバネガシ	<i>Quercus sessilifolia</i>	○	○		
		オオツクバネガシ	<i>Quercus x takaoyamensis</i>		○		
		アベマキ	<i>Quercus variabilis</i>	○	○		
	ニレ	エノキ	<i>Celtis sinensis</i> var. <i>japonica</i>	○	○		
		ケヤキ	<i>Zelkova serrata</i>	○	○		
	クワ	ヒメコウゾ	<i>Broussonetia kazinoki</i>	○	○		
		クワクサ	<i>Fatoua villosa</i>		○		
		イタビカズラ	<i>Ficus oxyphylla</i>		○		
		カナムグラ	<i>Humulus japonicus</i>		○		
		トウグワ	<i>Morus alba</i>	○	○	○	
		ヤマグワ	<i>Morus australis</i>	○	○		
	イラクサ	クサコアカソ	<i>Boehmeria gracilis</i>	○			
		ヤブマオ	<i>Boehmeria japonica</i> var. <i>longispica</i>	○	○		
		カラムシ	<i>Boehmeria nivea</i> var. <i>concolor</i>	○	○		
		ナンバンカラムシ	<i>Boehmeria nivea</i> var. <i>tenacissima</i>	○	○	○	
		メヤブマオ	<i>Boehmeria platanifolia</i>	○	○		
		ナガバヤブマオ	<i>Boehmeria sieboldiana</i>		○		
		アカソ	<i>Boehmeria silvestrii</i>	○	○		
		コアカソ	<i>Boehmeria spicata</i>	○	○		
		ウワハミソウ	<i>Elatostema umbellatum</i> var. <i>majus</i>		○		
		ムカゴイラクサ	<i>Laportea bulbifera</i>	○	○		
		カテンソウ	<i>Nanocnide japonica</i>		○		

表 6-1(5) 植物確認種リスト

分類	科名	種名	学名	確認場所		外来種等	植栽等	
				実 施 区 事 業	周 辺 地 域			
種子植物門 被子植物亜門 双子葉植物綱 離弁花類	イラクサ	ミズ	<i>Pilea hamaoi</i>	○	○			
		アオミズ	<i>Pilea pumila</i>	○	○			
	ビャクダン	カナビキソウ	<i>Thesium chinense</i>	○	○			
		ヤドリギ	マツグミ	<i>Taxillus kaempferi</i>	○			
		ヤドリギ	<i>Viscum album</i> ssp. <i>coloratum</i>		○			
	タデ	ミズヒキ	<i>Antenoron filiforme</i>	○	○			
		ギンミズヒキ	<i>Antenoron filiforme</i> f. <i>albiflorum</i>		○			
		シンミズヒキ	<i>Antenoron neofiliforme</i>	○	○			
		シャクチリソバ	<i>Fagopyrum cymosum</i>		○	○		
		ウナギツカミ	<i>Persicaria aestiva</i>	○	○			
		ネバリタデ	<i>Persicaria viscofera</i>	○				
		サトヤマタデ(ヒメボントクタデ)	<i>Persicaria clivorum</i>	○	○			
		サクラタデ	<i>Persicaria conspicua</i>		○			
		ヤナギタデ	<i>Persicaria hydropiper</i>	○	○			
		オオイスタデ	<i>Persicaria lapathifolia</i>	○	○			
		イスタデ	<i>Persicaria longiseta</i>	○	○			
		コミノソバ	<i>Persicaria mikawana</i>	○	○			
		タニソバ	<i>Persicaria nepalensis</i>		○			
		ヤノネグサ	<i>Persicaria nipponensis</i>	○	○			
		イシミカワ	<i>Persicaria perfoliata</i>		○			
		ハナタデ	<i>Persicaria posumbu</i>	○	○			
		ボントクタデ	<i>Persicaria pubescens</i>	○	○			
		ママコノシリヌグイ	<i>Persicaria senticosa</i>		○			
		アキノウナギツカミ	<i>Persicaria sieboldii</i>	○	○			
		ミノソバ	<i>Persicaria thunbergii</i>	○	○			
		ヒメツルソバ	<i>Polygonum capitatum</i>		○	○		逸出
		イタドリ	<i>Reynoutria japonica</i>	○	○			
		スイバ	<i>Rumex acetosa</i>	○	○			
		ヒメスイバ	<i>Rumex acetosella</i>	○	○	○		
		アレチギシギシ	<i>Rumex conglomeratus</i>		○	○		
		ギシギシ	<i>Rumex japonicus</i>	○	○			
		エゾノギシギシ	<i>Rumex obtusifolius</i>	○	○	○		
		ヤマゴボウ	ヨウシュヤマゴボウ	<i>Phytolacca americana</i>	○	○	○	
		オシロイバナ	オシロイバナ	<i>Mirabilis jalapa</i>		○	○	
		ザクロソウ	ザクロソウ	<i>Mollugo pentaphylla</i>		○		
			クルマバザクロソウ	<i>Mollugo verticillata</i>		○	○	
		スベリヒユ	マツバボタン	<i>Portulaca grandiflora</i>		○		
	スベリヒユ		<i>Portulaca oleracea</i>	○	○			
	ナデシコ	ノミノツツリ	<i>Arenaria serpyllifolia</i>	○	○			
		オランダミミナグサ	<i>Cerastium glomeratum</i>	○	○	○		
		ミミナグサ	<i>Cerastium holosteoides</i> var. <i>angustifolium</i>	○	○			
		ナンバンハコベ	<i>Cucubalus baccifer</i> var. <i>japonicus</i>		○			
		カワラナデシコ	<i>Dianthus superbus</i> var. <i>longicalycinus</i>	○	○			
		キヌイトツメクサ	<i>Sagina decumbens</i>		○	○		
		ツメクサ	<i>Sagina japonica</i>	○	○			
		ムシトリナデシコ	<i>Silene armeria</i>		○	○		
		ノミノフスマ	<i>Stellaria alsine</i> var. <i>undulata</i>	○	○			
		ウシハコベ	<i>Stellaria aquatica</i>	○	○			
		コハコベ	<i>Stellaria media</i>	○	○	○		
		ミドリハコベ	<i>Stellaria neglecta</i>	○	○			
アカザ	シロザ	<i>Chenopodium album</i>	○					
	アリタソウ(ケアリタソウを含む)	<i>Chenopodium ambrosioides</i>	○	○	○			
	ゴウシュウアリタソウ	<i>Chenopodium pumilio</i>		○	○			
ヒユ	ヒカゲイノコズチ	<i>Achyranthes bidentata</i> var. <i>japonica</i>	○	○				
	ヒナタイノコズチ	<i>Achyranthes bidentata</i> var. <i>tomentosa</i>	○	○				
	イヌビユ	<i>Amaranthus lividus</i>	○	○	○			

表 6-1(6) 植物確認種リスト

分類	科名	種名	学名	確認場所		外来種等	植栽等
				実 施 区 事 業	周 辺 地 域		
種子植物門 被子植物亜門 双子葉植物綱 離弁花類	モクレン	ホオノキ	<i>Magnolia hypoleuca</i>	○	○		
		コブシ	<i>Magnolia praecocissima</i>	○	○	○	植栽・逸出
		タムシバ	<i>Magnolia salicifolia</i>	○	○		
	バンレイシ	アケビガキ	<i>Asimina triloba</i>		○	○	植栽
	マツブサ	サネカズラ	<i>Kadsura japonica</i>	○	○		
		マツブサ	<i>Schisandra repanda</i>	○			
	シキミ	シキミ	<i>Illicium anisatum</i>	○	○		
	クスノキ	クスノキ	<i>Cinnamomum camphora</i>	○	○	○	
		ヤブニッケイ	<i>Cinnamomum japonicum</i>	○	○		
		ゲッケイジュ	<i>Laurus nobilis</i>		○	○	植栽
		ヤマコウバシ	<i>Lindera glauca</i>	○	○		
		クロモジ	<i>Lindera umbellata</i>	○	○		
		ヒメクロモジ	<i>Lindera umbellata</i> var. <i>lancea</i>	○	○		
		タブノキ	<i>Machilus thunbergii</i>	○	○		
		シロダモ	<i>Neolitsea sericea</i>	○	○		
		アブラチャン	<i>Parabenzoin praecox</i>	○	○		
		シロモジ	<i>Parabenzoin trilobum</i>	○	○		
	フサザクラ	フサザクラ	<i>Euptelea polyandra</i>	○			移入
	キンポウゲ	ニリンソウ	<i>Anemone flaccida</i>	○	○		
		イヌショウマ	<i>Cimicifuga japonica</i>		○		
		ポタンヅル	<i>Clematis apiifolia</i>	○	○		
		コポタンヅル	<i>Clematis apiifolia</i> var. <i>bitermata</i>		○		
		センニンソウ	<i>Clematis terniflora</i>	○	○		
		ウマノアシガタ	<i>Ranunculus japonicus</i>	○	○		
		タガラン	<i>Ranunculus sceleratus</i>	○	○		
		キツネノボタン	<i>Ranunculus silerifolius</i>	○	○		
		オトコゼリ	<i>Ranunculus tachiroei</i>	○	○		
		アキカラマツ	<i>Thalictrum minus</i> var. <i>hypoleucum</i>	○	○		
	メギ	メギ	<i>Berberis thunbergii</i>		○		
		ホノヒイラギナンテン	<i>Berberis fortunei</i>	○	○	○	植栽
		ヒイラギナンテン	<i>Mahonia japonica</i>	○	○	○	植栽
		ナンテン	<i>Nandina domestica</i>	○	○	○	
	アケビ	ゴヨウアケビ	<i>Akebia x pentaphylla</i>	○	○		
		アケビ	<i>Akebia quinata</i>	○	○		
		ミツバアケビ	<i>Akebia trifoliata</i>	○	○		
		ムベ	<i>Stauntonia hexaphylla</i>	○	○		
	ツヅラフジ	アオツヅラフジ	<i>Cocculus orbiculatus</i>	○	○		
	スイレン	ジュンサイ	<i>Brasenia schreberi</i>	○			
		ハス	<i>Nelumbo nucifera</i>		○	○	植栽
	マツモ	マツモ	<i>Ceratophyllum demersum</i>		○		
	ドクダミ	ドクダミ	<i>Houttuynia cordata</i>	○	○		
	センリョウ	フタリシズカ	<i>Chloranthus serratus</i>	○	○		
		センリョウ	<i>Sarcandra glabra</i>	○	○		逸出
	ウマノスズクサ	ウマノスズクサ	<i>Aristolochia debilis</i>	○	○		
		ヒメカンアオイ	<i>Heterotropa takaoi</i>	○	○		
	マタタビ	サルナシ	<i>Actinidia arguta</i>	○	○		
		オニマタタビ	<i>Actinidia chinensis</i>	○	○		逸出
		ウラジロマタタビ	<i>Actinidia hypoleuca</i>	○	○		
		マタタビ	<i>Actinidia polygama</i>	○	○		
	ツバキ	ヤブツバキ	<i>Camellia japonica</i>	○	○		
チャノキ		<i>Camellia sinensis</i>	○	○	○	逸出	
サカキ		<i>Cleyera japonica</i>	○	○			
ヒサカキ		<i>Eurya japonica</i>	○	○			
ヒメシャラ		<i>Stewartia monadelphica</i>		○			
ナツツバキ		<i>Stewartia pseudo-camellia</i>		○		植栽	
オトギリソウ	オトギリソウ	<i>Hypericum erectum</i>	○	○			

表 6-1(7) 植物確認種リスト

分類	科名	種名	学名	確認場所		外来種等	植栽等
				実 施 区 事 業	周 辺 地 域		
種子植物門 被子植物亜門 双子葉植物綱 離弁花類	オトギリソウ	コケオトギリ	<i>Hypericum laxum</i>	○	○		
		キンシバイ	<i>Hypericum patulum</i>		○	○	植栽
		サワオトギリ	<i>Hypericum pseudopetiolatum</i>	○	○		
		ミズオトギリ	<i>Triadenum japonicum</i>	○	○		
	モウセンゴケ	モウセンゴケ	<i>Drosera rotundifolia</i>	○	○		
		コモウセンゴケ	<i>Drosera spathulata</i>		○		
		トウカイコモウセンゴケ	<i>Drosera tokaiensis</i>		○		
	ゲン	クサノオウ	<i>Chelidonium majus</i> var. <i>asiaticum</i>		○		
		ジロボウエンゴサク	<i>Corydalis decumbens</i>	○	○		
		ムラサキケマン	<i>Corydalis incisa</i>	○	○		
		タケノグサ	<i>Macleaya cordata</i>	○	○		
		ナガミヒナゲン	<i>Papaver dubium</i>		○	○	
		アツミゲン	<i>Papaver setigerum</i>		○	○	
	アブラナ	シロイヌナズナ	<i>Arabidopsis thaliana</i>		○	○	
		ヤマハタザオ	<i>Arabis hirsuta</i>	○	○		
		セイヨウアブラナ	<i>Brassica napus</i>		○	○	
		ナズナ	<i>Capsella bursa-pastoris</i>	○	○		
		ヒロハコンロンソウ	<i>Cardamine appendiculata</i>		○		
		タネツケバナ	<i>Cardamine flexuosa</i>	○	○		
		ミズタネツケバナ	<i>Cardamine flexuosa</i> var. <i>latifolia</i>	○	○		
		ミチタネツケバナ	<i>Cardamine hirsuta</i>	○	○	○	
		オオバタネツケバナ	<i>Cardamine scutata</i>	○	○		
		ワサビ	<i>Eutrema japonica</i>	○	○	○	
		マメゲンバイナズナ	<i>Lepidium virginicum</i>		○	○	
		オランダガラシ	<i>Nasturtium officinale</i>	○	○	○	
		ショカツサイ	<i>Orychophragmus violaceus</i>		○	○	
		イヌガラシ	<i>Rorippa indica</i>	○	○		
	スカシタゴボウ	<i>Rorippa islandica</i>	○	○			
	マンサク	マンサク	<i>Hamamelis japonica</i>	○	○		
	ベンケイソウ	ヨーロッパタイトゴメ	<i>Sedum acre</i>		○		植栽
		コモチマンネングサ	<i>Sedum bulbiferum</i>	○	○		
		マルバマンネングサ	<i>Sedum makinoi</i>		○		
		メキシコマンネングサ	<i>Sedum mexicanum</i>		○	○	
		オカタイトゴメ	<i>Sedum oryzifolium</i> var. <i>pumilum</i>		○	○	
		ツルマンネングサ	<i>Sedum sarmentosum</i>		○	○	
	ユキノシタ	チダケサシ	<i>Astilbe microphylla</i>	○	○		
		クサアジサイ	<i>Cardiandra alternifolia</i>		○		
		イワネコノメソウ	<i>Chrysosplenium echinus</i>		○		
		ネコノメソウ	<i>Chrysosplenium grayanum</i>	○	○		
		ヤマネコノメソウ	<i>Chrysosplenium japonicum</i>	○	○		
		ウツギ	<i>Deutzia crenata</i>	○	○		
		コアジサイ	<i>Hydrangea hirta</i>	○	○		
		アジサイ	<i>Hydrangea macrophylla</i>	○	○	○	植栽
		ガクアジサイ	<i>Hydrangea macrophylla</i> f. <i>normalis</i>		○	○	植栽
		ヤマアジサイ	<i>Hydrangea macrophylla</i> var. <i>acuminata</i>	○	○		
		ノリウツギ	<i>Hydrangea paniculata</i>	○	○		
		ウメバチソウ	<i>Parnassia palustris</i> var. <i>multisetata</i>	○			
ヤグルマソウ		<i>Rodgersia podophylla</i>		○		植栽	
ユキノシタ		<i>Saxifraga stolonifera</i>	○	○	○	逸出	
イワガラミ		<i>Schizophragma hydrangeoides</i>	○	○			
バラ	キンミズヒキ	<i>Agrimonia japonica</i>	○	○			
	ヒメキンミズヒキ	<i>Agrimonia nipponica</i>	○	○			
	ザイフリボク	<i>Amelanchier asiatica</i>		○			
	ヘビイチゴ	<i>Duchesnea chrysantha</i>	○	○			
	ヤブヘビイチゴ	<i>Duchesnea indica</i>	○	○			
	ビロ	<i>Eriobotrya japonica</i>		○	○	逸出	

表 6-1(8) 植物確認種リスト

分類	科名	種名	学名	確認場所		外来種等	植栽等	
				実 施 区 事 業	周 辺 地 域			
種子植物門 被子植物亜門 双子葉植物綱 離弁花類	バラ	ダイコンソウ	<i>Geum japonicum</i>	○	○			
		ヤマブキ	<i>Kerria japonica</i>		○		植栽	
		ズミ	<i>Malus toringo</i>		○			
		カナメモチ	<i>Photinia glabra</i>	○	○			
		ミツバツチグリ	<i>Potentilla freyniana</i>	○	○			
		オヘビイチゴ	<i>Potentilla sundaica</i> var. <i>robusta</i>	○	○			
		カマツカ	<i>Pourthiaea villosa</i> var. <i>laevis</i>	○	○			
		ウワミズザクラ	<i>Prunus grayana</i>	○	○			
		マメザクラ	<i>Prunus incisa</i>		○	○	植栽	
		ヤマザクラ	<i>Prunus jamasakura</i>	○	○			
		ウメ	<i>Prunus mume</i>		○	○	植栽	
		リンボク	<i>Prunus spinulosa</i>		○			
		カスミザクラ	<i>Prunus verecunda</i>	○	○			
		ピラカンサ	<i>Pyracantha angustifolia</i>		○	○	逸出	
		シロヤマブキ	<i>Rhodotypos scandens</i>		○		植栽	
		ノイバラ	<i>Rosa multiflora</i>	○	○			
		ミヤコイバラ	<i>Rosa paniculigera</i>	○	○			
		テリハノイバラ	<i>Rosa wichuraiana</i>	○	○			
		フユイチゴ	<i>Rubus buergeri</i>	○	○			
		クマイチゴ	<i>Rubus crataegifolius</i>	○	○			
		クサイチゴ	<i>Rubus hirsutus</i>	○	○			
		ニガイチゴ	<i>Rubus microphyllus</i>	○	○			
		モミジイチゴ	<i>Rubus palmatus</i> var. <i>coptophyllus</i>	○	○			
		ナワシロイチゴ	<i>Rubus parvifolius</i>	○	○			
		エビガライチゴ	<i>Rubus phoenicolasius</i>		○			
		コジキイチゴ	<i>Rubus sumatranus</i>	○	○			
		ワレモコウ	<i>Sanguisorba officinalis</i>		○			
		アズキナシ	<i>Sorbus alnifolia</i>	○	○			
		ウラジロノキ	<i>Sorbus japonica</i>	○	○			
		ユキヤナギ	<i>Spiraea thunbergii</i>		○	○	逸出	
		マメ	クサネム	<i>Aeschynomene indica</i>	○	○		
			ネムノキ	<i>Albizia julibrissin</i>	○	○		
			イタチハギ	<i>Amorpha fruticosa</i>		○	○	
	ヤブマメ		<i>Amphicarpaea edgeworthii</i> var. <i>japonica</i>	○	○			
	ホドイモ		<i>Apios fortunei</i>	○	○			
	ゲンゲ		<i>Astragalus sinicus</i>	○	○	○		
	エビスグサ		<i>Senna obtusifolia</i>	○		○	植栽	
	アレチヌスビトハギ		<i>Desmodium paniculatum</i>	○	○	○		
	ヌスビトハギ		<i>Desmodium podocarpum</i> ssp. <i>oxyphyllum</i>	○	○			
	ヤブハギ		<i>Desmodium podocarpum</i> ssp. <i>oxyphyllum</i> var. <i>mandshuricum</i>	○	○			
	ノササゲ		<i>Dumasia truncata</i>	○	○			
	ノアズキ		<i>Dunbaria villosa</i>	○	○			
	ツルマメ		<i>Glycine max</i> ssp. <i>soja</i>	○	○			
	ニワフジ		<i>Indigofera decora</i>		○	○		
	コマツナギ		<i>Indigofera pseudotinctoria</i>	○	○			
	コマツナギ(キダチコマツナギ)		<i>Indigofera</i> sp.	○	○	○		
	ヤハズソウ		<i>Kummerowia striata</i>	○	○			
	ヤマハギ		<i>Lespedeza bicolor</i>	○	○			
	メドハギ		<i>Lespedeza cuneata</i>	○	○			
	ハイメドハギ		<i>Lespedeza cuneata</i> var. <i>serpens</i>		○	○		
	マルバハギ		<i>Lespedeza cyrtobotrya</i>	○	○			
	ツクシハギ		<i>Lespedeza homoloba</i>	○	○			
	ネコハギ		<i>Lespedeza pilosa</i>	○	○			
	セイヨウミヤコグサ		<i>Lotus corniculatus</i> var. <i>corniculatus</i>	○	○	○		
	イヌエンジュ		<i>Maackia amurensis</i> var. <i>buergeri</i>	○	○	○		
	ナツフジ		<i>Millettia japonica</i>	○	○			

表 6-1(9) 植物確認種リスト

分類	科名	種名	学名	確認場所		外来種等	植栽等
				実 施 区 事 業	周 辺 地 域		
種子植物門 被子植物亜門 双子葉植物綱 離弁花類	マメ	クズ	<i>Pueraria lobata</i>	○	○		
		タンキリマメ	<i>Rhynchosia volubilis</i>		○		
		ハリエンジュ	<i>Robinia pseudoacacia</i>	○	○	○	植栽
		コメツツメクサ	<i>Trifolium dubium</i>	○	○	○	
		ムラサキツメクサ	<i>Trifolium pratense</i>	○	○	○	
		シロツメクサ	<i>Trifolium repens</i>	○	○	○	
		ヤハズエンドウ	<i>Vicia angustifolia</i>	○	○		
		スズメノエンドウ	<i>Vicia hirsuta</i>	○	○		
		カスマグサ	<i>Vicia tetrasperma</i>	○	○		
		ヤブツルアズキ	<i>Vigna angularis</i> var. <i>nipponensis</i>		○		
		フジ	<i>Wisteria floribunda</i>	○	○		
		シロバナフジ	<i>Wisteria floribunda</i> f. <i>alba</i>		○		
		カタバミ	イモカタバミ	<i>Oxalis articulata</i>		○	○
	カタバミ		<i>Oxalis corniculata</i>	○	○		
	アカカタバミ		<i>Oxalis corniculata</i> f. <i>rubrifolia</i>		○		
	ウスアカカタバミ		<i>Oxalis corniculata</i> f. <i>tropaeoloides</i>		○		
	ムラサキカタバミ		<i>Oxalis corymbosa</i>		○	○	
	オッタチカタバミ		<i>Oxalis stricta</i>	○	○	○	
	フウロソウ	アメリカフウロ	<i>Geranium carolinianum</i>	○	○	○	
		ゲンノショウコ	<i>Geranium thunbergii</i>	○	○		
	トウダイグサ	エノキグサ	<i>Acalypha australis</i>	○	○		
		ハイニシキノウ	<i>Euphorbia chamaesyce</i>		○	○	
		オオニシキノウ	<i>Euphorbia maculata</i>	○	○	○	
		コニシキノウ	<i>Euphorbia supina</i>	○	○	○	
		アカメガシワ	<i>Mallotus japonicus</i>	○	○		
		ヒメミカンソウ	<i>Phyllanthus matsumurae</i>	○	○		
		コムカンソウ	<i>Phyllanthus urinaria</i>	○	○		
		シラキ	<i>Sapium japonicum</i>		○		
		ナンキンハゼ	<i>Sapium sebiferum</i>	○	○	○	
	ユズリハ	ユズリハ	<i>Daphniphyllum macropodum</i>	○	○		
	ミカン	マツカゼソウ	<i>Boenninghausenia japonica</i>		○		
		コクサギ	<i>Orixa japonica</i>	○	○		
		キハダ	<i>Phellodendron amurense</i>	○	○		
		ミヤマシキミ	<i>Skimmia japonica</i>	○	○		
		ツルシキミ	<i>Skimmia japonica</i> var. <i>intermedia</i> f. <i>repens</i>	○			
		カラスザンショウ	<i>Zanthoxylum ailanthoides</i>	○	○		
		フユザンショウ	<i>Zanthoxylum armatum</i> var. <i>subtrifoliatum</i>		○		
		サンショウ	<i>Zanthoxylum piperitum</i>	○	○		
		イヌザンショウ	<i>Zanthoxylum schinifolium</i>	○	○		
	ニガキ	シンジュ	<i>Ailanthus altissima</i>	○	○	○	
		ニガキ	<i>Pterocarya quassioides</i>	○	○		
	センダン	センダン	<i>Melia azedarach</i>		○	○	
	ヒメハギ	ヒメハギ	<i>Polygala japonica</i>	○	○		
	ウルシ	ツタウルシ	<i>Rhus ambigua</i>	○	○		
		ヌルデ	<i>Rhus javanica</i> var. <i>chinensis</i>	○	○		
		ハゼノキ	<i>Rhus succedanea</i>	○	○	○	
		ヤマハゼ	<i>Rhus sylvestris</i>		○		
		ヤマウルシ	<i>Rhus trichocarpa</i>	○	○		
	カエデ	ウリカエデ	<i>Acer crataegifolium</i>	○	○		
		イロハモミジ	<i>Acer palmatum</i>	○	○		
		オオモミジ	<i>Acer palmatum</i> var. <i>amoenum</i>		○		植栽
		コハウチワカエデ	<i>Acer sieboldianum</i>	○	○		
	ムクロジ	ムクロジ	<i>Sapindus mukorossi</i>		○		
アワブキ	アワブキ	<i>Meliosma myriantha</i>	○	○			
ツリフネソウ	キツリフネ	<i>Impatiens noli-tangere</i>		○			
	ツリフネソウ	<i>Impatiens textori</i>	○	○			

表 6-1(10) 植物確認種リスト

分類	科名	種名	学名	確認場所		外来種等	植栽等
				実 施 区 事 業	周 辺 地 域		
種子植物門 被子植物亜門 双子葉植物綱 離弁花類	モチノキ	イヌツゲ	<i>Ilex crenata</i>	○	○		
		タラヨウ	<i>Ilex latifolia</i>		○	○	植栽
		アオハダ	<i>Ilex macropoda</i>	○	○		
		ソヨゴ	<i>Ilex pedunculosa</i>	○	○		
		クロガネモチ	<i>Ilex rotunda</i>	○	○		
		ウメモドキ	<i>Ilex serrata</i>	○	○		
	ニシキギ	ツルウメモドキ	<i>Celastrus orbiculatus</i>	○	○		
		ニシキギ	<i>Euonymus alatus</i>		○		
		コマユミ	<i>Euonymus alatus</i> f. <i>ciliatodentatus</i>	○	○		
		ツルマサキ	<i>Euonymus fortunei</i> var. <i>radicans</i>	○	○		
		マサキ	<i>Euonymus japonicus</i>		○		
		ツリバナ	<i>Euonymus oxyphyllus</i>	○	○		
	マユミ	<i>Euonymus sieboldianus</i>	○	○			
	ミツバウツギ	ゴンズイ	<i>Euscaphis japonica</i>	○	○		
	ツゲ	ツゲ	<i>Buxus microphylla</i> var. <i>japonica</i>		○		逸出
		フッキソウ	<i>Pachysandra terminalis</i>	○	○	○	植栽
	クロウメモドキ	クマヤナギ	<i>Berchemia racemosa</i>	○	○		
		イソノキ	<i>Fragula crenata</i>	○	○		
		ケケンボナン	<i>Hovenia trichocarpa</i>	○	○		
		クロウメモドキ	<i>Rhamnus japonica</i> var. <i>decipiens</i>	○	○		
	ブドウ	ノブドウ	<i>Ampelopsis glandulosa</i> var. <i>heterophylla</i>	○	○		
		ヤブガラシ	<i>Cayratia japonica</i>	○	○		
		ツタ	<i>Parthenocissus tricuspidata</i>	○	○		
		エビヅル	<i>Vitis ficifolia</i> var. <i>lobata</i>	○	○		
		アマヅル	<i>Vitis saccharifera</i>	○	○		
	ジンチョウゲ	ガンビ	<i>Diplomorpha sikokiana</i>		○		
	ガミ	ツルガミ	<i>Elaeagnus glabra</i>	○	○		
		ナツガミ	<i>Elaeagnus multiflora</i> var. <i>crispa</i> f. <i>orbiculata</i>	○	○		
		トウガミ	<i>Elaeagnus multiflora</i> var. <i>hortensis</i>		○		
	イイギリ	イイギリ	<i>Idesia polycarpa</i>	○	○		
	スミレ	アリアケスミレ	<i>Viola betonicifolia</i> var. <i>albescens</i>	○	○		
		タチツボスミレ	<i>Viola grypceras</i>	○	○		
		コスミレ	<i>Viola japonica</i>	○	○		
		マルバースミレ	<i>Viola keiskei</i>		○		
		マキノスミレ	<i>Viola makinoi</i>	○	○		
		スミレ	<i>Viola mandshurica</i>	○	○		
		ヒメスミレ	<i>Viola minor</i>		○		
		ニオイタチツボスミレ	<i>Viola obtusa</i>	○	○		
		アカネスミレ	<i>Viola phalacrocarpa</i>		○		
		フモトスミレ	<i>Viola pumilio</i>	○	○		
		アメリカスミレサイシン	<i>Viola sororia</i>		○	○	逸出
		ツボスミレ	<i>Viola verecunda</i>	○	○		
		アギスミレ	<i>Viola verecunda</i> var. <i>semilunaris</i>	○	○		
		ヒメアギスミレ	<i>Viola verecunda</i> var. <i>subaequiloba</i>	○	○		
		ノジスミレ	<i>Viola yedoensis</i>		○		
		キブシ	キブシ	<i>Stachyurus praecox</i>	○	○	
	ミゾハコベ	ミゾハコベ	<i>Elatine triandra</i> var. <i>pedicellata</i>	○	○		
	シュウカイドウ	シュウカイドウ	<i>Begonia evansiana</i>		○	○	
	ウリ	アマチャヅル	<i>Gynostemma pentaphyllum</i>	○	○		
		スズメウリ	<i>Melothria japonica</i>	○	○		
		カラスウリ	<i>Trichosanthes cucumeroides</i>	○	○		
		キカラスウリ	<i>Trichosanthes kirilowii</i> var. <i>japonica</i>	○	○		
	ミソハギ	ホソバヒメミソハギ	<i>Ammannia coccinea</i>	○	○	○	
ミソハギ		<i>Lythrum anceps</i>	○	○			
キカシグサ		<i>Rotala indica</i> var. <i>uliginosa</i>	○	○			
ミズマツバ		<i>Rotala pusilla</i>		○			

表 6-1(11) 植物確認種リスト

分類	科名	種名	学名	確認場所		外来種等	植栽等	
				実 施 区 事 業	周 辺 地 域			
種子植物門 被子植物亜門 双子葉植物綱 離弁花類	ヒシ	ヒシ	<i>Trapa japonica</i>	○				
	アカバナ	タニタデ	<i>Circaea erubescens</i>	○	○			
		ミズタマンソウ	<i>Circaea mollis</i>	○	○			
		アカバナ	<i>Epilobium pyrricholophum</i>	○	○			
		アメリカミズキンバイ	<i>Ludwigia decurrens</i>		○	○		
		チョウジタデ	<i>Ludwigia epilobioides</i>	○	○			
		メマツヨイグサ	<i>Oenothera biennis</i>	○	○	○		
		オオマツヨイグサ	<i>Oenothera erythrosepala</i>		○	○		
		コマツヨイグサ	<i>Oenothera laciniata</i>	○	○	○		
		ユウゲシヨウ	<i>Oenothera rosea</i>		○	○		
		ヒルガキツキミノウ	<i>Oenothera speciosa</i>		○	○		
		マツヨイグサ	<i>Oenothera stricta</i>		○	○		
		アリノトウグサ	アリノトウグサ	<i>Haloragis micrantha</i>	○	○		
			オオフサモ	<i>Myriophyllum aquaticum</i>		○	○	植栽
	ミズキ	アオキ	<i>Aucuba japonica</i>	○	○			
		ヤマボウシ	<i>Benthamidia japonica</i>	○	○			
		ミズキ	<i>Cornus controversa</i>	○	○			
		クマノミズキ	<i>Cornus macrophylla</i>	○	○			
		ハナイカダ	<i>Helwingia japonica</i>		○			
	ウロギ	ケヤマウロギ	<i>Acanthopanax divaricatus</i>		○			
		オカウロギ	<i>Acanthopanax nipponicus</i>	○	○			
		コシアブラ	<i>Acanthopanax sciadophylloides</i>	○	○			
		ヤマウロギ	<i>Acanthopanax spinosus</i>	○	○			
		ウド	<i>Aralia cordata</i>		○			
		タラノキ	<i>Aralia elata</i>	○	○			
		タカノツメ	<i>Evodiopanax innovans</i>	○	○			
		ヤツデ	<i>Fatsia japonica</i>		○			
		セイヨウキツタ	<i>Hedera helix</i>		○	○	植栽	
		キツタ	<i>Hedera rhombea</i>	○	○			
		セリ	シシウド	<i>Angelica pubescens</i>		○		
	マツバゼリ		<i>Apium leptophyllum</i>		○	○		
	ツボクサ		<i>Centella asiatica</i>		○			
	ドクゼリ		<i>Cicuta virosa</i>	○	○			
	ミツバ		<i>Cryptotaenia japonica</i>	○	○			
	オオバチドメ		<i>Hydrocotyle javanica</i>	○	○			
	ノチドメ		<i>Hydrocotyle maritima</i>	○	○			
	オオチドメ		<i>Hydrocotyle ramiflora</i>	○	○			
	チドメグサ		<i>Hydrocotyle sibthorpioides</i>	○	○			
	ヒメチドメ		<i>Hydrocotyle yabei</i>	○	○			
	セリ		<i>Oenanthe javanica</i>	○	○			
	ヤブニンジン		<i>Osmorhiza aristata</i>		○			
	ムカゴニンジン		<i>Sium sisarum</i>	○	○			
	オヤブジラミ		<i>Torilis scabra</i>		○			
	種子植物門 被子植物亜門 双子葉植物綱 合弁花類	リョウブ	リョウブ	<i>Clethra barbinervis</i>	○	○		
		イチヤクソウ	ウメガサソウ	<i>Chimaphila japonica</i>		○		
			アキノギンリョウソウ	<i>Monotropa uniflora</i>		○		
			ギンリョウソウ	<i>Monotropastrum humile</i>	○	○		
イチヤクソウ			<i>Pyrola japonica</i>	○	○			
マルバノイチヤクソウ			<i>Pyrola nephrophylla</i>	○				
ツツジ		ベニドウダン	<i>Enkianthus cernus</i> f. <i>nipponicus</i>		○		植栽	
		ネジキ	<i>Lyonia ovalifolia</i> var. <i>elliptica</i>	○	○			
		アセビ	<i>Pteris japonica</i>	○	○			
		レンゲツツジ	<i>Rhododendron japonicum</i>	○	○			
		モチツツジ	<i>Rhododendron macrosepalum</i>	○	○			
		シロバナモチツツジ	<i>Rhododendron macrosepalum</i> f. <i>leucanthum</i>		○			
		ヤマツツジ	<i>Rhododendron obtusum</i> var. <i>kaempferi</i>	○	○			

表 6-1(12) 植物確認種リスト

分類	科名	種名	学名	確認場所		外来種等	植栽等	
				実施対象区事業	周辺地域			
種子植物門 被子植物亜門 双子葉植物綱 合弁花類	ツツジ	コバノミツバツツジ	<i>Rhododendron reticulatum</i>	○	○			
		シロバナコバノミツバツツジ	<i>Rhododendron reticulatum</i> f. <i>albiflorum</i>		○			
		バイカツツジ	<i>Rhododendron semibarbatum</i>	○	○			
		シャシャンボ	<i>Vaccinium bracteatum</i>	○	○			
		ウスノキ	<i>Vaccinium hirtum</i> var. <i>pubescens</i>	○	○			
		ナツハゼ	<i>Vaccinium oldhamii</i>	○	○			
		スノキ	<i>Vaccinium smallii</i> var. <i>glabrum</i>	○	○			
	ヤブコウジ	マンリョウ	<i>Ardisia crenata</i>	○	○			
		カラタチバナ	<i>Ardisia crispa</i>	○	○			
		ヤブコウジ	<i>Ardisia japonica</i>	○	○			
	サクラソウ	オカトラノオ	<i>Lysimachia clethroides</i>	○	○			
		スマトラノオ	<i>Lysimachia fortunei</i>	○	○			
		コナスビ	<i>Lysimachia japonica</i> f. <i>subsessilis</i>	○	○			
		クサレダマ	<i>Lysimachia vulgaris</i> var. <i>davurica</i>	○	○			
		クリソウ	<i>Primula japonica</i>		○		植栽	
	サクラソウ	<i>Primula sieboldii</i>		○	○	逸出		
	カキノキ	カキノキ	<i>Diospyros kaki</i>	○	○	○		
	エゴノキ	エゴノキ	<i>Styrax japonica</i>	○	○			
	ハイノキ	クロバイ	<i>Symplocos prunifolia</i>	○	○			
		サワフタギ	<i>Symplocos sawafutagi</i>	○	○			
	モクセイ	マルバアオダモ	<i>Fraxinus sieboldiana</i>	○	○			
		ネズミモチ	<i>Ligustrum japonicum</i>	○	○			
		トウネズミモチ	<i>Ligustrum lucidum</i>	○	○	○	植栽	
		イボタノキ	<i>Ligustrum obtusifolium</i>	○	○			
		ヒイラギ	<i>Osmanthus heterophyllus</i>	○	○			
	マチン	アイナエ	<i>Mitrasacme pygmaea</i>		○			
	リンドウ	リンドウ	<i>Gentiana scabra</i> var. <i>buergeri</i>	○	○			
		アケボノソウ	<i>Swertia bimaculata</i>	○	○			
		センブリ	<i>Swertia japonica</i>	○	○			
		ツルリンドウ	<i>Tripterospermum japonicum</i>	○	○			
	キョウチクトウ	テイカカズラ	<i>Trachelospermum asiaticum</i> f. <i>intermedium</i>	○	○			
		ツルニチニチソウ	<i>Vinca major</i>	○	○	○	逸出	
		ヒメツルニチニチソウ	<i>Vinca minor</i>		○		植栽・逸出	
	ガガイモ	スズサイコ	<i>Cynanchum paniculatum</i>	○	○			
		コバノカモメヅル	<i>Cynanchum sublancoelatum</i>	○	○			
		キジョラン	<i>Marsdenia tomentosa</i>	○				
		ガガイモ	<i>Metaplexis japonica</i>		○			
		オオカモメヅル	<i>Tylophora aristolochioides</i>	○	○			
		コカモメヅル	<i>Tylophora floribunda</i>	○	○			
	アカネ	アリドオン	<i>Damnacanthus indicus</i>		○			
		オオフタバムグラ	<i>Diodia teres</i>		○	○		
		ヒメヨツバムグラ	<i>Galium gracilens</i>	○	○			
		キクムグラ	<i>Galium kikumugura</i>		○			
		ヤエムグラ	<i>Galium spurium</i> var. <i>echinospermon</i>	○	○			
		ヨツバムグラ	<i>Galium trachyspermum</i>	○	○			
		ホソバノヨツバムグラ	<i>Galium trifidum</i> var. <i>brevipedunculatum</i>	○	○			
		クチナン	<i>Gardenia jasminoides</i>		○			
		フタバムグラ	<i>Hedyotis diffusa</i>		○			
		ハシカグサ	<i>Hedyotis lindleyana</i> var. <i>hirsuta</i>	○	○			
		ツルアリドオン	<i>Mitchella undulata</i>	○	○			
		ヘクソカズラ	<i>Paederia scandens</i>	○	○			
		イナモリソウ	<i>Pseudopyxis depressa</i>	○				
		アカネ	<i>Rubia argyi</i>	○	○			
		ヒルガオ	コヒルガオ	<i>Calystegia hederacea</i>		○		
			ヒルガオ	<i>Calystegia japonica</i>	○	○		
	マルバルコウ		<i>Ipomoea coccinea</i>		○	○		

表 6-1(13) 植物確認種リスト

分類	科名	種名	学名	確認場所		外来種等	植栽等		
				実 施 区 事 業	周 辺 地 域				
種子植物門 被子植物亜門 双子葉植物綱 合弁花類	ヒルガオ	マルバアメリカサガオ	<i>Ipomoea hederacea</i> var. <i>integrifolia</i>		○	○			
		ルコウソウ	<i>Quamoclit pennata</i>		○	○	植栽		
	ムラサキ	ハナイバナ	<i>Bothriospermum tenellum</i>			○			
		ヤマルリソウ	<i>Omphalodes japonica</i>			○			
		コンフリー	<i>Symphytum x uplandicum</i>			○		植栽	
		キュウリグサ	<i>Trigonotis peduncularis</i>			○			
	クマツヅラ	コムラサキ	<i>Callicarpa dichotoma</i>		○	○			
		ムラサキシキブ	<i>Callicarpa japonica</i>		○	○			
		ヤブムラサキ	<i>Callicarpa mollis</i>		○	○			
		ボタンクサギ	<i>Clerodendrum bungei</i>		○	○		植栽・逸出	
		ヒギリ	<i>Clerodendrum japonicum</i>		○	○		植栽・逸出	
		クサギ	<i>Clerodendrum trichotomum</i>		○	○			
		ヤナギハナガサ	<i>Verbena bonariensis</i>			○	○		
		アレチハナガサ	<i>Verbena brasiliensis</i>			○	○		
		ダキバアレチハナガサ	<i>Verbena incompta</i>		○	○	○		
	アワゴケ	アワゴケ	<i>Callitriche japonica</i>			○			
	シン	キランソウ	<i>Ajuga decumbens</i>		○	○			
		セイヨウキランソウ	<i>Ajuga reptans</i>		○	○		植栽	
		クルマバナ	<i>Clinopodium chinense</i> var. <i>parviflorum</i>		○	○			
		トウバナ	<i>Clinopodium gracile</i>		○	○			
		イストウバナ	<i>Clinopodium micranthum</i>		○	○			
		ナギナタコウジュ	<i>Elsholtzia ciliata</i>		○	○			
		カキドオシ	<i>Glechoma hederacea</i> var. <i>grandis</i>		○	○			
		ホトケノザ	<i>Lamium amplexicaule</i>		○	○			
		モミジバヒメオドリコソウ	<i>Lamium hybridum</i>			○	○		
		ヒメオドリコソウ	<i>Lamium purpureum</i>		○	○	○		
		メハジキ	<i>Leonurus japonicus</i>			○			
		ヒメシロネ	<i>Lycopus maackianus</i>		○	○			
		コシロネ	<i>Lycopus ramosissimus</i> var. <i>japonicus</i>		○	○			
		マルバハッカ	<i>Mentha rotundifolia</i>			○	○	植栽・逸出	
		オランダハッカ	<i>Mentha spicata</i>			○	○	植栽・逸出	
		ヒメジソ	<i>Mosla dianthera</i>		○	○			
		ヒカゲヒメジソ	<i>Mosla hirta</i>		○	○			
		イヌコウジュ	<i>Mosla punctulata</i>		○	○			
		シン	<i>Perilla frutescens</i> var. <i>acuta</i>			○	○	逸出	
		レモンエゴマ	<i>Perilla frutescens</i> var. <i>citriodora</i>		○	○			
		ウツボグサ	<i>Prunella vulgaris</i> ssp. <i>asiatica</i>		○	○			
		ヤマハッカ	<i>Rabdosia inflexa</i>		○	○			
		ヒキオコシ	<i>Rabdosia japonica</i>			○			
		アキノタムラソウ	<i>Salvia japonica</i>		○	○			
		タツナミソウ	<i>Scutellaria indica</i>		○	○			
		コバナタツナミ	<i>Scutellaria indica</i> var. <i>parvifolia</i>		○			植栽	
		シンバタツナミソウ	<i>Scutellaria laeteviolacea</i>		○	○			
		イヌゴマ	<i>Stachys riederi</i> var. <i>intermedia</i>		○	○			
		ツルニガクサ	<i>Teucrium viscidum</i> var. <i>miquelianum</i>		○	○			
		ナス	クコ	<i>Lycium chinense</i>			○	○	
			ホオズキ	<i>Physalis alkekengi</i> var. <i>franchetii</i>		○	○	○	
			センナリホオズキ	<i>Physalis angulata</i>			○		
			テリミノイヌホオズキ	<i>Solanum americanum</i>			○	○	
	ワルナスビ		<i>Solanum carolinense</i>			○	○		
	ヒヨドリジョウゴ		<i>Solanum lyratum</i>		○	○			
	マルバノホロシ		<i>Solanum maximowiczii</i>		○	○			
	イヌホオズキ		<i>Solanum nigrum</i>		○	○			
アメリカイヌホオズキ	<i>Solanum ptycanthum</i>			○		○			
ハダカホオズキ	<i>Tubocapsicum anomalum</i>				○				
ゴマノハグサ	ツタバウンラン	<i>Cymbararia muralis</i>		○	○	逸出			

表 6-1 (14) 植物確認種リスト

分類	科名	種名	学名	確認場所		外来種等	植栽等	
				実 対 施 象 区 事 域 業	周 辺 地 域			
種子植物門 被子植物亜門 双子葉植物綱 合弁花類	ゴマノハグサ	マルバノサトウガラシ	<i>Deinostema adenocaulum</i>		○			
		サトウガラシ	<i>Deinostema violaceum</i>	○	○			
		アブノメ	<i>Dopatrium junceum</i>		○			
		シソクサ	<i>Limnophila chinensis</i> ssp. <i>aromatica</i>		○			
		キクモ	<i>Limnophila sessiliflora</i>		○			
		マツバウンラン	<i>Linaria canadensis</i>	○	○	○		
		スズメノトウガラシ (広義)	<i>Lindernia antipoda</i>	○	○			
		ウリクサ	<i>Lindernia crustacea</i>	○	○			
		タケトアゼナ	<i>Lindernia dubia</i>	○		○		
		アメリカアゼナ	<i>Lindernia dubia</i> ssp. <i>major</i>	○	○	○		
		アゼトウガラシ	<i>Lindernia micrantha</i>	○	○			
		アゼナ	<i>Lindernia procumbens</i>	○	○			
		ムラサキサギゴケ	<i>Mazus miquelii</i>	○	○			
		サギゴケ	<i>Mazus miquelii</i> f. <i>albiflorus</i>		○			
		モモイロサギゴケ	<i>Mazus miquelii</i> f. <i>roseus</i>		○			
		トキワハゼ	<i>Mazus pumilus</i>	○	○			
		ママコナ	<i>Melampyrum roseum</i> var. <i>japonicum</i>	○	○			
		ミソホオズキ	<i>Mimulus nepalensis</i>	○	○			
		オオヒキヨモギ	<i>Siphonostegia laeta</i>		○			
		ビロードモウズイカ	<i>Verbascum thapsus</i>		○	○		
		タチイヌノフグリ	<i>Veronica arvensis</i>	○	○	○		
		ムシクサ	<i>Veronica peregrina</i>	○	○			
		オオイヌノフグリ	<i>Veronica persica</i>	○	○	○		
		ノウゼンカズラ	ノウゼンカズラ	<i>Campsis grandiflora</i>		○	○	逸出
			キリ	<i>Paulownia tomentosa</i>	○	○	○	
		キツネノマゴ	キツネノマゴ	<i>Justicia procumbens</i>	○	○		
		ハグロソウ	<i>Peristrophe japonica</i> var. <i>subrotunda</i>		○			
	イワタバコ	イワタバコ	<i>Conandron ramondioides</i>		○			
	ハマウツボ	ナンバンギセル	<i>Aeginetia indica</i>		○			
	タヌキモ	ミミカキグサ	<i>Utricularia bifida</i>		○			
		ホザキノミミカキグサ	<i>Utricularia caerulea</i>		○			
		イヌタヌキモ	<i>Utricularia tenuicaulis</i>	○	○			
		ムラサキミミカキグサ	<i>Utricularia uliginosa</i>		○			
	ハエドクソウ	ナガバハエドクソウ (ハエドクソウ)	<i>Phryma leptostachya</i> var. <i>oblongifolia</i>	○	○			
	オオバコ	オオバコ	<i>Plantago asiatica</i>	○	○			
		ヘラオオバコ	<i>Plantago lanceolata</i>		○	○		
		タチオオバコ	<i>Plantago virginica</i>		○	○		
	スイカズラ	コツクバネウツギ	<i>Abelia serrata</i>	○	○			
		ツクバネウツギ	<i>Abelia spathulata</i>	○	○			
		ヤマウグイスカグラ	<i>Lonicera gracilipes</i>	○	○			
		スイカズラ	<i>Lonicera japonica</i>	○	○			
		ソクズ	<i>Sambucus chinensis</i>		○			
		ニワトコ	<i>Sambucus racemosa</i> ssp. <i>sieboldiana</i>	○	○			
		ガマズミ	<i>Viburnum dilatatum</i>	○	○			
		コバノガマズミ	<i>Viburnum erosum</i> var. <i>punctatum</i>	○	○			
		オオカメノキ	<i>Viburnum furcatum</i>		○			
		サンゴジュ	<i>Viburnum odoratissimum</i> var. <i>awabuki</i>		○	○	植栽	
	ヤブデマリ	<i>Viburnum plicatum</i> var. <i>tomentosum</i>	○	○				
	ミヤマガマズミ	<i>Viburnum wrightii</i>	○	○				
	ニシキウツギ	<i>Weigela decora</i>		○				
	ヤブウツギ	<i>Weigela floribunda</i>	○	○				
	タニウツギ	<i>Weigela hortensis</i>	○	○				
オミナエシ	オミナエシ	<i>Patrinia scabiosaefolia</i>	○	○				
	オトコエシ	<i>Patrinia villosa</i>	○	○				
マツムシソウ	マツムシソウ	<i>Scabiosa japonica</i>	○	○				
キキョウ	ツリガネニンジン	<i>Adenophora triphylla</i> var. <i>japonica</i>	○	○				

表 6-1(15) 植物確認種リスト

分類	科名	種名	学名	確認場所		外来種等	植栽等
				実 施 区 事 業	周 辺 地 域		
種子植物門 被子植物亜門 双子葉植物綱 合弁花類	キキョウ	ホタルブクロ	<i>Campanula punctata</i>	○	○		
		ヤマホタルブクロ	<i>Campanula punctata</i> var. <i>hondoensis</i>		○		植栽・逸出
		ツルニンジン	<i>Codonopsis lanceolata</i>	○	○		
		ミノカクシ	<i>Lobelia chinensis</i>	○	○		
		サワギキョウ	<i>Lobelia sessilifolia</i>	○	○		
		キキョウ	<i>Platycodon grandiflorum</i>	○	○		
		キキョウソウ	<i>Specularia perfoliata</i>	○	○	○	
		ヒナキキョウソウ	<i>Triodanis biflora</i>	○	○	○	
		ヒナギキョウ	<i>Wahlenbergia marginata</i>		○		
	キク	セイヨウノコギリソウ	<i>Achillea millefolium</i>	○		○	逸出
		オカダイコン	<i>Adenostemma madurense</i>		○		
		キッコウハグマ	<i>Ainsliaea apiculata</i>	○	○		
		ヨモギ	<i>Artemisia indica</i> var. <i>maximowiczii</i>	○	○		
		オトコヨモギ	<i>Artemisia japonica</i>		○		
		イヌヨモギ	<i>Artemisia keiskeana</i>		○		
		イナカギク	<i>Aster ageratoides</i>	○	○		
		シロヨメナ	<i>Aster ageratoides</i> ssp. <i>leiophyllus</i>	○	○		
		ノコンギク	<i>Aster ageratoides</i> ssp. <i>ovatus</i>	○	○		
		キダチコンギク	<i>Aster pilosus</i>	○	○	○	
		ミヤコワスレ	<i>Aster savatieri</i> cv. <i>Miyakowasure</i>		○		植栽
		シラヤマギク	<i>Aster scaber</i>	○	○		
		ヒロハボウキギク	<i>Aster subulatus</i> var. <i>ligulatus</i>	○	○	○	
		オケラ	<i>Atractylodes japonica</i>		○		
		アメリカセンダングサ	<i>Bidens frondosa</i>	○	○	○	
		コセンダングサ	<i>Bidens pilosa</i>	○	○	○	
		シロバナセンダングサ	<i>Bidens pilosa</i> var. <i>minor</i>	○	○	○	
		タウコギ	<i>Bidens tripartita</i>	○	○		
		ヤブタバコ	<i>Carpesium abrotanoides</i>	○	○		
		ガンクビソウ	<i>Carpesium divaricatum</i>	○	○		
		サジガンクビソウ	<i>Carpesium glossophyllum</i>	○	○		
		トキンソウ	<i>Centipeda minima</i>	○	○		
		フランスギク	<i>Chrysanthemum leucanthemum</i>	○	○	○	逸出
		ノアザミ	<i>Cirsium japonicum</i>	○	○		
		キセルアザミ(マアザミ)	<i>Cirsium sieboldii</i>	○	○		
		スズカアザミ	<i>Cirsium suzukaense</i>	○	○		
		アメリカオニアザミ	<i>Cirsium vulgare</i>	○	○	○	
		アレチノギク	<i>Conyza bonariensis</i>		○	○	
		オオアレチノギク	<i>Conyza sumatrensis</i>	○	○	○	
		オオキンケイギク	<i>Coreopsis lanceolata</i>		○	○	
		コスモス	<i>Cosmos bipinnatus</i>		○	○	
		キバナコスモス	<i>Cosmos sulphureus</i>		○	○	
ベニバナボロギク	<i>Crassocephalum crepidioides</i>	○	○	○			
リュウノウギク	<i>Dendranthema japonicum</i>	○	○				
アメリカタカサブロウ	<i>Eclipta alba</i>	○	○	○			
タカサブロウ	<i>Eclipta prostrata</i>	○	○				
ダンドボロギク	<i>Erechtites hieracifolia</i>	○	○	○			
ヒメムカシヨモギ	<i>Erigeron canadensis</i>	○	○	○			
バラバラヨメナ	<i>Erigeron karvinskianus</i>		○	○	逸出		
ハルジオン	<i>Erigeron philadelphicus</i>	○	○	○			
ケナシヒメムカシヨモギ	<i>Erigeron pusillus</i>	○	○	○			
ヒヨドリバナ	<i>Eupatorium chinense</i> var. <i>oppositifolium</i>	○	○				
サワヒヨドリ	<i>Eupatorium lindleyanum</i>	○	○				
ツワブキ	<i>Farfugium japonicum</i>		○		逸出		
ハキダメギク	<i>Galinsoga ciliata</i>	○	○	○			
ハハコグサ	<i>Gnaphalium affine</i>	○	○				
タチチコグサ	<i>Gnaphalium calviceps</i>		○	○			

表 6-1(16) 植物確認種リスト

分類	科名	種名	学名	確認場所		外来種等	植栽等	
				実 施 区 事 業	周 辺 地 域			
種子植物門 被子植物亜門 双子葉植物綱 合弁花類	キク	チチコグサ	<i>Gnaphalium japonicum</i>	○	○			
		セイタカハハコグサ	<i>Gnaphalium luteo-album</i>	○	○	○		
		チチコグサモドキ	<i>Gnaphalium pensylvanicum</i>	○	○	○		
		ウスベニチチコグサ	<i>Gnaphalium purpureum</i>	○	○	○		
		ウラジロチチコグサ	<i>Gnaphalium spicatum</i>	○	○	○		
		キクイモ	<i>Helianthus tuberosus</i>			○	○	
		キツネアザミ	<i>Hemistepta lyrata</i>	○	○			
		スイラン	<i>Holeion krameri</i>			○		
		ヒメブタナ	<i>Hypochoeris glabra</i>	○	○	○		
		ブタナ	<i>Hypochoeris radicata</i>	○	○	○		
		ミズギク	<i>Inula ciliaris</i>	○	○			
		オオヂシバリ	<i>Ixeris debilis</i>			○		
		ニガナ	<i>Ixeris dentata</i>	○	○			
		ハナニガナ	<i>Ixeris dentata</i> var. <i>albiflora</i> f. <i>amplifolia</i>			○		
		イワニガナ	<i>Ixeris stolonifera</i>	○	○			
		ユウガギク	<i>Kalimeris pinnatifida</i>			○		
		ヨメナ	<i>Kalimeris yomena</i>	○	○			
		アキノノゲシ	<i>Lactuca indica</i>	○	○			
		ヤマニガナ	<i>Lactuca raddeana</i> var. <i>elata</i>			○		
		トゲヂシャ	<i>Lactuca scariola</i>	○	○	○		
		ムラサキニガナ	<i>Lactuca sororia</i>	○	○			
		コオニタビラコ	<i>Lapsana apogonoides</i>	○	○			
		ヤブタビラコ	<i>Lapsana humilis</i>	○	○			
		センボンヤリ	<i>Leibnitzia anandria</i>			○		
		オタカラコウ	<i>Ligularia fischeri</i>			○		
		コウヤボウキ	<i>Pertya scandens</i>	○	○			
		フキ	<i>Petasites japonicus</i>	○	○			
		コウゾリナ	<i>Picris hieracioides</i> var. <i>glabrescens</i>	○	○			
		シュウブンソウ	<i>Rhynchospermum verticillatum</i>	○	○			
		オオハンゴンソウ	<i>Rudbeckia laciniata</i>	○	○	○		
		オカオグルマ	<i>Senecio integrifolius</i> ssp. <i>fauriei</i>			○		
		サワギク	<i>Senecio nikoensis</i>	○	○			
		サワオグルマ	<i>Senecio pierotii</i>	○	○			
		ノボロギク	<i>Senecio vulgaris</i>	○	○	○		
		タムラソウ	<i>Serratula coronata</i> ssp. <i>insularis</i>	○	○			
		コメナモミ	<i>Siegesbeckia orientalis</i> ssp. <i>glabrescens</i>	○	○			
		メナモミ	<i>Siegesbeckia orientalis</i> ssp. <i>pubescens</i>	○	○			
		セイタカアワダチソウ	<i>Solidago altissima</i>	○	○	○		
		アキノキリンソウ	<i>Solidago virgaurea</i> var. <i>asiatica</i>	○	○			
		オノノゲシ	<i>Sonchus asper</i>	○	○	○		
		ノゲシ	<i>Sonchus oleraceus</i>	○	○			
		ヒメジョオン	<i>Stenactis annuus</i>	○	○	○		
		ヘラバヒメジョオン	<i>Stenactis strigosus</i>			○	○	
ヤマボクチ	<i>Synurus palmatopinnatifidus</i> var. <i>indivisus</i>			○				
アカミタンポポ	<i>Taraxacum laevigatum</i>	○	○	○				
セイヨウタンポポ	<i>Taraxacum officinale</i>	○	○	○				
ニホンタンポポ(ヒロハタンポポ)	<i>Taraxacum platycarpum</i>	○	○					
オオオナモミ	<i>Xanthium occidentale</i>			○	○			
ヤクシソウ	<i>Youngia denticulata</i>	○	○					
オニタビラコ(広義)	<i>Youngia japonica</i>	○	○					
種子植物門 被子植物亜門 単子葉植物綱	オモダカ	ヘラオモダカ	<i>Alisma canaliculatum</i>	○	○			
		アギナシ	<i>Sagittaria aginashi</i>	○	○			
		ウリカワ	<i>Sagittaria pygmaea</i>	○	○			
		オモダカ	<i>Sagittaria trifolia</i>	○	○			
	トチカガミ	マルミスブタ	<i>Blyxa aubertii</i>	○				
		スブタ	<i>Blyxa echinosperma</i>	○				

表 6-1 (17) 植物確認種リスト

分類	科名	種名	学名	確認場所		外来種等	植栽等	
				実 施 区 事 業	周 辺 地 域			
種子植物門 被子植物亜門 単子葉植物綱	トチカガミ	ヤナギスブタ	<i>Blyxa japonica</i>	○	○			
		オオカナダモ	<i>Egeria densa</i>		○	○		
		アマゾントチカガミ	<i>Limnobium laevigatum</i>		○	○	植栽	
		ミズオオバコ	<i>Ottelia japonica</i>	○	○			
	ヒルムシロ	ヒルムシロ	<i>Potamogeton distinctus</i>	○				
		フトヒルムシロ	<i>Potamogeton fryeri</i>	○	○			
		ホソバミズヒキモ	<i>Potamogeton octandrus</i>	○				
		ヤナギモ	<i>Potamogeton oxyphyllus</i>	○	○			
		イトモ	<i>Potamogeton pusilla</i>	○	○			
	イバラモ	ホッスモ	<i>Najas graminea</i>	○	○			
		イトトリゲモ	<i>Najas japonica</i>	○	○			
	ホンゴウソウ	ホンゴウソウ	<i>Sciaphila japonica</i>	○	○			
	ユリ	ノギラン	<i>Aletris luteoviridis</i>	○	○			
		ソクシンラン	<i>Aletris spicata</i>	○	○			
		ノビル	<i>Allium grayi</i>		○			
		ニラ	<i>Allium tuberosum</i>		○	○	逸出	
		ハラソ	<i>Aspidistra elatior</i>		○	○	植栽	
		ハナニラ	<i>Brodiaea uniflora</i>		○	○	逸出	
		シライトソウ	<i>Chionographis japonica</i>	○	○			
		ホウチャクソウ	<i>Disporum sessile</i>		○			
		チゴユリ	<i>Disporum smilacinum</i>	○	○			
		ショウジョウバカマ	<i>Heloniopsis orientalis</i>	○	○			
		ヤブカンゾウ	<i>Hemerocallis fulva</i> var. <i>kwanso</i>	○	○			
		ノカンゾウ	<i>Hemerocallis fulva</i> var. <i>longituba</i>	○	○			
		ユウスゲ	<i>Hemerocallis vespertina</i>	○				
		ミズギボウシ	<i>Hosta longissima</i> var. <i>brevifolia</i>	○	○			
		オオバギボウシ	<i>Hosta montana</i>		○			
		コバギボウシ	<i>Hosta sieboldii</i> f. <i>lancifolia</i>		○			
		ヤマユリ	<i>Lilium auratum</i>		○		植栽	
		ウバユリ	<i>Lilium cordatum</i>	○	○			
		タカサゴユリ	<i>Lilium formosanum</i>		○	○		
		ササユリ	<i>Lilium japonicum</i>	○	○			
		オニユリ	<i>Lilium lancifolium</i>		○	○		
		コオニユリ	<i>Lilium leichtlinii</i> var. <i>tigrinum</i>	○	○			
		ヒメヤブラン	<i>Liriope minor</i>	○	○			
		ヤブラン	<i>Liriope muscari</i>		○			
		ジャノヒゲ	<i>Ophiopogon japonicus</i>	○	○			
		ナガバジャノヒゲ	<i>Ophiopogon ohwii</i>	○	○			
		オオバジャノヒゲ	<i>Ophiopogon planiscapus</i>		○			
		オオアマナ	<i>Ornithogalum umbellatum</i>		○	○	植栽・逸出	
		ナルコユリ	<i>Polygonatum falcatum</i>	○	○			
		ミヤマナルコユリ	<i>Polygonatum lasianthum</i>	○	○			
		アマドコロ	<i>Polygonatum odoratum</i> var. <i>pluriflorum</i>	○	○			
		キチジョウソウ	<i>Reineckea carnea</i>		○			
		オモト	<i>Rohdea japonica</i>	○	○			
		ツルボ	<i>Scilla scilloides</i>		○			
		サルトリイバラ	<i>Smilax china</i>	○	○			
		シオデ	<i>Smilax riparia</i> var. <i>ussuriensis</i>	○	○			
		ヤマジノホトトギス	<i>Tricyrtis affinis</i>	○	○			
		ホトトギス	<i>Tricyrtis hirta</i>	○	○			
		アマナ	<i>Tulipa edulis</i>	○	○			
		ビャクブ	ナベワリ	<i>Croomia heterosepala</i>	○	○		
		ヒガンバナ	スノーフレーク	<i>Leucojum aestivum</i>		○	○	植栽
ヒガンバナ			<i>Lycoris radiata</i>		○	○		
ラッパズイセン			<i>Narcissus pseudonarcissus</i>		○		逸出	
スイセン			<i>Narcissus tazetta</i> var. <i>chinensis</i>		○	○	植栽	

表 6-1 (18) 植物確認種リスト

分類	科名	種名	学名	確認場所		外来種等	植栽等
				実 施 区 事 業	周 辺 地 域		
種子植物門 被子植物亜門 単子葉植物綱	ヒガンバナ	タマスダレ	<i>Zephyranthes candida</i>		○	○	植栽
	ヤマノイモ	ナガイモ	<i>Dioscorea batatas</i>	○	○	○	逸出
		ヤマノイモ	<i>Dioscorea japonica</i>	○	○		
		ヒメドコロ	<i>Dioscorea tenuipes</i>	○	○		
		オニドコロ	<i>Dioscorea tokoro</i>	○	○		
		ミズアオイ	ホテアアオイ	<i>Eichhornia crassipes</i>		○	○
	アヤメ	コナギ	<i>Monochoria vaginalis</i> var. <i>plantaginea</i>	○	○		
		ノハナショウブ	<i>Iris ensata</i> var. <i>spontanea</i>	○	○		
		シャガ	<i>Iris japonica</i>	○	○	○	
		キショウブ	<i>Iris pseudacorus</i>		○	○	
		ニワゼキショウ	<i>Sisyrinchium atlanticum</i>	○	○	○	
		オオニワゼキショウ	<i>Sisyrinchium</i> sp.	○	○	○	
		ヒメヒオウギズイセン	<i>Tritonia crocosmaeflora</i>	○	○	○	
	ヒナノシヤクジョウ	ヒナノシヤクジョウ	<i>Burmanna championii</i>		○		
	イグサ	イ	<i>Juncus effusus</i> var. <i>decipiens</i>	○	○		
		コウガイゼキショウ	<i>Juncus leschenaultii</i>	○	○		
		アオコウガイゼキショウ	<i>Juncus papillosus</i>	○	○		
		クサイ	<i>Juncus tenuis</i>	○	○		
		スズメノヤリ	<i>Luzula capitata</i>	○	○		
		ツユクサ	マルバツユクサ	<i>Commelina benghalensis</i>		○	○
	ツユクサ	ツユクサ	<i>Commelina communis</i>	○	○		
		イボクサ	<i>Murdannia keisak</i>	○	○		
		ヤブミョウガ	<i>Pollia japonica</i>	○	○		
		ノハカタカラクサ	<i>Tradescantia flumiensis</i>		○	○	
		ムラサキツユクサ	<i>Tradescantia reflexa</i>		○	○	
		ホシクサ	イトイヌノヒゲ	<i>Eriocaulon decemflorum</i> var. <i>nipponicum</i>	○	○	
	ホシクサ	ニッポンイヌノヒゲ	<i>Eriocaulon hondoense</i>	○	○		
		シラタマホシクサ	<i>Eriocaulon nudicuspe</i>		○		
		ヒロハイヌノヒゲ	<i>Eriocaulon robustius</i>	○	○		
	イネ	アオカモジグサ	<i>Agropyron racemiferum</i>	○	○		
		カモジグサ	<i>Agropyron tsukushiense</i> var. <i>transiens</i>	○	○		
		コヌカグサ	<i>Agrostis alba</i>	○	○	○	
		ヤマヌカボ	<i>Agrostis clavata</i>	○	○		
		ヌカボ	<i>Agrostis clavata</i> ssp. <i>matsumurae</i>	○	○		
		ヒメコヌカグサ	<i>Agrostis nipponensis</i>	○	○		
		ヌカススキ	<i>Aira caryophylla</i>		○	○	
		ハナヌカススキ	<i>Aira elegans</i>		○	○	
		スズメノテッポウ	<i>Alopecurus aequalis</i> var. <i>amurensis</i>	○	○		
		メリケンカルカヤ	<i>Andropogon virginicus</i>	○	○	○	
		ハルガヤ	<i>Anthoxanthum odoratum</i>	○	○	○	
		コブナグサ	<i>Arthraxon hispidus</i>	○	○		
		トダシバ	<i>Arundinella hirta</i>	○	○		
		ヤマカモジグサ	<i>Brachypodium sylvaticum</i>	○	○		
		コバンソウ	<i>Briza maxima</i>		○	○	
		ヒメコバンソウ	<i>Briza minor</i>	○	○	○	
		イヌムギ	<i>Bromus catharticus</i>		○	○	
		キツネガヤ	<i>Bromus pauciflorus</i>	○	○		
		ノガリヤス	<i>Calamagrostis arundinacea</i> var. <i>brachytricha</i>	○	○		
		ヤマアワ	<i>Calamagrostis epigeios</i>		○		
		ホッスガヤ	<i>Calamagrostis pseudo-phragmites</i>	○			
シロガネヨシ		<i>Cortaderia selloana</i>	○		○		
ジュズダマ		<i>Coix lacryma-jobi</i>		○	○		
オガルカヤ		<i>Cymbopogon tortilis</i> var. <i>goeringii</i>	○	○			
ギョウギシバ		<i>Cynodon dactylon</i>	○	○			
カモガヤ		<i>Dactylis glomerata</i>		○	○		
メヒシバ		<i>Digitaria ciliaris</i>	○	○			

表 6-1(19) 植物確認種リスト

分類	科名	種名	学名	確認場所		外来種等	植栽等
				実 施 区 事 業	周 辺 地 域		
種子植物門 被子植物亜門 単子葉植物綱	イネ	アキメヒシバ	<i>Digitaria violascens</i>	○	○		
		カリマタガヤ	<i>Dimeria ornithopoda</i> var. <i>tenera</i>		○		
		アブラススキ	<i>Eccoilopus cotulifer</i>	○	○		
		イヌビエ	<i>Echinochloa crus-galli</i>	○	○		
		ケイヌビエ	<i>Echinochloa crus-galli</i> var. <i>echinata</i>	○	○		
		タイヌビエ	<i>Echinochloa crus-galli</i> var. <i>oryzicola</i>	○	○		
		オヒシバ	<i>Eleusine indica</i>	○	○		
		シナダレスズメガヤ	<i>Eragrostis curvula</i>	○	○	○	
		カゼクサ	<i>Eragrostis ferruginea</i>	○	○		
		ニワホコリ	<i>Eragrostis multicaulis</i>	○	○		
		ナルコビエ	<i>Eriochloa villosa</i>	○			
		コスズメガヤ	<i>Eragrostis poaeoides</i>		○	○	
		チャボウシノシツペイ	<i>Eremochloa ophiuroides</i>		○	○	
		ウンヌケモドキ	<i>Eulalia quadrinervis</i>		○		
		ウンヌケ	<i>Eulalia speciosa</i>	○	○		
		オニウシノケグサ	<i>Festuca arundinacea</i>	○	○	○	
		ウシノケグサ	<i>Festuca ovina</i>	○	○	○	
		トボシガラ	<i>Festuca parvigluma</i>	○	○		
		オオウシノケグサ	<i>Festuca rubra</i>	○	○	○	
		ムツオレグサ	<i>Glyceria acutiflora</i>	○	○		
		ドジョウツナギ	<i>Glyceria ischyronoura</i>	○	○		
		ウシノシツペイ	<i>Hemarthria sibirica</i>	○	○		
		チガヤ	<i>Imperata cylindrica</i> var. <i>koenigii</i>	○	○		
		チゴザサ	<i>Isachne globosa</i>	○	○		
		ハイチゴザサ	<i>Isachne nipponensis</i>	○	○		
		エゾノサヤヌカグサ	<i>Leersia oryzoides</i>	○	○		
		サヤヌカグサ	<i>Leersia sayanuka</i>	○	○		
		ササクサ	<i>Lophatherum gracile</i>		○		
		ササガヤ	<i>Microstegium japonicum</i>	○	○		
		アンボン	<i>Microstegium vimineum</i> var. <i>polystachyum</i>	○	○		
		オギ	<i>Miscanthus sacchariflorus</i>	○	○		
		ススキ	<i>Miscanthus sinensis</i>	○	○		
		ヌマガヤ	<i>Moliniopsis japonica</i>		○		
		ネズミガヤ	<i>Muhlenbergia japonica</i>	○	○		
		ケチヂミザサ	<i>Oplismenus undulatifolius</i>	○	○		
		コチヂミザサ	<i>Oplismenus undulatifolius</i> var. <i>japonicus</i>	○			
		ヌカキビ	<i>Panicum bisulcatum</i>	○	○		
		オオクサキビ	<i>Panicum dichotomiflorum</i>	○	○	○	
		シマズメノヒエ	<i>Paspalum dilatatum</i>		○	○	
		キシウズメノヒエ	<i>Paspalum distichum</i>	○	○	○	
		アメリカズメノヒエ	<i>Paspalum notatum</i>		○	○	
		ズメノヒエ	<i>Paspalum thunbergii</i>	○	○		
		タチズメノヒエ	<i>Paspalum urvillei</i>	○	○	○	
		チカラシバ	<i>Pennisetum alopecuroides</i> f. <i>purpurascens</i>	○	○		
		クサヨシ	<i>Phalaris arundinacea</i>	○	○		
		ヨシ	<i>Phragmites australis</i>	○	○		
		ツルヨシ	<i>Phragmites japonica</i>	○	○		
		セイタカヨシ	<i>Phragmites karka</i>		○		
		ホテイチク	<i>Phyllostachys aurea</i>		○	○	植栽
		マダケ	<i>Phyllostachys bambusoides</i>	○	○	○	植栽
		クロチク	<i>Phyllostachys nigra</i>		○	○	植栽
ハチク	<i>Phyllostachys nigra</i> var. <i>henonis</i>	○	○	○	植栽		
モウウチク	<i>Phyllostachys pubescens</i>	○	○	○	植栽		
ネザサ	<i>Pleiolabastus chino</i> var. <i>viridis</i>	○	○				
ケネザサ	<i>Pleiolabastus shibuyanensis</i> f. <i>pubescens</i>	○	○				
メダケ	<i>Pleiolabastus simonii</i>	○	○				

表 6-1 (20) 植物確認種リスト

分類	科名	種名	学名	確認場所		外来種等	植栽等
				対象 施設 区域 事業	周辺 地域		
種子植物門 被子植物亜門 単子葉植物綱	イネ	ミゾイチゴツナギ	<i>Poa acroleuca</i>	○	○		
		スズメノカタビラ	<i>Poa annua</i>	○	○		
		オオイチゴツナギ	<i>Poa nipponica</i>		○		
		ナガハグサ	<i>Poa pratensis</i>	○	○	○	
		イチゴツナギ	<i>Poa sphondylodes</i>		○		
		ヒエガエリ	<i>Polypogon fugax</i>	○			
		ヤダケ	<i>Pseudosasa japonica</i>		○	○	
		ハイヌメリ	<i>Sacciolepis indica</i>	○	○		
		ヌメリグサ	<i>Sacciolepis indica</i> var. <i>oryzeterum</i>	○	○		
		ミヤコザサ	<i>Sasa nipponica</i>	○	○		
		クマザサ	<i>Sasa veitchii</i>		○	○	逸出
		ウシクサ	<i>Schizachyrium brevifolium</i>		○		
		ナリヒラダケ	<i>Semiarundinaria fastuosa</i>		○	○	植栽
		アキノエノコログサ	<i>Setaria faberi</i>	○	○		
		コツブキンエノコロ	<i>Setaria pallide-fusca</i>	○	○		
		キンエノコロ	<i>Setaria pumilla</i>	○	○		
		エノコログサ	<i>Setaria viridis</i>	○	○		
		オカメザサ	<i>Shibataea kumasasa</i>		○	○	植栽
		ネズミノオ	<i>Sporobolus fertilis</i>	○	○		
		メガルカヤ	<i>Themeda triandra</i> var. <i>japonica</i>	○	○		
		カニツリグサ	<i>Trisetum bifidum</i>	○	○		
		ナギナタガヤ	<i>Vulpia myuros</i>	○	○	○	
		マコモ	<i>Zizania latifolia</i>		○		
		シバ	<i>Zoysia japonica</i>	○	○		
		コウライシバ	<i>Zoysia tenuifolia</i>		○		植栽
		イネ科の一種	<i>Gramineae</i> sp.		○		
	ヤシ	シュロ	<i>Trachycarpus fortunei</i>	○	○	○	植栽
		トウジュロ	<i>Trachycarpus wagnerianus</i>		○	○	植栽
	サトイモ	ショウブ	<i>Acorus calamus</i>	○	○	○	
		セキショウ	<i>Acorus gramineus</i>	○	○		
		コウライテンナンショウ	<i>Arisaema peninsulae</i>	○	○		
		スルガテンナンショウ	<i>Arisaema yamatense</i> ssp. <i>sugimotoi</i>	○	○		
	ウキクサ	カラスビシャク	<i>Pinellia ternata</i>	○	○		
アオウキクサ		<i>Lemna aoukikusa</i>	○	○			
コウキクサ		<i>Lemna minor</i>		○			
ウキクサ	<i>Spirodela polyrhiza</i>	○	○				
ミクリ	ナガエミクリ	<i>Sparganium japonicum</i>	○	○			
ガマ	ヒメガマ	<i>Typha angustifolia</i>	○				
	ガマ	<i>Typha latifolia</i>	○	○			
	コガマ	<i>Typha orientalis</i>	○				
カヤツリグサ	ハタガヤ	<i>Bulbostylis barbata</i>		○			
	イトハナビテンツキ	<i>Bulbostylis densa</i>		○			
	シロイトスゲ	<i>Carex alterniflora</i> var. <i>alterniflora</i>		○			
	クロカワズスゲ	<i>Carex arenicola</i>		○			
	マツバスゲ	<i>Carex biwensis</i>	○	○			
	メアオスゲ	<i>Carex candolleana</i>	○	○			
	ハリガネスゲ	<i>Carex capillacea</i>		○			
	ヤマオオイトスゲ	<i>Carex clivorum</i>		○			
	ミヤマシラスゲ	<i>Carex confertiflora</i>		○			
	ヒメカンスゲ	<i>Carex conica</i>		○			
	ナルコスゲ	<i>Carex curvicollis</i>	○	○			
	オニスゲ	<i>Carex dickinsii</i>	○	○			
	カサスゲ	<i>Carex dispalata</i>	○	○			
	シラスゲ	<i>Carex doniana</i>		○			
	タニガワスゲ	<i>Carex forficula</i>		○			
	マスクサ	<i>Carex gibba</i>	○	○			

表 6-1 (21) 植物確認種リスト

分類	科名	種名	学名	確認場所		外来種等	植栽等
				実 施 区 事 業	周 辺 地 域		
種子植物門 被子植物亜門 単子葉植物綱	カヤツリグサ	ホソバヒカゲスゲ	<i>Carex humilis</i>	○			
		カワラスゲ	<i>Carex incisa</i>	○	○		
		ジュズスゲ	<i>Carex ischnostachya</i>	○			
		ヒゴクサ	<i>Carex japonica</i>	○	○		
		テキリスゲ	<i>Carex kiotensis</i>	○	○		
		ヒカゲスゲ	<i>Carex lanceolata</i>	○	○		
		ナキリスゲ	<i>Carex lenta</i>	○	○		
		アオスゲ	<i>Carex leucochlora</i>	○	○		
		タチスゲ	<i>Carex maculata</i>		○		
		ゴウソ	<i>Carex maximowiczii</i>	○	○		
		ノゲスカスゲ	<i>Carex mitrata</i> var. <i>aristata</i>	○	○		
		ヒメシラスゲ	<i>Carex mollicula</i>	○	○		
		カンスゲ	<i>Carex morrowii</i>		○		植栽
		ミヤマカンスゲ	<i>Carex multifolia</i>	○	○		植栽
		コミヤマカンスゲ	<i>Carex multifolia</i> var. <i>toriana</i>		○		
		シバスゲ	<i>Carex nervata</i>		○		
		ヤチカワズスゲ	<i>Carex omiana</i>	○	○		
		コジュズスゲ	<i>Carex parviflora</i> var. <i>macrogllossa</i>	○	○		
		マメスゲ	<i>Carex pudica</i>		○		
		コカンスゲ	<i>Carex reinii</i>		○		
		シラコスゲ	<i>Carex rhizopoda</i>	○	○		
		クサスゲ	<i>Carex rugata</i>	○	○		
		サトヤマハリスゲ	<i>Carex ruralis</i>		○		
		アズマナルコ	<i>Carex shimidzensis</i>		○		
		アゼスゲ	<i>Carex thunbergii</i>	○	○		
		ヤワラスゲ	<i>Carex transversa</i>	○	○		
		モエギスゲ	<i>Carex tristachya</i>	○	○		
		スゲ属の一種	<i>Carex</i> sp.	○			
		チャガヤツリ	<i>Cyperus amuricus</i>		○		
		ヒメクグ	<i>Cyperus brevifolius</i> var. <i>leiolepis</i>	○	○		
		イヌクグ	<i>Cyperus cyperoides</i>	○	○		
		クグガヤツリ	<i>Cyperus compressus</i>		○		
		タマガヤツリ	<i>Cyperus difformis</i>	○	○		
		メリケンガヤツリ	<i>Cyperus eragrostis</i>	○	○	○	
		ヒナガヤツリ	<i>Cyperus flaccidus</i>	○	○		
		アゼガヤツリ	<i>Cyperus globosus</i>	○	○		
		コアゼガヤツリ	<i>Cyperus haspan</i>	○	○		
		コゴメガヤツリ	<i>Cyperus iria</i>	○	○		
		カヤツリグサ	<i>Cyperus microiria</i>	○	○		
		ウシクグ	<i>Cyperus orthostachyus</i>	○	○		
		カワラスガナ	<i>Cyperus sanguinolentus</i>	○	○		
		ナンゴクカワラスガナ	<i>Cyperus sanguinolentus</i> f. <i>sanguinolentus</i>	○	○		
		マツバイ	<i>Eleocharis acicularis</i> var. <i>longiseta</i>	○	○		
		ハリイ	<i>Eleocharis congesta</i> ssp. <i>japonica</i>	○	○		
		クログワイ	<i>Eleocharis kuroguwai</i>	○	○		
		シカクイ	<i>Eleocharis wichurae</i>	○	○		
		イヌシカクイ	<i>Eleocharis wichurae</i> f. <i>teres</i>		○		
		ヒメヒラテンツキ	<i>Fimbristylis autumnalis</i>	○	○		
		テンツキ	<i>Fimbristylis dichotoma</i>	○	○		
		クロテンツキ	<i>Fimbristylis diphyllodes</i>	○	○		
		ヒデリコ	<i>Fimbristylis millacea</i>	○	○		
		ヤマイ	<i>Fimbristylis subbispicata</i>	○	○		
		ヒンジガヤツリ	<i>Lipocarpa microcephala</i>		○		
		コイヌノハナヒゲ	<i>Rhynchospora fujiana</i>		○		
		コマツカサススキ	<i>Scirpus fuirenooides</i>	○	○		
		ホタルイ	<i>Scirpus hotarui</i>	○	○		

表 6-1(22) 植物確認種リスト

分類	科名	種名	学名	確認場所		外来種等	植栽等		
				実 施 区 事 業	周 辺 地 域				
種子植物門 被子植物亜門 単子葉植物綱	カヤツリグサ	イヌホタルイ	<i>Scirpus juncooides</i>	○	○				
		マツカサススキ	<i>Scirpus mitsukurianus</i>	○					
		カンガレイ	<i>Scirpus triangulatus</i>	○	○				
		タイワンヤマイ	<i>Scirpus wallichii</i>	○					
		アブラガヤ	<i>Scirpus wichurae</i>	○	○				
		コシンジュガヤ	<i>Scleria parvula</i>	○					
	ショウガ	ミョウガ	<i>Zingiber mioga</i>	○	○				
	ラン	シラン	<i>Bletilla striata</i>		○		植栽		
		ギンラン	<i>Cephalanthera erecta</i>	○	○				
		キンラン	<i>Cephalanthera falcata</i>	○	○				
		キンラン属の一種	<i>Cephalanthera</i> sp.		○				
		サイハイラン	<i>Cremastra appendiculata</i>	○	○				
		シュンラン	<i>Cymbidium goeringii</i>	○	○				
		カキラン	<i>Epipactis thunbergii</i>	○	○				
		オニノヤガラ属の一種	<i>Gastrodia</i> sp.		○				
		アケボノシュスラン	<i>Goodyera foliosa</i> var. <i>maximowicziana</i>	○					
		ミヤマウズラ	<i>Goodyera schlechtendaliana</i>	○	○				
		アオミヤマウズラ	<i>Goodyera schlechtendaliana</i> f. <i>similis</i>		○				
		サギソウ	<i>Habenaria radiata</i>		○				
		エンシュウムヨウラン	<i>Lecanorchis japonica</i> var. <i>suginoana</i>	○	○				
		ジガバチソウ	<i>Liparis krameri</i>	○	○				
		クモキリソウ	<i>Liparis kumokiri</i>	○	○				
		ヒメフタバラン	<i>Neottia japonica</i>		○				
		オオバトソウ	<i>Platanthera minor</i>	○	○				
		カヤラン	<i>Sarcochilus japonicus</i>	○	○				
		ネジバナ	<i>Spiranthes sinensis</i> var. <i>amoena</i>	○	○				
		クモラン	<i>Taeniophyllum glandulosum</i>	○	○				
		ヒトツボクロ	<i>Tipularia japonica</i>	○	○				
		5	165科		1,200種	855	1,152	231	113

注：1. 種名及び配列は基本的に「植物目録」（1987年、環境庁）による。

2. 評価書でオキアガリネズとされた種は、ネズ（ネズミサシ）である可能性が高い。

3. 評価書でスブタとされた種のうち1地点については、マルミスブタであった。

4. 外来種等については、「ブルーデータブックあいち 2021」（2021年、愛知県）の掲載種、「特定外来生物等一覧（最終更新：2021年8月）」に掲載されている特定外来生物及び「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」（2015年3月26日）の掲載種を「○」で示す。

5. 植栽等については、スギやヒノキなど植栽起源のものを「植栽」、人家周辺などに植えられた種類が周辺に分布を広げたものを「逸出」、人為に伴って非意図的に本来の生育地と異なる場所に入り込んだものを「移入」として示す。

[資料 4]
(公開用資料)

トヨタ自動車新研究開発施設に係る
環境調査計画書（2023年次版）

(案)

2022年10月

トヨタ自動車株式会社

はじめに

豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業（以下「本事業」とします。）の対象事業実施区域は、森林が大半を占めるとともに谷津田が分布する里山環境を呈しており、重要な猛禽類であるサシバを始めとした多様な動植物の生息・生育場となっています。

このため、本事業の実施に伴う環境影響の回避・低減の観点から、環境影響評価手続きの中で、当初の土地利用構想を大幅に見直す等の環境配慮事項や環境保全措置を検討し、環境影響評価書（以下「評価書」とします。）に取りまとめて公表しました。

本事業の実施に当たっては、これら環境影響の回避・低減のための環境配慮の取組や環境保全措置を適切に実施していきます。

また、森林・谷津田については、多様な動植物の生息・生育場となっているものの、森林は木材価格の低迷等により、人工林の大半が不健全林となっており、谷津田は休耕・放棄され、荒廃が進みつつあります。このため、「自然環境保全技術検討会」（以下「検討会」とします。）において、土地利用構想の見直しに伴い、対象事業実施区域に約6割残る森林・谷津田（里山）の保全対策や維持管理手法等について検討しました。検討会の検討結果に基づき、森林の整備や水田の維持管理等を適切に実施していくことにより、今後も引き続き開発と環境の両立を目指していきます。

一方、本事業の実施に当たっては、前述の環境配慮の取組や環境保全措置の効果を確認するとともに、本事業が及ぼす環境への影響を把握し、その結果を適切に環境保全対策に反映し、事業の実施に伴う環境への影響の低減を図るために、工事中から施設の供用までの間、事後調査及び環境監視（以下「環境調査」とします。）を行うこととしています。

この「トヨタ自動車新研究開発施設に係る環境調査計画書（2023年次版）」は、「トヨタ自動車新研究開発施設に係る環境監視委員会」の指導・助言を得て、「トヨタ自動車新研究開発施設に係る環境調査計画書（基本方針）」（以下「調査計画書（基本方針）」）とします。）に基づき、2023年次の環境調査の計画を取りまとめたものです。

目 次

1	環境調査の目的	1
2	工事計画の概要	1
3	環境調査項目	3
4	環境調査計画	5
	(1) 大気質	5
	(2) 騒音	7
	(3) 振動	11
	(4) 動物	13
	(5) 植物	19

1 環境調査の目的

環境調査は、評価書に取りまとめた環境配慮事項及び環境保全措置等の効果を確認するとともに、本事業が及ぼす環境への影響を把握し、その結果を適切に環境保全対策に反映し、本事業の実施に伴う環境への影響の低減を図ることを目的として実施するものです。

2 工事計画の概要

2023年次の工事工程は表2-1に、2023年次の工事予定区域は図2-1に示すとおりです。

表2-1 2023年次の工事工程

			2023年			
			第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
施設 建設 工事	西工区	施設建設工事 (建築工事、修景、緑化工事)				
	中工区	工事なし				
	東工区	施設建設工事 (建築工事、舗装工事(テスト コース)、修景、緑化工事)				

注：1. 工事工程の詳細は、各種の許認可手続や請負業者との調整により決定する。
2. 用地造成工事は、2021年次に終了した。

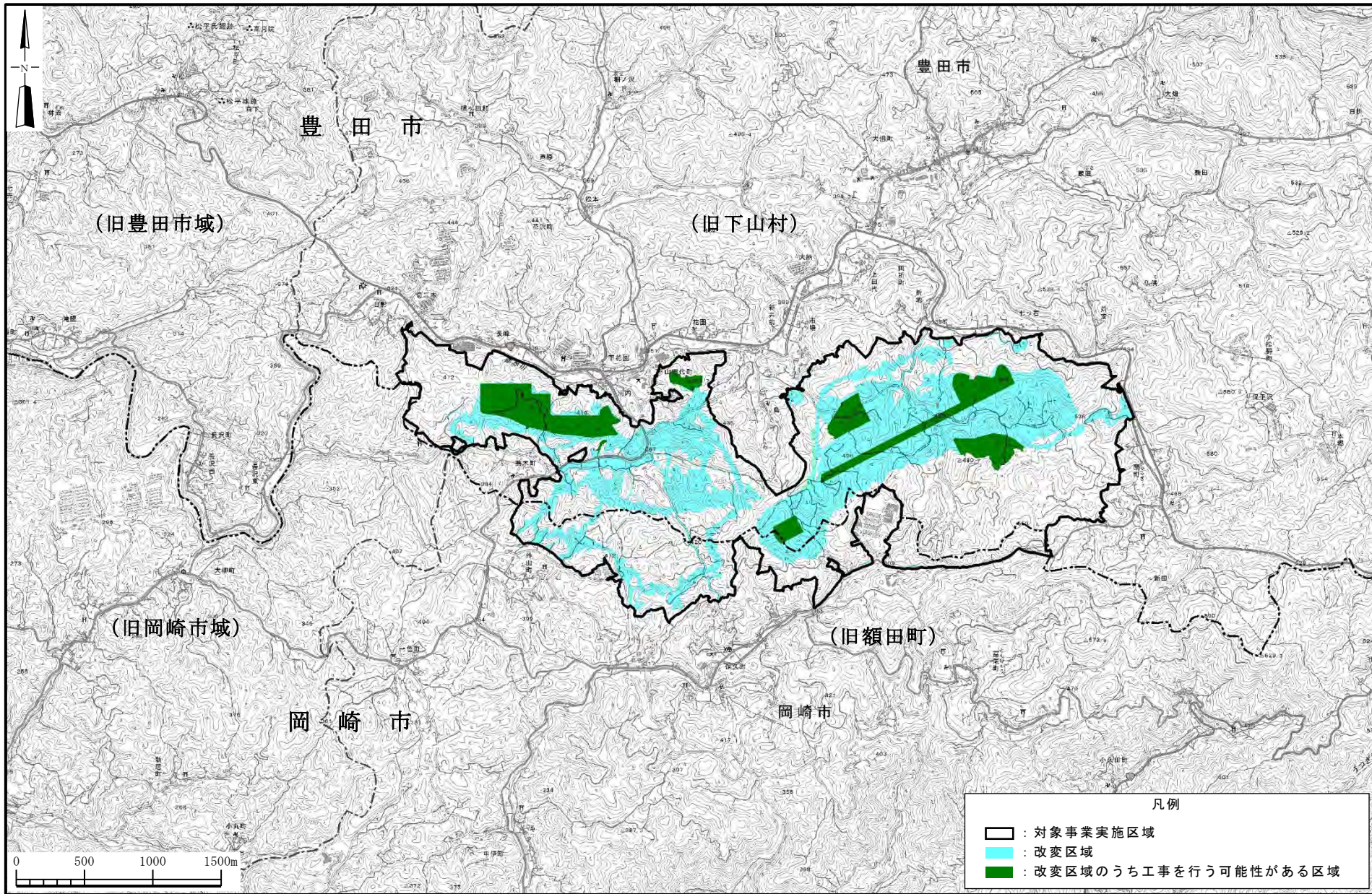


図 2-1 2023 年次の工事予定区域

3 環境調査項目

環境調査の2023年次計画は表3-1に、環境調査の全体計画は表3-2に示すとおりです。

2023年次においては、調査計画書（基本方針）に基づき、大気質（一般環境）、騒音（沿道）、騒音（工事）、騒音・振動（一般環境）、動物（ミゾゴイ、ハチクマ及びサシバ）及び植物（サンショウモ、コミゾソバ、サトヤマタデ、イヌタヌキモ、アギナシ、スブタ、ミズオオバコ、ヒルムシロ、ヒメコヌカグサ及びナガエミクリ（以下「サンショウモ等」とします。））の調査を実施します。

表3-1 環境調査の2023年次計画

		2023年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
環境調査	大気質	↔			↔			↔			↔		
	騒音・振動	騒音（沿道）	↔			↔			↔			↔	
		騒音（工事）	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←
		騒音・振動（一般環境）	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←
	動物		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←
	植物					↔	↔			←	←	←	←

注：サンショウモ等のうち、ヒメコヌカグサは5～6月に、その他の種は9～11月に調査を実施する。

表 3-2 環境調査の全体計画

			工事中												施設完成後 1年目				
			2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年		2024年			
工事工程	用地造成 工事	西工区																	
		中工区																	
		東工区																	
	施設建設 工事	西工区																施設供用開始	
		中工区																施設一部供用開始	
		東工区																施設一部供用開始	
環境調査	大気質	一般環境																	
		沿道(騒音)																	
		工事(騒音)																	
		騒音・ 振動	一般環境(騒音・振動)																
		発破(騒音・振動)																	
		施設(騒音)																	
		濁水																	
	排水処理施設からの排水																		
	動物	ミゾゴイ、ハチクマ、サシバ																	
		ムササビ 等	西工区	井口、下トヤ、 番場															
			中工区	猪戻、上弓沢															
			東工区	上沢尻、中ツ田、 松ヶ田和、花ノ木															
				和倉															
		動物相																	
		植物	コヒロハシ ケシダ等	西工区	井口、下トヤ、 番場														
				中工区	猪戻、上弓沢														
				東工区	上沢尻、中ツ田、 松ヶ田和、花ノ木														
					和倉														
	サンショウモ等																		
	植物相																		

- 凡例
- ←→ : 用地造成工事
 - ←→ : 施設建設工事
 - : 調査期間
 - ←→ : 当該期間中、適宜調査実施

4 環境調査計画

(1) 大気質

ア 影響要因及び調査項目

(ア) 影響要因

建設機械の稼働等

(イ) 調査項目

窒素酸化物、浮遊粒子状物質

イ 調査地域・地点

現地の年間の最多風向は東北東であること、評価書の大気質の予測結果等から建設機械の稼働等による寄与濃度が高いと考えられる地点であること、及び対象事業実施区域周辺の学校・住宅等の位置を踏まえ、大気質への影響を把握するため3地点を選定します(図4-1参照)。

ウ 調査期間等

大気質への影響を継続的に把握するため、季節ごとに連続1週間の調査を実施します。

エ 調査方法

窒素酸化物の調査は、「二酸化窒素に係る環境基準について」(昭和53年環境庁告示第38号)に基づき、化学発光法により実施します。

浮遊粒子状物質の調査は、「大気の汚染に係る環境基準について」(昭和48年環境庁告示第25号)に基づき、β線吸収法により実施します。

オ 評価

環境調査結果は、工事、環境配慮事項及び環境保全措置等の実施状況を把握した上で、整理・解析を行い、表4-1に示す評価指標に加えて、過去の調査結果等を勘案して、本事業の実施に伴う大気質への影響を総合的に評価します。

表4-1 大気質の評価指標

調査項目	評価指標
窒素酸化物	NO ₂ の1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下 ※「二酸化窒素に係る環境基準について」(昭和53年環境庁告示第38号)に基づく環境基準
浮遊粒子状物質	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m ³ 以下 ※「大気の汚染に係る環境基準について」(昭和48年環境庁告示第25号)に基づく環境基準

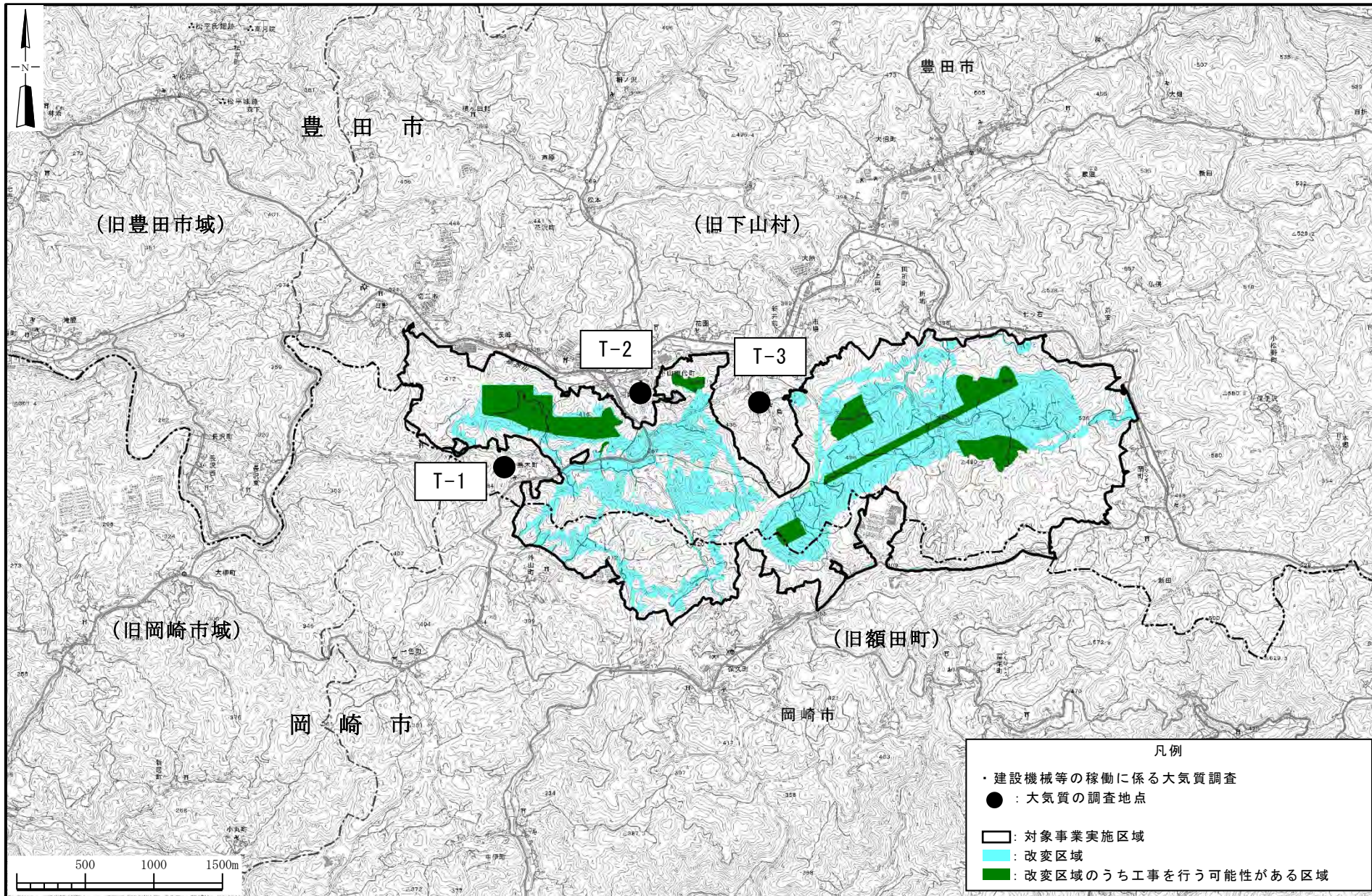


図 4-1 大気質の調査地点

（2）騒音

ア 騒音（沿道）

（ア）影響要因及び調査項目

a 影響要因

資材等の搬入及び搬出に用いる自動車の運行

b 調査項目

等価騒音レベル（ L_{Aeq} ）

（イ）調査地域・地点

評価書で示した道路交通騒音の現地調査地点であること、資材等の搬入及び搬出に用いる自動車の通行ルートであることを踏まえ、騒音（沿道）への影響を把握するため6地点を選定します（図4-2参照）。

（ウ）調査期間等

騒音（沿道）への影響を継続的に把握するため、季節ごとの平日及び土曜に、連続24時間の調査を実施します。

（エ）調査方法

騒音の調査は、JIS Z 8731「環境騒音の表示・測定方法」に基づき、実施します。

（オ）評価

環境調査結果は、工事、環境配慮事項及び環境保全措置等の実施状況を把握した上で、整理・解析を行い、表4-2に示す評価指標に加えて、過去の調査結果等を勘案して、本事業の実施に伴う騒音への影響を総合的に評価します。

表4-2 騒音（沿道）の評価指標

調査項目	評価指標
等価騒音レベル (L_{Aeq})	昼間：70dB以下 夜間：65dB以下 ※「騒音に係る環境基準について」（平成10年環境庁告示第64号）に基づく環境基準 （調査地点候補のうち、SR-6以外の地点は、環境基準の地域の類型が当てはめられていないが、参考として幹線交通を担う道路に近接する空間の環境基準を評価指標とする。）

イ 騒音（工事）

（ア）影響要因及び調査項目

- a 影響要因
建設機械の稼働等
- b 調査項目
90%レンジ上端値（L_{A5}）

（イ）調査地域・地点

建設機械の稼働場所、学校・住宅等の位置を踏まえ、騒音（工事）への影響を把握できる対象事業実施区域境界の3地点を選定します（図4-2参照）。
なお、工事の施工計画に伴い、調査地点を見直すことがあります。

（ウ）調査期間等

建設機械の稼働等が多くなると想定される時期の平日に、連続12時間（7時から19時）の調査を実施します。

（エ）調査方法

騒音の調査は、JIS Z 8731「環境騒音の表示・測定方法」に基づき、実施します。

（オ）評価

環境調査結果は、工事、環境配慮事項及び環境保全措置等の実施状況を把握した上で、整理・解析を行い、表4-3に示す評価指標等を勘案して、本事業の実施に伴う騒音への影響を総合的に評価します。

表4-3 騒音（工事）の評価指標

調査項目	評価指標
90%レンジ上端値 (L _{A5})	85dB 以下 ※「県民の生活環境の保全等に関する条例」（平成15年愛知県条例第7号）に基づく特定建設作業に係る規制基準 (調査地点は、1号区域 ^注 に該当する。)

注：「1号区域」とは、以下の区域を示す。

- イ 第1種低層住居専用地域、第2種低層住居専用地域、第1種中高層住居専用地域、第2種中高層住居専用地域、第1種住居地域、第2種住居地域、準住居地域、近隣商業地域、商業地域、準工業地域、都市計画区域で用途地域の定めのない地域（市街化調整区域）及び都市計画区域以外の地域
- ロ 工業地域及び工業専用地域のうち、学校、保育所、病院・診療所（患者の入院施設を有するもの）、図書館及び特別養護老人ホームの敷地の周囲80mの区域

ウ 騒音（一般環境）

（ア）影響要因及び調査項目

a 影響要因

資材等の搬入及び搬出に用いる自動車の運行
建設機械の稼働等

b 調査項目

等価騒音レベル (L_{Aeq})

（イ）調査地域・地点

資材等の搬入及び搬出に用いる自動車の運行並びに建設機械の稼働等の状況、評価書で示した一般環境騒音の現地調査地点を踏まえ、対象事業実施区域周辺の学校・住宅等における騒音（一般環境）への影響を把握できる2地点を選定します（図4-2参照）。

（ウ）調査期間等

資材等の搬入及び搬出に用いる自動車の運行並びに建設機械の稼働等が多くなると想定される時期の平日に、連続24時間の調査を実施します。

（エ）調査方法

騒音の調査は、JIS Z 8731「環境騒音の表示・測定方法」に基づき、実施します。

（オ）評価

環境調査結果は、工事及び環境配慮事項等の実施状況を把握した上で、整理・解析を行い、表4-4に示す評価指標に加えて、過去の調査結果等を勘案して、本事業の実施に伴う騒音への影響を総合的に評価します。

表4-4 騒音（一般環境）の評価指標

調査項目	評価指標
等価騒音レベル (L_{Aeq})	昼間：55dB 以下 夜間：45dB 以下 ※「騒音に係る環境基準について」（平成10年環境庁告示第64号）に基づく環境基準 （調査地点は、環境基準の地域の類型が当てはめられていないが、参考としてB類型 ^注 の環境基準を評価指標とする。）

注：「B類型」を当てはめる地域は、主として住居の用に供される地域である。

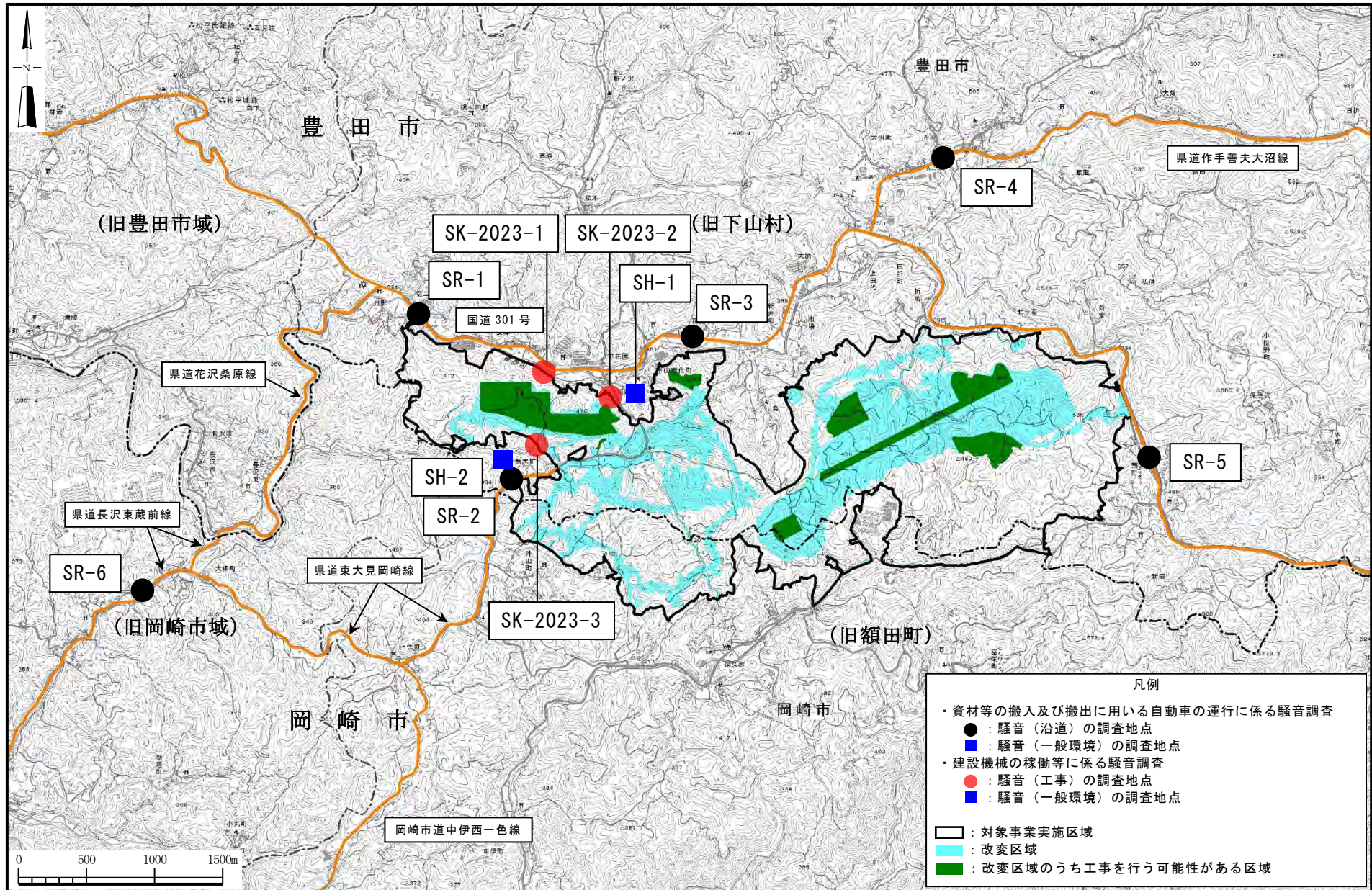


図 4-2 騒音の調査地点

(3) 振動

ア 振動 (一般環境)

(ア) 影響要因及び調査項目

a 影響要因

資材等の搬入及び搬出に用いる自動車の運行
建設機械の稼働等

b 調査項目

80%レンジ上端値 (L_{10})

(イ) 調査地域・地点

資材等の搬入及び搬出に用いる自動車の運行並びに建設機械の稼働等の状況、評価書で示した一般環境振動の現地調査地点を踏まえ、対象事業実施区域周辺の学校、住宅等における振動 (一般環境) への影響を把握できる2地点を選定します (図4-3参照)。

(ウ) 調査期間等

資材等の搬入及び搬出に用いる自動車の運行並びに建設機械の稼働等が多くなると想定される時期の平日に、連続24時間の調査を実施します。

(エ) 調査方法

振動の調査は、JIS Z 8735「振動レベル測定方法」に基づき、実施します。

(オ) 評価

環境調査結果は、工事及び環境配慮事項等の実施状況を把握した上で、整理・解析を行い、表4-5に示す評価指標に加えて、過去の調査結果等を勘案して、本事業の実施に伴う振動への影響を総合的に評価します。

表4-5 振動 (一般環境) の評価指標

調査項目	評価指標
80%レンジ上端値 (L_{10})	55dB 以下 ※振動感覚閾値

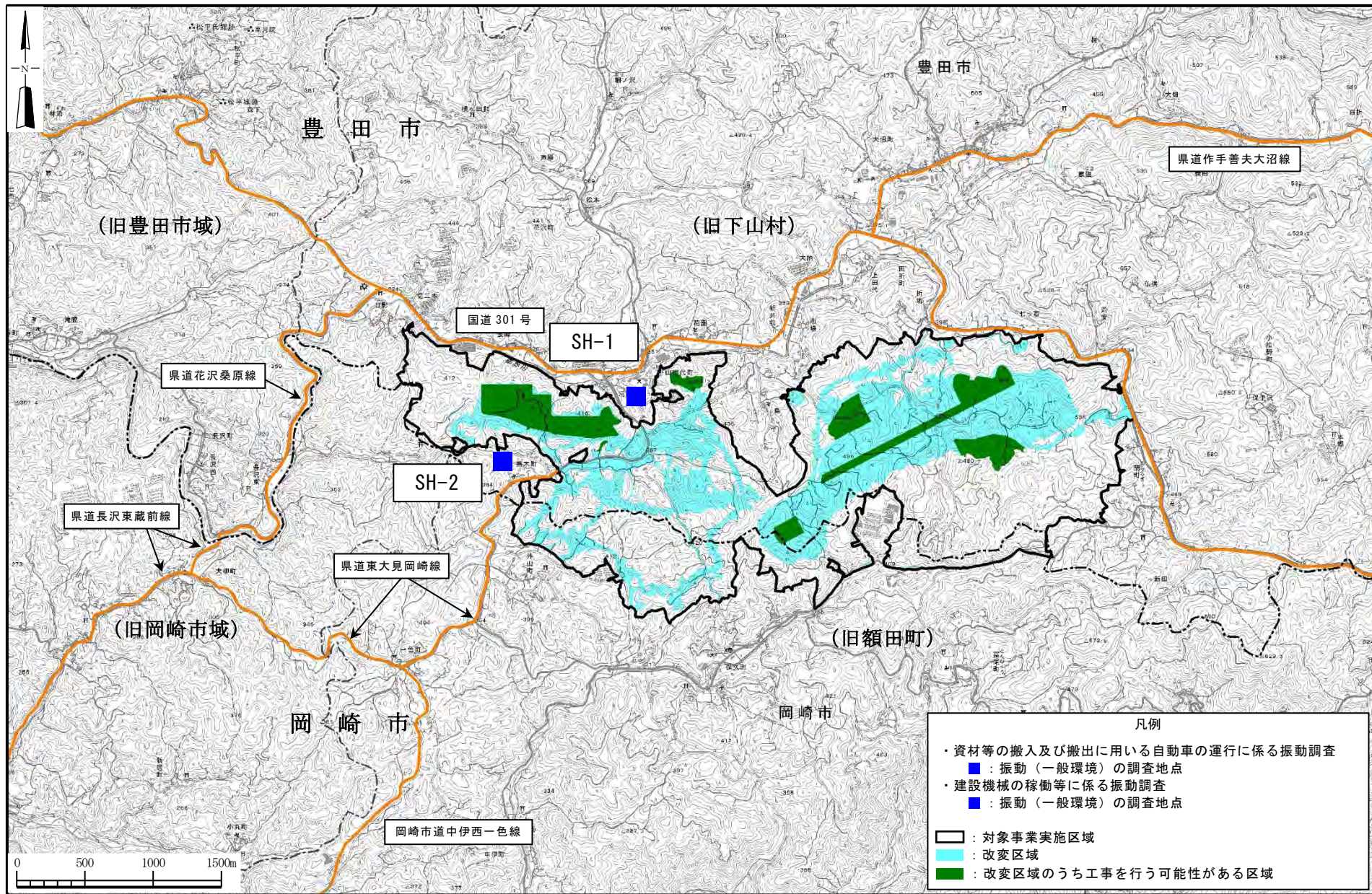


図 4-3 振動の調査地点

(4) 動物

ア ミゾゴイ

(ア) 影響要因及び調査項目

- a 影響要因
建設機械の稼働等
- b 調査項目
ミゾゴイ

(イ) 調査地域・地点、調査期間等及び調査方法

a 営巣確認調査 (鳴声確認調査、林内踏査調査)

(a) 調査地域・地点

鳴声確認調査は、対象事業実施区域及びその周辺を含む区域とし、過去の調査結果を勘案して、77メッシュ (1メッシュは約1km四方) を設定します (図4-4参照)。

林内踏査調査は、流域単位を基本とし、対象事業実施区域を囲む尾根線や水域界を勘案して約2,000haを設定します (図4-4参照)。

(b) 調査期間等

鳴声確認調査は、4月上旬から5月下旬にかけて、各メッシュで10回の調査を実施します。

林内踏査調査は、6月中旬から工事区域周辺で2回、7月以降に調査地域・地点全体で1回の調査を実施します。

なお、6月の調査は、鳴声確認調査結果を踏まえ、特に調査圧に留意して調査期間等の見直しを行います。

(c) 調査方法

鳴声確認調査は、1メッシュにつき30分間の調査を1回とし、日の出及び日の入り前後の各2時間を中心に、公道等において調査を実施します。鳴声が確認された場合には、時刻、位置、行動等を記録します。

林内踏査調査は、林内をくまなく歩き、目視確認により営巣の有無の調査を実施します。

なお、この調査において、営巣が確認された場合には、繁殖状況調査を実施します。

b 繁殖状況調査 (目視確認調査)

(a) 調査地域・地点

営巣確認調査において、ミゾゴイの営巣が確認された地点とします。

(b) 調査期間等

ミゾゴイの営巣確認後から巣立ちまでの間、調査を実施します。

（c） 調査方法

繁殖状況調査は、できる限り調査圧をかけないように目視確認を行い、繁殖に関する指標行動（繁殖ステージ、忌避行動）、繁殖結果（巣立ち雛数）等を記録します。

（ウ） 評価

環境調査結果は、工事、環境配慮事項及び環境保全措置等の実施状況を把握した上で、整理・解析を行い、表 4-6 に示す評価指標を踏まえ、本事業の実施に伴う動物への影響を総合的に評価します。

表 4-6 ミゾゴイ（営巣確認）の評価指標

調査項目	調査方法	評価指標
ミゾゴイ	営巣確認調査 （鳴声確認調査、林内踏査調査）	鳴声状況 営巣状況 ※過去の鳴声状況及び営巣状況との比較等
	繁殖状況調査 （目視確認調査）	繁殖状況 ※繁殖ステージ、忌避行動の有無等

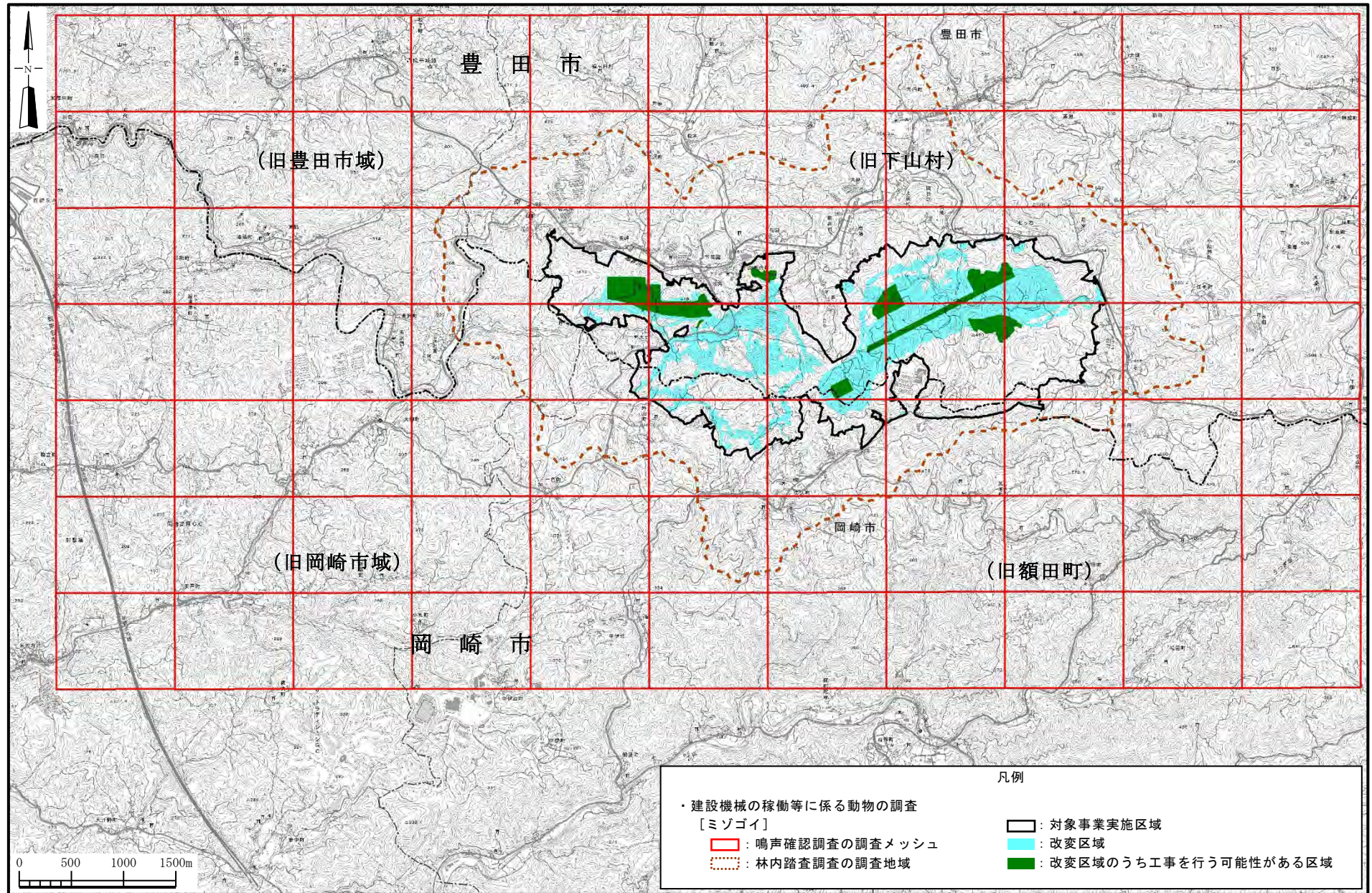


図 4-4 ミゾゴイの調査地域

イ ハチクマ、サシバ

（ア）影響要因及び調査項目

- a 影響要因
建設機械の稼働等
- b 調査項目
ハチクマ、サシバ

（イ）調査地域・地点、調査期間等及び調査方法

a 営巣確認調査（飛翔確認調査、林内踏査調査）

（a）調査地域・地点

猛禽類の行動圏の広さを勘案して、対象事業実施区域から約1kmの範囲（約2,000ha）を設定します（図4-5参照）。

なお、調査定点及び移動調査ルートは、図4-5に示す位置を基本としますが、工事の進捗やハチクマ及びサシバの確認状況等により変更することがあります。

（b）調査期間等

飛翔確認調査は、2月及び3月は月1回、4月から8月までは月2回、1回当たり3日間の調査を実施します。

林内踏査調査は、4月から8月まで月2回、1回当たり3日間の調査を実施します。

なお、4月及び5月の調査は、飛翔確認調査結果を踏まえ、特に調査圧に留意して調査期間等の見直しを行います。

（c）調査方法

飛翔確認調査は、定点調査及び移動調査により、1日8時間の目視確認を行います。飛翔が確認された場合には、時刻、成鳥・亜成鳥・幼鳥の別、飛翔ルート、止まり場所、行動等を記録します。

林内踏査調査は、飛翔確認調査の結果を参考に、繁殖への影響を考慮し、対象種の繁殖前期には林道等から鳴声を確認するなど営巣場所の大まかな推定を行い、繁殖後期には動物への調査圧に留意しながら、営巣木の特定を行います。サシバは6月から8月まで、ハチクマは7月から8月までを繁殖後期の目安とします。

なお、この調査において、営巣が確認された場合には、繁殖状況調査を実施します。

b 繁殖状況調査（目視確認調査）

（a）調査地域・地点

営巣確認調査において、ハチクマ又はサシバの営巣が確認された地点とします。

（b）調査期間等

ハチクマ又はサシバの営巣確認後から巣立ちまでの間、調査を実施します。

（c） 調査方法

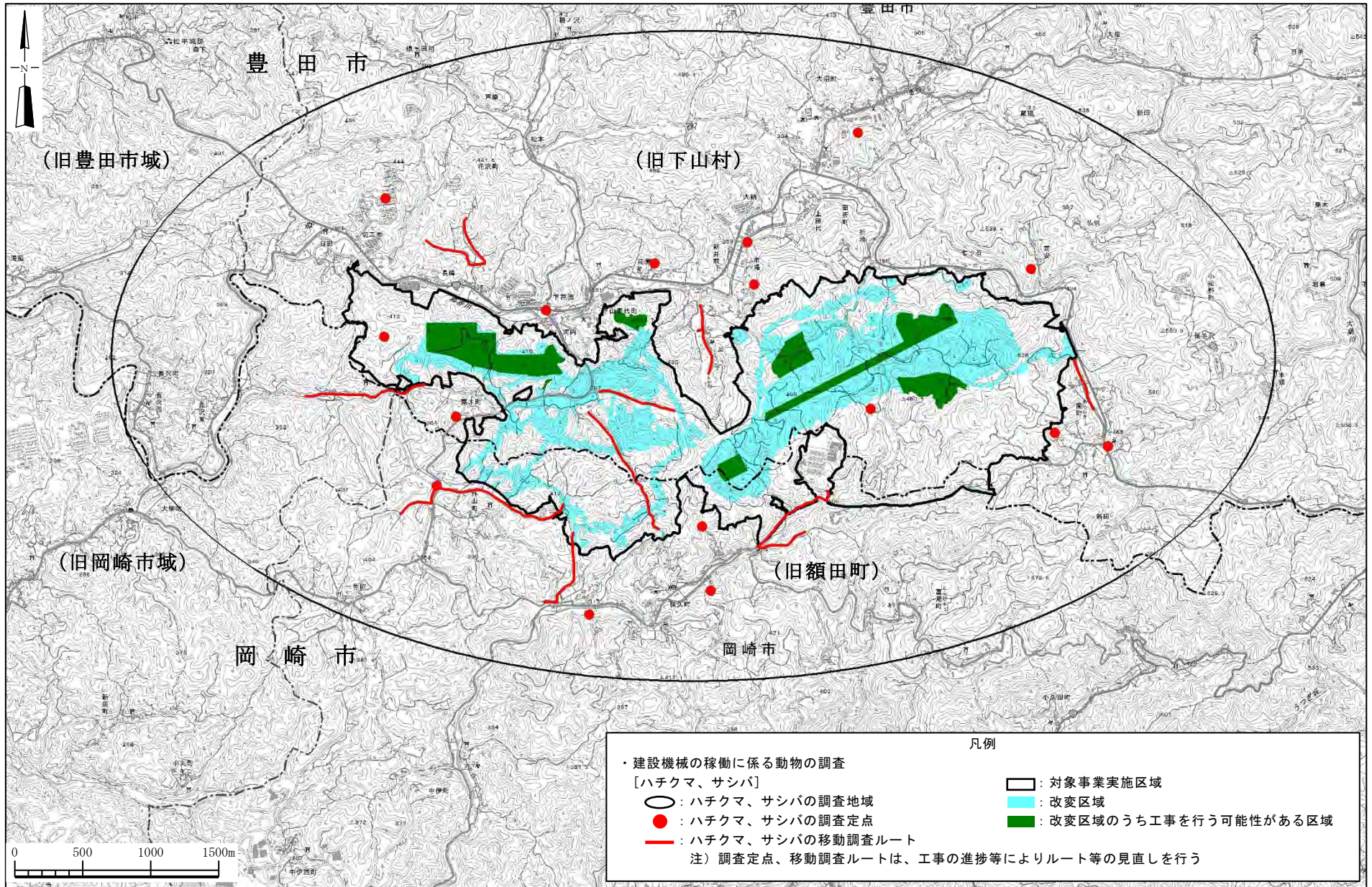
繁殖状況調査は、できる限り調査圧をかけないように目視確認を行い、繁殖に関する指標行動（繁殖ステージ、忌避行動）、繁殖結果（巣立ち雛数）等を記録します。

（ウ） 評価

環境調査結果は、工事、環境配慮事項及び環境保全措置等の実施状況を把握した上で、整理・解析を行い、表 4-7 に示す評価指標を踏まえ、本事業の実施に伴う動物への影響を総合的に評価します。

表 4-7 ハチクマ、サシバの評価指標

調査項目	調査方法	評価指標
ハチクマ、サシバ	営巣確認調査 (飛翔確認調査、林内踏査調査)	営巣状況 ※過去の営巣状況との比較等
	繁殖状況調査 (目視確認調査)	繁殖状況 ※繁殖ステージ、忌避行動の有無等



注：工事を行う可能性がある区域に含まれる調査定点及び移動調査ルートは、調査の安全性を考慮し、2014年次調査から実施しないこととしました。

図 4-5 ハチクマ、サシバの調査地域

(5) 植物

ア サンショウモ等

(ア) 影響要因及び調査項目

a 影響要因

掘削、盛土等の土工

b 調査項目

サンショウモ、コミゾソバ、サトヤマタデ、イヌタヌキモ、アギナシ、スブタ、ミズオオバコ、ヒルムシロ、ヒメコヌカグサ及びナガエミクリ

(イ) 調査地域・地点

改変区域を除いた対象事業実施区域内のうち、対象種の既確認地点とします（図4-6 参照）。

(ウ) 調査期間等

対象種の生育が確認しやすい時期とし、サンショウモ、コミゾソバ、サトヤマタデ、イヌタヌキモ、アギナシ、スブタ、ミズオオバコ、ヒルムシロ及びナガエミクリについては9月から11月までに1回、ヒメコヌカグサについては5月又は6月に1回の調査を実施します。

(エ) 調査方法

サンショウモ等の調査は、対象種の目視による生育確認調査及び生育環境調査（植生調査）を実施します。

(オ) 評価

環境調査結果は、工事、環境配慮事項及び環境保全措置等の実施状況を把握した上で、整理・解析を行い、表4-8に示す評価指標を踏まえ、本事業の実施に伴う植物への影響を総合的に評価します。

表4-8 サンショウモ等の評価指標

調査項目	調査方法	評価指標
サンショウモ等	生育確認調査	対象種の生育状況等（生育の有無、分布状況等） ※過去の生育状況との比較等
	生育環境調査 （植生調査）	対象種の生育基盤となる植生等 ※過去の植生との比較等

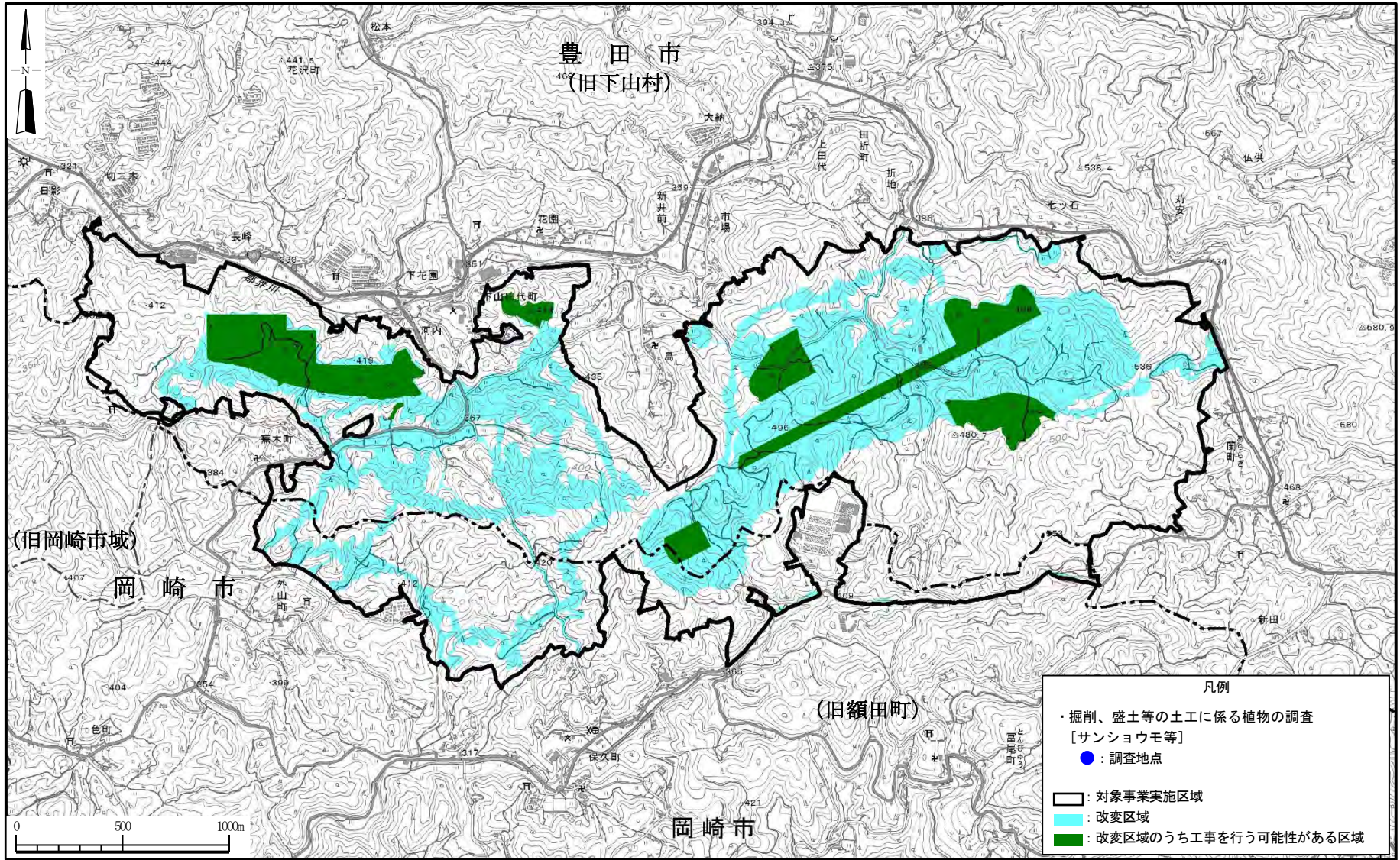


図 4-6 サンショウモ等の調査地点

2022年第2回
トヨタ自動車新研究開発施設に係る環境監視委員会
<会議録>

1 日時

2022年10月5日（水） 午前10時00分～午後0時05分

2 場所

安保ホール 3階 301会議室

3 報告

- (1) 2022年第1回委員会における指摘事項及びその対応
- (2) 猛禽類とミゾゴイ（サギ類）の営巣状況（2022年次）

4 議事

- (1) 環境調査報告書（2021年次版 その1）
- (2) 環境調査計画書（2023年次版）

5 配布資料

- ・ 2022年第1回環境監視委員会（2022年3月16日）における指摘事項及びその対応
[資料1]
- ・ 豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業における猛禽類とミゾゴイ（サギ類）の営巣状況
（2022年次） [資料2] 一部非公開
- ・ トヨタ自動車新研究開発施設に係る環境調査報告書（2021年次版 その2）（案） [資料3]
- ・ トヨタ自動車新研究開発施設に係る環境調査計画書（2023年次版）（案） [資料4]
一部非公開

6 出席者

(1) 委員（五十音順）

大畑 孝二	委員	（公益財団法人日本野鳥の会施設運営支援室室長）
織田 銃一	委員	（元名古屋大学教授）
北田 敏廣	委員	（豊橋技術科学大学名誉教授）
佐野 泰之	委員	（愛知工業大学教授）
洲崎 燈子	委員	（豊田市矢作川研究所主任研究員）
鷺見 哲也	副委員長	（大同大学教授）
芹沢 俊介	委員長	（愛知教育大学名誉教授）
高橋 伸夫	委員	（愛知県野鳥保護連絡協議会議長）
谷口 義則	委員	（名城大学教授）
柳澤 紀夫	委員	（公益財団法人山階鳥類研究所評議員）

(2) 事務局

トヨタ自動車株式会社 等

- (3) 傍聴人等
傍聴人 0 名

7 会議の概要

(1) 開会

(2) 報告

- ア 2022 年第 1 回委員会における指摘事項及びその対応
・資料 1 について、事務局から報告した。

イ 猛禽類とミゾゴイ（サギ類）の営巣状況（2022 年次）

- ・資料 2 について、事務局から報告した。

<質疑応答>

(柳澤委員)

猛禽類の営巣確認・繁殖状況調査の結果について、巣の数と巣立ち雛数が記されている。サシバについて、巣の数と巣立った雛の数を集計してみると、2013 年や 2015 年のように 1 巣当たり 2 羽程度の雛が出ている時は、サシバにとってプラスであり、その辺を狙っているのではないかと思われる数字になる。平均を取ると、調査の最初の 4 年間は 1.15 羽であり、後半の 12 年間は 1.28 羽なので、この巣立ち雛数では、サシバ全体としては数が減っていくのはしょうがないという印象である。オオタカについては、1.3 羽くらいである。オオタカは、卵を 3 日置きに 4 個まで産むが、その年に最低でも 2 羽を育て上げたいというシステムで動いているようである。そのように考えると、サシバやオオタカが、野生の生活の中で欲している雛の数になっていないということが、地域全体の調査結果として見えて来た。また、サシバは、オオタカ、ノスリ、トビ等が巣を造って抱卵したり雛を育てたりする頃になってから渡って来るので、営巣する場所を探すのが大変で、ついでに加減な巣を造って繁殖に入ってしまうということが多く、同じ巣を何年も使ってくれないということもあって、サシバの生態がきちんと撮れている写真がなかなかない。本調査ではノスリもデータを取っているが、ノスリも全体としては減少になると考える。それぞれの種は、餌の種類や餌を採る環境が少しずつ違うので、この場所の環境が大きく変わった後にどうなるか楽しみに見ている。

(高橋委員)

愛知県全体のサシバを見ると、非常に減っている。また、先程ノスリが減っているという話もあったが、ノスリは、オオタカと共にサシバの天敵であり、サシバの繁殖に非常に影響を及ぼす鳥である。ノスリは、元々愛知県内ではほとんど繁殖しない鳥だったが、近年は県内の平野部や海岸近くでも繁殖するようになり、昔に比べて個体数も増え、事業地周辺でも繁殖するようになった。そのような中でも、愛知県内でサシバの繁殖が一番多いのは事業地を含む三河高原である。そのため、この程度で何とか済んでいるのかなと感じている。

なお、サシバは事業地の北東方面ではほとんど繁殖しなくなっている。事業地より南や南西方面ではまだ何とか残っている。サシバの繁殖に関して言うと、元々事業地より北東方面や東方面で繁殖していたが、何が原因かよく

わからないが、今は全く見えなくなっている。

また、事業地の西側では、国道 301 号のバイパス建設の計画があるようである。この方面は、条件が良い場所では稲作をしているが、農地が非常に荒れているところが多く、このまま農地が荒れてしまうと、サシバの餌場がなくなってしまう、繁殖境界がどんどん西の方へずれて行くという懸念がある。バイパス建設は地元の要望と聞いているが、国道 301 号は以前と比べれば、一般車両には走り易く改善されている。新しいバイパスを建設するのではなく、愛知県や豊田市には、急勾配、急カーブの部分だけの改善で何とか解決して欲しい。また、トヨタには急勾配、急カーブの道路でも走行可能なトレーラー等の開発を検討して欲しい。新しいバイパスの建設は、在来生物の生息環境を奪うだけでなく、財政的にも将来への負担を残すことに繋がると思う。もちろん、地元の農業振興にも配慮してもらいたい。良好な農地があるのに農業振興しないことの方が生き物に対してはプレッシャーになっているのではないかと思う。また、サシバのいなくなった東の方は、農業がかなり衰退していて、地域振興が上手くいっていないのではないかと思う。西の方は今ならまだ何とか間に合うと思う。日本ではかなり山奥まで人の手が入っており、長い歴史の中でその環境に適した生き物が生息しているので、そういった昔ながらの農業等を取り戻せば、特にサシバのような在来の生き物の生息維持には効果があると思う。そのため、是非、トヨタ、あるいは愛知県や豊田市に力を入れてもらうことも大切だと思う。

(事務局) 営巣数と雛の数については、餌資源の量等も含めて最適な条件が判明していないので、今後も引き続きデータを取りながら検討していきたい。また、国道 301 号の改良計画に関しては、地元の要望と聞いている。ただし、我々も利用することになるので、本日の意見を踏まえ、関係各部署と連携を取りながら、更なる地域貢献について検討を進めていきたい。

(3) 議事

ア 環境調査報告書 (2021 年次版 その 2)

- ・資料 3 について、事務局から説明した。

< 質疑応答 >

(高橋委員) 魚類と淡水産貝類が減っているという結果に関連して提案したい。元々川や谷で繋がっていた場所が工事の関係で繋がらなくなってしまっており、特に改変区域には、代わりに遊水池のようなものができている。遊水池の場合、基本的に魚類は行き来できないと思われるが、同じ水系にいる生物であれば、遊水池の中に移し入れることは無理ではないのではないかという気がする。魚類だけでなく、遊水池内に生息・生育する生物を餌にしている他の生物もいるので、遊水池内に移植してはどうか。同じ水系の生物を移し入れるということは今までされていないと聞いているが、折角新たな水域ができているので、是非移し入れてもらえれば、そこで生活している他の生物や生態系も含めて今まで通りの生活ができるような気がする。

(事務局) 一部の調整池については近自然工法等を導入しており、生物の生息や生育場所としては機能していると考えている。なお、現在のところ、特定の生物の放流や移植等は、事業地内の個体群でない限りは実施していないが、これ

についても魚類の専門家等に確認しながら今後検討していきたい。

(高橋委員) 元々水域に生息していた生物が減ってしまった場合、鳥類等の運ぶ生物がいても持って行けないということもある。水域の生物から減っているのので、最初に調べた時に生息していた生物は、同じ水系のものであれば、池ができてから人間が池に運ぶのも致し方ないと思うので検討をお願いしたい。

(谷口委員) 高橋委員の指摘は尤もかと思う。可能であれば、移植先の環境として、水温や水質、ホトケドジョウであれば溶存酸素や底の泥の状況、水の湧き具合、夏場・冬場に越夏・越冬ができるようなハビタットがあるかどうか、餌場環境があるかどうか、そういうことも確認しながら適切に対応して欲しい。

ただし、一度にある程度の個体数を移してしまい、それがいなくなったら元も子もないので、少数の個体を少しずつ導入してみて、増えそうかどうかを確認するというのが一つの方法かと思う。その際、高橋委員も指摘のとおり、小さな流れの上流側と下流側が過去に接続していたことをしっかり確認した上で、その上下間での個体の移植は特に問題ないと言うか、むしろ生態系の復元という観点からは今後検討すべき課題と感じているので、是非相談の上で少しずつ進めていけたらなと思っている。

(芹沢委員長) 調整池を作ったことによって上流と下流が分断されたことは事実である。魚道等を造れば話は別だが、造ってもなかなか動くものではない。この場合、上流域で今までいた生物が消失した、あるいは下流域で今までいた生物が消失したとなれば、相互移植ということは考えられると思う。ただし、上流域にも下流域にもいるということであれば、今のところ差し当たって移植は必要ではないと思う。

一方、調整池そのものは止水環境なので、今まで無かった環境である。その止水環境に対して新しい種が入って来るということは十分に考えられる。植物で言うと、マツカサススキやヒシがそれに当たる。動物で言うと、例えばトモエガモは調整池という止水環境ができたから新しく入って来た種だと思う。そのような新しい環境ができることによって新しい種が入って来る一方、その分だけ元の環境は減るわけなので、多少減るのはある意味では自然の摂理だと思う。止水域ができたことによるプラスの面とマイナスの面があり、上流側と下流側で生息地が分断されたことは明らかなので、調査の結果として、どちらかにいなくなったことが明らかならば移植を考えた方が良い。しかし、調整池の中にいないことについては、元々なかった止水環境ができたものなので、敢えて入れる必要はないだろうと私は考える。

(大畑委員) この問題は以前も議論があった話である。抽象的な議論だけでは今日話しても切りが無いので、具体的な水系と具体的な魚類の種類も入れて、改めて具体的な議論をした方が良いと思う。

(芹沢委員長) この件については、具体的な情報を整理して検討するというところで、今後の課題ということでしょうか。

(谷口委員) ホトケドジョウについては、減っているという確証もなければ、特に増えているという確証もない。できれば生息可能な場所を少しでも確保していくことが大事だと思っている。今後、絶滅してしまうような局所的な環境が出て来る可能性もある。ホトケドジョウは止水域でも生きていける魚類なので、面全体で見た場合の生息可能水域の数を少しでも確保していくという視点

から、新しく創出された調整池のようなハビタットにも積極的に絶滅危惧種を入れて、そこで一つの保険のようなかたちで作っていくという考え方は十分にあると思う。

(芹沢委員長) それぞれの種によって状況が違うと思う。ホトケドジョウに関する話を聞くと、それもありかなと思うので、今後、具体的な種について検討した上で、必要なものについては考慮するという事でどうか。

(事務局) 調整池についていろいろ意見を頂いたが、調整池の主の目的は、事業地から出る水の量の調整である。生物を入れることが可能な部分もあるが、水質や水量等がある一定のもので確保することは困難なので、どの調整池ならどのようなことができるかを一度検討したい。

(芹沢委員長) これは今後の課題ということで、個々の具体的な種について、必要に応じ検討するという事で今回はまとめたい。

(柳澤委員) 鳥類のラインセンサスの結果、L06では評価書の時代にキセキレイとセグロセキレイの2種類が出ており、2016年次も同様である。2021年次には、セグロセキレイ、キセキレイの他に、ハクセキレイが出ている。ハクセキレイは、私が住んでいる町では1974年か1975年頃に繁殖をするようになり、現在一番多いセキレイの仲間である。水辺という生息地域に限らず、工場の敷地の中や舗装道路等にも侵入して来て、数を増やしている種類である。そのため、L06でも最近になって人の影響が出始めているように見える。

また、L09では、評価書の時代から3種類が出ており、セグロセキレイとキセキレイがほぼ同数くらい記録されている。環境図を見ると、明らかに人の生活がしっかりあるような場所を使っていることがわかる。

(芹沢委員長) ハクセキレイは、ある意味では国内移入のようなどころがあるのかもしれないが、一般的には在来種扱いだと思う。外来種の問題がいろいろあり、外来種は、私が見るところでは明らかに増加傾向にある。人間が活動すれば増えるのは当たり前であり、そういう意味では、事業による環境影響がないというのは不適切だろうと思っている。ただし、アセスメントの制度は、特に在来種の希少種がなくなるかどうかということだけを問題にしているので、その範囲に関して言えば、ハクセキレイが増加したということは特に問題にはならない。そういう意味では、全体的に都市化が進んだと言える。その辺は注意して検討していく必要があると思う。

(高橋委員) 中部地方では、30年以上前に名古屋港でハクセキレイが繁殖を始めた。それがどんどん増え、三河湾の沿岸部でも繁殖を始め、木曽福島や郡上八幡でも繁殖するようになり、北の方へ繁殖が広がった。愛知県で、西三河や東三河の山間部に分布が始まったのはそれよりも大分後である。そのため、ハクセキレイの増加に関しては、本事業による影響は少ないと理解している。

(洲崎委員) 植物の外来種に関しては確認種数が増えているということだが、種数だけの話なので、一概に外来種の生物量が増えたかどうかは、ここからはわからない。しかし、やはり工事という人為的な攪乱を起こすことで、外来種の生息しやすい環境は確実に増える。

また、工事の影響ということで、在来種、特に希少種の減少を懸念し、そ

れをきちんと確認するというに加えて、外来種が増えたことの要因や対策を考えなくてはいけないと思う。ただし、外来種でも、在来種と共存して群落を作れるような種に関しては、それほど問題はないと思う。外来種の傾向は年によってトレンドがあり、予測が付かない部分があるが、1種ですごく大きな群落を作ってしまうような種が出て来たり、そういう場所ができてしまったりしたら、必ずその種的生活史によって、効果的な駆除の手法やタイミングがあるので、そうした対策を打って、繁殖力の強い外来種が蔓延り過ぎるような場所を作らないというような対策を、この評価結果を受けて実施してもらおうと良いと思った。

(芹沢委員長) 外来種でもいろいろある。例えば、古い園芸植物で、たまたま逃げ出し、増えもせず減りもせず適当に生育しているという種もあるが、近年明らかに増加している種もある。典型的な例として具体的な話をすると、ヨシススキという新東名高速道路の法面に撒かれて大変なことになっている植物がある。先日、事業地内で1株確認され、すぐに刈ったようだが、明らかにマイナスの環境影響であり、しかも、どう見ても造成した土地に生えていたので、明らかに事業影響である。アセスの制度上は問題にならないが、やはり今後注意していく必要があると考えている。

(鷺見副委員長) 今回の内容に対する意見というよりは、この会議体が最終的に閉じる前に報告書を出す等のアウトプットがあると思うが、その取りまとめに向けての意見である。例えば、今回の外来種の話等、環境監視の元々の設計に含まれていなかったフレームについては、本来はあるべきだろうという議論であったかと思う。長期、あるいは広域に亘って何年も工事をしていくような影響があるところでは、外来種の侵入による問題が大きく懸念されるということは、環境監視や環境アセスのフレームワークでは本来は想定されていないといけなかったのではないかと考えている。しかし、アセスの在り方や環境監視の在り方にはそういう注意点が必要だということを、この会議体から他の場面にフィードバックしようと思ったら、どういう方法があるのだろうか。本来は環境影響評価審査会の方だと思うが、そちらの方からのフィードバックがきちんとかかって、他の場面では活かされるようにして欲しいということを、この会議体の取りまとめに向かっていく中では、そういう意識を持ってアウトプットできるようにしていければ良いと考える。外来種に関する話はしているが、評価には元々繋がっていないというギャップがあるので、将来はこれを埋めていかなければいけないという点でも意見を述べる。

(芹沢委員長) この件は、環境影響評価審査会が管轄する話だと思う。一般的に言えば、個々の事業は環境影響評価審査会の審議を経て、指示を受ける側になるが、この件に関しては、外来種もアセスメントの際に考慮する方が良いのではないかという話を、何らかのかたちで環境影響評価審査会に上げた方が良いと思う。今回の報告書自体に直接書き込む内容ではないが、検討して欲しい。私も検討する必要があるということを意識しておきたい。

(鷺見副委員長) 審査会は今、会議体で報告書を議論するというような状況になっていないと思うので、更にそこから審査の在り方や、更に環境省マターになるべきところ等が接続していないということを懸念している。芹沢委員長が言われた

ように、単に報告が上がるだけというかたちではないチャンネルを設けないと難しいだろうが、そういうことを望んでいるということである。

(芹沢委員長) 本来なら国全体を動かすべきだろうが、国全体を動かさなくとも、県としては特にこの点に注意をしてアセスを進めるということは可能かと思う。また愛知県環境局の方とも話してみたい。

(高橋委員) 鳥類の外来種について、最近、事業地内でソウシチョウの数が非常に多く、繁殖もしているようである。ソウシチョウはササ藪で繁殖するため、最近は事業地内でも非常に増えている。また、事業地周辺には少ないが、岡崎市ではガビチョウも繁殖を始めた。やはり、人間が環境や植生を改変すると、新しいところに侵入して来る外来種は結構いるようなので、そのようなことも今後は環境アセス等に活かされていくべきではないかと思う。

(織田委員) 哺乳類だけを見た時に、環境の攪乱というか、人の関与によって、どのように変わるかということがある。例えば、2016年次と2021年次の間にカワネズミが見られなくなった。これは、水生環境というか、水の流れが少し変わったのではないかと思う。また、2021年次はハタネズミが見つかって、スミスネズミが見つからなかった。これも、場合によっては全体的な事業地の草地化というか、平野の山地に生息するスミスネズミが後退したという言い方もできるかもしれない。また、クマネズミの仲間も人の影響が入っているのではないかと思う。このように、2016年次と2021年次の間に、ちょっとした種の変化があるので、一般的な現象ではあるが、何らかの影響があったのではないかと思う。関係を見ていく上ではこういうことも注意しておく必要があると思う。

(芹沢委員長) スミスネズミがいなくなってハタネズミが入って来たとなると、ハタネズミは明らかに草地性の環境を好む種なので、そのようなことも含めて見ないといけない。今までのアセスの場合、希少種がなくなるということばかり気にしていたが、それだけが環境影響ではないということを一度きちんと何らかのかたちで提言していきたいと思う。

(芹沢委員長) 両生類のミカワサンショウウオは、今回の基準になっている2009年のレッドデータブックあいちでは、「サンショウウオの一種」という名前で載っていたはずである。ミカワサンショウウオは狭い地域の固有種で、ある意味ではここで一番重要な種類のように思う。そういう点で、特にミカワサンショウウオに関しては確認した上で修正しないとイケないと思う。

また、レッドデータブックあいちは今2020が出ているが、2009年から追加された種類がある。環境影響評価書の時代にはなかったもので、それからの変化を追跡する継続性という点で言えば、2020年に追加された種類は特に評価や議論の対象にはならないが、全体的に2020年に追加された種がどうなのかということは、環境影響を全体的に見るという点では考慮しておかないといけない。これも今回の報告書自体の問題ではないが、今後の検討が必要と思う。

(芹沢委員長) 本調査報告書については、ミカワサンショウウオに関して確認した上で修正を行い、鷺見副委員長と私が最終的な確認をしてから承認することによろしいか。

(各委員) (異議なし。)

(芹沢委員長) 本調査報告書を仮承認する。

イ 環境調査計画書 (2023 年次版)

・資料 4 について、事務局から説明した。

<質疑応答>

(芹沢委員長) 本調査計画書を承認してもよろしいか。

(各委員) 承認する。

(4) 閉会

以上